明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

内閣情報部編輯 週報

發行　十月六日

第五十一號

增頁號

定價　一部五錢　年極（前金）二圓四十錢（送料不要）

○一ケ年未滿配送御希望の方は一部五錢の割合にて前金を添へ御申込み下さい

○一ケ年分前金にて御申込みの方へ週報（保存用）綴込表紙贈呈

申込所　内閣印刷局

發行所　内閣印刷局發行課　東京市麹町區大手町　振替東京一九〇〇〇　全國各地官報販賣所　東都書籍株式會社　東京市神田區神保町一ノ二三　振替東京九三九〇　最寄書店・驛賣店

○農山漁村に於ける勤勞奉仕……農林省經濟更生部
○貿易組合法其の他……貿易局
○保定・滄州の陷落と上海戰線の力攻……陸軍省新聞班
○海軍の作戰進む……（國際時事解說）……海軍省海軍事務及部
○日還修好五十年の回顧……外務省情報部

愛國行進曲懸賞募集規定

内閣情報部では今回行はれる國民精神總動員を機として、國民が永遠に愛唱し得べき國民歌を作ることゝなり、次の規定に依つて、汎く帝國國民より愛國行進曲（歌詞及作曲）を募集することゝなつた。

募集規定

（一）**歌詞**

（イ）美しく明るく勇ましき行進曲風のもの。

（ロ）内容は日本の眞の姿を讃へ、帝國永遠の生命と理想とを象徴し國民精神作興に資するに足るもの。

（ハ）章節は三節以上とし、一節の行數は四行以上とすること、尚反唱部を別に添ふるも差支なし。

（ニ）平戰兩時を通じ國民が老幼男女を問はず常に和唱し得るもの。

（ホ）歌詞中の漢字には必ず振假名を明記すること。

（二）**締切及審査發表**

締切期日　十月二十日

審査發表　十一月三日

新聞、週報、ラヂオ等に依り最高位當選の歌詞及入賞、佳作の作詞者氏名を發表す。

（三）**表彰**

一等　一名　總理大臣賞として　銀牌及賞金壹千圓

二等　一名　同　銅牌及賞金五百圓

三等　一名　同　銅牌及賞金參百圓

右の外佳作若干に對し内閣情報部より賞狀を附與す。

（四）**應募者は**

帝國國民に限る、但し一人一篇のこと。

（五）入選及佳作の歌詞の著作權は一切内閣情報部に歸屬す。又歌詞は發表の際改訂することあるべし。應募原稿は返戻せず。

（六）應募原稿の用紙は半紙大とす。又原稿紙には必ず現住所及氏名明記のこと。

（七）**宛名**

東京市麹町區永田町二ノ一内閣情報部宛、封筒に「應募歌詞」と朱書して必ず郵送のこと。

（八）右規定の外一切質問に應ぜず。

（九）**作曲**

最高位に當選したる歌詞に作曲するものとす。右に關しては審査發表當日詳細を發表す。

（十）歌詞の審査員左の如し

内閣情報部　乘杉嘉壽

東京音樂學校長　片岡直道

東京中央放送局長　穗積重遠

河井酔茗

佐々木信綱

北原白秋

島崎藤村

官報

昭和十二年十月五日
第三千二百二十八號　火曜日

省令

◉遞信省令第八十五號

簡易保險健康相談所規則中左ノ通改正ス

昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

第一條　簡易生命保險被保險者ハ本令ノ定ムル所ニ依リ健康相談ヲ爲シ又ハ訪問看護ヲ受クルコトヲ得

前項ノ健康相談及訪問看護ノ取扱ハ無料トス但シ特殊ノ設備ヲ要スル試驗檢査及處置ニ付テハ使用料ヲ徵收ス

前項但書ノ使用料ノ種類、金額及徵收方法ハ別ニ之ヲ告示ス

附　則

本令ハ昭和十二年十月十一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

昭和九年九月十四日遞信省令第六十號簡易保險健康相談所規則追加

訓令

◉大藏省訓令第二十六號

國有財産整理資金特別會計歲入徵收官

昭和十二年度大藏省所管國有財産整理資金特別會計歲入科目表ニ左ノ通追加ス

昭和十二年十月五日　大藏大臣　賀屋　興宣

款	項	目
一國有財産整理資金收入		
	二雜收入	
		△九耕地整理清算金

△印追加

告示

◉宮内省告示第二十六號

故多嘉王ノ喪儀ヲ行ハセラルル期日場所及墓所左ノ通定メラル

期日　昭和十二年十月七日

場所　京都市泉涌寺境内

墓所　京都府京都市東山區泉涌寺山内町御料地

昭和十二年十月五日　宮内大臣　松平　恒雄

◉内務省告示第五百八十八號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ愛知縣丹羽郡犬山町ノ區域ヲ以テ犬山都市計畫區域トス

昭和十二年十月五日　内務大臣　馬場　鉄一

◉内務省告示第五百八十九號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ愛知縣海部郡津島町ノ區域ヲ以テ津島都市計畫區域トス

昭和十二年十月五日　内務大臣　馬場　鉄一

◉内務省告示第五百九十號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ愛知縣東春日井郡勝川町ノ區域ヲ以テ勝川都市計畫區域トス

昭和十二年十月五日　内務大臣　馬場　鉄一

◉内務省告示第五百九十一號

都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ靜岡縣引佐郡三ケ日町ヲ指定ス

昭和十二年十月五日　内務大臣　馬場　鉄一

◉内務省告示第五百九十二號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ靜岡縣引佐郡三ケ日町ノ區域ヲ以テ三ケ日都市計畫區域トス

昭和十二年十月五日　内務大臣　馬場　鉄一

◉内務省告示第五百九十三號

都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ青森縣東北郡田名部町ヲ指定ス

昭和十二年十月五日　内務大臣　馬場　鉄一

◉内務省告示第五百九十四號

都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ青森縣下北郡田名部町ノ區域ヲ以テ田名部都市計畫區域トス

昭和十二年十月五日　内務大臣　馬場　鉄一

◉内務省告示第五百九十五號

都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ石川縣石川郡美川町ヲ指定ス

昭和十二年十月五日　内務大臣　馬場　鉄一

◉大藏省告示第二百五十六號

外國爲替管理法ニ基ク命令ノ件第十七條第一項ニ基キ株式會社豫州銀行ニ對シ昭和十二年十月二日以後左記店舗ニ於テ外國爲替業務ヲ營ムコトヲ昭和十二年十月二日許可シタリ

昭和十二年十月五日　大藏大臣　賀屋　興宣

名稱	位置
株式會社豫州銀行	愛媛縣八幡濱市三百八十番地
株式會社豫州銀行大洲支店	愛媛縣喜多郡大洲町大字大洲三十八番地
株式會社豫州銀行内子支店	愛媛縣喜多郡内子町大字内子甲千九十七番地第一
株式會社豫州銀行長濱支店	愛媛縣喜多郡長濱町大字長濱甲二百八十三番地
株式會社豫州銀行郡中支店	愛媛縣伊豫郡郡中町大字灘町三十九番地第二
株式會社豫州銀行松山支店	愛媛縣松山市湊町四丁目七十九番地
株式會社豫州銀行卯之町支店	愛媛縣東宇和郡大字卯之町大字鬼窪一番耕地九十三番地第四
株式會社豫州銀行宇和島支店	愛媛縣宇和島市橫新町六十一番地
株式會社豫州銀行吉田支店	愛媛縣北宇和郡吉田町大字本町二十九番地
株式會社豫州銀行仁方支店	廣島縣賀茂郡仁方町千三百七十番地第二

◉海軍省告示第十五號

支那事變ニ係ル死歿者特別賜金賜與規程左ノ通定ム

昭和十二年十月五日　海軍大臣　米内　光政

海軍死歿者特別賜金賜與規程

第一條　海軍軍人、軍屬、囑託者又ハ工員ニシテ昭和十二年七月七日以後直接支那事

目次抄錄
●省令　簡易保險健康相談所規則中改正　二九
●訓令　昭和十二年度大藏省所管國有財産整理資金特別會計歲入科目表中追加　二九
●告示　故多嘉王ノ葬儀ヲ行ハセラルル期日場所及墓所　二九
大山都市計畫區域其他　二九
外國爲替業務ヲ營ム店舗　二九
支那事變ニ係ル死歿者特別賜金賜與規程　二九
大阪府立第十四高等女學校位置變更　二九
鳥類捕獲禁止其他　二九
鐵道敷内ニ設置ノ電話其他　二九
私設無線電話施設其他　二九
●特任及辭令　定期叙位其他　二九
●彙報　昭和十二年一月乃至三月ノ出生、死亡統計　二九

定價　一ケ月一部九十五錢　一箇八十錢（外國郵便ニ八錢（依ノ地域）各送料共）　一年分一般ノ場合ハポイント一行三十錢　ポイント五錢增　二十四字詰

發行所　内閣印刷局　東京市麹町區大手町　電話ノ九ノ内二二二番

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

變ニ關スル勤務ニ從事シ爲ニ死歿シタルモノ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ遺族ニ特別賜金ヲ賜與ス但シ自己ノ重大ナル過失ニ因リ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ死歿シタル者ノ遺族ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　戰死シ又ハ戰傷ヲ受ケ之ガ爲該負傷ノ日ヨリ三年以內ニ死歿シタルトキ

二　事變地ニ於テ戰傷以外ノ傷痍ヲ受ケ之ガ爲該負傷ノ日ヨリ三年以內ニ死歿シ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲該罹病ノ日ヨリ二年以內ニ死歿シタルトキ

三　事變地以外ノ地ニ於テ戰傷以外ノ傷痍ヲ受ケ之ガ爲該負傷ノ日ヨリ三年以內ニ死歿シ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲該罹病ノ日ヨリ二年以內ニ死歿シタルトキ

前項第三號ニ該當スル者ト雖モ事變地ト緊密ナル關係ヲ有スル特殊地域ニ於テ直接支那事變ニ關シ戰鬪搜索等ニ從事スル部隊ニ屬スル者ハ之ヲ前項第二號ニ該當スルモノト看做ス

第二條　特別賜金ハ航空勤務者保護賜金令若ハ潛水艦勤務者保護賜金令ニ依ル保護賜金、大正二年勅令第九號、同年勅令第十一號、昭和二年勅令第五十七號、同年勅令第百六十四號若ハ昭和十二年勅令第三百十二號ニ依ル一時賜金又ハ海軍外國旅費規則若ハ海軍南洋群島關東州南滿洲旅費規則ニ依ル死亡手當ヲ給スベキ事由ト同一事由ニ付テハ重複シテ之ヲ賜與セズ

特別賜金ヲ賜與セラルベキ者明治十九年閣令第二十三號ニ依ル死亡者ニ對スル救助料及弔祭料、巡査看守救治料給助料及弔祭料給與令第三條第三項但書ノ規定ニ依ル弔祭料、明治三十三年法律第三十號ニ依ル弔祭料及遺族扶助料、雇員扶助令若ハ傭人扶助令ニ依ル遺族扶助料及葬祭料、航空勤務者保護賜金令若ハ潛水艦勤務者保護賜金令ニ依ル保護賜金、大正二年勅令第九號、同年勅令第十一號、昭和二年勅令第五十七號、同年勅令第百六十四號若ハ昭和十二年勅令第三百十二號ニ依ル一時賜金又ハ海軍外國旅費規則若ハ海軍南洋群島關東州南滿洲旅費規則ニ依ル死亡手當ノ支給ヲ受クルトキハ其ノ額ガ特別賜金ヨリ少額ナル場合ニ限リ其ノ差額ヲ特別賜金トシテ賜與ス

第三條　特別賜金ヲ賜與セラルベキ遺族ト稱スルハ軍人、軍屬、囑託者及工員ノ妻、子、夫、父、母、孫、祖父、祖母、兄弟姉妹ニシテ本人死歿ノ當時ヨリ引續キ之ト同一戶籍內ニ在ル者ヲ謂フ

本人死歿ノ當時胎兒タル子出生シタルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ本人死歿ノ當時其ノ戶籍內ニ在リタルモノト看做ス

第四條　特別賜金ヲ賜與セラルベキ遺族ノ順位ハ前條ニ掲ゲタル順序ニ依リ同順位內ニ在リテハ男ハ女ニ先チ長ハ幼ニ先ツ但シ死歿者ノ家督相續人ハ同順位內ニ在リテハ最先トス

第五條　第三條ノ遺族ナキ場合ニ於テハ本人死歿ノ當時實家又ハ本家ニ在ル實父母、死歿者ノ家督相續人、本人死歿ノ當時ニ於ケル戶主ノ順位ニ依リ同條ノ遺族ニ給スベキ金額ノ二分ノ一ヲ賜與ス

第六條　特別賜金ヲ賜與セラルベキ順位ニ在ル者賜與發令日前ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特別賜金ハ次順位者ニ之ヲ賜與ス

一　死亡シタルトキ又ハ其ノ家ヲ去リタルトキ

二　死刑、無期若ハ六年以上ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ

三　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ刑期中又ハ刑ノ執行猶豫中ニ在ルトキ

四　生死不明ナルトキ

前項第三號又ハ第四號ノ場合ニ於テ次順位者ナキトキハ刑ノ執行ヲ終リ若ハ刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキ又ハ其ノ所在分明ト爲リタルトキ特別賜金ヲ賜與スルコトアルベシ

第七條　特別賜金ヲ受ケントスル者ハ海軍大臣ニ宛テタル願書(別記書式)ニ左ニ掲グル書類ヲ添ヘ本人死歿當時ノ所轄長ニ差出スベシ

一　履歷書(履歷書正本ノ寫、雇員、傭人、囑託者及工員ニ在リテハ月給又ハ日給額記載ノコト、事變勤務ニ關シテハ特ニ詳記スルヲ要ス)

二　現認證明書又ハ所轄長ノ事實證明書

三　診斷證書(負傷又ハ罹病時作成ノモノ)

四　死亡診斷書又ハ死體檢案書若ハ死亡認定書

五　病歷書(現役ヲ離レタル後又ハ解雇、解傭後死歿シタル場合ニ限リ添附スルモノニシテ主治醫ノ作成シタルモノナルヲ要ス)

六　戶籍謄本(本人死亡事項ヲ記載シタルモノ)

所轄長ハ前項ノ願書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ順序ヲ經テ(特務士官、准士官以下ニ付テハ在籍鎭守府ヲ經由スルコト)海軍大臣ニ進達スベシ

第八條　海軍大臣ニ於テ特別賜金ヲ賜與スベキ資格アリト認ムルトキハ辭令書ヲ交付ス

第九條　賜金ハ海軍省經理局ヨリ之ヲ遺族ニ交付ス

第十條　特別賜金ヲ受クベキ者第一條又ハ第六條ノ規定ニ依リ之ヲ受クベキ事由ノ生ジタル日ヨリ二年以內ニ出願セザルトキハ之ヲ受クルノ資格ヲ失フ

(別記)

書式(用紙美濃白紙)

特別賜金賜與願

所轄

官(職)　氏　名

右者何年何月何日何地ニ於テ戰死(何々ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ何病ニ罹リ爲ニ何年何月何日何地ニ於テ死亡)致候ニ付昭和十二年海軍省告示第十五號ニ依リ特別賜金賜與相成度證據書類相添ヘ願出候也

本籍地

現住所

死歿者トノ續柄

年　月　日　氏　名㊞

海軍大臣宛

(參照)

明治二十三年三月七日公布法律第三十號ハ傳染病豫防救治ニ從事スル者ノ手當金ニ關スル件、大正二年二月二十四日公布勅令第九號ハ軍用ノ航空機ニ乘ジ航空勤務ニ從事スル者ニ一時賜金ヲ給與スル件、同第十一號ハ潛水艦勤務者ニ一時賜金ヲ給與スル件、昭和二年四月一日公布勅令第五十七號ハ支那ニ於ケル帝國臣民ノ生命及財產ノ安寧ヲ保持スル爲其ノ騷亂地ニ於テ直接警備ニ關スル勤務ニ從事シ其ノ勤務ニ因リ死亡シタル陸海軍軍人等ノ遺族ニ一時賜金給與ノ件、同六月八日公布勅令第百六十四號ハ化學兵器ニ關スル研究ノ爲其ノ試驗、製造、檢査及取扱ニ從事スル者ニ一時賜金ヲ給與スル件、同十二年七月七日公布勅令第三百十二號ハ潛水作業ニ從事スル者ニ一時賜金ヲ給與スル件、明治十九年七月十三日閣令第二十三號ハ官吏公務ニ依リ傳染病豫防救治ニ從事シ殉死又ハ死亡ノ者手當金給與方ナリ

◎文部省告示第三百三十號

大阪府大阪市東成區ニ設置セル大阪府立第十四高等女學校ノ位置ヲ昭和十二年十月ヨリ大阪府豐中市ニ變更ノ件昭和十二年十月一日認可セリ

昭和十二年十月五日　文部大臣　安井　英二

◎農林省告示第三百二十六號

狩獵法第一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ通鳥類ノ捕獲ヲ禁止ス

昭和十二年十月五日　農林大臣　伯爵　有馬　賴寧

一　きじ

一　禁止ノ區域　北海道一圓

一　禁止ノ期間　自昭和十二年十月三十日　至昭和二十二年十月二十九日

◎農林省告示第三百二十七號

狩獵法第九條ノ規定ニ依リ左ノ通禁獵區ヲ設置ス

昭和十二年十月五日　農林大臣　伯爵　有馬　賴寧

一　禁獵ノ區域

イ　東京府南多摩郡淺川町大字上長房字駒木野ヨリ同郡元八王子村御靈谷戶ニ通ズル山道ト鐵道線路中央本線トノ交叉點ヲ基點トシ之ヨリ同山道ヲ北行シ御靈谷戶ニ至リ同山道ト同所ヨリ府道ニ通ズル村道トノ交點ニ達シ之ヨリ同村道ヲ東行シ同村道ト府道トノ交點ニ達シ之ヨリ府道ヲ東行シ同府道ト同郡恩方村大字下恩方ヨリ同郡橫山村字舟田ニ通ズル村道トノ交叉點ニ達シ之ヨリ同村道ヲ東南行シ橫山村大字下長房一〇二番地先ニ至リ同所ヨリ右折シ淺川町大字上椚田字三田ニ通ズル村道及町道ニ依リ橫山村三軒在家ヲ經テ甲州街道及鐵道線路中央本線ヲ橫斷シ淺川町大字上椚田字新地一四六番地先ニ至リ同所石橋ヨリ右折シ同町同大字字川原ノ宿ニ至ル町道ヲ西行シ同町道ト鐵道線路中央本線トノ交叉點ニ達シ之ヨリ同鐵道線路ヲ西行シ基點ニ至ル線ニ圍マレタル一圓ノ地域

ロ　東京府南多摩郡恩方村大字下恩方字川原宿ヲ通ズル府道ト同郡元八王子村字中宿ヨリ同府道ニ通ズル村道トノ交點ヲ基點トシ之ヨリ同府道ヲ西行シ南多摩郡恩方村大字上恩方字上案下ニ至リ同府道ト同所ヨリ南方東京府ト神奈川縣トノ府縣界ニ至ル村道トノ交點ニ達シ之ヨリ同村道ヲ南行シ俗稱明王峠ニ至リ同村道ト同府縣界トノ交點ニ達シ之ヨリ同府縣界ヲ北行シ同府縣界ト南多摩郡淺川町及恩方村ノ境界線トノ交點ニ達シ之ヨリ同境界線竝ニ淺川町及元八王子村ノ境界線ヲ東行シ同境界線ト淺川町大字上長房字駒木野ヨリ元八王子村字中宿ヲ經テ恩方村大字下恩方字川原宿ニ通ズル村道トノ交叉點ニ達シ之ヨリ同村道ヲ北行シ基點ニ至ル線ニ圍マレタル一圓ノ地域

一　禁獵ノ期間　自昭和十二年十月五日　至昭和二十二年十月四日

◎遞信省告示第三千三十一號

開港港則施行規則第三十八條ノ規定ニ依リ橫濱稅關ニ於テ內務省橫濱土木出張所ノ施行ニ係ル同港外防波堤築造工事ノ爲昭和十二年十月十日ヨリ同十三年三月三十一日迄左記區域內ニ於ケル一般船舶ノ航行ヲ禁止ス

昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

區域

左記(イ)及(ロ)兩點間幅百米(兩側ヘ五十米宛)

(イ)新山下町貯木場埋立地南東端ヨリ　二四度　八〇米

(ロ)同　上　二四度　四〇六米

備考　橫濱港第四號挂燈浮標ハ之ヲ(イ)點ニ移設ス

◎遞信省告示第三千三十二號

開港港則施行規則第三十八條ノ規定ニ依リ橫濱稅關ニ於テ內務省橫濱土木出張所ノ施行ニ係ル同港外防波堤築造工事ノ爲昭和十二年十月十日ヨリ同十三年三月三十一日迄左記區域內ニ於ケル一般船舶ノ航行ヲ禁止ス

昭和十二年一月四日遞信省告示第一號(昭和十二年遞信省告示第九百七號參照)ハ之ヲ廢止ス

昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

區域

左記(イ)及(ロ)兩點間幅百五十米(兩側ヘ七十五米宛)

(イ)橫濱外防波堤北燈臺ヨリ　二四度　一一〇六米

(ロ)(イ)點ヨリ　四四½度　九〇〇米

備考　橫濱港第一號挂燈浮標ハ之ヲ(ロ)點ニ移設シ橫濱港假設挂燈浮標ハ之ヲ撤去ス

(參照)

昭和十二年一月四日遞信省告示第一號ハ本號ト同件ナリ

◎遞信省告示第三千三十三號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信無線電話施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　福井縣

二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號、第三號及第六號ニ依リ航行ノ安全、電報送受及水產事業指導用通信ニ使用

三、機器裝置場所　帆船福井丸(定繫港敦賀)

四、呼出符號　JHOE(無線電話呼出名稱福井丸)

五、空中線電力　第一裝置　無線電信　一五〇「ワット」　無線電話　七五「ワット」　第二裝置　六〇「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數　第一裝置　A1及A2三七五　四二五　五〇〇及一三六四kc　A3一六五〇kc　第二裝置　A1四一四〇　六二一〇　八二八〇及一二四二〇kc

七、通信執務時間　不定

◎遞信省告示第三千三十四號

昭和十二年九月二十二日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第一事代丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

◎遞信省告示第三千三十五號

昭和十二年九月十四日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第一金生丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

◎遞信省告示第三千三十六號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信無線電話施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　川島善藏

二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號、第三號及第六號ニ依リ航行ノ安全、電報送受及漁獵ニ關スル通信ニ使用

三、機器裝置場所　帆船西津丸(定繫港福井縣小濱)

四、呼出符號　JLGK(無線電話呼出名稱西津丸)

五、空中線電力　第一裝置　無線電信　一五〇「ワット」　無線電話　七五「ワット」　第二裝置　六〇「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數　第一裝置　A1及A2三七五　四二五　五〇〇及一三六四kc　A3一六五〇kc　第二裝置　A1四一四〇　六二一〇　八二八〇及一二四二〇kc

七、通信執務時間　不定

◎遞信省告示第三千三十七號

昭和十二年十月七日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	定繫港	電報取扱種別
山里丸無線電信取扱所	山下汽船株式會社所屬汽船山里丸	神戶	無線電報

◉遞信省告示第三千三十八號
昭和十二年十月七日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「靖國丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

局名	呼出符號
山里丸	JTRL

◉遞信省告示第三千三十九號
左記私設無線電信ノ使用電波ノ型式及周波數ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所
昭和十二年九月遞信省告示第三千二百六號	田中太郎吉	帆船大華丸

使用電波ノ型式及周波數　A1 六二一〇　八二八〇及一二四二〇kc　A2 四二一〇　四二五　五〇〇及一三六四kc

◉遞信省告示第三千四十號
昭和十二年十月二日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置セリ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	定繫港	電報取扱種別
ウエストマンハム無線電信取扱所	宮地民之助所屬汽船ウエストマンハム	大阪	無線電報

◉遞信省告示第三千四十一號
昭和十二年十月二日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「浮島丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

局名	呼出符號
ウエストマンハム	JEWZ

◉遞信省告示第三千四十二號
簡易保險健康相談所ニ於ケル使用料ノ種類及金額左ノ通定ム
使用料ハ簡易生命保險被保險者健康相談ヲ爲シタル簡易保險健康相談所ニ於テ之ヲ卽納スベシ
本告示ハ昭和十二年十月十一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

種類		金額
一、血液檢査	一囘ニ付	五十錢
二、腦脊髓液檢査	同上	五十錢
三、胃液檢査	同上	五十錢
四、太陽燈照射	同上	二十錢
五、X線照射(但シ透視ヲ除ク)	同上	五十錢
六、X線寫眞	一枚ニ付大陸判	二圓五十錢
	同上四ツ切	二圓
	一枚ニ付六ツ切	一圓五十錢
	同上八ツ切	一圓三十錢
	同上キャビネ	一圓

◉遞信省告示第三千四十三號
昭和十二年十月六日ヨリ左記電信局(閉鎖中)ヲ下記ノ通移轉改稱シ其ノ事務ヲ再開ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

現名稱	現在位置	改稱	移轉位置
亞米利加丸無線電信局	大阪商船株式會社所屬汽船亞米利加丸	鴨綠丸無線電信局	大阪商船株式會社所屬汽船鴨綠丸(定繫港神戶)

◉遞信省告示第三千四十四號
昭和十二年十月六日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「御室山丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

局名	呼出符號
鴨綠丸	JSKL

◉遞信省告示第三千四十五號
本日限リ大正十四年七月遞信省告示第千四號無線電報取扱時間中「亞米利加丸、」ヲ削ル
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千四十六號
昭和十二年十月六日ヨリ昭和十一年八月遞信省告示第千九百十九號船舶通話ヲ取扱フ電話官署、船舶通話ノ取扱時間及取扱ニ關スル制限中「亞米利加丸」ヲ「鴨綠丸」ニ改ム
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千四十七號
昭和十二年十月八日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
小谷石郵便局	北海道渡島國上磯郡知內村字小谷石
上芦別郵便局	同石狩國空知郡上芦別村字上芦別市街
南美唄郵便局	同同國同郡美唄町字南美唄市街

◉遞信省告示第三千四十八號
昭和十二年十月八日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス但シ電報配達及呼出事務ヲ取扱ハズ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
美唄炭山郵便局	北海道石狩國空知郡美唄町字美唄炭山宮ノ下

◉遞信省告示第三千四十九號
昭和十二年十月八日ヨリ左記電信電話取扱所ヲ設置ス但シ電話規則ニ依ル電話事務ハ之ヲ取扱ハズ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
中須田電信電話取扱所	北海道渡島國檜山郡上ノ國村字中須田

◉遞信省告示第三千五十號
昭和十二年十月七日限リ左記電信取扱所ノ電報配達事務ヲ廢止ス但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	承繼局
上芦別電信取扱所	北海道石狩國空知郡上芦別村上芦別停車場(鐵道省)	上芦別郵便局

◉遞信省告示第三千五十一號
外國郵便爲替金又ハ外國郵便振替金ノ換算ニ適用スベキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

貨幣種別		邦貨一圓ニ對スル外國貨幣額	外國貨幣一單位ニ對スル邦貨額	
佛蘭西貨幣	振出	八「フラン」五十「サンチーム」	フラン	錢 一一・七六四七
	到著	九「フラン」十「サンチーム」	フラン	一〇・九八九〇
白耳義貨幣	振出	一「ベルガ」六十六「サンチエーム」	ベルガ	六〇・二四〇
ブラジル貨幣	振出	四「ミル」三百「レイス」	ミルレイス	二三・二五五八

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

◉鐵道省告示第三百七十一號
柑橘類ニ對スル割引運賃左ノ通定ム
昭和十二年十月五日　鐵道大臣　中島知久平
一品名　柑橘類
一發驛　糸崎、尾道
一著驛　汐留、東京市場
一扱種別　貨切扱
一期間　自昭和十二年十月五日　至昭和十三年三月三十一日
一賃率　九級賃率ノ一割五分減

一條件　一般賃率ニ依リ通計二、五〇〇瓲以上託送シタルモノニ對シ一、五〇〇瓲ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓲數ニ就キ省所定ノ手續(運輸帳表取扱手續)ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戾スモノトス

◉鐵道省告示第三百七十二號
昭和十二年九月鐵道省告示第三百十八號支那事變ニ因ル出征者、應召者ノ家族、遺族ニ對スル政府拂下米運賃割引ニ關スル件中左ノ通改正ス
昭和十二年十月五日　鐵道大臣　中島知久平
發驛ノ項「梅田。」ノ下ニ「大阪港。」ヲ加フ

◉朝鮮總督府告示第五百十四號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　合資會社鳥居商店
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船陽漁丸(定繫港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十五號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　小倉政七
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船正幸丸(定繫港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十六號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　上田倉人
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船金剛丸(定繫港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十七號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　津田梅一
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船第十五數漁丸(定繫港長箭)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十八號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　香椎源太郎
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船第二十二加德丸(定繫港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十九號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　香椎源太郎
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船第二十三加德丸(定繫港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百二十號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　金星斗
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船第一號鮮洋丸(定繫港長箭)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百二十一號
昭和四年朝鮮總督府告示第二百二十四號(朝鮮總督府鐵道局鐵道手定員ニ關スル件)中左ノ通改正ス
昭和十二年七月十九日　朝鮮總督　南　次郎
「三百五十八人」ヲ「四百七十二人」ニ改ム

正誤
本年六月二日官報關東局令第二十二號關東州商工會議所令施行規則第十二條末行「屆ヅベシ」ハ「屆出ヅベシ」本月一日商工省令第二十二號產金奬勵規則第一條二行「採鑛」ハ「探鑛」樣式第二號備考ノ九中「將業時間」ハ「操業時間」ノ孰モ誤植

敍任及辭令

◉昭和十二年八月二十四日
正八位　林　保
敍從七位

◉昭和十二年八月二十六日
勳八等　野口正太郎
敍正八位

◉昭和十二年九月六日
正八位　庄子　十二
敍從七位

◉昭和十二年九月七日
上妻　理記
敍從七位

◉昭和十二年九月八日
勳七等　猪股　英雄
敍正八位

◉昭和十二年九月九日
正八位　吉田　益三
敍從七位

◉昭和十二年九月十日
正八位　石井　米市
同　小幡　茂男
同　早瀨　浩
(各通)
敍從七位
勳七等　西村　讓一
同　葛原　始
(各通)
敍正八位

◉昭和十二年九月十一日
正七位勳六等功五級　平　長一
正七位勳五等　佐々木長吉
(各通)
敍從六位
正八位勳六等功七級　西川　長太
敍從七位

◉昭和十二年九月十二日
正八位　森本　信夫
同　三宅與一郎
同　長瀨　茂
(各通)
敍從七位

◉遞信省告示第三千三十八號
昭和十二年十月七日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「靖國丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

局名	呼出符號
山里丸	JTRL

◉遞信省告示第三千三十九號
左記私設無線電信ノ使用電波ノ型式及周波數ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所	使用電波ノ型式及周波數
昭和十二年九月遞信省告示第三千二百六號	田中太郎吉	帆船大華丸	A1 六二一〇、八二八〇及一二四二〇kc　A2 四一〇、四二五、五〇〇及一三六四kc

◉遞信省告示第三千四十號
昭和十二年十月二日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置セリ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	定繋港	電報取扱種別
ウエストマンハム無線電信取扱所	宮地民之助所屬汽船ウエストマンハム	大阪	無線電報

◉遞信省告示第三千四十一號
昭和十二年十月二日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「浮島丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

局名	呼出符號
ウエストマンハム	JEWZ

◉遞信省告示第三千四十二號
簡易保險健康相談所ニ於ケル使用料ノ種類及金額左ノ通定ム
使用料ハ簡易生命保險被保險者健康相談ヲ爲シタル簡易保險健康相談所ニ於テ之ヲ卽納スベシ
本告示ハ昭和十二年十月十一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

種類	金額	
一、血液檢査	一囘ニ付	五十錢
二、腦脊髓液檢査	同上	五十錢
三、胃液檢査	同上	五十錢
四、太陽燈照射	同上	二十錢
五、X線照射(但シ透視ヲ除ク)	同上	五十錢
六、X線寫眞	一枚ニ付大陸判	二圓五十錢
	同上四ツ切	二圓
	一枚ニ付六ツ切	一圓五十錢
	同上八ツ切	一圓三十錢
	同上キヤビネ	一圓

◉遞信省告示第三千四十三號
昭和十二年十月六日ヨリ左記電信局(閉鎖中)ヲ下記ノ通移轉改稱シ其ノ事務ヲ再開ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

現名稱	現在位置	改稱	移轉位置
亞米利加丸無線電信局	大阪商船株式會社所屬汽船亞米利加丸	鴨綠丸無線電信局	大阪商船株式會社所屬汽船鴨綠丸(定繋港神戸)

◉遞信省告示第三千四十四號
昭和十二年十月六日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「御室山丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

局名	呼出符號
鴨綠丸	JSKL

◉遞信省告示第三千四十五號
本日限リ大正十四年七月遞信省告示第千四號無線電信機ヲ裝置スル電信官署ノ無線電報取扱時間中「亞米利加丸」ヲ削ル
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千四十六號
昭和十二年十月六日ヨリ昭和十一年八月遞信省告示第千九百十九號船舶通話ヲ取扱フ電話官署、船舶通話ノ取扱時間及取扱ニ關スル制限中「亞米利加丸」ヲ「鴨綠丸」ニ改ム
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千四十七號
昭和十二年十月八日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
小谷石郵便局	北海道渡島國上磯郡知內村字小谷石
上芦別郵便局	同石狩國空知郡上芦別村字上芦別市街
南美唄郵便局	同同同美唄町字南美唄市街

◉遞信省告示第三千四十八號
昭和十二年十月八日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス但シ電報配達及呼出事務ヲ取扱ハズ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
美唄炭山郵便局	北海道石狩國空知郡美唄町字美唄炭山宮ノ下

◉遞信省告示第三千四十九號
昭和十二年十月八日ヨリ左記電信電話取扱所ヲ設置ス但シ電話規則ニ依ル電話事務ハ之ヲ取扱ハズ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
中須田電信電話取扱所	北海道渡島國檜山郡上ノ國村字中須田

◉遞信省告示第三千五十號
昭和十二年十月七日限リ左記電信取扱所ノ電報配達事務ヲ廢止ス但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	承繼局
上芦別電信取扱所	北海道石狩國空知郡上芦別村上芦別停車場(鐵道省)	上芦別郵便局

◉遞信省告示第三千五十一號
外國郵便爲替金又ハ外國郵便振替金ノ換算ニ適用スベキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
昭和十二年十月五日　遞信大臣　永井柳太郎

貨幣種別		邦貨一圓ニ對スル外國貨幣額	外國貨幣一單位ニ對スル邦貨額	錢
佛蘭西貨幣	振出	八「フラン」五十「サンチーム」	フラン	一一・七六四七
	著到	九「フラン」十「サンチーム」	フラン	一〇・九八九〇
白耳義貨幣	振出	一「ベルガ」六十六「サンチエーム」	ベルガ	六〇・二四一〇
ブラジル貨幣	振出	四「ミル」三百「レイス」	ミルレイス	二三・二五五八

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

◉鐵道省告示第三百七十一號
柑橘類ニ對スル割引運賃左ノ通定ム
昭和十二年十月五日　鐵道大臣　中島知久平
一、品名　柑橘類
一、發驛　糸崎、尾道
一、著驛　汐留、東京市場
一、扱種別　貨切扱
一、期間　自昭和十二年十月五日　至昭和十三年三月三十一日
一、賃率　九級貨率ノ一割五分減

一、條件　一般貨率ニ依リ通計二、五〇〇粁以上託送シタルモノニ對シ一、五〇〇粁ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送粁數ニ就キ省所定ノ手續(運輸帳表取扱手續)ニ依リ既收運賃ト本貨率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス

◉鐵道省告示第三百七十二號
昭和十二年九月鐵道省告示第三百十八號支那事變ニ因ル出征者、應召者ノ家族、遺族ニ對スル政府拂下米運賃割引ニ關スル件中左ノ通改正ス
昭和十二年十月五日　鐵道大臣　中島知久平
發驛ノ項「梅田。」ノ下ニ「大阪港。」ヲ加フ

◉朝鮮總督府告示第五百十四號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　合資會社鳥居商店
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船慶漁丸(定繋港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十五號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　小倉政七
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船正幸丸(定繋港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十六號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　上田倉人
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船金剛丸(定繋港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十七號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　津田梅一
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船第十五敷漁丸(定繋港長箭)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十八號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　香椎源太郎
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船第二十二加德丸(定繋港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百十九號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　香椎源太郎
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船第二十三加德丸(定繋港新浦)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百二十號
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ
昭和十二年七月十七日　朝鮮總督　南　次郎
一、施設者名　金星斗
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全及漁獵ニ關スル通信ノ受信ニ使用スル爲
三、機器裝置場所　汽船第一號鮮洋丸(定繋港長箭)
四、通信執務時間　不定

◉朝鮮總督府告示第五百二十一號
昭和四年朝鮮總督府告示第二百二十四號(朝鮮總督府鐵道局鐵道手定員ニ關スル件)中左ノ通改正ス
昭和十二年七月十九日　朝鮮總督　南　次郎
「三百五十八人」ヲ「四百七十二人」ニ改ム

正誤
本年六月二日官報關東局令第二十二號關東州商工會議所令施行規則第十二條末行「屆ヅベシ」ハ「屆出ヅベシ」本月一日商工省令第二十二號產金奬勵規則第一條二行「採鑛」ハ「探鑛」樣式第二號備考ノ九中「採業時間」ハ「操業時間」ノ孰モ誤植

敍任及辭令

◉昭和十二年八月二十四日
正八位　林　保
敍從七位

◉昭和十二年八月二十六日
勳八等　野口正太郎
敍正八位

◉昭和十二年九月六日
正八位　庄子　十二
敍從七位

◉昭和十二年九月七日
上妻　理記
敍從七位

◉昭和十二年九月八日
勳七等　猪股　英雄
敍正八位

◉昭和十二年九月九日
正八位　吉田　益三
敍從七位

◉昭和十二年九月十日
正八位　石井　米市
同　小幡　茂男
同　早瀨　浩
(各通)
敍從七位

勳七等　西村　讓一
同　葛原　始
(各通)
敍正八位

◉昭和十二年九月十一日
正七位勳六等功五級　平　長一
正七位勳五等　佐々木長吉
(各通)
敍從六位

正八位勳六等功七級　西川　長太
敍從七位

◉昭和十二年九月十二日
正八位　森本　信夫
同　三宅與一郎
同　長瀨　茂
(各通)
敍從七位

勳七等　吉田　岩蒜
同　池田　延夫
（各通）
叙正八位
◉昭和十二年九月十三日
勳八等　鈴木熊太郎
叙正八位
◉昭和十二年九月十四日
從六位勳五等　杉本　五郎
叙正六位
正八位勳七等　舘　貞治
叙從七位
◉昭和十二年九月十五日
正七位勳四等　大橋　毅郎
叙從六位
正八位勳六等功六級　倉本　林藏
正八位　北村　忠夫
同　長野　滿雄
（各通）
叙從七位
勳八等　中西　新二
叙正八位
◉昭和十二年九月十六日
正七位勳六等　田中　鷗
正七位　小川喜一郎
（各通）
叙從六位
從七位勳六等　大谷　貞雄
叙正七位
正八位　岡本　善太
叙從七位
勳八等　森脇　清士
勳七等　吉部　員乎
勳八等　渡邊　義夫
加藤　重三
（各通）
叙正八位
◉昭和十二年九月十八日
正七位勳六等　小嵐喜一郎
叙從六位
正八位　甕田　利秋
同　小寺　俊介
（各通）
叙從七位

◉昭和十二年九月三十日
海軍特務中尉正七位勳五等　則內　直正
任海軍特務大尉
◉昭和十二年十月一日
從七位勳六等　東吉右衛門
從七位勳七等　酒井善之輔
同　山岡淺太郎
同　中川　轍夫
從七位勳八等　三上　貫一
從七位勳七等　山田　福一
從七位勳八等　野添　篤信
同　長沼惣右衛門
從七位勳七等　中山　和永
同　柏木磯太郎
同　窪野悦三郎
同　馬目幸次郎
同　池田　貢
同　橋本喜之助
同　川瀨　甚作
同　鈴木仙次郎
同　土屋　豐吉
同　栗原　德藏
同　增田　半藏
同　相川　東一
同　飯島　茂
同　飯島　米藏
從七位勳八等　皆瀨庄次郎
從七位勳七等　大石龜太郎
同　岡田　邦藏
從七位勳八等　吉本　克重
同　佐藤　富治
同　淺野　晋
同　竹本　六一
從七位勳七等　山本壽美男
同　三木　重夫
同　齋藤與太郎
同　臼杵良太郎
同　坂田　鈴藏
同　齋藤永之助

（各通）
同　瀨谷　列造
同　石倉　麟三
同　道又　英夫
同　櫻木　景一
從七位勳六等　佐藤　拳
從七位勳七等　辻井文三郎
從七位勳六等　工藤　貞義
從七位勳七等　熊谷　球三
同　宗像　龜雄
從七位勳六等　小橋　文七
從七位勳七等　箕浦　武一
同　前田龜三郎
同　中道　道實
從七位勳八等　柳橋　吉治
同　佐藤　貫一
從七位勳六等　槇本　由松
從七位勳七等　後藤　讓
同　伊藤　貞一
同　增川　淳
同　山邊　昇
同　野口　敏房
同　目黑　右禪
同　小林　操三
同　青木　仲信
從七位　片岡　常男
從七位勳八等　皆川　寬長
從七位勳七等　岡部清四郎
從七位勳八等　北岡　重民
同　陳　榮茂
同　中島　重正
同　中本　勇昇
從七位　佐藤備六郎
同　都　羅常
同　山本　勝也
同　坂部　素夫
同　西　金三郎
從七位勳七等　三宅　定男
從七位　鈴木　儀平
同　齋藤　勝

同　今野榮次郎
同　加藤　武雄
同　綾　龜一
正八位　堀田　秀次
平野　出見
高岡　潔
勳六等　高倉　彌
叙正七位
正八位　古谷　正
同　松澤新太郎
同　伏本　政樹
同　椎　定利
同　湯淺　忠雄
同　木下　瀧惠
同　荒木　善事
同　日野虎袈裟
同　若木　元生
同　岩崎　秀一
同　米澤　良三
同　西山　重道
同　瀨戶　定一
同　大童　眞吉
同　粟嶋　勝美
同　伊藤　純一
同　松波　重明
同　松田　修
正八位勳六等　清水　國人
正八位　岡部　涼
同　椿　一雄
正八位勳七等　荒木　三郎
勳六等　鈴木　倉造
岡井　嚴
原田　正行
蓮見　幸雄
西山　昭
小澤　武夫
高橋　覺
浦部　勝馬
須山　達夫

法眼　晋作
勳八等　森　富男
淺岡　五郎
石岡　實
長野　實
練尾　勳
中川　董治
三橋　銀藏
齋藤　道金
井村　哮全
土屋　立義
北里　董一
淺見　秀周
吉田　輝二
鴨井　英治
岡田左一郎
秋山　清一
石原　憲次
四夷　三郎
樋口　俊美
時津　秀男
小峰長三郎
今成　一郎
横山　恭一
伊藤　一郎
小野　敬直
東田　千秋
馬場　明生
海藤　雅美
湊　壽一
早矢仕　功
福島　弘毅
岩崎豐治郎
高橋　富雄
田中　宜子
中村　義夫
勳八等　池田小三郎
村田　道三
同　河合時次郎
（各通）

半澤　憲二
中田　亮吉
村田元之助
畠中　卓
松野　二男
勳八等　杉木　常助
同　中川　清
石瀨　二郎
中谷　勝紀
角山　良一
片岡　隆
早川　勝夫
關谷　紀
宇都宮積善
三根　佐平
鈴木　卓郎
林　靖一
村上　正雄
勳八等　森田　守正
小林　國衛
森　鹿之助
勳八等　藤田　理平
網谷　力雄
高橋　好三
松山　茂樹
田澤　靖
小西　仟
都志見克已
勳八等　鈴木　球雄
田崎　勇造
須々木貞雄
山本　久富
橋本　治吉
安部　明
足立　斌
勳八等　立石　貞助
松村　耕作
勳八等　脇田千穗實
同　小林　繁

同　小松　榮
同　櫻井　眞治
原田　晋作
叙從七位
◉昭和十二年十月二日
海軍大尉正七位　黑瀨　一重
任海軍少佐
正七位　黑瀨　一重
叙從六位
從七位　秋田　節也
叙正七位
拓務屬　欠戶　明
任拓務理事官
叙高等官七等
欠戶　明
叙從七位
◉昭和十二年十月四日
大阪府警部　西川　寅松
任地方警視
叙高等官八等
遞信技師　秋田　節也
陞叙高等官六等（十二日內閣）
鐵道次官　喜安健次郎
法制局參事官　樋貝　詮三
鐵道省監督局長　鈴木　清秀
鐵道省運輸局長　山田新十郎
鐵道省陸運監理官　片岡　壽郎
正五位勳二等　十河　信二
正四位勳三等　日淺　寬
勳四等　井上篤太郎
河上　弘一
清水　安治
（各通）
小運送業審查委員會委員被仰付
鐵道書記官　平山　孝
鐵道省陸運監理官兼鐵道書記官　小倉　俊夫
鐵道書記官　齋藤　養八
（各通）
小運送業審查委員會幹事被仰付

（各通）
旅順工科大學教授　中川　有三
關東海務局技師　松岡　太郎
陞叙高等官三等
關東中學校教諭　大坪　隆良
同　中田藤次郎
（各通）
旅順工科大學教授　城野和三郎
旅順工科大學助教授　新津　靖
陞叙高等官五等
地方警視　目黑寅之助
依願免本官
關東局土木技師　西本八十一
陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル（以上十一日同）
正六位　稻村　要八
位ノ返上ヲ命ス（十二日宮內省）
大使館三等書記官　原　馨
賜二級俸
伊國在勤ヲ命ス
外務事務官　原田　大六
同　阿部　達一
（各通）
東亞局第二課勤務ヲ命ス
外務省警視　久保　久壹
賜八級俸
綏芬河在勤ヲ命ス（以上十二日外務省）
神宮皇學館教授　丹羽　正義
五級俸下賜（十二日內務省）
社會局事務官　金井　元彥
勞働部勞政課長永野若松外國出張中同課長代理ヲ命ス（十一日同）
地方事務官　鈴木　直人
補東京府工業組合監督官
地方技師　清野　保
十級俸下賜
山口縣勤務ヲ命ス
衞生技師　日野　太郎
愛媛縣衞生技師ニ補ス
愛知縣丹羽郡古知野町會議員　中村　薫
都市計畫愛知地方委員會委員ヲ命ス

富山縣下新川郡生地町會議員 佐賀 義久
(各通)　同 能登 久作
同 紙屋 政吉
都市計畫富山地方委員會委員ヲ命ス
大分縣北海部郡津久見町助役 染矢 益太
都市計畫大分地方委員會幹事ヲ命ス（以上
請同）
地方警視 奥田 育造
補大阪府新町警察署長
同 西川 寅松
十級俸下賜
補大阪府岸和田警察署長
同 目黑寅之助
八級俸下賜
小樽市會議員 壽原 外吉
都市計畫北海道地方委員會委員ヲ命ス
都市計畫地方委員會事務官 梅田 邦彥
(各通)　北海道廳事務官 山本 章一
北海道廳技師 杉森 文彥
都市計畫北海道地方委員會幹事ヲ命ス
地方事務官 栗原 隆平
都市計畫新潟地方委員會幹事ヲ命ス
千葉縣東葛飾郡松戸町會議員 待山千代松
(各通)　同 深山 榮一
同 椎名 宗康
都市計畫千葉地方委員會委員ヲ命ス
宮城縣志田郡古川町會議員 米城榮一郎
同 大友爲三郎
同 糀澤敬之助
(各通)　同 永澤安之助
宮城縣玉造郡鳴子町會議員 熊谷 彥治
同 高橋淸三郎
都市計畫宮城地方委員會委員ヲ命ス
平市會議員 野崎 滿藏
(各通)　同 松崎 松治
同 萩原 義雄
都市計畫福島地方委員會委員ヲ命ス
福島縣岩瀨郡須賀川町助役 寺田 勝二
都市計畫福島地方委員會幹事ヲ命ス

弘前市會議員 平川 力
(各通)　同 境 喜一
同 竹森 次郎
青森縣下北郡脇野澤村會議員 杉浦治三郎
都市計畫青森地方委員會委員ヲ命ス（以上
請同）
大藏技師 岡本 敏男
爲替局勤務ヲ命ス（請大藏省）
甲府地方裁判所長判事 細谷 朝次
退職ヲ命ス（請司法省）
北海道帝國大學教授 小熊 捍
補北海道帝國大學理學部長
職務俸金七百九拾八圓下賜
同 田所哲太郎
依願北海道帝國大學理學部長ヲ免ス
神戸商業大學助教授 俵 靜夫
職務俸金參百六拾圓下賜
山口高等商業學校教授 菱川 精一
四級俸下賜
氣象臺技師 平野 烈介
五級俸下賜
同 小平 吉男
同 川野 昌美
(各通)　同 伊藤小三郎
六級俸下賜
同 倉石 六郎
同 畠山 久尙
(各通)　同 大谷 東平
七級俸下賜
同 荒川 秀俊
八級俸下賜（以上請文部省）
農林技師 江村 俊吉
八級俸下賜
農務局勤務ヲ命ス
同 大村 秀雄
蘭領東印度、濠洲及南氷洋ヘ出張ヲ命ス
漁業監督吏員ヲ命ス（以上請農林省）
地方商工技師 武川 義行
奈良縣商工技師ニ補ス（請商工省）

遞信書記官 松永 忠男
四級俸下賜
同 津田鐵外喜
五級俸下賜
遞信省事務官 荒木 盛人
三級俸下賜
同 石丸 豐
同 守屋 秀雄
(各通)　同 上小澤猷敏
四級俸下賜
同 田中 英男
(各通)　同 高仲 善雄
五級俸下賜
同 千賀德之助
六級俸下賜
同 山本 英也
同 安西 正道
(各通)　同 太田九州男
同 粟澤 一男
同 吉澤 武雄
七級俸下賜
航空官 佐々木利吉
年俸六百圓加賜
同 玉宮善治郎
一級俸下賜
同 木目田 知
九級俸下賜
遞信技師 高橋 三郎
年俸六百圓加賜
同 武正 敏夫
一級俸下賜
同 津田 龍三
(各通)　同 上浪 朗
二級俸下賜
同 御園生嘉二
五級俸下賜
同 篠原 登
(各通)　同 網島 毅
六級俸下賜

同 吉田與太郎
七級俸下賜
同 八木三四八
八級俸下賜
貯金局事務官 三浦義二郎
(各通)　同 山本 和介
四級俸下賜
同 寺田 新六
七級俸下賜
簡易保險局書記官 渡邊 聰
二級俸下賜
同 深水 六郎
五級俸下賜
簡易保險局事務官 小野 吉郎
六級俸下賜
同 上山太左久
七級俸下賜
同 小川 正弘
八級俸下賜
電氣試驗所技師 藤田 重明
(各通)　同 沼倉 三郎
二級俸下賜
同 關 雅雄
八級俸下賜
遞信局書記官 井關 博行
三級俸下賜
同 岡井彌三郎
五級俸下賜
遞信局事務官 永津 勝藏
六級俸下賜
同 小平 雄二
(各通)　同 山澤 次郎
七級俸下賜
遞信局技師 下村 香苗
(各通)　同 眞崎 尙忠
同 生野 熊一
年俸六百圓加賜
同 松本 一雄
(各通)　同 伊地知憲二
一級俸下賜

同 吉安 秋夫
二級俸下賜
同 茂木喜一郎
四級俸下賜
同 增田 一衛
五級俸下賜
同 辻本幸次郎
(各通)　同 森本千代松
六級俸下賜
同 本間 関次
七級俸下賜
同 山本 珠樹
(各通)　同 五幣 淳次
八級俸下賜
同 安藤 英二
同 井出 浩
(各通)　同 喜田村善一
同 米山 正雄
同 伊藤 誠
九級俸下賜
遞信事務官 增田 邦彥
年俸四百圓加賜
同 今井 富次
(各通)　同 近藤 太郎
一級俸下賜
同 西 遷次郎
三級俸下賜
同 勝部 清
(各通)　同 庄ノ 恒雄
四級俸下賜
同 中井 敬一
五級俸下賜
同 松永半五郎
六級俸下賜
同 森田 操三
七級俸下賜
同 小林 信次
八級俸下賜
遞信技師 奈良部勝吉
三級俸下賜

同 富田 銳雄
六級俸下賜
地方海員審判所審判官 冨永 廣
三級俸下賜
地方海員審判所理事官 都留 正治
二級俸下賜（以上請遞信省）
遞信局技師 古林 博
東京都市遞信局丸ノ內工務出張所長ヲ命ス
同 櫻井辰二郎
東京都市遞信局芝工務出張所長ヲ命ス
同 坂田 義夫
東京都市遞信局赤坂工務出張所長ヲ命ス
同 久次 信一
東京都市遞信局四谷工務出張所長ヲ命ス
同 村上 三五
東京都市遞信局淺草工務出張所長ヲ命ス
同 遠藤 邦夫
東京都市遞信局橫濱工務出張所長ヲ命ス
同 小坂部吉太郎
東京地方遞信局新潟工務出張所長ヲ命ス
同 吉橋和三郎
東京地方遞信局高崎工務出張所長ヲ命ス
同 菊池 貫二
東京地方遞信局宇都宮工務出張所長ヲ命ス
同 宮崎驥四郎
東京地方遞信局靜岡工務出張所長ヲ命ス
同 竹淵 留治
東京地方遞信局濱松工務出張所長ヲ命ス
同 太田 千吉
名古屋遞信局名古屋工務出張所長ヲ命ス
同 今井 太郎
名古屋遞信局豐橋工務出張所長ヲ命ス
同 伊藤 良治
名古屋遞信局一宮工務出張所長ヲ命ス
同 新倉 貞一
名古屋遞信局津工務出張所長ヲ命ス
同 井出 浩
名古屋遞信局岐阜工務出張所長ヲ命ス

同 砂崎 直樹
名古屋遞信局長野工務出張所長ヲ命ス
同 瀨尾 勇
名古屋遞信局金澤工務出張所長ヲ命ス
同 飯田 專造
大阪遞信局淀川工務出張所長ヲ命ス
同 永田 良孝
大阪遞信局港工務出張所長ヲ命ス
同 山崎 尙祐
大阪遞信局天王寺工務出張所長ヲ命ス
同 石橋 長山
大阪遞信局城東工務出張所長ヲ命ス
同 高橋 明
大阪遞信局京都工務出張所長ヲ命ス
同 松永 正吉
大阪遞信局神戸工務出張所長ヲ命ス
同 柳 善三郎
大阪遞信局姬路工務出張所長ヲ命ス
同 村田 匡吉
大阪遞信局奈良工務出張所長ヲ命ス
同 坂口 五郎
大阪遞信局大津工務出張所長ヲ命ス
同 星合儀三郎
大阪遞信局和歌山工務出張所長ヲ命ス
同 安武 章三
廣島遞信局廣島工務出張所長ヲ命ス
同 森本千代松
廣島遞信局岡山工務出張所長ヲ命ス
同 高橋 善藏
廣島遞信局下關工務出張所長ヲ命ス
同 松ケ下茂吉
廣島遞信局高松工務出張所長ヲ命ス
同 蘆谷 彥八
熊本遞信局熊本工務出張所長ヲ命ス
同 內村 八郎
熊本遞信局長崎工務出張所長ヲ命ス
同 市瀨 幸治
熊本遞信局福岡工務出張所長ヲ命ス

同 川崎六之助
熊本遞信局小倉工務出張所長ヲ命ス
同 土屋小七郎
熊本遞信局鹿兒島工務出張所長ヲ命ス
同 森 正治
仙臺遞信局仙臺工務出張所長ヲ命ス
同 山本 珠樹
仙臺遞信局青森工務出張所長ヲ命ス
同 川路 泰作
札幌遞信局札幌工務出張所長ヲ命ス
同 本間 関次
札幌遞信局函館工務出張所長ヲ命ス
同 藤野 丙男
名古屋遞信局在勤ヲ命ス（以上請同）
遞信書記官 米田冨士雄
管船局航務課長ヲ命ス
同 長井 實行
五級俸下賜
管船局庶務課長ヲ命ス（以上請同）
鐵道局副參事 江藤 知巳
新潟鐵道局總務部人事課長ヲ命ス
同 富田力太郎
仙臺鐵道局工務部庶務課長ヲ命ス（以上請
鐵道省）
拓務理事官 矢戶 明
八級俸下賜
拓務局兼大臣官房會計課勤務ヲ命ス（請拓
務省）
公立高等女學校敎諭 吉澤 英一
年功加俸年額百四拾四圓下賜（請東京府）
公立實業學校敎諭 青木 忠行
十級俸下賜
師範學校舍監 安藤 明
舍監加俸年額百四拾四圓下賜（以上請同）
公立大學敎授 齋藤 二郎
二級俸下賜
公立大學助敎授 細田 孟
四級俸下賜（以上請京都府）

地方農林技師　宇佐美正義
九級俸下賜（九月三十日神奈川縣）
地方農林技師　市川　憲二
七級俸下賜
同　大和田高市
八級俸下賜（以上十月一日兵庫縣）
體育運動主事　楢崎　正雄
九級俸下賜（七月三日同）
地方農林技師　前野　正博
十級俸下賜（七月十日同）
地方商工技師　平岡　勇三
九級俸下賜
地方農林技師　尾崎　政寛
十一級俸下賜
建築技師　菅　陸二
十二級俸下賜（以上九月十日同）
地方農林技師　長尾善治郎
六級俸下賜（七月二十一日同）
社會教育主事　原田　淺治
十一級俸下賜（七月十三日同）
地方商工技師　大木　光雄
十二級俸下賜（七月二十六日同）
衞生主事　芦田福太郎
十二級俸下賜（七月三十一日同）
地方農林技師　堀之內正藏
十級俸下賜（八月五日同）
衞生技師　藤井　一雄
七級俸下賜（八月九日同）
社會事業主事　谷　文一
十級俸下賜（九月三日同）
社會事業主事　青野　俊梁
十二級俸下賜（九月六日新潟縣）
地方農林主事　笠野富久藏
十一級俸下賜（八月八日同）
地方農林技師　青木　猛二
十級俸下賜（九月三十日同）
同　小川　孝
十一級俸下賜（九月二十一日同）

公立高等女學校教諭　楠田　覺眞
年功加俸年額金貳百拾六圓下賜（九月二十七日同）
公立中學校教諭　村井　彌六
七級俸當分千五百八拾四圓下賜
公立高等女學校教諭　下村　弘毅
七級俸當分千五百圓下賜（以上十月一日千葉縣）
公立高等女學校教諭　大境　俊雄
年功加俸年額百九拾貳圓下賜（八月二日栃木縣）
公立中學校長　府瀨川熊司
年功加俸年額九拾六圓下賜（八月十一日同）
公立中學校教諭　植竹　鐵雄
年功加俸年額百九拾貳圓下賜（七月二十日同）
地方農林技師　田村　政雄
十級俸下賜（九月十日同）
同　安川　潔
十級俸下賜
同　加藤　行雄
十一級俸下賜（以上九月二十日同）
公立高等女學校教諭　齊藤　與七
年功加俸金壹百四拾四圓下賜（九月十五日山梨縣）
防疫醫　佐々木　滑
五級俸下賜
道路技師兼土木技師　富田　伍鹿
同　地方農林技師　河合　盾丸
（各通）
同　石田　茂穗
同　野崎　正雄
六級俸下賜
道路主事　船越　久吉
（各通）
地方商工技師　清水　健一
七級俸下賜
地方農林技師　精谷　密
（各通）
同　池浦豐次郎
衞生技師　佐々木富雄
八級俸下賜
土木技師兼道路技師　相澤　包助
（各通）
土木技師　大成又五郎
九級俸下賜

（各通）
社會事業主事　進　豐紀
地方農林技師　菊池　耕仕
同　大竹　次郎
地方商工技師　金友　五朔
十級俸下賜
地方農林技師　倉田　侃一
十一級俸下賜（以上九月二十三日宮城縣）
師範學校教諭兼師範學校舍監　伊藤　正直
（各通）
同　渡邊　正勇
加俸年額參拾六圓下賜（九月二十七日秋田縣）
社會事業主事　中澤　文道
十二級俸下賜（九月二十四日鳥取縣）
地方農林主事　石川溫一郎
八級俸下賜（九月二十日島根縣）
地方農林技師　仙波　平馬
（各通）
地方商工技師　三田村　豐
七級俸下賜（九月三十日和歌山縣）
公立中學校教諭　小林康太郎
五級俸下賜（九月十日德島縣）
地方農林技師　石山　善壽
七級俸下賜（九月二十一日同）
地方商工技師　關　佐平
八級俸下賜（九月二十八日同）
公立高等女學校教諭　土井早之助
年功加俸年額金百四拾四圓下賜（十月二日愛媛縣）
公立青年學校長　伊藤元三郎
年功加俸年額金百四拾四圓下賜（九月十日同）
衞生主事　木下實之助
十二級俸下賜
公立高等女學校教諭　芳野百次郎
（各通）
公立中學校教諭　田崎　敬一
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（以上九月十日福岡縣）
公立實業學校教諭　北原勝一郎
八級俸下賜（九月十日同）
師範學校教諭　上田　棠平
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（九月十日同）

社會教育主事　桑原　恭助
八級俸下賜（九月十七日同）
地方農林技師　押野　芳夫
十一級俸下賜（九月二十四日熊本縣）
公立實業學校教諭　工藤　繁峰
七級俸下賜（九月二十七日宮崎縣）

宮廷錄事

◉東宮還啓　皇太子殿下ハ本月二日午後一時五十分葉山御用邸附屬邸御出門同二時五分逗子驛御發車同三時五分東京驛御著車同三時二十三分還啓アラセラレタリ

◉弔問　多嘉王殿下薨去ニ付弔問ノタメ本月二日午前九時三十分勅使トシテ侍從公爵德大寺實厚ヲ同九時四十五分皇后宮使トシテ宮內省京都地方事務所長伊夫伎準一ヲ同十時皇太后宮使トシテ宮中顧問官子爵日野西資博ヲ京都久邇宮別邸ヘ差遣サレタリ

◉午餐御催　天皇陛下ハ本邦駐箚ソヴィエト聯邦特命全權大使ミハイル、スラヴーツキーノタメ昨四日午後零時三十分午餐御催アラセラレ李王垠殿下ヲ召サセラレ宮內大臣松平恒雄外七名ニ御陪食仰付ケラレタリ

◉御弔電竝御答電　多嘉王殿下薨去ニ付本月一日滿洲國皇帝陛下ヨリ　天皇　皇后兩陛下ヘ御弔電ヲ寄セラレ同二日　天皇　皇后兩陛下ハ之ニ對シ御答電ヲ御發送アラセラレタリ

◉故多嘉王御喪儀　故多嘉王御喪儀ハ明後七日午前九時三十分京都市上京區東櫻町久邇宮別邸御發引京都市泉涌寺境內ニ於テ執行セラル

◉故多嘉王御喪儀當日參列諸員心得　故多嘉王御喪儀當日參列諸員心得左ノ通定メラル

一葬場幄舍ニ著床スル者左ノ如シ
　大勳位以下從六位勳六等以上竝高等官
　同待遇神佛各宗派管長門跡寺院ノ住職

　故王ノ親族タル華族特別緣故者（但シ宮中席次ヲ有スル者ニ限ル）ハ午前九時二十分迄ニ葬場ニ先著シ資格ヲ表示セル名刺ヲ受附係ニ交附シ指定ノ休所ニ參入ノコト

一前記以外ノ諸員（宮中席次ヲ有スル者）ハ午前十一時ヨリ同十一時三十分迄ニ葬場ニ參著シ資格ヲ表示セル名刺ヲ受附係ニ交附シ拜禮退下ノコト

一服裝

（イ）男子ハ大禮服正裝服制ナキ者ハ通常禮服（燕尾服）左腕ニ喪章ヲ附ス　神佛各宗派管長及門跡寺院ノ住職ハ之ニ相當スル服

（ロ）女子ハ通常服（ヴィジティング、ドレス）又ハ袿袴（皇室喪服規程女子喪服第三期ニ依ル）

一雨天ノ節ハ雨具ヲ使用スルモ差支ナシ

◉觀菊會御取止　本年觀菊會ハ御都合ニ依リ御催アラセラレサル旨仰出サレタリ

◉幣帛下賜　陸軍少將牛島本蕃卒去ニ付一昨三日幣帛ヲ下賜セラレタリ

彙報

○官廳事項

◉處務規程中改正　北海道廳ニ於テ去月二十一日北海道廳處務規程中經濟部ノ産業組合課ヲ經濟更生課ニ改メ施行セリ

◉在東京米國總領事館勤務領事任命　トーマス、エイ、ヒコック（Thomas A. Hickok）ハ今般在東京米國總領事館勤務領事ニ任命セラレ昭和十三年一月頃來任ノ豫定ナル旨本邦駐箚同國大使ヨリ去月十三日附書簡ヲ以テ通知アリタリ

◉官吏改姓　海軍豫備機關少尉小松誠ハ昭和九年三月十七日鈴木ト、同田中正美ハ同十年七月六日坂東ト、同豫備中尉佐藤守一ハ本年七月一日野中ト孰モ改姓セリ

◉官吏族籍變更　福島縣平民　北海道帝國大學助教授石黒俊實ハ今般宮城縣ヘ其族籍ヲ變更セリ

◉轉勤　朝鮮平安北道公立普通學校長（奏任待遇）朝鮮公立普通學校訓導藤岡康平ハ去月三日獨山公立普通學校勤務同校長ヲ命セラレタリ

◉復職　休職滋賀縣公立小學校長揖詰佐一郎ハ本年八月三十一日復職ヲ命セラレタリ

◉退職　滋賀縣公立小學校長水谷玄了、高知縣公立小學校長岡本正清、大分縣公立小學校長吉田忠藏、宮崎縣公立小學校長良本久市ハ本年八月三十一日孰モ願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ

◉官吏死去　休職鐵道局技師從七位久嶋佐吉ハ去月八日死去セリ

◉敎職死去　公立實業學校敎諭從六位長濱長ハ去月二十七日死去セリ

○判決

◉辯護士懲戒判決　福島辯護士會所屬辯護士日野晴日子ニ對スル辯護士懲戒事件ニ付宮城控訴院ニ於ケル懲戒裁判所ニ於テ去月十三日左ノ通判決言渡アリ同二十七日確定シタリ（司法省）

判決

福島縣若松市榮町二十六番地
辯護士　日野晴日子
明治二十五年一月二十一日生

右ノ者ニ對スル辯護士懲戒被告事件ニ付宮城控訴院檢事長代理檢事飯澤高立會審理判決スルコト左ノ如シ

主文

被告日野晴日子ヲ過料金五百圓ニ處ス
裁判手續費用ハ同被告ノ負擔トス

理由

被告日野晴日子ハ昭和二年九月福島辯護士會ニ加入シ爾來肩書住居ニ於テ辯護士ノ業務ニ從事シ居リタル者ナルトコロ

第一、昭和九年十月五日若松市名子屋町十九番地松谷タタ方ニ於テ松谷タタ等四名ト共ニ花札ヲ使用シ一役金五十錢賭ケノ俗ニ五十五円ト稱スル博奕ヲ爲シ同月十日若松區裁判所ニ於テ罰金五十圓ニ處セラレ

第二、昭和十一年十一月二十日頃ヨリ同年十二月二十日頃マテノ間三回ニ亘リ若松市上一ノ町二番地玉突竝麻雀營業五十嵐榮方ニ於テ小林千鶴等十二名ト共ニ骰子及牌ヲ使用シ二千點五圓乃至千點ト定メ麻雀賭博ヲ爲シ同年十二月二十八日若松區裁判所ニ於テ罰金百五十圓ニ處セラレ

以テ辯護士タル品位ヲ汚ス行爲ヲ爲シタルモノナリ

以上ノ事實中判示冒頭竝第一、第二ノ事實ハ被告ノ當公廷ニ於ケル判示同趣旨ノ供述、被告外四名ニ對スル若松區裁判所昭和九年（ろ）第一二八九號賭博被告事件記錄中同年十月十日附略式命令、被告外十一名ニ對スル同裁判所昭和十一年（ろ）第一九六五號賭博被告事件記錄中同年十二月二十八日附略式命令ノ各記載ニ依リ其ノ證明十分ニシテ該事實カ辯護士タル品位ヲ汚ス行爲ニ該當スルコトハ其ノ行爲自體ニ徵シ自明ナリトス

被告ノ所爲中第一ノ點ハ舊福島辯護士會會則第二十五條ニ第二ノ點ハ現行福島辯護士會會則第六十五條第一項辯護士法第二十條ニ各該當スルヲ以テ辯護士法第五十五條第一項ノ二ノ範圍內ニ於テ被告ヲ過料金五百圓ニ處スルヲ相當トスヘク裁判手續費用ハ辯護士法第五十八條判事懲戒法第四十五條第二項刑事訴訟法第二百三十七條第一項ニ則リ被告ヲシテ負擔セシムヘキモノトス仍テ主文ノ如ク判決ス

昭和十二年九月十三日

宮城控訴院ニ於ケル懲戒裁判所
裁判長判事　久保田美英
判事　勅使河原直三郎
判事　島津象三郎

○警察

◉在留禁止　在滿洲國哈爾賓帝國總領事ハ左記ノ者ニ對シ明治二十九年法律第八十號淸國及朝鮮國在留帝國臣民取締法第一條ニ依リ頭書ノ期間滿洲國在留禁止ノ命令ヲ發セリ（外務省）

昭和十二年九月一日ヨリ向フ二年　當時滿洲國牡丹江省寧安縣牡丹江西長安街一六ノ七、本籍平安北道龍川郡楊光面鳳德洞一四八　飮食店營業　崔　春楊　當四十四年

同　右　當時及本籍同右　崔春楊ノ妻　張　美子　當四十二年

◉豫約出版届出事項中變更　昨十一年四月八日鈴木善作ヨリ岐阜縣ヘ届出テタル「地方發達史と其の人物」ノ豫約出版事項中發行年月日ヲ「昭和十二年十一月十日」ニ變更セリ（岐阜縣）

◉豫約出版履行　警視廳ヘ昨十一年一月二十一日長坂金雄ヨリ届出テタル「大日本史講座」及同九月十九日岩波茂雄ヨリ届出テタル「岩波講座國語教育」ノ豫約出版ハ孰モ之ヲ履行シタル旨届出テタリ（警視廳）

○褒賞

◉紺綬褒章飾版竝賞杯下賜　公益ノタメ私財ヲ寄附シ功績顯著ナル廉ヲ以テ昭和十二年十月一日紺綬褒章ニ附スヘキ飾版竝ニ賞杯ヲ下賜セラレタル者左ノ如シ（賞勳局）

嘉納治兵衞

昭和八年四月兵庫縣武庫郡御影町公會堂建設費金五万圓寄附ス依テ褒章條例第三條第二項ニ據リ曾テ授與セシ紺綬褒章ニ附スヘキ飾版一箇ヲ賜ヒ之ヲ表彰セラル

嘉納治兵衞

公益ノタメ私財ヲ寄附シ功績顯著ナルニ因リ紺綬褒章ニ附スヘキ飾版ニ銀杯一箇ヲ併セ賜フ

○統計

◉昭和十二年一月乃至三月ノ出生、死亡速報　內閣統計局ニ於テ昭和十二年八月マテニ到達ノ人口動態調査票ニ依リ調査シタル昭和十二年一月乃至三月ノ出生、死亡左ノ如シ

（註）本數字ハ昭和十二年四月末日マテニ届出ラレタルモノニ係ル　但シ材料未達ノタメ鹿兒島縣大島郡十島村ヲ含マス

昭和十二年一月乃至三月内地人ノ出生及死亡(現在地別)

	一月乃至三月計 出生 總數	一月乃至三月計 出生 男	一月乃至三月計 死亡 總數	一月乃至三月計 死亡 男	一月 出生 總數	一月 出生 男	一月 死亡 總數	一月 死亡 男	二月 出生 總數	二月 出生 男	二月 死亡 總數	二月 死亡 男	三月 出生 總數	三月 出生 男	三月 死亡 總數	三月 死亡 男	前年同期 出生	前年同期 死亡
全國	六九六、八六一	三五一、六八四	三〇二、五六七	一五八、四八九	二六五、四一六	一三五、三九一	一〇三、九〇五	五四、三七四	二〇四、一六八	一〇三、六五二	九五、二九四	四九、八七七	二二七、二七七	一一四、六四一	一〇三、三六八	五四、二三八	七〇八、八一〇	三三六、四七七
北海道	三三、四八三	一六、八九七	一二、三三八	六、六九九	一二、三七六	六、二三八	三、九三四	二、一八一	九、四九五	四、八二七	三、八四五	二、〇八二	一一、六一二	五、八三二	四、五五九	二、四三六	三四、四五〇	一三、六一九
青森縣	一一、三一七	五、八一八	四、〇九五	二、一六八	三、八一七	一、九六五	一、三五一	七一六	三、五八七	一、八四六	一、二五七	六九七	三、九一三	二、〇〇七	一、四八七	七五五	一一、六九四	五、九四二
岩手縣	一二、五〇三	六、四四〇	五、〇九三	二、六四七	四、二五二	二、一七六	一、六七七	八五三	三、八四〇	一、九六四	一、六三七	八五八	四、四一一	二、三〇〇	一、七七九	九三六	一二、七二九	六、二三二
宮城縣	一四、二〇八	七、三二六	五、三〇二	二、七七一	五、〇六〇	二、六〇三	一、八二七	九六九	四、一八八	二、一三九	一、五八八	八四二	四、九六〇	二、五八四	一、八八七	九六〇	一四、三八七	六、六一四
秋田縣	一二、三九四	六、三〇七	四、九〇五	二、五〇九	四、一八三	二、一五一	一、六五八	八三〇	三、九六二	二、〇三五	一、四七四	七六五	四、二四九	二、一二一	一、七七三	九一四	一三、四四二	五、七〇七
山形縣	一二、六八〇	六、三九〇	五、〇八一	二、五八二	四、五二六	二、二九一	一、七四四	八八五	三、八八〇	一、九五八	一、五六〇	七八八	四、二七四	二、一四一	一、七七七	九〇九	一三、〇〇三	五、七九六
福島縣	一六、七一三	八、四五九	六、九三六	三、六三七	五、七一七	二、八八八	二、三一五	一、二〇七	五、一三六	二、五九四	二、一六九	一、一六五	五、八六〇	二、九六七	二、四五二	一、二六五	一七、三五三	八、四三七
茨城縣	一六、五五二	八、三九七	七、三〇八	三、八六一	五、六七〇	二、八七六	二、五一九	一、三六二	四、八八九	二、五六五	二、二七六	一、一九〇	五、九三三	二、九五六	二、五一三	一、三〇九	一六、五一〇	八、九九六
栃木縣	一二、八九六	六、四五九	五、二八九	二、八〇〇	四、七八五	二、四〇六	一、八七一	一、〇〇八	三、七一〇	一、八七三	一、六八七	八七六	四、四〇一	二、一八〇	一、七三一	九一六	一三、〇二四	六、一一七
群馬縣	一三、三七六	六、七六九	五、六四〇	二、九三一	五、三七七	二、七四七	一、八三八	九四七	三、九四〇	一、九三六	一、八一七	九四六	四、〇五九	二、〇八六	一、九八五	一、〇三八	一三、三七二	六、四一六
埼玉縣	一五、六四七	七、七七〇	七、四四一	三、九三二	六、一二〇	三、〇七〇	二、四六七	一、二八六	四、六九〇	二、三四九	二、三八二	一、二六四	四、八三七	二、三五一	二、五九二	一、三八二	一六、五八三	八、五七六
千葉縣	一六、二五七	八、二三四	七、六〇六	四、〇二九	六、一七七	三、一〇四	二、六一七	一、四〇二	四、六六二	二、三六二	二、四六六	一、二九七	五、四一八	二、七六八	二、五二三	一、三三〇	一六、二〇二	八、八九九
東京府	五五、九二八	二八、〇七一	二三、一〇四	一二、三五五	二三、八八二	一一、七四三	八、三八〇	四、四〇七	一五、六四九	八、〇三八	七、四九八	四、〇四五	一六、三九七	八、二九〇	七、二二六	三、九〇三	五九、五〇八	二四、一四一
神奈川縣	一七、八五五	九、〇二三	七、三九一	三、九三二	七、五八〇	三、七八六	二、六二六	一、三八六	四、九三五	二、五〇七	二、三四一	一、二七二	五、三四〇	二、七三〇	二、四二四	一、二七四	一八、五五二	八、四八六
新潟縣	二一、九二三	一〇、九四七	九、〇三三	四、七〇〇	七、九七九	四、〇〇七	二、九九〇	一、五三四	六、一九七	三、〇八八	二、七九六	一、四七二	七、七四七	三、八五二	三、二四七	一、六九四	二四、四八一	一〇、五一九
富山縣	八、一四二	四、一一五	四、一九四	二、一三三	三、〇五二	一、五四四	一、三九一	七一五	二、三九二	一、二二二	一、三六六	六九二	二、六九八	一、三四九	一、四三七	七二六	九、三九二	四、九一五
石川縣	七、〇五三	三、五五四	四、四二二	二、二四七	二、五三一	一、二七〇	一、四四五	七二二	二、一四三	一、〇八七	一、三七一	六九三	二、三七九	一、一九七	一、六〇六	八三二	八、四三六	五、四三七
福井縣	六、五三三	三、二六七	三、七三一	一、八二六	二、二〇九	一、一二〇	一、一九一	五七八	一、九八四	九五六	一、二〇六	六一六	二、三四〇	一、一九一	一、三三四	六三二	七、三九二	四、三六五
山梨縣	七、〇五七	三、五二七	二、六三四	一、三三九	二、七九七	一、三九八	八七二	四五五	二、〇〇四	一、〇二三	八六七	四二〇	二、二五六	一、一〇六	八九五	四六四	六、八二九	三、一九三
長野縣	一六、八五一	八、四五三	六、八九二	三、五三三	六、一二八	三、一一一	二、二六九	一、一六七	四、九八四	二、四七一	二、一六六	一、一一〇	五、七三九	二、八七一	二、四五七	一、二五六	一六、七三七	八、八三五
岐阜縣	一二、八五七	六、五五六	五、六八三	三、〇二七	五、一三〇	二、六二〇	一、九一一	一、〇三〇	三、八二三	一、九六〇	一、七七七	九三八	三、九〇四	一、九七六	一、九九五	一、〇五九	一二、九六七	七、一六七
靜岡縣	二〇、三五五	一〇、三二四	八、三六一	四、三九四	八、七八四	四、三八八	二、九五五	一、五六六	五、八三二	二、九九七	二、六四四	一、三三〇	五、七三九	二、九三九	二、七六二	一、四九八	二〇、二一〇	一〇、三二七
愛知縣	二七、七四七	一三、八五九	一二、四五六	六、四三三	一一、九三四	五、八七八	四、二二五	二、一六〇	七、九九四	四、一一三	四、〇二〇	二、〇八八	七、八一九	三、八六八	四、二一一	二、一八五	二七、六三六	一四、六〇八
三重縣	一一、八六四	六、〇〇九	五、七七二	二、九九二	四、七四二	二、四二三	一、九九七	一、〇二四	三、五七二	一、八〇三	一、七七四	九三六	三、五五〇	一、七八三	二、〇〇一	一、〇三二	一一、九三二	七、六二三
滋賀縣	六、六八五	三、三八一	三、三〇三	一、六七八	二、三三八	一、二二三	一、〇六二	五五八	二、〇一三	一、〇〇〇	一、〇四五	五三四	二、三三四	一、一五八	一、一九六	五八六	七、〇三二	四、四八六
京都府	一四、〇〇〇	七、一一七	六、七二一	三、四五七	五、三九九	二、七三四	二、二八五	一、一五六	四、一四〇	二、一一五	二、一二〇	一、〇九〇	四、四六一	二、二六八	二、三一六	一、二一一	一四、九三二	八、六八四
大阪府	三三、二九九	一七、一五八	一六、九五五	九、〇四四	一三、二〇九	六、七〇六	六、〇三五	三、二二二	九、七四四	五、〇四七	五、一九四	二、七四三	一〇、三四六	五、四〇五	五、七二六	三、〇七九	三四、三四二	一八、八九三
兵庫縣	二六、六〇六	一三、六一〇	一二、二一二	六、四〇九	一〇、一八七	五、一一二	四、一五六	二、一四二	七、六七七	三、九四九	三、八四二	二、〇一一	八、七四二	四、五三九	四、二一四	二、二五六	二八、三三九	一五、〇一五
奈良縣	五、六一九	二、八一二	二、九三〇	一、五四五	二、〇三五	一、〇二七	一、〇〇〇	五〇七	一、五九一	七九〇	八九七	四九二	一、九九三	九九五	一、〇三三	五四六	五、八二八	三、七二四
和歌山縣	八、三四九	四、一九〇	三、五三三	一、八二一	三、二四一	一、六〇五	一、二〇六	六一三	二、四〇〇	一、二一五	一、一〇八	五七三	二、七〇八	一、三七〇	一、二一九	六三五	八、二四一	四、六五八
鳥取縣	四、七九九	二、三八二	二、一八六	一、一一五	一、八四一	九一三	七二一	三七八	一、四七六	七二三	六七八	三二五	一、四八二	七四六	七八七	四一二	五、〇一六	二、五九六
島根縣	七、七一一	三、九六四	三、五六八	一、八三〇	二、六三五	一、三四六	一、一四二	五九二	二、四八八	一、三一七	一、一一八	五七八	二、五八八	一、三〇一	一、三〇八	六六〇	七、九六二	四、八八四
岡山縣	一二、五七二	六、四五七	五、九七四	三、一五二	四、四五一	二、二二七	二、〇六一	一、〇八四	三、七五四	一、九五八	一、八一三	九五六	四、三六七	二、二七二	二、一〇〇	一、一一二	一三、一〇一	七、八七二
廣島縣	一七、一六四	八、七〇九	七、八二二	四、一七〇	六、七二二	三、三八四	二、六七六	一、四四〇	五、〇一七	二、五四三	二、四九七	一、三一四	五、四二五	二、七八二	二、六四九	一、四一六	一八、一五〇	一〇、三三八
山口縣	一一、八二七	五、九九九	五、六〇九	二、九一四	四、四〇五	二、二二三	一、八七六	九七六	三、五六九	一、八一八	一、七八二	八九六	三、八五三	一、九五八	一、九五一	一、〇四二	一一、四七八	七、二四九
德島縣	八、二三四	四、一五一	三、六九一	一、九二八	二、九一六	一、四二二	一、二六七	六六四	二、五三九	一、二九三	一、一四八	五九四	二、七七九	一、四三六	一、二七六	六七〇	七、八〇二	四、五九八

	一月乃至三月計 出生 總數	一月乃至三月計 出生 男	一月乃至三月計 死亡 總數	一月乃至三月計 死亡 男	一月 出生 總數	一月 出生 男	一月 死亡 總數	一月 死亡 男	二月 出生 總數	二月 出生 男	二月 死亡 總數	二月 死亡 男	三月 出生 總數	三月 出生 男	三月 死亡 總數	三月 死亡 男	前年同期 出生	前年同期 死亡
香川縣	八、一一〇	四、〇一八	三、二二六	一、六六四	二、九五四	一、四五八	一、一一一	五七六	二、三三〇	一、一四七	一、〇一九	五一七	二、八二六	一、四一三	一、〇九六	五七一	八、一八七	四、四七〇
愛媛縣	一二、七〇一	六、四〇二	五、三〇三	二、七七二	四、七〇三	二、三六四	一、七七一	九一六	四、〇六四	二、〇三八	一、六六四	八五二	三、九三四	二、〇〇〇	一、八六八	一、〇〇四	一一、五七四	六、五四一
高知縣	六、一三二	三、一一四	三、二八二	一、七〇五	二、三六一	一、二一六	一、一六一	六一八	一、八二九	九一七	一、〇一二	五二六	一、九四二	九八一	一、一〇九	五六一	六、〇四六	四、〇八八
福岡縣	三〇、一八〇	一五、一九八	一二、四八七	六、六〇〇	一一、八五七	五、九四五	四、四三九	二、三五三	八、六七三	四、三七四	三、九四二	二、〇四七	九、六五〇	四、八七九	四、一〇六	二、二〇〇	二八、七五一	一五、二九八
佐賀縣	八、〇六二	四、一三八	三、四九七	一、八三二	三、一六八	一、六〇八	一、二四七	六四九	二、三二七	一、二〇四	一、一六三	六三三	二、五六七	一、三二六	一、〇八七	五五〇	七、五〇二	四、三三七
長崎縣	一三、八〇九	七、〇六七	六、〇六〇	三、二四六	五、二八六	二、六六六	二、〇五二	一、一〇六	三、九九六	二、〇五一	一、九六七	一、〇六三	四、五二七	二、三五〇	二、〇四一	一、〇七七	一二、六九八	七、二〇四
熊本縣	一五、五四六	七、七八七	五、九五三	三、〇二四	五、八六二	二、九八七	二、二二〇	一、一一五	四、六二九	二、三一八	一、七九九	九一八	五、〇五五	二、四八二	一、九三四	九九一	一四、五九七	七、四七五
大分縣	一一、四八五	五、六七七	五、三二六	二、七二六	四、一三二	二、〇二二	一、八八四	九五四	三、五三二	一、八〇三	一、六六〇	八七七	三、八二一	一、八五二	一、七八二	八九五	一〇、七八七	六、三九二
宮崎縣	九、五七六	四、七三四	三、三一七	一、七七八	三、五八六	一、八〇六	一、一九四	六四三	二、七八四	一、三五六	一、〇六一	五四四	三、二〇六	一、五七二	一、〇六二	五九一	九、一一八	四、二〇六
鹿兒島縣	一八、一一三	八、七五二	六、五〇九	三、三三六	五、九四九	二、八九二	二、三八八	一、二四四	四、八七九	二、四三〇	二、〇三七	一、〇一六	七、二八五	三、四三〇	二、〇八四	一、〇七六	一六、四四八	八、〇八七
沖繩縣	三、九五一	一、八九六	二、三九六	一、二六六	一、三七一	六八二	八八一	四七八	一、一二九	五三三	七四四	三九六	一、四五一	六八一	七七一	三九二	三、七五八	二、七四五

昭和十二年一月乃至三月市ニ於ケル内地人ノ出生及死亡(現在地別)

	一月乃至三月計 出生 總數	一月乃至三月計 出生 男	一月乃至三月計 死亡 總數	一月乃至三月計 死亡 男	一月 出生 總數	一月 出生 男	一月 死亡 總數	一月 死亡 男	二月 出生 總數	二月 出生 男	二月 死亡 總數	二月 死亡 男	三月 出生 總數	三月 出生 男	三月 死亡 總數	三月 死亡 男	前年同期 出生	前年同期 死亡
總數	一九九、七二〇	一〇一、〇八四	九二、〇二九	四八、九四一	八三、〇三七	四一、四九八	三二、五三七	一七、二三九	五六、七五一	二九、〇五八	二九、〇〇三	一五、四五九	五九、九三二	三〇、五二八	三〇、四八九	一六、二四三	二〇二、一二五	一〇一、五四七
札幌市	一、九〇五	九七二	一、一〇〇	六〇六	七一三	三七二	三三八	一八一	五七五	二八九	三三七	一八一	六一七	三一一	四二五	二四四	一、八七九	一、〇三六
旭川市	九一九	四三四	四七三	二四七	三三九	一五五	一二七	七一	二四九	一二五	一四五	七九	三三一	一五四	二〇一	九七	九一七	五一二
小樽市	一、三一八	六三六	六五三	三六五	五一六	二三五	一九〇	一〇四	三七一	一七八	二三二	一二九	四三一	二二三	二三一	一三二	一、四〇八	八三五
函館市	一、七六五	八八八	九〇〇	四九三	七二一	三五九	三一二	一五六	五〇三	二四九	二九〇	一七五	五四一	二八〇	二九八	一六二	一、九九九	九七〇
室蘭市	六三一	三一一	二八四	一五四	二五六	一二九	九九	六〇	一八六	九五	八三	四三	一八九	八七	一〇二	五一	六三七	三一八
釧路市	五三六	二七五	二五四	一四九	一九五	九九	八二	五五	一四九	七三	六四	四〇	一九二	一〇三	一〇八	五四	五四二	二二七
帶廣市	三四一	一五五	一八四	八九	一五六	六七	七三	三五	七八	三五	五七	二六	一〇七	五三	五四	二八	三七一	一九〇
弘前市	四八二	二五〇	二七一	一二五	一九九	一一二	九一	三八	一三五	七一	八八	四五	一四八	六七	九二	四二	四四七	三一五
青森市	九九八	五〇五	四三九	二三六	四〇〇	一八八	一四一	八三	二九九	一五一	一二七	六三	二九九	一六六	一七一	九〇	一、〇五一	五一五
八戸市	六二三	三二二	二五三	一五六	二二二	一一五	九八	五四	二一三	一〇八	六二	五二	一八八	九九	九三	五〇	六四五	三五五
盛岡市	六五三	三二六	二九九	一六三	二七四	一三八	九五	五七	一六五	九二	八九	三六	二一四	九六	一一五	七〇	六八七	三六六
仙臺市	二、〇七九	一、〇八〇	九四三	五一九	八三五	四三二	三四八	一九三	六〇五	三二二	二七二	一五一	六三九	三二六	三二三	一七五	二、一七八	一、〇六八
石卷市	三五四	一七九	一四五	六八	一三〇	六七	五四	二五	九一	四三	三九	二二	一三三	六九	五二	二一	三七七	二二六
秋田市	五七五	二八七	二七三	一四三	二二九	一〇五	八二	四四	一六七	八四	八八	四一	一七九	九八	一〇三	五八	六一八	三一八
山形市	六八〇	三五六	三〇三	一五九	二八六	一三九	一一一	五七	二〇四	一一五	八四	三五	一九〇	一〇二	一〇八	六七	六四五	三〇八
米澤市	四四〇	二四九	二〇四	一一三	一五七	九一	七八	四八	一六〇	九五	五一	二九	一二三	六三	七五	三六	四六〇	二五〇
鶴岡市	三九七	一八六	一八二	九〇	一五六	七七	五七	二四	一二六	六〇	六二	三〇	一一五	四九	六三	三六	三九六	二〇三
酒田市	三一〇	一六〇	一五五	八三	一二〇	七一	四七	三一	一〇七	四七	五一	三一	八三	四二	五七	二一	三三四	一六三
福島市	四一〇	二一三	二三五	一〇九	一六二	九九	七九	四〇	一二三	六四	七三	三一	一二五	五〇	八三	三八	四七四	二五五
若松市(福島縣)	三八八	二〇四	二〇八	一〇八	一四二	六九	八〇	四一	一〇八	五七	六一	三九	一三八	七八	六七	二八	三九七	二四三
郡山市	五八八	三〇四	二三六	一二〇	二四一	一二五	八三	四六	一七六	九三	八五	三九	一七一	八六	六八	三五	六三一	二七七
水戸市	四五一	二二五	二五九	一四八	一六一	七九	八八	五六	一五四	八〇	八五	四九	一三六	六六	八六	四三	五三七	三一五
宇都宮市	七〇七	三六五	三〇八	一七八	三一二	一五一	一〇二	六一	一八七	一一一	八五	四六	二〇八	一〇三	一二一	七一	八〇三	四〇六
足利市	四二〇	二〇五	二〇五	一〇二	一七五	八八	六七	三五	一一七	五七	六四	三一	一二八	六〇	七四	三六	四四二	一八五
前橋市	八〇五	三九九	四一五	二一〇	三二〇	一七四	一一九	五九	二五三	一二一	一三二	六二	二三二	一〇四	一六四	八九	八八八	四一七

高崎市	六四八	三一九	三一三	一六四	二九八	一四七	一二七	五九	一七八	八七	九一	五〇	一七二	八五	九五	五五	六七二	二六九
桐生市	七一九	三五四	二七五	一四四	二九三	一五四	七八	四三	二一〇	九三	九一	四七	二一六	一〇七	一〇六	五四	七〇一	三二四
川越市	三一三	一四七	一七一	九〇	一三四	五八	七〇	三三	九三	五〇	五一	二九	八六	三九	五〇	二八	三三二	一七七
熊谷市	三五五	一八五	一四一	七五	一五五	七六	四〇	二二	一〇三	五三	四九	二六	九七	五三	五二	二七	四〇〇	一四四
川口市	五六一	二八一	二〇四	一一九	二四二	一二九	七三	四七	一五九	八三	六一	三七	一六〇	六九	七〇	三五	六一五	二三〇
浦和市	三九八	二〇六	一四四	七五	一四七	七三	四八	三〇	一二一	六七	四九	二三	一三〇	六六	四七	二二	四五一	一五一
千葉市	七五一	三九四	三七五	二〇六	二八三	一三九	一一九	六二	二一六	一一四	一二七	六九	二五二	一四一	一二九	七五	五四二	三二一
銚子市	六八五	三三〇	三〇三	一五九	二一五	一〇六	八一	三六	二一五	一〇八	一〇四	六一	二五五	一一六	一一八	六二	五三六	二八九
市川市	四六六	二四四	一七一	九八	一九五	九二	六三	三四	一三〇	七七	四九	三一	一四四	七五	五九	三三	四一〇	一九一
東京市	五一、二〇五	二五、七九七	二〇、九九五	一一、二八一	二一、九四八	一〇、八五八	七、六五四	四、〇三八	一四、二二七	七、三一八	六、八三二	三、七〇〇	一五、〇三〇	七、六二一	六、五〇七	三、五四三	五四、五六二	二一、七五九
八王子市	五〇六	二三二	二七三	一三四	二〇七	八五	九〇	四六	一五五	七〇	一〇五	五三	一四四	七七	七八	三五	六〇四	二六一
横濱市	六、五四三	三、三一二	二、八六九	一、五五〇	二、八三二	一、四一九	一、〇三五	五五〇	一、八二八	九三九	八七八	四八五	一、八八三	九五四	九五六	五一五	六、八五一	三、三〇九
横須賀市	一、六五二	八四三	六二八	三三四	六八九	三四九	二一一	一〇九	四六〇	二三八	二〇七	一一〇	五〇三	二五六	二一〇	一一五	一、六〇六	六二三
川崎市	一、六五八	八二一	六二三	三三一	七〇六	三五九	一九七	一一〇	四六七	二二七	二一四	一一〇	四八五	二三五	二一二	一一一	一、七六〇	六〇六
平塚市	三八五	一九八	一八三	一〇四	一七九	九〇	六六	三一	八三	四五	六八	三九	一二三	六三	四九	五四	三四五	二二三
新潟市	一、三一一	六二八	六七四	三六八	三七七	二八〇	二三三	一二九	三七〇	一七〇	二一四	一二二	三六四	一七八	二〇七	一一七	一、四四七	六〇八
長岡市	四九一	二五四	二五〇	一四〇	一七八	八九	九〇	四七	一五三	八四	八八	五二	一六〇	八一	七二	四一	五三〇	三一一
高田市	二八三	一五二	一六四	八四	九七	四八	五五	二六	八八	四八	四六	二一	九八	五六	六三	三七	二四一	一八一
三條市	三四七	一七六	一七二	九九	一二三	六七	六一	四〇	九三	四八	五七	二六	一三一	六一	五四	三三	四二三	一五五
富山市	六八九	三六二	三八六	一九八	二五七	一二八	一三五	七〇	二一二	一一四	一二四	六八	二二〇	一二〇	一二七	六〇	七九一	四八一
高岡市	五三一	二七〇	三一五	一五七	二一六	一一一	一一四	五七	一六〇	七五	一〇三	五五	一五五	八四	九八	四五	五六四	三〇九
金澤市	一、四〇五	七三〇	一、〇三九	五一五	五二五	二七二	三六九	一八六	四一八	二二二	三二四	一六一	四六二	二三六	三四六	一六八	一、四七三	一、一三一
福井市	七八二	三九六	五〇五	二五一	二七三	一三八	一六五	八二	二三〇	一一四	一六七	八九	二七九	一四四	一七三	八〇	七五〇	四三六
甲府市	七四二	三六一	三二二	一六七	二九八	一四八	九五	五三	二〇四	一〇二	一一三	五九	二四〇	一一一	一一四	五五	七一〇	三七一
長野市	六七四	三三六	三二二	一七六	二三六	一一三	九七	六〇	二二〇	一〇四	一〇六	五二	二一八	一一九	一一九	六四	六九七	三九一
松本市	五二六	二七二	二七六	一四八	二一六	一〇五	八九	四八	一四三	七八	一〇六	五九	一六七	八九	八一	四一	五二七	三二五
上田市	二五四	一三三	一三七	七二	九九	五二	三八	二四	六九	三五	三九	二一	八六	四六	六〇	二七	三〇一	一六二
岡谷市	二五五	一一九	九一	五〇	八九	四四	三五	一九	七三	二九	二一	一一	九三	四六	三五	二〇	—	—
岐阜市	一、一三九	五六三	五二一	二八八	四七六	二四一	一七二	九六	三二〇	一六一	一七七	一〇〇	三四三	一六一	一七二	九二	一、一一〇	六五四
大垣市	四〇四	一九八	一九六	一〇六	一六五	七三	六七	三八	一一一	七〇	五五	二八	一一八	五五	七四	四〇	四二〇	二二〇
高山市	三三九	一七三	一六〇	八九	一三八	六八	五三	三二	一〇三	四八	五三	二六	九八	五七	五四	三一	—	—
靜岡市	二、一〇五	一、〇七六	八二〇	四三五	九八七	四九七	三一四	一七一	五五六	二八二	二四四	一二二	五六二	二九七	二六二	一四二	二、〇六二	九二五
濱松市	一、四五四	七三八	五七七	三〇七	六八〇	三四九	二二四	一一七	三八五	一九六	一七七	九七	三八九	一九三	一七六	九三	一、二六七	六七一
沼津市	四三六	二二四	二一四	一二八	一七七	八六	七八	四五	一二六	七一	七四	四二	一三三	六七	六二	四一	四五五	二三七
清水市	六六一	三三四	二三〇	一一八	三二四	一五九	七六	四三	一七〇	八五	八五	三六	一六七	九〇	六九	三九	六三一	二四九
名古屋市	一〇、三九八	五、一〇二	四、三七一	二、二九八	四、四八〇	二、一七〇	一、五〇〇	七八四	二、八八〇	一、四五〇	一、四二八	七五一	三、〇三八	一、四八二	一、四四三	七六三	一〇、二六三	四、八九三
豐橋市	一、二九四	六七〇	六二一	二九四	六〇八	三〇二	二一九	一〇八	三四二	一九六	二一〇	九七	三四四	一七二	一九二	八九	一、三二四	六五四
岡崎市	六九九	三六〇	二九九	一六〇	二九三	一六〇	九三	五〇	一九九	九五	九七	五六	二〇七	一〇四	一〇九	五四	七二五	三七二
一宮市	四六二	二三〇	一七八	七六	一八五	八七	五九	二二	一二九	七〇	五四	二五	一四八	七三	六五	二九	四三八	二五六
瀬戸市	四四八	二二七	二〇六	一〇一	一九三	九二	六七	三三	一三六	七六	六四	三四	一一九	五九	七五	三四	四五七	一八七
津市	五四八	二六四	三〇七	一六五	二二五	一一九	一二三	六五	一六〇	七四	九六	五一	一六三	七一	八八	四九	五二六	三九六
四日市市	五四五	二八二	二五〇	一三四	二二三	一二一	八三	四三	一六三	八五	八一	四九	一五九	七六	八六	四二	五九〇	三五〇

宇治山田市	五一〇	二五三	二三六	一二六	二一二	一一一	八一	四三	一三九	六四	七〇	三三	一五九	七八	八五	五〇	四三五	二七〇
松阪市	二八〇	一四七	一八四	八三	一〇二	五三	六四	二八	九九	五〇	六五	三二	七九	四四	五五	二三	三一五	二〇五
大津市	五七六	二九四	二六六	一三三	二二六	一一八	九三	四八	一七〇	八七	八八	四四	一八〇	八九	八五	四一	六三四	四一二
京都市	八、四〇七	四、二五二	三、八九八	二、〇二三	三、四一二	一、七二一	一、三二四	六八九	二、四四一	一、二一六	一、二一〇	六一九	二、五五四	一、三一五	一、三六四	七一五	八、六二〇	四、八九三
大阪市	二一、八九八	一一、二一四	一一、二五六	六、〇〇六	八、八七〇	四、四七三	四、〇五〇	二、一四四	六、三九五	三、二七四	三、三三二	一、七七九	六、六三三	三、四六七	三、八七四	二、〇八三	二三、八七三	一二、一三九
堺市	一、〇四八	五四一	五三五	二八八	四一八	二〇八	一八七	一〇六	二九六	一五〇	一七〇	八五	三三四	一八三	一七六	九七	一、〇六一	六二八
岸和田市	三三八	一八一	一六二	九〇	一四五	七四	六三	三七	一〇六	六四	五七	三一	八七	四三	四二	二二	三四二	一八六
豐中市	二八八	一五八	二二三	一四五	一〇九	六一	九六	五九	七九	四三	五九	四〇	一〇〇	五四	六八	四六	—	—
神戸市	六、八八五	三、五九〇	三、四八六	一、八七八	二、八五六	一、四五三	一、二三三	六四九	二、〇一二	一、〇五六	一、〇八九	五九一	二、〇一七	一、〇八一	一、一六四	六三八	七、三〇一	四、〇一八
姫路市	八五五	四〇八	三九二	一九八	三四六	一五八	一一九	六二	三三八	一一二	一〇一	五七	二八一	一三八	一七二	七九	八〇六	三八八
尼崎市	一、一四一	五七七	五二四	二六五	四九五	二二六	一九〇	八八	二九五	一五九	一六〇	八三	三五一	一九二	一七四	九四	六八〇	三六九
明石市	三三七	一六七	一六四	九六	一三八	六四	六三	三四	一〇〇	四九	四七	三〇	九九	五四	五四	三二	三六九	一九八
西宮市	六七一	三六〇	二八九	一四七	二七四	一四二	一〇七	五二	一九〇	一〇五	七九	四〇	二〇七	一一三	一〇三	五五	七四三	三九二
奈良市	四一〇	一九四	二三六	一二九	一六七	七九	八六	四六	一二〇	五五	七八	四四	一二三	六〇	七二	三九	四六二	二四七
和歌山市	一、四八四	七五七	七三一	三七七	六二七	三〇六	二二六	一一八	四〇一	二二一	二四九	一三三	四五六	二三〇	二五六	一二六	一、四六八	九六七
新宮市	二四四	一二八	一二九	七二	一〇九	六一	五〇	二五	六九	三九	三六	一八	六六	二八	四三	二九	二八五	一七三
海南市	二四三	一二九	一一一	四八	一一一	五八	三八	一三	六九	三五	三八	二〇	六三	三六	三五	一五	二三三	一四五
鳥取市	四三八	二二五	二三九	一一九	一六八	八二	八六	四五	一二六	六〇	七七	三八	一四四	八三	七六	三六	四五七	二九二
米子市	三三八	一六九	一八九	八八	一四三	六八	六一	二七	一〇三	四六	六〇	三〇	九二	五五	六八	三一	三五九	二一〇
松江市	四三六	二三三	二七五	一四三	一五九	八五	一〇五	五九	一四三	七九	七八	四〇	一三四	六九	九二	四四	四六四	二五六
岡山市	一、二一四	六一七	六二七	三三八	四八一	二五七	二二〇	一二九	三三三	一七一	一九〇	九五	四〇〇	一八九	二一七	一一四	一、二四七	八四九
倉敷市	二九九	一七一	一三八	七三	一〇七	六二	五六	二九	九二	五五	四三	二四	一〇〇	五四	三九	二〇	二七八	一六七
津山市	二九四	一四八	一四七	七八	九九	五二	四〇	二二	九五	四〇	五〇	二三	一〇〇	五六	五七	三三	三五九	二二二
廣島市	二、三八九	一、二二一	一、二一四	六六一	一、〇三七	五〇九	四二三	二四一	六九〇	三六六	三七八	二〇〇	六六二	三四六	四一三	二一〇	二、五五三	一、六八七
呉市	二、〇八九	一、〇七三	八六〇	四六二	九二七	四七二	三二五	一七〇	五九七	三〇三	二四六	一三〇	五六五	二九八	二八九	一六二	二、二六九	一、〇七〇
尾道市	二〇五	一一一	一三四	五九	七八	四三	五〇	一七	六四	三三	四一	一七	六三	三五	四三	二五	二二六	一五三
福山市	五〇七	二五六	二二四	一二六	一八八	八五	九五	五一	一四六	七六	七〇	四二	一七三	九五	五九	三三	五二八	三三六
三原市	三四二	一六三	一四九	七六	一四九	六九	五三	二五	九九	五一	五三	二七	九四	四三	四三	二四	—	—
下關市	一、〇七三	五五四	六一二	三三九	四三四	二一一	二三三	一二四	三〇九	一六一	一八一	一〇六	三三〇	一七二	一九八	一〇九	一、一〇七	六六八
宇部市	八一五	三九四	三三四	一七三	二九二	一三八	一〇三	五三	二三五	一一六	一一一	五八	二八八	一四〇	一二〇	六二	七一七	三九五
山口市	二七二	一二六	一三四	六七	一〇八	五四	五〇	二六	八二	三三	三二	一五	八二	三九	五二	二六	二七七	二三六
萩市	三二七	一六一	一八四	九五	一一一	五七	五六	二五	一〇七	四八	六八	三六	一〇九	五六	六〇	三四	三三三	二五〇
徳山市	二九一	一五九	一四二	八〇	一一三	六七	五一	三三	八〇	四七	四六	二四	九八	四五	四五	二三	二九九	一六三
防府市	四九八	二五八	二三九	一一七	二〇三	一〇六	七七	三八	一六一	七九	七五	三五	一三四	七三	八七	四四	—	—
徳島市	九九一	五一三	四四一	二四一	四〇一	一九八	一七〇	九二	二六一	一三八	一三一	七一	三二九	一七七	一四〇	七八	八一五	五三七
高松市	七四三	三六九	三七九	一九六	三〇四	一五六	一四四	七二	二〇三	九九	一一四	六五	二三六	一一四	一二一	五九	八二八	四八五
丸龜市	一九二	一〇〇	一一〇	六〇	六八	三四	三七	二三	七一	四〇	三九	一八	五三	二六	三四	一九	二二九	一四一
松山市	七五四	三九三	三七〇	一八六	二七六	一二七	一四〇	七五	二四二	一二七	一〇六	五五	二三六	一三九	一二四	五六	六四九	四五四
今治市	四六七	二四三	一九四	八九	一五九	八〇	七〇	三三	一五一	八一	五六	二二	一五七	八二	六八	三四	四二六	二八五
宇和島市	五二八	二六三	二七四	一三六	二一六	一〇一	九八	四五	一六三	八九	八二	四〇	一四九	七三	九四	五一	四四三	二六五
八幡濱市	三二二	一七〇	一六〇	八四	一〇七	五七	五二	二三	一〇六	六〇	五二	二九	一〇九	五三	五六	三二	二九七	一六〇
高知市	六五四	三三一	五五九	二八九	二七四	一五八	一八八	一一二	一六三	七九	一九三	一〇六	一九七	九四	一七八	七一	七一七	六一五

福岡市	二、七〇九	一、三七八	一、二七七	六六一	一、一二三	五六九	四七三	二五八	七八〇	四〇六	三八八	一九八	八〇六	四〇三	四一六	二〇五	二、五七七	一、六一六
若松市	七二三	三八七	三〇九	一六二	三一七	一七三	一〇四	五四	一九四	一〇六	八八	四六	二一二	一〇八	一一七	六二	六〇六	三二五
八幡市	二、三九九	一、二一三	九八〇	五一六	一、〇四一	五一五	三五七	一九一	六二九	三二九	三〇四	一五二	七二九	三六九	三一九	一七三	二、一六三	一、〇一二
戸畑市	六六五	三一三	二八八	一六一	二四九	一二五	九九	四八	二〇四	八八	八八	五五	二一二	一〇〇	一〇一	五八	六五九	三三二
久留米市	八一八	三八七	四〇三	二〇七	三二五	一五四	一四二	七五	二三九	一〇九	一三一	六七	二五四	一二四	一三〇	六五	七八二	四八三
大牟田市	一、一三四	五九五	四四七	二三七	四六八	二六一	一五八	八〇	三三九	一六六	一三九	七七	三二七	一六八	一五〇	八〇	九九一	五八二
小倉市	一、一三四	五六八	五二四	二七八	四六三	二一七	一九四	一〇二	三一一	一六七	一六七	八三	三六〇	一八四	一六三	九三	一、〇二七	五四六
門司市	一、〇四二	五二三	四八五	二七四	四三六	二三五	一七七	一〇一	二八二	一三六	一五五	八四	三二四	一五二	一五三	八九	一、〇六八	五九一
直方市	四九九	二三〇	一九六	一〇九	二一八	九一	六一	三五	一二八	六一	六七	三八	一五三	七八	六八	三六	四八九	二三八
飯塚市	三七〇	一八一	一七二	一〇〇	一五一	七八	六六	三八	一一三	五〇	四六	二五	一〇六	五三	六〇	三七	三五五	二〇一
佐賀市	四四四	二三六	二一四	一二一	一七五	九七	七二	三八	一三〇	七〇	六八	四二	一三九	六九	七四	四一	四三三	二七七
唐津市	三〇七	一六二	一五四	八八	一四一	七七	五四	三一	九〇	四二	五四	三〇	七六	四三	四六	二七	二五五	二二六
長崎市	一、八三八	九四六	八九九	四八九	七八九	三九一	三一六	一八二	四九二	二四六	三一七	一六六	五五七	三〇九	二六六	一四一	一、七五〇	一、〇三二
佐世保市	一、六四二	八七三	七四四	三九四	七一五	三六六	二七四	一四六	四五一	二五二	二二九	一一五	四七六	二五五	二四一	一三三	一、五三三	七五一
熊本市	一、六三八	八一八	七七二	三八八	六七七	三四二	二九一	一四二	四八〇	二四四	二三三	一一五	四八一	二三二	二四八	一三一	一、四七〇	九六〇
大分市	五五〇	二七七	二九六	一七六	二〇八	一一五	九五	五六	一五五	七九	一〇五	七一	一八七	八三	九六	四杋	五三三	三一七
別府市	五八七	二九七	三四五	一八一	二四七	一二一	一三五	六八	一六二	九〇	一〇〇	五四	一七八	八六	一一〇	五九	五四〇	四三四
中津市	二九四	一三五	一三二	六七	一〇四	四六	四五	一八	八五	四〇	五一	三三	一〇五	四九	三六	一六	二六八	一四〇
宮崎市	五七四	二九一	二四八	一三六	二五八	一二三	九〇	五四	一五四	八一	八〇	三八	一六二	八七	七八	四四	五六一	二九八
都城市	七三〇	三六六	二四一	一一七	二九一	一五〇	九七	四七	二一三	一〇五	七二	三一	二二六	一一一	七二	三九	三八一	一七九
延岡市	八三八	四一二	三四一	一八二	三三六	一六五	一一〇	六〇	二三一	一一三	一二二	六四	二七一	一四四	一〇九	五八	五二三	二五九
鹿兒島市	一、四七五	七四一	七〇八	三七九	六五二	三一二	二六六	一四九	三八〇	二〇二	二三〇	一二二	四四三	二二七	二一二	一〇八	一、三八三	七八四
那覇市	二九八	一五〇	一八五	八四	一二二	六二	五九	二六	七七	三九	五八	三〇	九九	四九	六八	二八	三一三	二六四
首里市	九七	四五	七一	三四	三六	一七	三二	一八	三二	一五	二六	一五	二九	一三	一三	三	八九	一〇〇

(註)　市ハ昭和十二年首現在トス

昭和十二年一月一日以降三月末日マテニ市ノ區域ニ變動ヲ來シタルモノ左ノ如シ

千葉市ニ千葉郡蘇我町、都村、都賀村、檢見川町ヲ編入(二月十一日)

銚子市ニ海上郡高神村、海上村ヲ編入(二月十一日)

鳥取市ニ氣高郡賀露村ヲ編入(二月十五日)

名古屋市ニ愛知郡下之一色町、西春日井郡庄内町、萩野村ヲ編入(三月一日)

下關市ニ豐浦郡長府町ヲ編入(三月二十六日)

○陸海軍

◉退役編入　海軍豫備中尉須彌業平、同安藤忠一ハ去月一日、同豫備機關大尉下野鳳二ハ同九日、同豫備中尉池田勝三ハ同十二日、同中島幸之進ハ同十五日、同豫備機關中尉山田貞三ハ同二十五日、同豫備少尉中原富自來ハ同二十八日、同豫備中尉中川伊助ハ同二十九日孰モ退役ト爲レリ(海軍省)

◉卒業證書付與　歩兵第二十八聯隊ニ於テ去月二十四日陸軍歩兵上等兵山本正文(北海道)ニ蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ(陸軍省)

○學事

◉講師囑託　東京工業大學ニ於テ去月三日武藤直顯、鈴木鈴馬ニ孰モ本學年間本學講師ヲ囑託セリ(文部省)

◉歌詞及樂譜採用認可　小學校唱歌用歌詞及樂譜採用方左ノ通認可セリ(文部省)

申請者	歌詞及樂譜	採用小學校	認可年月日
東京府知事	向島曳舟尋常小學校校歌 山田千之作歌 福井直秋作曲	東京市向島曳舟尋常小學校	昭和十二年九、二〇
長崎縣知事	楠栖尋常高等小學校校歌 筒井一夫作歌 淺山稔作曲	北松浦郡楠栖尋常高等小學校	同

◉奬勵金交付　文部省ニ於テ昭和十二年度科學研究奬勵金ノ交付ヲ爲スモノ左ノ如シ(文部省)

研究題目	被交付者	
自然科學ノ部		
女性性器癌ノ放射線療法研究	東京帝國大學教授	白木正博

研究題目	被交付者	
聽性瞳孔反射ニ關スル實驗的研究	同	増田胤次
寒冷液ガ齒牙及ビ其ノ支持組織ニ及ボス影響ニ就テノ實驗的研究	同	金森虎男
濕成電氣銅製錬ニ關スル研究	東京帝國大學助教授	平社敬之助
電弧放電現象ニ關スル研究	同	福田節雄
糖類ノ研究	東京帝國大學教授	久保田勉之助
日本産フグ類ノ分類學的研究	東京帝國大學助教授	田中茂穗
本邦産重要鑛物ノ比重測定	同	伊藤貞市
燐酸酵素ト化骨トノ關係	東京帝國大學教授	田中丑雄
稻熱病菌ノ餅病菌等ノ代謝生産物ノ研究	東京帝國大學助教授	住木諭介
結核ノ化學的療法ニ於ケル金製劑ノ金分子ノ意義ニ就テ	傳染病研究所所員	佐藤秀三
疑ハシキ食品ニ於ケル腸チブス菌及ビ赤痢菌ノ繁殖防止並ニ其ノ殺菌方法ニ關スル研究	傳染病研究所技師	遠山結三
非酸化鑛物類ノ石鹼浮選並ニ夫ニ及ボス各種藥イオン等ノ影響ニ關スル基礎的研究	京都帝國大學助教授	金澤一雄
酸化還元電壓測定ニ對スルポーラログラフ法ノ應用	同	館勇
アルミニウム銀合金ノ熱處理硬化性ニ及ボス少量ノ諸元素ノ影響	化學研究所所員	宇野傳三
種子休眠ノ現象並ニ發芽促進法ノ研究	東北帝國大學助教授	岡田要之助
廻轉對陰極型X線管球ノ製作並其性能研究	同	枝木勇雄
乾電池ニ關スル研究	東北帝國大學教授	伏屋義一郎
内燃機關用高速指壓計ノ研究	同	前川道治郎
腦ノ形態學及組織發生學並ニソノ實驗的研究	九州帝國大學教授	平光吾一
抗酸性菌ノ發育因子ニ關スル研究特ニ發育促進物質ニ就テ	同	戸田忠雄
本邦産チタン鐵鑛又ハ砂鐵ヨリ鐵及チタン酸ノ回收	同	井上克己
建築音響學ニ關スル研究	九州帝國大學助教授	平山嵩
殺生菌領域ニ於ケル耐病性ニ關スル研究	同	吉井甫
九州地方霞並ニ斑點山椒魚類ノ研究	同	小山準二
熱帶地域ノ農業經濟地理學的研究就中南亞細亞熱帶農業ト日本國民經濟トノ聯關ニ就テ	同	伊藤兆司
稻ノ胚養生成並ニ稔實ニ及ボス低溫ノ影響	北海道帝國大學助手	酒井寛一
水稻ノ生育期ト耐寒性トノ關係ニ就テ	同	高杉成道
含方鉛鑛々床中銀ノ賦存狀態	北海道帝國大學教授	福富忠男
7-Methoxy-5.Oxyauthoxanthidin ノ合成ニ就テ	同	杉野目晴貞
神經系疾患中間新陳代謝及其治療ニ就テ	大阪帝國大學教授	布施信良
CO中毒ノ病理並ニ解毒ニ關スル研究	同	木下良順
海綿中ノ沃度蛋白質ニ關スル研究	大阪帝國大學助教授	赤堀四郎
消化管ノ運動	新潟醫科大學助教授	藤原武
本邦氣候ノ冷却度ニ關スル研究	岡山醫科大學教授	緒方益雄
アレルギーノ全身ニ對スル影響ノ研究	千葉醫科大學教授	馬杉復三
乳汁分泌ニ關スル研究	長崎醫科大學教授	北條春光
血液型ニ關スル研究	熊本醫科大學教授	池上五郎
早發性癡呆(精神乖離症)ノ病因及ビ病理ニ關スル生物學的研究	名古屋醫科大學教授	杉田直樹
ヴイタミン並ニホルモン類ノ合成研究	東京工業大學助教授	星野敏雄
各種建築材料ノ光學的性質ニ關スル研究	同	清水定吉
無脊椎動物ノ所謂「肝臟」「肝膵臟」ノ機能ト構造	東京文理科大學教授	高槻俊一
椰子油脂肪酸ノ利用ニ關スル研究	東京文理科大學助教授	石川清一
外力特ニ伸張力ニヨル金屬結晶ノ變形ニ就テ	廣島文理科大學教授	藤原武夫
中生層ノ層位學的研究	廣島高等師範學校教授	仲佐貞次郎
ラマン効果研究	東京女子高等師範學校教授	林太郎
本邦産棘皮動物ノ發生ト遺傳	奈良女子高等師範學校教授	小野田勝造
馬ノ野蒜中毒症ノ研究	盛岡高等農林學校教授	菊池賢次郎
鹿兒島地方ニ於ケル常綠果樹(柑橘及枇杷)ノ根群ノ活動ニ關スル研究	鹿兒島高等農林學校講師	中村三七郎
絹絲紡績法ニ依ル人造纖維紡績ニ於テ製綿及前紡工程ノ大部分ヲ省略シ得ル人造纖維ヲ製造スル方法	上田蠶絲專門學校助教授	香山清和
施肥量並ニ肥料成分ノ形態ノ相違ガ桑樹ノ生育蠶作及ビ繭質ニ及ボス影響ニ就テ	東京高等蠶絲學校教授	吉田諒誠
家蠶化性變化ノ生理學的研究	京都高等蠶絲學校教授	三浦英太郎
鑛毒被害土壤ノ研究	鳥取高等農業學校助教授	細田克己
米ノ搗精、精選並研磨ニ關スル研究	三重高等農林學校教授	河合準人
木材ノ光澤ニ關スル研究	宇都宮高等農林學校助教授	宇野昌一
栗ニ關スル研究 一「栗ノ品種造成ニ關スル研究 二「栗ノ性態殊ニ雌雄花ノ生成及剪定ノ理論ノ研究 三「栗ノ菌根ニ關スル研究	宮崎高等農林學校助教授	松原茂樹
日照時間ノ長短ト開花原理ニ關スル實驗的研究	千葉高等園藝學校教授	江口庸雄
本邦ノ鳥類ニ於ケル消火器系統及ビ生殖器系統ノ比較解剖學的研究	東京高等農林學校教授	大澤竹次郎
糖類ノ研究、メチール糖類ノ脱メチール化反應ニ就テ	京都高等工藝學校教授	荒木長次
ベンチユリ計ノ實驗的研究	熊本高等工業學校教授	波多野七郎
航空發動機用冷却液エチレングリコールノ冷却液トシテ重要ナル性質(熱傳導率、比熱、粘性)ノ溫度影響決定	桐生高等工業學校教授	田村民平
飛行機ノ手放飛行ノ可能性並ニソノ安定性ニ關スル研究	横濱高等工業學校教授	近藤政市
高壓磁石發動機及航空機ニ使用スル電氣計器ノ研究	廣島高等工業學校助教授	矢幡源三
コンクリートノ力學的性質ニ關スル研究	金澤高等工業學校教授	大市榮太郎
木材ノ熱傳導率ニ及ボス水分ノ影響	仙臺高等工業學校教授	吉澤幸雄
微粉炭ノ處理	明治專門學校教授	小川淸
消音器用音響濾波器又ビバツフルノ研究	濱松高等工業學校教授	白川壽美男
陽極反應ノ研究 過硫酸ノ電解製成及亞硫酸ノ電解	徳島高等工業學校教授	松田亮一
シヤルピー式引張衝擊試驗片ニ關スル研究	長岡高等工業學校教授	小山健藏
陰極線ニ因ル螢光ノ研究	山梨高等工業學校助教授	佐々木高安
高周波ニ於ケル鑛物、岩石、土壤ノ誘電率並導電率測定	秋田鑛山專門學校助教授	門脇又男
「ヴイタミン」ノ齒牙及骨組織發育ニ及ボス影響並齒牙組織ニ分布スル神經ノ病理組織學的研究	東京高等齒科醫學校校長	島峰徹
石蒜アルカロイド一成分ノ構造研究	富山藥學專門學校教授	三橋監物
加熱殺菌溫度時間ノ變化ニ依ル罐詰内容物ニ及ボス影響	函館高等水産學校助教授	若松三郎
靜岡縣伊豆地方ノ地質及鑛床ノ成因	第一高等學校教授	坪谷幸六

結晶格子ノ變換ニ關スル研究	第二高等學校教授	庄司彥六
ウマノアシガタ科竝メギ科植物ノ形態學的研究	第四高等學校教授	熊澤正夫
火山植物ノ生態ニ關スル研究	第五高等學校教授	淺井東一
有機化合物ノ構造ト物理的性質トノ關係	第六高等學校教授	山岡望
セルベリンノ誘導體竝ニ夫等ノ酸化ニ關スル研究	第七高等學校造士館教授	松原多摩喜
X線ニヨルコロイドノ研究	第八高等學校教授	水野義男
日本產有節類ノ系統學的研究	新潟高等學校教授	江村重雄
瀨戶內海地方ノ花崗岩ノ構造研究	松山高等學校教授	森下正信
魚類ノ體色變化ニ關スル生理學的研究及湖沼ニ於ケル「ゴカイ」類ノ生態及生理學的研究	水戶高等學校教授	三好晋
X線ニ依ル物質ノ研究	佐賀高等學校教授	宮本梧樓
地衣植物ノ生理生態的研究	東京高等學校教授	天羽良司
植物染色體ノ研究	大阪高等學校教授	杉浦寅之助
電磁波ニ依ル分子極性ノ研究	靜岡高等學校教授	麻生武雄
土佐中生層及ビ古生層ノ岩石學的研究	高知高等學校教授	山內信雄
淡水產藻類ノ研究	姬路高等學校教授	楠正貫
海產藻類ノ生化學的研究(第三)	廣島高等學校教授	日比野祐
運動家ノ壽命竝ニ健康狀態	體育研究所技師	吉田章信
萬國共同緯度觀測所ニ於ケル觀測結果ノ綜合的研究	緯度觀測所技師	木村榮
短波長電波傳播速度ノ研究	測地學委員會技師	宮地政司
重力偏差ノ變化ニ關スル研究	中央氣象臺囑託	川畑幸夫
惡性腫瘍ニ對スル實驗的化學療法	京都府立醫科大學教授	梅原信正
氣體ヲ分散相トスル分散系ノ研究	浪速高等學校教授	山崎堅一郎
土壤ノ地學的研究	府立高等學校教諭兼教授	保柳睦美
ランビール氏括約輪狹窄ニ依ル刺戟ノ强サト時間トノ關係ニ關スル研究	慶應義塾大學醫學部助教授	久保秀雄
固體吸濕劑ノ濕氣擴散率ニ及ボス含濕率ト溫度トノ影響ニ就テ	早稻田大學理工學部助教授	宮部宏
蛋白質ト糖質トノ結合ニ關スル研究	日本大學醫學科教授	志賀直
アスコルビン酸(ヴイタミンC)ノ生化學的研究	東京慈惠會醫科大學教授	永山武美
栽培地ヲ異ニセル水稻ノ發育ト米質トノ關係	東京農業大學教授	三浦肆玖樓
トラコーマニ對スルX線放射後ノ病理的變化ト其治効ニ就テ	日本醫科大學教授	中村康
有機アンチモン鹽ノ研究	東京藥學專門學校教授	內藤多喜夫
日本民族ノ毛小皮ノ研究	九州醫學專門學校教授	布施四郎
結核菌類ノコレステリン代謝ニ就テ	昭和醫學專門學校教授	湯澤龍兒
コイコーゼノ本態ニ關スル實驗的研究	東京女子醫學專門學校教授	佐藤清
澱粉ノ構造ニ關スル研究	武藏高等學校教授	都築洋次郎
ウキルソン霧箱ニ依テ强γ線ノエネルギー決定竝ニ高速電子ニ關スル實驗	甲南高等學校教授	西田外彥
金屬薄膜ノ光學的性質	成蹊高等學校教授	金光正道
微生物ニ由來スル熱帶乃至亞熱帶病ノ研究	船員病及熱帶病學獎勵會常務理事	桂田富士郎
精神科學ノ部		
中世ニ於ケル古典尊重ノ研究	東京帝國大學教授	平泉澄
日本神道史	東京帝國大學講師	小林健三

東洋政治思想(王道ト皇道トノ比較ヲ中心トシテ)	東京帝國大學教授	高田眞治
日本上代文化ノ研究	京都帝國大學囑託	富田泰一
我ガ國體ノ歷史的竝ニ哲學的研究ニ基ク日本國民經濟學ノ研究	京都帝國大學教授	石川興二
日本民族ノ構成ト其ノ推移ニ關スル史實ノ研究	東北帝國大學講師	喜田貞吉
日本精神史ニ於ケル世界觀ノ發展	九州帝國大學教授	四宮兼之
古典ニ現レタル日本上代ノ財政經濟生活ト財政經濟思想ノ研究	同	三田村一郎
皇國國家學及皇國憲法學建設	九州帝國大學助教授	佐治謙讓
北海道漁村ノ精神文化	北海道帝國大學豫科教授	和田穎純
德川時代ニ於ケル獨逸文化ノ我ガ國精神文化ニ及ボセル影響	長崎醫科大學藥學專門部教授	小澤敏夫
修養教育	東京文理科大學助教授	加藤仁平
國民精神發達史上ニ於ケル聖德太子信仰ノ研究	廣島文理科大學助手	小倉豐文
日本憲法史ノ研究	東京高等師範學校教授	稻田正次
日本美術ニ於ケル民族性風土性ノ研究	東京高等師範學校助教授	木代修一
平安朝文學ニ於ケル唐文學特ニ白氏文集ノ醇化攝取ニ關スル研究	東京女子高等師範學校講師	金子彥二郎
詩經ノ研究	奈良女子高等師範學校教授	伊藤惠
農村社會生活ノ特異性ニ關スル研究	三重高等農林學校教授	中野清作
我ガ國ニ於ケル農業ニ關スル祭祀ニ就テノ研究	同	岡晋智
我ガ國兒童ノ道德性ノ發達ニツイテ	東京農業教育專門學校教授	青木誠四郎
大友宗麟ノ海外發展ニ關スル研究	大分高等商業學校教授	田北學
我ガ民族ノ日本的性格ニ關スル研究	彥根高等商業學校教授	小關紹夫
我ガ國ニ於ケル公論統治ノ歷史的研究	和歌山高等商業學校講師	大石義雄
日本近世科學史ノ研究	橫濱高等商業學校生徒主事補兼助教授	富成喜馬平
富山縣生產物配給上ニ於ケル共同施設ニ現ハレタル鄉土性(地方民ノ氣質習性等)	高岡高等商業學校教授	向井梅次
日本工業教育史	名古屋高等工業學校教授	谷口英
我ガ國社會經濟思想竝ニ社會制度及ビ夫等ニ現ハレタル日本精神ノ研究	第四高等學校教授	犬丸秀雄
日獨民族精神ノ比較研究	第六高等學校教授	大本琢壽
加茂別雷神社ニ於ケル祭禮慣行	第七高等學校造士館教授	兒玉幸多
日本文樣史ノ研究	第八高等學校教授	鼓常良
部曲ノ研究	新潟高等學校教授	潮田富貴藏
戰國時代ヨリ江戶時代初期ニ至ル武士ノ道德思想殊ニ國家觀念及ビ主從觀念ノ發達ニ就イテ	松山高等學校教授	植村清二
水戶藩文學ニツイテノ研究	水戶高等學校教授	市野澤寅雄
文藝ニ現ハレタル刀劍尊重ノ日本精神	東京高等學校教諭兼教授	小池藤五郎
日本民謠ノ研究	浦和高等學校教授	藤田德太郎
我ガ國精神文化ニ及ボセル上代支那文學思潮ノ研究	靜岡高等學校教授	澤口剛雄
近世ニ於ケル播州諸藩ノ治績ノ研究	姬路高等學校教授	原田虎男
能樂ニ現レタル日本精神	廣島高等學校教授	新關長英
明治維新ニ於ケル鄉土ノ勤王事蹟及ビ勤王精神ノ研究	維新史料編纂事務局囑託	原平三
幕末ニ於ケル國體觀念ノ覺醒ト明治維新ノ成立	維新史料編纂事務局編纂官補	高倉永輝
日本文化ノ發展ト國體觀念	國民精神文化研究所所員	志田延義

日本社會ノ基礎構成ト日本精神	大阪商科大學助教授	關榮吉
上杉鷹山公ノ研究	橫濱市立橫濱商業專門學校教授	安彥孝次郎
儒教ニ於ケル祭祀ノ研究	富山高等學校教諭兼教授	下斗米晟
我ガ國體及政體ノ特徵	府立高等學校教授	正木廣秀
日本美術ノ本質研究	京都市立繪畫專門學校教授	中井宗太郎
平安時代公家ノ精神史的研究(特ニ公家ノ日誌ヲ中心ニ)	廣島女子專門學校助教授	小島小五郎
萬葉集ニウカガハルル外來文化ノ影響(佛教文化ノ影響ヲ中心トシテ)	長野縣女子專門學校教授	山田ひさ江
日本觀ノ問題	慶應義塾大學助教授	守屋謙二
德川時代ニ於ケル儒教思想ト日本精神トノ交涉	早稻田大學高等師範部教授	松永材
外國史料ヨリ見タル明治維新史ノ研究	明治大學教授	松崎實
易ノ哲學及道德原理ト日本精神(特ニ生生思想ヲ中心トセル兩者ノ關係)	中央大學講師	鈴木由次郎
皇室ニオケル儒學崇獎ノ御事蹟ニ關スル研究	日本大學講師	伊藤千眞三
祭祀ト國民生活ノ問題	國學院大學講師	小野祖教
封建時代ニ於ケル國民道德思想ノ發展	同志社大學豫科教授	二宮源兵
中世ニ於ケル佛教ノ庶民教化	龍谷大學專門部講師	宮崎円遵
日本國體科學上ヨリ見タル財政及經濟問題	立命館大學教授	大谷政敬
國民主義經濟學原理	關西大學專門部教授	古川武
日本文藝學ノ基礎體系	拓殖大學講師	吉田精一
日本精神文化ニ及ボセル禪定思想ノ研究	駒澤大學教授	增永靈鳳
日本經濟倫理ニ及ボス基督教思想影響	青山學院專門部教授	小田信士
佛教ニ於ケル無我思想ノ日本的展開	京都專門學校教授	石堂毅
明治維新ニ於ケル淨土宗僧侶ノ勤王運動特ニ京都寺院ヲ中心トシテ	佛教專門學校講師	佐藤密雄
日本宗教思想ト他宗教史トノ比較研究	巢鴨高等商業學校教授	大島清
日本書紀ト古事記トノ神代卷比較研究	日本女子大學校講師	橋純一
俳諧ニ於ケル敬神敬佛思想ノ研究	東京女子大學講師	荻原芳之助
外來思想文化ノ日本的組織ニ關スル歷史的研究	千代田女子專門學校教授	石津照璽
國體思想史ノ研究特ニ古代思想トソノ學史ヲ中心トシテ	日本文化協會研究部員	荻原淺男

◉內國保險會社事業成績　內國保險會社昭和十二年六月中ニ於ケル事業成績大要左ノ如シ(單位千圓)(△印ハ減)(商工省)

保險種類	會社數	新契約及其他ノ增加 件數	新契約及其他ノ增加 金額	增減比較 前年同月ト比較 件數	增減比較 前年同月ト比較 金額	增減比較 前月トノ比較 件數	增減比較 前月トノ比較 金額	消滅契約及其他ノ減少 件數	消滅契約及其他ノ減少 金額	月末現在契約 件數	月末現在契約 金額
生命	三三	一七四、九〇八	三〇八、八〇六	二〇、六七八	四〇、〇七五	一九、六七八	三三、二三四	六六、五四三	九七、八五一	九、八二二、三四二	一四、四八八、五二六
徵兵	四	四三、七七五	三四、七一八	一一、六九四	一〇、四二五	一〇、二七七	九、一四七	一五、五二〇	一〇、七八五	一、八八八、四六九	一、三二〇、三〇七
傷害	一三	一六、一八三	三八、五六三	三、六一七	九、四八一	一、五五八	△一、〇六一	一五、〇六七	三三、〇五二	一二四、六四二	二三四、一八八
火災	四七	二、三〇三、四〇三	五、九三四、二七〇	△一四四、五九五	八二一、〇三九	七〇二、三一五	一、〇四八、五二八	二、二六五、五九八	五、五一一、一六四	一八、一三九、七七二	三八、〇二二、六一〇
海上	三四	五四八、二一三	二、〇九八、四六一	△七、九八八	五〇五、七三五	二、〇〇七	△五五、二五二	五三〇、七五八	一、九七六、一八六	一、〇七七、一七二	四、五四一、六五二
運送	三一	一七七、三六一	六九四、二四四	△一一、二三六	△三六、〇一六	△二六、一五八	△三四、八三九	二〇一、一四三	六九九、〇六一	八六、六三一	四三一、八三七
信用	五	六三六	九五九	三二	一〇五	二五八	一四三	六五二	八九四	四、四八〇	一一、六五〇
汽罐	一	二〇二	六二七	三五	九五	九	△二三二	一七一	五四八	一、九四七	五、七四五
自動車	一〇	一六、四一三	一五、七〇七	二、三八八	八九四	五、二七八	一九二	一一六七〇	一一、〇〇六	一三三、二六六	一三〇、三一二
盜難	五	八九四	二、六二一	六八	二一五	七六六	一、三五四	七一五	三、三二七	三、四五八	九、八九二
硝子	三	五三	四一	六	二五	五	二一	五一	一九	五〇七	三二七
航空	一	一	二七	一	二七	一	二七	一	一	一	二七

(備考) 本表ニ於ケル會社數ハ各種保險ノ新契約及其他ノ增加、消滅契約及其他ノ減少又ハ月末現在契約ヲ有スル會社數ヲ示スヲ以テ事業ノ免許ヲ受ケタル會社ニテモ此等ノ契約數ナキモノハ之ヲ算入セス而シテ事業ノ免許ヲ受ケタル會社數ハ本月末ニ於テ海上保險ニ在リテハ四〇、運送保險ニ在リテハ三四、盜難保險ニ在リテハ七、航空保險ニ在リテハ四、傷害保險ニ在リテハ一四ニシテ他ノ保險種類ニ在リテハ本表ニ於ケル會社數ト同シ　徵兵保險及汽罐保險ヲ除ク他ノ保險種類ノ契約高ハ再保險ニ付シタルモノヲ控除セサル各會社ノ總契約高ノ合計ヲ示ス故ニ甲會社カ乙會社ニ對シ再保險ニ付シタル契約高ハ甲乙兩會社ノ契約高ニ含マル、ヲ以テ本表ニ於ケル契約高中ニハ再保險ノ契約高ハ重複セリ

○宗教

◉御嶽教管長就職　御嶽教管長缺員ノ處今般渡邊銀治郎管長ニ就職ノ儀願出ニ依リ本月一日之ヲ認可シ同人ノ管長事務取扱ヲ解キタリ(文部省)

◉日蓮正宗管長就職　日蓮正宗管長水谷日隆辭職ニ付鈴木日恭後任管長ニ就職ノ件本月一日認可セリ(文部省)

○產業

◉補助金交付　山口縣ニ對シ繭檢定施設費補助金トシテ昭和十二年度ニ於テ金一萬六千十九圓ヲ交付スル旨本月二日指令セリ(農林省)

◉鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ(商工省)

登錄番號		鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	處分月日
採掘許可						
膽振採登	五六	白老郡白老村	硫黃	九六三、〇〇〇坪	東京市京橋區銀座六丁目三番地一三銀鑛館內 白老硫黃鑛業株式會社	十二年七、五
秋田同	四二七	仙北郡雲澤村、中川村	金、銀、銅、鉛、亞鉛	七一一、一〇〇	秋田縣鹿角郡小坂町小坂鑛山字尾樽部五四番地 代表者 日吉 平吉 外一人	七、七
福島同	三八〇	相馬郡上眞野村	亞炭	一二、六〇〇	仙臺市東二番丁五〇番地 戸田 ゑなよ	七、一
福井同	一〇五	大野郡 五箇村、下穴馬村	石炭	八〇七、三〇〇	福井縣大野郡大野町東二番四五番地 田嶋鑛業株式會社	七、五
島根同	一一三	邇摩郡久利村	石膏	一五、〇四四	大阪市西區立賣堀北通一丁目一〇番地 大日本石膏工業株式會社	七、一
福岡同	一、二八五	嘉穗郡稻築村	石炭	八〇、八七〇	福岡縣嘉穗郡稻築村大字山野一六八八番地 西田 隆男	八、五
山口同	四九七	豐浦郡 楢崎村、岡枝村	金、銀、銅、砒	一二六、〇〇〇	同縣糸島郡怡土村大字井原一二六六番地 代表者 古藤 米吉 外一人	六、九
佐賀同	四二五	小城郡牛津町、砥川村、芦刈村	石炭	八四二、八五〇	東京市麴町區丸ノ內二丁目一八番地 東杵島炭礦株式會社	八、四
增區許可						
福井採登	四〇	南條郡北杣山村	銀、鉛、亞鉛、硫化鐵	八二、二三〇	福井縣南條郡神山村松森第二四號九番地 樫尾長右衞門	四、二
三重同	一二二	南牟婁郡 入鹿村、上川村	金、銀、銅	五七六、四〇〇	神戸市神戸區海岸通二丁目三〇番地 石原產業海運株式會社	八、一四
福岡同	一、二七五	嘉穗郡稻築村	石炭	二三三、三九〇	東京市麴町區丸ノ內二丁目二〇番地ノ一 日本炭業株式會社	七、一四
同	一、二三七	糟屋郡 宇美町、須惠村、志免村	同	一二八一、七六一	福岡市極樂寺町三五番地 中島 德松	七、二六
長崎同	五四五	北松浦郡 福島村、今福町、佐賀縣 西松浦郡山代町	同	一四二三、五〇〇	宇部市大字小串一九八〇番地 沖ノ山炭鑛株式會社	八、五
鑛種名更正許可						
岩手採登	二四五	和賀郡 澤內村、仙北郡長信田村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、石膏	三三〇、七五〇	秋田縣仙北郡六鄕町六鄕字荒町六番地 小西 武三郎	七、五
同	三〇一	和賀郡 湯田村、岩崎村	金、銀、銅、鉛、亞鉛	四九五、〇〇〇	東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地 三菱鑛業株式會社	七、六
宮崎同	一九	西臼杵郡岩戸村	金、銀、銅、鉛、錫、亞砒	五四、五九一	同市赤坂區榎坂町一番地 東洋鑛山株式會社	七、六
同	五〇	東臼杵郡東鄕村	金、銀、銅、亞鉛、錫、砒	一五六、二〇〇	愛媛縣西宇和郡伊方村ノ內中浦甲二三九番地 增原 嘉一郎	四、一二
同	七五	西臼杵郡岩戸村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、錫、重石、砒	三二八、三〇〇	東京市麴町區內幸町一丁目七番地 岩戸銅山株式會社	八、一四
同	九一	同	金、銀、銅、鉛、錫、亞砒	六八六、〇〇〇	同市赤坂區榎坂町一番地 東洋鑛山株式會社	七、六
同	九二	同	同	五〇九、四七一	同 上	七、六
同	八八	同	同	一一、八四〇	同 上	七、六
大分同	一七二	速見郡立石町	金、銀、安質母尼	五六、三九〇	福岡縣遠賀郡中間町中間二、三一八番地 岩崎 壽喜藏	七、一九
鑛區稅不納ニ付採掘權取消						
栃木登錄	一二一	芳賀郡益子町	滿俺	五、七四〇	栃木縣河內郡明治村 代表者 石和 萬藏 外一人	六、一八

◉砂鑛業事項　砂鑛法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ(商工省)

登錄番號		鑛區所在地	鑛種	面積	砂鑛權者住所氏名	處分月日
採取許可						
石狩砂登	四二〇	雨龍郡沼田村	砂金、砂白金	一六、五五〇坪	北海道北見國常呂郡端野村市街地 村口 靜子	十二年七、七
同	四二一	同	同	七、五七〇	同 上	七、七
同	四二二	同	同	三、八三〇	同 上	七、七
同	四二三	同	同	五、七八〇	同 上	七、七
同	四二四	同	同	三一、九七〇	同 上	七、七
同	四二五	同	同	一六、一八〇	同 上	七、七
同	四二六	同	同	五、七四〇	同 上	七、七
同	四二七	同	同	一八、八八〇	同 上	七、七
同	四二八	上川郡上川村	砂金	九、八〇〇	同石狩國上川郡上川村ルベシベ三四線南二〇番地 大方 德体	七、一七
同	四二九	空知郡南富良野村	同	一、三四、三五（里町間）	樺太眞岡郡眞岡町大字眞岡字榮町一丁目五番地 田中 直吉	八、二
同	四三〇	雨龍郡幌加內村	砂金、砂白金	二一四、〇〇〇坪	札幌市南三條西一二丁目一九番地 中本 イヨ	八、七
渡島同	四五	上磯郡知內村	同	一、一四、〇一（里町間）	函館市船見町七〇番地 代表者 松村 長一郎 外二人	八、九
同	四四	同	同	一、一六、三六	同 上	八、九
北見同	四三二	紋別郡興部村	砂金	一四、六〇〇坪	札幌市南五條西一一丁目一〇三一番地 吉野 弘二	七、三一
日高同	九六	沙流郡平取村	同	一、二六、四二（里町間）	東京市豐島區駒込三丁目三九七番地 南部 純一郎	七、一
同	九七	浦河郡荻伏村	砂金、砂白金	一、二八、五〇	北海道日高國靜內郡靜內町字目名 代表者 守山 與廣 外一人	七、一三
同	九八	沙流郡平取村	砂金	一、三四、二〇	東京市豐島區駒込三丁目三九七番地 南部 純一郎 外一人	八、二
同	九九	同	砂金、砂白金	一、〇〇、五七	札幌市南一條西二丁目一三番地 片岡 信次郎	八、二

登錄番號		鑛區所在地	鑛種	面積	砂鑛權者住所氏名	處分月日
後志同	六七	瀬棚郡利別村	同	六六、四三〇坪	東京市王子區稻付町四丁目五一八番地 森 輝	七、二七
同	六八	同	同	六一八、五〇〇	同市牛込區市ヶ谷仲之町一〇番地 中島 門吉	八、九
膽振同	七〇	有珠郡德舜瞥村	砂金	一、二四、一〇（里町間）	札幌市北二條東七丁目八番地 代表者 進藤 竹治郎 外二人	七、一四
天鹽同	五七八	苫前郡初山別村	砂金、砂白金	一、〇一、四〇	北海道天鹽國苫前郡羽幌町字マスナイ番外地 田中 鹿之助	七、五
同	五七九	天鹽郡幌延村	同	九、九〇〇坪	同石狩國札幌郡藻岩村大字圓山村一七四番地ノ二 片岡 唯一郎	七、一二
同	五八〇	同	同	九、五〇〇	同 上	七、一二
同	五八一	同	同	九、五〇（町間）	札幌市南大通西一六丁目一番地 豐田 義明	七、一二
同	五八二	同郡遠別村	砂金	一、二一、一〇	旭川市上常盤町二丁目 中島 ハナ	七、二七
同	五八三	同郡幌延村	砂金、砂白金	一七、五〇〇坪	同市一條通二丁目右一號 昭和クローム鑛業株式會社	七、三一
同	五八四	上川郡溫根別村	同	八、〇〇〇	北海道天鹽國上川郡溫根別字犬牛別五線 中村 淸吉	七、三一
同	五八五	同	同	八、五〇〇	同 上	七、三一
同	五八六	同	同	一七、〇〇〇	同 上	七、三一
宮城同	四二	石卷市	砂鐵	四〇、五〇〇	石卷市南鰐山四三番地 代表者 高橋 寅太郎 外一人	七、六
同	四三	同	同	三七、六〇〇	同 上	七、六
同	四四	同	同	六一、七〇〇	同 上	七、六
同	四五	同	同	四一、七〇〇	同 上	七、六
同	四六	同	同	四五、一〇〇	同 上	七、六
同	四七	同	同	四五、一〇〇	同 上	七、六
福島同	九四	伊達郡半田村	砂金	七、二〇（町間）	福島縣伊達郡桑折町字北町五三番地 代表者 早田 喜代松 外一名	六、二三
山形同	五一	西村山郡川土居村、西山村	同	一、二四、〇〇	川崎市京町一丁目一二八番地 代表者 梅垣 越 外一人	七、一四
減區許可						
石狩砂登	三四四	札幌郡藻岩村	砂金	八、一五	札幌市南一五條西六丁目四〇三番地 堀 丁介	六、二八
砂鑛區稅不納ニ付砂鑛權取消						
天鹽砂登	四九五	天鹽郡幌延村	砂金、砂白金	五一、二〇〇坪	北海道石狩國夕張郡夕張町新夕張鑛二五番地 代表者 中山 源市 外一人	八、一〇
同	四九六	同	同	八、二〇〇	同 上	八、一〇
石狩同	三七五	空知郡香江村、上川郡神居村	砂金	二三、二〇〇	旭川市中島日ノ出町二丁目 道德 義一	三、三〇
膽振同	六四	勇拂郡占冠村	砂金、砂白金	一、二九、四〇（里町間）	北海道膽振國勇拂郡占冠中央市街 村山 蕊藏	三、三〇
釧路同	一七	釧路郡昆布森村	同	三八六、六〇〇坪	函館市春日町一九番地 代表者 近藤 伸秀 外一人	七、二四

採取願不許可

出願地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分月日
茨城縣鹿島郡 波崎町、矢田部村	砂金、砂鐵	九九、〇〇〇坪	東京市品川區大崎本町三丁目六三八番地 綠川 泰	十二年八、二
同縣同郡波崎町	同	一〇〇、〇〇〇	同市荒川區日暮里町九丁目一〇三五番地 宮川 豐吉	八、二
同縣同郡同町	砂金、砂鐵、砂錫	三九、九八〇	千葉縣東葛飾町小栗原二四五番地 小菅 重信	八、二
同縣同郡同町	砂金、砂鐵	一〇〇、〇〇〇	東京市荒川區日暮里町九丁目一〇三五 宮川 豐吉	八、二
同縣同郡同町、矢田部村	砂金、砂鐵、砂錫	六二、〇〇〇	同市芝區西久保巴町四七番地 安藤 叢	八、二
同縣同郡矢田部村	砂金、砂鐵	九六、〇〇〇	同市澁谷區代々木富ヶ谷一四五六番地 杉 武一郎	八、二
同縣同郡同村	同	九七、五〇〇	同 上	七、二七
同縣同郡波崎町	砂金	五五、〇〇〇	同市蒲田區六鄕町二九五番地竹內五郎方 石橋 喜代	八、二
同縣同郡同町	同	五五、〇〇〇	同 上	八、二
同縣同郡矢田部村	砂金、砂鐵	一〇〇、〇〇〇	同市芝區西久保巴町四七番地 安藤 叢	八、二
同縣同郡 波崎町、矢田部村	同	九九、〇〇〇	同市葛飾區下小松町三〇〇番地 齊藤 佐一	八、二

以上事由　右出願ハ砂鑛業ノ價値ナク且公益ヲ害スルモノト認ムルニ付不許可

○通運

◉電報通數及料金　內地、在外局及各外地ニ於テ取扱タル電報通數及料金左ノ如シ(△印ハ減)(遞信省)

(1) 內地及在外局ノ分(昭和十二年七月分)

區別		通數 發信	著信	合計	前年同期ニ對スル增減數	同上割合	料金	前年同期ニ對スル增減數	同上割合	人口千人當リ發信通數
		通	通	通	通	割	圓	圓	割	通
札幌遞信局管內	內國	四三七、六三四	四一二、三〇四	八四九、九五八	一三八、三四八	一・九五	二〇七、三九二	三六、二〇五	二・一一	一四〇・三
	外國	一、二二七	一、一二四	二、三五一	△一一四	△〇・四六	一三、〇三六	△一、九七一	△一・三一	〇・三
仙臺遞信局管內	內國	三四五、六二二	三五四、二三五	六九九、八五七	一〇七、七一〇	一・八二	一三九、九二五	二八、九八〇	二・六一	四八・九
	外國	一六〇	一二四	二八四	一四六	一〇・五八	一、一二八	六六二	一四・二一	—
東京都市遞信局管內	內國	九八二、三〇七	九七三、八九七	一、九五六、二〇四	三六五、九二四	二・三〇	五一九、九四〇	一三六、〇四〇	三・五四	一一六・二
	外國	四六、一八九	四二、一四九	八八、三三八	二〇、〇一一	二・九三	九六二、四三五	三七五、〇一二	六・三三	三・五
東京地方遞信局管內	內國	四二七、八二九	四六八、二二一	八九六、〇五〇	一四九、七〇一	二・〇一	一六八、八七〇	三七、三九三	二・八四	三六・四
	外國	七九二	七一九	一、五一一	二五一	一・九九	九、九九六	二、〇四三	二・五七	〇・一
名古屋遞信局管內	內國	五三七、〇〇四	五五九、一一三	一、〇九六、一一七	一八〇、八三三	一・九八	二一四、八二〇	四三、四八六	二・五四	五七・九
	外國	四、四六六	三、九五八	八、四二四	一、八〇〇	二・七二	四六、一七一	一一、一六〇	三・一九	〇・五
大阪遞信局管內	內國	一、二九〇、一三五	一、二九五、六五八	二、五八五、七九三	四九七、八六八	二・三八	五七七、八四〇	一一九、〇四〇	二・五九	一〇〇・六
	外國	七三、一九〇	七二、〇六九	一四五、二五九	一九、二九九	一・五三	九一二、〇三一	四〇、四四一	〇・四六	五・七
廣島遞信局管內	內國	六八五、六八〇	六八三、五二九	一、三六九、二〇九	四三一、九七六	四・六一	二八六、九一〇	一〇六、四四五	五・九〇	九一・〇
	外國	一、八三四	一、二二七	三、〇六一	一、五三二	九・九二	一三、四五九	八、九〇五	一九・五五	〇・二
熊本遞信局管內	內國	八七九、三八五	八八六、二六五	一、七六五、六五〇	四二七、二一七	三・一九	三七五、三三一	一〇七、五八五	四・〇二	八六・一
	外國	四、〇六九	二、八三三	六、九〇二	八〇七	一・四六	二三、六八八	六、一九六	三・三四	〇・四

區別		發信	着信	合計	前年同期ニ對スル増減數	同上割合	料金	前年同期ニ對スル増減數	同上割合	人口千人當リ發着信通數
内地計	〃	三〇,三八〇,六一六	三〇,六三三,二〇二	六一,〇一二,八一八	二,二九九,七七七	二・八	二,四九一,二二八	六一五,一七二	三・二八	七九・五
	〃	一三一,九二七	一二四,二〇三	二五六,一三〇	四三,七九四	二・〇六	一,九八一,九八四	四四〇,四四八	二・八六	一・九
在外局	〃	六,〇五三	五,四六一	一一,五一四	三,九五二	三・一九	三八,六六九	一,九七一	一〇・三八	—
	〃	一四,六四四	一三,八八八	二八,五三二	九,三二八	五・〇三	七〇,六六八	三二,四三六	八・四八	—
總計	〃	三〇,三八六,六六九	三〇,六三八,六六三	六一,〇二五,三三二	二,三〇五,七〇九	二・三八	二,四九五,〇九七	六一七,一四三	三・三九	—
	〃	一四六,五七一	一三八,〇九一	二八四,六六二	五三,一二二	二・三〇	二,〇五〇,六五二	四七二,八七四	二・九九	—

（備考）
一、内地ノ内國電報中ニハ日滿電報ヲ含ム
二、内國電報ノ總計中ニハ日滿電報ヲ含ム

(2)外地ノ分（昭和十二年六月分）

區別		發信	着信	合計	前年同期ニ對スル増減數	同上割合	料金	前年同期ニ對スル増減數	同上割合	人口千人當リ發着信通數
		通	通	通	通	割	圓	圓	割	通
朝鮮	内國	六〇八,二八五	六〇二,九三七	一,二一一,二二二	一三二,五一六	一・一五	二七三,四五八	二九,七四二	一・二二	二七・六
	外國	一,〇三八	九七三	二,〇一一	三二	〇・一六	八,二八一	二,七〇一	四・八四	〇・一
臺灣	〃	一二二,二一九	一三〇,七九〇	二五三,〇〇九	一〇,七五三	〇・四四	七〇,二三七	二,六六九	〇・四〇	二三・四
	〃	一,七〇一	一,六七四	三,三七五	八	〇・〇二	一〇,二〇二	八六九	〇・〇九	〇・三
樺太	〃	七四,二一七	六八,一九九	一四二,四一六	七,四七六	〇・〇五	三八,五三一	二,四〇四	〇・〇七	三三三・六
	〃	五	五	一〇	—	—	四二	—	—	—
南洋	〃	一九,二三八	一九,二四七	三八,四八五	九,一三〇	三・一一	一三,八五八	二,五四二	二・四六	一七九・六
	〃	一六六	一三六	三〇二	△ 九二	△三・一三	八八五	△ 六七八	△四・三四	一・六
關東州（滿鐵附屬地ヲ含ム）	日滿	一四五,五八二	一二六,三二七	二七一,九〇九	一〇,二一九	〇・三九	一〇三,四〇〇	六,八九二	〇・七一	八七・九
		（一四六,三三四）	（一四五,六九〇）	（二九二,〇二四）	（三八,三三六）	（一・五二）	（七四,一一二）	（六,四四五）	（〇・九五）	（八八・三）
	外國	一八,〇六六	一七,四三八	三五,五〇四	六,五六一	二・二七	七三,三五一	一八,一一九	三・二〇	一〇・九
外地計	内國	一,一二五,八七五	一,〇九五,一九〇	二,二〇九,〇六五	一九八,六三〇	〇・九九	五七四,六九六	四〇,七一四	〇・九七	三六・九
	外國	二〇,九七六	二〇,一二六	四一,一〇二	六,五〇九	一・八八	九二,八一一	二一,〇九一	二・九四	〇・七

（備考）
一、各外地ノ内國電報中ニハ日滿電報ヲ含ム
二、關東州（滿鐵附屬地ヲ含ム）ノ日滿電報欄中括弧内ハ關東州（滿鐵附屬地ヲ含ム）、滿洲國間發着電報（滿洲内電報）ヲ示ス
三、今次事變ノ影響ヲ受ケ發信、着信共著増シタルモノトス

○慈惠救濟

◉恩賜財團濟生會記事　恩賜財團濟生會東京市内直營各診療機關ニ於テ昭和十二年八月中診療シタル患者ノ概數左ノ如シ

外來往診診療患者數

診療機關別	新患者	再診以上	計
芝病院	一,二二〇	一七,八二一	一九,〇四一
牛込病院	四一四	六,五九七	七,〇一一
乳兒院	三〇八	二,二六一	二,五六九
同附屬齋院	一二五	九七六	一,一〇一
深川診療所	五二三	九,〇五一	九,五七四
深川住吉同	二九六	四,八五六	五,一五二
本所同	二三一	四,八五九	五,〇九〇
淺草同	二六六	四,〇七二	四,三三八
下谷同	二五九	三,九〇三	四,一六二
小石川同	二五一	四,一二一	四,三七二
小計	三,八九三	五八,五一七	六二,四一〇
古石場診療班	一二三	一,二六八	一,三九一
橋場同	六九	九二七	九九六
谷中同	一〇七	一,〇四二	一,一四九
戸崎同	五七	三二九	三八六
白山同	二〇	一三六	一五六
山吹同	五七	七九五	八五二
谷町同	七七	八一四	八九一
旭町同	七二	五九七	六六九
小計	五八二	五,九〇八	六,四九〇
合計	四,四七五	六四,四二五	六八,九〇〇
本年度累計（自昭和十二年四月）	二一,六四一	三〇九,一七二	三三〇,八一三

入院診療患者數

診療機關別	種別	前月ヨリノ越患者	新患者	計	退院者	翌月ヘノ越患者	延人員
芝病院	施療	一四四	一八一	三二五 ×	一三六 一〇	一七〇	五,〇一一
	有償	三五	七八	一一三 ×	七一 四	四〇	一,二〇八
牛込病院	〃	七九	四二	一二一 ×	七〇 四	六一	二,四〇一
	〃	一五	一五	三〇 ×	一四 一	一六	三五六
乳兒院	〃	三六	六四	一〇〇 ×	六〇 一三	四〇	一,二六九
	〃	一三	三〇	四三 ×	三三 七	一〇	四一八
同附屬齋院	〃	一七	△ 八七	一〇四 ×	八八 一	一六	三五四
	〃	一一	△ 三一	四二 ×	四八 —	一四	三六七
計	〃	二八八	三六四	六五二 ×	三九五 三九	二五七	九,二六六
	〃	七三	一六四	二三七 ×	一六七 一〇	七〇	二,四三九
本年度累計（自昭和十二年四月）	〃	三二一	一,七六九	二,〇九〇 ×	一,八〇九 二三六	二五一	四八,八五九
	〃	六八	七九六	八六四 ×	八〇四 三九	七〇	一一,九六〇

（備考）新患者欄ノ△印ハ齋兒ヲ示シ退院欄ノ×印ハ死亡者ヲ再記ス」芝病院翌月ヘノ越患者ノ内桂病室入院患者十五人

巡回看護班　病院及診療所、診療班ニ附屬巡回看護班十三箇班アリ其本月中ノ訪問戸數及取扱件數左ノ如シ（以上内務省）

訪問延戸數　二,九三〇戸　取扱延件數（看護、診療、保健、紹介、交渉等）五,九〇二件

觀象

◉正誤　昨四日本欄卒業證書授與ノ項初行「本月」ハ「去月」ノ誤

同日同生絲消費高ノ項十七行「生絲絲」ハ「座繰絲」ノ誤植

◉初霜

地名	本年初日	昨年比較	平年比較
大臺ヶ原山	十月三日	十二日早シ	五日早シ

◉全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣溫ノ部一印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

十月一日

地名	氣壓（粍）	風向	風速（米）	氣溫（攝氏）	天氣	前日來降水量（粍）
臺北	759.7	東北東	5	31.7	快晴	—
那覇	760.6	北北西	3	28.5	晴	—
鹿兒島	759.1	靜穩	1	25.6	雨	5
高知	759.3	靜穩	0	22.8	曇	5
大分	759.1	靜穩	1	20.0	雨	19
多度津	760.2	東	2	19.5	雨	23
廣島	758.0	北北東	8	18.1	雨	8
大阪	759.9	北	2	20.4	雨	—
長崎	759.0	南南東	7	20.2	雨	21
福岡	759.6	靜穩	0	19.3	雨	7
濱田	759.6	靜穩	0	19.8	曇	—
名古屋	760.0	北北西	9	19.5	雨	20
横濱	761.1	北北西	8	16.5	雨	20
東京	761.3	北北西	5	17.0	雨	16
銚子	759.8	北	14	17.6	雨	20
長野	760.4	西南西	3	18.2	曇	24
前橋	761.9	靜穩	1	17.2	曇	35
宇都宮	760.2	北	2	17.5	雨	29
福島	762.1	靜穩	1	16.2	雨	27
福井	759.9	靜穩	1	19.7	曇	6
新潟	760.8	東	2	18.6	雨	2
秋田	762.1	東南東	3	17.6	雨	15
石巻	762.3	東	2	17.0	雨	16
盛岡	762.8	靜穩	1	16.8	曇	4
青森	762.8	靜穩	1	17.3	雨	1
函館	762.2	南東	2	18.1	雨	—
札幌	763.2	南東	5	16.2	曇	—
旭川	763.0	靜穩	1	12.6	薄曇	—
根室	765.0	南南東	3	13.3	薄曇	—
大泊	762.0	南南西	8	16.0	快晴	—
釜山	760.4	北	6	18.0	曇	5
仁川	761.7	北西	3	22.0	薄曇	—
元山	762.3	東北東	9	21.2	快晴	—
城津	762.6	南	3	19.9	快晴	—
新義州	761.9	北	2	20.8	快晴	—
大連	761.8	南	4	28.1	快晴	—
奉天	761.1	南西	4	22.7	快晴	—
新京	759.0	南西	4	21.6	快晴	—
天津	762.3	南西	2	20.6	快晴	—
青島	—	—	—	—	—	—
上海	762.9	北北西	3	23.0	晴	—

◉東京氣象　十月一日　天氣概況　雨

平均氣壓（海面ノ度）	七六一・三粍	平均雲量	一〇・〇
平均氣溫	一六・八度 平年ヨリ一・八度低シ	日照時間	〇・〇時
最高氣溫	一七・三度	平均風速度	三・〇米
最低氣溫	一五・八度	最大風速度	七・二米
前五日間平均氣溫	一八・七度 平年ヨリ〇・四度低シ	最多風向	北北西
平均濕度	九四％	降水總量	二〇・六粍
平均水蒸氣張力	一三・三粍	一時間最大降水量	四・五粍

記事　午前三時五十二分ヨリ翌日ニ亙リ降雨アリタリ

（以上中央氣象臺）

土地收用公告

昭和十二年九月二十一日付内務大臣ノ事業認定公告ニ係ル鳥取市長起業道路改築ノ爲收用スヘキ土地ノ細目左ノ如シ

昭和十二年十月五日　鳥取縣知事　立田清辰

土地細目

鳥取縣鳥取市吉方四〇八、四一三ノ一、四二一、四二五、四二六、四二七、四二九ノ一宅地、四一三ノ二畑

廣告

◉工場財團

大阪府豐能郡庄内村大字菰江二十七番地松尾自動車工業株式會社ヨリ同所二十七番地ノ一所在同會社工場ニ屬スル工作物竝ニ機械器具等ニ對シ工場財團組成ノタメ所有權保存ノ登記申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十五日内ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十二年十月五日　大阪區裁判所豐中出張所

◉船舶檢査證書無效

證書番號	船舶番號	船種	船名
六〇	三六三四九	帆船	勢進丸
一〇	四〇五三六	同	第十三佐賀丸

右屆出ニ依リ孰モ無效トス

昭和十二年十月　遞信省

船舶檢査證書種類	證書交付年月日	氏名	事由
漁船	昭和一一・九・一五	保證責任總津信用販賣購買利用組合	滅失
同	六・八	佐賀　宗太郎	同

◉無線通信士資格檢定合格者

無線通信士資格檢定合格者氏名左ノ如シ

昭和十二年十月　無線通信士資格檢定委員長　藤川靖

第一級　松平恒秋

◉所屬未定地編入

町村制第三條ノ規定ニ依ル左記所屬未定地ヲ縣參事會ノ議決ニ依リ專決處分シ當該村ノ區域ニ編入ス

昭和十二年十月　長崎縣

北松浦郡南田平村大字小手田山内免字日ノ浦三四五番ノ一及同免字鯨山五三四番外一筆地先二百十坪七合五勺

南松浦郡若松村宿ノ浦郷字濱尊九七九番第一地先八十九坪八合二勺

左記所屬未定地ヲ企救郡曾根町ノ區域ニ編入シ本月二日ヨリ施行セリ

昭和十二年十月　福岡縣

企救郡曾根町大字曾根地先一公有水面埋立竣功地面積　四万千五百八坪九合五勺

◉生徒募集公告中訂正

去月二十八日本欄内掲載本校生徒募集公告中左ノ通訂正ス

昭和十二年十月　東京農業教育專門學校

一應募者資格

二、農業學校卒業者但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若クハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

一出願手續

二、卒業證明書又ハ專門學校入學者試驗檢定合格證明書但シ應募者資格第三號該當者ハ小學校農業科專科正教員ノ免許狀寫ヲ添附スルコトヲ要ス

◉營業禁止竝停止

九月二十八日　古物商　林炳虎

本籍朝鮮慶尙北道榮州郡伊山面謙文里七〇九番地、住所埼玉縣川口市大字横曾根三〇六五番地

同二十九日　同　長谷部勇太郎

本籍埼玉縣比企郡八ツ保村大字牛ケ谷二七〇番地、住所同縣川越市大字大仙波新田一六七九番地

右古物商取締法第十四條ニ依リ各頭書ノ日附ヲ以テ孰モ其營業ヲ禁止セリ

古物商　寺井作十郎

本籍群馬縣多野郡万場町大字小平五八八番地、住所埼玉縣秩父郡小鹿野町大字小鹿野一八四七番地

右古物商取締法第十四條ニ依リ本月十日ヨリ二十日間其營業ヲ停止ス

昭和十二年十月　埼玉縣

◉町村變更

多賀郡松原町ヲ高萩町ト爲シ本月一日ヨリ施行ノ件許可セリ

昭和十二年十月　茨城縣

◉町役場位置

東臼杵郡富島町ハ其役場位置ヲ本月一日大字富高七千九百五十六番地イ號ノ内ロ號ニ定メタリ

昭和十二年十月　宮崎縣

◉購買入札

一綿糸　五九二,〇〇〇紀

履行期限（本年十一月十日）（同十二月十三日）半數宛

一公示書類竝場所　入札者心得書、契約書案等當部

一入札竝開札日時及場所　本月十五日午前十時當部

一入札保證金　入札價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上（同上）

一入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

昭和十二年十月五日　呉海軍軍需部

一錨　二五廰

履行期限（一三廰　本年十一月二十五日）（一二廰　昭和十三年一月三十日）

一入札竝開札　本月十五日午前十時三十分

一入札場所　當部

一公示書類　契約書案、入札者心得書當部ニ在リ

一入札保證金　入札價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上（同上）

一入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

昭和十二年十月五日　呉海軍建築部

◉賣拂入札

一古鋼線綱　引取期限　物品引渡ノ日ヨリ十日

一數量　九五,二九七米（約六七廰）

一現品縱覽日時　本月十五日午前十時開始

一入札竝開札　本月十五日午後一時

一入札場所　當部

一公示書類　契約書案其他當部ニ在リ

一入札保證金　入札價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

一契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上（同上）

一入札資格者　大正十一年四月大藏省令第三十三號規程ノ資格ヲ有スル者（資格證明書要提出）

昭和十二年十月五日　福岡縣糟屋郡志免村　海軍燃料廠採炭部

第一號　屑鋼外四點
第二號　屑鐵裝ケーブル外六點
第三號　屑眞鍮外九十三點
第四號　屑鐵線外二十七點

一現品下見月日並所在場所
第一號　本月十四日主税町倉庫
第二號　第三號　同日主税町倉庫外六箇所
第四號　本月十三日岡谷外一箇所

一入札並開札　本月十五日午前十一時入札、即時開札
一入札場所　當局經理課
一公示書類　同課及四號當局岡谷工務出張所ニテ熟覽スヘシ
一入札保證金　見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

昭和十二年十月五日　名古屋遞信局

一品名數量（レール屑二點　鋼及鐵屑四點）
一現品下見　本月十一日
一入札並開札　本月十五日午前十一時
一現品引渡場所　高松驛構内
一品名數量（レール屑二點　鋼及鐵屑四點）
一現品下見　本月十二日
一入札並開札　本月十五日午後一時
一現品引渡場所　德島驛構内
一品名數量（レール屑二點　鋼及鐵屑四點）
一現品下見　本月十三日
一入札並開札　本月十五日午後一時
一現品引渡場所　高知出張所倉庫
一入札場所　當局經理部
一公示書類　同部ニテ熟覽ノコト
一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ十以上（圓未滿切上ク）
一契約保證金　契約總代金ノ同上（同上）

昭和十二年十月五日　廣島鐵道局

◉商業登記

●合資會社共榮組支店設立
一昭和十一年五月二十五日左ノ地ニ支店ヲ設立ス
哈爾濱買賣街四一號

●合資會社三共商事社變更
一昭和十一年五月二十日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
新京曙町二丁目二十三番地
右昭和十一年五月二十六日登記
在新京帝國總領事館

●本月二十日官報廣告ニ別刷掲載當廳商業登記公告四四頁二段「●三井建物合資會社更正變更解散」ハ「●三共建物合資會社更正變更解散」ノ、同四段「●富士精株式會社變更」ハ「●富士工精株式會社變更」ノ、四五頁四段支配人選任登記公告二行「淺瀨義一」ハ「浦瀨義一」ノ、四六頁一段合資會社大塚鑄造所變更登記公告五行「大塚たけ」ハ「大塚ゐけ」ノ孰モ誤ニ付訂正ス

昭和十二年九月二十一日　東京區裁判所

●本月二十日官報廣告ニ別刷掲載當廳商業登記公告四七頁二段「●東海水産株式會社變更」ハ「●東海物產株式會社變更」ノ、同三段東正工業株式會社設立登記公告十四行「石津楓吉」ハ「石津慣吉」、太洋自動車株式會社變更登記公告二行「黒田新治」ハ「里田新治」、四八頁二段支配人變更登記公告三行「中延町」ハ「戸越町」ノ孰モ誤ニ付訂正ス

昭和十二年九月二十一日　東京區裁判所

●本月二十二日官報掲載當廳商業登記公告六一八頁三段「●株式會社鈴木商店變更」ハ「●株式會社鈴木本店變更」、高島屋飯田株式會社變更登記公告四行「小野傳大郎」ハ「小野傳治郎」、六一九頁二段「●幸崎船渠株式會社變更」ハ「●幸崎船渠株式會社變更」、同三段旭瓦斯株式會社設立登記公告十七行「小野博夫」ハ「小野博史」ノ孰モ誤、六二〇頁一段合資會社高木秀一郎商店設立登記公告末行ノ次ニ「一存立時期昭和三十二年四月二十九日迄」ノ一行脱落ニ付追加訂正ス

昭和十二年九月二十七日　東京區裁判所

●合資會社設立
一商號　合資會社三元堂
一本店　東京市神田區錦町一丁目十七番地
一目的　圖書ノ出版販賣並ニ印刷前號ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十二年五月七日
一代表社員　長谷川吉太郎
一存立ノ時期　昭和三十二年五月六日迄
一社員ノ氏名住所及出資責任
勞務　無限　長谷川吉太郎　東京市神田區錦町一丁目十七番地
金一千圓　有限　長谷川ゑけ　同所
金二千圓　同　辻美三雄　同市淺草區淺草橋三丁目二十九番地一

●株式會社日本化學工業所
一昭和十二年四月二十八日公告方法ヲ東京市ニ於テ發行スル中外商業新報ニ之ヲ掲載スト變更ス

●株式會社森川製作所變更
一昭和十二年五月一日福岡市下市小路二十二番地ニ支店ヲ設立ス

●南滿洲鐵道株式會社變更支店
第六回社債ハ昭和十二年四月二十一日第二十七回ハ同年同月二十八日第二十八回ハ同年同月十五日及同年同月十九日第三十二回ハ同日各一部償還ニヨリ社債總額ヲ左ノ如ク變更ス
第六回　金二百三十六万二千五百圓
第二十七回　金五千五百圓
第二十八回　金百二十三万五千七百圓
第三十二回　金六千圓
第五十四回社債總額　金五千万圓
各社債ノ金額　百圓五百圓千圓一万圓
利率　年四分一厘
償還ノ方法及期限　元金ハ昭和十二年四月十五日ヨリ昭和十五年四月十五日迄据置キ其後毎半年各利拂期日ニ各金五十万圓以上ヲ償還シ又ハ買入銷却シ昭和二十五年四月十五日迄ニ殘額全部ヲ償還又ハ買入銷却スルモノトス此ノ場合ニ於テ償還又ハ買入銷却スヘキ日カ銀行休業日ニ當ルトキハ其ノ前日ニ之ヲ繰上ク昭和十五年四月十六日以降ハ何時ニテモ其ノ全部又ハ一部ヲ繰上ケ償還スルコトヲ得一部償還ハ抽籤ノ方法ニ依ル買入銷却ハ何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得

●合資會社栗原靴下製造所變更解散
一昭和十二年四月三十日本店ヲ東京市淺草區松葉町九番地ニ移轉ス
一總社員ノ同意ニヨリ昭和十二年五月一日解散ス

●合名會社井上商店解散支店
一總社員ノ同意ニヨリ昭和十二年四月三十日解散ス

●合資會社丸万商店變更
一社員柳井謙造ハ昭和十二年五月七日退社ス

●日新染布株式會社變更
一昭和十二年四月二十七日公告方法ヲ中外商業新報ニ掲載スト變更ス

●合資會社樋口商店解散
一總社員ノ同意ニヨリ昭和十二年四月三十日解散ス

●東京高速鐵道株式會社變更
一取締役井上敬次郎利光鶴松ハ昭和十二年四月二十三日退任シ左者取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役ニ同日就任ス
池邊　稻生　同市世田谷區北澤五丁目八百三番地
穴水　熊雄　東京市麻布區宮村町七十一番地
利光　學一　東京府北多摩郡狛江村岩戸千三百二十三番地
篠原三千郎　東京市大森區田園調布四丁目百七十四番地
會社ヲ代表スヘキ取締役　五島慶太
一取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役左者同日重任ス
井上篤太郎　東京市澁谷區代々木本町七百八十番地
和田　毅　同市目黒區洗足千四百四十六番地
脇道　譽　同市品川區南品川三丁目千五百十七番地
門野重九郎　同市赤坂區新坂町五十一番地
金光　庸夫　同市澁谷區豐榮町三十一番地
根津嘉一郎　同市赤坂區青山南町六丁目百十五番地
五島　慶太　同市澁谷區長谷戸町四十九番地
黒河内四郎　同市瀧野川區田端町五百三十七番地
會社ヲ代表スヘキ取締役　門野重九郎　脇道譽
一左者監査役ニ同日就任ス
河西豐太郎　東京市淀橋區西大久保二丁目二百八十七番地
一同日公告方法ヲ東京市ニ於テ發行スル中外商業新報ニ之ヲ掲載スト變更ス

●株式會社本店移轉
昭和十二年五月三日本店ヲ豐橋市東田町字東前山九番地ヨリ當管內ニ移轉ス
一商號　豐川電氣株式會社
一本店　東京市麴町區丸ノ內一丁目六番地一
一目的　一般需要ニ應シ電燈電力ノ供給電氣所用物品ノ販賣竝ニ貸付他ノ電氣事業ニ投資スルコト以上各項ニ附帶スル一切ノ事業
一設立年月日　大正十三年一月十五日
一資本總額　金三十万圓
一一株金額　金五十圓
一各株拂込額　金十二圓五十錢
一公告方法　官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

一取締役ノ氏名住所
高石　辨治　岡崎市六供町字西茶臼二十一番地ノ三
松本庸之助　東京市蒲田區矢口町六百二十三番地
中村光四郎　同市世田谷區成城町七百二十三番地
一監査役ノ氏名住所　森彦市　東京市澁谷區若木町二十八番地
一存立時期　昭和二十九年一月十四日迄

●株式會社設立
一商號　日本穀粉工業株式會社
一本店　東京市深川區猿江町二丁目四番地五
一目的　穀類粉末ノ製造販賣及委託製造穀類ノ販賣以上ノ各項ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十二年四月三十日
一資本總額　金六万五千圓
一一株金額　金五十圓
一各株拂込額　金二十五圓
一公告方法　本店々頭ニ二日間掲示シテ之ヲ爲ス
一取締役ノ氏名住所
大島　孝吉　東京市品川區大井鹿島町三千八十二番地
田中喜太郎　同市澁谷區幡ケ谷本町一丁目十番地
岡村喜一郎　滋賀縣甲賀郡水口町大字水口三千四百二十四番地
會社ヲ代表スヘキ取締役　大島孝吉
一監査役ノ氏名住所　柴田武治　東京市京橋區銀座二丁目二番地八

●商號株式會社坂根商店
一本店　東京市日本橋區兜町三丁目八番地
一目的　和洋紙竝ニ文房具類ノ販賣諸印刷其他前各項ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十二年五月一日
一資本總額　金二十万圓
一一株金額　金五十圓
一各株拂込額　金五十圓
一公告方法　本店ノ店頭ニ三日間掲示シテ之ヲ爲ス
一取締役ノ氏名住所
坂根謙吉　東京市日本橋區兜町三丁目八番地
森山　茂　同市豐島區目白町三丁目三千五百五十一番地
坂根八重　同市中野區高根町十一番地
三輪菊枝　同市本郷區駒込林町十三番地
森山　綾　同市淀橋區下落合三丁目千五百二番地
會社ヲ代表スヘキ取締役　坂根謙吉
一監査役ノ氏名住所　森江英二　東京市本郷區春木町二丁目二十一番地
一存立時期　昭和四十二年四月三十日迄

●日出鑛業株式會社變更
一會社ヲ代表スヘキ取締役大橋廉郎ハ昭和十二年四月二十八日辭任シ左者取締役及會社ヲ代表スヘキ取締役ニ同日就任ス
堀內宗平　東京市澁谷區原宿三丁目三百七番地
鵜谷淸夫　仙臺市北八番町百七十番地
會社ヲ代表スヘキ取締役　堀內宗平
一左者監査役ニ同日就任ス
諏訪源敏　山梨縣南巨摩郡身延町千七百八十番地

●株式會社丸の內美術倶樂部變更
一會社ヲ代表スヘキ取締役穎中又次ハ昭和九年七月三日辭任ス
一取締役穎中又次大木啓太郎牛貫堅星ハ任期滿了ニ付新ニ左者取締役ニ選任セラレ昭和十二年五月一日就職ス
牛貫　堅星　東京市赤坂區表町三丁目二十八番地
大木啓太郎　神奈川縣鎌倉郡川口村片瀨二千四百六十七番地
穎中　又次　東京市澁谷區原宿二丁目二百五番地
一左者會社ヲ代表スヘキ取締役ニ同日就任ス
會社ヲ代表スヘキ取締役　牛貫堅星
一監査役成瀨信次郎貫井濱名ハ任期滿了ニ付株主總會ニ於テ新ニ左者監査役ニ選任セラレ同日就職ス
成瀨信次郎　東京市本郷區湯島三組町八十番地
牛貫ミサヲ　同市赤坂區表町三丁目二十八番地

●合資會社吉岡商店更正變更
一本店ヲ東京市芝區本芝一丁目三十二番地九ト更正ス
一社員吉岡寅吉秋庭なをノ住所ヲ同所ト更正ス
一昭和十一年一月一日本店ハ東京市芝區芝浦一丁目六十九番地ト變更ス
一同日社員吉岡寅吉秋庭なをノ住所ハ同所ト變更ス

●懸川電氣株式會社更正
一取締役中光四郎ノ住所ヲ東京市世田谷區成城町七百二十三番地ト更正ス

●東洋拓殖株式會社社債
一第百三十四回
一社債總額　金二万圓
一各社債ノ金額　金一百圓
一利率　年三分六厘
一償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ昭和十七年十月第一回ノ償還抽籤ヲ執行シ以後每年二回（四月十月）抽籤ヲ爲シ每回元金五百圓以上ヲ其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日殘額全部ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金返濟高カ前記償還高ヲ超過シタルトキハ其超過額モ同時ニ償還シ又本債券ノ据置期間中ニ於テ本資金ニ依ル貸付金ノ全部又ハ一部ノ返濟アリタルトキハ最近ノ元利支拂期ニ於テ該返濟額相當額ノ償還ヲ爲スモノトス
一各社債拂込額　全額

●株式會社弘陽電機製作所變更
一取締役河內山加藤ハ昭和十二年四月二十八日其住所ヲ横濱市程ケ谷區程ケ谷町二百三十一番地ニ移轉ス
一取締役河內山加藤ハ同日會社ヲ代表スヘキ取締役ヲ辭任シ左者會社ヲ代表スヘキ取締役ニ同日就任ス
會社ヲ代表スヘキ取締役　山田巖

●日本サルヴエージ株式會社變更
一監査役柴田安正ハ昭和十二年五月三日其住所ヲ東京市杉並區荻窪三丁目二十二番地ニ移轉ス

●松岡合資會社變更
一昭和十二年四月二十五日社員左者更ニ出資シテ其出資ノ種類價格ヲ左ノ如ク變更ス
土地一筆建物一棟以上價格金四万圓　金二十七万五千圓　松岡淸次郎
金一万二千五百圓　堀越きん
金一万圓　松岡留次郎

●鯛生株式會社變更
一取締役藥師五郎ハ昭和十二年四月二十八日其住所ヲ兵庫縣武庫郡御影町城之前千五百十五番地ニ移轉ス

●株式會社岡田紙店變更
一取締役中根安郎ハ昭和十二年五月五日死亡ス

●高砂興業合資會社變更
一昭和十二年五月一日商號ヲ左ノ如ク變更ス
商號　旭興業合資會社

●株式會社神戶銀行變更支店
一昭和十二年五月一日兵庫縣加古郡加古川町篠原町十九番地ノ支店ヲ同所十四番地ノ一ニ移轉ス

●永興鑛業株式會社變更
一取締役兼會社ヲ代表スヘキ取締役間瀨文彥取締役畑嘉詩奧山良吉監査役尾崎敬義栗原光次ハ昭和十二年四月二十八日各辭任シ左者取締役ニ同日就任ス
井上　秀治　横濱市中區西久保町百二十二番地
小金澤其次郎　東京市芝區田村町三丁目十一番地
大高　昇　同市淀橋區戸塚町二丁目九十五番地
青木　貞夫　同所一丁目六百番地
一左者監査役ニ同日就任ス
太田操　横濱市中區太田町四丁目四十八番地
一同日商號目的ヲ左ノ如ク變更ス
商號　千代田商業株式會社
目的　鑛業木材ノ伐採及賣買不動產ノ賣買及賃貸右各項ニ附帶スル一切ノ業務
一同日本店ヲ東京市日本橋區本町一丁目二番地ニ移轉ス

●北支電力興業株式會社變更
一昭和十二年五月六日本店ヲ大連市山縣通二番地東拓ビル四階ニ移轉ス

●株式會社本店移轉
一昭和十二年五月三日本店ヲ沼津市三枚橋日ノ出町二百四十五番地ヨリ當管內ニ移轉ス

●商號日本大理石鑛業株式會社
一本店　東京市麴町區內幸町一丁目三番地　大阪ビルディング一號館三百十五號室
一目的　金銀銅ノ採掘及製煉竝ニ一般鑛業大理石ノ採掘及加工竝ニ販賣不動產竝ニ有價證券ノ取得及投資右ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十年二月十九日
一資本總額　金一百一万圓
一一株金額　金二十圓
一各株拂込額　金二十圓
一公告方法　所轄區裁判所ノ認ムル東京市ニ於テ發行スル一新聞ニ掲載シテ之ヲ爲ス
一取締役ノ氏名住所
建部　光麿　東京市品川區大井鎧町三千六百三十番地
川合　勘七　長野縣西筑摩郡福島町五千二百五十一番地
山口由太郎　福岡縣賀茂郡中川村大字助代五番地
牧野淸一郎　市川市市川百五十三番地
森　三加賀　名古屋市東區赤荻町三番地四十
會社ヲ代表スヘキ取締役　建部光麿

同日左者新ニ取締役ニ就任ス
手塚林太郎　福岡市下小山町三十六番地
高橋　譽吉　東京市千谷區下根岸町四十一番地
同日左者新ニ監査役ニ就任ス
同日中友吉　東京市向島區隅田町三丁目九百六十四番地
監査役左者ハ同日重任ス
宮本仙之助　東京市淺草區象潟三丁目十八番地三
●支配人解任
昭和十二年五月十九日支配人田崎準僧ハ解任ス
●帝國纖維株式會社變更
監査役左者ハ昭和十二年五月二十五日重任ス
非原繁昌　東京市荒川區三河島町三丁目二千九百番地
●合名會社增島製針所變更
社員增島良三ハ昭和十二年五月十五日其住所ヲ東京市荒川區尾久町十丁目千七百四十六番地ニ移轉ス
同日社員增島津宇ハ其住所ヲ東京市荒川區尾久町十丁目千七百三十五番地ニ移轉ス
同日社員增島芳美ハ其住所ヲ東京市荒川區尾久町十丁目千七百三十五番地ニ移轉ス
右昭和十二年五月二十六日登記
●合資會社南鐘治所解散
總社員ノ同意ニ依リ昭和十二年五月二十六日解散ス
●株式會社安田銀行變更(支店)
昭和十二年五月二十三日東京市京橋區銀座一丁目四番地ニ移轉ス
同日京都府加佐郡新舞鶴町字濱二百三十五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
京都府加佐郡新舞鶴町字濱九百八十一番地
●合資會社北龍堂變更
昭和十二年五月二十六日社員大島高三郎ハ代表社員ヲ辭任シテ其出資ノ券務ヲ譲任シ其責任ヲ有限ト變更ス
同日社員大島正司ハ其持分ノ內金八百圓ヲ倉持丈三郎ニ內金二百圓ヲ社員大島高三郎ニ讓渡シテ退社シ譲受ケタル左者ハ同日入社ス
金八百圓　無限　倉持丈三郎　茨城縣眞壁郡上妻村大字江三十三番地
同日社員大島高三郎ハ其出資額ヲ左ノ如ク變更ス
金二百圓　大島高三郎
同日社員水谷喜三ハ退社ス
同日左者代表社員ニ就任ス
倉持丈三郎

●東京電機製造株式會社變更
取締役兼會社ヲ代表スヘキ取締役左者ハ昭和十二年五月二十日重任ス
深間內吉藏　東京市本所區向島一丁目三番地一
會社ヲ代表スヘキ取締役
深間內吉藏
●東京市電機製造株式會社資本增加
增加シタル資本ノ總額　金三十万圓也
資本增加決議ノ年月日　昭和十二年三月二十六日
各新株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢也
●合資會社門山商店變更
昭和十二年五月二十四日社員門山きき八更ニ金一万五千圓ヲ出資シテ其ノ出資額ヲ左ノ如ク變更ス
金一万五千圓　門山きき
橋渡袖袖デスク七ケ植斗付一箇外勘違七十一點此價格金四千圓
右昭和十二年五月二十七日登記
●合名會社設立
商號　東京合同植產合名會社
本店　東京市荒川區日暮里町四丁目二百三番地
目的　一有價證券ノ賣買二土地家屋ノ賃貸及賣買三物品販賣業官廳ノ許可認可ヲ要スルモノヲ除ク四前各號ニ附帶スル事業及殺資
設立年月日　昭和十二年五月二十五日
代表社員ノ氏名　石井政吉
社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
有價證券十枚此評價格金五千圓也　籐原鑒吉
有價證券十九枚此評價格金二万四千圓也　泉武次
東京市大森區田園調布二丁目二百四番地
金一千圓　石井政吉　東京市荒川區日暮里町四丁目二百三番地
昭和十二年五月二十八日登記
東京區裁判所千住出張所

◉準禁治產宣告

本籍栃木縣河內郡大澤村大字猿倉二千五百
六十九番地
最後ノ住所本籍地ニ同　磯田　アサ
右ニ對シ同縣同郡大澤村大字猿倉二千五百六十
九番地磯田マス八申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和
十二年九月十七日準禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十七日　宇都宮區裁判所

田抗　滿治　茨城縣鹿島郡矢田部村大字清水
九百九番地
鵜田孝次郎　東京市荒川區尾久町八丁目千三百番地
鹿田光一　東京市江戸川區上一色町九百七十二番地
飯田　三郎　同所千三百二十八番地
監査役ノ氏名住所　千葉縣海上郡椎柴村大字野尻七十九番地
●株式會社ベニヤ板製造所變更
昭和十二年五月十四日商號ヲ左ノ如ク變更ス
日東ベニヤ株式會社
同日取締役服部五郎ハ辭任ス
同日左者新タニ取締役ニ就任ス
松井利三郎　東京市荒川區尾久町十丁目千九百二十五番地
足立　建次　東京市芝區田村町六丁目十七番地
取締役岡田房次ハ同日會社ヲ代表スヘキ取締役ヲ辭任ス
同日左者會社ヲ代表スヘキ取締役
會社ヲ代表スヘキ取締役　松井利三郎
監査役瀬川浩ハ昭和十二年五月十四日辭任ス
同日左者新タニ監査役ニ就任ス
今井眞一　碓氷市神宮川區菊名町九十九番地
●日東ベニヤ株式會社變更
昭和十二年五月十四日各株ニ付キ拂込ミタル株金額ヲ左ノ如ク變更ス
各株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓也
右昭和十二年五月十九日登記
●株式會社安田銀行變更(支店)
昭和十二年五月二十三日東京市京橋區銀座一丁目四番地ニ移轉ス
同日京都府加佐郡新舞鶴町字濱二百三十五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
京都府加佐郡新舞鶴町字濱九百八十一番地
●合資會社北龍堂變更
昭和十二年五月二十六日社員大島高三郎ハ代表社員ヲ辭任シテ其出資ノ券務ヲ譲任シ其責任ヲ有限ト變更ス
同日社員大島正司ハ其持分ノ內金八百圓ヲ倉持丈三郎ニ內金二百圓ヲ社員大島高三郎ニ譲渡シテ退社シ譲受ケタル左者ハ同日入社ス
金八百圓　無限　倉持丈三郎　茨城縣眞壁郡上妻村大字江三十三番地
同日社員大島高三郎ハ其出資額ヲ左ノ如ク變更ス
金二百圓　大島高三郎
同日社員水谷喜三ハ退社ス
同日左者代表社員ニ就任ス
倉持丈三郎

●東京電機製造株式會社變更
取締役兼會社ヲ代表スヘキ取締役左者ハ昭和十二年五月二十日重任ス
深間內吉藏　東京市本所區向島一丁目三番地一
會社ヲ代表スヘキ取締役
深間內吉藏
●東京市電機製造株式會社資本增加
增加シタル資本ノ總額　金三十万圓也
資本增加決議ノ年月日　昭和十二年三月二十六日
各新株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢也
●合資會社門山商店變更
昭和十二年五月二十四日社員門山きき八更ニ金一万五千圓ヲ出資シテ其ノ出資額ヲ左ノ如ク變更ス
金一万五千圓　門山きき
橋渡袖袖デスク七ケ植斗付一箇外勘違七十一點此價格金四千圓
右昭和十二年五月二十七日登記
●合名會社設立
商號　東京合同植產合名會社
本店　東京市荒川區日暮里町四丁目二百三番地
目的　一有價證券ノ賣買二土地家屋ノ賃貸及賣買三物品販賣業官廳ノ許可認可ヲ要スルモノヲ除ク四前各號ニ附帶スル事業及殺資
設立年月日　昭和十二年五月二十五日
代表社員ノ氏名　石井政吉
社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
有價證券十枚此評價格金五千圓也　籐原鑒吉
有價證券十九枚此評價格金二万四千圓也　泉武次
東京市大森區田園調布二丁目二百四番地
金一千圓　石井政吉　東京市荒川區日暮里町
四丁目二百三番地
昭和十二年五月二十八日登記
東京區裁判所千住出張所

◉準禁治產宣告

本籍栃木縣河內郡大澤村大字猿倉二千五百
六十九番地
最後ノ住所本籍地ニ同　磯田　アサ
右ニ對シ同縣同郡大澤村大字猿倉二千五百六十
九番地磯田マス八申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和
十二年九月十七日準禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十七日　宇都宮區裁判所

都岡縣磐田郡袖浦村西平松十四番地
鈴木　市松　明治二十八年十一月二十日生
右ニ對シ實父鈴木七藏ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月十七日準禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月十七日　濱松區裁判所

本籍及住所熊本縣宇土郡宇土町字土三百三十二番地
米倉　清一　明治三十八年五月三日生
右ニ對シ父米倉伊八ノ申立ニ因リ浪費者ト認メ準禁治產ヲ宣告ス
昭和十二年九月十七日　三角區裁判所

◉公示催告

臺中州臺中市老松町四丁目八番地
申立人　笹田　浦利
一證書ノ表示
荷物受取證　一通
荷物受取證番號　マ一番
同日附
同發行者　近海郵船株式會社大阪代理店日本郵船株式會社大阪支店長荘田雅雄
同發行地　大阪
船名　第十九大朝日丸
艙出地　大阪
荷渡地　臺中
荷送人　江口良吉
荷受人　笹田又ハ受取證持參人
品名　L型鐵4×3×尺18　⑤　外十一點
原價　金五百十三圓也
右證書ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ因リ證書ノ所持人ハ左記公示催告期日迄ニ當法院ニ其ノ權利ヲ屆出テ且證書ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ屆出及提出ヲ爲ササルトキハ證書ノ無效ヲ宣言スルコトアルヘシ公示催告期日
昭和十三年五月二日午前九時
昭和十二年九月十四日
臺中地方法院單獨

◉失踪ニ關スル屆出ノ催告

本籍並最後ノ住所群馬縣邑楽郡三野谷村大字野邊四十六番地
不在者　栗原好三郎
明治二十七年三月九日生
右不在者ニ對シ利害關係人栗原武一ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年三月末日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ若シ其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ノ宣告ヲ爲スヘキ旨公示催告ス
昭和十二年九月十四日　前橋區裁判所

◉失踪宣告

本籍新潟縣南魚沼郡東村大字相澤百九十番地
最後ノ住所東京市本所區小梅町百四十五番地村田覺太郎方
不在者　今井　進
大正五年十二月十五日生
右ニ對シ住所右不在者ノ本籍地ニ同シ今井慶三郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月六日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月十六日　東京區裁判所

本籍埼玉縣川越市大字川越五百二十七番地
最後ノ住所同縣入間郡堀兼村大字東三ツ木七番地
不在者　今井　進
明治三十八年七月七日生
右ニ對シ利害關係人今井慶ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月十八日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十日　川越區裁判所

屆出ヲ爲スヘク若屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ノ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十六日　平戶區裁判所

本籍並最後ノ住所岩手縣上閉伊郡遠野町四百二十四番戶
不在者　小笠原陽大郎
明治三年二月八日生
右不在者ニ對シ利害關係人小笠原エヘヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年三月三十一日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月二十日　遠野區裁判所

高雄州旗山郡旗山街湯州五七六番地
申立人　郭黃氏菜
同所同番地
最後住所同州屏東郡里港庄竹力肚
不在者　郭　清陽
大正元年十一月一日生
不在者　郭　流盈
明治二十九年十二月二十九日生
右不在者ニ對シ失踪宣告ノ申立ヲ以テ不在者ハ昭和十三年三月二十日午前九時迄ニ當法院ニ其生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月二十三日　臺南地方法院高雄支部單獨

◉失踪宣告

本籍新潟縣南魚沼郡東村大字相澤百九十番地
最後ノ住所東京市本所區小梅町百四十五番地村田覺太郎方
不在者　今井　進
大正五年十二月十五日生
右ニ對シ住所右不在者ノ本籍地ニ同シ今井慶三郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月六日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月十六日　東京區裁判所

本籍並最後ノ住所和歌山縣日高郡三尾村八百八十九番地
不在者　濱口　勝藏
明治二十一年三月十九日生
右不在者ニ對シ利害關係人濱口豐三郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月十四日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十七日　彥根區裁判所

本籍並最後ノ住所同所同番地
不在者　濱口豐三郎
明治二十三年十月四日生
右不在者ニ對シ利害關係人濱口　勝藏
宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月十四日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十六日　御坊區裁判所

本籍及最後ノ住所長崎縣北松浦郡相浦町畑中免七百三十四番地
不在者　山科孫太郎
明治三十六年九月九日生
右不在者ニ對シ利害關係人山科京太郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月十九日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十七日　佐世保區裁判所

本籍及最後ノ住所長崎縣北松浦郡相浦町畑中免七百三十四番地
不在者　山科孫太郎
明治三十六年九月九日生
右不在者ニ對シ利害關係人山科京太郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月十九日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十七日　佐世保區裁判所

本籍及最後ノ住所愛知縣愛知郡日進村大字米野木七十三番戶
不在者　武田友三郎
明治五年一月三日生
右ニ對シ利害關係人武田友雄ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月二十日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十七日　名古屋區裁判所

本籍及最後ノ住所愛知縣愛知郡日進村大字米野木七十三番戶
不在者　武田友三郎
明治五年一月三日生
右ニ對シ利害關係人武田友雄ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月二十日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十七日　名古屋區裁判所

本籍並最後ノ住所靜岡縣磐田郡袖浦村大字野尻百四十三番地
不在者　志賀金治郎
明治十年八月一日生
右不在者ニ對シ利害關係人志賀龍吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年五月十三日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十七日　彥根區裁判所

本籍並最後ノ住所和歌山縣日高郡三尾村八百八十九番地
不在者　濱口　米吉
明治二十一年三月十九日生
本籍並最後ノ住所同所同番地
不在者　濱口豐三郎
明治二十三年十月四日生
本籍並最後ノ住所同所同番地
不在者　濱口　勝藏
明治二十六年八月二十八日生
右不在者ニ對シ利害關係人濱口豐三郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月十四日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十六日　彥根區裁判所

本籍及最後ノ住所長崎縣北高來郡諫早村大字藏田尾百三十八番戶
不在者　佐藤　與七
明治五年三月十五日生
右ニ對シ利害關係人佐藤治長ヨリ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月十五日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月十五日　大村區裁判所

本籍地秋田縣雄勝郡湯澤町字上町二番地
最後ノ住所同縣同郡同町同字同番地
不在者　深田弘毅士
明治七年四月二十日生
右ニ對シ利害關係人深田好ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月十九日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月十九日　湯澤區裁判所

◉破產管財人辭任許可

破產管財人　蓉原　敏隆
破產者三平金屬工業株式會社ニ對スル昭和六年(フ)第八五二號破產事件ニ付破產管財人ヨリ辭

任ノ申立アリタルヲ以テ當裁判所ハ決定スルコト左ノ如シ
主文
破産管財人森原敬隆ノ辭任申立ハ之ヲ許可ス
昭和十二年九月三十日　大阪區裁判所

◉破産手續終結

右者ニ對スル昭和十一年(フ)第七號破産事件ニ付昭和十二年九月三十日午前九時當裁判所ニ招集シタル債權者集會ハ破産管財人ノ報告シタル計算ヲ承認シ之ニヨリ債權者集會終結シタルヲ以テ當裁判所ハ決定スルコト左ノ如シ
主文
佐藤寅五郎ノ破産手續ハ之ヲ終結ス
昭和十二年九月三十日　函館區裁判所　判事　池ノ内一郎

右者ニ對スル昭和五年(フ)第一〇號破産事件ニ付昭和十二年九月三十日午前九時當裁判所ニ招集シタル債權者集會ハ破産管財人ノ報告シタル計算ヲ承認シ之ニヨリ債權者集會終結シタルヲ以テ當裁判所ハ決定スルコト左ノ如シ
主文
鷹村康ノ破産手續ハ之ヲ終結ス
函館區裁判所
昭和十二年九月三十日　判事　池ノ内一郎

◉第一回債權者集會期日變更

東京市淀谷區松濤町六七　破産者　御木本隆三
右ニ對スル昭和十二年(フ)第三〇〇號破産事件ニ付第一回ノ債權者集會ノ期日ヲ昭和十二年十月十四日午後一時ニ變更ス
東京區裁判所
昭和十二年九月二十一日　判事　安倍恕

◉行旅死亡人

住所氏名不詳六十二三歳位　身長四尺八寸位　體格普通面長鼻上全部ナク下前齒三本ノミ鼻隆ク頭髮白髮混リ束髮他ハ普通著衣木綿縞綿入　縞單衣黒繻子帶縮緬單衣紺銘仙單服木綿並ニレース(白)腰卷ヲ著ス携帶品ナシ
右去月二十九日淀川區野里町疏水副ニ溺死體漂著身許不詳ニ付寫眞撮影ノ上火葬ス心當リノ者ハ申出テラレヘシ
昭和十二年九月二十日　京都市伏見區役所

住所氏名不詳六十二三歳位　女身長四尺八寸位　體格普通面長鼻上全部ナク下前齒三本ノミ鼻隆ク頭髮白髮混リ束髮他ハ普通著衣木綿縞綿入　縞單衣黒繻子帶縮緬單衣紺銘仙單服木綿並ニレース(白)腰卷ヲ著ス携帶品ナシ
右去月二十九日淀川區野里町疏水副ニ溺死體漂著身許不詳ニ付寫眞撮影ノ上火葬ス心當リノ者ハ申出テラレヘシ
昭和十二年九月二十日　京都市伏見區役所

住所氏名不詳男五十年位　體肥色黒　身長五尺二寸位　頭髮五分刈著衣木綿縞著物　毛絲ノジヤケツ一見仲仕風
右昭和十年十二月三十日區内北區崎町六番地杉村倉庫第二貯水場ニ於テ溺死セルヲ發見死後ノ經過一週間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳女推定五十五年位　體肥顏貌圓顏頭髮束髮色白ク身長四尺八寸位著衣格子縞黒茶色銘仙袷錦紗黒茶色羽織黒繻子製コート(山本ノネームアリ)十九圓十一錢所持ス
右昨十一年十一月二十九日午前九時區内南安治川通三丁目十七番地先但安治川筋三丁目淺下流南岸ニ於テ溺死セルヲ發見死後隔週八時間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男推定三十年位　體中肉顏圓眉濃身長五尺三寸位　頭髮丸刈著衣メリヤス多數衣
右昨十一年十一月十五日區内南濱岸通一丁目地先大阪港内第三區ニ於テ溺死セルヲ發見死後二週間位經過寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男五十年位　體肥色黒身長五尺二寸位　頭髮五分刈著衣木綿縞著物　毛絲ノジヤケツ一見仲仕風
右昭和十年十二月三十日區内北區崎町六番地杉村倉庫第二貯水場ニ於テ溺死セルヲ發見死後ノ經過一週間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

住所氏名不詳二十七八歳位　男五尺三寸位　强健ナル體格圓顏頭髮五分刈髯少シアリ左股ニ横痙アリ著衣キヤラコ白カッターシヤツ二枚絹セルズボン國防色セルジヤンパー上下木綿帶　襪絹純下携帶品角形クローム琺瑯計所持ス
右本月十六日當區桃山町丹下澗ニ溺死體漂著身許不詳ニ付寫眞撮影ノ上火葬ス心當リノ者ハ届出ツヘシ
昭和十二年九月二十日　京都市伏見區役所

住所氏名不詳二十七八歳位　男五尺三寸位　頭髮五分刈髯少シアリ左股ニ横痙アリ著衣キヤラコ白カッターシヤツ二枚絹セルズボン國防色セルジヤンパー上下木綿帶　襪絹純下携帶品角形クローム琺瑯計所持ス
右本月十六日當區桃山町丹下澗ニ溺死體漂著身許不詳ニ付寫眞撮影ノ上火葬ス心當リノ者ハ届出ツヘシ
昭和十二年九月二十日　京都市伏見區役所

本籍住所氏名不詳男推定二十五年位　體中肉顏長身長五尺二寸位　頭髮五分刈色青黒著衣榮色毛絲シヤツ紺色ズボン　木綿法被襟ニ水原トメアリ一見職人風
右本年一月二日區内石田青　花町一二六番地先街路ニ於テ死亡セルヲ發見死後十二時間位經過寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男二十年位　丈五尺二寸位　顏圓ク頭髮丸刈眉長ク　眼小耳衣紺サージ學生詰襟服同ズボン及ワイシヤツヲ著シ十文半ノ鋲上靴ヲ穿ツ二ツ折革製財布中二十九錢所持ス
右本年七月二十八日區内塚本町東海道線塚本驛構内ニ於テ轢死ニ付寫眞撮影火葬ス心當リノ者ハ申出ツヘシ
昭和十二年九月二十一日　大阪市西淀川區役所

本籍住所氏名不詳男三十年位　丈五尺二寸位　顏圓ク頭髮濃ク　オールバック眉濃ク鼻低シ　體格普通面長自キ方　齒ハ全部ナク下前齒三本ノミ鼻隆ク頭髮白髮混リ束髮他ハ普通著衣木綿縞綿入　縞單衣黒繻子帶縮緬單衣紺銘仙單服木綿並ニレース(白)腰卷ヲ著ス携帶品ナシ
右去月二十九日淀川區野里町疏水副ニ溺死體漂著身許不詳ニ付寫眞撮影ノ上火葬ス心當リノ者ハ申出テラレヘシ
昭和十二年九月二十日　京都市伏見區役所

本籍住所氏名不詳男五十年位　體肥色黒身長五尺二寸位　頭髮五分刈著衣木綿縞著物　毛絲ノジヤケツ一見仲仕風
右昭和十年十二月三十日區内北區崎町六番地杉村倉庫第二貯水場ニ於テ溺死セルヲ發見死後ノ經過一週間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男推定二十五年位　體中肉顏長身長五尺二寸位　頭髮五分刈色青黒著衣榮色毛絲シヤツ紺色ズボン　木綿法被襟ニ水原トメアリ一見職人風
右本年一月二日區内石田青　花町一二六番地先街路ニ於テ死亡セルヲ發見死後十二時間位經過寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男三十年位　丈五尺二寸位　顏圓ク頭髮濃ク　オールバック眉濃ク鼻低シ　體格普通面長自キ方　齒ハ全部ナク下前齒三本ノミ鼻隆ク頭髮白髮混リ束髮他ハ普通著衣木綿縞綿入　縞單衣黒繻子帶縮緬單衣紺銘仙單服木綿並ニレース(白)腰卷ヲ著ス携帶品ナシ
右去月二十九日淀川區野里町疏水副ニ溺死體漂著身許不詳ニ付寫眞撮影ノ上火葬ス心當リノ者ハ申出テラレヘシ
昭和十二年九月二十日　京都市伏見區役所

本籍住所氏名不詳男推定二十五年位　體中肉顏長身長五尺二寸位　頭髮五分刈色青黒著衣榮色毛絲シヤツ紺色ズボン　木綿法被襟ニ水原トメアリ一見職人風
右本年一月二日區内石田青　花町一二六番地先街路ニ於テ死亡セルヲ發見死後十二時間位經過寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男三十年位　丈五尺二寸位　顏圓ク頭髮濃ク　オールバック眉濃ク鼻低シ　體格普通面長自キ方　齒ハ全部ナク下前齒三本ノミ鼻隆ク頭髮白髮混リ束髮他ハ普通著衣木綿縞綿入　縞單衣黒繻子帶縮緬單衣紺銘仙單服木綿並ニレース(白)腰卷ヲ著ス携帶品ナシ
右去月二十九日淀川區野里町疏水副ニ溺死體漂著身許不詳ニ付寫眞撮影ノ上火葬ス心當リノ者ハ申出テラレヘシ
昭和十二年九月二十日　京都市伏見區役所

本籍地長野縣(生存中岡キ取リタルモノニシテ八幡村今田村大塚村河合村ヲロニシタリ　篠井警察署管内)統名違證かめ年齢六十三歳位女職業不明身長四尺九寸位痩形目凹ミ頭髮白毛混リ鼻隆キ方其他特徴ナシ　着衣男物夏メリヤス濃黄色シヤツ　木綿單衣黒白縞讃岐足袋帯笠携帶品大形バスケット飯碗二個擔襁若干
右本月七日本町太郎丸地内醫師ニ打倒レ居ルヲ發見シタルニ因リ直チニ收容治療中ノ處同九日午後四時死亡ニ付假埋葬ス心當リノ者ハ當役場ニ申出ツヘシ
昭和十二年九月九日　富山縣東礪波郡出町役場

◉臺灣銀行券發行週報

自昭和十二年九月十九日至昭和十二年九月二十五日　臺灣銀行券發行平均高　九八、三七〇、三二四、〇〇〇
銀行券發行高　準備　四八、三七〇、三二四、〇〇〇
保證　五〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
昭和十二年九月二十八日　株式會社臺灣銀行

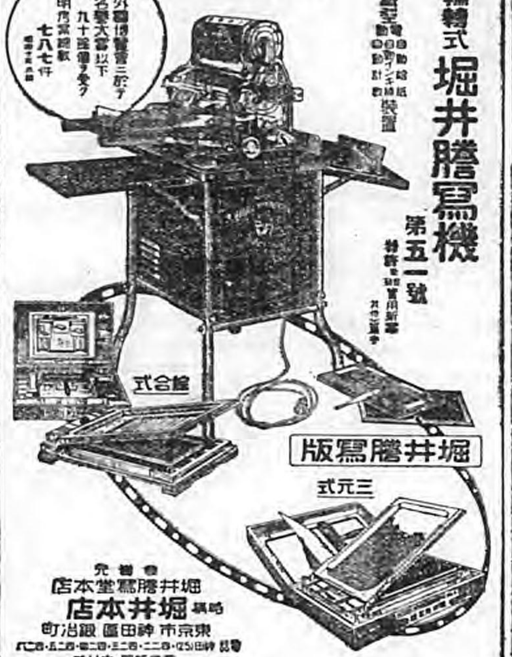
◉外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

通常	普通書留	小包	船名
月日	時	月日	時
●加拿陀、米國、南米等行			
一〇、七發第一〇	一〇、七前二、三〇	一〇、七前一〇、一〇	横濱 平安丸
●布哇、加拿陀、米國、南米等行			
一〇、七發一〇	一〇、七發一〇	同	エムプレスオブジヤパン號
●南支那、香港、フィリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行			
同八發六午	同八發六午	一〇、六發夜	神戸 もんでびでお丸
同九發六午	同九發六午	同	プレシデント、マツキンレー號
●香港、フィリピン群島、濠洲、新西蘭等行			
一〇、一〇發二			横濱 北野丸

(備考)　もんてびでお丸ノ小包ハ横濱局送トス

優良國産

輪轉式 堀井謄寫機 第五一號



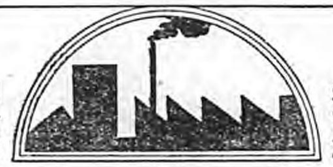
発賣元
店本堂寫謄井堀
堀井本店
東京市神田區錦町
町治錦
電話 神田 一二二〇・一二二一・一二二二・一二二三・一二二四番
エリホ 製版信電
盛京・津天・口漢・海上・店支

品定指御省信逓
ヤマト タイムスタンプ
最新型自働時分記錄番

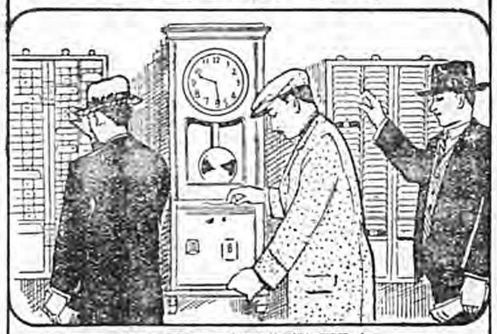
工場管理ニ作業時間記錄ニ
産業合理化ノ第一線ニ

所作製機電口原
式社株
東京市芝區三田四國町一番地　電話高輪五四一七・七一一六
大阪營業所　大阪市北區大開町　電話土佐堀五六〇

送呈 型録



世界的に比無の堅牢、確正、時間
イスガス
計時錄記勤出



日本滿洲總代理店
店商屋玉 社式株
東京 銀座 三丁目

ワダカルシューム
檜林醫學博士推奨　片瀬醫學博士鑑査　(片瀬博士述說明書冊子發賣元へ御申越次第呈上)
妊産婦を保護し、胎兒の發育を助け母乳を豐富ならしめ、且乳質を改善せしむる等、諸多の好果を擧ぐ
發賣元　大阪道修町　和田卯助商店
關東代理店　東京本町　株式會社田邊元三郎商店

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

週報

發行　十月六日

內閣情報部編輯

第五十一號

增頁號

○農山漁村に於ける勤勞奉仕……農林省經濟更生部
○貿易組合法其の他……貿易局
○保定・滄州の陷落と上海戰線の力攻……陸軍省新聞班
○海軍の作戰進む……海軍省海軍軍事普及部
——（國際時事解說）——
○日暹修好五十年の回顧……外務省情報部

定價
一部　五錢（送料不要）
年極（前金）二圓四十錢

○一ケ年未滿配送御希望の方は一部五錢の割合にて前金を添へ御申込み下さい
○一ケ年分前金にて御申込みの方へ週報（保存用）綴込表紙贈呈

申込所　內閣印刷局發行課
發行所　內閣印刷局

愛國行進曲懸賞募集規定

內閣情報部では今回行はれる國民精神總動員を機として、國民が永遠に愛唱し得べき國民歌を作ることゝなり、次の規定に依つて、汎く帝國國民より愛國行進曲（歌詞及作曲）を募集することゝなつた。

募集規定

（一）歌詞

（イ）美しく明るく勇ましき行進曲風のもの。

（ロ）內容は日本の眞の姿を讃へ、帝國永遠の生命と理想とを象徵し國民精神作興に資するに足るもの。

（ハ）章節は三節以上とし、一節の行數は四行以上とすること、尙反唱部を別に添ふるも差支なし。

（ニ）平戰兩時を通じ國民が老幼男女を問はず常に和唱し得るもの。

（ホ）歌詞中の漢字には必ず振假名を明記すること。

（二）締切及審査發表

締切期日　十月二十日

審査發表　十一月三日

新聞、週報、ラヂオ等に依り最高位當選の歌詞及入賞、佳作の作詞者氏名を發表す。

（三）表彰

一等　一名　總理大臣賞として　銀牌及賞金壹千圓

二等　一名　同　銅牌及賞金五百圓

三等　一名　同　銅牌及賞金參百圓

右の外佳作若干に對し內閣情報部より賞狀を附與す。

（四）應募者は帝國國民に限る、但し一人一篇のこと。

（五）入選及佳作の歌詞の著作權は一切內閣情報部に歸屬す。又歌詞は發表の際改訂することあるべし。應募原稿は返戻せず。

（六）應募原稿の用紙は半紙大とす。又原稿紙には必ず現住所及氏名明記のこと。

（七）宛名　東京市麴町區永田町二ノ一　內閣情報部宛、封筒に「應募歌詞」と朱書して必ず郵送のこと。

（八）右規定の外一切質問に應ぜず。

（九）作曲　最高位に當選したる歌詞に作曲するものとす。右に關しては審査發表當日詳細を發表す。

（十）歌詞の審査員左の如し

內閣情報部
東京音樂學校長　乘杉嘉壽
片岡直道
東京中央放送局長　穗積重遠
河井酔茗
佐々木信綱
北原白秋
島崎藤村

定價　一部　一ケ月九十五錢　一圓八十錢（外國郵便ニ）　六ケ月五錢　八錢（依ル地域）　含送料共

廣告料　本公　一般廣告　一行三十錢　九ポイント五錢增　八ポイント一行十四字詰　二十五錢

發行所　內閣印刷局　東京市麴町區大手町　電話丸ノ內（二）五八〇〇番　振替東京一九〇〇〇番　發行課

（本書ノ大サハ國定規格A4判）

官報

昭和十二年十月六日
第三千二百二十九號 水曜日

勅令

朕内閣所屬部局及職員官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年十月五日

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿

勅令第五百七十四號

内閣所屬部局及職員官制中左ノ通改正ス

第七條中「屬　專任百二十六人」ヲ「屬　專任百三十人」ニ、「技手　專任八十五人」ヲ「技手　專任九十二人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕裁判所職員定員令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年十月五日

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿
司法大臣 鹽野 季彦

勅令第五百七十五號

裁判所職員定員令中左ノ通改正ス

第一條第一項中「部長　勅任又ハ奏任　二十六人」ヲ「部長　勅任又ハ奏任　三十二人」ニ、「判事　奏任　七十二人」ヲ「判事　奏任　九十人」ニ、「檢事　勅任又ハ奏任　三十七人」ヲ「檢事　勅任又ハ奏任　三十九人」ニ、「判事　奏任　千百八十七人」ヲ「判事　奏任　千百九十九人」ニ、「檢事　奏任　五百三十九人」ヲ「檢事　奏任　五百五十八人」ニ改ム

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

地方裁判所判事ハ三人ヲ限リ、地方裁判所檢事ハ一人ヲ限リ之ヲ勅任ト爲スコトヲ得

第二條中「書記　專任五千五百九十二人」ヲ「書記　專任五千七百二十九人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）
大正九年十二月二十日公布　勅令第五百六十六號裁判所職員定員令抄錄

第一條第一項
判事檢事各職ノ定員左ノ如シ

控訴院
部長　勅任又ハ奏任　二十六人
判事　奏任　七十二人
控訴院檢事局
檢事　勅任又ハ奏任　三十七人
地方裁判所及區裁判所
判事　奏任　千百八十七人
地方裁判所檢事局及區裁判所檢事局
檢事　奏任　五百三十九人

朕高等官官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年十月五日

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿

勅令第五百七十六號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第八條中「地方裁判所長タルモノ」ヲ「地方裁判所長、地方裁判所判事タルモノ」ニ、「檢事正タルモノ」ヲ「檢事正、地方裁判所檢事タルモノ」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）
明治四十三年三月二十八日公布　勅令第百三十四號　高等官官等俸給令抄錄

第八條　勅任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ

判事　大審院判事、控訴院部長、地方裁判所長タルモノ
檢事　大審院檢事、控訴院檢事、檢事正タルモノ
年俸　一級　四千六百五十圓
　　　二級　四千三百圓
　　　三級　四千五十圓

朕明治二十三年勅令第十一號金鵄勲章ノ等級製式佩用式中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年十月五日

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿

勅令第五百七十七號

明治二十三年勅令第十一號中左ノ通改正ス

金鵄勲章製式中功四級章ノ部綬ノ項ヲ左ノ如ク改ム

綬	
幅	一寸二分　緑花ヲ附ス織地緑雙線白

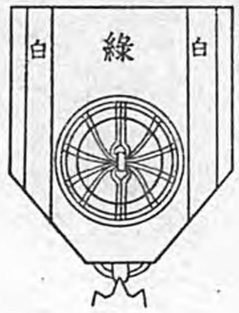
目次抄錄

●勅令　内閣所屬部局及職員官制中改正　一六一
裁判所職員定員令中改正　一六一
高等官官等俸給令中改正　一六一
金鵄勲章ノ等級製式佩用式中改正　一六一
軍機保護法改正法律施行期日　一六二
關東州裁判事務取扱令中改正　一六二
關東州臨時船舶管理令　一六二
●省令　土木事業從事員共濟組合規則中改正　一六二
昭和十二年徵集現役兵中一部ノ入營期日　一六二
青年學校教練指導者檢定規程中改正　一六三
●府令　朝鮮總督府所屬官署ノ司法事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルノ件中改正其他　一六三
●告示　熊本都市計畫街路事業及其執行年度割其他　一六三
●其他　在外指定學校指定　一六四
在外公館報告　比島入港船舶ノ「コレラ」檢疫　一八〇
新嘉坡商品市況　一八〇
英領印度經濟情況　一八〇
英國經濟情況　一八〇
米國外國貿易額對日支貿易　一八一

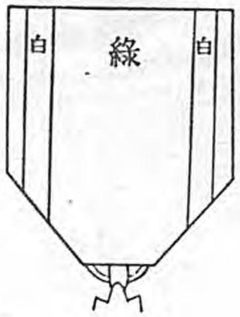
明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

功四級以下金瑪章綬ノ圖ノ部ヲ左ノ如ク改ム

功四級金瑪章綬



功五級以下金瑪章綬



附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

功四級金瑪章ハ當分ノ內仍從前ノ綬ヲ以テ之ヲ佩用スルコトヲ得

朕昭和十二年法律第七十二號軍機保護法改正法律施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十二年十月五日

內閣總理大臣　公爵　近衛　文麿
海軍大臣　米內　光政
司法大臣　鹽野　季彥
陸軍大臣　杉山　元

朕關東州裁判事務取扱令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十二年十月五日

內閣總理大臣　公爵　近衛　文麿

勅令第五百七十九號

關東州裁判事務取扱令中左ノ通改正ス

第六條中「主務大臣ノ職務ハ」ノ下ニ「軍機保護法ニ規定スル陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ職務及」ヲ加フ

附　則

本令ハ昭和十二年法律第七十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕關東州臨時船舶管理令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十二年十月五日

內閣總理大臣　公爵　近衛　文麿

勅令第五百八十號

關東州臨時船舶管理令

第一條　關東州ニ於ケル船舶管理ニ關シテハ臨時船舶管理法（第十一條、第十三條及第二十三條ノ規定ヲ除クノ外同法ニ依ル但シ同法中日本船舶トアルハ關東州ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶、日本船舶（關東州ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）トアルハ日本船舶（內地、朝鮮及臺灣ニ於テ行ハルル法令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）、船舶職員法トアルハ關東州船舶職員令トス

第二條　滿洲國駐箚特命全權大使臨時船舶管理法第三條乃至第七條ノ規定ニ依ル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲サントスルトキハ遲滯ナク關東廳長官ヲ經由シテ內閣總理大臣ニ協議スベシ

附　則

本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

本令ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

〈參照〉

明治四十一年九月二十日勅令第二百十三號關東州裁判事務取扱令抄錄

第六條　第一條ニ揭ケタル法令中主務大臣ノ職務ハ逃亡犯罪人引渡條例ニ規定スル外務大臣ノ職務ヲ除クノ外關東廳長官之ヲ行フ

省令

◉內務省令第四十二號

土木事業從事員共濟組合規則中左ノ通改正ス

昭和十二年十月六日

內務大臣　馬場　鍈一

第六條第五號　削除

第七條ノ二　陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタル爲退官若ハ退職シ又ハ休職ト爲リ因テ組合ヲ脫退シタル者徵集又ハ召集ヲ解除セラレタル日ヨリ三月內ニ再ヒ組合員ト爲リタルトキハ其ノ前後ノ加入期間ハ之ヲ通算スルコトヲ得

前項ノ適用ヲ受ケムトスル者ハ再ヒ組合員ト爲リタル日ヨリ三十日內ニ其ノ意思ヲ表示シ且前加入期間ニ基ク脫退給付ノ受領額ヲ返還スルコトヲ要ス但シ再加入後六月內ニ月賦ニ依リ返還スルコトヲ得

〈參照〉

大正十二年七月二內務省令第二十一號土木事業從事員共濟組合規則抄錄

第六條　組合員ハ左ノ場合ニ限リ組合ヨリ脫退ス

五　陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ但シ其期間四月內ニシテ組合員タル資格ヲ繼續スルノ意思ヲ表示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

◉陸軍省令第四十二號

昭和十二年徵集現役兵ニシテ第六師管又ハ第十二師管ヨリ徵集セラルル者ノ中滿洲國熱河省又ハ錦州省ニ在ル部隊ニ入營スベキ者ノ入營期日ハ兵役法施行規則附表第一ノ規定ニ拘ラズ之ヲ昭和十三年一月十日トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年十月六日

陸軍大臣　杉山　元

◉海軍省令第二十七號

青年學校課程修得者檢定規程中左ノ通改正ス

昭和十二年十月六日

海軍大臣　米內　光政

第四條第二項中「關係ノ師團及聯隊區司令部竝ニ地方廳ニ左ノ各號ノ事項ヲ通知セシムベシ」ヲ「左ノ各號ノ事項ヲ關係ノ師團及聯隊區司令部ニ、第一號、第四號及第五號ノ事項ヲ關係地方廳ニ通知スベシ」ニ改メ同項第二號及第三號ヲ左ノ如ク改ム

二　青年學校課程修得者檢定成績表（樣式第二）

三　學校教練合格者調書（樣式第三）

四　青年學校課程修得者檢定綜合成績表（樣式第三）

五　意見其ノ他必要ト認ムル事項

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

樣式第一

青年學校課程修得者檢定成績表

、、聯隊區
、、兵

出郡身（市）町（村）名	修得年時	課程修了證明書又ハ別紙ニ記載スル學校名	學歷	檢定成績										合否	入籍番號	氏名
				人物考査	教練檢定								總評			
					品性及ビ一般ノ軍事的素質	海軍各個教練	部隊陸戰教練	陸戰要務	計							

備考

一　本表ハ聯隊區每ニ各別紙ニ調製スルモノトス

二　比率ハ新兵入團員數ニ對スル千分比トシ各事項每ニ記入スルモノトス

樣式第二

學校教練檢定合格者調書

、、聯隊區
、、兵

學歷	出身學校名	人物考査	入籍番號	氏名

備考　本調書ハ聯隊區每ニ兵種別ニ區分シ各別紙ニ調製スルモノトス

樣式第三

青年學校課程修得者檢定綜合成績表

、、聯隊區

事項 / 兵種別	新兵入團員數	檢定ヲ受ケタル員數	成績 合格 甲	乙	計	不合格 丙	學校教練合格者	青年學校ノ課程ヲ修メタル檢定資格ナキ者	青年學校ノ課程ヲ修メザル者
水兵									
、、									
、、									
計									
比率									

備考

一　本表ハ聯隊區每ニ各別紙ニ調製スルモノトス

二　比率ハ新兵入團員數ニ對スル千分比トシ各事項每ニ記入スルモノトス

〈參照〉

昭和十一年八月二日海軍省令第一號青年學校教員養成所修業者檢定規程抄錄

第四條　海兵團長ハ檢定實施後三十日以內ニ檢定成績ニ登兵團其ノ他必要ト認ムル事項ヲ附ジ之ヲ鎭守府司令長官ニ提出スベシ

鎭守府司令長官ハ前項ノ成績ヲ審査シテ合格者ヲ決定シ其ノ綜合成績ニ登兵ヲ附シ檢定實施方法ヲ添ヘ之ヲ新兵入團後五十日以內ニ海軍大臣ニ提出シ且海軍人事部長ヲシテ關係ノ師團及聯隊區司令部竝ニ地方廳ニ左ノ各號ノ事項ヲ通知セシムベシ

一　檢定成績

二　檢定實施要領

三　登兵其ノ他必要ト認ムル事項

府令

◉朝鮮總督府令第九十三號

明治四十三年朝鮮總督府令第四十二號（本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルノ件）中左ノ通改正ス

昭和十二年七月二十九日

朝鮮總督　南　次郎

第一項中「朝鮮總督府監獄」ノ下ニ「朝鮮總督府刑務官練習所」ヲ加フ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◉朝鮮總督府令第九十四號

朝鮮總督府種羊場ノ名稱、位置及管轄區域

昭和十二年七月三十一日ヨリ左ノ通定ム

昭和十二年七月三十日

朝鮮總督　南　次郎

名稱	位置	管轄區域
明川種羊場	咸鏡北道明川郡阿間面萬戶洞	咸鏡北道、忠淸南道、忠淸北道、慶尙南道、慶尙北道、江原道、咸鏡南道、咸鏡北道
順川種羊場	平安南道順川郡殷山面天聖里	京畿道、全羅北道、全羅南道、黃海道、平安南道、平安北道

◉朝鮮總督府令第九十五號

明治四十五年朝鮮總督府令第六十一號（海事ニ關スル事務ヲ分掌スル朝鮮總督府遞信局海事出張所ノ設置竝其ノ名稱、位置及分掌區域）中左ノ通改正ス

昭和十二年七月三十日

朝鮮總督　南　次郎

別表朝鮮總督府遞信局仁川海事出張所ノ項分掌區域ノ欄中「忠清南道」ヲ「忠清南道ノ內瑞山郡、唐津郡、牙山郡及天安郡ニ改ム同表同木浦海事出張所ノ項分掌區域ノ欄中「全羅北道」ヲ削ル同表同羅津海事出張所ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

同	忠清南道（瑞山郡、唐津郡、牙山郡及天安郡ヲ除ク）全羅北道	
群山繭事出張所	全羅北道群山	

附　則

本令ハ昭和十二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

訓　令

◉陸軍省訓令第十號

臨時軍事費特別會計當省主管歲入科目左記ノ通設置ス

昭和十二年十月六日

陸軍大臣　杉山　元

歲入	款	項	目
	軍資金		
		軍資金	
			辯償及違約金
			物品拂下代
			家畜拂下代
			雜入

告　示

◉內務省告示第五百九十六號

熊本都市計畫街路事業及其ノ執行年度割左ノ通決定シ昭和十二年十月一日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ街路ヲ表示シタル圖面ハ熊本縣廳及熊本市役所ニ備置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月六日

內務大臣　馬場　鍈一

熊本都市計畫街路事業及其ノ執行年度割

第一　熊本都市計畫街路中左ノ路線ノ一部ヲ都市計畫事業トス

街路番號				
等級	類別	番號	起點	終點
一	三	九	迎町	本莊町

主ナル經過地	幅員（間）
	二二

別紙圖面表示ノ通（圖面省略）

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約五割三分五厘

昭和十三年度　約四割六分五厘

◉內務省告示第五百九十七號

東京瓦斯電氣工業健康保險組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地左ノ通變更セリ

昭和十二年十月六日

內務大臣　馬場　鍈一

變更前

東京瓦斯電氣工業株式會社　東京府東京市大森區入新井一丁目百番地

東京火藥工業株式會社　東京府東京市板橋區志村中臺町千五百五十五番地

東京機器工業株式會社　東京府東京市大森區入新井一丁目百番地

變更後

東京瓦斯電氣工業株式會社　東京府東京市大森區入新井一丁目百番地

東京火藥工業株式會社　東京府東京市板橋區志村中臺町千五百五十五番地

東京機器工業株式會社　東京府東京市大森區入新井一丁目百番地

◉內務省告示第五百九十八號

日立製作所龜戶工場健康保險組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地左ノ通變更セリ

昭和十二年十月六日

內務大臣　馬場　鍈一

變更前　株式會社日立製作所　東京府東京市龜戶町八丁目百八十番地

變更後　株式會社日立製作所龜戶工場

東京府東京市城東區龜戶町八丁目百八十番地　株式會社日立製作所龜戶工場

變更前　株式會社日立製作所　東京府東京市龜戶町八丁目百八十番地

變更後　株式會社日立製作所龜戶工場

東京府東京市足立區大谷田町九百二十七番地　株式會社日立製作所龜有工場

◉內務省告示第五百九十九號

パイロット健康保險組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地左ノ通變更セリ

昭和十二年十月六日

內務大臣　馬場　鍈一

變更前

株式會社並木製作所　東京府東京市京橋區京橋二丁目七番地

變更後

株式會社並木製作所　東京府東京市京橋區京橋二丁目七番地

パイロット化學工業株式會社　東京府東京市板橋區志村町千四百九十五番地

◉文部省告示第三百三十一號

彌榮村移民團ノ設置セル三江省樺川縣彌榮村彌榮蕗常高等小學校ヲ恩給法施行令第八條ニ依リ在外指定學校トシテ昭和十二年十月四日指定セリ

昭和十二年十月六日

外務大臣　廣田　弘毅

文部大臣　安井　英二

◉文部省告示第三百三十二號

三畚口內地人居留民會ノ設置セル三畚口日本蕗常高等小學校ヲ恩給法施行令第八條ニ依リ在外指定學校トシテ昭和十二年十月四日指定セリ

昭和十二年十月六日

外務大臣　廣田　弘毅

文部大臣　安井　英二

◉文部省告示第三百三十三號

密山日本在留民會ノ設置セル密山日本蕗常高等小學校ヲ恩給法施行令第八條ニ依リ在外指定學校トシテ昭和十二年十月四日指定セリ

昭和十二年十月六日

外務大臣　廣田　弘毅

文部大臣　安井　英二

◉文部省告示第三百三十四號

勃利縣日本在留民會ノ設置セル勃利日本蕗常高等小學校ヲ恩給法施行令第八條ニ依リ在外指定學校トシテ昭和十二年十月四日指定セリ

昭和十二年十月六日

外務大臣　廣田　弘毅

文部大臣　安井　英二

◉文部省告示第三百三十五號

林口日本在留民會ノ設置セル林口日本蕗常高等小學校ヲ恩給法施行令第八條ニ依リ在外指定學校トシテ昭和十二年十月四日指定セリ

昭和十二年十月六日

外務大臣　廣田　弘毅

文部大臣　安井　英二

◉文部省告示第三百三十六號

梨樹鎭日本在留民會ノ設置セル梨樹鎭日本蕗常高等小學校ヲ恩給法施行令第八條ニ依リ在外指定學校トシテ昭和十二年十月四日指定セリ

昭和十二年十月六日

外務大臣　廣田　弘毅

文部大臣　安井　英二

◉文部省告示第三百三十七號

掖河日本在留民會ノ設置セル掖河日本蕗常小學校ヲ恩給法施行令第八條ニ依リ在外指定學校トシテ昭和十二年十月四日指定セリ

昭和十二年十月六日

外務大臣　廣田　弘毅

文部大臣　安井　英二

◉遞信省告示第三千五十二號

左記私設無線電話ノ使用電波ノ型式及周波數ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所	使用電波ノ型式及周波數
昭和十年四月遞信省告示第九百九十二號	內山周吉	帆船第五新寶丸	A1 一三六四kc A3 一三七五kc 及一三六四kc A3 一六五kc

◉遞信省告示第三千五十三號

明治三十八年十二月遞信省令第八十四號ニ依リ昭和十二年十月十日ヨリ左記鑛業特設電話所ヲ設置ス

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
高森鑛業特設電話所	青森縣上北郡天間林村

◉遞信省告示第三千五十四號

昭和十二年九月二十六日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第二利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第二利丸託送（大洋捕鯨株式會社第二利丸）	JKYW	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千五十五號

左記私設無線電信ノ使用電波ノ型式及周波數ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所	使用電波ノ型式及周波數
昭和三年五月遞信省告示第千百八十五號	長崎縣汽船漁王丸	同船	A1及A2 四一〇 四二五 五〇〇及一三六四kc

◉遞信省告示第三千五十六號

昭和十二年九月二十五日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「光島丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
光島丸託送（長崎縣光島村役場）	JGSM	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千五十七號

昭和十二年九月二十日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「十日丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千五十八號

昭和十二年九月二十六日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第八號正榮丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第八號正榮丸託送（瀨戶熊吉）	JFUJ	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千五十九號

昭和十二年九月二十九日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第三利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第三利丸託送（大洋捕鯨株式會社第三利丸）	JWDL	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千六十號

昭和十二年九月二十九日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第二利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第二利丸託送（大洋捕鯨株式會社第二利丸）	JWCL	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千六十一號

左記私設無線電信無線電話ノ施設ノ目的ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所	使用電波ノ型式及周波數
昭和七年七月遞信省告示第千三百九十二號	日宮倉藏	帆船第三魁丸	A1及A3 三七五 四二五 五〇〇及一三六四kc A3 一六五kc 不定

施設ノ目的

無線電信法第二條第一號乃至第三號及第六號ニ依リ航行ノ安全、漁業事業及電報送受ニ使用

◉遞信省告示第三千六十二號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信無線電話施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月六日

遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　四宮倉藏

二、施設ノ目的

無線電信法第二條第一號乃至第三號及第六號ニ依リ航行ノ安全、電報送受及漁撈ニ關スル通信ニ使用

三、機器裝置場所　帆船第八魁丸（定繫港神奈川縣三崎）

四、呼出符號　JEOE（無線電話呼出名稱第八號正榮丸）

五、空中線電力　無線電信　一五〇「ワット」

無線電話　七五「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數　A1及A3 三七五 四二五 五〇〇及一三六四kc A3 一六五kc 不定

七、通信執務時間

◎遞信省告示第三千六十三號

昭和十二年九月二十八日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第六利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月六日　遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第八號正榮丸託送（四宮錦藏第八號正榮丸）	JEOE	各海岸局及各船舶局	和文電報

◎遞信省告示第三千六十四號

昭和九年二月遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依リ左記船用品ノ型式ヲ承認ス

昭和十二年十月六日　遞信大臣　永井柳太郎

型式承認番號第二八八號
船用品ノ品名及型式　第一級甲型木製救命艇N・K式第七號
申請人ノ營業所及名稱　横濱市神奈川區北幸町三丁目一六八番地　日本輕量木材合資會社

◎遞信省告示第三千六十五號

左記私設無線電信ノ空中線電力等ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月六日　遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所
昭和三年七月遞信省告示第千八百八號	東和汽船株式會社	汽船昭榮丸

一、空中線電力　五〇〇「ワット」
二、使用電波ノ型式及周波數　A1 一二五　一三六　一四三　三七五　四一〇　四二五及五〇〇kc　A2 三七五　四一〇　四二五及五〇〇kc

◎遞信省告示第三千六十六號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月六日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　山下汽船株式會社
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號乃至第三號ニ依リ航行ノ安全、海運事業及電報送受ニ使用
三、機器裝置場所　汽船與運丸（定繋港東京）
四、呼出符號　JWRL
五、空中線電力　二五〇「ワット」
六、使用電波ノ型式及周波數　A1 一二五　一三六　一四三　三七五　四一〇　四二五及五〇〇kc　A2 三七五　四一〇　四二五及五〇〇kc
七、通信執務時間　八時間

◎遞信省告示第三千六十七號

昭和十二年九月二十五日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「太平梅丸託送」「太平天神丸託送」「竹丸託送」及「太平菊丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月六日　遞信大臣　永井柳太郎

◎遞信省告示第三千六十八號

昭和十年五月遞信省令第十五號無線方位測定機及警急自働受信機型式試驗規則第四條ニ依リ昭和十二年七月十九日左記機器ノ型式ヲ證明セリ

昭和十二年十月六日　遞信大臣　永井柳太郎

型式證明番號　第九號
品名　無線方位測定機
型　東洋九七F型
製造者名　東京市　東洋無線電信電話株式會社

説明書

本品ハ船舶用無線方位測定機トシテ使用セラルルモノニシテ其ノ大要ハ左ノ如シ

本品ハ空中線、方位指示裝置及受信機ノ三部ヨリ成リ二八五乃至五一五「キロサイクル」ノ受信周波數帶ヲ包含ス

空中線ハ回轉式枠型空中線及補助空中線ヨリ成ル　回轉式枠型空中線ハ直徑〇・七五米ノ環狀ニ卷回セラレ其ノ外部ハ遮蔽金屬管(65)ニヨリテ遮蔽セラル　該枠型空中線遮蔽金屬管(65)ハ長サ三・〇七米ノ回轉軸金屬管(66)ノ上端ニ於テ支ヘラレ回轉軸金屬管(66)ヲ軸トシテ回轉スルモノナリ　枠型空中線ノ導線ハ回轉軸金屬管(66)内ヲ通シテ受信機金屬函(72)内ニ導入セラレ枠型空中線ノ中點ハ遮蔽金屬管(65)ニ接續セラル

回轉軸金屬管(66)ハ軸承(67)ヲ備ヘ甲板ニ取付クルニ適スル構造ノモノナリ

補助空中線ハ長サ約一五米ノ單線垂直空中線ナリ

方位指示裝置ハ第一圖ニ示ス如ク回轉把手(68)、目盛板(69)及指針(71)ヨリ成リ枠型空中線回轉軸金屬管(66)ノ下部ニアリテ目盛板(69)ハ机上ニ固定セラレ指針(71)及回轉把手(68)ハ回轉軸金屬管(66)ニ固定セラル　回轉把手(68)ハ之ニヨリ枠型空中線ヲ回轉スルモノニシテ指針(71)及目盛板(69)ハ枠型空中線ノ面方向ヲ指示スルモノナリ　指針(71)ハ互ニ直角ニ固定セラレタル二箇ノモノヨリ成リ「センス」決定ニ便ナラシム　枠型空中線回轉軸金屬管(66)ノ下端及受信機金屬函(72)間ハ蛇腹管(70)ニヨリテ結合セラル

受信機ハ第五圖ニ示ス如ク空中線結合裝置、高周波二段增幅裝置、檢波裝置、低周波二段增幅裝置及出力整流裝置ヨリ成ル六球直流受信機ニシテ第二圖乃至第四圖ニ示ス如ク金屬函(72)内ニ納メラル

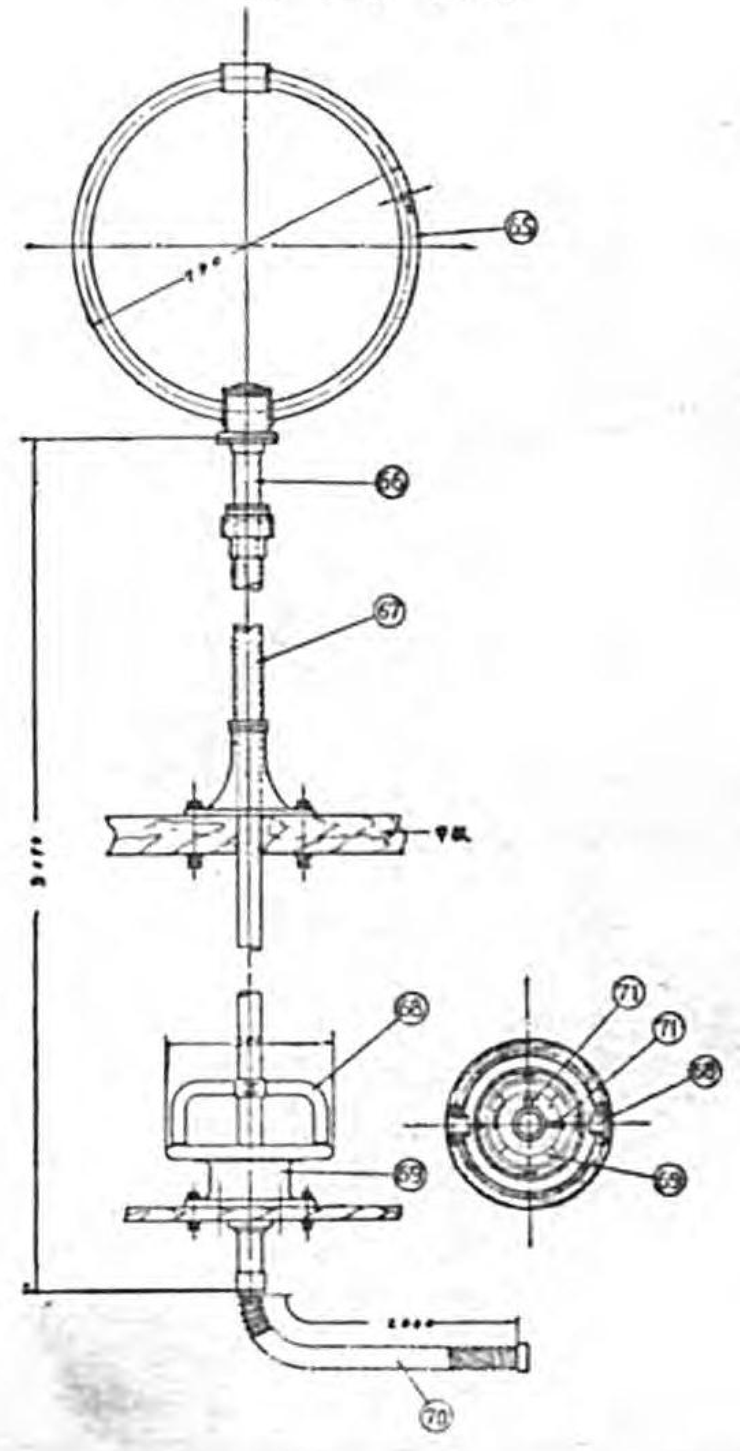
受信機金屬函(72)ハ緩衝塞(74)ニヨリ取付臺(73)ニ取付ケラル　空中線結合裝置ハ枠型空中線回路及補助空中線回路ヨリ成リ平衡用蓄電器(10)、同調用可變蓄電器(5)、「センス」決定用可變蓄電器(7)、兩空中線回路結合「インダクタンス」線輪(6)、「センス」決定用轉換器(8)、補助空中線轉換器(9)及半固定抵抗器(11)ヲ備フ　枠型空中線回路ノ同調用可變蓄電器(7)ハ高周波增幅回路同調用可變蓄電器(16)及(35)ト共ニ單一制御ヲ行フモノニシテ同調用可變蓄電器(7)(16)及(35)ノ微細調整ハ各蓄電器ノ固定板ヲ微動セシムルコトニヨリテ之ヲ行フモノナリ

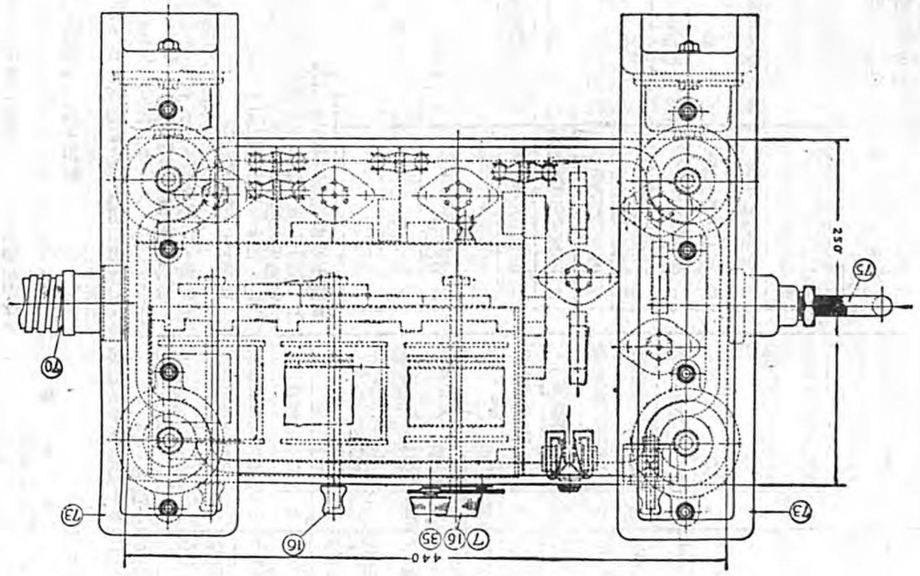
高周波二段增幅裝置ハ高周波變成器結合方式ノモノニシテ各高周波變成器(15)及(32)ノ二次側ニハ同調用可變蓄電器(16)及(35)ヲ備フ　高周波變成器(15)及(32)並「インダクタンス」線輪(6)ハ各遮蔽函内ニ納メラレ「プラッグイン」式トナシタルモノナリ　「インダクタンス」線輪(6)及高周波變成器(15)ノ遮蔽函ハ木製ニシテ高周波變成器(32)ノ遮蔽函ハ金屬製ナリ　檢波裝置ハ容量可變電磁再生「グリッド」檢波方式ノモノニシテ再生用可變蓄電器(33)ヲ備フ　低周波二段增幅裝置ハ低周波變成器結合方式ノモノニシテ出力側低周波變成器(49)ノ二次側ニハ受話器及整流回路ヲ備フ　出力整流裝置ハ眞空管(52)ヲ使用シタル「アノード」檢波方式ノモノニシテ陽極回路ニ轉換器(56)ヲ備ヘ該轉換器ノ切換ヘニヨリ電流計(58)ヲシテ出力整流電流ヲ指示セシム　電流計(58)ハ受信機金屬函「パネル」上ニ取付ケラレ轉換器(56)ノ切換ニヨリ全眞空管陽極電流ヲモ指示シ得ルモノナリ　受信機金屬函「パネル」上ニハ更ニ電壓計(59)ヲ備ヘ轉換器(61)ノ切換ニヨリ纖條電壓及陽極電壓ヲ指示セシム

本品ノ主要ナル部分品左ノ如シ

一、枠型空中線(1)　直徑〇・七五米　卷回數八回　卷線直徑六・五粍「ゴム・エンパイア」二重被覆心線直徑〇・三粍一二本撚　一箇
一、補助空中線(2)　單線垂直空中線長サ一五米　一箇
一、「インダクタンス」線輪(6)　「ボビン」直徑三〇粍　心線直徑〇・〇八一粍　七本撚「エナメル」「リッツ」線絹二重被覆「ハニカム」卷　卷回數｛枠型空中線側　一一〇回　補助空中線側　二五回｝　二箇　一箇
一、高周波變成器(15)　「ボビン」直徑三〇粍　卷線直徑〇・二五四粍　二重被覆絹卷銅線「バンク」卷　卷回數｛一次側　一九〇回　二次側　一六五回｝　一箇
一、高周波變成器(32)　「ボビン」直徑三〇粍　一次、二次側卷線直徑〇・二五四粍二重被覆絹卷銅線「バンク」卷　再生側卷線直徑〇・一二七粍一重絹卷「エナメル」銅線「バンク」卷　卷回數｛一次側　一六〇回　二次側　一五五回　再生側　七〇回｝　一箇
一、低周波變成器(39)(45)及(49)　鐵心八幡一級外鐵型　鐵心斷面積一三粍平方　鐵心ノ大サ五〇粍平方　卷線直徑｛一次側〇・〇七九粍「エナメル」銅線多層卷　二次側〇・〇七一粍「エナメル」銅線多層卷｝　卷回數｛一次側　四〇〇〇回　二次側　一八〇〇〇回｝　各一箇
一、可變蓄電器(5)　誘電體　空氣　靜電容量〇・〇〇〇一八「マイクロファラッド」　一箇
一、可變蓄電器(10)　誘電體　空氣　靜電容量〇・〇〇〇四二「マイクロファラッド」　一箇
一、可變蓄電器(7)(16)及(35)　誘電體　空氣　靜電容量〇・〇〇〇八「マイクロファラッド」　各一箇
一、可變蓄電器(33)　誘電體　雲母　靜電容量〇・〇〇〇四「マイクロファラッド」　一箇
一、固定蓄電器(34)　誘電體　雲母　靜電容量〇・〇〇〇二五「マイクロファラッド」　一箇
一、固定蓄電器(12)(17)(20)(23)(26)(29)(40)(42)(47)(50)(53)及(55)　誘電體　紙　靜電容量〇・五「マイクロファラッド」　各一箇
一、半固定抵抗器(11)　卷線型　最大直流抵抗値三〇〇〇「オーム」　一箇
一、半固定抵抗器(21)　卷線型　最大直流抵抗値五〇〇〇「オーム」　一箇
一、固定抵抗器(63)　卷線型　直流抵抗値〇・三三「オーム」　一箇
一、固定抵抗器(57)　卷線型　直流抵抗値二「オーム」　一箇
一、固定抵抗器(13)及(24)　「リーク」型　直流抵抗値四〇〇「オーム」　各一箇
一、固定抵抗器(19)(28)(43)及(48)　「リーク」型　直流抵抗値一〇〇〇「オーム」　各一箇
一、固定抵抗器(18)(27)及(38)　「リーク」型　直流抵抗値三〇〇〇「オーム」　各一箇
一、固定抵抗器(31)　「リーク」型　直流抵抗値一〇〇〇〇「オーム」　一箇
一、固定抵抗器(41)　「リーク」型　直流抵抗値三〇〇〇〇「オーム」　一箇
一、固定抵抗器(60)　卷線型　直流抵抗値四〇〇〇〇「オーム」　一箇
一、固定抵抗器(30)及(54)　「リーク」型　直流抵抗値五〇〇〇〇「オーム」　各一箇
一、固定抵抗器(36)　「リーク」型　直流抵抗値一「メグオーム」　一箇
一、電壓計(59)　可動線輪型　二重目盛　直流一〇「ヴォルト」及二〇〇「ヴォルト」倍率器外附　一箇
一、電流計(58)　可動線輪型　二重目盛　直流一〇「ミリアムペア」及五〇「ミリアムペア」分流器外附　一箇
一、高周波增幅用眞空管(14)及(25)　UZ五八　陽極電壓二五〇「ヴォルト」　遮蔽「グリッド」電壓一〇〇「ヴォルト」　增幅定數一二八〇　內部抵抗八〇〇〇〇〇「オーム」　相互「コンダクタンス」一六〇〇「マイクロモー」　各一箇
一、檢波、低周波、增幅及整流用眞空管(37)(44)(46)及(52)　UY五六　陽極電壓二五〇「ヴォルト」　增幅定數一三・八　內部抵抗九五〇〇「オーム」　相互「コンダクタンス」一四五〇「マイクロモー」　各一箇

第一圖
枠型空中線及方位指示裝置
（寸法單位　粍）



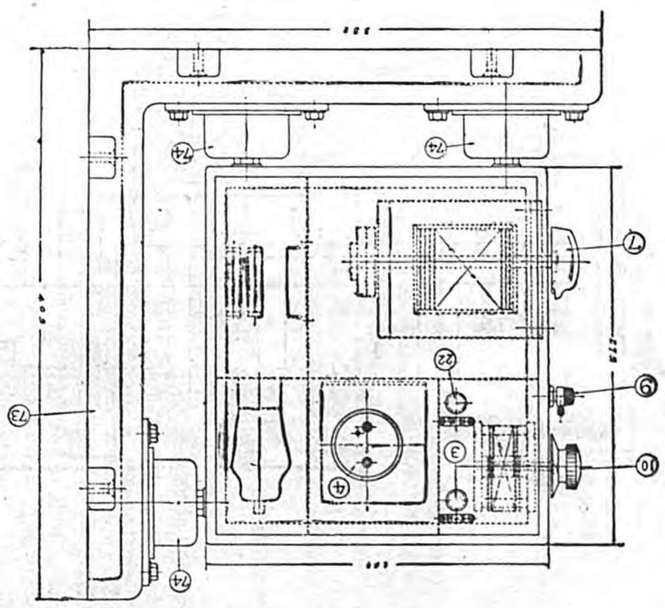


圖四第

圖面下操信受

(純位單 法寸)

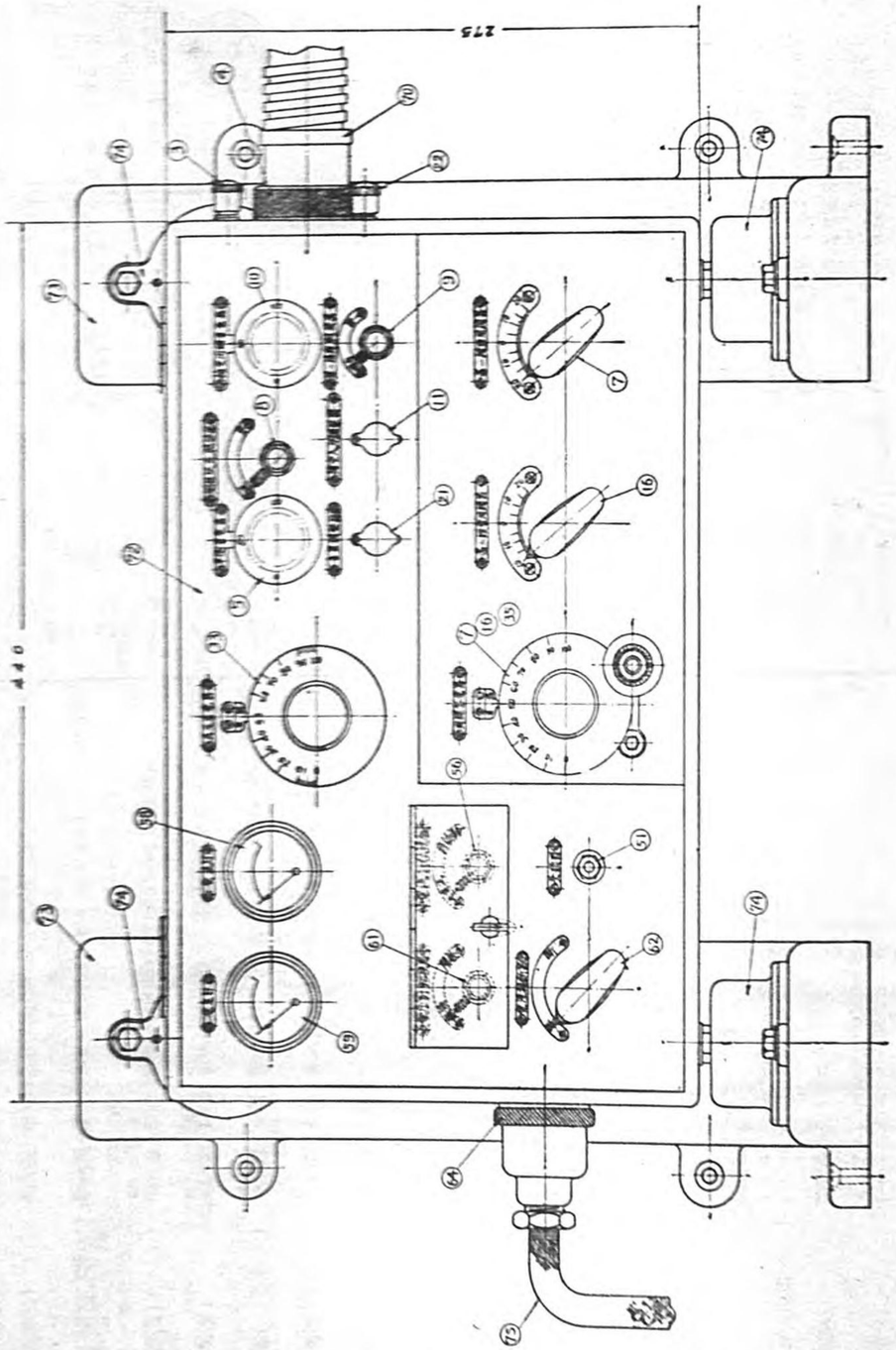
圖四第



圖三第

圖面側操信受

(純位單 法寸)



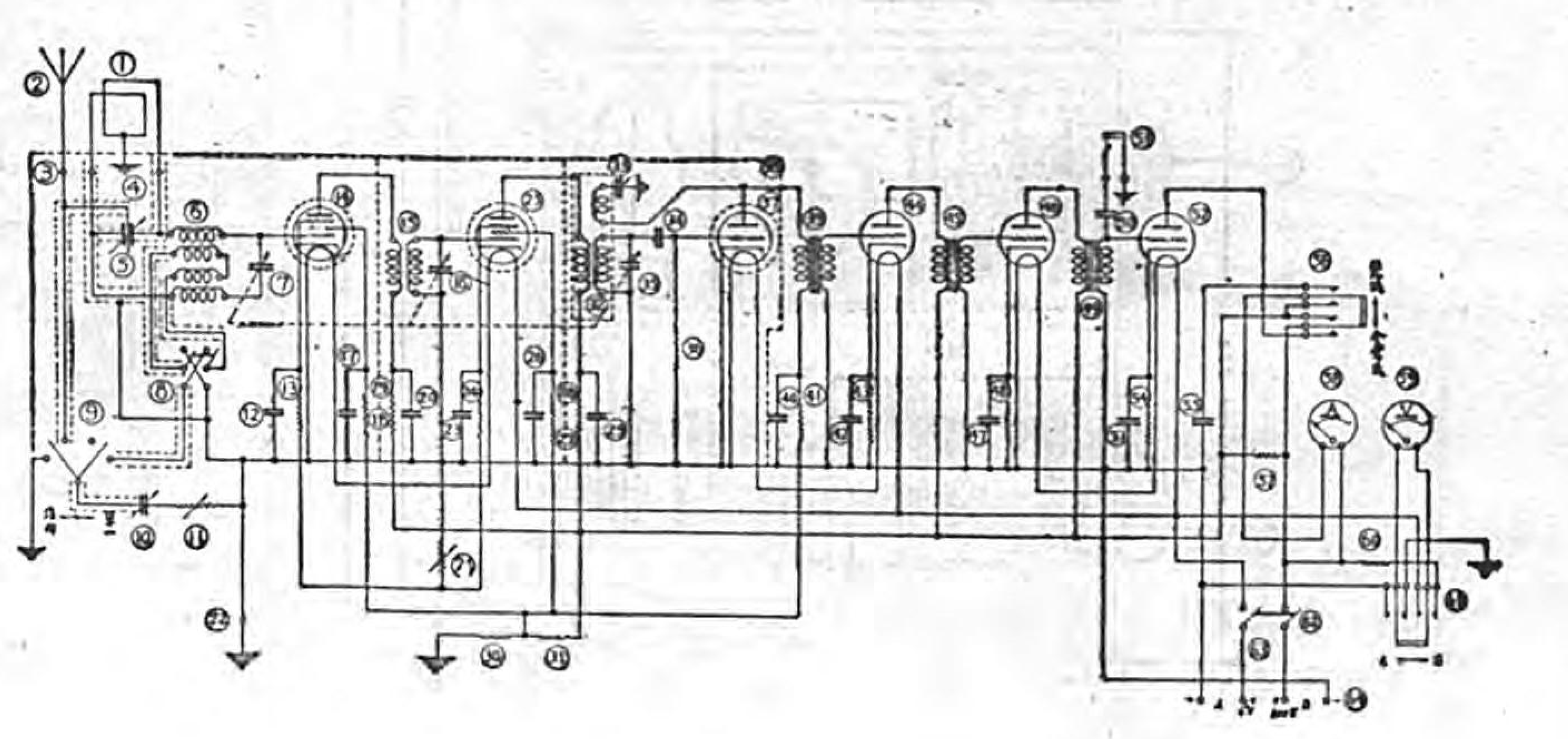
圖一十第

圖面正操信受

(純位單 法寸)

第五圖

接續圖



1	枠型空中線
2	補助空中線
3	補助空中線用端子
4	枠型空中線用端子
5	平衡用蓄電器
6	兩空中線回路結合「インダクタンス」線輪
7	枠型空中線同調用可變蓄電器
8	「センス」決定用轉換器
9	補助空中線轉換器
10	「センス」決定用可變蓄電器
11	「センス」決定用半固定抵抗器
12	側路用固定蓄電器
13	偏倚用固定抵抗器
14	高周波增幅用眞空管(UZ五八)
15	高周波變成器
16	同調用可變蓄電器
17	側路用固定蓄電器
18	電壓降下用固定抵抗器
19	電壓降下用固定抵抗器
20	側路用固定蓄電器
21	音量調整用半固定抵抗器
22	接地用端子
23	側路用固定蓄電器
24	偏倚用固定抵抗器
25	高周波增幅用眞空管(UZ五八)
26	側路用固定蓄電器
27	電壓降下用固定抵抗器
28	電壓降下用固定抵抗器
29	側路用固定蓄電器
30	分壓用固定抵抗器
31	分壓用固定抵抗器
32	高周波變成器
33	再生用可變蓄電器
34	檢波管「グリッド」固定蓄電器
35	同調用可變蓄電器
36	檢波管「グリッド」漏洩用固定抵抗器
37	檢波用眞空管(UY五六)
38	檢波管「アノード」固定抵抗器
39	低周波變成器
40	側路用固定蓄電器
41	電壓降下用固定抵抗器
42	側路用固定蓄電器
43	偏倚用固定抵抗器
44	低周波增幅用眞空管(UY五六)
45	低周波變成器
46	低周波增幅用眞空管(UY五六)
47	側路用固定蓄電器
48	偏倚用固定抵抗器
49	低周波變成器
50	阻止用固定蓄電器
51	受話器用「ジャック」
52	整流用眞空管(UY五六)
53	側路用固定蓄電器
54	偏倚用固定抵抗器
55	側路用固定蓄電器
56	電流計切換用開閉器
57	電流計分流器固定抵抗器
58	電流計
59	電壓計
60	電壓計倍率器固定抵抗器
61	電壓計用轉換器
62	電源用開閉器
63	電壓降下用固定抵抗器
64	電源用端子
65	枠型空中線連結金屬管
66	枠型空中線回轉軸金屬管
67	軸承
68	回轉把手
69	目盛板
70	蛇腹管
71	指針
72	受信機金屬函
73	取付臺
74	緩衝臺
75	電源導線

◉鐵道省告示第三百七十四號

昭和十二年十月十二日ヨリ福山線木古內渡島知內間鐵道運輸營業ヲ開始ス其ノ停車場及粁程左ノ如シ

昭和十二年十月六日 鐵道大臣 中島知久平

停車場名	所在地	粁程	
木古內	(既設停車場)		
森越	渡島國上磯郡知內村	木古內森越間	五粁二分
渡島知內	同國同郡同村	森越渡島知內間	三粁零分

◉鐵道省告示第三百七十三號

明治四十二年十月鐵道院告示第五十四號國有鐵道線路名稱中左ノ通改正シ昭和十二年十月十二日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年十月六日 鐵道大臣 中島知久平

函館線ノ部江差線ノ行ノ次ニ左ノ如ク加フ

福山線(木古內渡島知內間)

◉鐵道省告示第三百七十五號

大正八年五月鐵道院告示第二十號鐵道局內各事務所及出張所ノ名稱、位置及所管區域中左ノ通改正シ昭和十二年十月十二日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年十月六日 鐵道大臣 中島知久平

札幌鐵道局管內ノ部函館運輸、保線各事務所ノ項所管區域ノ欄中「江差線、」ノ下ニ「福山線、」ヲ加フ

同札幌運輸、保線各事務所ノ項所管區域ノ欄中「江差線、」ノ下ニ「福山線、」ヲ加フ

◉朝鮮總督府告示第五百二十五號

昭和十二年朝鮮總督府令第九十一號ニ掲グル家禽ペストノ病性、原因、症候等大略左ノ如シ

昭和十二年七月二十二日 朝鮮總督 南 次郎

病性

家禽ペストハ家禽就中鷄及鶩ヲ襲フ急性傳染病ニシテ傳染性猛烈ナルノミナラズ死亡率高ク一時ニ多數ノ家禽群ヲ倒シ其ノ被害ノ大ナルハ家禽コレラニ類似ス

本病ノ特徵ハ口腔及鼻腔、粘膜ノ加答兒、胃腸粘膜ノ出血、呼吸症狀及神經症狀等ナリ

原因

病原體ハ濾過性病毒ニシテ病禽ノ血液、臟器、膽汁、分泌物、排泄物就中口腔內分泌物及腸中ニ濃厚ニ存在シ病鷄トノ接觸ニ依リ直接ニ又ハ之等ノ病毒ニ依リ汚染シタル床土、飼料、飲料水、羽毛、卵、肉及塵埃其ノ他獸商又ハ取扱者等ニ依リ間接ニ感染ス又時トシテ感染野鳥ニ依リ媒介セラルルコトアリ

感染經路ハ口腔、鼻孔稀ニ皮膚ノ創傷等ナリ

症狀及經過

潛伏期ハ凡ソ三日乃至八日ナルモ時ニハ十日內外ニ亙ルコトアリ

病禽ハ初期ニハ元氣ナク肉冠肉髯ヲ垂レ食慾減退、軟便ヲ排シ多クハ口腔內異狀分泌アリ、次デ異狀ニ吸氣ヲ延長スル特異ノ呼吸症狀ヲ呈シ喘鳴音又ハ叫聲ヲ發ス

中期ニハ食慾廢絶シ口腔內異狀分泌益ニ呼吸症狀顯著ト爲リ綠色又ハ帶黃色白色下痢、脚弱及嗜眠症狀ヲ現ス

末期ニハ異狀呼吸寧ロ不活潑ト爲リ絕ヘズ嗜眠ス時トシテ頸部又ハ全身ノ痙攣ヲ見ルコトアリ遂ニ起立不能昏睡狀態ニ陷リテ斃死ス

尙各徵候ハ個性ニ依リ或ハ流行ノ時期ニ依リ必ズシモ一樣ナラズ甚急性ニ經過スル場合ニハ殆ンド特異徵候ヲ認メ得ズ經過ハ通常二日乃至四日トスルモ稀ニ亞急性ニ經過シ十日內外ニ及ブコトアリ

[illegible]多少ノ高低アルモ概ネ九〇%乃至一[illegible]

◉朝鮮總督府告示第五百二十六號

朝鮮西岸鴨綠江橋梁架設工事ハ增水期間中作業ヲ中止スルニ付昭和十二年朝鮮總督府告示第二百八十八號ノ船舶航行禁止區域ハ昭和十二年七月十一日ヨリ一時之ヲ解除ス

工事作業開始ノ際ハ更ニ告示スヘシ

昭和十二年七月二十二日 朝鮮總督 南 次郎

◉朝鮮總督府告示第五百二十七號

無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電信無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ

昭和十二年七月二十二日 朝鮮總督 南 次郎

一、施設者名 咸鏡北道知事

二、施設ノ目的 無線電信法第二條第一號、第三號及第六號ノ規定ニ依リ航行ノ安全、漁業指導及電報送受ノ用ニ供スル爲

三、機器裝置場所 汽船春風丸(定置港清津)

四、呼出符號 JAWL

五、空中線電力 電信 一五〇「ワット」 電話 七五「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數 A1及A2 三七五kc 四一〇kc 四二五kc 五〇〇kc 一三六四kc A三 一六五〇kc

七、通信執務時間 不定

◉朝鮮總督府告示第五百二十八號

無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電信無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ

昭和十二年七月二十二日 朝鮮總督 南 次郎

一、施設者名 朝鮮東海岸鰮巾著網漁業水產組合

二、施設ノ目的 無線電信法第二條第六號ノ規定ニ依リ朝鮮東海岸鰮巾著網漁業水產組合所屬航空機及同組合員所屬漁船トノ間ニ航行ノ安全及漁獲ニ關スル通信ニ使用スル爲

三、機器裝置場所 咸鏡南道北青郡新浦面新浦里山二二ノ一番地

四、呼出符號 JSG

五、空中線電力 電信 一五〇「ワット」 電話 一〇〇「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數 A1及A2 五〇〇kc 一三六四kc A三 一六五〇kc

七、通信執務時間 不定

◉朝鮮總督府告示第五百三十號

朝鮮西岸前望山燈標ノ燈質及光力ヲ昭和十二年七月十四日ヨリ左ノ通變更シタリ

昭和十二年七月二十四日 朝鮮總督 南 次郎

航路標識名	新			舊		
	等級及燈質	燭光數	光達距離	等級及燈質	燭光數	光達距離
前望山燈標	第六等 閃綠光 毎五秒一閃光 アセチレンガス燈	1/10	10 浬	第六等 閃白光 毎五秒一閃光 アセチレンガス燈	4/10	12 浬

◉朝鮮總督府告示第五百三十一號

昭和十一年朝鮮總督府告示第四百三十一號(朝鮮總督府施設汽船照風丸官廳用無線電信無線電話施設承認ニ關スル件)中左ノ通改正ス

昭和十二年七月二十四日 朝鮮總督 南 次郎

五空中線電力ノ部中第三裝置ヲ削ル

六使用電波ノ型式及周波數ノ部中第一裝置「A1及A2三七五kc」ノ次ニ「四一〇kc」ヲ加ヘ第三裝置ヲ削ル

◉朝鮮總督府告示第五百三十二號

昭和十二年朝鮮總督府告示第四百二十一號(汽船第五長福丸私設無線電信無線電話施設許可ニ關スル件)中呼出符號ヲ左ノ通改正ス

昭和十二年七月二十四日 朝鮮總督 南 次郎

四、呼出符號 JAVL

正誤

去月二十一日商工省令第二十號製鐵事業法施行規則第二十七條初行「鐵製」ハ「製鐵」ノ誤植

敍任及辭令

◉昭和十二年九月十四日

敍從五位 正六位勳四等 細貝 三郎

(各通)

敍從五位 正六位勳五等 杉本 五郎

◉昭和十二年九月十五日

敍正六位 從六位勳四等 大橋 毅郎

◉昭和十二年九月十六日

敍從五位 正六位勳四等 高濱 武夫

◉昭和十二年九月十七日

敍從五位 正六位勳四等 松本 春彥

敍正六位 從六位勳五等 五十嵐 博

◉昭和十二年九月十八日

從六位勳六等　小嵐喜一郎

敍正六位

◉昭和十二年九月三十日

正七位勳七等　平賀宇兵衞

敍勳六等授瑞寶章

◉昭和十二年十月一日

的野　彰
西田　俊三
幡鎌芳三郎
澤　正治
森田　政夫
大久保清和
柏木　宏二
勳八等　北角　義作
同　柴田　清一
古野　利秋
津島　博太
吉村　順之
勳八等　眞榮平房雄
三宅靜太郎
廣瀨榮次郎
長谷川寛三
勳八等　井上　理
稻川　鉚一
淺井　峯治
武部　茜作
菊地　保
横式　信義
高橋　善行
東　數一
厚見　胤雄
古澤ミチヨ
高井　健一
石黑　あさ
但馬　弘衞
勳七等　早野　清
川端　明七
小沼縫之助
館井文次郎
久保　時夫
鳥居　英造
安保　文夫
山根寅一郎
船戸　廣次
伊藤　春澄
飯田　忠夫
酒井　馨
中村　彥藏
酒井喜代太
勳七等　石橋　操
木下虎一郎
角　玄
田島　保次
西　武夫
日塚　虎彥
伊藤　倜
勳八等　川村武三郎
楠原　正
草島文太郎
河原　達雄
勳八等　瀧澤　覺三
犬塚　熊雄
山崎金太郎
高木　一馬
水原登喜雄
榊　磐彥
薗　廣高
高市　基臣
勳七等　福岡　章
勳八等　城尾　五平
同　池田　信
同　小野井良一
同　內藤　常二
同　倉本　龍吉
同　山元　貞男
同　瀨尾　斌
同　寺田　有

（各通）

同　尾崎宇一郎
同　窪田愛三郎
同　渡邊霜次郎
同　大田　惣三
同　江隅　力
同　鵜飼　吉行
同　瀧下　次平
同　中村　直助
勳六等　河原　桂三
同　岸田　里治
勳七等　原田　武
勳六等　梅木　茂平
勳七等　加藤道太郎
勳六等　岩田　京市
勳七等　大野　茂
勳六等　沖元富士登
勳八等　峯田　廣志
勳七等　森　保吉
勳八等　金谷　末吉
勳七等　柴崎金三郎
同　小川　知
勳六等　鈴木松三郎
勳七等　岩尾　村夫
同　栗原　岩吉
勳八等　大谷　初市
同　前川　直吉
勳七等　松江　初一
同　出島　金市
同　島本　眞治
同　角西　秀一
同　中馬　親義
同　山崎　元次
同　小松尾吉盛
勳六等　切田　稠
勳八等　芥川　毅
勳七等　前川　數馬
勳八等　世良　貞嚞
同　武田　源八
同　蔦蒲池周七
同　安部　安二
同　石橋　忠藏
同　嶋村　一
同　石橋正三郎
同　町田　光次
同　山本纓太郎
同　遠山豊之助
同　勝田藤三郎
同　岩戸　美鶴
同　白田森之助
同　武田弥二郎
同　加藤　主一
同　木村　玉二
同　立花長次郎
同　船越　渉
同　水野善太郎
同　森崎　桂市
同　中永　照光
同　原田久太郎
同　岡田　秀藏
同　大北定治郎
同　積木　嘉六
勳六等　中澤德左衞門
勳八等　阿部多右ヱ門
同　大濵　清助
同　中村　千代
同　渡部　一夫
勳七等　田中善三郎
勳八等　梅澤　信重
同　有田　主税
同　松本源之助
同　遠藤晉次郎
同　石橋　初二
同　山本熊太郎
勳七等　長谷川彌之助
勳八等　小山　鎌二
同　稻垣　與作
同　菊地　八郎
同　林　延次

同　佐瀨　保
同　大濵　孫度
勳七等　圓塚重太郎
勳八等　幸田　耕平
同　吉田武四郎
難波眞佐太
加藤孫兵衞
勳八等　上田　力弥
同　杉本　博
同　大野　運吉
同　玉田　修三
同　藤井　昇一
同　池上　博平
同　木村　次郎
同　谷　茂
同　重松　隆通
勳七等　高松　新八
勳八等　藤田　熊一
同　今村　久
同　佐川　清水
同　村上　辰治
同　闕　義明
同　木村　省三
漢那　朝茂

敍從七位

川端　榮作
門岡　一
足立　嘉夫
今井　松雄
甲斐　裕
野村　凡夫
柳田　文雄
鈴木錦之助
野邊福一郎
生澤佐一郎
木村　清一
大武　留男
勳八等　榮　角治郎
同　笹本正太郎

（各通）

同　石井　昌之
同　上遠野友吉
同　井上　庄司
同　田邊　源一
三室戸經光
勳八等　宮川惠喜造
同　池內　清
同　能城仁三郎
同　靑木　柳吾
同　吉井　吉温
小林　鄕一
勳八等　吉村不二雄
同　王氏　九治
同　栗田　利重
勳七等　渡邊　朝知

敍正八位

敍從八位

◉昭和十二年十月二日

從七位勳六等　目黑寅之助

敍正七位

◉昭和十二年十月三日

正四位勳三等　細谷　朝次

敍從三位

◉昭和十二年十月四日

小野　直

敍正七位

正七位勳七等　茂田　良吉

敍勳六等授瑞寶章

◉昭和十二年十月五日

清水　忠正
久原　正彥
伊地知重利
岩島　民夫
橋本　正
梅津　松夫

（各通）

前島　丈治
石川　建夫

任海軍豫備少尉

高木　養男
寺島　智孝
岩本　賴夫
武藤　正一
中山三千年
布留川信止
野崎　迫孚
牧野　弘成
橋谷　政美
大井　和男
金森　正二
塙田　稻夫
林　曌吉
丸山　正哉

任海軍豫備機關少尉

遞信書記官正六位　長　得一

兼任朝鮮總督府遞信事務官

敍高等官四等

朝鮮總督府遞信技手兼朝鮮總督府航路標識看守正七位勳七等　舟串　千之

任朝鮮總督府遞信技師

敍高等官六等

朝鮮總督府事務官從五位勳六等　景山　宜景

任朝鮮總督府專賣局事務官

敍高等官三等

公立中學校教諭陸軍歩兵少尉從六位　舟越　節夫

師範學校教諭ニ任ス

高等官五等ヲ以テ待遇セラル

佐賀縣女子師範學校教諭　北島　タキ

師範學校教諭ニ任ス

高等官七等ヲ以テ待遇セラル

埼玉縣立熊谷中學校教諭　南日　凱夫

（各通）

佐賀縣立小城中學校教諭　大石　平

公立中學校教諭ニ任ス

高等官七等ヲ以テ待遇セラル

佐賀縣立神埼高等女學校教諭　柏岡　豊

公立高等女學校教諭ニ任ス

高等官七等ヲ以テ待遇セラル

公立實業學校教諭正六位　柏原　博

公立實業學校長ニ任ス

高等官四等ヲ以テ待遇セラル

（各通）

埼玉縣立商業學校教諭　加瀨　大助

沖繩縣立水産學校教諭　新崎　寛綽

公立實業學校教諭ニ任ス

高等官七等ヲ以テ待遇セラル

神奈川縣立盲啞學校教諭勳八等　鈴木初太郎

公立盲學校教諭ニ任ス

高等官七等ヲ以テ待遇セラル

三等郵便局長　茂田　良吉

高等官七等ヲ以テ待遇セラル（十一日内閣）

陸軍少將　町尻　量基

資源局參與被仰付

對滿事務局參與被仰付

中央經濟會議幹事被仰付

內閣情報部委員被仰付

陸軍中將　後宮　淳

資源局參與被免

對滿事務局參與被免

中央經濟會議幹事被免

內閣情報部委員被免

陸軍砲兵中佐　澤本理吉郎

資源局事務官被免

陸軍少將　町尻　量基

拓務省拓務局參與被仰付

海外拓殖委員會臨時委員被仰付

陸軍中將　後宮　淳

拓務省拓務局參與被免

海外拓殖委員會臨時委員被免

遞信書記官兼朝鮮總督府遞信事務官　東　博仁

免兼官

關東局警視兼外務省警視　楠田　修

（各通）

關東局警視　末光　高義

陞敍高等官六等

土木技師兼道路技師　岡本　延喜

師範學校教諭兼師範學校舍監　小野　直

（各通）

願ニ依リ本職竝兼職ヲ免ス（以上十一日同）

故退職判事正四位勳三等　細谷　朝次
故陸軍砲兵中佐正六位勳四等　松本　春彥
故陸軍步兵中佐正六位勳四等　高濱　武夫
同　故陸軍步兵中佐正六位勳五等　細貝　三郎
（各通）
故陸軍砲兵步佐從六位勳五等　杉本　五郎
故陸軍步兵少佐從六位勳四等　五十嵐　博
故陸軍步兵少佐從六位勳六等　大橋　毅郎
　小嵐喜一郎
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル（[illegible]宮內省）
中華民國ヘ出張ヲ命ス（[illegible]外務省）
　特命全權公使　伊藤　述史
社會部兼勤ヲ命ス（[illegible]內務省）
　社會局事務官　吉武　惠市
（各通）　同　島村嘉兵衞
文官普通分限委員會委員ヲ免ス
　陸軍中將　後宮　淳
　陸軍少將　町尻　量基
文官普通分限委員會委員ヲ命ス
　陸軍步兵少尉　船橋喜久一
（各通）　同　益留　徹一
依願退役被仰付（以上[illegible]陸軍省）
　司法官試補　原　長榮
　同　押切德次郎
（各通）　同　和田　榮一
　同　田村　武敏
廣島區裁判所檢事代理ヲ免ス（[illegible]司法省）
　岐阜區裁判所檢事兼岐阜地方裁判所檢事　武井　正雄
補七尾區裁判所檢事兼金澤地方裁判所七尾支部檢事
四級俸下賜
　司法官試補　外山　俊男
（各通）　同　內藤　文質
　同　藤田　米二
橫濱區裁判所檢事代理ヲ免ス（以上[illegible]同）
　札幌地方裁判所判事　大田　外一
補水戶地方裁判所判事兼水戶區裁判所判事
　釧路地方裁判所網走支部判事兼網走區裁判所判事　秋山　悟
補札幌地方裁判所判事（以上[illegible]同）

長崎縣師範學校教諭　師範學校教諭ニ補ス　舟越　節夫
佐賀縣女子師範學校教諭ニ補ス　同　北島　タキ
埼玉縣立熊谷中學校教諭ニ補ス　公立中學校教諭　南日　凱夫
佐賀縣立小城中學校教諭ニ補ス　同　大石　平
佐賀縣立神埼高等女學校教諭ニ補ス　公立高等女學校教諭　柏岡　豊
兵庫縣洲本商業學校長ニ補ス　公立實業學校長　柏原　博
埼玉縣立商業學校教諭ニ補ス　公立實業學校教諭　加瀨　大助
沖繩縣立水產學校教諭ニ補ス　同　新崎　寬緯
神奈川縣立盲啞學校教諭ニ補ス（以上[illegible]文部省）　公立盲學校教諭　鈴木初太郎
（各通）
文官普通分限委員會委員ヲ命ス　法制局參事官　樋貝　詮三
　內閣書記官　川島　孝彥
文官普通分限委員會豫備委員ヲ命ス（以上[illegible]東京帝國大學）　法制局參事官　森山　鋭一
九級俸下賜（[illegible]遞信省）　遞信技師　秋田　節也
六級俸下賜　朝鮮總督府遞信副事務官　小川　好一
　同　森田　守正
七級俸下賜　朝鮮總督府鐵道局副參事　古谷　正
　同　小林　國衞
（各通）
　同　宇都宮積善
　同　三根　佐平
　同　鈴木　卓郎
　同　林　增一
六級俸下賜

（各通）同　若木　元生
　同　中田　新平
七級俸下賜　朝鮮總督府鐵道局技師　永井　研三
三級俸下賜
鐵道局電氣課長ヲ命ス
　同　高倉　彌
　同　藤田　理平
　同　網谷　力雄
（各通）
　同　高橋　好三
　同　田澤　靖
　同　小西　仟
　同　米澤　良三
八級俸下賜
　同　西山　重道
（各通）
　同　村上　正雄
　同　森　鹿之助
　同　松山　茂樹
九級俸下賜
　同　都志見克巳
十級俸下賜　朝鮮總督府郡守　朴　富陽
九級俸下賜
全羅北道任實郡在勤ヲ命ス
　同　金　鍾淳
全羅北道錦山郡在勤ヲ命ス
鐵道局電氣課長兼務ヲ免ス（以上[illegible]朝鮮總督府）　朝鮮總督府鐵道局技師　清水　幸次
九級俸下賜　朝鮮總督府道理事官　李　應敎
平安南道在勤ヲ命ス（[illegible]同）
咸鏡南道惠山警察署長トシテ勤務中昭和十二年六月四日午後九時頃武裝共匪百餘名ガ管下保田警察官駐在所ヲ襲擊シ機關銃ヲ亂射シ遂ニ同所配備ノ銃器彈藥ヲ奪取シ且同部落所在ノ重要建物ニ放火シ尙殺人掠奪等ノ不祥事件ヲ惹起スルニ至ヲシメタルハ畢　朝鮮總督府道警視　塩谷　武夫

竟同署長トシテ平素部下職員ノ指導監督上缺クル所アリタルニ基因シ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ文官懲戒令ニ依リ譴責ス（[illegible]同）
五級俸下賜　朝鮮公立高等普通學校長　河野　宗一
補新義州公立高等普通學校長
補新義州公立高等普通學校教諭　朝鮮公立高等普通學校教諭　河野　宗一
八級俸下賜　朝鮮公立實業學校長　齋藤　茂
補康津公立農業學校長
補康津公立農業學校教諭　朝鮮公立實業學校教諭　齋藤　茂
康津公立農業學校長事務取扱兼務ヲ免ス　朝鮮總督府道理事官　鎌田　政義
新義州公立高等普通學校長事務取扱ヲ免ス　朝鮮公立高等普通學校教諭　吉村　徹
（以上[illegible]同）
七級俸下賜　朝鮮公立高等女學校教諭　安田千代吉
補沙里院公立高等女學校教諭（[illegible]同）　朝鮮總督府技師　井芹　正
三級俸下賜
農林局林業課長ヲ命ス　同　森田　政夫
十級俸下賜
農林局勤務ヲ命ス　朝鮮總督府鐵道局參事　野方　壽雄
六級俸下賜　同　松山　源
五級俸下賜
鐵道局順天鐵道事務所長ヲ命ス　同　安宅　守道
六級俸下賜　同　湯澤　茂
（各通）　同　中隈　勝
七級俸下賜

（各通）
同　朝鮮總督府專賣局技師　櫻井　眞治
同　原田　晉作
八級俸下賜
同　羽島　久雄
（各通）同　立石　貞助
同　幡鎌芳三郎
九級俸下賜
同　澤　正治
十級俸下賜
朝鮮總督府道理事官　大久保淸和
平安北道在勤ヲ命ス
八級俸下賜
同　柏木　宏二
全羅北道在勤ヲ命ス
（各通）同　的野　彰
同　松村　耕作
七級俸下賜
京畿道在勤ヲ命ス
同　西田　俊三
八級俸下賜
慶尙北道在勤ヲ命ス
同　脇田千穗實
七級俸下賜
慶尙南道在勤ヲ命ス
同　松澤新太郎
七級俸下賜
全羅南道在勤ヲ命ス
朝鮮總督府理事官　田淵　保美
八級俸下賜
慶尙北道在勤ヲ命ス
同　小林　繁
八級俸下賜
平安南道在勤ヲ命ス
朝鮮總督府郡守　小松　榮
七級俸下賜
慶尙南道昌原郡在勤ヲ命ス
朝鮮總督府營林署技師　木谷　重榮
二級俸下賜
新義州營林署長ヲ命ス

六級俸下賜　朝鮮總督府郡守　賀藤　安雄
朝鮮公立中學校教諭　早川　歌爺
三級俸下賜
新義州營林署長木谷重榮外國出張不在中同署長事務取扱ヲ命ス　朝鮮總督府營林署山林事務官　鈴木賢三郎
慶尙南道在勤ヲ命ス（以上[illegible]同）　朝鮮總督府道理事官　加納　富夫
中央試驗所勤務ヲ命ス　樺太廳中央試驗所技師　坂本順次郎
農業部第四科長ヲ命ス（[illegible]樺太廳）
同　笹川友之助
中央試驗所勤務ヲ命ス
農業部第四科兼第三科勤務ヲ命ス（[illegible]同）　社會事業主事　關野　忠雄
十二級俸下賜（[illegible]奈良縣）
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年九月八日ヨリ年功加俸年額百九拾貳圓下賜（[illegible]廣島縣）　公立中學校教諭　廣瀨　一雄
十二級俸下賜（[illegible]沖繩縣）　地方農林技師　粟國　良令

正誤
一昨四日本欄一〇三頁三段五十子若三ノ辭令文中「廣島縣」ハ「和歌山縣」ノ誤
內務書記官

彙報

○官廳事項

◉官吏改名　樺太廳警視新見重仁ハ本年八月十八日泰三ト改名セリ

◉轉職　主事通信技手橋本七藏ハ本月三日福岡中央電話局東分局長ニ轉職セリ

◉勳等及從軍記章等褫奪　勳章褫奪令第一條及第六條ニ依リ勳等及明治三十七八年從軍記章、大正三四年從軍記章、大正三年乃至九年戰役從軍記章、戰捷記章、第一回國勢調査記念章、大禮記念章ヲ褫奪セラレタルモノ左ノ如シ氏名ノ下ニ在ル數字ハ褫奪ノ年月日ナリ

勳七等及第一回國勢調査記念章大禮記念章（大正）
　梶村榮三郎（昭和三、六）
勳七等及明治三十七八年從軍記章第一回國勢調査記念章
　野田　芳藏（三、四）
勳八等及明治三十七八年從軍記章
　小野谷五郎（三、七）
　熊木虎次郎（三、八）
　位田　潤（三、七）
　宮西松三郎（四、三）
勳八等及明治三十七八年從軍記章大正三年乃至九年戰役從軍記章
　長谷川久吉（三、一）
勳八等及大正三年乃至九年戰役從軍記章戰捷記章
　橫手　良一（四、二）

勳八等及明治三十七八年從軍記章
　浦坂鶴之助（三、六）
　星野　友治（三、七）
勳八等及大正三年乃至九年戰役從軍記章戰捷記章
　西原　正男（三、四）
勳八等
　平野鐵之助（三、七）
明治三十七八年從軍記章
　平山與兵衞（三、四）
　澀澤多喜藏（四、二）
大正三四年從軍記章
　國友　正人（三、七）
大禮記念章（昭和）
　豐島　貞樹（三、七）

◉官吏薨去及死去　退職判事從三位勳三等細谷朝次ハ本月三日薨去シ退役海軍豫備少尉正六位勳五等山田正良ハ昭和五年十一月二十日、海軍豫備機關少尉正八位古城一夫ハ同九年七月十四日、退役同豫備中尉從七位今川喜代松ハ同十年九月二十四日、海軍豫備機關中尉從七位飯岡勇ハ昨十一年五月三日、退役同豫備大尉正七位小鳥居芳枝ハ本年二月二十七日、海軍豫備機關中尉從七位佐田貞七ハ同四月四日、退役同豫備中尉從七位安田寅三ハ同六月六日、海軍豫備少尉正八位幡生昭夫ハ同八月八日、同豫備機關中尉從七位淸水貞男ハ同十九日、退役海軍豫備少佐從六位勳六等增住榮次郎ハ同二十二日、海軍豫備少尉正八位服部稚三ハ同二十九日、同正八位松木政雄ハ去月十日、遞信技師正七位秋田節也ハ本月二日孰モ死去セリ

○警察

◉豫約出版廢絕　昭和十年十一月十三日水野淸吉ヨリ警視廳ヘ屆出テタル「全國分縣市町村別植民地別大日本國勢總攬地誌附事業と人物大鑑」ノ豫約出版ハ廢絕セリ（警視廳）

○褒賞

◉紺綬褒章飾版下賜　公益ノタメ私財ヲ寄附セシ廉ヲ以テ昭和十二年十月一日紺綬褒章ニ附スヘキ飾版ヲ下賜セラレタル者左ノ如シ（賞勳局）

昭和十二年一月財團法人濟生會大阪府支部救療費金一万圓寄附ス依テ褒章條例第三條第一項ニ據リ曾テ授與セシ紺綬褒章ニ附スヘキ飾版一箇ヲ賜ヒ之ヲ表彰セラル　橋本　雅弘
昭和十年十二月財團法人濟生會大阪府支部救療費金一万圓寄附ス（以下前同文）　勳八等　中山　悅治
昭和十年七月財團法人濟生會大阪府支部救療費金一万圓寄附ス（以下前同文）　橫江萬治郎
昭和十年十月財團法人濟生會大阪府支部救療費金一万圓寄附ス（以下前同文）　谷岡　スヱ
昭和十年八月長野縣諏訪郡平野村消防設備費金一万圓寄附ス（以下前同文）　正六位勳四等　今井　五介
昭和十二年三月財團法人濟生會大阪府支部救療費金一万圓寄附ス（以下前同文）　正七位　山口吉郎兵衞
昭和十一年十一月社團法人帝國發明協會事業資金トシテ金一万圓寄附ス（以下前同文）　堀井新治郎

◉褒狀下賜　公益ノタメ私財ヲ寄附セシ廉ヲ以テ昭和十二年九月二十九日褒狀ヲ下賜セラレタル者左ノ如シ（賞勳局）

千田榮次郎

昭和十二年一月富山縣上新川郡堀川尋常高等小學校御眞影奉安殿建設費金一千圓寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル
齋藤利太郎

昭和十二年七月兵庫縣多可郡重春尋常高等小學校講堂建築費金一千圓寄附ス（以下前同文）
故窪田保一遺族　窪田哲二郎

昭和七年十月愛媛縣喜多郡大洲公民學校基金及同郡大洲村消防組設備費並貧民救助費金一千圓寄附ス（以下前同文）
本岡武

昭和十一年三月明石市役所構內消防器具置場並消防組員詰所建設費及同市小學校兒童給食費金一千圓寄附ス（以下前同文）
野村理兵衛

昭和七年十二月富山縣東礪波郡城端尋常高等小學校屋外體操場建設積立金及備品購入基金並同郡城端町立平和記念圖書館圖書購入基金トシテ金二千圓寄附ス（以下前同文）
故後藤安太郎遺族　後藤幸三

昭和十一年四月名古屋市教育費金二千圓寄附ス（以下前同文）
田中良助

昭和十二年二月岐阜縣惠那郡坂本尋常高等小學校御眞影奉安殿建設費金三千五百圓寄附ス（以下前同文）
故山下勝馬遺族　山下博

昭和十一年十一月兵庫縣三原郡福良尋常高等小學校御眞影奉安殿建築費金一千二百圓寄附ス（以下前同文）
淺井彌七

昭和十二年二月兵庫縣龍野商業學校敷地買收費並整理費及龍野町衛生設備積立金トシテ金五千二百五十圓寄附ス（以下前同文）
杉下愛三

昭和十二年六月埼玉縣北埼玉郡羽生尋常高等小學校營繕費及同郡羽生町役場費並警備費金一千三百圓寄附ス（以下前同文）
前山美之助

昭和十一年四月長崎縣西彼杵郡喜々津尋常高等小學校奬學資金及村社阿蘇神社石燈籠建設費金七千九百六十圓餘寄附ス（以下前同文）
辻力藏

昭和十年十月北海道宗谷郡稚內北尋常高等小學校外一校國旗揭揚塔建設費金二千九百七十五圓寄附ス（以下前同文）
正四位勳三等　瀨戶慶之進

昭和十二年七月仙臺高等工業學校機械工學科生徒奬學費金一千圓寄附ス（以下前同文）
正八位勳六等　森丘正唯

昭和七年八月富山縣下新川郡三日市町外二十四ケ町村學校組合立農業學校費金一千五百圓寄附ス（以下前同文）
新潟電力株式會社

昭和十一年四月福島縣南會津郡小林尋常高等小學校建築費並同郡小梁村外二ケ村組合警備費金七千圓寄附ス（以下前同文）
保證責任鍛冶屋信用購買販賣利用組合

昭和十一年三月福岡縣糟屋郡篠栗尋常高等小學校建築費金二千圓寄附ス（以下前同文）
近藤杏二　外百六十七名

昭和十一年五月岡山縣赤磐郡山方村鳩岡尋常小學校增築費金二千百五十圓寄附ス（以下前同文）
城端青年會

昭和八年六月富山縣東礪波郡城端尋常高等小學校屋外體操場建設費金一千五百圓寄附ス（以下前同文）

○陸海軍

◉滿洲事變死亡者　事變地其他ニ於ケル陸軍軍人軍屬ノ死亡者左ノ如シ（陸軍省）

昭和九年八月十三日立川衛戍病院ニ於テ病死
埼玉縣大里郡武川村大字田中九十番地ノ三　陸軍航空兵伍長　小和瀨政男

同九月二十八日立川衛戍病院ニ於テ病死
青森縣上北郡六戶村大字犬落瀨字金矢七十一番地　陸軍航空兵上等兵　山本三太郎

同十年十月二十三日東京第一衛戍病院ニ於テ病死
茨城縣鹿島郡豐郷村大字田谷六百六十四番地ノ一　陸軍騎兵一等兵　山野要三

同十一年三月二十五日滿洲國ニ於テ戰死
朝鮮平安北道寧邊郡鳳山面龍奧洞七百三十九番地　軍屬　邊尙錄

同七月三日宇都宮衛戍病院ニ於テ病死
茨城縣那珂郡木崎村大字鹿島十四番屋敷　陸軍憲兵軍曹　井坂龍

同八月六日日本赤十字社京都支部病院ニ於テ病死
滋賀縣蒲生郡玉緒村大字下二俣第三十番屋敷　軍屬　小林綱治郎

同三十日日本赤十字社京都支部病院ニ於テ病死
兵庫縣揖保郡揖保村中臣七百八十六番地　同　武內健三

同十二年二月二十六日大阪陸軍病院ニ於テ病死
新潟縣東蒲原郡西川村大字廣谷百二十二番地　陸軍步兵上等兵　齋藤政太郎

同五月八日東京第一陸軍病院ニ於テ病死
岩手縣九戶郡久慈町大字下大川目第二地割五十八番地　陸軍步兵准尉　市川七郎

同三十一日廣島陸軍病院ニ於テ病死
富山縣中新川郡滑川町大字吾妻二千四百番地　同　松村正吉

同日滿洲國ニ於テ病死
青森縣弘前市大字新町八十四番地　陸軍騎兵二等兵　吉崎健藏

同六月八日滿洲國ニ於テ戰死
岩手縣岩手郡雫石村第三十四地割字町裏八十八番地　陸軍騎兵上等兵　沼田勝太郎

同十四日滿洲國ニ於テ病死
大阪府大阪市浪速區新川三丁目六百八番地　軍屬　山本みつ

同十八日滿洲國ニ於テ不慮ノ事故ニ因リ死亡
愛知縣中島郡稻澤町大字稻澤字稻葉町九百三十番地ノ一　陸軍步兵上等兵　佐藤喜保

同二十四日滿洲國ニ於テ不慮ノ事故ニ因リ死亡
靜岡縣濱名郡三方原村九百六十八番地　陸軍工兵上等兵　宮津卓

同三十日滿洲國ニ於テ死亡
長野縣諏訪郡豐田村千四百九番地　陸軍砲兵二等兵　飯田信吉
岩手縣岩手郡厨川村大字下厨川十八地割　陸軍工兵二等兵　細田作右衛門

同七月七日滿洲國ニ於テ病死
岐阜縣加茂郡西白川村廣野三百二十二番地　陸軍航空兵一等兵　森下功

同十三日滿洲國ニ於テ病死
新潟縣中頸城郡春日村大字毘沙門國分寺二十七番地　陸軍步兵上等兵　伊藤吉治

同十四日滿洲國ニ於テ戰死
兵庫縣氷上郡大路村下三井庄四百七十三番地ノ二　同　畑傳之助

同十六日滿洲國ニ於テ戰死
同縣西宮市川添町七十二番地　同　池野辰夫

同日滿洲國ニ於テ病死
東京府北多摩郡武藏野町吉祥寺千八百三十六番地　陸軍砲兵大佐　寺田利光

同二十一日滿洲國ニ於テ死亡
佐賀縣東松浦郡有浦村長倉七百五十八ノ一番地　陸軍砲兵一等兵　鳩山吉之助

同二十三日滿洲國ニ於テ戰死
兵庫縣多紀郡草山村本郷九十六番地　陸軍步兵少尉　山內春雄

同縣氷上郡上久下村青田五百五十一番地　陸軍步兵上等兵　西垣勝治

同日滿洲國ニ於テ戰傷死
和歌山縣東牟婁郡四村大字久保野七百四十一番地　同　古根川良市

同二十六日滿洲國ニ於テ不慮ノ事故ニ因リ死亡
神奈川縣都筑郡新田村大字高田千九百二十一番地　陸軍騎兵曹長　金子良雄

同日滿洲國ニ於テ病死
長野縣上伊那郡宮田村三千百三十七番地　陸軍騎兵上等兵　湯澤文雄
新潟縣小笠郡河城村和田十三番地　陸軍步兵二等兵　岩堀秋一

同二十八日滿洲國ニ於テ病死
同縣北蒲原郡聖籠村大字二本松千九百四十二番地　陸軍步兵曹長　岩淵勇
靜岡縣小笠郡橫須賀町沖之須二百六十四番地　陸軍步兵伍長　大石正

同三十一日滿洲國ニ於テ病死
山形縣東村山郡高瀨村大字切畑九百二十二番地　陸軍步兵一等兵　伊藤喜久藏

同八月二日滿洲國ニ於テ戰死
兵庫縣武庫郡山田村原野三十六番地　陸軍步兵上等兵　山田藤左衛門

同四日滿洲國ニ於テ戰傷死
同縣氷上郡遠阪村山垣千七百四十六番地　陸軍步兵軍曹　勝田一

同五日滿洲國ニ於テ戰死
福島縣相馬郡上眞野村栃窪字背田四番地ノ二　陸軍步兵上等兵　鈴木要人
同縣耶麻郡岩月村大字宮津字岩崎五千百九十五番地　同　菊地助七

同六日滿洲國ニ於テ戰死
北海道沙流郡門別村大字平賀村字中島百八十六番地　陸軍步兵伍長　島田朝吉
同室蘭市輪西町百九十八番地　同　鎌倉吉治
同札幌市南四條西十丁目千五番地　陸軍步兵上等兵　宮野秀雄

同七日滿洲國ニ於テ戰死
埼玉縣比企郡八ツ保村字八ツ保五百三十三番地ノ二　陸軍步兵曹長　菊地友男
鹿兒島縣日置郡東市來村湯田六千百番地　同　西田強
京都府久世郡富野莊村字富野小字堀口百二番地　陸軍步兵上等兵　今道定雄

同日滿洲國ニ於テ戰傷死
富山縣中新川郡東水橋町大字東水橋町四百七十二番地　同　伊井喜代作

同日滿洲國ニ於テ戰死
福井縣大飯郡高濱町鹽土第一號七十七番地　同　松井清一
滋賀縣犬上郡大瀧村大字一ノ瀨四百十番地　同　樽池留雄

同八日滿洲國ニ於テ戰死
岐阜縣稻葉郡東本村小佐野二百四十四番地　同　岩井幸雄
兵庫縣美方郡八田村千原六百八十番地　陸地測量師　田村實治

同九日滿洲國ニ於テ戰死
熊本縣天草郡牛深町千六百五十八番地　陸軍步兵中尉　佐々木國人

同日滿洲國ニ於テ病死
岡山縣吉備郡岡田村大字岡田四百六十八番地　軍屬　山口松二

同十四日滿洲國ニ於テ戰死
高知縣長岡郡久禮田村久禮田八十八番屋敷　陸軍步兵伍長　山中清一

同十五日滿洲國ニ於テ病死
長崎縣北高來郡古賀村中里名千二百二十二番地第二　軍屬　新井篤治

同十六日滿洲國ニ於テ不慮ノ事故ニ因リ死亡
大分縣北海部郡上北津留村大字嶽谷八百四十番地　陸軍航空兵軍曹　廣瀨文生

同日滿洲國ニ於テ病死
青森縣弘前市大字富岡町三十五番地　陸軍步兵上等兵　齋藤富三郎

同日滿洲國ニ於テ戰死
宮城縣栗原郡高清水町櫻丁十二番地ノ一　豫備役陸軍步兵中佐　德江敏雄

同十七日滿洲國ニ於テ戰死
山形縣最上郡鮭川村大字佐渡千九百七十一番地ノ一　陸軍騎兵伍長　小屋與太
北海道釧路市旭町四十九番地　豫備役陸軍步兵中尉　市川忠作
青森縣弘前市大字徒町川端町一番地　豫備役陸軍砲兵大尉　相馬勝美
廣島縣佐伯郡大竹町小島新開九番地　後備役陸軍步兵伍長　吉田實
大分縣宇佐郡柳ケ浦村大字江須賀百五十五番地　豫備役陸軍步兵中尉　岡田勝男

同十八日金澤陸軍病院ニ於テ病死
石川縣石川郡金石町字橫町二十一番地　陸軍步兵伍長　松下有慶

同二十日滿洲國ニ於テ不慮ノ事故ニ因リ死亡
秋田縣仙北郡金澤西根村字釜盛七十四番地　陸軍步兵上等兵　泉谷常松

同二十一日滿洲國ニ於テ戰死
福島縣若松市天寧寺町五十二番地　豫備役陸軍少將　藤井軍郎

同二十二日滿洲國ニ於テ病死
山口縣阿武郡福賀村大字福田下第千五百八十五番地　陸軍步兵伍長　香川忠義

同二十三日會寧陸軍病院ニ於テ病死
新潟縣中頸城郡吉川村大字十町步六十四番地　陸軍步兵上等兵　飯川正司

同日滿洲國ニ於テ病死
三重縣河藝郡高岡村四千六百二十九番地　軍屬　稻垣カネ

同日滿洲國ニ於テ死亡
滋賀縣愛知郡豐椋村大字南清水百四十六番地　陸軍步兵二等兵　大橋庄一

同二十四日滿洲國ニ於テ病死
新潟縣北魚沼郡小出町大字小出島千九十六番地　陸軍步兵曹長　鈴木彥二郎

同二十五日滿洲國ニ於テ戰死
山口縣豐浦郡清末村清末二千百十八番地　後備役陸軍步兵上等兵　中村大介

同日滿洲國ニ於テ病死
千葉縣印旛郡富里村久能百九十二番地　陸軍步兵上等兵　池上忠作

同二十六日滿洲國ニ於テ戰死
大阪府布施市高井田千五百四十五番地　陸軍騎兵曹長　北浦壽次

同二十七日滿洲國ニ於テ戰死
福島縣石城郡草野村大字原高野字高原三十二番地　陸地測量師　新妻英
東京府東京市淺草區千束町一丁目百五番地　軍屬　大駒龜次郎
同府同市日本橋區馬喰町四丁目二番地　同　宮崎萬年
千葉縣安房郡豐房村神餘二千七百八十五番地　同　片桐良英
鹿兒島縣鹿兒島市南林寺町十五番地　同　法元盛孝

同日滿洲國ニ於テ病死
山梨縣北巨摩郡江草村九千五百二十五番地　陸軍歩兵上等兵　高橋　參
同三十日滿洲國ニ於テ病死
同縣同郡熱見村村山西割千三百五十六番地　同　小宮山五郎
同九月一日滿洲國ニ於テ病死
愛知縣碧海郡高岡村大字北中根甲二十番地　陸軍歩兵一等兵　杉浦　鉦次
同二日滿洲國ニ於テ戰死
和歌山縣伊都郡大谷村大字大藪二百九十七番地　陸軍歩兵伍長　渡邊　德衛
同縣東牟婁郡太地町三千六百五十八番地　同　小劍　義一
同縣和歌山市西大工町十一番地　同　堀川　市郎
同縣同市納定八番地　陸軍歩兵上等兵　南　俊次郎
同三日滿洲國ニ於テ病死
靜岡縣小笠郡南山村大字高橋二千八百七十二番地　同　下島　孟
同日富山陸軍病院ニ於テ病死
富山縣西礪波郡若林村西中五千二百五十一番地　同　角田　榮藏
同四日滿洲國ニ於テ戰死
同縣中新川郡寺田村字若宮千六百九十五番地　軍屬　若崎　吉弘
同六日滿洲國ニ於テ不慮ノ事故ニ因リ死亡
福岡縣山門郡三橋村大字百町七百十四番地　陸軍歩兵伍長　藤倉　寅次
同七日滿洲國ニ於テ戰死
和歌山縣西牟婁郡中芳養村二千五百九十一番地　陸軍歩兵准尉　日用佐次郎
同日滿洲國ニ於テ病死
愛媛縣喜多郡大洲町大字柚森五百七十八番地　陸軍歩兵上等兵　佐々木廣吉
同十一日滿洲國ニ於テ病死
高知縣幡多郡後川村大字奧鴨川三千四十五番地　同　朝比奈生駒
同十二日久留米陸軍病院ニ於テ病死
沖繩縣宮古郡城邊村字比嘉百六十番地ノ一　陸軍歩兵一等兵　仲間　惠榮

◉召集尉官入校　明野陸軍飛行學校召集尉官左記八人本月一日入校セリ(陸軍省)

陸軍航空兵大尉　牟田　弘國
同　黑田　武文
同　中濱　正夫
陸軍航空兵少尉　鈴木　昇一
陸軍航空兵中尉　牧　滿喜
同　川田　武雄
同　木本　正生
同　太田　泰

◉候補者終業　陸軍被服本廠第十四期縫裝工下士官候補者左記九十八人去月二十日終業セリ
×印ハ成績優等ニ付陸軍大臣ヨリ賞品ヲ授與セラレタリ(陸軍省)

縫工下士官候補者

陸軍歩兵上等兵　×五加　光次
陸軍歩兵上等兵　宮武　辰巳
同　藤原　信明
陸軍歩兵上等兵　野崎　來信
同　永野　正三
同　後藤　秋治
同　村上亮太郎
陸軍砲兵上等兵　北村　直作
同　松田　正三
同　川越　忠雄
陸軍騎兵上等兵　澤口　涓三
陸軍歩兵上等兵　赤塚　正雄
陸軍騎兵上等兵　薄井勝之介
同　原田　國三
陸軍砲兵上等兵　手塚　正雄
同　岩佐　吉友
同　熊谷　眞一
同　吉川　稱盛
同　赤尾　義信
陸軍歩兵上等兵　末富　茂
同　月長　義信
陸軍輜重兵上等兵　島竹　一巳
陸軍工兵上等兵　石黑　新
同　小野寺賢治
同　窪田　次吉
陸軍歩兵上等兵　藤原　勝
陸軍歩兵上等兵　筒井　正治
陸軍輜重兵上等兵　山崎　豐臨
陸軍砲兵上等兵　山名　利夫
陸軍輜重兵上等兵　矢羽田直夫
同　富所　治平
同　中居　四郎
同　木村　耀雄
同　香鄉　清重
陸軍歩兵上等兵　河野　渉
陸軍歩兵上等兵　山下　政雄
陸軍騎兵上等兵　石川　平一

裝工下士官候補者

陸軍工兵上等兵　×小山　總松
陸軍輜重兵上等兵　熊武　重寬
同　吉田　正夫
陸軍砲兵上等兵　名取　弘
同　鈴木　秀治
陸軍歩兵上等兵　岡村　一三
同　内山　勝治
陸軍輜重兵上等兵　所　鐵治郎
同　大塚　賢造
陸軍歩兵上等兵　高橋　大三
陸軍輜重兵上等兵　佐藤　元吉
同　渡部　金作
陸軍輜重兵上等兵　田中　實
同　平井安次郎
陸軍歩兵上等兵　赤石　繁喜
陸軍砲兵上等兵　山本　敦衛
陸軍騎兵上等兵　谷口喜代三
同　山上　忍
陸軍歩兵上等兵　中内　靜
陸軍歩兵上等兵　井手　佳鶴
同　大平　武
同　岡本　滋
同　庄子　信助
同　入山　光雄
陸軍砲兵上等兵　西村　築男
陸軍砲兵上等兵　坂本　只男
陸軍輜重兵上等兵　島田　稔
陸軍歩兵上等兵　那須　邦人
陸軍歩兵上等兵　川辻　寅一
同　安藤雄次郎
陸軍歩兵上等兵　土田　正策
陸軍砲兵上等兵　乾　秀雄
同　杉浦　幸一
同　三浦三四郎
陸軍歩兵上等兵　今井　貞一
陸軍砲兵上等兵　細川　國吉
同　原　公夫
陸軍歩兵上等兵　菊池　覺
同　松浦　武
陸軍歩兵上等兵　佐々木　榮
陸軍砲兵上等兵　西木　猛
同　矢野　義一
同　陶　近義
陸軍砲兵上等兵　内田　勇
陸軍歩兵上等兵　小池辰次郎
同　平井　一郎
陸軍歩兵上等兵　新森　篤夫
陸軍工兵上等兵　今井　榮作
同　杉原　達
同　上野　篤
同　安在　正巳
陸軍歩兵上等兵　吉野　金吾
陸軍航空兵上等兵　時川知次郎
陸軍輜重兵上等兵　太田　重利
同　早乙女　武
陸軍騎兵上等兵　伊藤　正夫
陸軍砲兵上等兵　平林　總穎
陸軍砲兵上等兵　香野　正三
陸軍歩兵上等兵　筒井　信業
同　西村　一郎
陸軍砲兵上等兵　吉川　波男

○學事

◉神戸高等工業學校學則中改正　神戸高等工業學校ニ於テ同校學則中左ノ通改正シ去月三日ヨリ施行セリ(文部省)

第五十三條ノ次ニ左ノ通リ加フ

第十二章　工業技術員養成科

第五十四條　中學校ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認ムルモノニシテ機械工業ニ關スル業務ニ從事セントスル者ニ對シ之ニ關スル一般的素養ト必要ナル技能ヲ授クルヲ以テ目的トス

第五十五條　修業期間ハ六箇月トシ昭和十二年十月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五十六條　生徒定員ハ三十名トス

第五十七條　學科課程左ノ如シ

學科目	毎週授業時數 旋盤工專科	毎週授業時數 仕上工專科
修身、體操	二	二
工場要項及危害防止	一	一
應用力學	二	二
工作法	三	三
機械通論	二	二
電氣通論	一	一
材料	二	二
製圖	二	二
實習	二七	二七
合計	四二	四二

第五十八條　成績考査ニ合格シタル者ニハ工業技術員養成科修了證書ヲ授與ス

第五十九條　授業料及入學檢定料ハ徵收セス

第六十條　本規則運用ニ關スル細則ハ學校長別ニ之ヲ定ム

○産業

◉補助金交付　熊本縣ニ對シ繭檢定施設費補助金トシテ昭和十二年度ニ於テ金二千五百十二圓ヲ交付スル旨本月二日指令セリ(農林省)

◉鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ(商工省)

出願地	鑛種	面積	出願人ノ住所氏名	處分ノ月日
試掘願不許可				
長崎市、西彼杵郡小ヶ倉村地内	金、銀	坪 六一三、四〇〇	長崎市船藏町五丁目 藤原和作 外一人	十二年 六、一七
事由　長崎縣試掘權登錄第三五二二號鑛區ト全部重複スルニ付不許可				
長崎縣南松浦郡若松村及地先海面	石炭	一、〇四一、二〇〇	小倉市米町七丁目 坂田稻吉 外三人	六、三〇
事由　鑛業法第九條ノ規定ニ違背スルニ付不許可				
鹿兒島縣揖宿郡喜入村地内	金、銀、銅	二一三、一一二	鹿兒島市新屋敷町 桐野精一 外一人	六、三〇
事由　鹿兒島縣試掘權登錄第三三三一號、同第三三〇五號鑛區ニ重複スル部分竝ニ之ニ對スル十間間隔地ヲ除去スルトキハ殘地ハ二區域ニ分離シ何レモ成規ノ面積ニ滿タサルニ付不許可				
佐賀縣東松浦郡相知町、西松浦郡大川村、杵島郡若木村、小城郡西多久村地内	石炭	四三八、五〇〇	佐世保市比良町 草場淺市	七、二
事由　佐賀縣試掘權登錄第三〇六〇號鑛區ニ重複スル部分竝ニ之ニ對スル十間間隔地ヲ除去スルトキハ殘地ハ成規ノ面積ニ滿タサルニ付不許可				
福岡縣宗像郡大島村及地先海面	金、銀	二三一、五〇〇	大阪市港區九條中通三丁目 前田一雄 外一人	七、八
事由　公益ヲ害スルモノト認ムル部分ヲ除去スルトキハ殘地ハ五區域ニ分離シ何レモ成規ノ面積ニ滿タサルニ付不許可				
熊本縣玉名郡豐富村高瀬町地内	石炭	四七一、〇〇〇	八幡市黑崎前手町一丁目 中島テイ	七、一二
事由　公益ヲ害スルモノト認ムルニ付不許可				
福岡縣田川郡赤村津野村地内	同	一、〇〇〇、〇〇〇	福岡市新大工町 進一治 外一人	七、一五
事由　鑛業ノ價値ナキモノト認ムルニ付不許可				
長崎縣下縣郡佐須村地内	金、銀、銅、鉛、亞鉛	四〇六、三五七	熊本縣球磨郡人吉町 福島モト	七、一五
事由　長崎縣試掘權登錄第三七七六號鑛區ト全部重複スルニ付不許可				
後志國島牧郡西島牧村、瀬棚郡利別村	金、銀、銅	一、〇〇〇、〇〇〇	小樽市稻穗町東四丁目 宮崎清 外一人	四、二四
事由　後志國試掘權登錄第二三三五號、第二〇四三號、第二一一九號鑛區竝膽振國試掘權登錄第三三一五號鑛區ト全部重複スルニ付不許可				
日高國三石郡三石村	金、銀、銅、安質母尼	九八八、八〇〇	石狩國札幌郡平岸村 小林茂吉	四、一五
事由　出願地ノ面積ハ鑛業法第九條規定ノ面積ヲ超過スルニ付不許可				
石狩國雨龍郡沼田村	石炭	九五八、〇〇〇	天鹽國上川郡士別町 加藤信兵衛	四、一五
事由　石狩國試掘權登錄第七七七九號鑛區ト全部重複スルニ付不許可				
天鹽國留萠郡留萠町、小平蘂村	同	九〇〇、〇〇〇	膽振國虻田郡洞爺村 大西彌吉	四、一六
事由　天鹽國試掘權登錄第三三一六號鑛區ト重複スル部分竝ニ間隔地ヲ除去スルトキハ殘地ハ甲乙丙三區域ニ分裂シ孰モ規定ノ面積ニ滿タサルニ付不許可				
石狩國空知郡赤平村	同	一、〇〇〇、〇〇〇	札幌市南八條西四丁目 藤井與三次 外二人	四、一九
事由　石狩國採掘權登錄第二四〇號鑛區石狩國試掘權登錄第七五二八號、第七六三八號、第七七九八號、第七八〇〇號各鑛區ト重複スル部分竝ニ規定ノ間隔地ヲ除去スルトキハ殘地ナキニ付不許可				
天鹽國天鹽郡幌延村	同	一、〇〇〇、〇〇〇	東京市荒川區日暮里町 田尻惟三 外一人	四、二二
事由　天鹽國試掘權登錄第三二九七號、第三二九八號、第三二〇六號、第三二五二號、第三二五三號、第三二六七號、第三二七五號各鑛區ト重複スル部分竝ニ間隔地ヲ除去スルトキハ殘地ハ甲乙二區域ニ分裂シ孰レモ規定ノ面積ニ滿タサルニ付不許可				
膽振國千歳郡千歳村	金、銀、銅	九二一、二〇〇	同市牛込區市谷仲之町 中島門吉	四、二三
事由　膽振國試掘權登錄第三三一九號、第三三三三號、第三四四二號、第三三八一號、第三三一〇號、第三三九〇號各鑛區ト重複スル部分竝ニ第三四四二號、第三三九〇號鑛區ニ對スル間隔地ヲ除去スルトキハ殘地ナキニ付不許可				
石狩國空知郡美唄町	石炭	二三〇、一〇〇	札幌市南一條西十七丁目 西村輝彥	五、八
同國同郡同町	同	二三〇、一〇〇	同市南一條西八丁目 拱間孫兵衛 外一人	五、八
以上事由　石狩國試掘權登錄第七九〇七號鑛區ト全部重複スルニ付不許可				
小樽市、後志國高島郡高島町	金、銀、銅	一、〇〇〇、〇〇〇	小樽市花園町西三丁目 山本土藏	五、一四
事由　後志國試掘權登錄第二一六九號、第二二五一號、第二二八九號、第二三九三號各鑛區ト重複スル部分竝ニ規定ノ間隔地ヲ除去スルトキハ殘地ハ甲乙丙三區域ニ分裂シ孰モ鑛業法規定ノ面積ニ滿タサルニ付不許可				
試掘鑛區增區願不許可				
青森縣東津輕郡小湊町地内青森縣試掘權登錄第三五一二號鑛區	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵鑛、石膏	七六、五三〇	神戸市神戸區榮町二丁目 岩城古三郎	六、一八
事由　青森縣試掘權登錄第三六〇三號金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵鑛試掘鑛區ト重複スルニ付該重複部分及成規ノ間隔地ヲ除去スルトキハ殘地ナキヲ以テ不許可				
採掘願不許可				
秋田縣北秋田郡長木村外一町地内	金、銀、銅	六〇三、一〇〇	東京市日本橋區箱崎町四丁目 中根畔	七、九
事由　秋田縣試掘權登錄第一一六三五號金、銀、銅、鉛、亞鉛鑛試掘鑛區ト重複スルニ付不許可				
釧路國白糠郡白糠村	石炭	一八〇、〇七〇	北見國常呂郡野付牛町 佐々木ハナ	五、二六
事由　釧路國試掘權登錄第二三九七號鑛區ト全部重複スルニ付不許可				

在外公館報告

◉北島入港船客ノ「コレラ」検査

本年九月後半新嘉坡商品市況左ノ通

一、概況　地市場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

二、本年九月後半ニ於ケル新嘉坡商品市況ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

三、米　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

四、ゴム　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

五、錫　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

六、為替　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

七、金銀　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

八、船舶　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

九、労働　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

十、其ノ他　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

◉新嘉坡商品市況　本件ニ關スル本月二日著電報左ノ如シ（外務省）

一、本年九月後半新嘉坡商品市況左ノ通

一、概況　地市場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

二、本年九月後半ニ於ケル新嘉坡商品市況ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

三、米　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

四、ゴム　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

五、錫　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

六、為替　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

七、金銀　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

八、船舶　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

九、労働　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

十、其ノ他　地場ハ概ネ閑散ニシテ取引ハ僅ニ日用必需品ニ止リ投機的売買ハ全ク杜絶セリ

◉米國外國貿易額並對日支貿易　本件ニ關スル本月三日著報告書左ノ如シ（外務省）

（略）

◉新嘉坡商品市況　本件ニ關スル本月二日著電報左ノ如シ（外務省）

（略）

◉英領印度羅濱情況　本件ニ關スル本月二日著報告左ノ如シ（外務省）

（略）

◉英國經濟情況　本件ニ關スル本月三日著報告左ノ如シ（外務省）

（略）

觀象

◉全國氣象表（正午觀測）

（備考）　氣温ノ部ニ印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

十月二日

地名	氣壓(粍)	風向	風速(米)	氣温(攝氏)	天氣	降水量(粍)
臺北	760.2	東	8	28.2	曇	—
那覇	760.8	北北東	5	27.2	雨	5
鹿兒島	760.2	東	2	26.1	晴	—
高知	759.4	北東	3	26.0	快晴	—
大分	760.8	靜穩	1	24.4	晴	—
多度津	760.4	靜穩	1	23.6	快晴	—
廣島	760.7	靜穩	1	25.3	晴	—
大阪	759.2	北北西	2	24.4	曇	—
長崎	761.4	靜穩	1	23.1	曇	—
福岡	761.5	北北西	3	24.1	煙霧	—
濱田	761.5	北東	3	21.9	晴	—
名古屋	757.9	北	3	25.7	晴	—
横濱	757.4	北北東	3	21.3	曇	1
東京	758.4	北東	3	22.3	晴	1
銚子	758.0	北	9	20.0	雨	7
長野	759.0	東北東	3	19.5	晴	—
前橋	758.0	東	3	23.0	晴	3
宇都宮	758.1	東	2	22.4	曇	12
福島	759.6	北	2	18.1	曇	15
福井	759.1	北北西	3	24.6	晴	—
新潟	759.0	靜穩	1	21.8	曇	—
秋田	759.0	西	2	22.3	晴	—
石巻	759.4	北東	2	18.9	曇	1
盛岡	758.8	南南東	3	20.0	曇	—
青森	759.1	北西	3	21.1	快晴	—
函館	759.4	南東	3	20.3	曇	—
札幌	759.0	南東	4	21.2	快晴	1
旭川	758.0	靜穩	1	19.6	晴	1
根室	761.2	南東	6	15.4	曇	—
大泊	758.7	南	6	16.2	快晴	—
釜山	762.0	東南東	3	23.8	快晴	—
仁川	762.5	南南東	2	23.8	晴	—
元山	760.9	西北西	2	25.1	快晴	—
城津	760.5	南南西	3	21.0	薄曇	—
新義州	761.2	南南西	2	23.0	晴	—
大連	761.9	南	6	23.1	晴	—
奉天	761.9	北北西	5	14.8	曇	1
新京	760.8	東北東	2	10.6	曇	1
天津	761.0	南西	3	22.0	曇	—
青島	—	—	—	—	—	—
上海	763.2	靜穩	1	25.1	晴	—

同　三日

地名	氣壓(粍)	風向	風速(米)	氣温(攝氏)	天氣	降水量(粍)
臺北	757.7	南東	7	33.0	薄曇	—
那覇	761.4	北東	3	29.7	晴	4
鹿兒島	762.6	南東	2	26.5	快晴	—
高知	762.3	南東	3	24.9	晴	—
大分	762.6	東北東	2	23.0	曇	—
多度津	762.7	北	3	22.9	快晴	—
廣島	762.7	靜穩	1	22.5	曇	—
大阪	762.2	北東	2	24.7	晴	—
長崎	762.5	南東	3	25.1	曇	—
福岡	762.7	靜穩	1	24.3	曇	—
濱田	762.4	北北東	2	22.4	曇	—
名古屋	762.0	北	3	25.3	薄曇	—
横濱	762.1	東	4	22.3	薄曇	—
東京	761.8	南東	3	23.4	晴	—
銚子	762.0	北	4	22.6	快晴	—
長野	762.0	靜穩	1	21.5	薄曇	—
前橋	761.3	南南西	2	24.7	薄曇	—
宇都宮	761.5	靜穩	1	22.6	曇	—
福島	760.7	北北西	5	23.3	快晴	—
福井	762.5	靜穩	1	23.2	曇	—
新潟	762.9	北北西	2	21.1	晴	—
秋田	761.7	西南西	4	21.3	晴	18
石巻	761.4	北西	3	22.1	快晴	—
盛岡	760.5	西南西	4	21.3	快晴	—
青森	760.8	西南西	4	22.1	快晴	2
函館	760.0	南西	2	20.5	晴	9
札幌	758.6	西北西	5	21.6	晴	7
旭川	758.0	南南西	4	21.1	曇	4
根室	759.8	南	5	15.4	曇	—
大泊	757.7	南東	5	15.1	曇	10
釜山	762.6	靜穩	1	22.4	曇	—
仁川	764.3	靜穩	1	21.6	曇	—
元山	761.2	南西	3	22.7	曇	—
城津	759.8	北東	2	19.9	薄曇	—
新義州	763.4	北	6	16.5	晴	—
大連	764.9	北北西	6	15.3	薄曇	—
奉天	767.1	北北東	3	12.0	薄曇	—
新京	765.3	西南西	2	13.0	快晴	—
天津	766.0	東北東	4	13.9	曇	—
青島	—	—	—	—	—	—
上海	761.8	東	3	14.6	曇	—

◉臺灣氣象

十月二日　天氣概況　雨後曇

平均氣温(攝氏度)	平均26.1	平均日照時間	平均1.1時
平均氣温日較	平均ヨリ0.6度低シ	平均風速	1.4米
最高氣温	31.8度	最大風速	8.2米
最高氣温日時	13時	最大風向	北北西
最低氣温	23.6度	最大瞬間風速	北北西 12.0米
最低氣温日時	1時	降水量	0.7粍
平均氣壓	平均ヨリ0.4度低シ	降水時間	4時間
平均氣壓日較	1.4度		
平均水蒸氣壓	25.3%		
平均蒸發量	1.3粍		

記事　午前0時ヨリ午前6時迄ノ雨量0.7粍

同　三日　天氣概況　晝時々曇午後一時雨

平均氣温(攝氏度)	平均26.0	平均日照時間	平均1.2時
平均氣温日較	平均ヨリ0.1度高シ	平均風速	1.5米
最高氣温	31.0度	最大風速	8.0米
最高氣温日時	13時	最大風向	北北西
最低氣温	23.3度	最大瞬間風速	北北西 12.0米
最低氣温日時	1時	降水量	0.6粍
平均氣壓	平均ヨリ0.1度低シ	降水時間	4時間
平均氣壓日較	1.5度		
平均水蒸氣壓	25.1%		
平均蒸發量	1.2粍		

記事　午前0時ヨリ午前6時迄ノ雨量0.6粍

（以下略ス氣象彙報）

土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ル旨ノ認定ヲ經タリ

事業ノ種類	起業者	事業地ノ區域
道路改築	三重縣知事	一志郡波瀬村大字波瀬字大谷口ヨリ同村大字波瀬字大谷口ニ至ル間

起業地　三重縣度會郡濱鄕村地內

右公告ス

昭和十二年十月六日　內務大臣　馬場鍈一

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　石川縣知事

事業ノ種類　道路改築

起業地　石川縣鹿島郡矢田鄕村、德田村地內

右公告ス

昭和十二年十月六日　內務大臣　馬場鍈一

廣告

◉醫籍登錄

登錄年月日	登錄番號	本籍地道府縣名及族稱	氏名	資格	資格取得年月
昭和一二、六、一五	八五〇〇一	東京府	西鄕隆一	東京慈惠會醫科大學	昭和一二、三
同	八五〇〇二	臺灣	郭南爽	同	同
同	八五〇〇三	宮崎縣	濱田正實	大阪高等醫學專門學校	同　四
同	八五〇〇四	佐賀縣士族	樺野義郎	同	同
同	八五〇〇五	和歌山縣	北川友澄	京都府立醫科大學	同　三
同	八五〇〇六	岩手縣	伊藤俊夫	東京醫學專門學校	同
同	八五〇〇七	鹿兒島縣	鶴田利光	九州醫學專門學校	同
同	八五〇〇八	福岡縣士族	國分右識	京城醫學專門學校	同
同	八五〇〇九	福岡縣	中島宗好	同	同
同	八五〇一〇	鹿兒島縣士族	津守貫	同	一一、三
同	八五〇一一	朝鮮	尹文鱗	セブランス聯合醫學專門學校	一二、三
同	八五〇一二	東京府	大東壯乃	東京女子醫學專門學校	同
同	八五〇一三	同	阿部千代枝	同	同
同　一八	八五〇一四	高知縣士族	樋澤正與	長崎醫科大學	同
同	八五〇一五	廣島縣士族	中尾榮三	京都府立醫科大學	同
同	八五〇一六	愛知縣	荒川登	日本醫科大學	同
同	八五〇一七	福島縣	宮城英三	東京醫學專門學校	同
同	八五〇一八	埼玉縣	山田久	同	七、三
同	八五〇一九	東京府	安中輝彥	日本大學專門部醫學科	一一、三
同	八五〇二〇	茨城縣	野村敬次	同	一二、三
同	八五〇二一	宮城縣	安田琢壽	岩手醫學專門學校	同
同	八五〇二二	朝鮮	李杜傑	大邱醫學專門學校	同
同	八五〇二三	愛知縣	魚島芳江	東京女子醫學專門學校	同
同	八五〇二四	靜岡縣	門井正子	大阪女子高等醫學專門學校	同
同	八五〇二五	大阪府士族	重松典雄	京都帝國大學醫學部	同
同	八五〇二六	秋田縣	吉川洋	東北帝國大學醫學部	九、三
同　二二	八五〇二七	朝鮮	吳世憲	京城帝國大學醫學部	一二、三
同	八五〇二八	同	李約伯	同	同
同	八五〇二九	靜岡縣	山田輝吉	千葉醫科大學	同
同	八五〇三〇	愛知縣	江崎二郎	愛知醫科大學	二、三
同	八五〇三一	福島縣	吉田愛司	日本大學專門部醫學科	一二、三
同	八五〇三二	靜岡縣	河原崎忠雄	東京醫學專門學校	同
同	八五〇三三	同	村松重吉	同	同
同	八五〇三四	神奈川縣	關原久郎	昭和醫學專門學校	一一、三
同	八五〇三五	大阪府	中野義政	平壤醫學專門學校	一二、三
同	八五〇三六	朝鮮	鄭道興	同	同
同	八五〇三七	同	金永豪	大邱醫學專門學校	同
同	八五〇三八	福岡縣	萩野正孝	京城醫學專門學校	同
同	八五〇三九	香川縣	高尾茂	同	同
同	八五〇四〇	沖繩縣士族	黑島英輝	臺灣總督府臺北醫學專門學校	一〇、三
同	八五〇四一	臺灣	翁嘉器	同	同
同	八五〇四二	熊本縣	甲斐武比古	臺北帝國大學附屬醫學專門部	一二、三
同	八五〇四三	臺灣	張良典	同	同
同	八五〇四四	香川縣	川野章	同	同
同	八五〇四五	朝鮮	金夏英	セブランス聯合醫學專門學校	同
同	八五〇四六	同	康東夏	同	同
同	八五〇四七	臺灣	賴陳氏鑫揖	東京女子醫學專門學校	同
同	八五〇四八	靜岡縣	大津正一	東京帝國大學醫學部	同
同	八五〇四九	茨城縣	渡邊嘉造尹	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五〇五〇	廣島縣	白川幹夫	日本大學專門部醫學科	同
同	八五〇五一	埼玉縣士族	名尾良章	昭和醫學專門學校	同
同	八五〇五二	大阪府士族	市川正代	東京女子醫學專門學校	同
同	八五〇五三	愛知縣	服部重隆	熊本醫科大學	同
同　二四	八五〇五四	宮城縣士族	小林六郎	東北帝國大學醫學部	同
同	八五〇五五	宮城縣	岩間幹男	同	同
同	八五〇五六	福島縣	鈴木正郎	京城帝國大學醫學部	同
同	八五〇五七	朝鮮	張德鎭	同	同
同	八五〇五八	東京府	早川亨	慶應義塾大學醫學部	同　六
同	八五〇五九	宮崎縣士族	黑田清秀	東京慈惠會醫科大學	同　三
同	八五〇六〇	島根縣	安井敏夫	同	同
同	八五〇六一	奈良縣	津田一男	日本大學專門部醫學科	同
同	八五〇六二	長野縣	小松卓郎	同	一〇、三
同	八五〇六三	島根縣	河野逕房	京城醫學專門學校	一二、三
同	八五〇六四	朝鮮	朱復生	セブランス聯合醫學專門學校	同
同	八五〇六五	同	方淳貞	東京女子醫學專門學校	同
同	八五〇六六	同	宋漢榮	滿洲醫科大學	同
同	八五〇六七	山梨縣	櫻林元夫	日本大學專門部醫學科	同
同	八五〇六八	同	齋藤今朝男	岩手醫學專門學校	同
同	八五〇六九	鹿兒島縣士族	岩下彌高	平壤醫學專門學校	同
同　二八	八五〇七〇	同	增田正弘	九州帝國大學醫學部	同
同	八五〇七一	大分縣	堀貞雄	同	同
同	八五〇七二	福岡縣	進藤潤一	同	同
同	八五〇七三	佐賀縣	岩崎晋之助	同	一一、三
同	八五〇七四	長崎縣士族	武原健次	東京慈惠會醫科大學	一二、三
同	八五〇七五	長崎縣	熊澤瑞	日本醫科大學	八、三
同	八五〇七六	京都府士族	村松一康	新潟醫科大學	一二、三
同	八五〇七七	臺灣	郭守仁	昭和醫學專門學校	同
同	八五〇七八	長野縣	臺澤公平	同	同
同	八五〇七九	福岡縣	楠原勝	九州醫學專門學校	同
同	八五〇八〇	岡山縣	石井武夫	大邱醫學專門學校	同
同	八五〇八一	山形縣	三浦道子	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同
同　七、一	八五〇八二	愛知縣	大山信郎	東京帝國大學醫學部	同
同	八五〇八三	和歌山縣士族	內村正雄	九州帝國大學醫學部	同
同	八五〇八四	岐阜縣	曾我博吉	同	一一、三
同	八五〇八五	東京府	清水純一	京城帝國大學醫學部	一二、三
同	八五〇八六	岡山縣	太宰白一郎	同	同
同	八五〇八七	東京府	佐藤讓	千葉醫科大學	同
同	八五〇八八	山口縣	大杉百合夫	滿洲醫科大學	同
同	八五〇八九	兵庫縣	佐藤一郎	京都府立醫科大學	同
同	八五〇九〇	愛知縣	村上英彥	東京醫學專門學校	同
同	八五〇九一	熊本縣	益田學	京城醫學專門學校	同
同	八五〇九二	朝鮮	李晏敎	同	同
同	八五〇九三	同	崔享環	同	同
同	八五〇九四	福岡縣	原田忠雄	大邱醫學專門學校	同
同	八五〇九五	臺灣	黃金江	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五〇九六	岐阜縣	田內久	名古屋醫科大學	同
同	八五〇九七	長野縣	高木秀一	大邱醫學專門學校	同
同	八五〇九八	靜岡縣	海野うめ	東京女子醫學專門學校	一一、三
同	八五〇九九	茨城縣	齋藤壬子	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	一二、三
同	八五一〇〇	長崎縣	五十嵐紫子	同	一一、三
同	八五一〇一	德島縣	大黑芳太郎	長崎醫科大學	一二、三
同	八五一〇二	鹿兒島縣	砂泊兼光	同	同
同	八五一〇三	臺灣	郭萬壹	同	一一、三
同	八五一〇四	東京府	福原英男	東京醫學專門學校	一二、三
同　一三	八五一〇五	神奈川縣	石井秀文	慶應義塾大學醫學部	同　六
同	八五一〇六	兵庫縣	上田林三	東京帝國大學醫學部	同　三
同	八五一〇七	石川縣	地寄義永	京都帝國大學醫學部	同
同	八五一〇八	熊本縣	田川博總	同	同
同	八五一〇九	同	冨岡篤	九州帝國大學醫學部	同
同	八五一一〇	東京府士族	池田庸德	北海道帝國大學醫學部	同
同	八五一一一	神奈川縣	山岸嘉雄	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五一一二	山梨縣	島田誠	同	同
同	八五一一三	千葉縣	安田喜一郎	日本醫科大學	同
同	八五一一四	臺灣	周百鍊	長崎醫科大學	同
同	八五一一五	山口縣	四館知方	同	同　五
同	八五一一六	廣島縣	馬場進	滿洲醫科大學	同　三
同	八五一一七	鹿兒島縣	飯塚秀雄	同	同
同	八五一一八	茨城縣	小倉喜男	同	同
同	八五一一九	香川縣	顧家富士夫	同	同
同	八五一二〇	朝鮮	崔基鉉	平壤醫學專門學校	同
同	八五一二一	神奈川縣	前田茂穗	滿洲醫科大學	同
同	八五一二二	秋田縣	安倍徹郎	同	同
同	八五一二三	廣島縣	鄉田武	大阪高等醫學專門學校	同
同	八五一二四	鹿兒島縣	川路二夫	東京醫學專門學校	同
同	八五一二五	青森縣士族	駒ヶ嶺桂	昭和醫學專門學校	同
同	八五一二六	島根縣	榮木志朗	同	同
同	八五一二七	臺灣	林拱辰	同	同
同	八五一二八	廣島縣	中田秋市	同	同
同	八五一二九	朝鮮	李時榮	平壤醫學專門學校	同
同	八五一三〇	鹿兒島縣士族	德田正敏	同	一一、三

昭和十二年十月　內務省

◉工場財團

東京市麴町區丸ノ內二丁目二番地一朝日建材株式會社ヨリ同市城東區南砂町七丁目五百三番地一所在同會社南砂町工場ニ屬スル建物機械等ニ對シ工場財團組成ノタメ其財團ニ付所有權保存登記ノ申請アリタルニ因リ右動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告ノ日ヨリ三十五日以內ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十二年十月六日

東京區裁判所小松川出張所

東京市麴町區丸ノ內二丁目二番地一朝日建材株式會社ヨリ既設ノ工場財團ニ對シ同市城東區北砂町三丁目十二番地同會社北砂町工場ニ屬スル機械器具等ヲ新ニ財團ニ屬セシムルタメ目錄變更登記ノ申請アリタルニ因リ右動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告ノ日ヨリ三十五日以內ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十二年十月六日

東京區裁判所小松川出張所

東京市芝區田村町一丁目一番地ニ東京電燈株式會社ヨリ新潟縣中魚沼郡蘆ヶ崎村大字芦ヶ崎字川原甲五百四十一番ノ三外九筆ニ所在ノ中津川第二發電所ニ屬スル機械器具其他ニ對シ新ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ變更登記ノ申請アリタルニ因リ右追加財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十一日以內ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ新ニ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十二年十月六日

六日町區裁判所下船渡出張所

◉檢定教科用圖書

檢定年月日	目的ノ學校學科ノ種類	圖書名	卷冊	發行年月日	定價
昭和一二、九、二七（昭和一一、一〇、二一檢定濟ノ修正）	師範學校 英語科／中學校・實業學校 外國語科	The Choice Readers	五冊	昭和一二、八、一〇 訂正四版	一、二、三各 七八錢／四、五各 七五
右著者　青木常雄					
同（昭和九、九、二一檢定）	中學校 理科	中等新植物 要目乙準據	一	一二、九、一〇	七四
右著者　山羽儀兵					
一二、九、二八	同 同	最新中學物理（要目乙準據）	一	一二、九、二二 訂正再版	一・二〇
右著者　藤原武夫					

以上發行者　東京市小石川區小日向水道町八十四番地　株式會社東京開成館

昭和十二年十月　文部省

◉購買入札

第一號　精米　五五、〇〇〇瓩　富山部隊納

第二號　同　五五、〇〇〇瓩　鯖江部隊納

第三號　壓搾麥　一七、〇〇〇瓩　富山部隊納

第四號　同　一七、〇〇〇瓩　鯖江部隊納

以上本年十月中所要但シ精米ハ昭和十二年產ニシテ石川、富山、福井、愛知各府縣移出三等合格品以上又ハ之ト同程度ノモノタルコト、壓搾麥ハ昭和十二年產大麥若クハ裸麥ニシテ各府縣移出檢査ニ合格セル四等品以上ノモノ

一、入札及開札 本月十六日午前十時三十分當部ニ於テ入札、卽時開札但シ郵便(親展)、電報(照棒親展)入札差支ヘナシ
二、入札保證金 入札價格ノ百分ノ五以上
三、入札資格 大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ有スル者
四、入札心得書、契約書案、標本等ヲ示ス場所 當部

昭和十二年十月六日 第九師團經理部

◎賣拂入札

第一號 卓上ボール盤外一〇點
第二號 上皿桿秤外一二點
第三號 ガス熔接機外四點
第四號 落鎚 一箇
第五號 消防自動車外一點
第六號 水管罐 二箇
現品熟覽 本月十四、十五日ノ兩日午前十時
入札及開札 本月十六日午前十一時入札、卽時開札但シ郵便、電信入札切ケナシ
公示書類 入札心得書、契約書案等當廠會計課ニテ熟覽ノコト
入札場所 當廠會計課
入札保證金 各自見積價格ノ百分ノ十以上(圓未滿切上ク)

昭和十二年十月六日 陸軍造兵廠小倉工廠

一青銅屑(個屑二等品) 一八、〇〇〇瓩
一入札竝開札 本月十六日午前十時限、卽時開札
一現品下見 本月十五日午前八時
一入札場所 當局經理部
一現品引渡場所 小倉用品庫
一公示書類 當局ニテ熟覽ノコト
一入札保證金 各自見積價格ノ百分ノ十以上(圓未滿切上ク)
一契約保證金 落札金高ノ百分ノ十以上
一契約擔任者 門司鐵道局長島岡浩一郎

昭和十二年十月六日 門司鐵道局

◎商業登記

●合資會社設立
商號 合資會社釜正商店
本店 東京市荒川區三河島町四丁目三千七十八番地
目的 米穀馬糧薪炭ノ販賣及之ニ附帶スル一切ノ業務
設立年月日 昭和十二年五月二十九日
代表社員ノ氏名 貝塚正之助
社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任 東京市荒川區三河島町四丁目三千七十八番地
勞務 無限 貝塚正之助
金一百圓 有限 貝塚照子 同所同番地
鳳印精米機外動產十三點此價格金百圓也金二百五十圓 有限 山崎博次 茨城縣結城郡水海道町三千四百三十五番地
簿記臺外動產四點此價格金五十圓也金一百圓 有限 貝塚勝三郎 茨城縣北相馬郡大野村大字野木崎四百七十七番地
花林製食卓外動產二十三點此價格金二百圓也
存立時期 設立ノ日ヨリ昭和二十七年五月二十八日迄滿十五年

●不動興業株式會社變更
取締役河原雙吉佐藤清次郎ハ昭和十二年五月二十五日退任シ同日左者取締役ニ就任ス
名古屋市中區南伊勢町二丁目三番地 加藤義平
名古屋市西區則武町字北畑二千七百九番地 平岩三次
名古屋市西區則武町字龜島一千二十五番地 小川一郎
監査役堤忠六ハ昭和十二年五月二十五日退任シ同日左者監査役ニ就任ス
名古屋市南區洲雲町一丁目十番地 水野甚一
右昭和十二年五月二十九日登記

●合資會社三浦鐵工所解散
總社員ノ同意ニ依リ昭和十二年五月三十一日解散ス

●合資會社南鑄造所清算人選任
清算人ノ氏名住所 東京市荒川區尾久町五丁目七百二番地 南甚作

●東京糧食株式會社變更
昭和十二年五月二十五日商號ヲ左ノ如ク變更ス
商號 第一人造樹脂工業株式會社
同日目的ヲ左ノ如ク變更ス
目的 人造樹脂ノ製造其製品ノ製作及販賣竝ニ之ニ附隨スル一切ノ業務
同日公告ヲ爲ス方法ヲ左ノ如ク變更ス
公告ヲ爲ス方法 本店ノ店頭ニ揭示シテ之ヲ爲ス
同日左者新ニ取締役ニ就任ス
廣島縣三原市西町九百八十三番地 森本粂造
同縣同市本町乙千五百七十四番地 鶴島義雄

●合資會社設立
商號 合資會社鈴木商店
本店 東京市荒川區日暮里町一丁目二千八百十番地
目的 製紙原料賣買
設立ノ年月日 昭和十二年五月三十一日
代表社員ノ氏名 鈴木喜男
社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任 東京市荒川區日暮里町一丁目二千八百十番地
勞務 無限 鈴木喜男
金八百圓 有限 渡邊浪七 同所同番地
金四百圓 有限 渡邊信二 同所同番地
椅製簿記臺二箇外動產八點此價格金一百圓也
右昭和十二年五月三十一日登記 東京區裁判所千住出張所

●津田沼合同運送株式會社變更
一監査役任期滿了ニ付三代川佐吉仲村信藏ハ昭和十二年五月二十五日各重任ス
昭和十二年六月三日登記 千葉區裁判所大和田出張所

●株式會社大橋製絲所變更
一取締役大橋米三郎ハ昭和六年七月二十一日死亡ス
一取締役大橋彌一郎大橋ゑ美監査役秋山茂吉大里平助ハ任期滿了ニ付昭和十二年五月二十五日左者取締役監査役ニ就任ス
取締役 大橋彌一郎 猿島郡古河町古河五三二七番地
同 岩崎龜次郎 同所八八九番地
同 飯島賢治 同所二八〇二番地
監査役 平野甚助 同所九〇八番地
同 飯島常輔 同所二八〇二番地
一同日會社ヲ代表スヘキ取締役ニ左者就任ス
大橋彌一郎
昭和十二年六月四日登記 下妻區裁判所古河出張所

●宇都宮木材株式會社變更
一取締役鈴木源十郎ハ昭和十二年五月二十二日死亡ス
昭和十二年六月三日登記 宇都宮區裁判所

●株式會社日本勸業銀行社債(支店)
昭九災害十一號
一社債ノ總額 金二十六万圓
一各社債ノ金額 金五千圓
一社債ノ利率 年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限 昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回五千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額
昭十災害十一號
一社債ノ總額 金六万七千圓
一各社債ノ金額 金一千圓
一社債ノ利率 年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限 昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回一千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額
右昭和十二年六月三日登記 栃木區裁判所

●株式會社足利銀行更正及變更(支店)
一栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ五番地ノ支店及同縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地ノ支店ハ其地番錯誤ニ因リ左ノ通リ更正ス
支店 栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ三
支店 同縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地イ號
一群馬縣山田郡桐生町大字桐生新町三百四十二番地ノ支店ハ大正六年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ同縣同郡同町大字桐生三百四十二番地ト變更シ大正十年三月一日市制施行ニ因リ同縣桐生市大字桐生三百四十二番地ト變更シ更ニ昭和四年八月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店 群馬縣桐生市本町五丁目三百四十二番地
一群馬縣山田郡桐生町大字新宿村四百五番地ノ支店ハ大正六年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ同縣同郡同町大字新宿四百五番地ト變更シ大正十年三月一日市制施行ニ因リ同縣桐生市大字新宿四百五番地ト變更シ更ニ昭和四年八月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店 群馬縣桐生市新宿通一丁目四百五番地
一栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ三ノ支店ハ大正十年一月一日市制施行ニ因リ同縣足利市大字足利二百十八番ノ三ト變更シ更ニ大正十一年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店 栃木縣足利市伊勢町二百十八番地ノ三
一栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木三百八十一番地ノ一ノ支店ハ昭和十二年四月一日市制施行ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店 栃木縣栃木市萬町三百八十一番地ノ一
一栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地イ號ノ支店ハ昭和十二年四月一日市制施行ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店 栃木縣栃木市倭町二百九十五番地イ號
昭和十二年六月三日登記 足利區裁判所佐野出張所

●合名會社藤駒本店解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月三十日解散ス

●合資會社双葉屋商店解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月三十一日解散ス
右昭和十二年六月二日登記 延岡區裁判所

●合資會社蓋盛商會解散
一昭和十二年五月二十二日總社員ノ同意ニヨリ解散ス
右昭和十二年五月二十六日登記

●八重山電氣株式會社變更
一取締役岩崎卓爾ハ昭和十二年五月十八日死亡セリ
右昭和十二年五月二十八日登記 平良區裁判所八重山出張所

●商號ノ新設
一商號 鈴木書店
一營業ノ種類 書籍文具雜貨販賣
一營業所 石卷市石卷裏町百番地
一商號使用者ノ氏名住所 石卷市石卷裏町百番地 鈴木鐵哉
右昭和十二年五月十日登記 石卷區裁判所

●羽前絹絲株式會社變更
一昭和十二年五月二十六日取締役風間吉郎右衛門春山壯次風間富治郎任期滿了改選ニ依リ再選重任シ取締役高橋林太郎ハ同日辭任ニ依リ補缺選任再選重任シタリ
昭和十二年六月三日登記 鶴岡區裁判所

●合資會社石田鑛業所清算
右昭和十二年五月二十三日清算結了シタリ
昭和十二年六月二日登記 大館區裁判所

●縣是秋田製絲株式會社資本減少
一昭和十二年五月三十一日資本減少ニ因リ資本ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
金百万圓也
右昭和十二年六月三日登記 湯澤區裁判所

●合資會社千葉繩詰工場解散及清算人選任
一昭和十二年五月二十五日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
一同日左者清算人ニ就任ス
青森市大字安方町百十九番地 千葉傳藏
昭和十二年六月三日登記 青森區裁判所

●支配人選任
一支配人ノ氏名住所 空知郡砂川町字北本町二番地 星英晴
一主人ノ氏名住所 空知郡瀧川町字榮花通北四丁目二百六十二番地 橋本德四郎
一主人ノ營業 運送業及勞力請負
一支配人ノ用ユヘキ商號 井桁赤平運送社
一支配人ヲ置キタル場所 空知郡赤平村字赤平四百三十四番地
昭和十二年五月三十一日登記 岩見澤區裁判所蘆別出張所

●合資會社山ヱ小川商店解散竝清算人選任
一昭和十二年五月三十一日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
一清算人ノ氏名住所 岩内郡岩内町大字橘町字裏通一番地 小川喜代次
右昭和十二年六月二日登記 岩内區裁判所

●合資會社小田山農園變更
昭和十二年五月二十二日無限責任吉田清太郎死亡シタルニ付左ノ者家督相續ニ因リ入社シタリ
小樽市住之江町八丁目一番地 金千六百五十圓 無限責任 吉田庚子郎
右昭和十二年六月二日登記 岩内區裁判所倶知安出張所

●沼田木材株式會社變更
取締役竝ニ監査役全員任期滿了及株主ノ異動ニ因リ取締役沼田甚三郎尾田作藏網永清一中山朝二杉原粂次郎監査役原田太八尾田常作中村作次郎ハ昭和十二年五月二十日孰モ退任シ同日左ノ者孰モ頭書ノ通リ取締役及監査役ニ就任シタリ
取締役 尾田作藏 旭川市宮下通リ十五丁目右十號
同 尾田常作 雨龍郡沼田村字沼田市街地八十四番地
同 橋本逢次 札幌市南八條西十三丁目
同 水谷晉一 雨龍郡多度志村字多度志原野五線十六番地
同 尾田秀夫 旭川市宮下通十五丁目右十號
監査役 尾田敏政 雨龍郡沼田村字沼田市街地八十四番地
同 尾田義雄 旭川市宮下通十五丁目
同 西野目淸之進 宗谷郡稚内町中通一丁目
右昭和十二年六月二日登記 旭川區裁判所沼田出張所

●株式會社北海道拓殖銀行變更(支店)
一昭和十二年五月二十九日取締役永田昌緯ハ住所ヲ左記ノ通リ變更シタリ
札幌市北二條西一丁目三番地

●株式會社北海道拓殖銀行社債償還(支店)
一大正五年十二月二十日登記シタル第三十一回け號社債殘額一千五百圓ノ内五十圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ一千四百五十圓ニ
二大正六年十二月二十日登記シタル第三十五回て號社債殘額六十六万三千圓ノ内五千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ六十五万八千圓ニ
三大正八年一月十四日登記シタル第三十八回き號社債殘額六万一千圓ノ内一千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ六万圓ニ
四大正八年二月二十八日登記シタル第三十九回ゆ號社債殘額五十万二千圓ノ内五千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ四十九万七千圓ニ
五大正八年十二月五日登記シタル第四十四回ひ號社債殘額一千二百二十圓ノ内二十圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ一千二百圓ニ
六大正八年十二月十九日登記シタル第四十五回も號社債殘額六十二万八千五百圓ノ内一万圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ六十一万八千五百圓ニ
七大正八年十二月二十六日登記シタル第四十六回せ號社債殘額十三万二千圓ノ内二千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ十三万圓ニ
八大正九年五月十九日登記シタル第四十九回社債殘額二十七万三千一百圓ノ内八千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十六万五千一百圓ニ
九大正九年五月十九日登記シタル第五十回社債殘額三十万七千五百圓ノ内八千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十九万九千五百圓ニ
一〇大正九年八月六日登記シタル第五十一回乙社債殘額二十五万九千圓ノ内一千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十五万八千圓ニ
一一大正十年三月八日登記シタル第五十九回社債殘額九十六万六千圓ノ内一万圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ九十五万六千圓ニ
一二大正十年八月十九日登記シタル第六十三回社債殘額二十五万圓ノ内五万圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十万圓ニ
一三大正十年十二月二十六日登記シタル第六十七回社債殘額七十二万九千圓ノ内四万四千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ六十八万五千圓ニ
一四大正十二年二月五日登記シタル第七十二回社債殘額四十九万八千圓ノ内十三万七千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ三十六万一千圓ニ
一五大正十二年四月二十日登記シタル第七十五回社債殘額十万五千圓ノ内一万五千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ九万圓ニ
一六大正十二年四月三十日登記シタル第七十七回社債殘額十八万四千圓ノ内一万四千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ十七万圓ニ
一七大正十三年三月十五日登記シタル第八十二回社債殘額二十二万圓ノ内七万一千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ十四万九千圓ニ
一八大正十四年四月二十五日登記シタル第八十六回社債殘額三十三万一千圓ノ内五万五千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十七万六千圓ニ
一九大正十四年七月八日登記シタル第八十七回社債殘額五十万圓ノ内二十一万五千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十八万五千圓ニ
二〇大正十四年十月二十一日登記シタル第八十八回社債殘額二十四万圓ノ内一万圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十三万圓ニ
二一大正十四年十二月十八日登記シタル第九十回社債殘額八十四万五千圓ノ内三千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ八十四万二千圓ニ
二二大正十五年三月二十五日登記シタル第九十一回社債殘額四十六万五千圓ノ内二十万圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十六万五千圓ニ
二三大正十五年七月三十一日登記シタル第九十三回社債殘額三十九万圓ノ内五千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ三十八万五千圓ニ
二四昭和二年一月十八日登記シタル第九十七回社債殘額四十六万圓ノ内二十万五千圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十五万五千圓ニ
二五昭和二年三月七日登記シタル第百回社債殘額四十五万圓ノ内二十万圓ヲ昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發行殘額ヲ二十五万五千圓ニ

◉産業組合登記

●保證責任宇佐販賣利用組合變更
一監事久保吉助岡本春馬中平巖喜ハ昭和十二年四月二十日重任ス
右昭和十二年六月二日登記　須崎區裁判所高岡出張所

●有限責任白子信用組合淸算結了
一昭和十二年四月二十二日淸算結了ス
昭和十二年六月二日登記　新城區裁判所

●保證責任東深瀬信用購買販賣利用組合變更
一監事全員任期滿了ニ付林重武村瀬文作村瀬與三吉村瀬富二ハ昭和十二年三月二日重任シ左記ノ者同日監事ニ就任ス
中村幸三郎　山縣郡富岡村東深瀬二千三百七十六番地
山下仁右衛門　同所千五百八十七番地
昭和十二年六月三日登記　岐阜區裁判所高富出張所

●有限責任美東購買販賣組合變更
一監事新川源四郎ハ昭和十二年四月六日退任シ新川谷五郎坂東梯衛ハ同日重任シ左記ノ者同日監事ニ就任ス
新川巖登　揖斐郡春日村美東千三十四番地ノ二
昭和十二年六月三日登記　大垣區裁判所揖斐出張所

●保證責任木郎信用販賣購買利用組合變更
一理事吉村四造宗谷中次郎和田武一監事椿原長吉ハ昭和十二年三月八日重任シ理事田端岩吉森下喜藏坂下時三郎中村一郎監事松田正雄山下喜藏ハ同日退任左ノ者新ニ理事監事ニ同日就任ス
理事　松田正雄　珠洲郡木郎村字時長八十七四十番地
同　淺山助藏　同郡同村字清眞二四十八番地
同　時山平作　同郡同村字時長六六十一番地
同　中島榮　同郡同村字瀧之坊ケ二十五番地
監事　脇延久秀　同郡同村字行延五百二番地
同　中村一郎　同郡同村字宮犬十二三十三番地
右昭和十二年六月一日登記

●保證責任松波信用販賣購買利用組合變更
一理事表與三吉濱藤七眞智昌三瀧老名角平小原顯太郎監事朝倉義助ハ昭和十二年四月三十日重任シ理事大野平作南山庄太郎監事緑田武作河田八太郎白坂龍藏加藤郎ハ同日退任左ノ者同日新ニ理事監事ニ就任ス
理事鍋谷甚平珠洲郡木郎村字新保一ノ九番地同大形白四同所字白丸三ノ十八番甲地同西尾治平同町字長尾七ノ七番地同中町北助同所字立壁一ノ二十七番地同中村初三郎同所字九里川尻九ノ四十一番地同垣内金次郎同所字阿ケ谷四ノ二十六番地監事大野平作同所字松波十ノ八十八番地同初崎採吉同所字四方山一ノ三十一番地同池端三十郎同所字鰻踏五ノ一番地同南山庄太郎同所字布浦ムノ四十五番地同河渕山三郎同所字新保二ノ三番地同山岸平正同所字白丸四ノ二十一番地
右昭和十二年六月二日登記　輪島區裁判所木郎出張所

●産業組合設立
一名稱　保證責任安登信用販賣購買利用組合
一組織　保證責任
一區域　加茂郡安登村與館岡谷跡條向之原日之浦
一事務所　賀茂郡安登村字沖田二百六十六番地
一目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
五組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
一設立許可ノ年月日　昭和十一年四月二日
一出資一口ノ金額　二十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス組合員ハ前項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲナスコトヲ得第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剰餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口ニ付毎年一月末及七月末迄ニ金二圓宛拂込ムモノトス組合員ハ前項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲナスコトヲ得
一理事ノ氏名住所
進藤語六　賀茂郡安登村千一番地
西垣內島太郎　同郡同村三百五十五番地
下迫一三　同郡同村千二百六十八番地
高橋逸美　同郡同村二千百四十四番地
山根萬助　同郡同村九百四十五番地
一監事ノ氏名住所
桝岡兒玉　賀茂郡安登村二千三百二十八番地ノ三
小迫吉之助　同郡同村二百四十一番屋敷
下瀬新造　同郡同村千三百七十六番地
一存立ノ時期　ナシ
右昭和十二年六月一日登記　竹原區裁判所內海出張所

●保證責任久米村信用購買販賣組合變更
一監事吉永源左衛門滿期核本家藏小林定ハ昭和十二年四月三日辭任同日左ノ者監事ニ就任ス
中島賢造　都濃郡久米村大字久米二七八番地ノ三
岡田忠雪　同郡同村大字同一一八七番地

●有限責任德山信用組合變更
理事河合來助昭和十二年五月二十三日死亡
右孰レモ昭和十二年六月三日登記　德山區裁判所

●保證責任大井信用購買販賣利用組合
一理事藤田十郎水津信一齋藤常嘉山根彌作ハ昭和十二年三月二十四日再選重任シ左記ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
吉谷林左衛門　阿武郡大井村第二千七百四十三番地
昭和十二年六月三日登記　萩區裁判所奈古出張所

●保證責任仙崎販賣購買利用組合變更
一理事二名增員ニ付昭和十二年四月二十一日左記ノ者就任ス
渡邊常太郎　大津郡仙崎町第二千百五十二番地
田村入藏　同所第三千四百四番地
右昭和十二年六月二日登記　萩區裁判所深川出張所

●無限責任田耕村信用購買販賣利用組合變更
一理事岡茅介ハ昭和十二年五月十四日辭任ス
昭和十二年六月二日登記　下關區裁判所瀧部出張所

●有限責任黒崎村信用購買販賣組合變更
監事缺員ニ付昭和十二年五月四日總會ニ於テ左記ノ者選任セラレ昭和十二年五月十二日就任シタリ
樋口千代太郎　淺口郡黒崎村八千百七十一番地
右昭和十二年六月二日登記　玉島區裁判所

●保證責任有津信用組合變更
一理事七名監事五名缺員ニ付昭和十二年五月十六日總會ニ於テ左記ノ者ヲ選任同日就任シタリ
理事　戸田只一　上房郡有漢村四千百九十三番地
同　上森喜市　同所五千九十一番地
同　富士田繁藏　同所百九十一番地
同　倉野鋼作　同所三百五十九番地
同　小林改一郎　同所二千六百二十九番ノ二地
同　宮田龍市　同所千五百番地
同　河原謙良　同所六千八十九番地
監事　吉田五一　同所二千百四十八番地
同　佐分利増太郎　同所八千五百四番地
同　吉田甚　同所二千四百六十九番ノ二地
同　植木米吉　同所七千七十番地
同　宮本好忠　同所三千四百十二番地
右昭和十二年六月二日登記　高梁區裁判所有漢出張所

●有限責任東購買組合變更
一理事中島房藏辭任ニヨリ昭和十二年五月十二日左ノ者理事ニ就任セリ
寺谷純一　岩美郡東村大字陸上四百三十五番地
一監事全員任期滿了ノ處昭和十二年五月十二日濱垣才太郎中島傳次ハ各重任ス
右昭和十二年六月三日登記　鳥取區裁判所岩井出張所

●保證責任吉岡信用購買販賣利用組合變更
一昭和十二年五月十五日理事宮野正一安藤隆吉田中信二白岩幸田濱菊藏小谷民次郎竹內義治山根春雄宮本竹治監事木南貞治小林粋三ツ國平藏各重任ス
右昭和十二年六月三日登記　鳥取區裁判所吉岡出張所

●保證責任角盤共同浴場利用組合變更
一昭和十二年三月二十四日監事山中利一郎石井小市ハ再選同日重任ス
右昭和十二年六月三日登記　米子區裁判所

●無限責任中野信用販賣購買利用組合變更
理事監事任期滿了總會ニ於テ改選ノ結果理事椿賀照部實吉賀勘六兒玉駒太郎監事全員昭和九年三月一日各重任シ左記ノ者同日理事ニ新任セリ
沖房松　邑智郡中野村二千七十番地
監事浚邊求昭和九年四月二十六日死亡ニ因リ退任ス
理事吉賀勘六昭和九年七月十五日死亡ニ因リ退任ス
一監事任期滿了總會ニ於テ改選ノ結果監事椰幸廣一吉賀喜太郎ハ昭和十一年二月二十八日各重任シ左記ノ者同日監事ニ新任セリ
吉賀德三郎　邑智郡中野村千七十五番地ノ二
理事任期滿了總會ニ於テ改選ノ結果理事椋賀服部實吉賀淸六兒玉駒太郎ハ昭和十二年三月一日各重任シ左記ノ者同日理事ニ新任セリ
柳幸良太郎　邑智郡中野村三千三百七十六番地
右昭和十二年五月十四日登記　大森區裁判所矢上出張所

●有限責任貝吹村信用購買販賣生産組合變更
一昭和十二年五月十二日認可ニ依リ名稱及組織ヲ左ノ如ク變更セリ
名稱　保證責任貝吹村信用購買販賣利用組合
組織　保證責任

●保證責任貝吹村信用購買販賣利用組合變更
一昭和十二年五月二十日事務所ヲ左記ニ移轉セリ
東宇和郡貝吹村大字中通川八番耕地百八十二番地第四
一理事一名增員ニ付同日左記ノ者理事ニ就任セリ
二宮卯吉　東宇和郡貝吹村大字四九番戸
一監事一名增員ニ付同日左ノ者監事ニ就任セリ
上城磯美　同村大字傳田三番耕地百六番地
右昭和十二年六月二日登記　宇和島區裁判所野村出張所

●保證責任深江信用購買販賣利用組合變更
一昭和十二年五月十九日左記ノ者理事ニ就任ス
庄島長左エ門　福岡縣糸島郡深江村片山千七百三十八番地
重三次郎　同縣同郡同村深江二千二百二十二番地
一昭和十二年五月十九日左記ノ者監事ニ就任ス
谷口宗太　同所七百八十五番地
藤崎貫一　福岡縣糸島郡深江村深江八百六十四番地
昭和十二年六月三日登記　福岡區裁判所深江出張所

●保證責任大善寺信用購買販賣組合變更
一理事隈太平次川原新六宮崎喜作生津千太郎古賀富次津留崎與三太郎監事內田登喜次川島宗太郎原口直吉合戸幸次郎ハ昭和十二年三月三十一日各重任シ左ノ者同日理事監事ニ就任ス
理事ノ氏名住所
江口恒次郎　福岡縣三潴郡大善寺村宮本二千百二十五番地ノ二
監事ノ氏名住所
吉山鋼作　福岡縣三潴郡大善寺村宮本千五百七十五番地
右昭和十二年六月二日登記　久留米區裁判所大善寺出張所

●保證責任南野津信用販賣購買利用組合變更
一理事利光源平ハ昭和十二年五月十八日死亡ス
右昭和十二年六月二日登記　臼杵區裁判所野津市出張所

●保證責任大島郡信用販賣購買組合聯合會變更
一監事時清光久保實忠ハ昭和十二年四月一日退任シ同野村六十一中江淸知郎ハ同日重任ス左記ノ者同日新ニ監事ニ就任ス
永井榮吉　大島郡宮見村中間千百五番地

●保證責任戸圓信用販賣購買利用組合變更及移轉
一理事駒田民太郎綱山直志ハ昭和十二年四月二十七日辭任ス
一監事高槻牛太郎綱原寅太郎ハ同日辭任ス
一昭和十二年五月一日事務所ヲ大島郡大和村戸圓九百二十七番地ニ移轉ス

●保證責任圓信用販賣購買利用組合移轉
一昭和十二年四月十五日事務所ヲ大島郡龍郷村圓四百二番地ニ移轉ス
昭和十二年五月二十八日登記　大島區裁判所

●保證責任刈田郡販賣購買利用組合聯合會變更
一理事庄司喜市郎ハ昭和十二年五月七日退任シ同村上勇吉鈴木俊一郎ハ同日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
小室健三　刈田郡齋川村字深澤三十二番地
一監事小室健三ハ同日退任シ同菅野榮三郎ハ同日重任シ左記ノ者同日監事ニ就任ス
庄司喜市郎　刈田郡越河村大字越河五十五番地
昭和十二年六月二日登記　大河原區裁判所白石出張所

●保證責任沼部村信用販賣購買利用組合變更
一理事中峯文五郎岡崎久左エ門篠澤純次佐々木端一郎齋藤國高泉龍吉ハ昭和十二年五月三日重任ス
一同日左ノ者理事ニ就任ス
深川市郎　遠田郡沼部村大澤字北谷地中一番地ノ一
昭和十二年六月三日登記　古川區裁判所田尻出張所

●保證責任岩瀬乾繭販賣利用組合更正
一理事稲田運吉ノ住所ヲ岩瀬郡鏡石村大字鏡田字深內三十一番地ト更正ス
一監事樋本正平ノ住所ヲ岩瀬郡梓榊村大字木之崎字向原十二番地ト更正ス

●有限責任須賀川煙草耕作購買組合變更
一理事任期滿了ノ處昭和十二年五月十八日大沼正一關根秀一小針源十鈴木盈治ハ重任シ左記ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
內藤六三郎　西白河郡白河町字天神町五十一番地
折笠義康　田村郡谷田川村大字下道渡字南作三十一番地
大槻喜久雄　石川郡小鹽江村大字小倉字摺臼內百五十番地
昭和十二年六月四日登記　白河區裁判所須賀川出張所

●保證責任鹿島信用販賣購買利用組合變更
一理事黒木英泰ハ昭和十二年五月二十五日辭任ス
昭和十二年六月二日登記　平區裁判所小名濱出張所

●保證責任販賣組合土澤米穀社(變更)
淸算人青木重之助昭和十二年五月四日死亡ス
昭和十二年六月二日登記　花巻區裁判所十二鏑出張所

●保證責任岩手縣漁業購買販賣利用組合聯合會變更
一理事三浦淳吉千田稻城三浦榮五郎鷲木嘉右エ門林成三高瀬進今野哲夫菊池健雄菅原齋三郎東西兵衞齋島與八田高幸一郎柴內魁三佐藤公一各任期滿了ニ付昭和十二年五月七日柴內魁三三浦淳吉佐藤公一菊池健雄三浦榮五郎鷲木嘉右エ門今野哲夫東西兵衞齋島與八田高幸一郎各再選新ニ左記ノ者理事ニ選任シ柴內魁三三浦淳吉佐藤公一三浦榮五郎鷲木嘉右エ門今野哲夫菊池健雄齋島與八田高幸一郎熊谷長左エ門ハ各同日四戸能藏ハ同月十二日東西兵衞ハ同月十三日吉田耕一ハ同月十四日手塚壽助ハ同月十九日各就任ス
熊谷長左エ門　磐井郡矢澤村高松第二十一地割字平良木八十八番地
四戸能藏　盛岡市仁王第一地割字內丸七十二番地
吉田耕一　氣仙郡氣仙町字町九十八番地
手塚壽助　江刺郡岩谷堂町字男石八十七番地
右昭和十二年六月三日登記　遠野區裁判所

●有限責任綾住居信用組合變更
一昭和十二年三月二十四日認可ヲ得同年四月三日組織變更ノ手續ヲ了シタルニ因リ名稱及組織ヲ左記ノ通リ變更ス
名稱　保證責任綾住居中央信用販賣購買利用組合
組織　保證責任
右昭和十二年六月二日登記　遠野區裁判所大槌出張所

●保證責任鶴川信用販賣購買組合變更
一理事及監事任期滿了ニ因リ昭和十二年五月七日理事ニ進藤久吉兒玉高道青山竹松三浦松之助監事ニ高橋潤助ハ各重任シ左記ノ者新ニ理事監事ニ就任セリ
理事　關㵎助　秋田縣山本郡鶴川村川尻五十四番地
兒玉隆治　秋田縣山本郡鶴川村久米岡新田字吉岡五十二番地
監事　相原常吉　秋田縣山本郡鶴川村鶴川六十一番地ノ內一番
安部要助　秋田縣山本郡鶴川村川尻五番地
右昭和十二年六月二日登記　能代區裁判所鶴川出張所

●有限責任鹿角醫療購買利用組合變更
一昭和十二年五月二十七日理事關憲次郎死亡セリ
右昭和十二年六月二日登記　大館區裁判所花輪出張所

●有限責任岩見澤中央購買組合變更
一昭和十一年九月十日認可ニ因リ同月二十日事務所ヲ左ノ通リ移轉ス
空知郡岩見澤町四條西三丁目三番地
右昭和十二年六月二日登記　岩見澤區裁判所

●保證責任平溪信用購買組合變更
監事全員任期滿了ノ處昭和十二年四月二十四日林有財盧玉林山ハ各重任基隆郡平溪庄石底字石底四番地陳機聽監事ニ就任ス

●保證責任基隆水產業者建築信用購買利用組合變更
監事全員任期滿了ノ處昭和十二年四月一日本多鍵吉松永辰之助西村文吉ハ各重任基隆市義重町六丁目一番地明比實平同市濱町五十一番地西村茂各監事ニ就任ス
右昭和十二年五月三十一日登記　臺北地方法院基隆出張所

●保證責任淸水建築信用購買利用組合(變更)
昭和十二年五月十五日王萬良許木敏夫陳春有才ハ各理事ニ重任倪萬春吳火求揚祿ハ各監事ニ重任同日左ノ者理事ニ新任セリ大甲郡清水街清水字淸水二五七番地高橋良作同所二五四番地山本仁太松同所二九番地王榮華
右昭和十二年五月二十八日登記　臺中地方法院大甲出張所

◉禁治産宣告

本籍竝ニ住所福井縣丹生郡立待村上石田第四十三號三十一番地
　　　　　　　　　　　大正二年十一月十三日生
　　　　　　　　　　　　　　　　　　鷲田　克巳

右ニ對シ實母鷲田とりノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十二年九月十八日禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十日
　　　　　　　　　　　　　　　　武生區裁判所

青森縣西津輕郡柏村大字廣須二十七番戸戸主
　　　　　　　　　　　　　　　　工藤喜八郎
　　　　　　　　　明治二十三年十月三日生

右ノ者ニ對シ母工藤とよノ申立ニヨリ當裁判所ハ昭和十二年九月十七日禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月十七日　　鰺ケ澤區裁判所

◉除權判決

東京市麴町區丸ノ内一丁目一番地ノ一
　　申立人　株式會社第一銀行
　　右代表者取締役　明石　照男
　　右代理人　有田　義廣

別紙表示ノ小切手ニ付申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ因リ公示催告ヲ爲シタル處昭和十二年八月二十日午前十時ノ期日迄ニ權利ヲ屆出テ且右小切手ヲ提出スルモノナキヲ以テ申立人ノ申立ニ基キ前記小切手ノ無效ヲ宣言ス
昭和十二年九月二十四日
　　　　　　　　　　　和歌山區裁判所
　　　　　　　　　　　　判事　松本官平

（別紙）
　　證券ノ表示
一小切手　一通
額面　金二千六百四十八圓也
振出　昭和十一年六月五日
小切手番號　AA第六一九二號
渡シ先　杵島炭鑛株式會社大阪支店
振出人　紀陽染工株式會社
支拂銀行　株式會社三和銀行和歌山支店
一小切手　一通
額面　金三千五百九十三圓也
振出　昭和十一年六月十日
小切手番號　R第三七九三號
渡シ先　古河石炭鑛業株式會社大阪支店
振出人　太田藤楠
支拂銀行　株式會社三和銀行和歌山支店

◉復權許可

八女郡羽犬塚町大字久富千六百六十三番地ノ一
　　　　　　　　破産者　江崎　秀吉
右ノ者ニ對シ當裁判所ハ昭和十二年九月七日左記ノ如ク決定ヲ爲シ該決定確定シタルヲ以テ公告ス
　　主　文
破産者江崎秀吉ノ復權ハ之ヲ許可ス
昭和十二年九月二十四日　久留米區裁判所

◉破産配當ニ關スル除斥期間

　　　　　　　　破産者　柳田淺次郎
右ニ對スル昭和八年（コ）第一二號破産事件ニ付配當ノ爲ノ除斥期間ヲ配當ノ公告アリタル日ヨリ起算シテ三週間ト定ム
昭和十二年九月三十日
　　　　　　　　　　　福井區裁判所

◉破産事件ノ配當ニ付公告

福井縣坂井郡丸岡町一本田三十七號二十二番地
　　　　　　　　破産者　柳田淺次郎
右者ニ對スル福井區裁判所昭和八年（コ）第一二號破産事件ニ付配當ニ關シ公告スルコト左ノ如シ
一配當ニ加フヘキ債權總額
　　金二万四千六百七十六圓七十四錢也
一配當スルコトヲ得ヘキ金額
　　金四千百八十六圓五十一錢也
右公告ス
昭和十二年十月一日
　　　　　　　　破産管財人　彦坂矩雄

◉行旅死亡人

本籍住所氏名不詳男推定五十歳丈五尺三寸位細面其他ハ腐爛セルニ付不明所持金品ナシ
右本月十二日當町一一六九七番地先山林内ニテ變死シ居ルヲ發見シ檢視ノ上當町長福寺共同墓地ニ假埋葬ス心當リノ者ハ申出ツヘシ
昭和十二年九月
　　　　　　　　東京府北多摩郡府中町役場

本籍住所不詳氏名石原リウ四十五年位瘦身顏長身長四尺九寸位頭髮束髮色黑著衣木綿茶盤縞浴衣
右昭和八年八月二十一日精神病者トシテ警察ヨリ引渡ヲ受ケ吹田腦病院ニ監置加療中ノ處本年二月二十三日死亡寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月
　　　　　　　　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳女推定二十三年位體中肉顏面長頭髮斷髮身長五尺位著衣小豆色毛絲セーター小豆色羅紗スカート茶毛絲ノ靴下
右本年三月十四日午前十一時頃區内南海岸通三丁目地先港内第三區第三突堤富島倉庫前海先ニテ溺死セルヲ發見死後ノ經過十二時間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月
　　　　　　　　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男二十五年位體肥顏圓身長五尺一寸位頭髮丸刈著衣木綿ジヤンパー鼠色ズボン水色ワイシヤツ
右本年三月二十日區内富島町四十三番地先但富島渡上流南岸ニ於テ溺死セルヲ發見死後ノ經過一週間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月
　　　　　　　　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男二十六年位身長五尺一寸位死後ノ經過二個月位ノタメ白骨化ス著衣縞洋服同ズボン縞ワイシヤツ黑襦子十文足袋
右本年四月一日午後一時頃大阪港北防波堤中央北側ニ於テ溺死セルヲ發見寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月
　　　　　　　　大阪市港區役所

◉日本銀行週報

●兌換銀行券發行高每週平均高報告（自昭和十二年九月二十六日至昭和十二年十月二日）

	円
發行兌換銀行券	一、六四八、四〇九、三三四・〇〇〇
準備　金貨及金地金	八〇一、〇〇一、三一八・〇〇〇
保證　公債	四三五、五六二、九七一・〇〇〇
保證　手形證券	一八三、〇一六、一六七・〇〇〇
合計	二二八、八二八、七六八・〇〇〇
	八四七、四〇七、九〇六・〇〇〇

●營業每週報告（昭和十二年十月二日）

負債ノ部

	円
資本金	六〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金及損益金	一三六、三六七、四七六・八六三
發行兌換銀行券	一、六四二、七七三、一一二・五〇〇
政府預金 政府當座預金	一九三、一一一、二五八・五四〇
政府預金 其他	一三〇、四一一六、五四七・七三〇
政府預金 計	三二三、五二七、九〇六・二七三
一般預金	六九・八三三、四一九・一七〇
小額紙幣準備寄託金	一〇、九六五、〇〇〇・〇〇〇
其他	一一五、九八九、二一一・六三四
總計	二、三五九、四五六、〇二六・四四〇

資產ノ部

拂込未濟資本金	一五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
現金及地金 金貨及金地金	八〇一、〇〇一、三一八・二六〇
現金及地金 其他	四六、四五四、二六一・九四〇
現金及地金 計	八四七、四五五、五八〇・二〇〇
割引手形	六三三、五一八、六四六・九四〇
政府一時貸金	二、九二四、七五六・二五〇
貸付金	二七、七一四、〇四三・四一〇
外國爲替貸金	一三六、七三〇、四五九・〇二〇
公債	五四二、〇八四、七六二・四〇〇
代理店勘定	一一二、七七一、六五七・七〇九
政府勘定特殊現金	九、一〇二、〇七六・六一八
小額紙幣準備保管金	一〇、九六五、〇〇〇・〇〇〇
其他	二一、一八九、〇四三・八五三
總計	二、三五九、四五六、〇二六・四四〇

昭和十二年十月五日　　　　日本銀行

正誤

去月二十二日廣告ニ別嗣漁業組合登記ノ項中二八頁三段水戸區裁判所高萩出張所ノ部四行櫻井若之介ハ櫻井芳之介同商業登記ノ項中三二頁四段太田區裁判所大宮出張所ノ部二十一行及二十五行菊池大輔ハ菊池六輔ノ誤植

◉外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

通常 普通書留 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
●加奈陀、米國、南米等行 10、七前等10	10、七前二、三〇10、七前10、一五	橫濱	平安丸
●布哇、米國、加奈陀、南米等行 同七前10、三五	同七前10、一五	同	愛宕丸
●布哇、加奈陀、米國、南米等行 同七後10	同七後九、三〇	同	エムプレス・オブ・ジヤパン號
●濠洲、新西蘭等行 同七前九	同七前八半	門司	八重丸
●南支那、香港、フイリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行 同八後九半	同八後九	神戸	もんてびでお丸
同九前九	同九前八半	同	プレシデント、マツキンレー號
●香港、フイリピン群島、濠洲、新西蘭等行	10、10前五	橫濱	北野丸

印附日製屬金 付チネ 賣發新

■受附印、領收、支拂、檢查印用
從來の金屬性と製法を異にし堅牢無比なり。朱肉、黑肉、油製肉に最も適し、不滅インキ肉盤にて鮮明に捺印される
■取扱極めて輕便破損及彎曲すべき虞なし
■三分丸、四分丸は認印用として最も適す。
■印面水牛、御指示の文字彫刻料共 優美木箱入
特價
三分、四分丸　金二圓六十錢
五分丸　金四圓四十五錢
六分丸　金四圓八十錢
七分丸　金五圓三十五錢
八分丸　金五圓八十錢
一寸丸　金六圓六十錢
送料　内地十四錢　海外四十九錢
營業案内送呈
ロ振替東京三一七四二番。
麴町區飯田町一丁目、大神宮通
電話九段一六一四番　平野東旭堂

株式會社名義書換停止公告
來十一月一日ヨリ定時株主總會終了日迄株式名義書換停止仕候
昭和十二年十月
日本郵船株式會社

徽章・メダル・金・銀・木杯・帽章・ボタン・記念品
東京九段下
アキバ徽章店
電話九段 一二三六五一・一二三九七一番

◉無效公告
當社株券稻田銀十郎名義壹株券 甲第貳貳八壹號壹枚ハ喪失ノ旨同人相續人正等ヨリ屆出有之タルニ付今後參拾日間ニ異議申出ナキトキハ無效トス
昭和十二年十月六日
大日本麥酒株式會社

商工省推定　優良國產品

☆☆☆
東京豐島區高田南町三丁目
合名會社　三星繪具製造所
電話牛込（三四）三九四六・〇〇八八
御用達官廳

横濱市公債償還公告

昭和十二年九月二十八日左記十六公債昭和十二年度償還ニ對スル抽籤執行ノ結果左ノ通當籤セリ
昭和十二年十月六日　　横濱市長　青木周三

公債名	償還金額	券面別當籤番號
橫濱市第二回整理公債む號	七〇〇円	壹百圓券 七九、九參、壹貳七、壹參六、壹五七、壹六壹
橫濱市第十八回整理公債ゐ號	三、九〇〇円	壹百圓券 壹八、壹九、貳八、參壹、五參、六七、七貳、七六、九貳、壹參參
橫濱市第八回整理公債の號	二九、七〇〇円	壹百圓券 貳、四貳、四參、四四、壹〇九、壹參〇；五千圓券 壹五七、壹七八、貳參九；壹千圓券 壹八壹、貳〇六；壹萬圓券
橫濱市第十四回整理公債く號	一、〇〇〇円	壹千圓券 貳〇
橫濱市第二十回整理公債こ號	一、〇〇〇円	壹千圓券 參〇
以上支拂期日 昭和十二年十月廿五日 支拂場所 共同證券株式會社		
橫濱市第五回電車事業整理公債む號	一〇、〇〇〇円	五千圓券 壹貳〇、壹四六
以上支拂期日 昭和十二年十一月五日 支拂場所 山一證券株式會社		
橫濱市第二十二回整理公債短期公債と號	一、〇〇〇円	壹千圓券 壹四六
橫濱市第十二回電車事業整理公債短期公債ち號	一〇〇円	壹百圓券 七七
以上支拂期日 昭和十二年十一月廿五日 支拂場所 共同證券株式會社		
橫濱市第十三回事業公債り號	二、六〇〇円	壹百圓券 四四、四五、壹壹、壹七、貳六、四壹、五六、六六；壹千圓券
橫濱市第三回整理公債と號	二、八〇〇円	壹百圓券 四壹、四貳、貳九、參〇、參五；壹千圓券
橫濱市第五回整理公債ち號	二、四〇〇円	壹百圓券 壹貳九、五〇；壹千圓券 壹四九、壹六貳
橫濱市第二十一回整理公債短期公債ぬ號	一、〇〇〇円	壹千圓券 七貳
橫濱市第五回電車事業公債に號	七、五〇〇円	壹百圓券 五四、五五、八四；壹千圓券 壹九參、壹九四；五千圓券 貳五九
橫濱市第四回電車事業整理公債は號	一〇、四〇〇円	壹百圓券 參、四、八七、九貳；壹萬圓券 貳六六
以上支拂期日 昭和十二年十一月廿八日 支拂場所 共同證券株式會社		
橫濱市第六回整理公債短期公債な號	六二、二〇〇円	壹百圓券 貳、五六；壹千圓券 七〇、九〇；壹萬圓券 四七參
橫濱市第九回整理公債短期公債ら號	一〇九、三〇〇円	壹百圓券 壹六、貳參、六九；壹千圓券 九參、壹參〇、參參參；五千圓券 貳五六、參〇四；壹萬圓券
以上支拂期日 昭和十二年十一月卅日 支拂場所 野村證券株式會社		

但シ以上全公債共右支拂場所以外ニ株式會社橫濱興信銀行ニ於テモ之ヲ取扱ヒ尚各證券株式會社ニ於ケル支拂取扱期間ハ支拂期日ヨリ向フ壹箇月間トス

後藤金庫
鋼鐵家具
耐火、防賊力强化
最新式發賣

新製品耐火書庫
（カタログ進呈）
東京市京橋區西八丁堀一丁目
後藤金庫本店
電話京橋(56)一〇五八

矢野
矢野テント商會
大阪 西區 日吉橋 北
東京 京橋 海事 前

官報　第三二九號　昭和十二年十月六日　水曜日

昭和二十五年五月三十一日　第三種郵便物認可

內閣情報部編輯

週報

第一五增號

十頁

一號

—（國際時事解說）—

○日還修好五十年の回顧　外務省情報部

○農山漁村に於ける勤勞奉仕　農林省經濟更生部

○貿易組合法其の他　貿易局

○保定・滄州の陷落と上海戰線の力攻　陸軍省新聞班

○海軍の作戰進む　海軍省海軍軍事普及部

發行所　內閣印刷局

本日發賣　五錢

愛國行進曲懸賞募集規定

內閣情報部では今回行はれる國民精神總動員を機として、國民が永遠に愛唱し得べき國民歌を作ることゝなり、次の規定に依つて、汎く帝國國民より愛國行進曲（歌詞及作曲）を募集することゝなつた。

一　歌詞

イ　美しく明るく勇ましき行進曲風のもの。

ロ　內容は日本の眞の姿を讃へ、帝國永遠の生命と理想とを象徵し國民精神作興に資するに足るもの。

ハ　章節は三節以上とし、一節の行數は四行以上とすること、但反唱部を別に添ふるも差支なし。

ニ　平戰兩時を通じ國民が老幼男女を問はず常に和唱し得るもの。

ホ　歌詞中の漢字には必ず振假名を明記すること。

二　締切及審査發表

締切期日　十月二十日

審査發表　十一月三日

新聞、週報、ラヂオ等に依り最高位當選の歌詞及入賞作の作曲者氏名を發表す。

三　褒彰

一等　一名　總理大臣賞として銀牌及賞金壹千圓

二等　一名　同　銅牌及賞金五百圓

三等　一名　同　銅牌及賞金壹百圓

右の外佳作若干に對し內閣情報部より賞狀を附與す。

四　應募者は

帝國國民に限る、但し一人一篇のこと。

五　入選及佳作の歌詞の著作權は一切內閣情報部に歸屬す。又歌詞は發表の際改訂することあるべし。應募原稿は返戻せず。

六　應募原稿の用紙は半紙大とす。又原稿紙には必ず現住所及氏名明記のこと。

七　**宛名**

東京市麴町區永田町二ノ一　內閣情報部宛、封筒に「應募歌詞」と朱書して必ず郵送のこと。

八　右規定の外一切質問に應ぜず。

九　**作曲**

最高位に當選したる歌詞に作曲するものとす。

十　右に關しては審査發表當日詳細を發表す。

歌詞の審査員左の如し

內閣情報部　部長
東京音樂學校長　乘杉嘉壽
東京中央放送局長　片岡直道
陸軍省　磯矯重遠
海軍省　河井醉茗
內閣印刷局　佐々木信綱
內閣印刷局　北原白秋
內閣印刷局　島崎藤村

定價　一ヶ月　九十五錢　一圓八十錢　一圓八十錢（外國郵便ニ）
廣告料　本公告　八ポイント一行　三十錢　九ポイント五錢增
一般廣告　八ポイント一行十四字詰　二十五錢
發行所　東京市麴町區大手町　內閣印刷局
電話　局內（二五）番　振替東京一九〇〇番

タイガー計算器

計算事務は國産タイガーで！
國産タイガー計算器は日本特許・實用新案並に英・米・獨特許を併せて80件餘を持つ優秀なる機構十有餘年研鑽を重ねたる製作技術より成る世界的計算器です

番及號・基本型・特殊型・連乘式
正價 ¥ 160.00 以上　型錄贈呈

タイガー計算器株式會社
本社工場　大阪市東淀川區野中南通二ノ十　電話北7590—7593
東京支店　東京市日本橋區吳服橋三ノ五　電話日本橋1049.3953
札幌・仙臺・名古屋・廣島・福岡・京城・大連・新京・奉天・臺北

優良國產
ニデカ電氣式
タイムレコーダー

●●●日本電氣株式會社製●●●

本機の三大特徵
I. 五分單位
II. 自動時報裝置付
III. 劃期的廉價
（一分單位式及び直流式其の他特別機構の御注文に應じます）

（カタログ進呈）

（正價 ¥280.00）

日本電氣株式會社特定販賣所
ニデカ電氣時計販賣株式會社
本店　東京市日本橋通二丁目　大同ビル　電話日本橋4607・5034
支店　大阪市土佐堀通一丁目　大同ビル　電話土佐堀7034・4343
中部代理店　名古屋市西區東柳町82　石原商店寶庫部
中國代理店　廣島市立町50　共榮商會
福岡代理店　福岡市上西町16　合名會社　渡邊藤吉本店

（本書ノ大サハ國定規格A4判）

官報

昭和十二年十月七日
第三千二百三十號　木曜日

省令

◎陸軍省令第四十三號
軍機保護法施行規則左ノ通定ム
昭和十二年十月七日
陸軍大臣　杉山　元

軍機保護法施行規則

第一條　軍機保護法第一條第二項ノ規定ニ依ル陸軍ノ軍事上秘密ヲ要スル事項又ハ國書物件ノ種類範圍左ノ如シ

一　國防、作戰又ハ用兵ニ關スル事項
イ　國防又ハ作戰ニ關スル諸計畫ノ內容
ロ　現在及將來ニ亘ル國防、作戰、用兵ノ準備又ハ實施ニ關スル命令ノ內容、發受令者、下達時期、下達地點
ハ　外國ニ駐屯スル軍隊又ハ戰時若ハ事變ニ際シ出征若ハ派遣スル軍隊及其ノ軍需品ニ關スル左ノ事項
甲　戰闘序列又ハ軍隊區分ニ基ク隸屬系統、部隊號、部隊數又ハ部隊ノ人馬數、裝備若ハ軍需品ノ種類及數量
乙　現在及將來ニ亘ル任務又ハ企圖
丙　現在及將來ニ亘ル部署、配備又ハ行動
丁　現在及將來ニ亘ル陣地ノ位置、構成、設備又ハ强度
ニ　軍事ニ關スル外國トノ約定
ホ　編制、裝備又ハ動員ニ關スル事項
イ　戰時ノ編制又ハ裝備
ロ　第二條第二號ニ規定スル電氣通信所、軍需品工場、軍需品貯藏所其ノ他ノ軍事施設內ノ編制又ハ業務
ハ　軍動員計畫又ハ其ノ實施ノ內容（召集及徵發ニ關スル事項中特ニ指定セザルモノヲ除ク）
ニ　軍需動員ニ關スル計畫ノ內容
三　國土防衛ニ關スル事項
イ　防衛（戰時警備、防空及要塞防衛ヲ謂フ以下之ニ同ジ）ニ關スル計畫ノ內容
ロ　防衛部隊ノ隸屬系統、部隊號、部隊數又ハ部隊ノ人馬數、裝備
ハ　現在及將來ニ亘ル防衛部隊ノ任務、企圖、部署、配備又ハ行動
ニ　現在及將來ニ亘ル防衛ノ準備又ハ實施ニ關スル命令ノ內容
ホ　要塞ノ編成又ハ堡壘、砲臺、其ノ他ノ國防ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物ノ位置、構成、施設若ハ强度
ヘ　要塞備付兵器ノ名稱、員數又ハ備付位置
四　諜報、防諜又ハ調査ニ關スル事項
イ　諜報機關又ハ防諜機關ノ編制、配置、業務、成果其ノ他一切ノ事項
ロ　作戰資料又ハ兵用地理ノ調査ニ關スル計畫ノ內容
五　運輸、通信ニ關スル事項
イ　作戰、派遣、軍動員又ハ軍需動員ノ輸送計畫又ハ輸送準備ノ內容
ロ　戰時又ハ事變ノ際ニ於ケル輸送軍隊ノ軍用列車ノ列車數又ハ其ノ輸送人馬物件ノ種類及員數若ハ部隊號
ハ　戰時又ハ事變ノ際ニ於ケル軍徵傭船舶ノ船名、隻數、艤裝、兵裝、性能、航路若ハ航行隊形又ハ其ノ輸送人馬物件ノ種類及員數若ハ部隊號
ニ　戰時又ハ事變ノ際ニ於ケル軍用通信施設又ハ軍用通信規定ノ內容
ホ　軍用暗號
ヘ　演習、教育又ハ訓練ニ關スル事項
イ　第八條ニ規定スル區域內ニ於テ行フ演習、教育、訓練ノ計畫內容又ハ其ノ成果
ロ　軍事機密、軍事極秘、軍事秘密ノ資材ヲ以テ行フ演習、教育又ハ訓練ノ計畫內容又ハ其ノ成果
七　資材ニ關スル事項
イ　軍事機密ノ標記ヲ爲シタル資材又ハ軍事機密ノ標記ヲ爲シタル容器內ニ收容スル資材ノ名稱、機構、性能其ノ他一切ノ事項
ロ　軍事極秘ノ標記ヲ爲シタル資材又ハ軍事極秘ノ標記ヲ爲シタル容器內ニ收容スル資材ノ機構、性能又ハ形狀
ハ　軍事秘密ノ標記ヲ爲シタル資材又ハ軍事秘密ノ標記ヲ爲シタル容器內ニ收容スル資材ノ機構、性能
ニ　軍事機密、軍事極秘又ハ軍事秘密ノ標記ヲ爲シタル設計若ハ規格圖書ニ依リ製造中ノ資材亦前三號ノ例ニ依ル
ホ　資材ノ整備若ハ補給ノ計畫又ハ整備若ハ補給シタル資材ノ種類及數量若ハ補給率
ヘ　軍事機密、軍事極秘、軍事秘密ノ資材ノ實驗、試驗又ハ其ノ成績
ト　第八條ニ規定スル區域內ニ於テ行フ實驗、試驗又ハ其ノ成績
チ　第二條第二號ニ規定スル軍需品貯藏所內ニ貯藏スル資材ノ種類及數量
リ　陸軍大臣所管ノ軍需品工場ノ生產（製造、調製及修理ヲ謂フ以下之ニ同ジ）能力又ハ技術
ヌ　第二條第二號ニ規定スル軍需品工場ノ生產能力、設備若ハ技術又ハ生產中ノ資材ノ種類及數量
八　國書物件ニ關スル事項
軍事機密、軍事極秘又ハ軍事秘密ノ標記ヲ爲シタル國書物件
前項ノ種類範圍ニ屬スル事項又ハ國書物件ト雖法規ニ於テ公示セラレタルモノ又ハ陸軍省（外國ニ駐屯スル軍隊又ハ出征若ハ派遣スル軍隊ノ最高司令部、朝鮮軍司令部、臺灣軍司令部、防衛司令部、師團司令部、航空兵團司令部及要塞司令部ヲ含ム）ニ於テ公表シタルモノハ之ヲ除ク

第二條　軍機保護法第八條第一項ノ規定ニ依リ左ニ揭グルモノニ付テハ測量、撮影、模寫、模造若ハ錄取又ハ其ノ複寫若ハ複製ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第一號ニ揭グルモノニ付テハ當該要塞司令官（陸軍築城部本部長ノ管轄スル防禦營造物ニ付テハ陸軍築城部本部長）ノ、第二號ニ揭グルモノニ付テハ當該艦船又ハ軍事施設ヲ管轄スル部隊長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一　堡壘、砲臺其ノ他ノ國防ノ爲建設シタル陸軍防禦營造物

目次抄錄
●省令　軍機保護法施行規則（陸軍）　頁一九二
關東州ニ於ケル軍機保護ニ關スル件（陸）　一九八
●告示　保安林區入其他　二〇三
●勅令　南洋群島關係令施行期日　二〇三
●告示　保安林區入其他　二〇三
關東州ニ於ケル軍機保護ニ關スル件（陸）　二〇二
●勅令　南洋群島關係令施行期日　二〇三
●告示　保安林區入其他　二〇三
石綿鑛業關係業務ニ關スル件ノ施行ニ關スル件　二〇六
●勅令　防空演習ノ爲メ燈火管制實施ニ關スル件　二〇六
●告示　保安林區入其他　二〇六
鐵鑛業關係業務ニ關スル件ノ施行ニ關スル件　二〇九
●勅令　工業技術員養成令施行期日　二一一
●告示　保安林區入其他　二一一

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

一　左ニ掲グル區域ニ於ケル航空
イ　要塞地帶（地帶第三區外方三千五
百間ヲ含ム）
ロ　東經百四十四度以東ノ北海道（島
嶼ヲ含ム）及千島列島
ハ　北緯四十五度以北ノ北海道（島嶼
ヲ含ム）及樺太（島嶼ヲ含ム）
ニ　帝國ノ領土及其ノ地先三海里以内ノ
海面
ホ　三宅伊豆七島、小笠原諸島及硫黄列
島
ヘ　面内ノ島嶼
ト　宇品港域第一區及第二區
チ　櫻島ノ諸島
リ　由良要塞
ヌ　前島近傍
ル　呉要塞近傍
ヲ　宇品港域第二區及第三區
ワ　嶼廣島縣
カ　豐後要塞近傍
ヨ　下關要塞近傍
タ　對馬要塞近傍
レ　豐岐要塞近傍
ソ　舞鶴要塞近傍
ツ　小笠原群島近傍
ネ　東京灣要塞近傍
ナ　北海道東部近傍
ラ　樺太北部近傍
ム　宗谷港灣近傍
ウ　皇闕近傍
ヰ　津輕要塞近傍

注
一　意
二　用紙適
宜
三　ス受クベキ官廳（物件）ニ付テハ區域ノ目的ヲ記載スルモノトス
四　方法ニ付テハ面積寸法等ノ制限ヲ記載スルモノトス
五　使用器具類ノ名稱ニ付テハ何等ノ器具ヲ記載スルモノトス
六　日時（期間）ニ付テハ何年何月何日ヨリ同月何日午前十時頃又ハ何日時等日時又ハ期間ヲ記載スルモノトス
七　作業者ノ住所氏名ニ付テハ現ニ作業ヲ爲サシムルモノノ住所氏名ヲ記載スルモノトス
八　作業ノ場所ニ付テハ何縣何郡何村字何地等ノ區劃ニ依リ左ニ掲グル區域ニ於テ作業ヲ爲サシムルモノトス
九　作業ノ目的ニ付テハ何等ノ測量、撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ニ關スルモノトス
十　第一號ニ掲グル陸地ノ大氣ノ透明度又ハ地表ニ對スル光線ノ反射ノ觀測ニ付テハ觀測ノ方法、觀測ノ場所、觀測ノ時期及觀測ノ作成ニ關スル事項
十一　第二號ニ掲グル行爲ニ付テハ其ノ行爲ノ目的ヲ記載スルモノトス
十二　第三號ニ掲グル行爲ニ付テハ其ノ行爲ノ目的ヲ記載スルモノトス

第五條　軍機保護法第十一條第一項ノ規定ニ依リ左ニ掲グル區域ニ於テ爲サントスル測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ニ付許可ヲ得ント欲スル者ハ左ノ樣式ニ依リ作成シタル申請書ニ必要ナル書類ヲ添ヘ之ヲ陸軍大臣ニ提出スベシ

測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）許可願	
職業	
住所	
氏名	㊞
年齢	
右ノ者軍機保護法第十一條第一項ノ規定ニ依リ許可相成度軍機保護法施行規則第二三條ノ規定ニ依リ別紙ノ通リ測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）仕度此段及申請候也	
年　月　日	
陸軍大臣　子爵　何某殿	
記	
一　測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ノ目的	
二　測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ノ區域（物件）	
三　測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ノ方法	
四　使用器具類ノ名稱	
五　測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ノ日時（期間）	
六　作業者ノ住所氏名	
七　作業ノ場所	
八　作業ノ目的	
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項	

第三條　軍機保護法第九條ノ規定ニ依リ前項ノ區域ニ付テハ測量、撮影、模寫若ハ模造物又ハ前項ノ區域ヲ設ケテ之ヲ標示シタル陸軍大臣所管ノ飛行場、電氣通信所、軍需品工場、軍需品貯藏所其ノ他ノ軍事施設ニ現場ニ標識ヲ設ケ又ハ現場ニ於テ陸軍大臣ノ定メタル陸軍防衛營造物又ハ其ノ周圍ノ地域ニ付テハ當該軍事施設ノ周圍ノ區域ニ付テハ當該軍事施設ノ管理者ニ對シ命令ヲ以テ測量、撮影、模寫若ハ模造ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得ス但シ陸軍防衛營造物ノ周圍ノ地域ニ於テ測量、撮影、模寫若ハ模造ヲ爲ス場合ニ於テ豫メ陸軍大臣ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第四條　第二條又ハ前條第二項ニ規定スル區域ニ付テハ當該要塞司令官、軍事施設ノ周圍ノ區域ニ付テハ當該軍事施設ノ管理者ニ對シ命令ヲ以テ測量、撮影、模寫若ハ模造ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得ス但シ陸軍防衛營造物ノ周圍ノ地域ニ於テ測量、撮影、模寫若ハ模造ヲ爲ス場合ニ於テ豫メ陸軍大臣ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第三條　軍機保護法第九條ノ規定ニ依リ前項ノ區域ニ付テハ測量、撮影、模寫若ハ模造ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得ス但シ陸軍防衛營造物ノ周圍ノ地域ニ於テ測量、撮影、模寫若ハ模造ヲ爲ス場合ニ於テ豫メ陸軍大臣ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

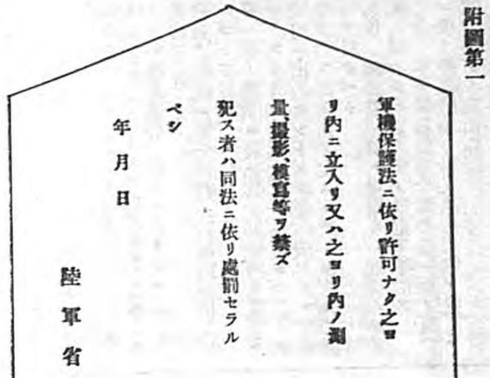
第四條　第二條又ハ前條第二項ニ規定スル區域ニ付テハ當該要塞司令官、軍事施設ノ周圍ノ區域ニ付テハ當該軍事施設ノ管理者ニ對シ命令ヲ以テ測量、撮影、模寫若ハ模造ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得ス但シ陸軍防衛營造物ノ周圍ノ地域ニ於テ測量、撮影、模寫若ハ模造ヲ爲ス場合ニ於テ豫メ陸軍大臣ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第五條　軍機保護法第十一條第一項ノ規定ニ依リ左ニ掲グル區域ニ於テ爲サントスル測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ニ付許可ヲ得ント欲スル者ハ左ノ樣式ニ依リ作成シタル申請書ニ必要ナル書類ヲ添ヘ之ヲ陸軍大臣ニ提出スベシ

測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）許可願	
職業	
住所（外國人ニ在リテハ國籍）	
氏名	㊞
年齢	
右ノ者軍機保護法第十一條第一項ノ規定ニ依リ別紙ノ通リ測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）仕度此段及申請候也	
年　月　日	
陸軍大臣　子爵　何某殿	
記	
一　測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ノ目的	
二　測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ノ區域（物件）	
三　測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ノ方法	
四　使用器具類ノ名稱	
五　測量（寫眞撮影、模寫、模造又ハ繪畫ノ作成ヲ謂フ、以下同ジ）ノ日時（期間）	
六　作業者ノ住所氏名	
七　作業ノ場所	
八　作業ノ目的	
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項	

あ
アイヌ語地名
アイヌ民族
アクセス
アクセス権
アクセス制御
アクセス制御リスト
アクセス制御情報
アクセス制御方式
アクセス制御機能
アクセス制御機能付き
アクセス制御機能付き記憶装置
アクセス制御機能付き記憶装置の
アクセス制御機能付き記憶装置の構成
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧と
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧と索
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧と索引
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧と索引を
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧と索引を兼
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧と索引を兼ね
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧と索引を兼ねる
アクセス制御機能付き記憶装置の構成と動作の概要と応用例と課題と展望と結論と参考文献一覧と索引を兼ねる。

附圖第一

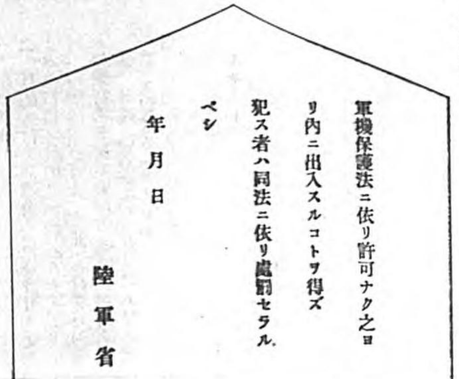


Trespassing, surveying, photographing, sketching and etc., upon these premises without official permission are prohibited by the Military Secret Protection Law.

Any person who violates this rule will be punished by the same law.

By Order
War Office.

附圖第二



Trespassing without official permission is prohibited by the Military Secret Protection Law.

Any person who violates this rule will be punished by the same law.

By Order
War Office.

◉陸軍省令第四十四號

關東州ニ於ケル軍機保護ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十二年十月七日

陸軍大臣　杉山　元

第一條　關東州裁判事務取扱令ニ於テ依ルコトヲ定メタル軍機保護法ノ施行ニ關シテハ本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外昭和十二年陸軍省令第四十三號軍機保護法施行規則ニ依ル但シ同規則中要塞地帶令、帝法トアルハ關東州防禦營造物地帶令、第五條中要塞地帶內トアルハ防禦營造物地帶內、防衞司令官又ハ師團長トアルハ關東軍司令官、同條第二號中帝國トアルハ關東州、第八條中要信大臣及第十二條中主務大臣トアルハ滿洲國駐箚特命全權大使、第十條中開港ハ港則第一條ニ規定スル標界內トアルハ昭和八年海軍省令第二號旅順港規則第一條、大正十四年關東廳令第二十二號大連港規則第一條及昭和八年關東廳令第四十八號青蘭店港規則第一條ニ規定スル水域內、第十五條中昭和十二年海軍省令第二十八號軍機保護法施行規則トアルハ昭和十二年海軍省令第二十九號關東州ニ於ケル軍機保護ニ關スル件、第十七條中要塞地帶內及要塞地帶第三區外方三千五百間以內ノ區域トアルハ防禦營造物地帶內トス

第二條　昭和十二年陸軍省令第四十三號軍機保護法施行規則第五條第一號、第三號及第四號ニ揭グル區域ハ關東州及其ノ地先三海里以內ノ海面ノ區域、同規則第十條ニ揭グル區域ハ旅順港規則第一條ニ規定スル大連港及青蘭店港規則第一條ニ規定スル青蘭店港ヲ除ク關東州地先三海里以內ノ海面ノ區域トス

附　則

本令ハ昭和十二年勅令第五百七十九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

昭和十二年十月六日勅令第五百七十九號ハ關東州裁判事務取扱令中改正ノ件ナリ

◉海軍省令第二十八號

軍機保護法施行規則左ノ通定ム

昭和十二年十月七日

海軍大臣　米內　光政

軍機保護法施行規則

第一條　軍機保護法第一條第二項ノ規定ニ依ル海軍ノ軍事上祕密ヲ要スル事項又ハ圖書物件（圖書ニ在リテハ其ノ祕密ノ程度ニ從ヒ「軍機」又ハ「軍極祕」ノ標記ヲ爲シ物件ニ在リテハ之ニ準ズ）ノ種類範圍左ノ如シ

一　國防、作戰又ハ用兵ニ關スル事項

(一)　國防、作戰ノ方針又ハ計畫

(二)　兵要地點ノ調査ニ關スル計畫、實施又ハ其ノ成果

(三)　軍港、要港、防禦港其ノ他作戰要地ノ防備ノ方針又ハ計畫

(四)　戰時又ハ事變ノ際ニ於ケル通商保護ノ方針又ハ計畫

(五)　戰時又ハ事變ノ際ニ於ケル艦船部隊ノ用兵上ノ任務、行動計畫又ハ其ノ實施ノ狀況

(六)　軍事ニ關スル外國トノ約定

二　出師準備ニ關スル事項

(一)　出師準備ノ方針又ハ計畫

(二)　出師準備整備ノ狀況

(三)　海軍大臣所管ノ軍需品工場ノ能力

(四)　戰時、事變又ハ之ニ準ズル事件ノ際ニ於ケル出師準備ニ關スル諸令達又ハ之ニ基ク出師準備進捗ノ狀況

三　軍備ニ關スル事項

(一)　軍備ノ方針、計畫又ハ進捗狀況

(二)　水陸設備ノ方針又ハ計畫

(三)　艦船部隊、官衞又ハ學校ノ戰時編制

四　諜報又ハ防諜ニ關スル事項

(一)　諜報又ハ防諜ニ關スル方針、計畫又ハ其ノ實施ノ狀況

(二)　諜報又ハ防諜ノ方法又ハ機關ノ組織、所在若ハ任務

五　艦船部隊、官衞、學校ニ於ケル機密（「軍機」又ハ「軍極祕」ニ屬スルモノニ限ル以下同ジ）ニ屬スル教育訓練、演習又ハ研究實驗ノ計畫、實施又ハ其ノ成果

六　通信ニ關スル事項

(一)　軍用通信ノ組織又ハ計畫ノ內容

(二)　軍用ノ祕密通信又ハ暗號

七　艦船、航空機、兵器又ハ軍需品ニ關スル事項

(一)　「軍機」ニ屬スル現用若ハ計畫、試製、實驗中ノ船體、機關、兵器、航空機、液體燃料、火藥又ハ「軍機」ノ標記ヲ爲シタル計畫圖ニ依リ製作中ノ物件ノ形狀、名稱、機構、性能、要目若ハ規格

(二)　「軍極祕」ニ屬スル現用若ハ計畫、試製、實驗中ノ船體、機關、兵器、航空機、液體燃料、火藥又ハ「軍極祕」ノ標記ヲ爲シタル計畫圖ニ依リ製作中ノ物件ノ機構、性能、要目若ハ規格

(三)　艦船ノ機密ニ屬スル要目

八　「軍機」又ハ「軍極祕」ノ標記ヲ爲シタル圖書

九　機密ニ屬スル物件

前項ノ種類範圍ニ屬スル事項又ハ圖書物件ト雖モ法規ヲ以テ公示セラレタルモノ又ハ海軍ニ於テ公表シタルモノハ之ヲ除ク

第二條　軍機保護法第八條第一項ノ規定ニ依リ左ニ揭グルモノニ付テハ測量（船舶ノ運航ニ必要ナル測深、測距、方位測定等ヲ除ク以下同ジ）、撮影、模寫、模造若ハ鎔取又ハ其ノ複寫若ハ複製ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第一號及第二號ニ揭グルモノニ付テハ當該鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ノ、第三號及第四號ニ揭グルモノニ付テハ海軍大臣、當該鎭守府司令長官、獨立艦隊司令官又ハ要港部司令官ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一　軍港、要港又ハ防禦港

二　砲臺、防備衞所其ノ他國防ノ爲建設シタル海軍防禦營造物

三　海軍ノ艦船、航空機又ハ兵器ニシテ左ニ記載シタルモノ

(一)　艦船

(イ)　戰艦及航空母艦

(ロ)　海軍ノ管理監督ニ屬スル艦艇

(二)　航空機

(イ)　海軍ノ管理監督ニ屬スル計畫、試製又ハ實驗中ノ機密航空機

(ロ)　機密ニ屬スル航空機（航空中ノモノヲ除ク）

(三)　兵器

(イ)　海軍ノ管理監督ニ屬スル計畫、試製又ハ實驗中ノ機密兵器

(ロ)　機密ニ屬スル兵器

四　現場ニ標識ヲ設ケテ標示シタル海軍大臣所管ノ飛行場、電氣通信所、軍需品工場、軍需品貯藏所其ノ他ノ軍事施設

第三條　軍機保護法第九條ノ規定ニ依リ前條第二號ニ揭グル海軍防禦營造物又ハ同條第四號ニ規定スル軍事施設ノ周圍ノ地域ニ付區域ヲ定メタルトキハ現場ニ標識ヲ設ケテ之ヲ標示ス

前項ノ區域ニ付テハ測量、撮影、模寫、模造若ハ鎔取又ハ其ノ複寫若ハ複製ヲ爲スコトヲ得ズ但シ海軍大臣、當該鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　第二條又ハ前條第二項ニ規定スル行爲ノ許可ヲ受ケントスル者（海軍大臣、當該鎭守府司令長官、獨立艦隊司令官又ハ要港部司令官ニ於テ豫メ指定シテ許可申請書（二通）ヲ當該行爲地ノ最寄憲兵隊長（分隊長及分遣隊長ヲ含ム以下同ジ）又ハ警察署長（臺灣ニ在リテハ郡守又ハ支廳長ヲ含ム以下同ジ）ヲ經テ海軍大臣、當該鎭守府司令長官、艦隊司令長官、獨立艦隊司令官又ハ要港部司令官ニ提出スベシ

測量（撮影、模寫、模造、鉉取、複寫、複製）許可申請書

本　籍（外國人ニ在リテハ國籍）
住　所
職　業　　氏　名　印
　　年　齡

年　月　日

海軍大臣（鎭守府司令長官、要港部司令官、艦隊司令官）殿

左記ノ通測量（撮影、模寫、模造、鉉取、複寫、複製）致度軍機保護法施行規則第二（三）條ニ依リ此段及許可申請候也

記

一　目的
二　區域（物件）
三　方法
四　使用器具類ノ名稱
五　日時（期間）
六　作業者ノ住所氏名
七　作業ノ場所
八　員數
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

附圖第一

注意

軍機保護法ニ依リ許可ナク之ヨリ内ニ立入リ又ハ之ヨリ内ノ測量、撮影、模寫、模造等ヲ爲スコトヲ禁ズ

犯ス者ハ同法ニ依リ處罰セラルベシ

年　月　日

海軍省

Notice

Trespassing, surveying, photographing, sketching, modelling, etc., upon or of these premises without previous official permission are prohibited by the Military Secrets Protection Law.

Any offender in this regard will be punished by the same law.

Ministry of the Navy.

Sept. ,1937.

附圖第二

注意

軍機保護法ニ依リ許可ナク之ヨリ内、水陸ノ形狀若ハ施設物ノ狀況ノ測量又ハ空中、高所ヨリノ撮影等ヲ禁ズ

犯ス者ハ同法ニ依リ處罰セラルベシ

年　月　日

海軍省

Notice

Surveying of the features of the land or the water or of the establishments within the premises, or photographing, etc., of the same from the air or a height, without previous official permission are prohibited by the Military Secrets Protection Law.

Any offender in this regard will be punished by the same law.

Ministry of the Navy.

Sept. ,1937.

附圖第三

注意

軍機保護法ニ依リ許可ナク之ヨリ内ニ出入スルコトヲ禁ズ

犯ス者ハ同法ニ依リ處罰セラルベシ

年　月　日

海軍省

Notice

Trespassing here without previous official permission is prohibited by the Military Secrets Protection Law.

Any offender in this regard will be punished by the same law.

Ministry of the Navy.

Sept. ,1937.

〔參照〕

昭和十二年八月十四日法律第七十二號ハ軍機保護法改正ノ件ナリ

◉海軍省令第二十九號

關東州ニ於ケル軍機保護ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十二年十月七日

海軍大臣　米内　光政

關東州ニ於ケル軍機保護ニ關スル件

第一條　關東州裁判事務取扱令ニ於テ依ルコトヲ定メタル軍機保護法ノ施行ニ關シテハ本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外昭和十二年海軍省令第二十八號軍機保護法施行規則ニ依ル但シ同規則中要塞地帶法トアルハ明治四十一年勅令第三十六號關東州防禦營造物地帶令、軍港要港規則トアルハ昭和八年海軍省令第二號旅順港規則、第八條中遞信大臣及第十二條中主務大臣トアルハ滿洲國駐剳特命全權大使、第十一條中船舶法第三條トアルハ明治四十四年關東都督府令第三十五號關東州船舶令第三條、第十五條中昭和十二年陸軍省令第四十三號軍機保護法施行規則トアルハ昭和十二年陸軍省令第四十四號關東州ニ於ケル軍機保護ニ關スル件トス

第二條　昭和十二年海軍省令第二十八號軍機保護法施行規則第十條ニ掲グル區域ハ旅順港規則第一條ニ規定スル第一區及第二區トス

旅順港規則第一條ニ規定スル第三區ヨリ第二區ヲ通過シ直ニ第三區ニ移ル外國船舶ニ同施行規則第十一條ノ許可ヲ受クルヲ要セズ

附　則

本令ハ昭和十二年勅令第五百七十九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

廳令

◉南洋廳令第七號

昭和十二年勅令第二百十四號南洋群島鑛業令ハ昭和十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年六月二十九日

南洋廳長官　北島謙次郎

◉南洋廳令第八號

南洋群島鑛業令施行規則左ノ通定ム

昭和十二年六月二十九日

南洋廳長官　北島謙次郎

南洋群島鑛業令施行規則

第一條　鑛業ニ關スル願書、申請書、届書又ハ圖面ハ一件毎ニ調製シ樣式ノ定アルモノハ其ノ樣式ニ準ズベシ

前項ノ書面又ハ圖面ニシテ南洋廳長官ニ差出スベキモノハ正副二通ヲ調製シ出願區域ヲ管轄スル支廳ヲ經由スベシ

支廳ニ於テ前項ノ書面又ハ圖面ヲ受理シタルトキハ意見ヲ具シ正本ヲ南洋廳長官ニ進達スベシ

書面又ハ圖面ノ差出期限ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ期限迄ニ發送スルコトヲ要ス

第二條　本令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ鑛業ノ出願ヲ爲サントスル者、鑛業出願人、鑛業權者又ハ土地ノ關係人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第三條　鑛業出願人又ハ鑛業權者南洋群島内ニ住所ヲ有セザルトキハ南洋廳長官ハ期間ヲ指定シテ假住所ノ選定ヲ命ズルコトアルベシ

第四條　鑛業出願人ハ願書ニ鑛業出願區域圖、位置圖、收支豫算書、出願者ノ經歷竝資産ヲ證明スベキ書類（會社又ハ其ノ他ノ法人ナルトキハ定款若ハ規約）、採掘セントスル鑛床ノ說明書及鑛物標品ヲ添附スベシ

前項ニ定ムルモノノ外南洋廳長官ニ於テ必要ト認ムル書面又ハ圖面ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

鑛業ノ出願區域ハ直線ヲ以テ成ルベク方形ニ近キ形狀ニ區劃スベシ

第五條　南洋群島鑛業令第二條ノ規定ニ依ル事業計畫書ニハ之ヲ說明スベキ圖面ヲ添附スベシ

南洋廳長官ハ理由ヲ示シテ前項ノ事業計畫書ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第六條　鑛業出願人他人ノ鑛區ニ隣接シテ鑛業ノ出願區域ヲ定メントスルトキハ中間ニ二十メートル以上ノ距離ヲ置クベシ但シ隣接鑛業權者ノ承諾ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ願書ニ承諾書ヲ添附スベシ

第七條　書面又ハ圖面不完備ナルトキハ南洋廳長官ハ期限ヲ附シテ之ヲ修正又ハ補充セシムルコトアルベシ

第八條　同一區域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サントスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ差出スベシ但シ同一鑛床中ニ存スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　鑛業出願人又ハ鑛業權者ハ出願區域若ハ鑛區ノ增減ヲ出願スルコトヲ得

前項ノ增減ノ願書ニハ新舊出願區域又ハ鑛區ノ關係ヲ明ニシタル圖面及理由書ヲ添附スベシ

第十條　鑛業權者ハ鑛區ノ合併、分割又ハ鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併スルコトヲ出願スルコトヲ得

前項ノ合併又ハ分割ノ願書ニハ合併又ハ分割スベキ區域ノ關係ヲ明ニシタル圖面及理由書ヲ添附スベシ鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併セントスルトキハ鑛業權者ハ願書ニ亦同ジ

第十一條　鑛業ノ許可ヲ得タル鑛物ノ名稱ヲ更正セントスルトキハ鑛業權者ハ願書ニ理由書ヲ添附シ差出スベシ

第十二條　鑛業權者事業計畫ヲ變更セントスルトキハ願書ニ新ナル事業計畫書及變更ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ添附シ南洋廳長官ノ認可ヲ受クベシ

第十三條　南洋廳長官鑛業ニ關シ許可、認可又ハ其ノ取消ヲ爲シタルトキハ南洋廳公報ニ之ヲ公告ス

第十四條　鑛區所在地ノ名稱、種目、境界、基點又ハ面積ガ鑛區圖ト相違スルコトヲ發見シタルトキハ南洋廳長官ハ期間ヲ指定シテ訂正ヲ命ズルコトアルベシ

第十五條　二人以上共同シテ鑛業ノ出願ヲ爲ス場合ニ於テハ内一人ヲ代表者ト爲シ南洋廳長官ニ届出ヅベシ但シ願書ニ代表者ヲ表示シテ之ニ代フルコトヲ得

前項ノ届出ナキトキハ南洋廳長官之ヲ指定ス

前二項ノ規定ハ鑛業出願人ノ變更又ハ鑛業權ノ移轉ニ由リ鑛業出願人又ハ鑛業權者ト爲ルベキ者二人以上ナル場合ニ之ヲ準用ス

共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者代表者ヲ變更シタルトキハ連署シテ十日以内ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

共同鑛業權者ハ組合規約ヲ爲シタルモノト看做ス

第十六條　共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者脫退シタルトキハ代表者若シ代表者ナキニ至リタルトキハ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ハ共ノ原因ヲ證スル書面ヲ添ヘ脫退ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ届出ヅベシ

第十七條　鑛業出願人ノ名義ハ之ヲ變更スルコトヲ得但シ南洋廳長官ノ認可ヲ受タルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

前項但書ニ依ル願書ニハ新舊出願人連署スベシ

第十八條　共同鑛業出願人代表者ニ依リテ出願人ノ名義變更ノ出願、鑛業出願ノ取下、鑛業出願區域ノ增減ノ出願又ハ共ノ取下ヲ爲ス場合ニ於テハ共ノ願書ニ共同鑛業出願人ノ決議書又ハ之ニ代ルベキ書面ヲ添附スベシ

前項ノ規定ニ依リ鑛業出願人ノ氏名、名稱若ハ住所ヲ變更シタル鑛業出願人又ハ鑛業權者ノ戸籍ノ事務ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ニ届出タルヨリ十日以内ニ其ノ事實ヲ證スベキ書面ヲ添ヘ之ヲ届出ヅベシ法人ノ代表者ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第二十條　南洋廳長官鑛業ニ關スル出願又ハ鑛區ニ付實地調査ヲ必要ト認ムルトキハ調査事項及調査期日ヲ指定シテ出願人又ハ鑛業權者ニ立會ヲ命ズルコトアルベシ

第二十一條　左ノ場合ニ於テハ願書、申請書又ハ届書ヲ受理セズ

一　出願ノ鑛物ガ南洋群島鑛業令第一條第二項ノ規定ニ該當セザルトキ

二　圖面ヲ添附スベキ願書ニ之ヲ添附セザルトキ

三　手數料ヲ納付セザルトキ

四　第六條ノ規定ニ違反シ承諾書ヲ添附セザルトキ

五　第十七條ノ規定ニ違反シ新舊出願人連署セザルトキ

六　第十八條ノ規定ニ違反シ決議書又ハ之ニ代ルベキ書面ヲ添附セザルトキ

第二十二條　左ノ場合ニ於テハ願書又ハ届出ヲ却下ス

一　願書ニ添附シタル圖面ガ實地ノ區域ト著シク相違スルトキ

二　第三條ノ命令ノ期間内ニ假住所ノ選定ヲ爲サザルトキ

三　第四條第二項ノ規定ニ依リ命ゼラレタル書面又ハ圖面ノ提出ヲ爲サザルトキ

四　第七條ノ規定ニ依ル命令ノ期限迄ニ修正又ハ補充ヲ爲サザルトキ

五　第二十條ノ規定ニ依リ指定シタル期日ニ立會ヲ爲サザルトキ

六　第二十條ノ規定ニ依ル場合ニ於テ出願人ガ出願區域ヲ明示スルコト能ハズ又ハ指定シタル調査事項ノ說明ヲ爲スコト能ハザルトキ

第二十三條　鑛業權者鑛業ニ著手シタルトキハ遲滯ナク鑛區所在地又ハ所轄支廳所在地ニ鑛業事務所ヲ定メ南洋廳長官ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第二十四條　鑛業權者ハ鑛區圖、事業計畫書、坑內實測圖、鑛業簿、鑛夫ノ雇傭勞役ニ關スル規程及鑛夫名簿ヲ鑛業事務所ニ備ヘ置クベシ

第二十五條　坑內實測圖ハ平面圖及截面圖ノ二種トシ每月末日ニ於ケル掘進ノ狀況ヲ測定シ翌月中ニ調製スベシ

南洋廳長官ハ何時ニテモ前項ノ圖面ノ複本ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第二十六條　鑛業簿ニハ鑛產物ノ數量、其ノ販賣高、販賣代價、行業日數及工數ヲ記載スベシ

鑛業權者ハ每年六月末日及十二月末日迄ノ間ニ於ケル鑛業簿ノ複本ヲ每期日經過後一月以內ニ南洋廳長官ニ提出スベシ

第二十七條　鑛業權者ハ每年一月末日迄ニ其ノ前年分ノ鑛業明細表ヲ南洋廳長官ニ差出スベシ

第二十八條　前二條ノ規定ニ依リ差出スベキ書類ハ鑛業權ノ消滅又ハ移轉ノ場合ニハ鑛業權ヲ有セシ者ニ於テ鑛業權ノ消滅ハ移轉ノ日ヨリ三十日以內ニ之ヲ差出スベシ

第二十九條　鑛業權者自ラ鑛業ヲ管理セザルトキハ鑛業代理人ヲ選任シ南洋廳長官ニ届出ヅベシ

前項ノ代理人ハ南洋群島鑛業令及本令ノ規定ニ依リテ鑛業ノ管理ニ關シ鑛業權者ノ爲スベキ一切ノ手續其ノ他ノ行爲ヲ委任セラレタルモノト看做ス但シ鑛業權者ハ其ノ代理權ヲ制限ヲ加ヘタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ届出ヅベシ

第三十條　鑛業權者鑛業ノ許可ノ日ヨリ一年以內ニ事業著手セズ又ハ六月以上休業セントスルトキハ其ノ期間ヲ附シ理由ヲ詳記シテ南洋廳長官ニ届出ヅベシ

休業期間內ニ事業ニ著手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ届出ヅベシ

第三十一條　鑛業上危險ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキハ南洋廳長官ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止ヲ命ズルコトアルベシ

急迫ノ危險ヲ防グ爲必要アルトキハ支廳長前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

鑛業權消滅シタル後ト雖一年間ハ南洋廳長官又ハ支廳長ハ前二項ノ規定ニ準ジ其ノ鑛業權ヲ有セシ者ニ對シテ危險豫防ニ關スル設備ヲ命ズルコトアルベシ

前項ノ命令ヲ受ケタル者ハ危險豫防ノ目的ノ範圍內ニ於テ之ヲ鑛業權者ト看做ス

第三十二條　鑛業上急迫ノ危險ヲ妨グ爲必要アルトキハ鑛業者ノ他人ノ土地ニ立入リ又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ直ニ其ノ旨ヲ土地占有者ニ通知シ且支廳長ニ届出ヅベシ

第三十三條　南洋廳長官ハ鑛業權者ニ對シ技術ニ關スル管理者ノ選任又ハ改任ヲ命ズルコトアルベシ

第三十四條　鑛業權者ハ鑛業ニ著手前鑛夫ノ雇傭及勞役ニ關スル規程ヲ定メ南洋廳長官ノ認可ヲ受クベシ

南洋廳長官必要ト認ムルトキハ前項ノ規程ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

鑛業權者第一項ノ規程ヲ變更セントスルトキハ南洋廳長官ノ認可ヲ受クベシ

第三十五條　鑛夫業務上負傷ヲ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ鑛業權者ハ鑛夫又ハ其ノ遺族ヲ扶助スベシ

第三十六條　鑛業地ニ於テ不時ノ變災アリタルトキハ鑛業權者ハ直ニ南洋廳長官ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

前項ノ場合ニ於テ死傷者又ハ遺族ニ對スル扶助ヲ完了シタルトキハ扶助ノ日數及金額ヲ記載シ其ノ完了ノ日ヨリ五日以內ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

第三十七條　南洋群島鑛業令第十條ノ規定ニ依ル願書ニハ土地ノ名稱、種目、面積、土地ノ關係人ノ氏名又ハ名稱、住所、使用若ハ收用ノ目的、時期及期間ヲ記載シ且關係地實測圖及工事設計書ヲ添附スベシ

第三十八條　南洋群島鑛業令第六條第二項又ハ第十五條ノ規定ニ依ル申請書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シ請求地ニ於ケル工事又ハ鑛床トノ關係圖竝土地ノ關係人ト交涉シタル始末書ヲ添附スベシ但シ交涉ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ理由書ヲ以テ始末書ニ代フル事ヲ得

一　申請人ノ氏名又ハ名稱及住所

二　土地ノ關係人ノ氏名又ハ名稱及住所

三　申請ノ目的及理由

南洋廳長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ申請書ノ寫ヲ土地ノ關係人ニ交付スベシ

土地ノ關係人ハ前項ノ申請書寫ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以內ニ答辯書ヲ差出スベシ

土地ノ關係人前項ノ期間內ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ南洋廳長官ハ申請書ノミニ依リテ裁決スルコトアルベシ申請書寫ノ交付ヲ爲スコト能ハザルトキ亦同ジ

裁決書ニハ理由ヲ附シテ南洋廳長官之ヲ申請人及土地ノ關係人ニ交付ス

第三十九條　南洋群島鑛業令第六條第二項又ハ第十五條ノ規定ニ依ル裁決ノ爲實地調査ノ必要アルトキハ申請者其ノ費用ヲ負擔スベシ

第四十條　鑛業權者南洋群島鑛業令第十四條ノ規定ニ依ル補償金ノ拂渡、供託ヲ爲サズ又ハ擔保ヲ供セザルトキハ土地ノ關係人ハ土地ノ使用ヲ拒ムコトヲ得

第四十一條　鑛業權者南洋群島鑛業令ノ規定ニ基キ他人ノ土地ニ關スル權利ヲ取得シタルトキ、使用ヲ始メタルトキ、使用ヲ終リタルトキ又ハ使用セザルニ至リタルトキハ直ニ所轄支廳長ニ届出ヅベシ

前項ノ届書ニハ土地ノ名稱、種目、面積、土地ノ關係人ノ氏名又ハ名稱、住所、使用ノ目的、時期、期間及補償金竝擔保ヲ記載スベシ

第四十二條　土地ノ使用ヲ終リタルトキハ鑛業權者ハ土地ヲ原狀ニ復シ又ハ原狀ニ復セザルニ因リテ生ズル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ之ヲ返還スベシ

第四十三條　南洋群島鑛業令第十三條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入リ測量又ハ調査ヲ爲サントスル者ハ願書ニ立入ベキ土地ノ區域、名稱、種目、期間及其ノ目的ヲ記載スベシ

前項ノ許可ヲ受ケタル者他人ノ土地ニ立入リ測量又ハ調査ヲ爲サントスルトキハ豫メ占有者ニ立入ベキ日時及場所ヲ通知スベシ

他人ノ土地ニ立入リ測量又ハ調査ヲ爲ス場合ニ於テハ支廳長ヨリ受ケタル許可書ヲ携帶スベシ

前項ニ規定スル行爲ニ因リ土地ノ關係人ニ及ボシタル損失ハ鑛業出願人又ハ鑛業權者之ヲ補償スベシ

補償ニ付協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ支廳長之ヲ裁決ス

前項ノ場合ニ於テハ第三十八條乃至第四十條ノ規定ヲ準用ス

第四十四條　支廳長南洋群島鑛業令第十三條ノ規定ニ依ル許可ヲ爲シタルトキハ直ニ關係書類ノ寫ヲ添ヘ之ヲ南洋廳長官ニ報告スベシ

第四十五條　鑛產稅ハ每年三月中ニ前年分ヲ納付スベシ但シ鑛業權消滅ノ場合ニ於テハ卽納スベシ

鑛區稅ハ每年十二月中ニ翌年分ヲ前納スベシ

鑛業ノ許可アリタル年ニ係ル鑛區稅及鑛區ノ增加ニ依リ新ニ賦課スル鑛區稅ニシテ增加アリタル年ニ係ルモノハ之ヲ卽納スベシ

前項ニ依リ納付スベキ鑛區稅ハ月割ヲ以テ之ヲ計算ス既納ノ鑛區稅ハ之ヲ還付セズ

第四十六條　鑛業ニ關スル出願、申請又ハ届出ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スベシ

一　鑛業ノ出願

每百五十ヘクタール迄　金三十圓

二　鑛業出願區域ノ變更願

增區又ハ增減區

增區每百五十ヘクタール迄　金十五圓

減區　每一件　金五圓

三　鑛區ノ變更願

增區又ハ增減區

增區每百五十ヘクタール迄　金二十五圓

減區　每一件　金五圓

合併又ハ分割

每一件　金十圓

鑛區ノ一部ヲ分割シテ之ヲ他ノ鑛區ニ合併

每一件　金十五圓

四　鑛業出願人ノ名義變更願

每一件　金十圓

五　鑛業權ノ相續屆

每一件　金十圓

六　鑛業權ノ一般承繼及讓渡願

每一件　金三十圓

七　共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ノ脫退屆

每一件　金五圓

八　南洋群島鑛業令第十三條ノ規定ニ依ル測量及調查願

每一件　金十圓

九　南洋群島鑛業令第十條ノ規定ニ依ル使用又ハ收用願

每一件　金十圓

十　裁決申請

每一件　金十圓

十一　鑛業許可指令書ノ謄本又ハ抄本交付ノ申請

用紙每一枚　金一圓

十二　鑛區圖謄本交付ノ申請

鑛區每三十ヘクタール　金三圓

十三　關係紙數又ハ面積ニ依リ手數料額ヲ定ムル場合ニ於テハ一枚又ハ三十ヘクタールニ滿タザルモノハ一枚又ハ三十ヘクタールト看做ス

前項ノ手數料ハ現金(郵便爲替ヲ含ム)ヲ以テ納付スベシ

第四十七條　鑛業權ヲ有セズシテ鑛物ヲ採掘シタル者又ハ詐僞ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

過失ニ因リ鑛區外ニ侵掘シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ場合ニ於テ採掘シタル鑛物ハ之ヲ沒收ス既ニ之ヲ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第四十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　南洋群島鑛業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

南洋群島鑛業令第二十四條第二項ノ規定ニ依ル鑛產稅ノ率ハ千分ノ五トス

（樣式省略）

附　則

本令ハ南洋群島鑛業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十二條　鑛業權者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキト雖自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第五十三條　本令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十四條　本令ハ第四十五條乃至前條ノ規定ヲ除クノ外國ノ鑛業ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ南洋群島鑛業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

限ニ屬セザル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

告示

◉農林省告示第三百二十八號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

昭和十二年十月七日

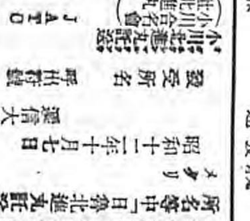
農林大臣　伯爵　有馬　頼寧

記

字	地番	面積	所有者
岡崎縣糸島郡今津村		町段歩	
長　旗	四、七七	一八、四七〇三ノ内	國
同宗像郡津屋崎町大字津屋崎		八、二九〇〇ノ内	
新濱山	六九〇	一、三六一	國

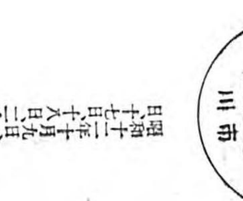
12．10．11
松若丸

12．10．10
千米


12．10．10
井坪本熊

12．10．10
島

12．10．9
川市


12．10．9
舘調上

◉遞信省告示第三千七十九號

左記私設無線電話八本日限リ廢止ノ旨届出アリタリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名
	機器裝置場所

昭和八年九月遞信省告示第千九百七十四號

◉遞信省告示第三千八十號

左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名
	機器裝置場所

昭和十年八月遞信省告示第二千十六號

◉遞信省告示第三千八十一號

昭和十二年九月二十一日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第十六長運丸託送」及「第十三長運丸託送」ノ項ヲ左ノ通改メタリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第十六長運丸託送（日東漁業株式會社第十六長運丸）	JCJI	各逓信局及各船舶局 和文電報
第十三長運丸託送（同第十三長運丸）	JBYI	同　同

◉遞信省告示第三千八十二號

昭和十二年九月二十八日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第二東丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第八利丸託送（大洋捕鯨株式會社第八利丸）	JPMJ	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千八十三號

昭和十二年九月二十八日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第八利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第九利丸託送（大洋捕鯨株式會社第九利丸）	JPNJ	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千八十四號

左記私設無線電信機器裝置船舶ノ定盤港ヲ下記ノ通變更ノ旨届出アリタリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名
	機器裝置場所

昭和二年四月遞信省告示第九百十二號

◉遞信省告示第三千八十五號

昭和十二年十月五日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
伏見丸無線電信取扱所	内外汽船株式會社所屬汽船伏見丸 神戸 定盤港 電報取扱種別 無線電報

◉遞信省告示第三千八十六號

昭和十二年十月五日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「プロメチュース」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
伏見丸託送	JTTL	伏見丸 無線電報

◉遞信省告示第三千八十七號

昭和十一年四月遞信省告示第八百六十號郵便ニ依リ滿洲國關東州租借地外ノ關東局管內ヲ含ム ニ輸入スルコトヲ得ザル物品ノ表中「計量器（計數器、浮秤、温度計及電氣）（名稱主管部（實業部又ハ農政部）大計器）（臣ノ許可ヲ得テ輸入スルモノヲ除ク）」ノ下ニ「、藥品ノ附著セル燐寸「ケース」（名稱國政府ノ許可ヲ得）」ヲ加フ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千八十八號

昭和十年三遞信省告示第五百一號西田亮一施設私設無線電信無線電話ノ機器裝置場所左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

機器裝置場所	奮松市鹽江町一八〇番地

◉遞信省告示第三千八十九號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
鵜倉郵便局	宮城縣栗原郡鶯澤村

◉遞信省告示第三千九十號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ呼出事務ヲ取扱ハズ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
松江幡前郵便局	松江市朝日町
松江雑賀郵便局	同雑賀町

◉遞信省告示第三千九十一號

昭和十二年十月一日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第九利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第八利丸託送（大洋捕鯨株式會社第八利丸）	JPMJ	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千八十二號

昭和十二年九月二十八日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第八利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第八利丸託送（大洋捕鯨株式會社第八利丸）	JPMJ	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千八十三號

昭和十二年九月二十八日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第八利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第八利丸託送（大洋捕鯨株式會社第八利丸）	JPMJ	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千八十四號

左記私設無線電信機器裝置船舶ノ定盤港ヲ下記ノ通變更ノ旨届出アリタリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名
	機器裝置場所

昭和二年四月遞信省告示第九百十二號

◉遞信省告示第三千八十五號

昭和十二年十月五日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	電報取扱種別
伏見丸無線電信取扱所	内外汽船株式會社所屬汽船伏見丸 神戸 定盤港	無線電報

◉遞信省告示第三千八十六號

昭和十二年十月五日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「プロメチュース」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
伏見丸託送	JTTL	伏見丸 無線電報

◉遞信省告示第三千八十七號

昭和十一年四月遞信省告示第八百六十號郵便ニ依リ滿洲國關東州租借地外ノ關東局管內ヲ含ム ニ輸入スルコトヲ得ザル物品ノ表中「計量器（計數器、浮秤、温度計及電氣）（名稱主管部（實業部又ハ農政部）大計器）（臣ノ許可ヲ得テ輸入スルモノヲ除ク）」ノ下ニ「、藥品ノ附著セル燐寸「ケース」（名稱國政府ノ許可ヲ得）」ヲ加フ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千八十八號

昭和十年三遞信省告示第五百一號西田亮一施設私設無線電信無線電話ノ機器裝置場所左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

機器裝置場所	奮松市鹽江町一八〇番地

◉遞信省告示第三千八十九號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	
鵜倉郵便局	宮城縣栗原郡鶯澤村	

◉遞信省告示第三千九十號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ呼出事務ヲ取扱ハズ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	
松江幡前郵便局	松江市朝日町	
松江雑賀郵便局	同雑賀町	

◉遞信省告示第三千九十一號

昭和十二年十月一日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第九利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第九利丸託送（大洋捕鯨株式會社第九利丸）	JPNJ	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千八十四號

左記私設無線電信機器裝置船舶ノ定盤港ヲ下記ノ通變更ノ旨届出アリタリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名
	機器裝置場所

昭和二年四月遞信省告示第九百十二號

◉遞信省告示第三千八十五號

昭和十二年十月五日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	電報取扱種別
伏見丸無線電信取扱所	内外汽船株式會社所屬汽船伏見丸 神戸 定盤港	無線電報

◉遞信省告示第三千八十六號

昭和十二年十月五日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「プロメチュース」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
伏見丸託送	JTTL	伏見丸 無線電報

◉遞信省告示第三千八十七號

昭和十一年四月遞信省告示第八百六十號郵便ニ依リ滿洲國關東州租借地外ノ關東局管內ヲ含ム ニ輸入スルコトヲ得ザル物品ノ表中「計量器（計數器、浮秤、温度計及電氣）（名稱主管部（實業部又ハ農政部）大計器）（臣ノ許可ヲ得テ輸入スルモノヲ除ク）」ノ下ニ「、藥品ノ附著セル燐寸「ケース」（名稱國政府ノ許可ヲ得）」ヲ加フ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千八十八號

昭和十年三遞信省告示第五百一號西田亮一施設私設無線電信無線電話ノ機器裝置場所左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

機器裝置場所	奮松市鹽江町一八〇番地

◉遞信省告示第三千八十九號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	
鵜倉郵便局	宮城縣栗原郡鶯澤村	

◉遞信省告示第三千九十號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ呼出事務ヲ取扱ハズ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	
松江幡前郵便局	松江市朝日町	
松江雑賀郵便局	同雑賀町	

◉遞信省告示第三千九十一號

昭和十二年十月一日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第九利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第九利丸託送（大洋捕鯨株式會社第九利丸）	JPNJ	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千九十二號

左記私設無線電信機器裝置船舶ノ定盤港ヲ下記ノ通變更ノ旨届出アリタリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名
	機器裝置場所

昭和二年四月遞信省告示第九百十二號

◉遞信省告示第三千九十三號

昭和十二年九月三十日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「たか丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第三榮海丸託送（北海道水産試驗場長第三榮海丸）	JZKB	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千九十二號

左記私設無線電信ハ昭和十二年九月三十日限リ廢止ノ旨届出アリタリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所
昭和九年十二遞信省告示第千二百八十六號	株式會社朝日新聞社	飛行機たか

◉遞信省告示第三千九十三號

昭和十二年九月三十日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「たか託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千九十四號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ設置ス

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
北海道天鹽國天鹽郡遠別村字ウエンベツ區畫地番線十九號（遠別局集配區内）	遠別郵便取扱所

◉遞信省告示第三千九十五號

左記私設無線電信機器裝置船舶名ヲ下記ノ通變更ノ旨届出アリタリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	舊船名 新船名
昭和五年六遞信省告示第千六百十三號	汽船第百二十日之出丸	汽船第百二十日之出丸

◉遞信省告示第三千九十六號

昭和十二年八月二十一日ヨリ左記電信取扱所（閉鎖中）ノ名稱及位置ヲ下記ノ通變更セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

舊名稱	舊位置	新名稱 新位置
第百國際丸無線電信取扱所	日之出漁業株式會社所屬汽船第百國際丸	日之出漁業株式會社所屬汽船第二十日之出丸

◉遞信省告示第三千九十七號

昭和十二年八月二十日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第百國際丸」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千九十八號

昭和十二年八月二十一日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第二東洋丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第二十日之出丸	JFRC	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉遞信省告示第三千九十九號

昭和十二年八月二十日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第百國際丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千百號

昭和十二年八月二十一日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第七利丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和十二年十月七日

遞信大臣　永井柳太郎

◉南洋廳告示第十五號

東カロリン群島トラック諸島北東水道燈標ノ位置構造等左ノ如シ

昭和十二年六月十日

南洋廳長官　北島謙次郎

一、北東水道燈標

位置	トラック諸島北東水道
北緯	七度三十分
東經	百五十一度五十八分四十五秒
構造	白色圓形鐵筋混凝土造
等級及燈質	明暗白光明三秒暗三秒 アセチレン瓦斯燈
明弧	全度
燈高	平均水面上一〇、五米
燭光數	百六十
光達距離	晴天ノ夜一〇、五浬
記事	昭和十二年七月一日點燈開始本燈標ハ看守員ヲ常置セズ

◉南洋廳告示第十六號

無線電信法第二條ニ依リ昭和十二年五月十四日ヨリ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ

昭和十二年六月十七日

南洋廳長官　北島謙次郎

施設者名	深尾隆太郎
無線電信法第二條第一號乃至第三號ニ依リ航行ノ安全、旅客運輸業務及電報送受ニ使用	
機器裝置場所	汽船南拓丸（定盤港パラオ）
呼出符號	JTWE
空中線電力	五〇〇「ワット」
使用電波ノ型式及周波數	A1 六二一〇 八二八〇 一一〇四〇及一二四二〇kc A2 三七五 四一〇 四二五 五〇〇及一三六四kc

七、通信執務時間　不定

◉南洋廳告示第十七號

昭和十二年五月二十三日ヨリ昭和八年南洋廳告示第十八號無線局及託送發受所名等中「カロリン丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

發受所名	呼出符號	對手電信官署ノ種別
第二十日之出丸託送（日之出漁業株式會社第二十日之出丸）	JFRC	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉南洋廳告示第十三號

東カロリン群島トラック諸島桃島南方一、〇〇〇米礁掛燈浮標ノ位置構造等左ノ如シ

昭和十二年六月十日

南洋廳長官　北島謙次郎

一、桃島南方一、〇〇〇米礁掛燈浮標

位置	トラック諸島桃島南方一、〇〇〇米礁
北緯	七度二十四分三十秒
東經	百五十一度五十六分十五秒
構造	紅色圓筒形上部櫓形鐵造
等級及燈質	閃白光毎三秒ニ一閃光ヲ發スアセチレン瓦斯燈
明弧	全度
燈高	平均水面上四、二米
燭光數	二百二十
光達距離	晴天ノ夜八浬
記事	昭和十二年七月一日點燈開始

◉南洋廳告示第十四號

東カロリン群島トラック諸島春島東方小米ノ礁燈標ノ位置構造等左ノ如シ

昭和十二年六月十日

南洋廳長官　北島謙次郎

一、小米ノ礁燈標

位置	トラック諸島春島東方小米ノ礁
北緯	七度二十七分十五秒
東經	百五十一度五十六分三十秒
構造	白色圓形鐵筋混凝土造
等級及燈質	閃白光毎三秒一閃光アセチレン瓦斯燈
明弧	全度
燈高	平均水面上六、八米
燭光數	百六十
光達距離	晴天ノ夜九浬
記事	昭和十二年七月一日點燈開始本燈標ハ看守員ヲ常置セズ

◉南洋廳告示第十號

昭和十二年六月十七日

南洋廳長官　北島謙次郎

發受所名　呼出符號　對手電信官署ノ種別

第二十日之出丸託送（日之出漁業株式會社第二十日之出丸）	JFRC	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉南洋廳告示第十一號

東カロリン群島トラック諸島桃島南方一、〇〇〇米礁掛燈浮標ノ位置構造等左ノ如シ

昭和十二年六月十日

南洋廳長官　北島謙次郎

一、桃島南方一、〇〇〇米礁掛燈浮標

位置	トラック諸島桃島南方一、〇〇〇米礁
北緯	七度二十四分三十秒
東經	百五十一度五十六分十五秒
構造	紅色圓筒形上部櫓形鐵造
等級及燈質	閃白光毎三秒ニ一閃光ヲ發スアセチレン瓦斯燈
明弧	全度
燈高	平均水面上四、二米
燭光數	二百二十
光達距離	晴天ノ夜八浬
記事	昭和十二年七月一日點燈開始

◉南洋廳告示第十二號

昭和十二年六月十七日

南洋廳長官　北島謙次郎

發受所名　呼出符號　對手電信官署ノ種別

南拓丸託送（深尾隆太郎南拓丸）	JTWE	各逓信局及各船舶局 和文電報

◉南洋廳告示第十三號

南洋廳水産試驗場ノ位置左ノ通定ム

昭和十二年七月九日

南洋廳長官　北島謙次郎

西カロリン群島パラオ諸島コロール島

正誤

去月二十八日官報律令第十六號臺灣廳制第十七條五行「諸問ヲ經ズ」ハ「諮問ヲ經ズ」昨六日鐵道省告示第三百七十四號初行「贋山縣」ハ「贋山線」ノ誤モ誤植

敍任及辭令

◉昭和十二年十月五日

（各逓）

從七位勳七等	末光　高義	同	楠田　修

敍正七位

◉昭和十二年十月六日

内務事務官正七位	宇佐美　毅		

兼任造神宮主事

敍高等官五等

陸軍歩兵少尉正八位	副島　勇次		

任陸軍軍醫少尉

陸軍法務官從六位	鈴木權太郎		

兼任陸軍司法事務官

敍高等官五等

教學局敎學官補	富田　嘉郎		

任名古屋高等工業學校敎授

敍高等官七等

鐵道局關參事兼遞信局事務官兼國際觀光局事務官	津田　弘孝		

任鐵道省事務官兼國際觀光局事務官

敍高等官六等

任拓務省通譯官
敍高等官七等　拓務省通譯生勳七等　荒　基
(各通)
任朝鮮總督府技師
敍高等官六等　津田　秀郎
正七位　中村慶三郎
(各通)
任朝鮮總督府技師　朝鮮總督府技手　山口　定
同　金　聖浩
同　斜森　乾三
敍高等官七等
任朝鮮總督府鐵道局副參事　朝鮮總督府鐵道局書記勳八等　加來　祐一
敍高等官七等
任朝鮮總督府道理事官　朝鮮總督府慶尙南道郡屬從七位勳八等　李　錫華
敍高等官八等
任朝鮮總督府道技師　從六位　金子　悌二
敍高等官四等
任朝鮮公立實業學校教諭　朝鮮總督府師範學校教諭　久保庭藤三樹
敍高等官七等
任關東局警視　關東局警部兼對滿事務局屬勳七等　沖田金三郎
敍高等官七等
任關東局警視兼外務省警視　關東局警部兼外務省警部勳八等　中島　菊平
敍高等官七等
(各通)
長崎縣道路技手兼長崎縣土木技手　村上　正
廣島縣土木技手兼廣島縣道路技手　岸　耕次郎
土木技師兼道路技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル

埼玉縣社會事業主事補　綿貫　正次
社會事業主事ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
鹿兒島縣社會事業主事補　中野不二男
社會事業主事ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
群馬縣女子師範學校教諭　五味　禮夫
師範學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
北海道廳立釧路中學校教諭兼北海道廳立釧路中學校舍監　高橋　類治
北海道廳立旭川中學校教諭　四戶　品三
同　朝比奈　進
(各通)
岡山縣第二岡山中學校教諭　岩崎　源一
廣島縣立廣島第一中學校教諭兼廣島縣立廣島第一中學校舍監　宗岡　卓爾
廣島縣立廣島第一中學校教諭　金子　彪
佐賀縣立武雄中學校教諭陸軍步兵少尉正八位　溝口　肇
公立中學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
(各通)
公立中學校教諭　高橋　類治
同　宗岡　卓爾
公立中學校舍監ニ兼任ス
岡山縣倉敷高等女學校教諭　小西　義治
岡山縣第一岡山高等女學校教諭　小寺　三郎
佐賀縣立小城高等女學校教諭　宮田　虎雄
佐賀縣立伊萬里高等女學校教諭陸軍步兵軍曹　笠間　玄一
(各通)
公立高等女學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
岡山縣農林主事補　岩本與三吉
地方農林主事ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
千葉縣農林技手　長谷川三郎
地方農林技師ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル

資源局事務官　植村甲午郎
陞敍高等官一等

大阪府書記官　長谷川　透
內閣情報部情報官被仰付
內務書記官兼造神宮主事　中村　四郎
陸軍法務官兼陸軍司法事務官　岡田　掬一
同　小川　利明
(各通)
免兼官
陸軍中將　後宮　淳
敎恤審查會審查員被免
朝鮮總督府遞信事務官　小川　要次
遞信省事務官被仰付
同　岩男　省三
遞信省事務官被免
休職鐵道局副參事　兒玉　新三
依願免本官
朝鮮公立高等女學校教諭　小澤　重雄
陞敍高等官四等
朝鮮總督府遞信技師　舟串　千之
(各通)
關東局警視　末光　高義
依願免本官
關東局警視兼外務省警視　楠田　修
依願免本官竝兼官
南洋廳醫院醫長兼南洋廳技師　井關　鼎
南洋廳醫院醫官　岡谷　昇
(各通)
陞敍高等官五等
土木技師兼道路技師　相澤　包助
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル
公立大學助教授　小島不二雄
公立中學校教諭　柴田　親雄
同　中村慶三郎
(各通)
地方商工主事　白水　憲一
朝鮮產業技師　金子　悌二
願ニ依リ本職ヲ免ス
ミンタル日本人尋常小學校長　川上　武雄
高等官八等ヲ以テ待遇セラル(以上十月六日內閣)
哈爾賓日本中學校教諭　桝原　精三
七級俸當分千五百圓下賜(十月八日在哈爾賓帝國總領事館)

地方技師　高島　禎一
愛知縣勤務ヲ命ス(十月二日內務省)
司法書記官　清原　邦一
統計主任ヲ命ス(十月二日司法省)
公立實業學校教諭　山崎　賢一
滿洲國ヘ出張ヲ命ス(十月二日文部省)
青年學校教員養成所教諭　高岡　好廉
滿洲國ヘノ出張ヲ免ス(十月三日同)
濱松高等工業學校教授　西岡新太郎
五級俸下賜
名古屋高等商業學校教授　田中藤一郎
六級俸下賜
公立實業學校長　藤田　正信
滿洲國ヘ出張ヲ命ス(以上十月四日同)
名古屋高等工業學校教授　富田　嘉郎
十級俸下賜
師範學校教諭　五味　禮夫
群馬縣女子師範學校教諭ニ補ス
公立中學校教諭兼公立中學校舍監　高橋　類治
北海道廳立釧路中學校教諭兼北海道廳立釧路中學校舍監ニ補ス
公立中學校教諭　四戶　品三
同　朝比奈　進
(各通)
北海道廳立旭川中學校教諭ニ補ス
同　岩崎　源一
岡山縣第二岡山中學校教諭ニ補ス
公立中學校教諭兼公立中學校舍監　宗岡　卓爾
廣島縣立廣島第一中學校教諭兼廣島縣立廣島第一中學校舍監ニ補ス
公立中學校教諭　金子　彪
廣島縣立廣島第一中學校教諭ニ補ス
同　溝口　肇
佐賀縣立武雄中學校教諭ニ補ス
公立高等女學校教諭　小西　義治
岡山縣倉敷高等女學校教諭ニ補ス
同　小寺　三郎
岡山縣第一岡山高等女學校教諭ニ補ス

同　宮田　虎雄
佐賀縣立小城高等女學校教諭ニ補ス
同　笠間　玄一
佐賀縣立伊萬里高等女學校教諭ニ補ス(以上十月六日同)
地方農林技師　石田　幸三
第二回奈良縣種鷄共進會審查長ノ囑託ヲ解ク(十月四日農林省)
北海道廳技師　中西　道彥
第六回北海道緬羊共進會審查長ヲ囑託ス
同　佐藤　退三
第十二回釧路役馬共進會審查長ヲ囑託ス
地方農林主事　岩本與三吉
岡山縣農林主事ニ補ス
地方農林技師　長谷川三郎
德島縣農林技師ニ補ス(以上十月六日同)
鐵道省事務官　津田　弘孝
五級俸下賜
大臣官房文書課勤務ヲ命ス
國際觀光局事務官　津田　弘孝
國際觀光局事業課勤務ヲ命ス
鐵道局副參事　島村　義信
新潟鐵道局運輸部旅客課長兼務ヲ命ス(以上十月六日鐵道省)
拓務省通譯官　荒　基
八級俸下賜
拓務局勤務ヲ命ス(十月六日拓務省)
臺北帝國大學教授　細谷　省吾
細菌學講座擔任ヲ免シ細菌學講座分擔ヲ命ス
臺北帝國大學助教授　武田　德晴
細菌學講座分擔ヲ命ス
講座職務俸七百四十圓下賜
講座職務俸二百五十圓下賜
臺灣總督府師範學校教諭　田中　源次
補臺南師範學校舍監(以上十月六日臺灣總督府)
師範學校舍監　小野　義吉
加俸年額四拾八圓下賜

公立高等女學校教諭　堀部　健一
六級俸當分千七百五拾圓下賜(以上十月二日新潟縣)
公立高等女學校教諭　高井　健一
年功加俸年額金百五拾六圓下賜(八月十七日愛知縣)
公立實業學校教諭　石田　滿
年功加俸年額金貳百四圓下賜
同　寺部　勝治
年功加俸年額金百五拾六圓下賜(以上九月十一日同)
公立中學校教諭　江口　彰次
年功加俸年額金百四拾四圓下賜(八月十二日同)
地方農林主事　小暮　國次
十一級俸下賜(九月三日滋賀縣)
公立高等女學校教諭　金子　祐三
年功加俸年額九拾六圓下賜(八月十日長野縣)
公立實業學校教諭　川上莊五郎
年功加俸年額百四拾四圓下賜(八月十三日同)
公立實業學校長　小川　省吾
年功加俸年額百九拾貳圓下賜(八月十二日同)
公立中學校教諭　中澤　謙司
年功加俸年額百九拾貳圓下賜(九月二日同)
公立高等女學校教諭　一志　一朗
年功加俸年額百九拾貳圓下賜(八月十日同)
地方商工技師　三井　毅
十級俸下賜(八月十日同)
衛生技師　岩崎　義夫
十一級俸下賜(九月二日同)
地方商工主事兼地方農林主事　吉松　正彥
五級俸下賜(九月三日山形縣)
公立中學校教諭　渡邊　正雄
年功加俸年額金貳百五拾貳圓下賜(八月十一日大分縣)
公立高等女學校教諭　松本ヤヨヒ
年功加俸年額金百六拾八圓下賜(九月二日同)
公立中學校教諭　岡崎　隆
年功加俸年額金百四拾四圓下賜(八月十日同)

同　金田　美年
七級俸當分千六百圓下賜(十月二日同)
公立實業學校長　和田　重義
年功加俸年額金貳百五拾貳圓下賜(十月二日同)
公立中學校教諭　中妻　新作
年功加俸年額金百貳拾圓下賜(九月十二日同)
公立高等女學校教諭　勢川修次郎
年功加俸年額金百四拾四圓下賜(九月十二日同)

宮廷錄事

◉勅使皇后宮使竝皇太后宮使　多嘉王殿下薨去ニ付昨六日午前十時勅使トシテ侍從伯爵甘露寺受長ヲ京都久邇宮別邸ヘ差遣サレ幣帛、神饌、榊ヲ賜ヒ同十時十五分皇后宮使トシテ皇后宮事務官入江相政ヲ同十時三十分皇太后宮使トシテ皇太后宮事務官清閑寺良貞ヲ差遣サレ各幣帛、榊ヲ賜ハリタリ

／正誤

一昨五日本欄故多嘉王御喪儀當日參列諸員心得ノ項中一三九頁一段十五行「通常」ハ「通常服」ノ誤植

彙報

○官廳事項

◉官吏改名　關東中學校長江幡龜壽ハ今般弘道ト改名セリ

○監獄

◉在刑務所人員　昭和十二年八月中入出所竝ニ月末在所人員左ノ如シ(八月分)(司法省)

	越員	入所	出所	現員	前月末日現在	前年同月末日現在	増減 前月比較	増減 前年比較
受刑者	五〇、三七四	三、七一三	四、六五〇	四九、四三七	五〇、三七四	五一、七七六	△九三七	△二、三三九
被疑者	一五三	一、〇四四	一、〇五一	一四六	一五三	一九八	△七	△五二
刑事被告人	三、五二六	二、九三四	二、四三一	四、〇二九	三、五二六	五、一一〇	五〇三	△一、〇八一
勞役場留置者	四九七	五五〇	六二一	四二六	四九七	六〇四	△七一	△一七八
乳兒	一〇	—	三	七	一〇	七	△三	〇
總計 男	五三、六六四	八、〇六〇	八、五四七	五三、一七七	五三、六六四	五六、七一八	△四八七	△三、五四一
總計 女	八九六	一八一	二〇九	八六八	八九六	九七七	△二八	△一〇九
總計 計	五四、五六〇	八、二四一	八、七五六	五四、〇四五	五四、五六〇	五七、六九五	△五一五	△三、六五〇

◉退官　朝鮮黃海道公立普通學校長(奏任待遇)朝鮮公立普通學校訓導大久保知壽ハ去月十六日願ニ依リ本官ヲ免セラレタリ

◉退職　新潟縣見附高等女學校ハ本年三月三十一日限廢校ニ付公立實業學校長兼公立高等女學校長堀良唯一ノ兼職ハ同日限自然退職ト爲レリ

◉勳等功級及從軍記章等褫奪　勳章褫奪令第二條第一項第一號及第六條ニ依リ勳等功級及明治三十七八年從軍記章、戰捷記章、第一回國勢調查記念章ヲ褫奪セラレタル者左ノ如シ

氏名ノ下ニ在ル數字ハ褫奪ノ年月日ナリ

勳七等功七級及明治三十七八年從軍記章第一回國勢調查記念章　高木　兼治(昭和一二、九、二〇)

勳八等及大正三年乃至九年戰役從軍記章戰捷記章　友原秀太郎(同)

勳八等及明治三十七八年從軍記章　大石　德吉(同)

◉官吏死去　退役海軍機關特務中尉正七位勳五等功七級森仲之進ハ本年八月三十日、朝鮮總督府遞信技師正七位勳八等小森總左ヱ門ハ去月十三日、豫備役海軍特務少尉從七位勳六等猿渡壽一郎ハ同十四日孰モ死去セリ

○司法

◉公證人辭任　長野地方裁判所所屬公證人武藤彬太ハ一昨五日願ニ依リ公證人ヲ免セラレタリ(司法省)

◉公證人任命　浦和地方裁判所所屬公證人央忠雄ハ一昨五日長野地方裁判所所屬及元公證人武藤彬太ノ後任ヲ命セラレタリ(司法省)

本表外國人ヲ國籍ニ依リ區別スレハ左ノ如シ

國名		受刑者	被疑者	刑事被告人	勞役場留置者	計
中華民國	男	三九	—	一	一	四一
	女	一	—	—	—	一
滿洲國	男	一	—	—	—	一
北米合衆國	〃	一	—	—	—	一
露西亞	〃	一	—	一	—	二
總計	男	四二	—	二	一	四五
	女	一	—	—	—	一

○褒賞

◉褒狀下賜　公益ノタメ私財ヲ寄附セシ廉ヲ以テ昭和十二年十月五日褒狀ヲ下賜セラレタル者左ノ如シ(賞勳局)

(各通)　淸州金融組合　忠北無盡株式會社

昭和十二年三月朝鮮忠淸北道廳舍新築費金二千圓寄附ス仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ表彰セラル

(各通)　大田電氣株式會社　株式會社朝鮮殖產銀行　南北棉業株式會社

昭和十二年三月朝鮮忠淸北道廳舍新築費金五千圓寄附ス(以下前同文)

朝鮮麯子株式會社

昭和十二年三月朝鮮忠淸北道廳舍新築費金三千圓寄附ス(以下前同文)

中鮮運送株式會社

昭和十二年三月朝鮮忠淸北道廳舍新築費金一千二百圓寄附ス(以下前同文)

(各通)　株式會社朝鮮商業銀行　東洋拓殖株式會社　朝鮮物產株式會社　朝鮮運送株式會社　朝鮮金融組合聯合會

昭和十二年三月朝鮮忠淸北道廳舍新築費金一千圓寄附ス(以下前同文)

○陸海軍

◉後備役編入　豫備役海軍機關特務大尉岳藤淸作ハ去月十日、同整備特務中尉福永忠夫ハ同十二日、同海軍特務中尉佐々田町治ハ同十五日孰モ後備役ト爲レリ(海軍省)

◉退役編入　後備役海軍特務中尉平山與市ハ去月十五日、同肥後靜治ハ同二十八日、同機關特務大尉眞崎又吉ハ同三十日孰モ退役ト爲レリ(海軍省)

◉候補者退隊　鐵道第二聯隊下士官候補者隊下士官候補者左記五十八人修學終了ニ付本月一日退隊セリ×印ハ成績優等ニ付教育總監賞ヲ授與セラレタリ(陸軍省)

陸軍工兵上等兵	市村　正男	同	池本　忠繁
同	石川　米男	同	石原　海藏
同	今澤　東輝	同	萩原　健二郎
同	×馬場　平八郎	同	原　忠光
同	橋本　順平	同	西野　孝
同	星野　岩平	同	星　康平
同	沼尻　勸吾	同	大宮　邦夫
同	岡田　勳	同	岡田　隆一
同	勝又　元惠	同	川中　又二
同	勝野　英三	同	横須賀　錄郎
同	吉田　忠志	同	吉田　友則
同	吉村　正幸	同	高橋　吉郎
同	竹本　廣三郎	同	高谷　清一郎
同	他谷　岩佐	同	十河　浩
同	角田　位	同	辻本　善四郎
同	長澤　榮一	同	村井　行雄
同	内村　典次	同	桑澤　則次
同	八木　八郎	同	山田　竹雄
同	山口　勝司	同	山口　良雄
同	松岡　次夫	同	源生　賢道
同	小林　廣之	同	新井　三三雄
同	齊藤　光臣	同	齊藤　敏明
同	坂元　守義	同	澤井　辰次
同	木村　忠信	同	菊田　秀二
同	三上　正	同	水上　竹男
同	水田　勇雄	同	志村　觀一郎
同	白子　義一	同	下田　嘉治雄
同	島田　利一	同	平野　源吾
同	杉森　好己	同	鈴木　繁正

○學事

◉長岡高等工業學校工業技術員養成科規則　長岡高等工業學校ニ於テ工業技術員養成科規則左ノ通制定シ本月一日ヨリ之ヲ施行セリ(文部省)

工業技術員養成科規則

第一條　中學校ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認ムル者ニシテ機械工業ニ從事セントスル者ニ對シ之ニ關スル一般的素養ト必要ナル技能ヲ授クルヲ以テ目的トス

第二條　修業期間ハ六箇月トシ昭和十二年十月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第三條　生徒定員ハ三十名トス

第四條　學科課程左ノ如シ

學科目	每週教授時數
修身	一
體操	二
機構學	一、五
材料力學機械設計	一、五
工業材料	一、五
工作法	三
機械通論	一、五
製圖	一二
實習	一八
合計	四二

第五條　授業料ハ徵收セズ

第六條　成績考査ニ合格シタル者ニハ工業技術員養成科修了證書ヲ授與ス

第七條　本規則運用ニ關スル細則ハ學校長別ニ之ヲ定ム

附　則

第八條　本則ハ昭和十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

◉入學許可並取消　名古屋高等工業學校ニ於テ本月工業技術員養成科ニ入學ヲ許可セル者ノ内其許可ヲ取消シタル者及補缺入學ヲ許可セル者ノ氏名左ノ如シ(文部省)

入學許可取消

製作工科　野口　光太

無線工科　武居　稔

補缺入學許可

製作工科　荒井　榮松

無線工科　田口　康郎

◉帝室博物館來觀人員　東京及奈良兩帝室博物館ニ於ケル昭和十二年九月中(開館日數三十日)ノ來觀人員左ノ如シ(宮內省)

	大人	小兒	外國人	特別觀覽人	團體觀覽人	無料觀覽人	學校生徒及教員等	計
東京帝室博物館	二、五八一	二六二	一二七	九	一	一七九	六九四	三、八五二
奈良帝室博物館	五三一	一四	一二九	六	七五	一九	九一二	一、六八六
總計	三、一一二	二七六	二五六	一五	七六	一九八	一、六〇六	五、五三八

○產業

◉獎勵金交付　肥料改良獎勵規則ニ依リ昭和十二年度ニ於テ左ノ通交付スル旨指令セリ(農林省)

府縣	指令月日	獎勵事項	金額
栃木	一〇、一	縣立農事試驗場ニ於ケル施肥標準調査ヲ行フ爲ニ要スル費用ニ對シ	九九六圓
群馬	同	同	一、二〇〇
愛知	同	同	一、二八五
京都	同	府立農事試驗場ニ於ケル施肥標準調査ヲ行フ爲ニ要スル費用ニ對シ	九九五
兵庫	同	縣立農事試驗場ニ於ケル施肥標準調査ヲ行フ爲ニ要スル費用ニ對シ	一、三〇〇
島根	同	同	七四九
岡山	同	同	一、一九〇
山口	同	同	八〇四
香川	同	同	一、一〇五
大分	同	同	一、三二七
千葉	同四	同	一、二九四
新潟	同	同	一、三〇〇
三重	同	同	九三二
奈良	同	同	一、三〇〇
德島	同	同	一、三〇〇
高知	同	同	一、二三〇

◉補助金交付　秋田縣ニ對シ繭檢定施設費補助金トシテ昭和十二年度ニ於テ金二萬三千七百五十九圓ヲ交付スル旨本月四日指令セリ(農林省)

○通運

◉軌道起業廢止許可　昭和二年十一月十六日福島電氣鐵道株式會社ニ對シ特許シタル福島縣伊達郡長岡村、同縣同郡牛田村間軌道起業廢止ノ件本月四日許可セリ(鐵道省、內務省)

✓正　誤

本月二日本欄生絲製造高ノ項中八〇頁下段岩手ノ行「五、六五三」ハ「二、六五三」ノ誤

農林書記官

同日同項中八〇頁下段兵庫ノ行「九」ハ「一」八一頁上段佐賀ノ行「六〇、六九九」ハ「六〇、六九四」大分ノ行「九一、八七六」ハ「九一、八六七」一昨五日同昭和十二年一月乃至三月ノ出生、死亡速報ノ項中一四一頁愛媛縣ノ行二月ノ出生總數「四、四〇六」ハ「四、〇六四」一四四頁大分市ノ行三月ノ死亡男「四七」ハ「四九」ノ孰モ誤植

地方行政

◉縣會議員當選　長野縣ニ於テ去月二十五日府縣制第八條第一項ニ依リ上伊那郡選擧區選出縣會議員ノ補闕選擧ヲ行ヒシニ淸水東洋雄當選セリ(長野縣)

觀象

◉初霜

地名	本年初日	昨年比較	平年比較
四平街	十月四日	八日早シ	—
新京	同日	三日早シ	九日晚シ
數香	同五日	五日晚シ	十三日晚シ

◉全國氣象表(正午觀測)

(備考)　氣溫ノ數ー印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

十月四日

地名	氣壓(粍)	風向	風速(米)	氣溫(攝氏)	天氣	雨水量(粍)
臺北	758.0	南東	3	33.9	晴	—
那覇	761.4	南東	4	29.4	曇	2
鹿兒島	762.3	南	2	27.0	晴	12
高知	762.1	東南東	2	26.1	曇	2
大分	762.0	北東	2	24.3	曇	2
多度津	762.2	北	3	23.6	曇	—
廣島	762.5	靜穩	1	21.9	曇	9
大阪	761.8	靜穩	1	24.7	曇	—
長崎	762.6	南南東	4	23.1	曇	41
福岡	762.3	靜穩	1	24.1	曇	9
濱田	762.6	靜穩	1	22.7	雨	5
名古屋	761.9	北北西	3	21.8	霧雨	—
横濱	761.7	東南東	3	22.9	曇	—
東京	761.7	北北西	3	24.7	曇	—
銚子	761.9	東	3	23.6	曇	—
長野	762.8	靜穩	1	19.4	曇	—
前橋	761.9	北	3	22.8	霧曇	—
宇都宮	761.7	靜穩	1	22.9	曇	—
福島	761.8	南	2	24.3	晴	—
福井	762.1	東北東	2	23.8	曇	—
新潟	762.7	南西	8	23.0	晴	—
秋田	762.8	西	5	19.2	晴	—
石巻	761.8	北北西	2	22.9	晴	—
盛岡	761.0	西	5	21.9	晴	—
青森	761.8	西	6	17.0	晴	—
函館	760.7	西北西	5	18.5	晴	—
札幌	761.1	北北西	4	14.2	曇	—
旭川	759.9	西	3	14.7	曇	—
根室	758.1	北北西	7	15.8	快晴	—
大泊	757.7	北西	4	12.2	曇	—
釜山	762.4	西南西	2	21.5	雨	16
仁川	763.0	西南西	3	22.1	曇	—
元山	762.6	東北東	2	20.5	霧曇	—
淸津	763.8	靜穩	0	14.0	曇	—
新義州	763.1	北北東	2	16.3	晴	1
大連	764.3	靜穩	1	17.0	晴	—
奉天	763.8	南西	2	15.2	快晴	—
新京	761.3	南西	4	14.8	快晴	1
天津	764.2	南	2	20.5	曇	—
青島	—	—	—	—	—	—
上海	759.9	西南西	3	27.1	曇	—

◉東京氣象

十月四日　天氣概況　曇

平均氣壓(海面ノ度)	七六二・三粍	平均雲量	八・一
平均氣溫	二一・四度	日照時間	三・七時
平年ヨリ	三・六度高シ	平均風速度	二・〇米
最高氣溫	二五・九度	最大風速度	三・〇米
最低氣溫	一七・三度	最多風向	北
前五日間平均氣溫	一八・六度	降水總量	—
平年ヨリ〇・二度高シ		一時間最大降水量	—
平均濕度	七八%		
平均水蒸氣張力	一四・六粍		

記事　午後六時五十二分ヨリ同七時二十分マテ微雨アリタリ

(以上中央氣象臺)

廣告

土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　福岡縣知事
事業ノ種類　道路改築
起業地　福岡縣京都郡泉村地內

右公告ス

昭和十二年十月七日　內務大臣　馬場　鍈一

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣名古屋市
事業ノ種類　學校敷地擴張
起業地　愛知縣名古屋市中區菊里町地內

右公告ス

昭和十二年十月七日　內務大臣　馬場　鍈一

◉著作權登錄

登錄番號 登錄年月日	著作物ノ表示	著作ノ年月日 發行又ハ興行ノ年月日	著作者ノ氏名	登錄ノ目的	登錄ノ原因
第四四六〇號ノ一 昭和一二、九、二八	千鳥乃曲　全一曲(樂譜) 山川園松著作	昭和三、三、一〇著作 三、三、二五發行	山川　淳議	著作ノ年月日	本著作物ハ下記ノ者ニ於テ著作シタルモノナリ 東京市品川區東大崎四丁目一七四 山川　淳議
第四四六一號ノ一 一二、九、二八	千鳥乃曲替手　全一曲(樂譜) 山川園松著作	同	右同	右同	右
第四四六二號ノ一 一二、九、二八	八千代獅子　全一曲(樂譜) 山川園松著作	三、八、二〇著作 三、八、九發行	右同	右同	右
第四四六三號ノ一 一二、九、二八	八千代獅子替手　全一曲(樂譜) 山川園松著作	同	右同	右同	右

●合資會社大寶堂時計店變更
一社員榎本よしハ昭和八年七月一日住所ヲ左ノ如ク稱呼變更ス
住所　横濱市中區小港町三丁目一三九番地
一社員榎本よしハ昭和十二年五月十三日其持分全部ヲ左者ニ讓渡退社シ讓受者新ニ入社ス
一新入社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金三千圓　有限　淺尾初二　東京市小石川區西丸町九番地
●株式會社第一銀行變更
一取締役小平省三ハ昭和十二年五月十七日住所ヲ左ニ移轉ス
住所　東京市澁谷區代々木富ケ谷町一三八九番地
●株式會社木内回漕店變更
一取締役岸長吉ハ昭和十二年五月七日死亡ス
●横濱アスファルト株式會社變更
一取締役小林桑吉ハ昭和十二年五月十四日重任ス
右昭和十二年五月十九日登記
●株式會社設立
一商號　株式會社小山製作所
一本店　横濱市中區日本大通三一番地
一目的　一各種機械器具ノ製作及販賣二電氣機械器具ノ製作販賣及電氣工事ノ請負三右第一第二ニ附帶關聯スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十二年五月一日
一資本ノ總額　金五万圓
一一株ノ金額　金二十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金二十圓
一公告ヲ爲ス方法　本店店頭ニ掲示ス
一取締役ノ氏名住所
大野恭平　東京市四谷區仲町三丁目七番地
風間善九郎　福島縣耶麻郡喜多方町字東町四〇九五番地
本間平作　横濱市中區元町一丁目五三番地
小山太八　同市神奈川區旭ケ丘五三番地一
堀江紫雄　福島市榮町二〇番地
一代表取締役ノ氏名　小山太八
一監査役ノ氏名住所　石川勝治　東京市小石川區大塚窪町二四番地
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
●横濱中央食品市場株式會社變更
一取締役井上長吉ハ昭和十二年六月一日辭任ス
●商號廢止
一アソシエーテツドウイーヴアス商會　昭和十二年六月二日商號廢止
●合資會社支店設立
昭和十二年五月二十一日當管内ニ支店設立ニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一商號　合資會社アソシエーテツドウイーヴアス商會
一本店　東京市日本橋區茅場町一丁目一二番地
一支店　横濱市中區山下町二一〇番地
一目的　織物ノ輸出入竝ニ之ニ附帶スル一切ノ業務
一設立ノ年月日　昭和十二年五月二十一日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金一万三千五百圓　無限　上田勝治郎　東京市淀橋區戸塚町三丁目四〇〇番地
金一万三千五百圓　同　高林治雄　同市蒲田區新宿町一四一三番地
金三千圓　有限　田所新吉　同市赤坂區青山南町五丁目五一番地
一存立時期　昭和四十二年五月二十日迄
右昭和十二年六月二日登記　横濱區裁判所
●合資會社森地商店變更
一無限責任社員森地喜兵衞ハ昭和十二年五月二十日死亡ス
一左記ノ者昭和十二年五月三十日頭書ノ責任ヲ以テ入社ス
勞務無限　森地弘　高座郡藤澤町藤澤一四一九番地
右昭和十二年六月一日登記　横濱區裁判所藤澤出張所
●合名會社設立
一商號　合名會社若松屋旅館
一本店　足柄下郡湯河原町宮上五四二番地
一目的　一足柄下郡湯河原町ニ於ケル溫泉旅館ノ經營二右ニ附帶スル一切ノ事業
一設立ノ年月日　昭和十二年一月二十八日
一代表社員ノ氏名　伊藤鶴松
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　足柄下郡湯河原町宮上五四二番地一金二万三千二百圓也伊藤鶴松　同所同番地一金九百圓也　伊藤嘉子　同所同番地一金九百圓也　伊藤正治
右昭和十二年五月十七日登記
●廣河原溫泉土地株式會社變更（支店）
一昭和六年六月二十八日監査役津本貞藏ハ重任ス
一昭和六年六月二十八日左記ノ者監査役ニ就任ス
一監査役ノ氏名住所　榎本泰助　東京市本所區石原町三丁目四番地四
一監査役津本貞藏ハ昭和六年十一月十六日死亡ス
一取締役小林修藏ハ昭和七年六月二十八日退任ス
一同日取締役會社ヲ代表スヘキ取締役高知尾健次郎取締役池田榮同大野衛藏同小川作藏ハ各重任ス
一同日左記ノ者取締役ニ就任ス
一取締役ノ氏名住所　小澤朝廣　東京市麻布區森元町三丁目二番地
一取締役小川作藏ハ昭和八年五月十一日辭任ス
一昭和八年六月二十八日監査役榎本泰助ハ重任ス
一昭和十年一月一日本店ヲ東京市日本橋區馬喰町二丁目三番地三ト變更ス
一同日取締役高知尾健次郎ノ住所ヲ東京市日本橋區馬喰町二丁目三番地三ト變更ス
一取締役大野菊三ノ住所ヲ東京市日本橋區馬喰町一丁目十二番地ト更正ス
一取締役池田榮ノ住所ヲ昭和九年八月十五日東京市日本橋區橋町五番地一ト變更ス
一取締役大野衛藏ノ住所ヲ昭和十年一月一日東京市日本橋區馬喰町一丁目一番地一ト變更ス
一取締役會社ヲ代表スヘキ取締役高知尾健次郎取締役大野菊藏同池田榮ハ昭和十年六月二十八日各重任ス
一同日左記ノ者取締役ニ就任ス
取締役ノ氏名住所　榎本泰助　東京市本所區石原町三丁目四番地
一監査役榎本泰助ハ同日退任ス
一同日左記ノ者監査役ニ就任ス
一監査役ノ氏名住所
山田廣太郎　大阪市西區靱中通二丁目七番地
高知尾謹吉　東京市日本橋區馬喰町二丁目三番地三
一取締役小澤朝廣ハ昭和十年六月二十八日退任ス
一監査役高知尾謹吉ハ昭和十年九月八日死亡ス
一取締役大野菊三ハ昭和十一年九月二十四日死亡ス
一昭和十一年十一月十八日左記ノ者取締役ニ就任ス
一取締役ノ氏名住所
石倉源助　東京市日本橋區矢ノ倉町一四番地
松井德三　同市深川區高橋二丁目二番地七
●同上支店廢止（支店）
一昭和十二年五月二十二日足柄下郡湯河原町宮上六百七十九番地ノ支店ヲ廢止ス
右昭和十二年六月一日登記　小田原區裁判所吉濱出張所
●株式會社日本勸業銀行社債（支店）
一昭九災害十一號
一社債ノ總額　金二十六万圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後毎年四月十月抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一昭十災害十一號
一社債ノ總額　金六万七千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後毎年四月十月抽籤ヲ爲シ毎回一千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
●不二發製造株式會社解散
一株主總會ノ決議ニ因リ昭和十二年六月二日解散ス
●不二發製造株式會社淸算人選任
奧田三之助　浦和市三百八十七番地ノ八
昭和十二年六月四日登記　浦和區裁判所
●株式會社上高野屠場變更
監査役栗田松三石井欣兵衞野本勇次郎ハ昭和十二年五月二十二日重任ス
昭和十二年六月四日登記　浦和區裁判所幸手出張所
●合名會社田中屋本店變更
一社員田中喜藏ハ昭和十二年六月一日總社員ノ同意ニ依リ更ニ金五千圓ヲ出資シタルニ因リ其出資額ヲ金一万三百圓ト變更ス
昭和十二年六月四日登記
●株式會社足利銀行更正（支店）
一栃木縣足利市伊勢町二百十八番地ノ支店ハ錯誤ニ付左記ノ通リ更正ス
栃木縣足利市伊勢町二百十八番地ノ三
一栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地ノ支店ハ錯誤ニ付左記ノ通リ更正ス
栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地イ號
●株式會社足利銀行變更（支店）
一群馬縣桐生市大字桐生三百四十二番地ノ支店ハ昭和四年八月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左記ノ通リ變更ス
群馬縣桐生市本町五丁目三百四十二番地
一群馬縣桐生市大字新宿四百五番地ノ支店ハ昭和四年八月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左記ノ通リ變更ス
群馬縣桐生市新宿通一丁目四百五番地
一栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木三百八十一番地ノ一ノ支店ハ昭和十二年四月一日市制施行ニ因リ左記ノ通リ變更ス
栃木縣栃木市萬町三百八十一番地ノ一
一栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地イ號ノ支店ハ昭和十二年四月一日市制施行ニ因リ左記ノ通リ變更ス
栃木縣栃木市倭町二百九十五番地イ號
昭和十二年六月三日登記　熊谷區裁判所深谷出張所

◉法人登記

●神宮奉齋會變更（從タル事務所）
理事中川五月ハ昭和十二年五月二十八日退任ス
理事左者ハ同日重任ス
今泉定助　東京市小石川區駕籠町二百三十七番地
藤岡好春　同市麹町區有樂町一丁目十四番地
富山春三　仙臺市片平丁六十八番地
二宮　武　瀬戸市大字瀬戸六百八十一番地
同日左者理事ニ就任ス
淺香千速　大阪市浪速區元町四丁目二百五十一番地
右昭和十二年六月一日登記　濱松區裁判所
●社團法人南佐久教育會變更
一昭和十二年五月二十五日左ノ者理事ニ就任ス
沖浦重太郎　長野縣南佐久郡切原村大字湯原七百四番地
昭和十二年五月二十八日登記
●社團法人南佐久教育會變更
一昭和十二年五月二十五日資産總額ヲ四千百七十三圓ト變更ス
昭和十二年五月二十九日登記　岩村田區裁判所臼田出張所
●神宮奉齋會變更
理事中川五月ハ昭和十二年五月二十八日退任ス
理事今泉定助藤岡好春富山春三二宮武ハ昭和十二年五月二十八日重任シ同日左者理事ニ就任ス
淺香千速　大阪市浪速區元町四丁目二百五十一番地
昭和十二年六月二日登記　新潟區裁判所卷出張所
●財團法人小千谷病院變更
大正十五年一月二十六日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十一万九百四十七圓十九錢
昭和二年一月二十四日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十二万八千二百五十七圓九十九錢
昭和三年一月二十四日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十四万一千三百六十六圓八十九錢
昭和四年一月二十四日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十五万六千六百十圓六十七錢
昭和五年一月二十五日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十七万四千二百四十六圓六十二錢
昭和六年一月二十四日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十八万二千八百十圓五十五錢
昭和七年一月二十二日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十九万七千三十三圓八十二錢
昭和八年一月二十六日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十九万八千五百七圓四十五錢
昭和九年一月二十四日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金二十万九千八百三十三圓五十四錢
昭和十年一月二十五日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十八万二百五十四圓
昭和十一年一月二十五日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十七万六千三百七十八圓二十錢
昭和十二年一月三十日資産ノ總額ヲ左ノ如ク變更ス
資産ノ總額　金十八万三千八百三十九圓二十錢
右昭和十二年六月三日登記　長岡區裁判所小千谷出張所
●社團法人友松會變更
一理事和田孫三郎川原喜作ハ昭和十二年五月二十二日辭任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
東尾眞三郎　大阪市住吉區住吉町三十五番地
山内源藏　堺市北旅籠町一丁目千六十六番地
昭和十二年五月三十一日登記
●財團法人關西大學變更
一理事仁保龜松ハ昭和十二年五月二十七日辭任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
神戸正雄　京都市左京區淨土寺西田町七十番地
昭和十二年六月一日登記　大阪區裁判所
●社團法人奈良縣教職員互助會變更
昭和十二年五月三十一日資産ノ總額ヲ左ノ通リ變更ス
金五万五千一百圓也
右昭和十二年六月二日登記　奈良區裁判所
●神宮奉齋會變更（從タル事務所）
一理事中川五月ハ昭和十二年五月二十八日退任ス
一同日理事今泉定助藤岡好春富山春三二宮武ハ重任ス
一同日左ノ者理事ニ就任ス
淺香千速　大阪市浪速區元町四丁目二百五十一番地
昭和十二年六月二日登記　大津區裁判所
●財團法人神宮奉齋會（變更）
理事全員任期滿了ノ處昭和十二年五月二十八日中川五月ハ退任シ今泉定助藤岡好春富山春三二宮武ハ重任シ左ノ者新ニ選任セラレ同日就任ス
理事　淺香千速　大阪市浪速區元町四丁目二百五十一番地
右昭和十二年六月二日登記　徳島區裁判所小松島出張所
●社團法人讃岐會館變更
左記ノ者昭和十二年五月三十日理事ニ重任ス
理事ノ氏名住所
熊田長造　綾歌郡栗熊村大字栗熊東八十九番戸
中村新太郎　高松市通町十七番地
大西虎之助　高松市濱ノ丁八十一番地
右昭和十二年六月三日登記　高松區裁判所
●財團法人神宮奉齋會變更（從タル事務所）
一理事今泉定助藤岡好春富山春三二宮武ハ昭和十二年五月二十八日再選重任ス
一理事中川五月ハ昭和十二年五月二十八日任期滿了退任シ左記ノ者同日新ニ理事ニ就任ス
淺香千速　大阪市浪速區元町四丁目二百五十一番地
昭和十二年六月三日登記　萩區裁判所奈古出張所
●神宮奉齋會變更
一理事中川五月ハ昭和十二年五月二十八日退任シ同今泉定助藤岡好春富山春三二宮武ハ同日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
淺香千速　大阪市浪速區元町四丁目二百五十一番地
昭和十二年六月二日登記　松山區裁判所久万出張所
●神宮奉齋會財團法人變更
一理事中川五月ハ昭和十二年五月二十八日退任シ今泉定助藤岡好春富山春三二宮武ハ重任シ同日左者理事ニ就任ス淺香千速大阪市浪速區元町四丁目二百五十一番地
右昭和十二年六月二日登記　熊本區裁判所
●神宮奉齋會變更（從タル事務所）
一理事中川五月ハ任期滿了ニ依リ昭和十二年五月二十八日退任シ理事今泉定助藤岡好春富山春三二宮武ハ任期滿了ノ處各重任シ左記ノ者理事ニ就任ス
淺香千速　大阪市浪速區元町四丁目二百五十一番地
昭和十二年六月二日登記　鶴岡區裁判所

◉商業組合登記

●東京本郷酒類商業組合變更
一昭和十二年三月三十一日出資總口數ヲ百九十四口ト拂込ミタル出資ノ總額ヲ金三千八百三十八圓ト變更ス
一理事篠田浩秋山惠作山田五一郎ハ同年四月二十五日退任シ同左者ハ同日重任ス
渡邊仲藏　東京市本郷區駒込東片町八番地
矢部元治郎　同市同區駒込動坂町三百十番地
竹中友太　同市同區元町二丁目七番地
一左者同日理事ニ就任ス
小野木彌市郎　東京市本郷區湯島三組町十八番地
丹羽鐐一　同市同區眞砂町三十八番地
早川藤兵衞　同市同區駒込片町二十二番地
小針鴻太郎　同市同區駒込神明町二百二十六番地
山岸靜三郎　同市同區根津八重垣町四十九番地
一監事山田鐐之助山岸靜三郎ハ同日退任シ同左者同日重任ス
尾崎德三郎　東京市本郷區駒込曙町十一番地
一左者同日監事ニ就任ス
山田五一郎　東京市本郷區春木町三丁目二番地
齋藤幸三郎　同市同區駒込西片町十番地
秋山惠作　同市同區根津八重垣町四十八番地
●東京日本橋酒類商業組合變更
一昭和十二年三月三十一日出資總口數ヲ二百七口ト拂込ミタル出資ノ總額ヲ金四千三百四十圓ト變更ス
一理事樋口利一野澤安治郎中井榮吉渡邊駒次郎立入金三郎ハ昭和十二年一月二十二日退任シ左者同年四月十七日理事ニ就任ス
樋口利一　東京市日本橋區茅場町一丁目七番地十
野澤安治郎　同市同區蠣殻町四丁目七番地一
中井榮吉　同市同區通三丁目六番地七
渡邊駒次郎　同市同區馬喰町三丁目十六番地
立入金三郎　同市同區本町三丁目六番地二

●大野輸出羽二重工業組合變更
理事全員任期滿了ニ依リ昭和十二年五月二十七日總會ニ於テ改選ノ處左ノ者當選同日各就任ス
理事 齋藤 重雄 福井縣大野郡大野町淸水二百二十七號百七番地
同 廣岡安右衛門 同縣同郡同町西三番二百二十六號十二番地
同 寮老格二郎 同縣同郡同町東一番二百二十六號百十六番地
右昭和十二年五月三十一日登記 大野區裁判所

●岐阜縣瓦工業組合變更
一理事增員ニ付昭和十二年五月二十日左記ノ者就任ス
山田 仁吉 山縣郡岩野田村粟野百五十一番地ノ一
多和田繁吉 不破郡表佐村千四番地
小澤弥太郎 武儀郡富野村大字西野八十八番戸
梅田 增吉 加茂郡坂祝村大字取組五百二十一番地
岩崎 嘉三 揖斐郡城山村駒野六百四十七番地
昭和十二年六月二日登記 岐阜區裁判所

●岐阜縣陶磁器工業組合聯合會變更
昭和十二年五月二十四日地區ヲ左ノ如ク變更ス
地區 岐阜縣及長野縣西筑摩郡一圓
昭和十二年六月三日登記 御嵩區裁判所

●長崎醬油味噌釀造工業組合(變更)
一理事淺田廣太郎增田佐八松尾作實百古賀兵太郎植木文一北野饒一本山乙一郎森房菁吉森木淸ハ昭和十二年五月二十二日辭任シ同日左ノ者新ニ理事ニ就任ス
理事 林田寅二郎 長崎市油屋町七十七番地
二前年度内ニ於テ出資總口數ヲ百九十四口ト拂込ミタル出資ノ總額ヲ金三千一百四十圓ト變更ス
右昭和十二年六月一日登記 長崎區裁判所

●石卷鐵鋼工業組合變更
理事高松金治ハ昭和十二年五月十一日除名セラレ退任ス
右昭和十二年五月十四日登記 石卷區裁判所

●工業組合設立
一名稱 保證責任八戸木造船工業組合
一事務所 八戸市大字小中野町字南横丁三番地
一目的 木造船工業ノ改良發達ヲ圖ル爲メ共同施設ヲ爲スヲ以テ目的トス
一地區 八戸市一圓
一設立認可ノ年月日 昭和十二年二月四日
一出資ノ總口數 四百口
一拂込ミタル出資ノ總額 金二千圓
一出資一口ノ金額 金二十圓
一出資拂込ノ方法 出資第一回ノ拂込ハ一口ニ付金五圓トス第二回以後ノ拂込ハ配當スヘキ剩餘金中ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口ニ付金五十錢ヅツ毎月末日迄ニ拂込ムモノトス
一組合員ノ氏名住所及保證金額
一金七百五十圓 池田三郎 八戸市大字小中野町字中道五番二號地
一金一千五百圓 清水初五郎 同市大字湊町字下條二十四番一號地
一金八百十圓 富田榮八 同所字須賀端二十五番地
一金九十圓 田中末吉 同市大字鮫町字金濱明場七番二號地
一金七百五十圓 濱見長太郎 同市大字小中野町字場尻十番地
一金六十圓 關川由太郎 同市大字湊町字大澤片平四十一番一號地
一金六十圓 織後藤吉 同所字三島上四十五番六號地
一金三百圓 關川倉吉 同所字汐越六十番地
一金一千五百圓 尾崎勘之亟 同所字柳町四十番地
一金百二十圓 角石造 同所字櫛張二番三號地
一金六十圓 淸水末吉 同所字畫二番地
一金一千五百圓 島脇精造 同市大字鮫町字數八番地
一金一千五百圓 角市三郎 同市大字小中野町字南横丁三番地
一金七百五十圓 島田淸一 同市大字湊町字下條二十三番地
一金六百圓 佐々木喜造 同所字新町通六十九番地
一金六百圓 坂棄松 同所大字小中野町字正部田十四番二號地
一金七百五十圓 尾崎市太郎 同市大字湊町字柳町四十四番地
一金六十圓 清水三之助 同所字三島上一番地
一金九十圓 中村總次郎 同市大字小中野町字北横町十七番地
一金百五十圓 晋喜多石太郎 同所字沼向十六番二號地
一理事ノ氏名住所
淸水初五郎 八戸市大字湊町字下條二十四番一號地
角 市三郎 同市大字小中野町字南横丁三番地
島脇 精造 同市大字鮫町字數八番地
島田 淸一 同市大字湊町字下條二十三番地
尾崎勘之亟 同所字柳町四十番地
富田 榮八 同所字須賀端二十五番地
一監事ノ氏名住所
池田 三郎 八戸市大字小中野町字中道五番二號地
中村總次郎 同所字北横町十七番地
右昭和十二年六月三日登記 八戸區裁判所

◉輸出組合登記

●日本絹人絹糸布輸出組合聯合會移轉
一昭和十二年五月二十三日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
大阪市東區本町二丁目二十六番地ノ一染工聯會館三階

●日本綿三綾輸出組合移轉
一昭和十二年五月二十三日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
大阪市東區本町二丁目二十六番地ノ一染工聯會館三階

●大阪織物輸出組合移轉
一昭和十二年五月二十三日事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス
大阪市東區本町二丁目二十六番地ノ一染工聯會館三階
昭和十二年六月一日登記 大阪區裁判所

◉產業組合登記

●有限責任千住信用組合變更
監事福浦留藏稻葉房次郎ハ昭和十二年五月七日退任ス
同日左ノ者監事ニ重任ス
井野場行一 東京市足立區千住仲町二番地
佐々木庄兵衛 同市同區千住四丁目六十番地
名倉 市藏 同市同區千住五丁目七十九番地
山本錦之助 同市同區千住仲町七十番地一
川島貞二郎 同市同區千住三丁目八十六番地
同日左ノ者監事ニ就任ス
小澤 與助 東京市足立區千住大川町五十番地
宮川平五郎 同市同區千住旭町七十一番地
右昭和十二年五月十九日登記 東京區裁判所千住出張所

●產業組合設立
一名稱 保證責任中丸信用販賣購買利用組合
一組織 保證責任
一事務所 北足立郡中丸村大字古市場百三十六番地ノ二
一目的
一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニアル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
四組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ組合員ニ賣却スルコト
五組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
六農業倉庫業ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
一設立許可年月日 昭和十二年五月十三日
一出資一口金額 金十圓
一出資拂込方法 出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金二圓以上トス第二回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツル金額ノ外出資一口毎ニ毎年七月末及十月末迄ニ金二圓以上拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
加藤 榮一 北足立郡中丸村大字北中丸百二十一番地
大島 治平 同郡同村大字宮內十一番地
荒井 耕助 同郡同村大字深井十七番地
柳井 勝藏 同郡同村大字常光別所六百五十四番地
關根 謙吾 同郡同村大字北本宿三百三十七番地
齋藤 廣吉 同郡同村大字北中丸四十六番地
加藤淺五郎 同郡同村大字東間百五十三番地
一監事ノ氏名住所
谷口常太郎 北足立郡中丸村大字山中百八十六番地
淸水 弘助 同郡同村大字北本宿四百七十二番地
山本丑太郎 同郡同村大字東間三百三十番地
加藤鏞之助 同郡同村大字北中丸八百十八番地
桑野九兵衛 同郡同村大字宮內八百三十五番地
成田利右衛門 同郡同村大字深井千六十二番地
矢口 榮藏 同郡同村大字古市場三百四十番地ノ一
內田 邦雄 同郡同村大字花ノ木百四十五番地ノ二
一區域 北足立郡中丸村
昭和十二年六月三日登記 浦和區裁判所鴻巢出張所

◉禁治產宣告

本籍及住所大牟田市柿園町二丁目四十七番地 小山 實雄 大正三年八月十四日生
右ニ對シ實母小山キサノノ申立ニ因リ昭和十二年九月二十二日禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十二日 柳河區裁判所

◉失踪宣告

本籍並ニ最後ノ住所茨城縣眞壁郡五所村山崎三十二番屋敷 不在者 辻 勇助 安政三年八月十六日生
右ノ者ニ對シ東京市足立區五反野南町千二百六十五番地辻茂ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月二十一日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十一日 下妻區裁判所

本籍並最後ノ住所滋賀縣東淺井郡小谷村大字河毛三十一番屋敷 不在者 大野木市太郎 明治十二年六月二十七日生
右ニ對シ同所大野木正雄ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月二十四日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十四日 長濱區裁判所

本籍横濱市神奈川區淺間町三丁目二百十二番地ノ二 最後ノ住所岐阜市今泉二百九十六番戸 水谷甚三郎 安政元年十月二十七日生
右ニ對シ横濱市神奈川區淺間町三丁目二百十三番地ノ二利害關係人水谷瀬一ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月十八日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月十八日 岐阜區裁判所

本籍並最後ノ住所愛媛縣西宇和郡川之石町六番耕地九十六番地 不在者 兵頭 良一 明治三十二年十一月六日生
右ニ對シ同所同番地兵頭イヱノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月二十一日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十一日 八幡濱區裁判所

本籍及最後ノ住所長崎縣北高來郡本野村大字中本明湯野尾名二千百四十八番地 不在者 西村 正晴 大正三年四月二十日生
右ニ對シ利害關係人西村三一ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月二十四日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十四日 大村區裁判所

本籍福岡縣門司市大字柄杓田四百六十九番地 最後ノ住所同市大字大積海岸 小山 國藏 明治二十七年一月八日生
右ノ者ニ對シ兄小山淸ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十二年九月二十二日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十二日 小倉區裁判所

本籍及最後ノ住所福島縣郡山市字横塚十番地 不在者 橋本 辰吉 明治二十五年一月十四日生
右ニ對シ利害關係人長男橋本辰義ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年九月二十一日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十一日 郡山區裁判所

本籍及最後ノ住所北海道足寄郡足寄村大字足寄村二十四線百四十四番地 不在者 內藤篤治郎 明治二十一年一月十日生
右ニ對シ北海道網走郡網走町大字網走村字呼人番外地內藤正一ノ申立ニ因リ當裁判所ハ昭和十二年九月二十日右不在者ノ失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和十二年九月二十日 帶廣區裁判所

◉除權判決

昭和十二年公催第一號
奉天松島町八番地 申立人 船橋 滿彥
右代理人辯護士 木多 喬行
別紙目錄表示ノ日滿連絡國際連絡證券ニ付申立人ノ申立ニ依リ公示催告ヲ爲シタルトコロ昭和十二年九月二十日午前十時ノ期日迄ニ權利ノ屆出テ且右日滿連絡國際連絡證券ヲ提出スル者ナキヲ以テ申立人ノ申立ニ基キ前記日滿連絡國際連絡證券ノ無效ヲ宣告ス
昭和十二年九月二十日 在奉天帝國總領事館 領事 小泉 敏次
(別紙)
日滿連絡國際連絡證券(受取證)
證券番號 第五五號
船名 亞米利加丸
船積港 神戸
接續港 大連
著地 奉天
荷送人 三川屋馬具舗
荷受人 船橋滿彥
品名 鞍
個數 三個
重量 一六九キログラム
容積 三六歲
價格 金五百圓也
發行人 大阪商船株式會社神戸支店
發行年月日 昭和十一年一月七日

◉行旅死亡人

本籍住所職業氏名年齡不詳推定四十五六歲ノ女丈四尺七八寸位肉肥面圓眉太鼻耳大頭髮薄ク白毛混リ著衣黑襟縞瓦斯單衣白ボイル長襦袢白ネル腰卷黑パンツ白足袋茶色單衣帶携帶品赤茶製財布一箇在中金九圓六拾貳錢銀色小判型腕卷時計一箇老眼鏡一箇黑絹白筋入洋傘一本
右去月三十一日當區嵐山中尾下町地內香無瀨下流五十米突大堰川右岸ニ溺死體ト爲ルヲ發見シ假埋葬ス心當リノ方ハ申出テラルヘシ
昭和十二年九月 京都市右京區役所

住所職業氏名不詳男七十歲位丈五尺二寸中肉面長頭髮五分刈禿ケタル方前上齒缺落著衣鼠色欅縞單衣黑地兵兒帶携帶品ナシ
右本月十八日當町大字宇治小字山本宇治川電氣株式會社宇治發電所水路取入口第十二號ニ溺死體トシテ漂著シタルニ付假埋葬ス
昭和十二年九月二十七日 京都府久世郡宇治町役場

本籍住所氏名不詳男推定五十年位體肥頭圓頭髮丸刈身長五尺位著衣厚司白メリヤス茶ズボン茶毛絲ノ腹卷一見勞働者風
右本年五月二日區內三ツ樋町一番地但臨港鐵道第七踏切ニ於テ轢死セルヲ發見寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月 大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男二十三年位體格中肉顔圓頭髮五分刈身長五尺四寸位著衣セル單衣著物白地牛欄絆小豆色毛絲アンダーシャツ
右本年五月二十九日區內南海岸通三丁目地先港內第三區第十七番浮標附近ニ於テ溺死セルヲ發見死後七日位經過寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月 大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男推定三十五年位體格營養良身長五尺六寸位頭髮大部分剝脫著衣セル著物錦紗帶無地欄絆毛腹卷
右本年六月五日午後二時半築港大關門沖合約二海里ニ於テ溺死セルヲ發見死後ノ經過二週間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月 大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男推定五十年位體肥身長五尺四寸位頭髮五分刈顔圓眉濃シ著衣白木綿ノ襦袢黑木綿半ズボン黑ノ地下足袋
右本年六月十六日區內西田中町一丁目八十二地先八幡屋運河防末廣橋北詰ニ於テ溺死セルヲ發見死後ノ經過二十四時間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月 大阪市港區役所

本籍住所不詳氏名田端某年齡四十三年位男體中肉身長五尺二寸位頭髮五分刈眉濃ク色白シ著衣縱縞ノ浴衣
右ハ本年六月二十二日區內三條通三丁目三十番地先ニ於テ行倒レ居ルヲ發見即日大阪慈惠病院ニ收容加療中ノ處同日死亡寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月 大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳推定五十年位男丈五尺一寸位瘠形頭髮五分刈眉薄色淺黑鼻低眼口其他普通著衣白莫大小襯衣木綿猿股兵兒帶著用
右本年七月二十三日行旅病人トシテ救護中同二十七日腦溢血ノ爲メ死亡寫眞撮影ノ後火葬ス心當リノ者ハ申出ツヘシ
昭和十二年九月 大阪市南區役所

正誤

去月二十八日本欄和議手續開始ノ項十行「大阪區」ハ「大阪市」ノ誤植

◉外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

行先	通常 普通 月日時	通常 書留 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
●關領東印度行	10、八前九	10、八前八半	—	門司	にりい丸
●南支那、香港、フィリピン群島、海峽植民地、英領印度等行	同八後九半	同八後九	—	神戸	もんてびでお丸
	同九前九	同九前八半	—	同	プレシデント、マッキンレー號
●香港、フィリピン群島、濠洲、新西蘭等行			10、10後1	横濱	北野丸
●米國、加奈陀、南米等行	10、11後零10	10、11前11、30	10、12前10、10	同	山陽丸

最古の經驗と最新の技術

特許 M.K.S 青寫眞燒付機

創業 年二十正大

豐富在庫

M.K.S. 洗濯乾燥機
付置燒色褐装置
付燈熔銀水壓機
東京市京橋區銀座西三ノ一
（六〇四四階四館々隣）
會社資合 武藏工業所
電話京橋(56)1087、6978番

ライジングサン石油株式會社輸入

燃料用重油

東京市京橋區新川二丁目六番地
諸油問屋 細山太七商店
電話京橋(56)〇九九一二三八四、四二七五番

トンテ

營業品目
天幕、雨具、天幕、雨覆、地雨衣、作業衣、麻帆布、麻糸非常袋、寢具入、布ホース、綿帆布背負袋、雜嚢、防水布類一切製造販賣卸商

陸海軍諸官省御用
小川治兵衛商店
東京市深川區永代一ノ十六番地
電話本所(78)四一三八番
四六〇五番
工場 京橋區月島東仲通四ノ五
電話京橋(56)一五六六番
（カタログ進呈）

株式會社名義書換停止公告
來る十一月一日より定時株主總會終了日迄株式名義書換を停止致候
昭和十二年十月
日本航空輸送株式會社

優秀メタル・金・銀未杯・前章・ボタン記念品
東京九段下
アキバ製章店
電話九段(33)一六五一番
(34)二三九七番

（大正六年創立）
（カタログ進呈）
麻織物 布
天幕 雨覆 被服
雜製品 一式
鞄嚢 袋物
貸天幕 裝飾

東京テント株式會社
東京市神田區須田町二ノ四
電話浪花(67)四三二七二番

御使用者の十人が十人まで推指用

特許 三束指サック

事務家印刷家必携　衛生第一
濕らず吸つく樣に紙が取れます
全國各郵便局郵盜局御用
東京市本郷區元町二ノ二
三束商會
電話小石川五二一七番
振替東京八〇六七三番

鋼鐵製
山口の自轉車
全週轉部防水式

飛躍は今だ
この優秀車て！
他車の三倍もつ
完全な高級車

東京・日本橋・小伝馬町
山口自轉車工場販賣部

版寫勝井堀

一般輸出入業及

町治霞 區田神 市京東 元壽發
店本堂寫勝井堀
店本井堀 精硏
九二四・五二四・四二四・三二四・二二四・(25)田神 話電
紙京・津天・口濱・海上・店支

カタログ進呈

テント

生産設備
敷地 1,000坪
建物 650坪
ミシン機 120台
工員 200人

天幕雨覆雨衣類
制服團服外被
兵器屋品類
麻綿諸織物
布ホース麻糸類
フム引布類各種
染色防水布各種

營業種目

諸官廳御用達

株式會社
高島屋商店

東京市京橋區本材木町一丁目 電話 3145,3146,3147,
京橋 3148,3149,5797.
工場
東京市王子區王子町一丁目八七〇 電話赤羽 2138,2456

佐倉金庫と鋼鐵家具

營業科目
鋼鐵家具
金庫防火鐵
陸海軍需品
其他鋼鐵工業一式

創業 大正五年
資本金 壹百萬圓
代表取締役 ルーチス・ルーオ
官省別特指定品

東京市京橋區西八丁堀二丁目
佐倉鋼鐵工業株式會社
電話 京橋 (56) 二三一一・二三一二・三三一三・三三一四
銀座支店 京橋區銀座五丁目三番地 電話銀座 二四一九番
大阪支店 大阪市東區唐物町二丁目二六番地 電話 船場 三〇四一番

Autocashier

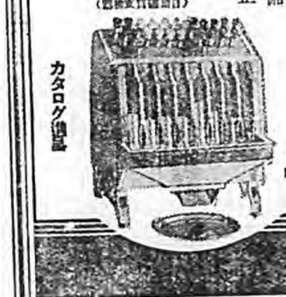
官廳
銀行
會社
商店
工場
會計用
必備品

國產特許品

誠實熟練の名會計手
ボタン一つで支拂を

會計の能率增進執務迅速化は良器採用が根本です、本器裝備は諸支拂を整然と正確に處理する鍵！

本器の特長
計算正確にして機構簡便堅牢にして故障絶無能率的にして時間經費の節減



カタログ御請求

東京文化計算研究所
東京市麹町區飯田町二丁目十四番地
電話 九段 (33) 一六〇一番

大藏省理財局編纂

A5判　定價二十錢　送料不要

臨時資金調整法令

——附事業資金調整標準——

目次

▽臨時資金調整法（昭和十二年九月十日法律第八十六號）
▽臨時資金調整法ノ一部施行期日ノ件（昭和十二年九月十四日勅令第四百九十二號）
▽臨時資金調整法ノ一部施行期日ノ件（昭和十二年九月二十五日勅令第五百二十六號）
▽臨時資金調整法施行令（昭和十二年九月二十五日勅令第五百二十七號）
▽臨時資金調整法施行細則（昭和十二年九月二十五日大藏、農林、商工省令）
▽自治的資金調整準則（昭和十二年九月）
▽臨時資金調整法ニ基ク事業資金調整標準
第一　鑛業　第五　交通業（昭和十二年九月）
第二　工業　第六　商業
第三　農林業　第七　雜業
第四　水產業　第八　其ノ他ノ鑛業及施設

申込所
○內閣印刷局發行課
○全國各地官報販賣所
○全國主要書店

東京市麹町區大手町
發行所　內閣印刷局
（電話丸ノ內三五一—九所　振替東京一九〇〇〇番）

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

〔月刊〕菊判本號百八十頁　定價五十錢・送料二錢　一年前金五圓七十錢

農業と經濟

（第四卷第十號）

大陸農業問題

論說＝擧國一致と國民精神總動員（東潮論說委員　關口泰）……現下國民の能力問題（特に農民勞働力の過剩を中心として）（日本勞務所長醫學博士　暉峻義等）……保健社會省と農村婦人（釜組中央會　丸岡季子）……溫室花卉價格變動の研究（千葉高農教授　穗坂八郎）

★大陸農業問題（特輯）北支那農村の社會的經濟構造（滿鐵產業部　大上末廣）……北支農業の概觀（滿鐵天津事務所　水野　薰）……棉作適地の意義（滿洲國立高農教授　永友繁雄）……北支と滿洲の農村を語る（座談會）（滿洲國實業部の諸氏）……北支の農業を語る（座談會）（滿鐵產業部の諸氏）……北滿農業の開發問題（滿洲國立中央農事試驗場長　村越信夫）……滿洲土地制度の沿革（滿洲國實業部　鷲足文雄）……北滿松花江下流地方に於ける日本移民入植地帶の立地に就て（哈爾濱鐵路局北滿經濟調查所　岡川榮藏）……滿支農業を動かすものは誰か（大每經濟部　川村和嘉治）……農業寫眞解說＝北支の農業（滿鐵天津事務所　田中義英）

時事解說＝臨時資金調整法と農村金融（農林省金融課長　西村彰一）……戰時議會下の米穀肥料問題（東日經濟部　江口榮治）……戰時體制下の農村對策（編輯部　滿川元親）……其他……青果市況（東京中央市場技師　山崎勞助）……新刊紹介・最近の文獻・農界日誌

第二卷第四號　滿洲農業問題　定價六十錢　送料三錢　第三卷第十號　植民地の農業問題　定價四十錢　送料一錢

農林省農務課長　森　肆郎　序
農林省農事試驗技師　二瓶貞一　跋
橋本康人　著
定價三圓三十錢　內地送料三十三錢

小麥製粉と製麵

菊判特製　全一冊　紙數三百五十頁　挿圖三八五個

東京帝國大學教授　田中貞次　閱
農林省耕地課　農林技師　牧　隆泰　著
近刊豫告

農業土木學通論

新聖大判特製　全一冊　挿圖多數　中版組

〔發行所〕東京市赤坂區一ツ木町三一　合資會社　西ケ原刊行會　振替東京一二四一八番

定價　一ヶ月　九十五錢　一圓八十錢　一圓八十錢（外國郵便ニ八錢ヲ要ス）　會費特典　本誌一部ニ付　八ポイント　一行　三十錢　九ポイント五號增　一行十四字詰　二十五錢　發行所　內閣印刷局　東京市麹町區大手町　電話丸ノ內三五一—九所　振替東京一九〇〇〇番

（本書ノ大サハ國定規格A4判）

官報

昭和十二年十月八日
第三千二百三十一號　金曜日

目次抄錄

●軍令　陸軍順位令　二三五
●省令　郵便切手帖發行　二三六
●局令　關東廳廣告郵便所　二三六
長短波用規則中改正　二三六
關東州ニ於ケル獸疫ニ關スル件　二三六
昭和二年勅令第二百六十七號施行ニ關スル件　二三六
●告示　名古屋郵便局計算會設置等ニ關スル件　二三六
●官廳事務ノ報告　二三七
●官吏ノ進退　二三七
●叙任及辭令　二三七
●敍勳　二三七
私設無線電信無線電話ニ關スル件　二三七
公主嶺農事試驗場特別會計歲入歲出豫算中改正　二三七
在外公館報告ノ「セメント」輸入制限令廢止　二三七
其他　二三七
●告示　北支事變ニ際シ管內在住民ノ日滿一體共同防衛ノ爲必要ナル事項ヲ定ム　二三七
●敍勳　二三七
「スラダアイ」國新聞關係者ニ勳章ヲ贈與ス　二三七

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

軍令

陸軍順位令ヲ制定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名　御璽

昭和十二年十月六日

陸軍大臣　杉山　元

軍令陸第六號

陸軍順位令

第一條　現役ノ武官（待命、休職又ハ停職ノ武官ヲ除ク以下之ニ同ジ）及應召シタル豫備役、後備役又ハ退役（國民兵役ヲ含ム以下之ニ同ジ）ノ武官竝ニ士官候補生（本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外現役ノ見習士官、軍醫候補生、幹部候補生及操縱候補生ヲ含ミ士官候補生、幹部候補生又ハ操縱候補生ニ在リテハ兵ノ階級ニ在ル者ヲ除ク以下之ニ同ジ）、少尉候補者及應召シタル豫備役又ハ後備役ノ見習士官ニシテ實役又ハ將校ノ勤務ニ服スル者ノ順位ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外本令ニ依ル

第二條　現役ノ武官及應召シタル豫備役、後備役又ハ退役ノ武官ノ順位ハ官等ノ順序ニ依ル

第三條　官等ヲ同ジクスル現役ノ武官ノ順位ハ當該官等ニ於ケル實役停年ノ多キ者ヲ上位トシ實役停年ヲ同ジクスル場合ニ於テハ任命ノ日ノ前後ニ依リ其ノ前後ナキトキハ任命ノ列序ニ依ル

第四條　應召シタル豫備役、後備役又ハ退役ノ武官ノ順位ハ應召ノ日ニ於テ官等ヲ同ジクスル現役ノ武官ノ下位トシ官等ヲ同ジクシテ同日ニ應召シタル豫備役、後備役又ハ退役ノ武官ノ役種ノ區分ニ依ル順位ハ本記載ノ順序ニ依リ其ノ各役種毎ノ順位ハ當該官等ニ於ケル實役停年ノ多キ者ヲ上位トシ實役停年ヲ同ジクシ又ハ實役停年ヲ有セザル場合ニ於テハ任命ノ日ノ前後ニ依リ其ノ前後ナキトキハ任命ノ列序ニ依ル

應召シタル豫備役、後備役又ハ退役ノ武官ニシテ同時ニ召集又ハ平時部隊ニ於ケル武官ノ勤務ヲ命ゼラレタル者ハ應召ノ日ノ前後ニ拘ラズ同日ニ應召シタル者ト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

第五條　應召シタル豫備役、後備役又ハ退役ノ武官ノ順位ハ其ノ應召ノ日又ハ應召中ニ於ケル進級ノ日以後ニ同級ノ官ニ任命セラレタル現役、豫備役、後備役又ハ退役ノ武官及官等ヲ同ジクシテ新ニ應召シタル豫備役、後備役又ハ退役ノ武官ノ上位トス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條　應召シタル豫備役、後備役又ハ退役ノ武官ノ順位ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ陸軍大臣ノ取扱フ命課（之ニ準ズルモノヲ含ム）ニ依リ其ノ隸下ニ屬セラレタル同官等ノ現役、豫備役、後備役又ハ退役ノ武官ノ上位トス

第七條　現役ノ武官又ハ應召シタル豫備役、後備役若ハ退役ノ武官ノ日ヲ同ジクシテ同級ノ官ニ任命セラレ引續キ現役ニ服シ又ハ應召スル場合ニ於ケル順位ハ任命ノ列序ニ依ル

第八條　現役ノ武官又ハ應召シタル豫備役若ハ後備役ノ武官ノ轉役後尚引續キ同官等ニテ應召スル場合ニ於テハ其ノ順位ニ變更ナキモノトス

第九條　現役ノ見習士官、少尉候補者及應召シタル豫備役又ハ後備役ノ見習士官ニシテ將校ノ勤務ニ服スル者ノ順位ハ准士官ノ上位トス但シ幹部候補生又ハ操縱候補生ノ見習士官ニシテ陸軍補充令第六十二條ノ三又ハ同令第百十六條ノ規定ニ依リ將校ノ勤務ニ服スル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ場合現役ノ見習士官、少尉候補者相互ノ順位及現役ノ見習士官又ハ少尉候補者毎ノ順位ハ將校ノ勤務ニ服シタル日ノ前後ニ依リ應召シタル豫備役又ハ後備役ノ見習士官ト現役ノ見習士官又ハ少尉候補者トノ順位、應召シタル豫備役又ハ後備役ノ見習士官ノ役種ノ區分ニ依ル順位、其ノ各役種毎ノ順位等ニ關シテハ第四條、第五條及第八條ノ規定ヲ準用ス

第十條　實役ニ服スル士官候補生（見習士官タル者ヲ除ク）ノ順位ハ相當官等ノ武官ノ上位トス

前項ノ場合階級ヲ同ジクスル士官候補生、幹部候補生（操縱候補生ヲ含ム本條中以下之ニ同ジ）ノ種類ノ區分ニ依ル順位ハ本記載ノ順序ニ依リ士官候補生又ハ幹部候補生毎ノ順位ハ實役ニ服シタル日ノ前後ニ依ル

第十一條　前數條ノ規定ニ依ルノ外官等又ハ階級ヲ同ジクスル者ノ列序又ハ一連ノ列序ヲ附セザル場合ニ於ケル順位ハ必要ニ應ジ部隊長適宜之ヲ定ムルコトヲ得

第十二條　實役又ハ將校ノ勤務ニ服セザル場合教育、演習等ノ必要アルトキハ士官候補生（陸軍補充令第六十二條ノ三又ハ同令第百十六條ノ規定ニ依リ將校ノ勤務ニ服スル幹部候補生又ハ操縱候補生ノ見習士官ヲ含ム）ニ在リテハ相當官等ノ武官ノ上位、下士官タル少尉候補者ニ在リテハ曹長ノ上位トシテ之ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ場合士官候補生ハ階級ヲ同ジクスル幹部候補生又ハ操縱候補生ノ上位トシテ之ヲ取扱フコトヲ得

第十三條　本令ニ規定スル實役、實役停年、召集及應召ニ付テハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一　士官候補生ノ實役ト稱スルハ兵役法施行令第六條第二項ニ規定スル現役ノ實役ヲ謂フ

二　實役停年ニハ待命、休職又ハ停職ノ期間ハ之ヲ除キ應召ノ期間ハ之ヲ含ミ兵科部ヲ轉ジタル武官ニ在リテハ其ノ轉ズル前ニ於ケル同級ノ官ノ實役停年ヲ通算ス

現役ノ見習士官、少尉候補者及應召シタル豫備役又ハ後備役ノ見習士官ノ將校ノ勤務ニ服シタル期間及士官候補生（見習士官タル者ヲ除ク）ノ實役ニ服シタル期間ハ當該官等又ハ階級ニ於ケル實役停年ト看做ス但シ幹部候補生又ハ操縱候補生ノ見習士官ノ陸軍補充令第六十二條ノ三又ハ同令第百十六條ノ規定ニ依リ將校ノ勤務ニ服シタル期間ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

三　召集ニハ勤務演習ノ爲ノ召集ハ之ヲ除キ陸軍補充令第六十二條ノ三ノ規定ニ依ル召集ハ之ヲ含マザルモノトス

四　應召ト稱スルハ豫備役、後備役又ハ退役ノ武官及豫備役又ハ後備役ノ見習士官ノ召集ニ應ジ又ハ平時部隊ニ於テ武官ノ勤務ニ服スルヲ謂フ

附　則

本令施行ノ際現ニ部隊長等ニ於テ順位ヲ定メタル者ニ付テハ當分ノ內本令ニ依ラザルコトヲ得

省令

◉遞信省令第八十六號

昭和十二年十月十六日ヨリ左ノ郵便切手帖ヲ發行ス

昭和十二年十月八日

遞信大臣　永井柳太郎

二錢切手　四十枚　一冊賣價金八十錢
四錢切手　二十枚　一冊賣價金八十錢

局令

◉關東局令第七十二號

關東都督府郵便所長採用規則中左ノ通改正ス

昭和十二年七月二十二日

滿洲國駐箚特命全權大使　植田　謙吉

「關東都督府郵便所長採用規則」ヲ「關東遞信官署郵便所長採用規則」ニ改ム

第一條中「關東都督府郵便所長」ヲ「關東遞信官署郵便所長以下郵便所長ト稱ス」ニ改ム

同條第三號中「關東都督府通信管理局長」ヲ「關東遞信官署遞信局長以下遞信局長ト稱ス」ニ改ム

同條第四號及第四條中「關東都督府通信管理局長」ヲ「遞信局長」ニ改ム

第二條及第三條中「關東都督府郵便所長」ヲ「郵便所長」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◉關東局令第七十三號

關東州ニ於ケル航空ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十二年七月二十二日

滿洲國駐箚特命全權大使　植田　謙吉

第一條　航空法第三條第三項ノ規定ニ依リ左ノ航空機ヲ指定ス

滑空機

第二條　航空法第二十三條ノ二第一項ノ飛行場豫定地ハ現地ニ於テ表示スルノ外關東局局報ヲ以テ之ヲ公示ス

附　則

本令ハ昭和十二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

◉關東局令第七十四號

昭和二年勅令第二百六十七號施行ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十二年七月二十二日

滿洲國駐箚特命全權大使　植田　謙吉

第一條　昭和二年勅令第二百六十七號及昭和十二年關東局令第七十三號施行ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外左ノ規則ニ依ル但シ同規則中日本國內トアルハ關東州內、日本トアルハ關東州、關東州トアルハ內地、遞信大臣トアルハ航空法施行規則第三條、第八十六條、第八十七條、第八十八條ノ二乃至第九十條、第百十六條、第百十七條及第百十九條乃至第百二十四條ニ付テハ滿洲國駐箚特命全權大使、其ノ他ニ付テハ關東遞信官署遞信局長、地方長官トアルハ民政署長、官報トアルハ關東局局報、遞信省印トアルハ關東遞信官署遞信局印トシ航空法施行規則第二十五條ノ規定ニ依リ標示スル檢査濟記號ハ別記第一號書式ニ、滑空機規則第十條ノ規定ニ依リ標示スル檢査濟記號ハ別記第二號書式ニ依ル

一　昭和二年遞信省令第九號航空機檢査規則

二　昭和二年遞信省令第十號航空機乘員試驗規則

三　昭和二年遞信省令第十一號航空機乘員體格檢查規則

四　昭和二年遞信省令第十二號三等飛行機操縱士免許規則

五　昭和四年遞信省令第十一號航空機ノ燈火及信號竝航空機ト航空機又ハ船舶トノ衝突豫防ニ關スル件

六　昭和十二年遞信省令第四十號滑空機規則

第二條　本令ニ依リ大臣ニ提出スル書類ハ其ノ副本ヲ添ヘ關東遞信官署遞信局長ヲ經由スベシ

附　則

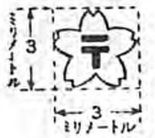
本令ハ昭和十二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和二年關東廳令第五十一號ハ本號ト同件ナリ

（第二號書式）

號記濟查檢査「プロペラ」

號記濟查檢置裝引牽



（參照）

告示

◉內務省告示第六百號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通變更シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中公園第十九號ヲ左ノ通變更シ公園第十八號ノ「面積約七万三千三百坪」ヲ「面積約五万九千五百坪」ニ改ム

公園第十九號

位置　名古屋市南區瑞穗町、師長町、彌富町

地內（別紙圖面表示ノ通）「圖面省略」

地積　約一五六（クタール）（約四七、四四五坪）

◉內務省告示第六百一號

名古屋都市計畫公園事業及其ノ執行年度割左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園事業及其ノ執行年度割

第一　名古屋都市計畫公園事業及其ノ執行年度割

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百四號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百五號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百六號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百七號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百八號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百九號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十一號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十二號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十三號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十四號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十五號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十六號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十七號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十八號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百十九號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十一號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十二號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十三號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十四號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十五號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十六號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十七號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十八號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百二十九號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三十號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三十一號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三十二號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三十三號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三十四號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三十五號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三十六號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫ノ些少ノ變更ヲ必要トスル場合ハ都市計畫愛知地方委員會ノ議ヲ經テ內務大臣限リ之ヲ變更スルコトヲ得

◉內務省告示第六百三十七號

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部中左ノ通決定シ昭和十二年九月二十八日內閣ノ認可ヲ得タリ其ノ關係圖面ハ愛知縣廳及名古屋市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十二年十月八日

內務大臣　馬場　鍈一

名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第一　名古屋都市計畫公園新設及擴築ノ部

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和十二年度　約三割三分
昭和十三年度　約四割三分三厘
昭和十四年度　約一割四分三厘
昭和十五年度　約九分三厘

第三　本計畫

◉遞信省告示第三千百二號

昭和十二年九月二十一日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「平七丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千百三號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信無線電話施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　畠山泰藏

二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號乃至第三號及第六號ニ依リ航行ノ安全、電報送受及漁獵ニ關スル通信ニ使用

三、機器裝置場所　帆船海晃丸（定繫港氣仙沼）

四、呼出符號　ＪＶＩＬ（無線電話呼出名稱海晃丸）

五、空中線電力　第一裝置　無線電信　一五〇「ワット」　無線電話　七五「ワット」　第二裝置　六〇「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數　第一裝置　A1及A2　三七五　四二五　五〇〇及一三六四kc　A3　一六五〇kc　第二裝置　A1　四一〇　六二六〇　八二八〇及一二四二〇kc

七、通信執務時間　不定

◉遞信省告示第三千百四號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信無線電話施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　無限責任長渡濱漁業協同組合

二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號乃至第三號及第六號ニ依リ航行ノ安全、電報送受及漁獵ニ關スル通信ニ使用

三、機器裝置場所　帆船第二長渡丸（定繫港石卷）

四、呼出符號　ＪＶＨＬ（無線電話呼出名稱第二長渡丸）

五、空中線電力　第一裝置　無線電信　一二五「ワット」　無線電話　六五「ワット」　第二裝置　五〇「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數　第一裝置　A1及A2　三七五　五〇〇及一三六四kc　A3　一六五〇kc　第二裝置　A1　六二一〇　八二八〇及一二四二〇kc

七、通信執務時間　不定

◉遞信省告示第三千百五號

昭和十二年九月二十四日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「東海第三福吉丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千百六號

昭和十二年九月三十日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「狐崎丸託送」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千百七號

官廳用無線電信無線電話規則第一條ニ依リ左記官廳用無線電信施設ヲ承認セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　中央氣象臺長

二、施設ノ目的　官廳用無線電信無線電話規則第一條第六號ニ依リ報時通信及氣象通信ノ受信ニ使用

三、機器裝置場所　鹿兒島縣熊毛郡上屋久村大字一湊字松山中央氣象臺屋久島測候所構内

四、通信執務時間　不定

◉遞信省告示第三千百八號

官廳用無線電信無線電話規則第一條ニ依リ官廳用無線電信施設ヲ承認セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　中央氣象臺長

二、施設ノ目的　官廳用無線電信無線電話規則第一條第六號ニ依リ報時通信及氣象通信ノ受信ニ使用

三、機器裝置場所　靜岡縣田方郡網代町字湯ヶ谷中央氣象臺網代觀測所構内

四、通信執務時間　不定

◉遞信省告示第三千百九號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　佐野川谷安太郎

二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第三號ニ依リ航行ノ安全及電報送受ニ使用

三、機器裝置場所　汽船第八桐丸（定繫港兵庫縣飾磨）

四、呼出符號　ＪＴＹＬ

五、空中線電力　一〇〇「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數　A2　三七五　四一〇　四二五及五〇〇kc

七、通信執務時間　不定

◉遞信省告示第三千百十號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　岡田勢一

二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第三號ニ依リ航行ノ安全及電報送受ニ使用

三、機器裝置場所　汽船フォートアームストロング（定繫港大阪）

四、呼出符號　ＪＥＹＺ

五、空中線電力　七五「ワット」

六、使用電波ノ型式及周波數　B　三七五　四一〇　四二五及五〇〇kc

七、通信執務時間　八時間

◉遞信省告示第三千百十一號

昭和十二年十月一日ヨリ左記郵便局ニ於テ呼出事務ヲ開始セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
菖蒲池郵便局	奈良縣生駒郡伏見村大字西大寺字アヤメ池

◉遞信省告示第三千百十二號

左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	機器裝置場所	舊施設者名	新施設者名
大正十五年十一月遞信省告示第千九百四十號	汽船鮮海丸	日魯漁業株式會社	嶋谷汽船株式會社

◉遞信省告示第三千百十三號

昭和十二年九月二十七日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	舊位置	新位置
鮮海丸無線電信取扱所	日魯漁業株式會社所屬汽船鮮海丸	嶋谷汽船株式會社所屬汽船鮮海丸

◉遞信省告示第三千百十四號

官廳用無線電信無線電話規則第一條ニ依リ左記官廳用無線電信施設ヲ承認セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　中央氣象臺長

二、施設ノ目的　官廳用無線電信無線電話規則第一條第六號ニ依リ報時通信及氣象通信ノ受信ニ使用

三、機器裝置場所　福岡縣京都郡行橋町大字行事字御藏ノ下中央氣象臺行橋觀測所構内

四、通信執務時間　不定

◉遞信省告示第三千百十五號

昭和十二年七月遞信省告示第千九百七十三號東京中央電信局ニ於テ午前九時ヨリ放送スル社團法人同盟通信社發信和文放送無線電報ノ受信人中左ノ通變更セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

昭和十二年八月三十一日限リ左記ヲ削ル

南洋廳採礦所　南洋廳　ボナペ支廳　トラック支廳　ヤップ支廳　ヤルート支廳　サイパン支廳

◉遞信省告示第三千百十六號

昭和十二年七月遞信省告示第千九百七十四號東京中央電信局ニ於テ午後六時ヨリ放送スル社團法人同盟通信社發信和文放送無線電報ノ受信人中左ノ通變更セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

昭和十二年八月三十一日限リ左記ヲ削ル

南洋廳採礦所　南洋廳　ボナペ支廳　トラック支廳　ヤップ支廳　ヤルート支廳　サイパン支廳

昭和十二年九月十日ヨリ廣海商事株式會社所屬船舶ノ部中廣進丸　廣盛丸ヲ加フ

◉遞信省告示第三千百十七號

昭和十二年七月遞信省告示第千九百七十五號東京中央電信局ニ於テ午後十時ヨリ放送スル社團法人同盟通信社發信和文放送無線電報ノ受信人中左ノ通變更セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

昭和十二年九月一日ヨリ左記ヲ加フ

南洋廳採礦所　南洋廳　トラック支廳　ボナペ支廳　ヤップ支廳　ヤルート支廳　サイパン支廳

昭和十二年九月二十日ヨリ左記ヲ加フ

日本水產株式會社所屬船舶　圖南丸　第二圖南丸

◉遞信省告示第三千百十八號

大阪遞信局ニ於テ執行スル昭和十二年十月ノ定期船舶職員試驗ニ限リ昭和七年三月遞信省告示第六百四十八號ニ拘ラズ體格檢査及筆記試驗ヲ大阪市西區江之子島上ノ町一番地大阪西郵便局舊局舍ニ於テ執行ス

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千百十九號

三重縣立四日市港第二號挂燈浮標ハ曩ニ告示（昭和十二年九月遞信省告示第二千八百三十一號參照）ノ通撤去シ假浮標ヲ代置中ノ處昭和十二年九月三十日復舊セシ旨同縣ヨリ報告アリタリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千百二十號

左記私設無線電信ハ昭和十二年八月十七日限リ廢止ノ旨屆出アリタリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所
大正十年二月遞信省告示第二百八十四號	日清汽船株式會社	汽船嵩山丸

◉遞信省告示第三千百二十一號

昭和十二年八月十七日限リ左記電信取扱所ヲ廢止セリ但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記電信局之ヲ承繼セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	承繼局
嵩山丸無線電信取扱所	日清汽船株式會社所屬汽船嵩山丸	東京中央電信局

◉遞信省告示第三千百二十二號

昭和十二年八月十七日限リ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「嵩山丸」ノ項ヲ削除セリ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

◉遞信省告示第三千百二十三號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハズ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
浦賀鴨居郵便局	神奈川縣三浦郡浦賀町大字鴨居

◉遞信省告示第三千百二十四號

昭和十二年十月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス但シ電報配達及呼出事務ヲ取扱ハズ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
山口郵便局	兵庫縣有馬郡山口村
別所郵便局	同美囊郡別所村

◉遞信省告示第三千百二十五號

昭和十二年十月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ呼出事務ヲ取扱ハズ

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
奈良元興寺郵便局	奈良市元興町
奈良東向郵便局	同東向北町
奈良舟橋郵便局	同舟橋町
奈良下御門郵便局	同下御門町

◉遞信省告示第三千百二十六號

左記郵便局ニ下記ノ日ヨリ電話交換業務ヲ開始ス

昭和十二年十月八日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	實施期日
穗別郵便局	北海道膽振國勇拂郡穗別村大字穗別市街	昭和十二年十月十二日
小澤郵便局	同後志國岩内郡小澤村	昭和十二年十月十三日
御影郵便局	同十勝國河西郡御影村	
十勝高島郵便局	同同中川郡池田町大字大森村字大森高島	
浦鄉郵便局	島根縣知夫郡浦鄉村	昭和十二年十月十五日
知夫郵便局	同同知夫村	

◉關東局告示第八十九號

昭和十二年七月十五日公主嶺農業學校ヲ昭和十年勅令第九十一號ニ依ル青年學校ノ課程ト同等以上ノ課程ヲ有スルモノト認定セリ

昭和十二年七月二十日　滿洲國駐劄特命全權大使　植田謙吉

◉關東局告示第九十號

昭和十二年七月二十日株式會社昭和製鋼所ニ對シ鞍山製鐵工場地區同社工場用地内ニ私立昭和製鋼所青年學校ヲ設置シ昭和十二年六月ヨリ開校ノ件認可セリ

昭和十二年七月二十四日　滿洲國駐劄特命全權大使　植田謙吉

◉關東局告示第九十一號

昭和十二年七月二十日限リ江西滙郵便取扱所ヲ廢止ス但シ當該郵便取扱所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ胡家屯郵便取扱所之ヲ承繼ス

昭和十二年七月二十四日　滿洲國駐劄特命全權大使　植田謙吉

告諭

◉關東局告諭第一號

今次ノ北支事變ニ際シ我ガ帝國ハ東亞全局ノ平和ト福祉ノ爲ニ其ノ不動ノ方針ニ基キ事件ノ不擴大ト現地ニ於ケル解決ヲ主トシ戰爭ノ慘禍ヨリ之ヲ救フベク所有努力ヲ拂ヒテ今日ニ至レリ

敘任及辭令

敘任

◉昭和十二年一月十三日

敘勳四等授瑞寶章

正六位勳五等　佐藤　亨一

◉昭和十二年五月八日

敘勳四等授瑞寶章

正七位勳五等　水野　圓松

◉昭和十二年八月十六日

敘勳四等授瑞寶章

從六位勳六等　新田　愼一

◉昭和十二年九月七日

敘勳三等瑞寶章

同　正五位勳三等　谷本馬太郎

敘勳四等授瑞寶章

正六位勳四等　堀　九郎

敘勳三等授瑞寶章

正六位勳五等　佐々木半

敘勳二等授瑞寶章

同　從七位勳六等　古谷重貞

敘勳六等授瑞寶章

從八位　岩内　善一

敘勳七等授瑞寶章

從七位勳七等　久山下管　正寅

◉昭和十二年十一月十三日

敘勳四等授瑞寶章

從六位勳五等　佐藤　亨一

敘勳五等授瑞寶章

正六位勳五等　佐藤　亨一

敘勳六等授瑞寶章

從七位勳六等　新田　愼一

敘勳七等授瑞寶章

從八位　正

從七位勳七等　松井　善一

叙任

◉昭和十二年一月十三日

叙勲四等瑞宝章

正六位勲五等　佐藤　亨一

◉昭和十二年五月八日

叙勲四等瑞宝章

正七位勲五等　水野　圓松

◉昭和十二年八月十六日

叙勲四等瑞宝章

從六位勲六等　新田　愼一

◉昭和十二年九月七日

叙勲三等瑞宝章

同　正五位勲三等　谷本馬太郎

叙勲四等瑞宝章

正六位勲四等　堀　九郎

叙勲三等瑞宝章

正六位勲五等　佐々木半

叙勲二等瑞宝章

同　從七位勲六等　古谷重貞

叙勲六等瑞宝章

從八位　岩内　善一

叙勲七等瑞宝章

從七位勲七等　久山下管　正寅

◉昭和十二年十一月十三日

叙勲四等瑞宝章

從六位勲五等　佐藤　亨一

叙勲五等瑞宝章

正六位勲五等　佐藤　亨一

叙勲六等瑞宝章

從七位勲六等　新田　愼一

叙勲七等瑞宝章

從八位　正

從七位勲七等　松井　善一

敘任及辭令

敘任

◉昭和十二年一月十三日

敘勳四等瑞寶章

正六位勳五等　佐藤　亨一

◉昭和十二年五月八日

敘勳四等瑞寶章

正七位勳五等　水野　圓松

◉昭和十二年八月十六日

敘勳四等瑞寶章

從六位勳六等　新田　愼一

◉昭和十二年九月七日

敘勳三等瑞寶章

同　正五位勳三等　谷本馬太郎

敘勳四等瑞寶章

正六位勳四等　堀　九郎

敘勳三等瑞寶章

正六位勳五等　佐々木半

敘勳二等瑞寶章

同　從七位勳六等　古谷重貞

敘勳六等瑞寶章

從八位　岩内　善一

敘勳七等瑞寶章

從七位勳七等　久山下管　正寅

◉昭和十二年十一月十三日

敘勳四等瑞寶章

從六位勳五等　佐藤　亨一

敘勳五等瑞寶章

正六位勳五等　佐藤　亨一

敘勳六等瑞寶章

從七位勳六等　新田　愼一

敘勳七等瑞寶章

從八位　正

從七位勳七等　松井　善一

社會事業主事 井上 理
滿洲國ヘ出張ヲ命ス(十月七日内務省)
土木技師兼道路技師 村上 正
岩手縣土木技師兼岩手縣道路技師ニ補ス
同 岸 耕次郎
廣島縣土木技師兼廣島縣道路技師ニ補ス
社會事業主事 綿貫 正次
埼玉縣社會事業主事ニ補ス
同 中野 不二男
鹿兒島縣社會事業主事ニ補ス
岐阜市會議員 宮崎 英憲
同 辻 清吉
同 玉井 幸八郎
同 篠田 作次郎
同 早川 光治郎
同 安藤 由治郎
(各通)
都市計畫岐阜地方委員會委員ヲ命ス(以上十月七日同)
海軍技師 武井 彌八
同 雲野 陶藏
(各通)
賜二級俸(十月七日海軍省)
新潟醫科大學助教授 伊藤 辰治
本俸九級俸下賜(十月七日文部省)
文部事務官 佐野 朝男
七級俸下賜
教育調査部勤務ヲ命ス
公立實業學校教諭 菊池 節郎
香川縣立坂出商業學校教諭ニ補ス
同 岡 壽彦
佐賀縣立有田工業學校教諭ニ補ス
公立青年學校教諭 佐藤 精作
庵原村立青年學校教諭ニ補ス
同 飯田 松意
靜岡市立賤機南青年學校教諭ニ補ス
同 戸塚 銑二
靜岡市立西豐田青年學校教諭ニ補ス(以上十月七日同)
關東海務局理事官 吉村 順之
關東海員審判所審判官ヲ命ス

關東局事務官 塩谷 末吉
同 石橋 美之介
同 蠟川 久太郎
同 荒木 和成
同 森岡 謹一郎
同 堀川 源太郎
關東法院判官 高橋 文明
同 平井 孝雄
關東法院檢察官 米田 之雄
同 西海枝 信隆
關東中學校教諭 進藤 千秋
同 齋藤 志鐵
同 谷口 忠夫
同 橋田 義壽
同 前田 正治
同 柴野 護夫
同 清野 謙藏
同 水田 修一郎
同 須藤 半六
同 大坪 隆良
同 中澤 儀三郎
同 北島 濟
同 近藤 韜藏
同 山田 吉久
大連商業學校教諭 田内 繁盛
(各通)
關東局普通試驗臨時委員ヲ免ス(以上十月七日關東局)
關東輸出農産物檢査所技師 蘆澤 清見
八級俸下賜
補關東輸出農産物檢査所長
關東局産業技師 浦江 八百穎
九級俸下賜
關東種馬所勤務ヲ命ス
旅順工科大學教授 城野 和三郎
關東局在外研究員ヲ命ス(以上十月七日同)
關東植物檢査所技師 近藤 鐵馬
九級俸下賜
補關東植物檢査所長

關東遞信官署遞信技師 松本 美行
八級俸下賜
遞信局勤務ヲ命ス(以上十月七日同)
關東局警視 末光 高義
奉天警察署勤務ヲ命ス
警察官練習所教官兼務ヲ命ス
同 楠田 修
新京警察署勤務ヲ命ス
警察官練習所教官兼務ヲ命ス(以上十月七日同)
社會事業主事 井上 淸四郎
十級俸下賜
道府縣立少年教護院教諭 木庄 彝
五級俸下賜
同 田中 藤左衛門
六級俸下賜(以上十月七日京都府)
公立中學校教諭 關 有禪
昭和十二年九月一日ヨリ年功加俸年額金貳百五拾貳圓下賜(十月七日兵庫縣)
公立中學校教諭 森戸 登
七級俸下賜(十月二日山形縣)
地方農林技師 松本 鷺
十一級俸下賜(十月三日秋田縣)
地方商工技師 寺田 元吉
九級俸下賜(十月七日富山縣)
道路技師兼土木技師 杉村 誠之介
八級俸下賜(十月八日山口縣)
學校營繕技師 岩崎 延雄
十級俸下賜(十月二日同)
地方農林技師 佐伯 宇一郎
八級俸下賜
同 鹽見 豐一
同 荒牧 紀一
(各通)
九級俸下賜(以上十月三日同)
地方農林技師 藤 哲夫
十級俸下賜(十月三日和歌山縣)
公立實業學校教諭 木下 彌一
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年五月十日ヨリ年功加俸年額金百九拾貳圓下賜

公立中學校教諭 壺田 靖孝
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年九月十八日ヨリ年功加俸年額金九拾六圓下賜
師範學校教諭 西岡 榮香
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年九月二十三日ヨリ年功加俸年額金百四拾四圓下賜(以上十月三日同)
衛生技師 日野 太郎
十一級俸下賜(十月三日愛媛縣)
公立實業學校長 貫名 基
三級俸下賜(十月二日佐賀縣)

正誤

去月二十日本欄五三六頁三段堀江敏一ノ敍任日附「八月二十七日」ハ「八月二十二日」ノ報告誤
内閣書記官
去月二十一日本欄五七三頁一段堀江敏一ノ敍位日附「八月二十七日」ハ「八月二十二日」ノ報告誤
宮内事務官
本月四日本欄一〇四頁一段村田幸之助ノ辭令文中「免ス」ハ「命ス」ノ報告誤
内務書記官

宮廷錄事

◉**勅使皇后宮使並皇太后宮使** 故多嘉王靈代安置ノ儀ニ付一昨六日午後七時四十分勅使トシテ侍從伯爵甘露寺受長ヲ皇后宮使トシテ皇后宮事務官入江相政ヲ皇太后宮使トシテ皇太后宮事務官清閑寺良貞ヲ京都久邇宮別邸ヘ差遣サレ各玉串ヲ供セシメラレタリ

故多嘉王斂葬當日柩前祭ノ儀ニ付昨七日午前七時三十五分勅使トシテ侍從伯爵甘露寺受長ヲ皇后宮使トシテ皇后宮事務官入江相政ヲ皇太后宮使トシテ皇太后宮事務官清閑寺良貞ヲ京都久邇宮別邸ヘ差遣サレ各玉串ヲ供セシメラレタリ

故多嘉王葬送ニ付昨七日午前九時五十分勅使トシテ侍從伯爵甘露寺受長ヲ皇后宮使トシテ皇后宮事務官入江相政ヲ皇太后宮使トシテ皇太后宮事務官清閑寺良貞ヲ葬齋場ヘ差遣サレ各玉串ヲ供セシメラレタリ

彙報

○官廳事項

◉**パラグァイ國新政府承認** 本年八月十一日パラグァイ國ニ發生セル政變ノ結果同十三日大統領ラファエル、フランコ辭任シ同十七日フェリス、パイバ臨時大統領ニ就任シ同日新政府成立シタルカ帝國政府ハ本月一日同政府ヲ事實上ノ政府トシテ承認セリ

◉**官吏改姓** 司法官試補式庄秀慧ハ今般中田ト改姓ノ旨本月四日附屆出テタリ

◉**退職** 東京府公立小學校長齋藤又三郎ハ去月二十四日、北海道公立小學校長大西千代三郎ハ同三十日孰モ願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ

◉**敍位取消** 正八位上妻理記ハ去月十五日附正八位ニ敍セラレタル處昨七日該敍位ハ取消サレタリ

◉**大禮記念章褫奪** 勳章褫奪令第二條第一項第一號及第六條ニ依リ大禮記念章ヲ褫奪セラレタル者左ノ如シ 氏名ノ下ニ在ル數字ハ褫奪ノ年月日ナリ

大禮記念章(大正、昭和) 稲村 要八(昭和一二、一〇、二)

○監獄

◉**受刑者罪名別** 昭和十二年八月末日現在受刑者罪名別左ノ如シ(△印ハ減)(司法省)

罪名	男	女	計	前月末日現在	前年同月末日現在	增減 前月比較	增減 前年比較
竊盜	二八、一三九	二七五	二八、四一四	二八、七三三	二九、四四一	△三一九	△一、〇二七
強盜	三、四八〇	六	三、四八六	三、五一六	三、四七三	△三〇	一三
賭博及富籤	四九八	三	五〇一	五九五	七一〇	△九四	△二〇九
詐欺及恐喝	五、二七九	六八	五、三四七	五、四九一	五、六七八	△一四四	△三三一
横領	一、六六二	三	一、六六五	一、六八九	一、七五〇	△二四	△八五
贓物ニ關ス	三九四	四	三九八	四一四	四〇五	△一六	△七
通貨僞造	八九	一	九〇	九二	一〇六	△二	△一六
文書、印章、有價證券僞造	五七七	五	五八二	六〇三	六三〇	△二一	△四八
僞證及誣告	二九	―	二九	三四	二四	△五	五
瀆職	四二	―	四二	四四	五八	△二	△一六
傷害	一、二二八	八	一、二三六	一、二三五	一、二八九	一	△五三
殺人	二、四九四	八九	二、五八三	二、五九八	二、五四〇	△一五	四三
嬰兒殺	二六	二二	四八	四五	三八	三	一〇
墮胎	七	六	一三	一七	二六	△四	△一三
猥褻姦淫及重婚	七〇六	八	七一四	七二七	六八二	△一三	三二
逃走、犯人藏匿及證憑湮滅	五	―	五	五	七	〇	二
皇室ニ對ス	九	―	九	八	四	一	五
公務執行妨害	二二	―	二二	二二	二五	〇	△三
騷擾	九	―	九	一〇	二	△一	七
放火	二、〇四一	二〇一	二、二四二	二、二六七	二、四三四	△二五	△一九二
住居ヲ侵ス	三二一	―	三二一	三二三	四〇二	△二	△八一
略取及誘拐	二四六	五	二五一	二六一	二一七	△一〇	三四
其他	一七三	三	一七六	一八六	一八八	△一〇	△一二
計	四七、四七六	七〇七	四八、一八三	四八、九一五	五〇、一二九	△七三二	△一、九四六
陸海軍刑法	八三	―	八三	七九	六一	四	二二
兵役法	三	―	三	二	三	一	〇
森林法	七	―	七	八	二四	△一	△一七
選擧法	四一九	―	四一九	五八九	五五一	△一七〇	△一三二
新聞紙法及出版法	三	―	三	二	四	一	△一
治安警察法	―	―	―	―	―	―	―
治安維持法	二三六	六	二四二	二五八	三九六	△一六	△一五四
暴力行爲等取締處罰規程	四七	―	四七	五五	一〇四	△八	△五七
爆發物取締罰則	三四	一	三五	三五	四二	〇	△七
銃砲火藥類取締規則	七	―	七	七	二六	〇	△一九
警察犯處罰令	一〇四	八	一一二	一二八	一二九	△一六	△一七
廳府縣令及警察令	一一	一	一二	一八	三六	△六	△二四
其他	二八三	一	二八四	二七八	二七一	六	一三
計	一、二三七	一七	一、二五四	一、四五九	一、六四七	△二〇五	△三九三
總計	四八、七一三	七二四	四九、四三七	五〇、三七四	五一、七七六	△九三七	△二、三三九

○警察

◉**敎職死去** 大阪府公立小學校長從七位堀義夫ハ去月十六日死去セリ

◉**豫約出版屆出** 豫約出版法ニ依リ本月二日警視廳ヘ豫約出版ヲ屆出テタルモノ左ノ如シ(警視廳)

題號 物語東洋史
著作者 中山久四郎外三名
發行者 株式會社雄山閣 取締役社長長坂金雄
發行所 東京市麹町區富士見町二丁目八番地株式會社雄山閣
著手年月日 昭和十二年十月十三日

題號 陶器圖錄
著作者 小山富士夫外一名
發行者 株式會社雄山閣 取締役社長長坂金雄
發行所 東京市麹町區富士見町二丁目八番地株式會社雄山閣
著手年月日 昭和十二年十月十三日

○陸海軍

◉**陸軍兵器本廠移轉** 陸軍兵器本廠ハ本月十日東京市赤坂區青山南町一丁目ニ移轉シ同日ヨリ事務ヲ開始ス(陸軍省)

◉**生徒採用豫定者** 昭和十二年度陸軍戸山學校軍樂生徒採用豫定者氏名左ノ如シ(陸軍省)

松村 晶治　吉田 寅吉　小林 正道
田島 四郎　木林 靜雄　吉川 鶴雄
藤原 末夫　清水 榮一　市角 源一
坂井 了一

◉**候補者卒業** 陸軍野戰砲兵學校下士官候補者左記八十四人卒業セリ ×印ハ成績優等ニ付教育總監ヨリ銀時計一箇ヲ授與セラレタリ(陸軍省)

陸軍砲兵上等兵 ×河村 士良　同 中嶋 清
同 宮野 文雄　同 男鹿 實
同 村田 靜　同 勝又 正彥
同 齋藤 淸　同 前田 義雄
同 坂本 榮　同 細井 壽治
同 大口 兼一　同 田口 治祐
同 天沼 喜久三　同 小林 吉成
同 齋藤 宗春　同 玉井 四之助

同 田原數人	同 柳澤周一郎
同 三上禎三	同 田村一郎
同 大八木常造	同 南讓
同 尾崎金作	同 苅谷章
同 小出寅之助	同 辻由三
同 川崎正巳	同 長谷川寅三郎
同 小泉啓二	同 細田一
同 坂寅三	同 佐久間忠博
同 渡邊惣治	同 蛭子隆夫
同 宮本貞治	同 赤沼國光
同 内田森吉	同 藤井利井
同 渡邊正善	同 小菅恭正
同 波多野孟尾	同 富田精吉
同 辻野一郎	同 堀込己一
同 酒巻信治	同 久保田武雄
同 菊地信男	同 石原正七
同 宮本巖	同 成澤剛
同 ×眞野勉	同 田口幸一
同 佐々木纘	同 牧野孝
同 太田鈴一	同 中田寛
同 市川時信	同 嶋津賢輔
同 山田義雄	同 鈴木利美
同 林茂之	同 市原由彦
同 藤本隆春	同 松村美津三
同 林武	同 渡邊八太郎
同 小川諒	同 臼井晴明
同 高原巖	同 石井勤
同 中川益次	同 中村安次郎
同 樋口纘	同 平井信之
同 白相諒三	同 片岡壽一
同 濱正人	同 小林一郎
同 田中義夫	同 齋藤奎次
同 角川紋右衛門	同 後藤清一
同 石井安雄	同 佐藤守一

○學事

◉熊本高等工業學校規則中改正　熊本高等工業學校ニ於テ同校規則中左ノ通改正セリ（文部省）

第十章ヲ左ノ通改ム

第十章　工業技術員養成科

第六十條　中學校ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認ムル者ニシテ電氣科ニ關スル業務ニ從事セントスル者ニ對シ之ニ關スル一般的素養ヲ授ケ必要ナル技能ヲ授クルヲ以テ目的トス

第六十一條　修業期間ハ六箇月トシ昭和十二年十月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十二條　生徒定員ハ三十名トス

第六十三條　學科課程左ノ如シ

學科目＼期別	前期（自十月至十二月）每週教授時數	後期（自一月至三月）每週教授時數
修身	一	一
體操及教練	一	一
原動機	二	二
電氣理論	八	
電氣測定及器具	二	
電氣機械	四	三
電燈及電氣鐵道	二	二
發電所及變電所		三
送電及配電		四
電氣通信		四
電氣工事一般	二	二
製圖	九	九
實驗及實習	九	九
計	四〇	四〇

第六十四條　授業料及入學檢定料ハ之ヲ徵收セス

第六十五條　成績考査ニ合格シタル者ニハ工業技術員養成科修了證書ヲ授與ス

第六十六條　本規則運用ニ關スル細則ハ學校長別ニ之ヲ定ム

第六十七條　工業技術員養成科生ニハ本章ニ牴觸セサル限リ本校諸規則ヲ適用ス

從前ノ第十章ヲ第十一章第六十條ヲ第六十八條トス

附則ヲ左ノ通追加ス

附　則

第六十九條　工業技術員養成科ニ關スル改正規則ハ昭和十二年九月三日ヨリ之ヲ施行ス

◉學位授與　各大學ニ於テ學位ヲ授與セル者左ノ如シ括弧內ハ主論文ヲ示ス（文部省）

醫學博士

授與年月日	原籍	授與大學	氏名	主論文
昭和十二年九、一	大分縣	長崎醫科大學	藤木凰	（間腦ノ機能ニ關スル研究）
同	長崎縣	同	田中七郎	（眼前房局所免疫ニ關スル實驗的研究）
同　三	東京府	東京帝國大學	寺田清一郎	（乳兒脚氣、人乳中毒症竝ニ澱粉榮養障碍症脚氣型ノ血液含水量、血清蛋白量竝ニ皮膚水分親和力ニ就テ）
同	島根縣	同	加藤英市	（淋巴腺竝ニ脾臟器細胞成分注入ニ依ル腸液「リパーゼ」ノ消長ニ關スル實驗的研究）
同	山口縣	同	青柳東作	（自家全血液、血清及血球ノ腸實質內注入ニ因リテ生スル腸ノ組織學的變化ニ就キテ）
同	千葉縣	同	鈴木順爾	（こーるどそーる反應ノ本態ニ就イテ）
同	長野縣	同	丸山千里	（淋菌性疾患ノ補體結合反應ニ就テ）
同	兵庫縣	同	宮脇直一	（殺菌劑ト細菌トノ量的關係竝ニ殺菌作用ノ本態ニ關スル知見補遺）
同	大阪府	同	木下濟吉	（「パラビオーゼ」ヲ應用セル雌性性週期ニ關スル實驗的研究）
同	佐賀縣	同	金原稜光	（持續睡眠療法ノ精神乖離症ニ及ボス影響）
同	千葉縣	京城帝國大學	增田秋男	（胎便ノ血液型學的研究及ビ血清學的特異性）
同	富山縣	同	嶋崎浩	（血液凝固ニ關スル研究）
同	愛知縣	名古屋醫科大學	小笠原一夫	（牛蒡丸ノ「エーテル」及ビ水浸出物ノ有スル發育促進增強力ノ比較研究）
同	同	同	伊藤德文	（肺臟血管ノ藥理ニ關スル知見補遺）
同	同	同	佐藤是	（胃鏡ニテ觀察セル胃手術後胃炎ノ實驗的研究）
同	同	同	荻須廉	（筋肉糖原ノ研究補遺）
同	岐阜縣	同	稻川俊吉	（嫌氣性細菌（Welch氏菌）ニヨル頸部瓦斯蜂窠織炎ノ實驗的研究）
同	熊本縣	同	佐伯寬吉	（心臟筋層ノ收縮性物質ノ內部抵抗ノ變動ニ就イテ）
同	群馬縣	同	相馬重三郎	（膽汁分泌ノ生理及ビ藥理ニ關スル知見補遺）
同　七	東京府	東北帝國大學	山村道雄	（赤面恐怖症ノ精神分析學的研究）
同	鳥取縣	同	安田久	（肝臟ノ血漿蛋白及ビ其ノ膠質滲透壓調節機能ニ關スル研究）
同	宮城縣	同	齋藤守榮	（飲用酒精ノ生體ニ及ス影響ニ關スル實驗的研究）
同	兵庫縣	同	丸井琢次郎	（種々ノ肝疾患ニ於ケル腦ノ組織病理學的研究）
同　一一	東京府	東京帝國大學	田村幸雄	（頭蓋描寫圖ニ就イテ）
同	岡山縣	同	佐藤昌二	（發育期ニ於ケル日本人健體ノ體格竝機能ニ關スル研究）
同	鳥取縣	同	佐々木一豫	（動物「ヴイタミン」B及ビCノ缺乏竝ニ過剩投與ガ結核菌人工感染ニ及ボス影響ニ就テ）
同	宮城縣	同	平賀芳雄	（レックリングハウゼン氏病知見補遺）
同	大阪府	同	若井一夫	（脚氣及「ヴィタミン」B_1缺乏症竝ニ其他疾患ニ於ケル尿中「オキシプロテイン」酸量ニ就テ）
同	和歌山縣	同	奥博	（家兎橫腔內「スピロヘータ、パリダ」注入ニ因リテ生スル中樞神經系統ノ病理組織學的研究）
同	新潟縣	同	曾田長宗	（ヤコブセン氏變異性「チフス」菌種ニ關スル研究）

工學博士

授與年月日	原籍	授與大學	氏名	主論文
九、六	東京府	東京帝國大學	安倍邦衛	（地下鐵道線路に於ける線路の間隔及び隧道の大さに關する調整整備に就て）

農學博士

授與年月日	原籍	授與大學	氏名	主論文
九、六	大阪府	東京帝國大學	山林暹	（朝鮮產木材ノ識別）

◉入學許可　米澤、仙臺及濱松ノ各高等工業學校ニ於テ孰モ本月一日工業技術員養成科ニ入學ヲ許可セル者ノ氏名（五十音順）左ノ如シ（文部省）

●米澤高等工業學校

應用化學科

豬狩富士雄	石栗忠一	伊藤忠吉
今井清	上村喜之助	江渡久平
大高修	尾形俊雄	岡山精吾
小田保	菅野恒吉	木津文雄
桑原力男	小林八郎	今野正己
齋藤武夫	佐々木士郎	佐藤二郎左衛門
佐藤泰士	澤口三雄	關博
曾根大六	征矢通	高橋三郎
高橋大	武田信	筒井勉
羽生田敬男	早坂寬	藤澤清
澁部金次		

●仙臺高等工業學校

蘆立謙二郎	阿部榮一	伊深重夫
今井正德	色川誠	梅原正彥
及川勝德	大泉源吉	龜井晶
今野竹男	佐々木功人	佐々木要一郎
佐藤寬二郎	塩田道之	清水誠次
庄司三男	菅原纘	丹野重喜
千葉種助	寺崎博	富田英
永井勝郎	二瓶敏雄	長谷健治
樋口正	三浦正晴	村上要治
橫內健太郎	蓮田國男	和田正

●濱松高等工業學校

第一部

伊藤兵次	柏功	金子茂
高鍾守	佐原光三	鈴木修
鈴木宏	高橋昇	竹村睦一
富永文雄	中村眞榮	疋田秀穗
光田完美	村石良門	村上格一
森川信一		

第二部

秋鹿規義	淺井忠	飯森豊
井口牛司	河田博文	菊岡榮次郎
絹村月朗	武居稔	田中良三
富田敏正	中安茂	平木丈夫
間淵重吉	結城義雄	吉田次郎

○產業

◉獎勵金交付　自給肥料改良增產及施用改善獎勵ニ要スル費用ニ對シ昭和十二年度ニ於テ左ノ通交付スル旨本月四日指令セリ（農林省）

府縣	金額	府縣	金額
群馬	五、二五〇圓	神奈川	三、八五〇圓
富山	四、六五〇	石川	四、二〇〇
山梨	四、五五〇	岐阜	四、六〇〇
靜岡	四、五〇〇	三重	四、七〇〇
大阪	三、七五〇	兵庫	五、三五〇
德島	四、〇五〇	高知	四、二五〇
熊本	六、一〇〇	沖繩	二、〇〇〇

◉鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（商工省）

試掘權許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日
神奈川一五九	足柄下郡仙石原村、元箱根村	硫黃	一三、一〇〇坪	神奈川縣足柄下郡仙石原村 箱根溫泉供給株式會社	十二年 六、八
岐阜三、七一二	稻葉郡蘇原村、芥見村、各務村	滿俺	四三七、五五〇	名古屋市南區瑞穗町 新井菊壽	六、八
新潟一二、二五六	三島郡大積村、宮本村	石油	四七六、三〇〇	新潟縣中蒲原郡金津村 中野興業株式會社	六、八
群馬一、七八〇	利根郡古馬牧村	石炭	九三、九〇〇	東京市本鄉區駒込坂下町 沓掛純雄	六、八
同 一、七八一	同郡水上村	金、銀、銅、鐵、水鉛	七九四、〇〇〇	朝鮮京城府長谷川町 日本高周波重工業株式會社	六、八
栃木二、八四〇	芳賀郡益子町、田野村	滿俺	一四七、〇〇〇	東京市日本橋區通一丁目 中央石炭鑛業株式會社	六、八
同 二、八四一	那須郡蘆野町、福島縣西白河郡白坂村、古關村	金、銀、銅、硫化鐵	五七五、〇〇〇	同市下谷區谷中初音町 志賀貞良	六、八
長野二、四三一	小縣郡長村	石油	八四三、八〇〇	同市牛込區南榎町 三文字正平 外一人	六、九
同 二、四三二	東筑摩郡坂北村、生坂村	石炭	七六二、五〇〇	岐阜市神明町二丁目 秋庭眞男	六、九
同 二、四三三	下高井郡堺村	金、銀、銅	四六一、〇〇〇	東京市江戸川區小松川四丁目 久保田龜之助 外一人	六、九
同 二、四三四	更級郡牧鄉村	石炭	九九七、八〇〇	同市豐島區巢鴨三丁目 藤井梅治郎	六、九
同 二、四三五	下伊那郡大鹿村	金、銀、銅	六四六、六〇〇	同市京橋區寶町一丁目 昭和鑛業株式會社	六、九
山梨一、一〇五	中巨摩郡蘆安村、榊村	金、銀、銅、鉛、亞鉛	九七四、〇〇〇	同市同區銀座西六丁目 大正鑛林業株式會社	六、九
同 一、一〇六	西八代郡古關村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	六〇五、二〇〇	同市下谷區御徒町二丁目 米澤信高 外二人	六、九
茨城一、六九四	西茨城郡七會村	滿俺	九八三、七〇〇	同市澁谷區綠岡 糸川恭平	六、一〇
靜岡二、六一九	富士郡柚野村	金、銀、銅、硫化鐵	一三七、九〇〇	同市京橋區寶町一丁目 昭和鑛業株式會社	六、一〇
新潟一二、二五七	中頸城郡柿崎村、吉川村、旭村、下黒川村	石油	九九四、二〇〇	同市豐島區西巢鴨町二丁目 牛谷四郎	六、一〇
靜岡二、六二〇	富士郡大淵村	同	六六三、二〇〇	同市赤坂區青山南町 高窪喜八郎 外二人	六、一一
新潟一二、二五八	東蒲原郡揚川村、三川村、下條村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	八七八、八〇〇	同市板橋區練馬南町三丁目 中川忠夫 外一人	六、一四
長野二、四三六	上伊那郡東箕輪村	滿俺	八六八、八〇〇	長野縣上伊那郡中箕輪村 大槻茂 外一人	六、一四
同 二、四三七	諏訪郡長地村、岡谷市、東筑摩郡入山邊村	金、銀	一七七、一〇〇	東京市王子區志茂町三丁目 永井榮治 外二人	六、一四
岐阜三、七一三	武儀郡乾村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	四〇一、二〇〇	岡崎市傳馬町 岸本甚八 外二人	六、一四
愛知一、〇〇七	八名郡石卷村	金、銀、銅	二四〇、〇〇〇	靜岡縣田方郡上狩野村 內田半平	六、一六
群馬一、七八二	吾妻郡六合村	硫黃	五七三、四〇〇	東京市麴町區大手町 日本曹達株式會社	六、一六
岐阜三、七一四	加茂郡久田見村	銀、銅、鉛、亞鉛	二七九、七〇〇	岐阜縣可兒郡土之鄉村 平井信四郎	六、一六
栃木二、八四二	鹽谷郡栗山村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、砒、硫化鐵	一八一、二〇〇	栃木縣上都賀郡今市町 池田留吉	六、一六
同 二、八四三	安蘇郡飛駒村	滿俺	一一四、七〇〇	東京市神田區錦町一丁目 屋井乾電池株式會社	六、一六

在外公館報告

◉佛領印度ノ「セメント」輸入制限令延長

本件ニ關スル本月二日著パダヴィヤ駐在總領事代理發本省有吉大臣宛電報左ノ如シ（外務省）

佛領印度ニ於ケル「セメント」輸入制限令ハ本年十月一日ヲ以テ期限ト爲シ其ノ儘延長セラルルニ決セリ

◉英領印度對外及對日貿易額

本件ニ關スル本月四日著孟買駐在領事石川鷲雄發左ノ如シ（外務省）

本年八月中印度ノ對外貿易ハ輸出一億五千二百十六萬留比（ルピー）、輸入一億三千二百六十萬留比ニシテ輸出ハ前年同月ニ比シ金額ニテ四百九十萬留比、四月ヨリ八月マデノ輸出ハ五億四千七百四十萬留比ニシテ輸入ハ四千六百七十萬留比ニシテ輸出超過ハ一億五千二百七十萬留比ニシテ輸入ハ二億二千九百八十萬留比ニシテ輸出超過ハ一億五千二百七十萬留比ニシテ輸入ハ二億二千九百八十萬留比ニシテ輸出超過ハ一億五千二百七十萬留比ニシテ輸入ハ二億二千九百八十萬留比ニシテ輸出超過ハ一億五千二百七十萬留比

◉パラダヴィヤ國新內閣成立

職名	氏名	備考
大藏大臣	ヴェリスワミ・パラダヴィヤ	本年八月十七日左ノ通閣員ヲ以テ內閣ヲ組織セル旨同國外務省ヨリ通報ニ接セリ（外務省）
內務大臣	ラモンベレ・バレーデス	
交通大臣	ルイス・フレスタラ	
陸海軍大臣	ルイス・フレスタラ（兼任）	
司法大臣	アンベードアヤラ	
文部大臣	フェルドボウンベルミ	
外務大臣	セシリオ・バエス	
農業大臣	ラモン・ベレ・バレーデス	
衛生大臣	ルイス・フレスタラ	

◉國際衛生條約報告

本件ニ關シ去月二十四日在新嘉坡佛領印度支那政府衛生部長ヨリ同局ヨリ受領セル電報ノ寫ヲ左ノ通領事報告ヲ添ヘテ在佛印度支那總領事ヨリ送付シ來レリ

（內務省）

一九三七年九月二十日國際衛生條約ニ基ク報告

本月十日迄ニ新嘉坡ニ於テ左ノ通リ報告ヲ受ケタリ

ペスト　本月一日ヨリ十日迄ニ發生ナシ

コレラ　本月一日ヨリ十日迄ニ發生ナシ

痘瘡　本月一日ヨリ十日迄ニ發生ナシ

黃熱病　本月一日ヨリ十日迄ニ發生ナシ

◉全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣圧ノ部ニ印ヲ、氷點ヲ以ヘ度ヲ示ス

水量ヘ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ雨量ヲ示ス

十月五日

地名	氣壓（粍）	風向	風速（米）	氣溫（攝氏）	天氣	日水量（粍）
樺太	759.8	靜穩	1	31.8	薄曇	—
那覇	761.9	南	5	29.2	薄曇	—
鹿兒島	760.9	南南東	3	27.0	曇	7
高知	760.8	靜穩	1	22.6	雨	11
大分	758.9	靜穩	1	22.6	雨	8
多度津	758.0	靜穩	0	21.8	雨	16
廣島	759.1	北	3	19.0	雨	37
大阪	758.1	靜穩	1	22.4	雨	8
長崎	760.4	北西	6	22.2	曇	21
福岡	760.8	北西	3	20.5	雨	23
濱田	759.4	靜穩	1	19.6	雨	34
名古屋	759.3	北北西	2	18.6	雨	3
橫濱	758.6	南	4	22.3	曇	1
東京	758.3	南東	3	22.2	曇	—
銚子	758.9	南南東	5	24.5	曇	2
長野	758.8	南西	2	17.5	雨	14
前橋	759.1	北西	2	19.0	曇	3
宇都宮	758.9	靜穩	1	17.6	曇	6
福島	759.7	北北東	2	17.0	雨	4
酒井	757.8	靜穩	1	18.0	雨	26
新潟	758.8	南	4	18.3	雨	9

觀象

◉初霜

觀測所名	天氣	十本年初日 十月六日	六昨年初日 早シ	三平年初日 晩シ
札幌	晴			
函館	晴			
青森	晴			
秋田	晴			
山形	晴			
福島	晴			
水戸	晴			
宇都宮	晴			
前橋	晴			
熊谷	晴			
銚子	晴			
東京	晴			
甲府	晴			
長野	晴			
新潟	晴			
金澤	晴			
福井	晴			
岐阜	晴			
名古屋	晴			
津	晴			
彦根	晴			
京都	晴			
大阪	晴			
神戸	晴			
和歌山	晴			
鳥取	晴			
松江	晴			
岡山	晴			
廣島	晴			
山口	晴			
德島	晴			
高松	晴			
松山	晴			
高知	晴			
福岡	晴			
佐賀	晴			
長崎	晴			
熊本	晴			
大分	晴			
宮崎	晴			
鹿兒島	晴			
那覇	晴			

地名	氣壓	風向	風力	氣溫	天氣	降水量
秋田	757.0	南東	5	19.5	曇	29
石巻	759.0	北	2	16.3	雨	3
盛岡	759.7	南	3	14.5	雨	3
青森	758.3	西北西	4	10.0	曇	3
函館	759.5	東南東	4	16.1	雨	3
札幌	760.6	東	2	11.9	雨	13
旭川	760.6	靜穏	0	11.6	曇	20
根室	761.1	東南東	7	13.4	曇	23
大泊	760.8	南南西	5	12.1	晴	1
釜山	761.0	北北西	6	23.2	曇	—
仁川	761.4	北西	2	20.5	快晴	—
元山	758.7	西	6	19.9	晴	—
城津	757.0	南南西	6	10.3	晴	—
新義州	761.7	北西	5	17.8	快晴	—
大連	763.1	北西	8	18.5	快晴	—
奉天	769.8	北西	5	14.0	晴	—
新京	759.7	西	3	9.2	曇	4
天津	765.7	北	6	20.0	快晴	—
青島	—	—	—	—	—	—
上海	768.4	北東	3	22.9	雨	—

◉東京氣象

十月五日　天氣概況　曇夜雨

平均氣壓（海面ノ度）	七五八・七粍	日照時間	〇・四時
平均氣溫	二〇・六度	平均風速度	一・八米
平年ヨリ三・〇度高シ		最大風速度	四・二米
最高氣溫	二四・三度	最多風向	北
最低氣溫	一八・七度	降水總量	九・二粍
前五日間平均氣溫	一九・六度	一時間最大降水量	九・二粍
平年ヨリ一・五度高シ			
平均濕度	八七%		
平均水蒸氣張力	一五・七粍		
平均雲量	一〇・〇		

記事　朝間霧アリ、午後八時三十六分ヨリ同九時五十三分マテ雨アリタリ

（以上中央氣象臺）

土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣知事

事業ノ種類　道路改築

起業地　愛知縣愛知郡天白村、日進村地内

右公告ス

昭和十二年十月八日　内務大臣　馬場鍈一

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　青森縣知事

事業ノ種類　道路改築

起業地　青森縣南津輕郡猿賀村、田舎館村地内

右公告ス

昭和十二年十月八日　内務大臣　馬場鍈一

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　香川縣知事

事業ノ種類　道路改築

起業地　香川縣木田郡下高岡村地内

右公告ス

昭和十二年十月八日　内務大臣　馬場鍈一

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　長崎縣長崎市

事業ノ種類　學校敷地擴張

起業地　長崎縣長崎市西立神町地内

右公告ス

昭和十二年十月八日　内務大臣　馬場鍈一

正誤

去月二十八日本欄青森縣ノ部土地細目末行「四九四番ノ一」ハ「四九四番ノ二」ノ誤

青森縣書記官

廣告

◉華族世襲財産

左記華族世襲財産ハ昭和十二年九月二十七日宮内大臣其廢止ヲ認可セリ

昭和十二年十月　宮内省

●侯爵松平康昌所有　福井縣福井市錢町貳字臺彩五番一宅地一千二百八十八坪、五番二原野一段八畝二十六歩、五番三畑一段三畝二十三歩、五番四宅地百四十九坪七合五勺、參字山里一番原野二段四畝十一歩、二番原野二段一畝二十五歩、三番原野二段六畝二十歩、四番原野三段八畝歩、五番池沼九段八畝九歩、五字貳ノ丸一番三畑二段九畝二十七歩、二番西原野三段一畝二十五歩

●伯爵酒井忠正所有　東京市小石川區原町一二番一八宅地百四坪五合九勺、一二番二一宅地百七十三坪三勺

●子爵九鬼隆輝所有　兵庫縣神戸市葺合區二宮町四丁目八番一宅地七百六十五坪四合八勺、八番二宅地百十八坪三勺、八番三道路一畝歩

●子爵秋元春朝所有　朝鮮銀行株券に第四四三號乃至四四七號合計二百五十株、横濱正金銀行株券に第三四七二〇號乃至三四七三九號合計二百株、株式會社十五銀行株券に第一二三三號、は第四五五九號合計六十株、日本興業銀行株式會社株券乙第七七四一番、乙第七九一〇番、乙第八四〇〇番、乙第八四三一番、乙第八五〇〇番、乙第八九一八番、丙第三五八一番、丙第三五八三番、丙第九〇三一番、第九五六〇番合計百六十株、株式會社日本興業銀行株券已第一九六一號乃至一九七〇號合計一千株、甲種登録五分利公債く號第一八番金額五百圓、の號第一八八番金額二百五十圓、あ號第五四五番金額百圓

●子爵相良賴綱所有　熊本縣球磨郡藍田村大字七地字原畑一五番田三畝十歩

右侯爵松平康昌ノ分ハ東京市都新聞及福井市福井新聞、子爵九鬼隆輝ノ分ハ神戸市神戸又新日報、子爵相良賴綱ノ分ハ東京市都新聞及熊本市九州日日新聞其他ノ分ハ東京市都新聞ヲ以テ公告ス

◉醫籍登録

登録年月日	登録番號	本籍地道府縣名及族稱	氏名	資格	資格取得年月
昭和一二、七、一二	八五一三一	朝鮮	趙濟錫	セブランス聯合醫學專門學校	昭和一二、三
同	八五一三二	同	金振泰	同	同
同	八五一三三	山口縣	江本澄	東京女子醫學專門學校	同
同	八五一三四	長崎縣	西智惠子	同	同
同	八五一三五	島根縣	井上貞子	同	同
同	八五一三六	栃木縣	大島喜美	同	同
同	八五一三七	福岡縣	中村喜代子	大阪女子高等醫學專門學校	同
同	八五一三八	富山縣	有澤靜枝	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同
同	八五一三九	三重縣士族	木村光子	同	同
同	八五一四〇	大分縣	廣瀨正年	京都帝國大學醫學部	同
同	八五一四一	鹿兒島縣	東野正東	九州帝國大學醫學部	同
同	八五一四二	和歌山縣	吉川登代治	京都府立醫科大學	同
同 一三	八五一四三	朝鮮	朴永勳	京城帝國大學醫學部	同
同	八五一四四	埼玉縣	梅澤濱夫	東京帝國大學醫學部	同
同	八五一四五	鳥取縣	湯原昇達	東京醫學專門學校	同
同	八五一四六	東京府	竹山喜代子	東京女子醫學專門學校	同
同	八五一四七	香川縣	森川讓	大阪女子高等醫學專門學校	同
同	八五一四八	北海道士族	武藤壽郎	大邱醫學專門學校	同
同	八五一四九	岩手縣	小原一	日本大學專門部醫學科	同
同	八五一五〇	鹿兒島縣	前原裕	滿洲醫科大學	同
同 一四	八五一五一	朝鮮	朱昌濤	セブランス聯合醫學專門學校	同

登録年月日	登録番號	本籍地道府縣名及族稱	氏名	資格	資格取得年月
同	八五一五二	同	朴俊根	同	同
同	八五一五三	臺灣	林振	九州醫學專門學校	同
同	八五一五四	廣島縣	池田新泰	京城醫學專門學校	同
同	八五一五五	宮城縣	佐々木龍夫	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五一五六	石川縣	水上哲次	金澤醫科大學	同
同	八五一五七	北海道	工藤龍藏	東京醫學專門學校	同
同	八五一五八	臺灣	林大猷	日本大學專門部醫學部	同
同	八五一五九	東京府	鈴木三郎	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五一六〇	長野縣	和田元震	同	同
同	八五一六一	愛媛縣	大野友士	滿洲醫科大學	同
同	八五一六二	長野縣	吉澤好茂	同	同
同	八五一六三	和歌山縣	濱木定夫	同	同
同	八五一六四	鹿兒島縣	黒木孝志	同	同
同	八五一六五	山梨縣	五味久春	日本醫科大學	同
同	八五一六六	山口縣	岩中倪	京都府立醫科大學	同
同	八五一六七	北海道	河村節子	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同
同	八五一六八	朝鮮	兪日濬	セブランス聯合醫學專門學校	同
同 二〇	八五一六九	同	黄德英	京城帝國大學醫學部	同
同	八五一七〇	廣島縣	川口淸人	同	同
同	八五一七一	德島縣	高橋晋	同	同
同	八五一七二	福島縣	小松平八郎	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五一七三	長崎縣	荒川二六郎	滿洲醫科大學	同
同	八五一七四	栃木縣士族	辻忠雄	同	同
同	八五一七五	香川縣	岩崎堅三	同	同
同	八五一七六	鳥取縣士族	別所進	京都府立醫科大學	同
同	八五一七七	宮崎縣	出水潤吾	大阪高等醫學專門學校	同 四
同	八五一七八	石川縣士族	塚本美代子	東京女子醫學專門學校	同 三
同	八五一七九	和歌山縣	山田テル子	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同
同	八五一八〇	大阪府	桒名弥生	大阪女子高等醫學專門學校	同
同	八五一八一	埼玉縣	淺見忠衛	東京帝國大學醫學部	大正七、一二
同	八五一八二	熊本縣	岩崎信義	京城醫學專門學校	昭和一一、三
同	八五一八三	兵庫縣	船引正澄	大邱醫學專門學校	一二、三
同	八五一八四	朝鮮	康弼模	セブランス聯合醫學專門學校	同
同 二四	八五一八五	岐阜縣	別府給兄	東京帝國大學醫學部	同
同	八五一八六	富山縣	平井信一	熊本醫科大學	同 六
同	八五一八七	福岡縣	齋藤三香	日本大學專門部醫學科	同 三
同	八五一八八	岡山縣	片山秀策	昭和醫學專門學校	同
同	八五一八九	福岡縣	菊池規矩雄	九州醫學專門學校	同
同	八五一九〇	同	大森甲	平壤醫學專門學校	同
同	八五一九一	朝鮮	李允植	セブランス聯合醫學專門學校	同
同 二九	八五一九二	愛知縣士族	竹端存人	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五一九三	岩手縣	小菅俊平	日本醫科大學	同
同	八五一九四	福島縣	関康之	新潟醫科大學	同 七
同	八五一九五	同	佐藤善一郎	同	同
同	八五一九六	茨城縣	中村正	同	同
同	八五一九七	新潟縣	小島文吉	同	同
同	八五一九八	福岡縣	小野哲郎	熊本醫科大學	同 三
同	八五一九九	群馬縣	高橋照明	滿洲醫科大學	同
同	八五二〇〇	臺灣	揚張氏品	東京女子醫學專門學校	同
同	八五二〇一	高知縣士族	吉村一雄	大阪高等醫學專門學校	同
同	八五二〇二	沖縄縣	小林利雄	東京醫學專門學校	同
同	八五二〇三	廣島縣	奥保男	平壤醫學專門學校	同
同	八五二〇四	沖縄縣士族	國吉直勝	臺北帝國大學附屬醫學專門部	同
同	八五二〇五	愛知縣	富田さつき	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同
同	八五二〇六	福岡縣	友岡榮	大阪女子高等醫學專門學校	同
同 三〇	八五二〇七	德島縣	近藤須磨子	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同
同	八五二〇八	京都府	丹羽正	京城帝國大學醫學部	一一、三
同	八五二〇九	鹿兒島縣士族	肱岡國夫	同	一二、三
同	八五二一〇	佐賀縣	向井孝道	同	同
同	八五二一一	鳥取縣	谷尾嶽	昭和醫學專門學校	同
同	八五二一二	鹿兒島縣士族	星原才三	岩手醫學專門學校	同
同 八、二	八五二一三	高知縣	森木道男	京都帝國大學醫學部	同 七
同	八五二一四	群馬縣	篠田芳太郎	北海道帝國大學醫學部	同 三
同	八五二一五	長野縣	池口文男	日本大學專門部醫學科	同
同	八五二一六	石川縣士族	生沼昭一	慶應義塾大學醫學部	同
同	八五二一七	岡山縣	森野賢男	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五二一八	神奈川縣	増山忠俊	日本醫科大學	同
同	八五二一九	奈良縣	中島正夫	大阪高等醫學專門學校	同
同	八五二二〇	新潟縣	石黒龍雄	日本大學專門部醫學科	同
同	八五二二一	千葉縣士族	小林允彦	同	同
同	八五二二二	山形縣士族	須貝浩三	東京醫學專門學校	同
同	八五二二三	山口縣士族	伊佐盛三郎	平壤醫學專門學校	同
同	八五二二四	山口縣	岡本勳	大邱醫學專門學校	同 六
同	八五二二五	同	小田禮枝	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同 三
同 四	八五二二六	東京府士族	山本郁夫	東京帝國大學醫學部	八、三
同	八五二二七	福岡縣	皆川重美	熊本醫科大學	一二、六
同	八五二二八	同	龍野三郎	同	同
同	八五二二九	同	松本滿	長崎醫科大學	同 七
同	八五二三〇	同	矢澤俊雄	岩手醫學專門學校	同 三
同	八五二三一	三重縣	森下悠紀江	東京女子醫學專門學校	同
同 六	八五二三二	栃木縣	關本進	東京慈惠會醫科大學	同
同	八五二三三	鳥取縣	伊藤武	日本醫科大學	一一、三
同	八五二三四	熊本縣	水野篤男	熊本醫科大學	一二、三
同	八五二三五	千葉縣	大野愛二	滿洲醫科大學	同
同	八五二三六	新潟縣	刈屋清子	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同
同	八五二三七	東京府士族	臺平一光	北海道帝國大學醫學部	同 六
同	八五二三八	福島縣	稲葉徹	日本醫科大學	同 三
同	八五二三九	神奈川縣	中野實	同	一二、三
同	八五二四〇	北海道	伊信策	同	同
同	八五二四一	大阪府	山畑阿津二	長崎醫科大學	一二、七

同		八五二四二	富山縣士族	角尾 滋	昭和醫學專門學校	七、三
同		八五二四三	神奈川縣	吉崎 孝一	平壤醫學專門學校	一二、三
同		八五二四四	秋田縣	伊藤 貞	帝國女子醫學藥學專門學校醫學科	同
同	一二	八五二四五	岡山縣	時實 利彥	東京帝國大學醫學部	九、三
同		八五二四六	愛知縣	內藤 信一	京城帝國大學醫學部	一二、三
同		八五二四七	福岡縣	待井 精一	同	同
同		八五二四八	香川縣	木村 清	同	同
同		八五二四九	朝鮮	柳 基春	同	九、三
同		八五二五〇	愛知縣	八田 宏	名古屋醫科大學	一二、七
同		八五二五一	兵庫縣	岡本 愼一	同	同 三
同		八五二五二	石川縣	森岡 貫二	金澤醫科大學	同
同		八五二五三	熊本縣	星野 敏雄	長崎醫科大學	同
同		八五二五四	大分縣	河野 彰	滿洲醫科大學	一一、三
同		八五二五五	岡山縣士族	難波 忠經	日本大學專門部醫學科	一二、三
同		八五二五六	朝鮮	金 晋鄉	平壤醫學專門學校	同
同		八五二五七	長崎縣	廣瀬 直人	同	同
同		八五二五八	和歌山縣	竹原 淑文	大邱醫學專門學校	一一、三
同	一三	八五二五九	愛知縣士族	野田 淑子	東京女子醫學專門學校	一二、三
同		八五二六〇	廣島縣	和泉 武久	京都帝國大學醫學部	同 七

昭和十二年十月　內務省

◉公示送達

大阪府中河內郡八尾町大字八尾三〇二番地　小澤 孝三

(右ノ者ニ送達スヘキ昭和十二年八月二十日附昭和十二年意匠登錄願第五四〇一號意見書提出方通知書)

右ノ書類ハ何時ニテモ送達ヲ受クヘキ者ニ之ヲ交付スヘシ

右意匠法施行規則第十一條ノ規定ニ依リ準用スル特許法施行規則第二十一條ノ規定ニ依リ公告ス

昭和十二年十月八日　特許局

◉營業停止

東京市向島區吾嬬町東二丁目二十番地　古物商　姜 炯述
十月三日ヨリ十四日間
同市本所區堅川一丁目四番地　同　石鍋勘次郎
同四日ヨリ三十日間
同市深川區白河町三丁目三番地　同　朴 範鎬
同三日ヨリ二十日間

右古物商取締法第十四條ニ依リ各頭書ノ期間孰モ其營業ヲ停止セリ

昭和十二年十月　警視廳

◉所屬未定地編入

左記所屬未定地ヲ西牟婁郡瀬戸鉛山村ノ區域ニ編入シ本月十日ヨリ施行ス

昭和十二年十月　和歌山縣

西牟婁郡瀬戸鉛山村字小ヶ浦二七五二、二七五二ノ內一號、三二九、三二一〇ノ一地先
一公有水面埋立　三千八百二坪四合四勺

◉購買入札

一紺青　二千百瓩
昭和十三年一月二十日マテニ五回ニ標本ノ通瀧野川分室內印刷部納
一入札、契約心得書及標本閲覽場所　當部
一入札日時及場所　本月十三日午前十時當部(卽時開札)
一入札保證金　見積代金ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ニ依ル資格證明書ヲ入札前ニ提出ノコト

昭和十二年十月八日　內閣印刷局總務部

一號
木型用材(一號)　五百本
同(二號)　千本
同(三號)　二千本
同(四號)　二千本
同(五號)　千本
一、入札日時及場所　本月十八日午前十一時當支廠ニ於テ入札、卽時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ
二、入札心得書、契約書案、仕樣書、標本等關係事項ヲ必ス當支廠ニ於テ熟覽ノコト
三、入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上
四、入札者資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ニ依ル資格證明書ヲ遲クモ入札當日午前十時マテニ入札保證金ト共ニ提出スルコト

昭和十二年十月八日　廣島陸軍被服支廠

一一〇耗六五角鋼　十噸
一和紙二八三、四〇〇枚外五點
一契約條項ヲ示ス場所　當所
一入札並開札日時及場所　本月十三日午前十時當所ニ入札書差出スヘシ卽時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ
一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和十二年十月八日　小菅刑務所

一ボール紙　十七万八千枚
一寒冷紗(茶褐)　二十三万米
一契約條項ヲ示ス場所　當所又ハ西巣鴨事務所
一入札並開札日時及場所　本月十四日午前十一時當所ニ入札書差出スヘシ卽時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ
一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號資格證明アル者ニ限ル

昭和十二年十月八日　府中刑務所

一縱挽板(官行材、長一八二糎上厚二二耗七)　五、五〇〇平方米
一契約條項ヲ示ス場所　當所
一入札並開札日時及場所　本月二十一日午前十一時當所ニ入札書差出スヘシ卽時開札ス但シ郵便、電信入札差支ナシ
一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル

昭和十二年十月八日　名古屋刑務所

◉賣拂入札

一古多服(ラシャ服)外一點
古多服(ラシャ服)　七、〇〇〇着
古雨衣　六、〇〇〇着
一引渡場所　隅田川用品庫
一現品下見　本月十二日午後一時ヨリ同二時マテ
一入札並開札　本月十三日午前十一時
一入札場所　當局經理部
一公示書類　同部ニテ縱覽ノコト
一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ十以上(圓未滿切上ク)
一契約保證金　契約總代金ノ同上(同上)

昭和十二年十月八日　東京鐵道局

◉商業登記

●合資會社設立
一商號　合資會社鬼號
一本店　錦縣新立街郵政局北隣
一目的　靴製造販賣及是ニ附帶スル部分品販賣
一設立年月日　昭和十二年九月二十日
一代表社員ノ氏名　生魚慶太
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年
一解散ノ事由　商法第七十四條ニ揭ケタル事由
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金五千圓　無限　生魚慶太　錦縣新立街郵政局北隣
金二千圓　有限　吉村慶太郎　同所
金二千圓　有限　生魚トミ　同所
右昭和十二年九月二十日登記　在錦州帝國領事館

●東洋拓殖株式會社變更(支店)
一第四十一回社債總額ノ內一部償還ニ依リ昭和十二年七月二十日其社債總額ヲ左ノ如ク變更ス
第四十一回社債總額　金一百六十二万四千圓
右昭和十二年八月二日登記

●三井物產株式會社變更(支店)
一昭和十二年七月二十七日門司市門司字西海岸通六番地ノ一ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
門司市大字門司字捲橋通二番地ノ四

●朝鮮火災海上保險株式會社變更(支店)
一取締役林茂樹ハ昭和十二年七月二十日辭任ス

●株式會社滿洲モータース變更(支店)
一昭和十二年六月二十九日左者監査役ニ重任ス
岡田早苗　大連市櫻町四十番地

●合資會社設立
一商號　富士酒造合資會社
一本店　新京東五條通十七番地
一目的　和洋酒製造及販賣
一設立年月日　昭和十二年八月一日
一代表社員　木內忠達
一社員氏名住所出資ノ種類價格及責任
金五千圓　無限　木內忠達　新京東五條通十七番地
金五千圓　有限　石井林治　香川縣三豐郡財田村大字財田上三三六二番地
金五千圓　有限　篠原重藏　長野縣諏訪郡北山村大字湯川一六一番地
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年
右昭和十二年八月三十日登記

●東京火災保險株式會社變更(支店)
一監査役川崎清男ハ昭和十二年七月二十五日其住所ヲ左ニ移轉ス
東京市麻布區本村町十六番地

●新京市場株式會社變更
一取締役高田精作ハ昭和十二年七月三十一日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市聖德街五丁目百十六番地

●三和建物株式會社變更
一取締役高田精作ハ昭和十二年七月三十一日其住所ヲ左ノ所ニ移轉ス
大連市聖德街五丁目十六番地
右昭和十二年八月四日登記

●泰信無盡株式會社變更
一昭和十二年七月二十六日各株ニ付金二十五圓宛拂込ミヲ結了シ各株ニ付拂込ミタル株金額金五十圓ト變更ス
右昭和十二年八月六日登記

●支配人選任
一支配人ノ氏名住所　西岡東市　新京特別市豐樂路一三九號
一主人ノ氏名住所　長春貯金信託株式會社　同上
一支配人ヲ置キタル場所　新京特別市豐樂路一三九號
右昭和十二年八月七日登記

●合名會社設立
一商號　合名會社大澤ミシン公司
一本店　新京特別市大經路四十七號
一目的　一ミシン機械販賣竝ニ之ニ附隨スル業務一切
一設立年月日　昭和十二年八月一日
一代表社員　大澤一夫
一社員氏名住所出資種類及價格
金二千五百圓　大澤一夫　新京特別市大經路四十七號
金二千五百圓　大澤俊夫　同上
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和十二年八月九日登記

●支配人選任
一支配人ノ氏名住所　佐々木正一　新京大和通七十七番地
一主人ノ氏名住所　小西鹿藏　新京曙町二丁目二十番地
一主人ノ營業　建築金物材料販賣
一支配人ノ用ユヘキ商號　丸紀洋行
一支配人ヲ置キタル場所　新京大和通七十七番地

●支配人選任
一支配人ノ氏名住所　鴨下文雄　新京日本橋通六十二番地
一主人ノ氏名住所　勝又文彥　大連市榮町三十七番地ノ三
一主人ノ營業　洋服類ノ仕立竝ニ販賣
一支配人ノ用ユヘキ商號　大連市勝又洋服店新京出張所
一支配人ヲ置キタル場所　新京日本橋通六十二番地

●株式會社木村洋行變更(支店)
一昭和十二年七月二十日大連市西通三十五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
大連市磐城町二十番地
一同日取締役吉田太紀男ハ辭任シ左者同日取締役ニ就任ス
菊地岩雄　大連市磐城町二十番地
一同日左者監査役ニ就任ス
圷忠造　東京市澁谷區笹塚町千二百十番地

●昭和十二年七月三日當館管內ニ支店ヲ設立シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲シタリ
一商號　帝國海上火災保險株式會社
一本店　東京市麴町區大手町一丁目六番地六
一支店
大阪市東區北濱四丁目三十八番地
神戶市神戶區榮町通三丁目十三番屋敷
橫濱市中區本町四丁目三十四番地
名古屋市中區南大津町一丁目九番ノ二
京都市下京區四條通烏丸東入長刀鉾町二十番地
福岡市下西町五十番地ノ一
滿洲國新京祝町三丁目二番地
一目的　保險ノ種類及營業ノ範圍　一般ノ海上保險火災保險運送保險傷害保險自動車保險信用保險及航空保險竝ニ以上各種保險事業ヲ營ムヲ以テ目的トシ營業ノ範圍ハ日本帝國及諸外國トス
一設立年月日　明治二十六年九月二十七日
一資本總額　金一千万圓
一一株金額　金五十圓
一各株拂込額　金十二圓五十錢
一公告方法　本店所轄區裁判所ノ登記公告ヲ爲ス新聞紙ニ之ヲ揭載ス
一取締役ノ氏名住所
阿部 壽準　東京市豐島區池袋三丁目千五百六十三番地ノ一
林 季彥　東京市世田谷區大藏町千八百三十六番地ノ一
戶倉惣太郎　東京市豐島區西巢鴨二丁目二千五百二十九番地
菊地 文吾　東京市大森區新井宿四丁目千百一番地
安田善五郎　東京市牛込區余丁町一百番地
安田 一　東京府南多摩郡日野町大字豐田千八百四十七番地
三宅鎮三郎　兵庫縣武庫郡精道村蘆屋字寺田十一番地
倉田 庫太　東京市大森區桐里町五百十五番地
南 崇　東京市杉並區高圓寺四丁目五百五十五番地
一監査役ノ氏名住所
森田 南　東京市荏原區戶越町百十番地
左々田三郎　東京市京橋區築地一丁目一番地
右昭和十二年八月十日登記

●合資會社設立
一商號　合資會社カネタ製麵工場
一本店　新京特別市西四馬路二十七號
一目的　麵類製造販賣
一設立年月日　昭和十二年八月七日
一代表社員　高倉淺吉
一社員ノ氏名住所出資種類價格及責任
勞務　無限　高倉淺吉　新京特別市西四馬路二十七號
金七千圓　有限　厚海作次　新京曙町四丁目十四番地
金一千圓　有限　高倉ハナ　新京特別市西四馬路二十七號
一存立時期　昭和二十二年八月十日迄

●合資會社額一號解散
一昭和十二年八月十一日總社員ノ同意ニ因リ解散
右昭和十二年八月十二日登記

●株式會社三中井變更(支店)
一取締役中江準五郎ハ昭和十二年六月二十八日死亡ス
右昭和十二年八月十三日登記

●合名會社關名ビル變更
一社員長崎太七ハ昭和十二年八月十日其持分全部ヲ長崎太啓夫ニ讓渡シテ退社シ長崎太啓夫ハ之ヲ讓受左ノ通入社ス
金一万圓　長崎太啓夫　瓦房店昌隆街十番地
一前同日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
一淸算人ノ氏名住所　加藤庄五郎　新京特別市安達街五一〇號
右昭和十二年八月十六日登記

●昭和十二年七月二十五日當館管內ニ支店ヲ設立シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲シタリ
一商號　合資會社橫山洋行
一本店　新京富士町三丁目四番地
一支店　奉天浪速通二十七番地
一目的　一室內裝飾品毛織物敷物建築材料ノ販賣　二洋家具ノ製作竝販賣　三右ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十二年七月二十五日
一代表社員　淺田甚太郎
一社員ノ氏名住所出資種類價格及責任
金四万二千圓　無限　淺田甚太郎　奉天浪速通二十七番地
勞務　無限　前田外來也　新京富士町三丁目四番地
金一万圓　有限　淺田實　同所
金一万五千圓　有限　淺田貞　奉天浪速通二十七番地
金八千圓　有限　淺田春雄　同所
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年

●合資會社仁和祥商公司解散
一昭和十二年八月十二日總社員ノ同意ニ因リ解散
一淸算人氏名住所　瀨下金　新京蕗菜町一丁目九番地
右昭和十二年八月十七日登記

●合資會社設立
一商號　合資會社小河商行
一本店　公主嶺敷島町一丁目五番地
一目的　特產物竝ニ雜貨賣買及之ニ附帶スル業務一切
一設立年月日　昭和十二年八月十五日
一代表社員　小河元治
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金一万五千圓建物西樓此價格國幣三万圓　無限　小河元治　公主嶺敷島町一丁目五番地
金五千圓　有限　小河せい　同所
一存立時期　設立ノ日ヨリ二十箇年

●合資會社設立
一商號　鮮滿興業合資會社
一本店　新京東一條通三十二番地
一目的　朝鮮及滿洲國ニ於ケル農地開拓林業開發及同種ノ委託經營竝ニ之ニ附帶スル業務一切
一設立年月日　昭和十二年八月十日
一代表社員　尹弘變
一社員氏名住所出資ノ種類價格及責任
金二十万圓　無限　尹弘變　京城府齊洞町五十三番地
金二十万圓　無限　金廣應　忠淸南道天安郡葛田面住田里三百四十五番地
金十万圓　有限　安承參　京城府內資町二十八番地
一存立時期　設立ノ日ヨリ三十箇年

●日本火災保險株式會社變更(支店)
一昭和十二年七月十七日大阪市西區京町堀上通一丁目一番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
大阪市西區靱北通四丁目十番地ノ二
右昭和十二年八月十八日登記

◉ 産業組合登記

●二一商號新設
二一營業所移轉
二一營業種目變更
二一組合員加入
二一組合員脫退
二一組合員除名
二一組合員死亡
二一組合員住所變更
二一組合員氏名變更
二一組合員資格喪失
二一組合員資格變更
二一組合員責任變更
二一組合員出資口數增加
二一組合員出資口數減少
二一組合員出資口數變更
二一組合員出資一口金額減少
二一組合員出資一口金額增加
二一組合員出資一口金額變更
二一組合員出資一口金額一部拂込
二一組合員出資一口金額全部拂込
二一組合員出資一口金額一部拂戻
二一組合員出資一口金額全部拂戻
二一組合員出資一口金額一部譲渡
二一組合員出資一口金額全部譲渡
二一組合員出資一口金額一部譲受
二一組合員出資一口金額全部譲受
二一組合員出資一口金額一部相續
二一組合員出資一口金額全部相續
二一組合員出資一口金額一部遺贈
二一組合員出資一口金額全部遺贈
二一組合員出資一口金額一部質入
二一組合員出資一口金額全部質入
二一組合員出資一口金額一部質入解除
二一組合員出資一口金額全部質入解除
二一組合員出資一口金額一部差押
二一組合員出資一口金額全部差押
二一組合員出資一口金額一部差押解除
二一組合員出資一口金額全部差押解除
二一組合員出資一口金額一部仮差押
二一組合員出資一口金額全部仮差押
二一組合員出資一口金額一部仮差押解除
二一組合員出資一口金額全部仮差押解除
二一組合員出資一口金額一部競賣
二一組合員出資一口金額全部競賣
二一組合員出資一口金額一部競賣取下
二一組合員出資一口金額全部競賣取下
二一組合員出資一口金額一部公賣
二一組合員出資一口金額全部公賣
二一組合員出資一口金額一部公賣取下
二一組合員出資一口金額全部公賣取下
二一組合員出資一口金額一部仮處分
二一組合員出資一口金額全部仮處分
二一組合員出資一口金額一部仮處分解除
二一組合員出資一口金額全部仮處分解除
二一組合員出資一口金額一部仮差押換仮處分
二一組合員出資一口金額全部仮差押換仮處分
二一組合員出資一口金額一部仮處分換仮差押
二一組合員出資一口金額全部仮處分換仮差押
二一組合員出資一口金額一部仮差押換仮差押
二一組合員出資一口金額全部仮差押換仮差押
二一組合員出資一口金額一部仮處分換仮處分
二一組合員出資一口金額全部仮處分換仮處分
二一組合員出資一口金額一部仮差押換仮處分
二一組合員出資一口金額全部仮差押換仮處分
二一組合員出資一口金額一部仮處分換仮差押
二一組合員出資一口金額全部仮處分換仮差押
二一組合員出資一口金額一部仮差押換仮差押
二一組合員出資一口金額全部仮差押換仮差押
二一組合員出資一口金額一部仮處分換仮處分
二一組合員出資一口金額全部仮處分換仮處分
二一組合員出資一口金額一部仮差押換仮處分
二一組合員出資一口金額全部仮差押換仮處分
二一組合員出資一口金額一部仮處分換仮差押
二一組合員出資一口金額全部仮處分換仮差押
二一組合員出資一口金額一部仮差押換仮差押
二一組合員出資一口金額全部仮差押換仮差押

一理事ノ氏名住所
長瀬勝由　長野縣西筑摩郡田立村四十七番地
中越菅松　同縣同郡同村六百八十四番地八號ノ二
森一　玉藏　同縣同郡同村九百七十二番地イ號
松原關吉　同縣同郡同村千七百六十七番地
堀　作藏　同縣同郡同村二千七十八番地
一監事ノ氏名住所
大宮勘五郎　長野縣西筑摩郡田立村二百五十五番地
小清源三郎　同縣同郡同村七百九番地
小倉與司郎左衛門　同縣同郡同村千四百九十五番地
小清　忠市　同縣同郡同村千八百四十九番地
昭和十二年五月三十一日登記　木曾區裁判所讀書出張所

●有限責任杉野澤村信用購買組合變更
昭和十二年五月三日定款變更認可ニ因リ組織及名稱ヲ左ノ如ク變更ス
名稱　保證責任杉野澤村信用購買組合
組織　保證責任
昭和十二年六月三日登記　高田區裁判所關山出張所

●有限責任清水信用購買販賣利用組合變更
昭和十二年五月八日目的名稱組織及出資拂込方法ヲ左ノ通リ變更ス
一目的　一組合員ニ産業又ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト二組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト三組合員ノ生産シタル物ヲ買取リ若クハ其ノ委託ヲ受ケ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ販賣スルコト四産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若クハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト五組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト六農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲナスコト七米穀自治管理法ノ規定ニ依リ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコト
一名稱　保證責任清水信用販賣購買利用組合
一組織　保證責任
一出資拂込方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス組合員ハ前項ノ金額ヲ超テ任意ニ拂込ヲナスコトヲ得第一回ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎回金五圓以上宛臨時拂込ミ第一回拂込後一箇年以内ニ全額ヲ拂込ムモノトス
昭和十二年六月一日登記　大阪區裁判所高槻出張所

●保證責任御園酪農購買販賣利用組合變更
理事及監事全員任期滿了竝ニ理事二名増員ニ付昭和十二年四月二十日理事廣橋金三郎橋本吉太郎村上一監事橋本實藏ハ重任シ同日左ノ者新ニ就任ス
理事　寺田　金次　川邊郡園田村御園一六九番地
同　吉本　市藏　同郡同村十二番屋敷
監事　廣橋伊三郎　同郡同村百五十四番地
同　長澤　駒藏　同郡神津村口酒井北ノ丁十七番地
右昭和十二年六月三日登記　伊丹區裁判所

●有限責任[illegible]向村記念信用組合清算結了
一昭和十二年四月三十日清算結了ス
右昭和十二年六月一日登記

●保證責任[illegible]同信用販賣購買利用組合變更
一昭和十二年三月二十八日左記ノ者理事ニ就任ス
萬岡復松　奈良縣磯城郡纒向村大字巻野內二百七十四番地
太田利一　同縣同郡同村大字江包二十二番屋敷
上田信治　同縣同郡同村大字豐前百七十一番地
一監事任期滿了ノ處昭和十二年三月二十日監事松田長左衛門桐內一枝村島平三ハ各重任ス
右昭和十二年六月二日登記　奈良區裁判所櫻井出張所

●保證責任牧野信用販賣購買利用組合變更
一定款變更監事増員ニ因リ昭和十二年四月三十日左ノ者監事ニ就任ス
監事　窪　吉春　宇智郡牧野村大字釜窪七十一番地

●保證責任奈良縣信用購買販賣組合聯合會變更
昭和十二年四月二十四日左ノ者理事監事ニ就任ス
理事　阪田喜太郎　添上郡平和村大字上三橋二百一番地
監事　藤澤佐太七　磯城郡多村大字味間八百七十七番地
右昭和十二年六月三日登記　五條區裁判所

●保證責任折立信用購買組合(清算結了)
一昭和十二年四月十八日清算結了ス
右昭和十二年六月二日登記　五條區裁判所折立出張所

●保證責任高城村信用販賣購買利用組合變更
一理事補缺選任左記ノ者昭和十二年二月二十三日理事ニ就任ス
湯川雅義　和歌山縣日高郡高城村大字瀧五八八番地
一監事滿期改選及補缺選任大座重吉田中登山內由太郎櫟本詩雄ハ昭和十二年二月二十三日各重任シ左記ノ者同日監事ニ就任ス
新家磯次郎　和歌山縣日高郡高城村大字高野六二四番地

●保證責任清川村信用購買販賣利用組合移轉
一昭和十二年五月二十一日主タル事務所ヲ左ノ地ニ移轉セリ
和歌山縣日高郡清川村二二二四番地

●保證責任清川村信用購買販賣利用組合變更
一理事増員ニ因リ左記ノ者昭和十二年五月二十日理事ニ就任ス
大野喜代松　和歌山縣日高郡清川村四六一番地
右昭和十二年六月三日登記　田邊區裁判所南部出張所

●保證責任那智町信用購買組合變更
昭和十二年五月二十一日名稱ヲ保證責任那智町信用購買販賣利用組合ト變更シ目的ヲ左ノ通リ追加ス
五組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタルモノニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト
六組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
右昭和十二年六月二日登記　新宮區裁判所天滿出張所

●保證責任北山信用販賣購買利用組合更正
一理事道前勝吉ノ住所ヲ和歌山縣東牟婁郡北山村大字大沼一四二番地ト更正ス
右昭和十二年六月二日登記　新宮區裁判所九重出張所

●有限責任足代村信用販賣購買利用組合變更
昭和十二年五月二十日左ノ者理事ニ就任セリ
植端万次　三好郡足代村百七十五番地
右昭和十二年六月三日登記　脇町區裁判所辻出張所

●有限責任香川縣畜産販賣購買組合聯合會變更
左記理事監事昭和十二年六月一日重任ス
理事ノ氏名住所
井上　正一　木田郡牟禮村大字大町七百五十八番地
前川好太郎　香川郡太田村大字今里百六十九番地
臨井　泰　大川郡長尾町大字長尾五十番地
監事ノ氏名住所
淺田喜三郎　香川郡弦打村大字鄕東百二十五番地
木村　義光　大川郡鶴羽村六百九十一番地
右昭和十二年六月三日登記　高松區裁判所

●有限責任萩原村信用購買販賣利用組合變更
監事全員任期滿了ノトコロ昭和十二年二月十九日總會ニ於テ選任同年五月十五日左記ノ者就任ス
監事ノ氏名住所
三野重吉　三豐郡萩原村千三百八十八番地
右昭和十二年六月一日登記　觀音寺區裁判所豐濱出張所

●保證責任稻生村信用販賣購買利用組合更正
一昭和十二年五月二十五日錯誤發見ニ因リ理事ノ住所左ノ通更正
井上直行ノ住所　長岡郡稻生村千三百三十一番地
濱田多國ノ住所　長岡郡稻生村七百二十四番イ號地
右昭和十二年五月三十一日登記　高知區裁判所後免出張所

●有限責任在所村信用販賣購買利用組合變更
昭和十二年五月七日認可同年同月十二日組織變更ノ手續結了ニ因リ目的名稱組織出資拂込方法ヲ左ノ通リ變更セリ
目的
一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
二組合員經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
四組合ノ委託ヲ受ケ其生産シタルモノニ加工シ又ハ加工セスシテ販賣スルコト
五組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ組合員ニ賣却スルコト
六組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
七米穀自治管理法ノ規定ニ因リ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコト
名稱　保證責任在所村信用販賣購買利用組合
組織　保證責任
出資拂込方法　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓トス組合員ハ前項ノ金額ヲ超ヘテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得第一回ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年六月十月各月末迄ニ金一圓五十錢宛拂込ムモノトス組合員ハ前項ノ金額ヲ超ヘテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得
右昭和十二年五月三十一日登記　高知區裁判所韮生出張所

●保證責任土庫信用購買組合(變更)
昭和十二年五月十九日目的名稱ヲ左ノ通リ變更ス
目的　一組合員ニ産業又ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト二加入豫約者組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト三組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト四組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト五組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
名稱　保證責任土庫信用購買販賣利用組合
右昭和十二年五月二十九日登記　臺南地方法院虎尾出張所

◉住宅組合登記

●有限責任鵜見海岸住宅組合變更
一理事藤澤包太郎同石尾正又同篠原喜代造監事加藤幸七同吉屋孝明ハ昭和十二年二月二十五日重任ス
右昭和十二年六月二日登記

●有限責任鵜見海岸住宅組合變更
一理事篠原喜代造ハ昭和十一年十月一日住所ヲ左ノ如ク稱呼變更ス
住所　横濱市神奈川區入江町一丁目一二番地ノ二
右昭和十二年五月十九日登記　横濱區裁判所

●有限責任勝山住宅組合變更
一理事永田作右衛門同武二郎石村清吉ハ昭和十二年五月十六日重任ス
一監事上阪理太郎ハ同日重任シ左記ノ者同日監事ニ就任ス
前中泊之助　大阪市東成區北生野町一丁目三番地

●有限責任平野郷住宅組合變更
一理事太田菊次郎ハ昭和十二年三月三日退任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス
香高鐵雄　大阪市住吉區平野流町四百三番地
昭和十二年五月三十一日登記　大阪區裁判所

●有限責任進外九住宅組合變更
一監事木谷林藏ハ昭和十二年五月十六日死亡シタルニ付キ同年同月二十五日臨時總會ニ於テ補選ノ結果左ノ者當選同日就任ス
監事　山田吉藏　城崎郡港村津居山五十七番地ノ四
右昭和十二年六月三日登記　豐岡區裁判所城崎出張所

●有限責任富[illegible]住宅組合變更
一監事和氣貞藏ハ昭和十二年三月三日死亡ス
右昭和十二年六月一日登記　小倉區裁判所

◉森林組合登記

●森林組合設立
一名稱　三保施業森林組合
一事務所　足柄上郡三保村中川一〇六番地
一目的及事業　地區內森林ノ荒廢ヲ防止シ併セテ森林ノ利用ヲシテ國土保安ニ適合セシムルヲ以テ目的トシ其ノ事業ハ左ノ如シ
一造林二樹苗圃ノ設置三施業上必要ナル林道物ノ運搬貯藏及處理設備等ニ之カ維持四荒廢地復舊工事施行地域ノ保護管理五組合員ノ委託ニ依リ立木竹其ノ他産物ノ處分六組合員ノ施行スル立木竹ノ伐採其ノ他林産物處分ニ就テ指導監督七森林ノ保護
一設立許可ノ年月日　昭和十二年四月三十日
一出資又ハ費用ノ分擔方法　費用ハ利用區域內森林ノ評價金額ニ比例シテ各所有者之ヲ分擔ス
一地區　足柄上郡三保村一圓但シ以下記載ノ森林地ハ之ヲ除外ス
足柄上郡三保村中川九二七番地ノ一林地二〇四一町六段三畝五歩同郡同村世附九三〇番林地二八三九町二段一畝二十七歩同村玄倉五九七番山林三三〇七町八畝二四歩同村中川九二七番ノ二山林二〇四一町五段二六歩同所七〇二番森林三畝二五歩同村世附七四二番ノ二山林一段八畝四歩同村玄倉字日影山五〇一番イ山林四八町七段歩同所向澤五三二番山林三九町歩同所字立間五七四番イ山林五町歩同字五七六番ロ山林二段歩同所字玄倉川三番原野一段五畝歩同字四番原野三段歩同所字大口一〇三番原野一町歩同字一〇二番原野二段歩同字一〇四番原野二町一段歩同字一〇五番イ原野二町五畝十四歩同所字立間五七五番ハ山林八段歩同字五四八番原野五八町三段三畝十歩同所字向澤五〇二番山林四町歩同字五三三番山林四町二段歩同所字立間五六一番山林三町四畝歩同所字小畑平五八一番イ山林二町五畝一五歩同字五八五番山林一二町五段歩同所字大ノ山五八七番山林三町六段歩同所字小畑平五七九番ロ山林五段歩同字五九番ハ山林三段歩同所字立間五七六番イ山林七町八段歩同所字大ノ山五五九五番山林八町七段五畝十歩
一理事ノ氏名住所
湯川　武男　足柄上郡三保村中川三九〇番地
佐藤良之助　同所一一九番地
高橋　彌市　同所四三一番地
佐藤淺次郎　同所七二八番地
佐藤　七三　同郡同村玄倉三三〇番地
石田　隱作　同郡同村世附三六五番地
込山榮太郎　同郡同村神尾田七五二番地
一監事ノ氏名住所
井上近次郎　足柄上郡三保村中川六〇五番地ノ二
杉本伊太郎　同郡同村玄倉三〇一番地
池谷伊三郎　同郡同村世附二一番地
右昭和十二年五月十七日登記　小田原區裁判所山北出張所

●上筒香土工森林組合變更
一昭和十二年五月二十三日理事森脇岩之助紙西榮一大谷勝兵衛久保佐一大谷繁雄各重任シ左者新ニ理事ニ就任ス
紙西寅之助　和歌山縣伊都郡富貴村大字上筒香三〇四番地
一同日監事南寬一久保藤助西前常助各重任シ左者新ニ監事ニ就任ス
橋詰藤十郎　和歌山縣伊都郡富貴村大字上筒香二八五番地
右昭和十二年六月一日登記　妙寺區裁判所橋本出張所

●島之瀬土工森林組合變更
一理事補闕選任左記ノ者昭和十二年五月三十一日理事ニ就任ス
小田隆造　和歌山縣日高郡高城村大字島之瀬六七四番地ノ一
一監事滿期改選田中德松田中登船山春松ハ昭和十二年五月三十一日各重任ス
右昭和十二年六月三日登記　田邊區裁判所南部出張所

●舟原土工森林組合變更
一監事山本善三郎ハ昭和十二年五月三十日重任シ同林傳二郎ハ同日退任シ左記ノ者同日監事ニ就任ス
西畑晴治郎　和歌山縣日高郡寒川村大字串本六百七十番地

●串谷土工森林組合變更
一理事小川政右衛門杉谷市之助佐々木竹三郎ハ昭和十二年五月二十八日各重任ス
一監事中谷角次郎中谷近雄ハ同日各重任ス
昭和十二年六月二日登記　田邊區裁判所上山路出張所

●中山土工保護森林組合(變更)
一監事全員任期滿了ノ所昭和十二年五月二十六日各重任ス
右昭和十二年六月三日登記　富岡區裁判所鷲敷出張所

●小倉造林保護土工森林組合變更
一監事全員任期滿了ニ付鷲見武藏土井耕ハ昭和十二年五月二十六日重任ス
昭和十二年六月三日登記　御嵩區裁判所西白川出張所

●永野造林保護土工森林組合變更
一理事一名缺員ノ處昭和十二年五月二十日左ノ者理事ニ就任ス
横山靜六　神石郡永渡村永野二千百六十番地
一監事全員任期滿了ノ處昭和十二年五月二十日井上篤事ハ退任シ同赤木文夫妹尾一人ハ同日重任シ左ノ者同日監事ニ就任ス
横山助太郎　神石郡永渡村永野千七百十番地
昭和十二年六月二日登記　福山區裁判所福永出張所

●森林組合設立
一名稱　延段施業森林組合
一事務所　玖珂郡秋中村大字秋掛第千四十七番地
一目的及事業　森林利用上ノ困難ヲ排除スルト共ニ其ノ利用ヲシテ國土保安ニ適合セシムルヲ以テ目的トス其事業ハ森林施業森林保護森林經營林道築設
一設立許可ノ年月日　昭和十二年五月十八日
一費用分擔ノ方法　費用分擔ノ割合ハ其所有森林ノ面積ニ比例シテ定ム
一地區　玖珂郡秋中村大字秋掛字段子原區本鄕村大字本谷字延ケ原區ノ一圓トス
一理事ノ氏名住所
友定　榮吉　玖珂郡秋中村大字秋掛第千四十七番地
淺田　義雄　同所第千三百五番地
伊藤久太郎　同所第千四百番地
富士原徹照　同所第九百九十六番地
森本　正夫　同郡本鄕村大字本谷第千八百七十九番地
一監事ノ氏名住所
立川三郎　玖珂郡秋中村大字秋掛第千二十五番地
伊藤良雄　同所第千五百四番地
立川方吉　同所第百九十二番地
一存立ノ時期　ナシ
右昭和十二年六月一日登記　岩國區裁判所本鄕出張所

◉破產事件ノ配當ニ付公告

◉行旅ヒ人

◉破產事件ノ配當ニ付公告

◉公示催告

◉相續財產管理人選任

當籤債券番號公告

本月執行ノ抽籤ニ於テ下記番號債券當籤（括弧内金額ハ割増金）致候ニ付來ル十一月一日ヨリ當行本支店出張所、各代理店、取扱店及郵便局ニ於テ債券引換ニ元利金竝割増金ヲ御支拂可申上候

昭和十二年十月　株式會社　日本勸業銀行

勸業債券　第五拾回

償還元金壹萬貳千五百圓　通數六百貳拾五通

							15119	21642	27819	33413	40182	46630
							15145	21741	27859	33466	40533	46672
							15261	21895	27879	33655	40773	46721
							15300	22080	27933	33755	41040	46897
							15314	22196	27971	33759	41204	46957
							15543	22304	28095	33794	41688	46990
							16262	22401	28155	33797	41716	47163
							16282	22503	28237	33987	42139	47293
							16537	22636	28296	34216	42163	47465
							16602	22691	28512	34227	42220	47522
							16667	22732	28585	34335	42230	47640
							16690	23016	28610	34380	42233	47798
							16871	23050	28711	34429	42237	47836
							17006	23051	28791	34531	42487	47849
							17253	23127	28865	34572	42609	47881
	33689	18503	218	4186	7273	11504	17328	23145	28915	34800	42637	48041
	40288	18604	295	4294	7317	11577	17348	23302	29003	34922	42695	48046
	41021	19526	303	4330	7324	11658	17442	23450	29032	34933	42870	48202
	42183	19844	362	4341	7623	12165	17605	23605	29139	34953	42985	48267
	43311	22437	421	4346	7642	12220	17908	23808	29486	34968	43387	48288
	44054	23223	436	4468	7864	12298	17932	23852	29680	35190	43402	48312
	44224	24280	600	4499	8042	12309	17944	23862	29698	35209	43421	48338
	44740	24315	[illegible]	4515	8145	12433	17967	23916	29883	35469	43478	48416
	45515	24415	699	4641	8485	12437	17970	23936	29889	35522	43720	48456
	45868	24818	723	4667	8489	12580	18195	24153	29957	35524	43873	48856
	46227	25332	948	4673	8537	12600	18293	24231	29978	35611	43889	48936
	48387	25586	957	4687	8597	12690	18403	24299	30135	35761	43980	49047
	49579	26170	1001	4692	8615	12859	18463	24308	30232	35936	43996	49199
	(五圓)	27637	1124	4751	8630	12912	18514	24368	30542	35992	44045	49201
	81	27649	1297	4785	8795	13033	18526	24417	30574	36506	44057	49406
	994	27824	1308	5040	9062	13219	18529	24943	30647	36607	44131	49669
(壹千圓)	1404	27946	1322	5162	9184	13248	18680	25198	30691	36774	44184	49671
36300	1512	28253	1370	5215	9191	13272	18685	25239	30790	36789	44348	49726
(壹百圓)	1611	28869	1416	5272	9319	13288	18690	25313	30974	36813	44357	
7635	2169	29912	1494	5337	9331	13412	18735	25431	30997	36912	44461	
10521	2288	30016	1502	5520	9458	13490	19086	25547	31121	36974	44503	
10622	2479	30205	1784	5566	9603	13500	19375	25887	31164	37064	44593	
20284	3491	30452	2128	5614	9669	13679	19613	25966	31480	37108	44599	
24006	7482	30606	2347	5734	9754	13697	19682	26054	31491	37135	44628	
28766	8125	31252	2390	5741	9790	13708	19707	26127	31559	37199	44634	
38000	8673	33007	2391	5803	9827	14008	19777	26323	31771	37396	44653	
42106	8997	35189	2680	5866	9848	14135	19778	26399	31812	37482	44654	
(拾圓)	10488	35477	2817	5948	10058	14237	19832	26467	31999	37844	44848	
123	11001	36331	2871	6101	10096	14239	20030	26670	32009	38121	44941	
1499	11076	38258	2959	6171	10103	14292	20150	26687	32078	38158	44952	
1617	11369	40409	3043	6173	10260	14316	20195	26698	32169	38377	45186	
3561	12120	40602	3096	6222	10445	14327	20276	26748	32193	38410	45274	
6278	12182	40965	3171	6430	10502	14332	20420	26776	32236	38458	45304	
10291	12884	41105	3177	6483	10527	14399	20432	26842	32311	38710	45354	
12064	13026	41668	3349	6546	10543	14422	20537	27029	32352	38787	45399	
14642	13522	41987	3446	6788	10544	14610	20654	27054	32484	38897	45406	
14724	14855	46176	3492	6792	10596	14674	20973	27072	32550	38950	45422	
14747	15036	46430	3582	6905	10738	14713	20974	27108	32568	39070	45537	
15093	16145	46651	3648	6934	10778	14789	21161	27120	32569	39234	45609	
15881	16376	47795	3800	6938	10968	14954	21250	27170	32662	39318	45713	
20167	16548	48172	3847	6976	10997	14979	21375	27195	32813	39324	46061	
23584	17447	48433	4051	7060	11008	15040	21382	27233	32898	39725	46072	
24354	17701	49128	4121	7073	11162	15047	21403	27454	33193	39852	46393	
28085	17890	(割増金ナキ分)	4167	7202	11389	15097	21579	27523	33255	40031	46444	
31936	18186		4173	7223	11396	15110	21638	27659	33287	40131	46475	

第七拾回

償還元金壹萬貳千五百圓　通數六百貳拾五通

	2932	37926	3363	8876	15537	21425	28043	33186	38194	44678
	3163	38081	3528	8972	15543	21485	28153	33188	38205	44738
	5836	38449	3578	9147	15563	21537	28301	33551	38220	44967
	6939	39774	3667	9223	15613	21545	28306	33582	38319	45120
	7235	40027	3834	9226	15777	21579	28342	33605	38445	45132
	8060	40362	3907	9559	16094	21607	28515	33637	38603	45137
	8196	40753	3960	9567	16201	21692	28518	33947	38661	45220
	8198	40756	4019	9826	16242	21805	28582	34044	38667	45888
	8611	40865	4022	9845	16359	21960	28650	34055	38691	46060
	8767	41314	4256	9865	16390	22079	28681	34108	38710	46198
	9244	41385	4354	9908	16428	22087	28819	34206	38781	46246
	9492	41855	4538	10013	16556	22171	28960	34233	38865	46280
	9596	42271	4604	10031	16677	22297	28971	34665	39029	46281
(壹千圓)	10312	42401	4656	10052	16783	22598	29244	34684	39113	46322
47153	10339	44747	4719	10088	16818	22642	29252	34835	39150	46421
(五百圓)	11773	46427	4836	10093	16928	22727	29370	34844	39173	46713
16036	13306	47784	5145	10131	17016	22835	29390	34903	39215	46747
(壹百圓)	13469	48035	5326	10170	17035	22882	29625	35331	39219	46771
16351	14264	48282	5341	10756	17141	22887	29761	35355	39538	46880
29524	16118	48307	5505	11101	17175	22988	29773	35426	39704	46945
41349	16902	49204	5626	11217	17279	23035	29890	35487	39766	47042
(拾圓)	17044	49336	5659	11298	17311	23185	30126	35578	39897	47199
1277	17344	49384	5888	11463	17527	23268	30169	35581	39936	47248
4396	17633	(割増金ナキ分)	5949	11611	17628	23332	30307	35644	39973	47352
5927	17818		6032	11646	17841	23354	30356	35714	39993	47421
8185	18664	295	6097	11731	17882	23454	30569	35745	40136	47501
10898	19366	334	6214	11929	17940	23521	30720	35805	40316	47752
17197	19396	381	6434	11999	17954	23787	30736	35840	40340	47781
17613	19573	565	6728	12049	18070	24120	30745	35846	40462	47917
17680	19735	574	6765	12071	18701	24201	30765	35854	40505	47962
20017	19774	648	6843	12093	18902	24238	30887	35939	40598	47984
23984	19978	706	6976	12116	18908	24247	30904	35965	40703	47994
25322	20550	744	7005	12331	19014	24263	30916	36025	40716	48014
26008	20836	777	7105	12383	19139	24330	30937	36132	40739	48274
26379	20909	996	7209	12437	19266	24338	30978	36332	40790	48525
26701	20915	1060	7346	12464	19398	24644	31022	36380	40797	48672
28755	21782	1100	7366	12585	19429	24767	31063	36485	41061	48734
28769	21908	1211	7404	12601	19575	24886	31240	36496	41070	48752
29186	24281	1280	7467	12620	19744	24920	31321	36533	41337	48798
29339	24928	1319	7474	12799	19846	25010	31353	36630	41567	49021
33847	25264	1483	7519	12868	19879	25406	31453	36631	41741	49103
34145	26113	1521	7547	13001	19832	25632	31582	36847	41810	49170
34463	26373	1609	7678	13005	19896	25727	31750	36881	41869	49208
35976	26752	1672	7760	13026	19956	25758	31795	36942	41979	49431
36059	26922	1675	7891	13083	20186	25762	31896	36966	42121	49848
37567	27237	1714	7990	13207	20188	25883	31921	37393	42194	
38183	27595	1750	8023	13450	20207	25908	31970	37435	42280	
39770	29091	1916	8025	13637	20210	26010	32032	37503	42489	
42044	29541	1932	8046	13644	20365	26277	32105	37512	42591	
42490	30145	2011	8099	13900	20433	26627	32141	37596	42997	
42513	31596	2469	8203	14016	20461	26675	32267	37648	43054	
47874	32188	2535	8403	14070	20499	26678	32286	37665	43117	
(五圓)	33345	2640	8468	14348	20533	26742	32364	37768	43409	
63	35150	2708	8537	14492	20567	26755	32686	37794	43523	
671	35576	3007	8567	14741	20874	26777	32716	37844	43640	
1115	35920	3179	8588	14946	20893	27016	32835	37915	43758	
1173	36218	3192	8634	15126	20903	27450	32845	37935	44072	
1385	36828	3235	8822	15198	20934	27500	32954	38079	44271	
1970	37064	3240	8830	15278	21003	27715	32970	38085	44530	
2471	37747	3271	8871	15283	21037	27725	33086	38167	44591	

第九拾貳回

組數貳、償還元金貳萬貳千五百圓、通數貳千貳百五拾通、月割利金貳拾五錢附

(壹千圓)
17906
(五百圓)
10253
(壹百圓)
7336
9043
28167
47192
68299
(拾圓)
3275
3833
3952
4012
9014
9597
12991
13503
15999
16384
16579
17510
22716
29437
30705
31109
33127
35502
35938
37161
41194
42004
45202
45667
47541
47733
49333
51129
51141
51146

二十九回貳

52117	3280	7639	12686	16839	20701	25163	28938	33016	36781	41106	44795	49064	51842	56106	60422	65627	69834	73844
55080	3454	8020	12768	16893	20923	25335	28951	33026	36837	41124	44880	49074	51880	56541	60650	65642	69912	74143
56875	3509	8046	13070	16908	20956	25350	29099	33213	36881	41310	44979	49144	52033	56577	60808	65667	69991	74152
57680	3575	8237	13116	17020	20963	25375	29153	33288	36970	41324	45052	49195	52066	56601	60851	65694	70021	74375
60194	3672	8256	13157	17058	21189	25428	29204	33627	36987	41352	45166	49247	52168	56619	60987	65778	70184	74405
61436	3787	8327	13218	17065	21226	25455	29225	33633	37038	41391	45257	49294	52207	56643	61080	65813	70224	74407
62127	3839	8334	13236	17359	21533	25586	29316	33667	37061	41403	45283	49305	52209	56826	61086	65910	70382	74607
62253	3963	8390	13267	17448	21625	25589	29387	33691	37120	41594	45311	49362	52325	56835	61177	65983	70550	74642
64059	4000	8516	13272	17470	21650	25693	29524	33739	37131	41791	45369	49397	52393	56945	61471	66267	70574	74756
67096	4021	8710	13355	17538	21678	25774	29696	33771	37168	41905	45445	49500	52399	56991	61567	66352	70684	74852
70612	4048	8778	13408	17658	21699	25930	29707	33798	37195	41915	45514	49532	52443	57204	61681	66378	70703	
71017	4156	8828	13466	17680	21849	25933	29789	33803	37529	41925	45663	49585	52459	57294	61703	66510	70708	
73309	4163	8987	13727	17684	22094	25961	29844	33984	37541	42093	45666	49641	52461	57344	61960	66516	70766	
(割増金ナキ分)	4233	9115	13809	17745	22119	25963	29860	33991	37667	42195	45695	49810	52486	57389	61965	66595	70806	
	4280	9218	13828	17842	22265	26066	29878	34009	37733	42207	45701	49891	52588	57400	62021	66606	70846	
148	4469	9435	14071	17857	22300	26296	30011	34025	37736	42291	45708	49892	52721	57491	62107	66607	70851	
154	4489	9442	14073	17932	22312	26306	30016	34055	37796	42319	45716	49901	52726	57571	62168	66621	70896	
168	4507	9462	14088	18002	22374	26324	30024	34075	37910	42326	45759	49909	52877	57627	62260	66903	70979	
180	4777	9545	14284	18030	22402	26340	30221	34263	37944	42327	45813	49936	52988	57813	62307	66959	70999	
208	4797	9584	14313	18182	22684	26371	30388	34282	38161	42441	45819	50027	53183	58046	62364	67019	71028	
264	4931	9624	14329	18244	22702	26420	30392	34324	38213	42486	45992	50044	53234	58071	62407	67090	71105	
311	5001	9643	14511	18259	22853	26519	30463	34362	38279	42525	45999	50054	53342	58163	62513	67101	71142	
532	5015	9778	14517	18298	22941	26611	30481	34363	38293	42533	46155	50113	53417	58181	62534	67169	71166	
573	5027	9788	14557	18382	22946	26691	30592	34413	38302	42537	46244	50179	53423	58188	62556	67332	71403	
590	5129	9798	14659	18548	23019	26718	30594	34529	38324	42597	46389	50256	53424	58243	62661	67491	71408	
655	5190	9804	14712	18704	23020	26855	30677	34605	38450	42607	46634	50299	53535	58252	62712	67585	71455	
790	5310	9820	14729	18890	23042	26961	30694	34722	38456	42666	46651	50330	53585	58322	62875	67624	71472	
904	5335	9846	14785	19028	23132	26994	30769	34776	38525	42707	46669	50369	53650	58326	62916	67657	71622	
1054	5549	9947	14857	19185	23235	27010	30783	34853	38548	42713	46739	50380	53652	58351	63012	67741	71657	
1057	5604	9949	14899	19207	23441	27020	30932	34858	38643	42762	46748	50448	53863	58359	63059	67949	71751	
1077	5875	9958	15019	19229	23487	27066	30941	34871	38707	42904	46787	50455	53941	58466	63085	67962	71853	
1072	5892	9993	15049	19279	23560	27058	31089	34946	38714	42997	46811	50586	53996	58489	63086	68106	71923	
1262	5898	10028	15085	19291	23666	27307	31227	34947	38746	43033	46898	50612	54041	58498	63128	68119	71939	
1300	5972	10060	15278	19411	23765	27538	31333	34954	38862	43139	46980	50614	54147	58634	63421	68164	72004	
1342	5998	10255	15291	19478	23851	27615	31404	34984	39173	43146	47094	50626	54163	58807	63447	68285	72078	
1403	6164	10313	15354	19487	23862	27662	31422	35067	39186	43236	47191	50694	54262	58846	63485	68296	72303	
1405	6250	10672	15465	19494	23878	27669	31661	35114	39394	43282	47301	50719	54281	58860	63821	68334	72512	
1542	6395	10722	15562	19549	23931	27723	31675	35226	39430	43414	47340	50781	54309	58937	63889	68399	72526	
1619	6478	10770	15657	19575	23951	27736	31699	35282	39456	43450	47421	50833	54410	58965	63890	68413	72529	
2004	6494	10847	15671	19603	24020	27767	31783	35284	39511	43466	47520	50873	54444	59103	63955	68505	72632	
2012	6526	10993	15674	19632	24048	27772	31785	35286	39574	43537	47545	50890	54486	59266	64179	68569	72696	
2026	6621	11082	15857	19713	24124	27865	31813	35316	39630	43620	47549	50974	54608	59575	64274	68574	72753	
2217	6655	11238	15944	19750	24130	28065	31876	35375	39638	43678	47742	51036	54627	59622	64333	68595	72823	
2408	6841	11362	16021	19850	24160	28092	32019	35391	39742	43770	47803	51182	54694	59633	64337	68525	72874	
2442	6860	11566	16032	20138	24217	28117	32085	35431	39809	43851	47997	51197	54706	59739	64376	69708	72947	
2480	6848	11568	16041	20179	24259	28265	32087	35441	39902	43878	48045	51232	54735	59746	64437	68815	72978	
2511	6915	11695	16063	20252	24283	28273	32104	35511	39981	43985	48080	51264	54774	59752	64548	68935	73011	
2559	7039	11752	16086	20271	24337	28331	32129	35527	40146	43989	48133	51369	54829	59814	64688	69064	73039	
2566	7044	11795	16114	20280	24388	28385	32135	35563	40195	43992	48204	51398	54839	59904	64776	69175	73052	
2696	7078	11817	16115	20365	24545	28438	32250	35995	40337	44012	48278	51412	54841	59957	64807	69182	73126	
2723	7262	11846	16167	20367	24711	28471	32263	36120	40568	44093	48299	51430	55076	59977	64824	69351	73182	
2753	7265	11852	16230	20404	24803	28508	32304	36243	40604	44208	48398	51485	55230	60006	64984	69393	73191	
2799	7291	11970	16374	20424	24889	28609	32360	36245	40663	44277	48466	51504	55351	60034	65041	69493	73207	
2807	7338	12240	16493	20448	24892	28666	32457	36366	40683	44310	48603	51549	55773	60081	65107	69497	73357	
2879	7345	12293	16495	20467	24974	28698	32625	36480	40742	44380	48777	51666	55803	60097	65137	69558	73459	
3069	7351	12400	16547	20501	25000	28758	32707	36523	40897	44429	48810	51708	55826	60116	65390	69713	73651	
3100	7361	12403	16605	20513	25018	28781	32748	36590	40907	44450	48841	51765	55851	60148	65490	69730	73720	
3128	7405	12439	16735	20590	25053	28786	32835	36638	41016	44505	48846	51766	55898	60273	65504	69779	73750	
3171	7430	12597	16792	20654	25107	28815	32856	36661	41024	44632	48860	51807	55953	60300	65527	69815	73805	
3229	7622	12598	16796	20665	25132	28923	32947	36687	41081	44721	49010	51825	56050	60308	65610	69833	73820	

第五拾參回

組數參、償還元金四萬五千圓、通數四千五百通、月割利金貳拾貳錢附

	37993	1465	5010	9240	12925	16816
	38734	1541	5028	9303	12956	16891
	39775	1576	5101	9351	12983	17062
	40323	1580	5122	9456	13083	17099
	41925	1605	5206	9496	13116	17173
	42121	1660	5357	9590	13374	17247
	42887	1690	5426	9641	13439	17271
	43478	1704	5500	9669	13591	17349
	43509	1747	5510	9741	13602	17367
	48658	1912	5671	9854	13625	17380
	49139	1968	5690	10083	13643	17400
	49483	2023	5712	10091	13652	17442
	49999	2053	5714	10099	13655	17718
	50226	2068	5774	10123	13794	17842
	52440	2104	5801	10136	13884	17895
	52954	2139	5818	10142	13891	17906
	56649	2164	5864	10195	13908	18010
	58311	2203	5896	10217	13919	18018
(壹千圓)	59428	2296	5901	10459	13927	18111
73341	59450	2300	5913	10477	14026	18155
(五百圓)	62042	2307	5950	10578	14055	18219
16156	65991	2331	5980	10597	14130	18271
(壹百圓)	66907	2347	6003	10627	14189	18378
7168	67826	2380	6058	10643	14234	18456
17040	68921	2545	6064	10704	14290	18510
36030	70583	2682	6087	10764	14401	18540
72544	73774	2742	6138	10942	14413	18554
73999	75202	2802	6261	10953	14462	18679
(拾圓)	75832	2839	6435	11033	14556	18700
3032	77069	2848	6436	11107	14572	18743
3288	77359	2995	6478	11240	14727	18860
3821	82413	3071	6577	11247	14756	18909
4558	87544	3327	6601	11311	14891	18966
8372	88443	3355	6791	11315	14988	19133
8919	88589	3405	6810	11409	15022	19219
9478	88615	3424	6821	11460	15008	19327
9811	88873	3434	6838	11473	15174	19438
10116	91827	3468	6997	11527	15258	19711
10869	95616	3503	7074	11659	15363	19753
12253	96019	3568	7078	11662	15364	19994
13059	98411	3656	7121	11691	15383	20076
15609	99483	3673	7175	11721	15579	20212
17103	(割増金ナキ分)	3714	7312	11833	15647	20300
20128		3836	7390	11886	15673	20306
20518	27	3851	7451	11938	15758	20329
22905	71	3926	7497	11937	15798	20346
23084	106	3961	7644	12003	16076	20448
25242	293	3968	7688	12025	16103	20570
26149	364	3981	7818	12119	16120	20631
26338	421	4262	8031	12124	16278	20675
29197	477	4433	8038	12154	16282	20679
29278	752	4437	8060	12359	16403	20748
31107	771	4577	8069	12368	16422	21013
31906	1000	4599	8243	12457	16441	21071
32417	1315	4662	8285	12464	16475	21199
32605	1338	4725	8390	12477	16583	21215
34008	1374	4748	8395	12692	16625	21293
35733	1399	4758	8419	12793	16679	21363
37728	1442	4855	8966	12826	16701	21411
37771	1454	4976	9095	12846	16751	21499

[illegible]

割引勧業債券　第壹回

[illegible]

割引勧業債券　第七回

[illegible]

割引勧業債券　第拾回

[illegible]

割引勧業債券　第拾壹回

[illegible]

復興貯蓄債券　第七回

[illegible]

債券七回 勸業
81209 81380 81448 81599 81742 81902 82414 83248 84545 84602 84664 84720 84895 85214 85286 85744 86046 86202 86455 86554 87000 87888 87982 87991 88185 88515 89033 89913 90263 91168 91455 92047 92278 92442 93467 93637 94022 94146 94241 94410 94453 94590 94647 94674 94905 95093 95365 95547 95586 95801 96446 96870 96959 97105 97182 97299 97628 97659 97717 97728
98066 98352 98630 98773 98929 99510

第拾回
組數拾壹、償還元金貳萬八千圓、通數四千四百通
据置利金 五圓券貳圓五拾錢附、拾圓券五圓附

割増金
(壹等) 拾圓券參千圓 五圓券千五百圓
47458
(貳等) 拾圓券貳百圓 五圓券壹百圓
15121 23684 27091 40400 64498 71276 79064 85737
(參等) 拾圓券拾圓 五圓券五圓
957 1316 2762 5626
6093 7208 7695 7740 7762 11124 12084 15059 15581 15864 19529 19651 19977 21100 21107 22272 22502 23926 24588 26219 26720 27079 27176 27645 30033 30907 32991 36843 37219 38397 38921 39160 39339 40333 41263 41545 42190 42685 43717 44690 45275 48373 48678 48906 49275 49685 51089 51736 54554 54747 55135 56039 56654 56715 58135 60177 60877 61001 63001 64744
66378 66394 69837 70062 70192 72102 73095 75446 76106 77133 79386 80622 81435 82195 83422 83756 85500 85733 86175 86379 87671 88971 89533 90021 90078 90176 90632 90695 94053 95030 95820 96259 97986 98955 99630 99795
(四等) 拾圓券四圓 五圓券貳圓
363 512 691 717 791 875 891 975 1185 3115 3214 4164 5351 5414 5635 6839 7081
7126 7916 8079 8164 8721 8876 9441 9530 9685 10071 10162 10375 10548 11178 11580 11946 12373 13279 13311 13561 14077 14411 14677 14717 15071 15741 15758 16584 17227 17238 17267 17639 18022 18137 18382 18599 18786 18854 19138 19392 20124 20544 20787 21125 21135 22153 22166 22296 22798 22866 22966 23727 24014 24978 25189 25444 25528 25629 26252 26289
26399 26514 27794 28369 28951 29309 29479 29666 30059 30524 30604 31776 32009 32058 32370 32486 32891 33280 33460 33472 33795 34521 34795 35032 36058 36521 37279 37619 37909 38194 38576 38691 39259 39436 39529 40675 40755 41308 41521 41957 41968 42096 42665 42771 42862 42872 43401 44079 44672 45834 46116 46181 46262 46305 46392 46630 46826 47178 47736 47774
47890 47901 48388 49605 49680 50100 50313 50622 50977 51825 51921 52245 53596 53693 53794 53854 54034 54230 54396 54967 55131 55349 55352 55905 56524 57316 57349 57639 58157 58161 58281 59405 59602 60129 60346 60418 60762 61076 61397 61660 61721 62537 63026 63524 63787 64477 64488 64576 64755 65050 65335 66134 66197 66387 66404 66799 66955 67416 67664 67823
68064 68078 69414 69602 69719 69754 70051 70235 70269 70903 70947 71272 72888 73010 73472 73855 75038 75433 75796 75843 76350 76395 76399 76607 76640 77744 78282 78486 78814 79726 80110 80115 80169 80625 80807 82065 82075 82097 82098 82522 82739 83387 83715 83741 83891 84202 84227 85298 85472 86325 86555 86564 86598 87355 87447 87537 87674 87858 89070 89407
89461 89510 89723 89944 90313 90404 90516 90657 91194 91545 91721 91997 92034 92273 92324 92433 92937 93159 93495 93586 93878 93921 93947 94258 95296 96089 96338 97168 97850 97865 97896 98410 98667 98894

勸業債券

第五亥號
償還元金參萬圓、通數貳拾參通、冊數貳拾
(壹萬圓券) 自706 至709 711 713 715 720 722 723 725 726 自728 至737 739

第七子號
償還元金七萬圓、通數七通
(壹萬圓券) 自488 至491 自493 至495

臺低は號
償還元金拾四萬圓、通數拾四通
(壹萬圓券) 自82 至95

昭五舊借ろ號
償還元金貳萬四千圓、通數八通
(壹千圓券) 自39 至42
(五千圓券) 自79 至82

昭五土號
償還元金九千圓、通數五通
(壹千圓券) 自14 至17
(五千圓券) 22

昭六失救ろ號
償還元金壹萬八千圓、通數六通
(壹千圓券) 自10 至12
(五千圓券) 自10 至12

昭六地は號
償還元金四萬圓、通數四通
(壹萬圓券) 自129 至132

昭六地に號
償還元金參萬圓、通數參通
(壹萬圓券) 自10 至12

昭五地ち號
償還元金貳萬圓、通數貳通
(壹萬圓券) 11 12

昭五地り號
償還元金壹萬圓、通數壹通
(壹萬圓券) 6

耕整元い號
償還元金參萬圓、通數參通
(壹萬圓券) 自24 至26

耕整元ろ號
償還元金壹千圓、通數壹通
(壹千圓券) 5

昭六地ほ號
償還元金拾貳萬圓、通數拾貳通
(壹萬圓券) 自37 至48

昭六地へ號
償還元金拾四萬圓、通數拾四通
(壹萬圓券) 自43 至56

昭六都號
償還元金參拾八萬圓、通數參拾八通
(壹萬圓券) 自10 至47

ホテル號
償還元金五千圓、通數壹通
(五千圓券) 4

北海土功い號
償還元金壹萬圓、通數壹通
(壹萬圓券) 4

北海土功ろ號
償還元金壹萬圓、通數壹通
(壹萬圓券) 4

耕整長い號
償還元金貳千圓、通數貳通
(壹千圓券) 7 8

耕整長ろ號
償還元金參千圓、通數參通
(壹千圓券) 自13 至15

耕整長は號
償還元金貳拾貳萬圓、通數貳拾貳通
(壹萬圓券) 自67 至88

昭六臺低い號
償還元金參萬圓、通數參通
(壹萬圓券) 自19 至21

臺灣土木號
償還元金壹萬圓、通數壹通
(壹萬圓券) 35

農商工元ほ號
償還元金壹萬參千圓、通數拾參通
(壹千圓券) 自49 至61

農商工元へ號
償還元金八萬圓、通數八通
(壹萬圓券) 自24 至31

青森水害ろ號
償還元金九千圓、通數九通
(壹千圓券) 自24 至32

昭八旱害ろ號
償還元金四萬圓、通數四通
(壹萬圓券) 自9 至12

東京府農工債券

第百五拾四回
償還元金參萬圓、通數貳拾貳通
(壹百圓券) 13 41 48 77 88
(五百圓券) 4
(壹千圓券) 8 9 26 60 73 85 117 127 131 140 197 202 242 255
(五千圓券) 21
(壹萬圓券) 10

第百五拾五回
償還元金壹萬四千圓、通數拾五通
(壹百圓券) 13 182 296 311 437
(五百圓券) 120
(壹千圓券) 98 149 179 193 233 248 259 300
(五千圓券) 27

鹿兒島縣農工債券

第參拾五回
償還元金五千圓、通數壹通
(五千圓券) 13

第參拾八回
償還元金八千五百圓、通數壹通
(八千五百圓券) 37

第參拾九回
償還元金四千圓、通數貳通
(貳千圓券) 22 23

第五拾參回
償還元金貳萬圓、通數四通
(五千圓券) 16 50 77 106

第五拾四回
償還元金四萬圓、通數貳拾通
(壹千圓券) 24 57 120 131 185 210 269 280 292 329 398 438 452 465 473
(五千圓券) 10 40 62 112 153

第五拾九回
償還元金壹萬四千圓、通數拾四通
(壹千圓券) 自28 至41

阿波農工債券

第百拾八回
償還元金壹千參百圓、通數四通
(壹百圓券) 自1 至3
(壹千圓券) 1

第百拾九回
償還元金貳千五百圓、通數參通
(五百圓券) 1
(壹千圓券) 1 2

大分縣農工債券

第四拾貳回
償還元金五千圓、通數五通
(壹千圓券) 自41 至45

第七拾七回
償還元金貳萬五千圓、通數拾參通
(壹千圓券) 19 23 26 30 47 82 125 151 180 199
(五千圓券) 15 39 46

第八拾五回
償還元金貳千圓、通數四通
(五百圓券) 自9 至12

宮城縣農工債券

第七拾五回
償還元金五萬圓、通數四拾參通
(壹百圓券) 5 40 90 147 180
(五百圓券) 109
(壹千圓券) 5 23 24 76 134 169 198 211 231 253 288 296 321 324 373 386 404 416 421 435 490 496 595 614 623 701 851 938 953 967 979 1029 1041 1042
(五千圓券) 12 44 157

甲號第參回
償還元金四千五百圓、通數五通
(五百圓券) 2
(壹千圓券) 自8 至10 12

甲號第六拾六回
償還元金四萬貳千四百圓、通數四拾六通
(壹百圓券) 8 9 13 14
(壹千圓券) 自1 至3 6 自8 至13 15 18 22 23 自27 至31 35 37 38 自40 至42 44 46 47 49 50 54 56 58 59 61 66 67 71 74 自77 至79

乙號第貳拾參回
償還元金參萬圓、通數六通
(五千圓券) 自1 至6

乙號第貳拾五回
償還元金參千圓、通數六通
(五百圓券) 自1 至6

濃飛農工債券

第百拾壹回
償還元金四千圓、通數四通
(壹千圓券) 自13 至16

第百拾參回
償還元金壹百圓、通數壹通
(壹百圓券) 2

三重縣農工債券

第百拾五回
償還元金五千圓、通數壹通
(五千圓券) 11

第百拾九回
償還元金壹千圓、通數壹通
(壹千圓券) 2

第百貳拾貳回
償還元金五千圓、通數壹通
(五千圓券) 2

第百貳拾四回
償還元金壹萬貳百圓、通數參通
(壹百圓券) 10 11
(壹萬圓券) 6

第百貳拾九回
償還元金四千貳百五拾圓、通數七通
(五拾圓券) 1
(壹百圓券) 6 7
(壹千圓券) 10 11 13 14

第百五拾壹回
償還元金五萬圓、通數六拾參通
(壹百圓券) 442 497 509 629 670 840 901 1014 1291 1318 1385 1640 1707 1754 2844 2911 2949 3081 3086 3300 3459 3742 3878 4032 4037
(五百圓券) 102 285 370 428 728
(壹千圓券) 6 13 51 65 148 155 219 336 363 385 425 466 543 550 622 643 650 739 740 760 777 920 1068 1069 1083 1114 1143 1199 1231 1238
(五千圓券) 13 25 60

第百五拾六回
償還元金壹千五百圓、通數六通
(壹百圓券) 9 10 12 13 15
(壹千圓券) 3

第百五拾九回
償還元金壹千六百圓、通數四通
(壹百圓券) 2
(五百圓券) 自2 至4

第百六拾壹回
償還元金參千圓、通數參通
(壹千圓券) 自3 至5

第百六拾參回
償還元金四百圓、通數四通
(壹百圓券) 自1 至4

大阪農工債券

甲號第貳拾七回
償還元金貳千五百圓、通數七通
(壹百圓券) 自1 至5
(壹千圓券) 3 4

兵庫縣農工債券

第八拾參回
償還元金壹萬圓、通數貳通
(五千圓券) 58 59

第百六拾四回
償還元金五萬圓、通數壹百貳拾貳通
(壹百圓券) 6 23 82 103 122 138 156 174 227 236 302 303 324 402 473 486 524 544 601 653 664 689 763 771 782 809 858 860 875 893 917 1023 1265 1283 1294 1382 1452 1471 1487 1541 1555 1583 1616 1617 1689 1690 1763 1810 1951 2044 2197 2244 2258 2279 2320 2323 2337 2342 2368 2371 2459 2524 2551 2608 2611 2636 2647 2712 2723 2765 2772 2781 2827 2848 2984 3110 3162 3165 3171 3198
(五百圓券) 10 59 70 76 84 107 173 186 367 434 472 557 582 587 589 624
(壹千圓券) 51 71 93 121 139 185 190 192 219 221 315 465 530 552 561 577 621 623 702 712 853 884 892 925
(五千圓券) 12 63

第百六拾五回
償還元金拾貳萬五千圓、通數壹百貳拾六通
(壹百圓券) 20 72 125 168 231 267 270 299 306 348 380 435 446 486 525 530 550 621 653 675 705 724 739 784 808 812 842 889 947 971 975 1088 1291 1322 1344 1358 1676 1711 1801 1824 1844 1845 1991 2033 2122 2225 2232 2263 2310 2317 2401 2466 2547 2597 2600
(五百圓券) 17 67 93 184 186 221 261 297 383 483 506 536 623 640 641
(壹千圓券) 36 38 138 222 248 325 350 357 450 455 461 498 518 535 553 590 619 679 719 758 772 833 850 854 888 900 922 953 976 1032 1051 1125 1194 1262 1327 1358 1384 1394 1400 1414 1439 1592
(五千圓券) 58 94 98 150 152 177 226 246 274 302 329 372 397 477

預ろ第貳拾貳回
償還元金貳千五百圓、通數七通
(壹百圓券) 自9 至13
(壹千圓券) 5 6

預ろ第貳拾參回
償還元金八百圓、通數八通
(壹百圓券) 自20 至27

預ろ第貳拾七回
償還元金參百圓、通數參通
(壹百圓券) 自6 至8

預ろ第參拾參回
償還元金壹百圓、通數壹通
(壹百圓券) 2

預ろ第參拾七回
償還元金壹百圓、通數壹通
(壹百圓券) 1

廣島縣農工債券

第百拾四回
償還元金貳百圓、通數貳通
(壹百圓券) 3 4

愛媛縣農工債券

第百參拾六回
償還元金壹萬圓、通數四通
(壹千圓券) 4
(參千圓券) 自8 至10

第百四拾回
償還元金七千圓、通數參通
(壹千圓券) 11 12
(五千圓券) 3

第百四拾貳回
償還元金四千圓、通數四通
(壹千圓券) 自10 至13

第百四拾參回
償還元金參千圓、通數參通
(壹千圓券) 自6 至8

第百四拾八回
償還元金五百圓、通數壹通
(五百圓券) 13

第百四拾九回
償還元金壹千圓、通數壹通
(壹千圓券) 7

第百五拾八回
償還元金五百圓、通數壹通
(五百圓券) 1

全部償還

勸業債券

商工い號
償還元金八萬圓、通數八通
(壹萬圓券) 自65 至72

東京府農工債券

第百貳拾四回
償還元金壹千七百圓、通數拾七通
(壹百圓券) 59 67 70 72 73 自77 至79 83 86 87 99 103 108 110 113 116

繰上全部償還

東京府農工債券

昭八元
償還元金貳千八百圓、通數貳拾八通
(壹百圓券) 自93 至120

昭八元乙
償還元金貳萬六千圓、通數壹百四拾通
(壹百圓券) 自1 至110
(五百圓券) 自1 至30

昭九元
償還元金壹萬六千七百圓、通數壹百六拾七通
(壹百圓券) 自4 至170

昭九元乙
償還元金壹萬貳千參百圓、通數壹百貳拾參通
(壹百圓券) 自1 至123

大分縣農工債券

第七拾貳回
償還元金八千參百圓、通數八拾參通
(壹百圓券) 自7 至89

兵庫縣農工債券

預ろ第拾壹回
償還元金壹萬貳千四百圓、通數五拾貳通
(壹百圓券) 自18 至61
(壹千圓券) 自1 至8

廣島縣農工債券

第百拾回
償還元金七千圓、通數七通
(壹千圓券) 自2 至8

愛媛縣農工債券

第百貳拾八回
償還元金壹千圓、通數六通
(壹百圓券) 4 5
(貳百圓券) 自2 至5

農商工元ほ號、農商工元へ號、青森水害ろ號ハ昭和十二年十一月五日支拂分ナリ

勸業大券、權水農工債券並繰上全部償還セル勸業小券ニ對シテハ償還開始翌期以後ノ利札ハ支拂ハザルニ付償還開始ノ上ハ至急元利金ノ支拂方御請求相成度候

公債と債券は
東京市麹町区麹町六丁目
(市電停前 省線四谷駅東二丁)
関東債券現物団
日本厚生 株式會社
電話九段(33)一一七〇番・六六七番

優良國產

オリエンタルモートル

カタログ進呈

東京市京橋區木挽町五丁目一番地

佐々木製作所

電話銀座(57)二九四七番

公告

名義書換停止

來十一月一日ヨリ定時株主總會終了日迄株式名義書換停止仕候

昭和十二年十月

日本郵船株式會社

徽章・メタル・金・銀・木杯・楯・章・ボタン・記念品

東京九段下

アキバ徽章店

電話九段(三三)一二六五・二九七一番

日英米佛特許

日本特許八八八四七號
英國特許三八七八四四號
米國特許二〇〇八六二〇號
佛國特許七三二二五七〇號

銃後を護る經濟戰線よくて廉いが旗じるし

2オンス ¥.20

パイロット高級インキ

天幕シート

營業品目

天幕、雨覆、雨衣、雜嚢類
窓掛、日除、其他加工品販賣並裁縫請負

麻帆布、ダック、リンネル類
麻糸、玉糸、布ホース、杉綾紐
黄麻帆布、ヘシアン、縫糸類
綿帆布染色防水布卸小賣商

諸官省御用達

帝國製麻株式會社
小泉製麻株式會社　特約販賣店

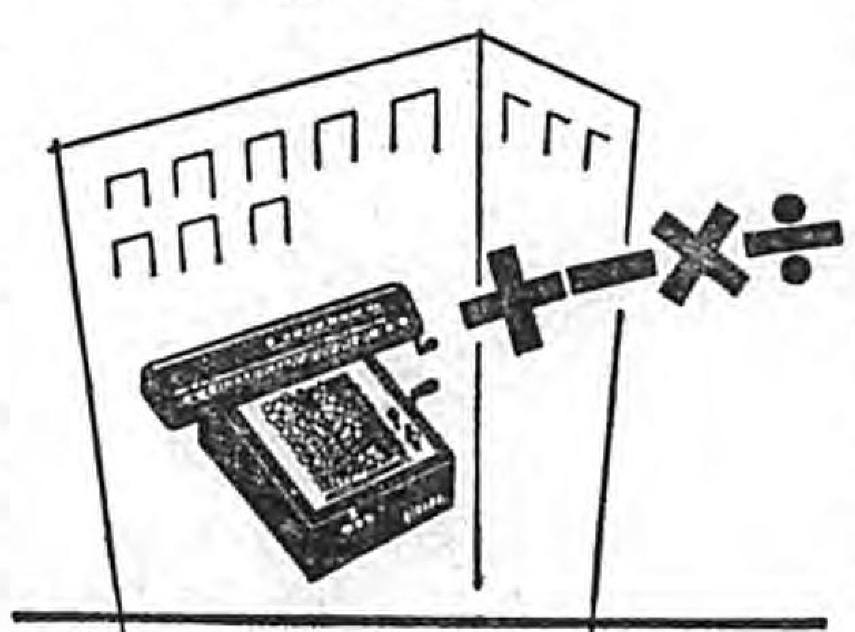
小林半之助商店

東京市京橋區木挽町二ノ四
電話京橋(56)長六三五六

MARUZEN・MARUZEN・MARUZEN

モンロー計算機

確正且速敏算計
堆積する煩多な算務も瞬く間に清掃される。



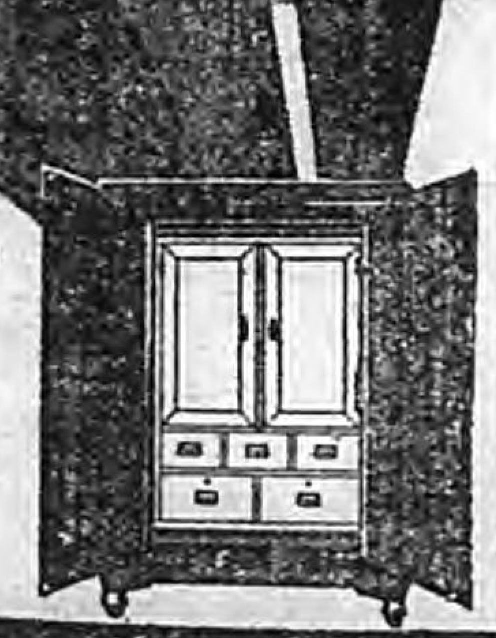
＋－×÷

¥475.00 以上

――詳細目錄進呈――

東京日本橋　**丸善株式會社**　其他各地支店出張所

大谷金庫



(型錄進呈)

株式會社 大谷金庫店

東京 京橋區新富町三
京都 松原東洞院東入
大阪 東區平野町二

訂正昭和十二年十月六日本欄掲載ノ横濱市公債償還公告中横濱市第九回整理公債短期公債ら號壹千圓券參參參八壹參參參ノ誤ニ付訂正ス

横濱市長　青木周三

商工省撰定　優良國產品

☆☆☆

諸官廳御用

東京豐島區高田南町三丁目

合名會社 **三星繪具製造所**

電話牛込(34)自六〇〇六 至六〇〇八

貯蓄に 公債 債券

關東債券現物團員

銃後の守を堅くするは一時的でなく、愛國の熱情を以て奉國一致政府の方針に添ふ事が肝要でそれには國民一般が勤倹貯蓄大いに國富をはかる事である。公債・債券の貯蓄こそ國富を增加し國難を防ぐ大切なる愛國的貯蓄です……

日本厚生株式會社

創業大正四年

大藏大臣免許

本社　東京市麹町六丁目（省線四谷驛東口・六丁目市電停前）

電話九段(33)長一一七〇・六六七・(現物部)　二三四六・八〇六・八〇七

(振替東京三〇八三九番)

帝國燃料興業株式會社株式募集

會社設立ノ趣旨

我國ニ於ケル液體燃料ノ實情ニ鑑ミ、外國依存ノ現狀ヲ打破シ石油ノ自給ヲ確立スル爲人造石油製造事業ノ振興ヲ圖ルハ、產業上竝ニ國防上刻下喫緊ノ要務ナリ。是レ帝國燃料興業株式會社法ニ基キ本會社ヲ創設シ、政府ノ諸施設ト相俟チテ人造石油製造事業ノ本格的確立ヲ圖リ、以テ燃料國策ノ圓滑ナル遂行ヲ期セントスル所以ナリ

會社ノ事業範圍

人造石油製造事業ニ對スル投資ヲ爲スノ外、人造石油製造又ハ販賣其ノ他本會社ノ目的達成上必要ナル諸事業ヲ營ムモノトス

會社ノ特典

（一）民間出資ニ對シ年六分ノ利益配當ヲ爲シ得ルニ至ル迄政府持株ニ對シテハ利益配當ヲ爲スコトヲ要セズ（二）民間出資ニ對スル利益配當ニ關シテハ政府ヨリ補給金ノ交付ヲ受ク（三）社債（燃料興業債券）ノ元利支拂ニ付キ政府ノ保證ヲ受クルコトヲ得（四）開業ノ年及翌年ヨリ十年間所得稅、營業收益稅及地方稅ヲ課セラレズ

募集要項

資本金總額	金壹億圓（內政府出資五千萬圓）
壹株ノ額面金額	金五拾圓
公募株數	貳拾萬株
申込株數單位	五株又ハ其ノ倍數
申込證據金	一株ニ付金五圓（募入ノ上ハ第一回拂込金ニ充當ス）
申込期間	自昭和十二年十月十四日　至同年十月十六日（期間中ト雖モ適宜締切ルコトアルベシ）
募入決定方法	申込株數ガ募集株數ヲ超過シタル場合ハ設立委員ニ於テ適宜同等ヲ決定ス
第一回拂込金	一株付ニ金五圓
第一回株金拂込期日	昭和十二年十一月十日
株主資格	政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限ル
株主配當見込	第三營業年度迄年四分、第四營業年度以降年六分以上ノ見込

帝國燃料興業株式會社
設立委員長　吉野信次

設立委員

法制局長官	瀧正雄
對滿事務局次長	青木一男
大藏次官	石渡荘太郎
大藏省主計局長	谷口恒二
陸軍次官	梅津美治郎
陸軍省整備局長	山脇正隆
陸軍航空本部長	中川泰輔
海軍次官	山本五十六
海軍省軍務局長	豐田副武
海軍省軍需局長	氏家長明
司法省民事局長	大森洪太
商工政務次官	木暮武太夫
商工次官	村瀨直養
商工參與官	佐藤讓之輔
商工省鑛山局長	東榮二
燃料局長官	竹內可吉
拓務次官	荻原彦三
拓務省殖產局長	植場鐵三
南滿洲鐵道株式會社總裁	松岡洋右
貴族院議員　子爵	井上匡四郎
法學博士	松本烝治
石油聯合株式會社社長	橋本圭三郎
衆議院議員	岡田忠彦
衆議院議員	川崎克
貴族院議員　男爵	岩倉道俱
石炭鑛業聯合會會長	松本健次郎
朝鮮石炭工業株式會社社長	野口遵
昭和石炭株式會社社長	古田慶三
日本產業株式會社社長	鮎川義介
三井鑛山株式會社取締役會長	尾形次郎
三菱鑛業株式會社取締役會長	河手拾二
住友鑛業株式會社專務取締役	山本信夫
株式會社日本興業銀行總裁	寶來市松
森興業株式會社社長	森矗昶

定款、設立趣意書、事業目論見書、收支計算書及申込證等ハ左記取扱所ヘ御請求被下度候

申込取扱所

東京市　日本興業銀行　同日本橋支店　三井銀行　三菱銀行　住友銀行東京支店

大阪市　日本興業銀行大阪支店　三井銀行大阪支店　三菱銀行大阪支店　住友銀行

京都市　三井銀行京都支店　三菱銀行京都支店　住友銀行京都支店

名古屋市　日本興業銀行名古屋支店　三井銀行名古屋支店　三菱銀行名古屋支店　住友銀行名古屋支店

神戶市　日本興業銀行神戶支店　三井銀行神戶支店　三菱銀行神戶支店　住友銀行神戶支店

橫濱市　三井銀行橫濱支店　住友銀行橫濱支店

福岡市　日本興業銀行福岡支店

福島市　日本興業銀行東北支店

富山市　日本興業銀行富山支店

廣島市　日本興業銀行廣島支店

小樽市　三菱銀行小樽支店

昭和拾貳年拾月

東京市麴町區丸ノ內二丁目燃料局內
帝國燃料興業株式會社設立事務所

定價　一ヶ月　九十五錢　一部　五錢　一箇年　八十錢
發行所　東京市麴町區大手町　內閣印刷局
明治三十五年四月二十一日第三種郵便物認可

官報

昭和十二年十月九日
第三千二百三十二號　土曜日

勅令

○朕關東植物檢查所官吏ニシテ輸入又ハ輸出ノ植物ノ病菌害蟲ノ檢查及取締ニ從事スルモノニ被服ヲ貸與スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十二年十月八日

内閣總理大臣　公爵　近衛　文麿

勅令第五百八十一號

關東植物檢查所官吏ニシテ輸入又ハ輸出ノ植物ノ病菌害蟲ノ檢查及取締ニ從事スルモノニハ被服ヲ貸與ス但シ高等官タル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ貸與ニ關シ必要ナル事項ハ滿洲國駐箚特命全權大使之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○朕關東植物檢查所官吏ニシテ輸入又ハ輸出ノ植物ノ病菌害蟲ノ檢查及取締ニ從事スルモノノ服制ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十二年十月八日

内閣總理大臣　公爵　近衛　文麿

勅令第五百八十二號

關東植物檢查所官吏ニシテ輸入又ハ輸出ノ植物ノ病菌害蟲ノ檢查及取締ニ從事スルモノノ服制別表ノ通定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依ル制服ハ本令施行ノ日ヨリ三月以內ニ限リ之ヲ用ヒザルコトヲ得

（別表）

服制表

上衣	地質	黒又ハ濃紺ノ羅紗	同上
	製式	背廣形折襟胸二重、前部ニ二行各四箇ノ釦ヲ附シ左胸部及左右腰部ニ各一箇ノ物入ヲ附シ腰部ノ物入ニハ蓋ヲ附ス	同上
	袖章	縦横一・五糎ノ金色金屬製櫻花章三箇ヲ附シ幅一糎ノ黒色繻平織絲三條ヲ全面ニ緷ヒ其ノ下部線ノ下端ニ接シ幅〇・五糎ノ絹平織絲線一條ヲ纏著ス線間〇・五糎トス形狀圖ノ如シ	櫻花章ハ二箇繻平織線ハ二條トス餘ハ同上
	釦	徑二糎ノ金色金屬ニ櫻花章ヲ彫刻ス形狀圖ノ如シ	同上
下衣	地質	上衣ニ同ジ	同上
	製式	普通形、前部ニ一行五箇ノ釦ヲ附シ左右ニ各二箇ノ物入ヲ附ス形狀圖ノ如シ	同上
	釦	徑一・五糎ノ金色金屬ニ櫻花章ヲ彫刻ス形狀圖ノ如シ	同上
衣	地質	上衣ニ同ジ但シ夏期ハ白色布ヲ用フルコトヲ得	同上
袴	製式	普通長袴、左右ニ各一箇ノ物入ヲ附ス形狀圖ノ如シ	同上
	地質	黒又ハ濃紺ノ羅紗	同上
外套	製式	折襟胸二重、前部ニ二行各六箇ノ釦ヲ附ス左右腰部ニ各一箇ノ袋附物入ヲ附シ後部ハ裾ヲ劃キ徑一糎ノ黒角釦二箇ヲ附ス襟部ニ徑一・七糎ノ黒角釦五箇ヲ附ス襟ニハ毛皮ヲ附スルコトヲ得頭巾普通形徑一糎ノ黒角釦三箇ヲ附ス	同上
	地質	黒又ハ紺ノゴム縮布	同上
雨衣	製式	折襟胸二重、前部ニ二行各六箇ノ釦ヲ附ス左右腰部ニ各一箇ノ袋附物入ヲ附シ後部ハ裾ヲ劃キ徑一糎ノ黒角釦二箇ヲ附ス襟部ニ徑一・七糎ノ黒角釦五箇ヲ附ス頭巾普通形、徑一糎ノ黒角釦三箇ヲ附ス	同上
	釦	上衣ニ同ジ	同上

帽	地質	黒又ハ濃紺ノ羅紗	同上
	製式	圓形、黒羊製前庇及幅二糎ノ黒羊製顎紐ヲ附シ顎紐ノ兩端ハ帽ノ兩側ニ於テ徑二・二糎ノ圓形內櫻花章金色金屬製釦各一箇ヲ以テ留メ帽ノ周圍ニ幅一糎ノ黒色ノ繻平織絲三條ヲ纏著ス線間〇・二糎トス形狀圖ノ如シ	繻平織線ハ二條トス餘ハ同上
	徽章	縦横四・五糎トシ金色モール製櫻葉五葉ニ銀色モール製櫻三箇ヲ附シタル枝一本ヲ下部ニテ金色モール製リボンニテ結ビ之ヲ抱キ合セ其ノ中央ヨリ上位ニ縦横二・五糎ノ金色モール製櫻花章ヲ附ス形狀圖ノ如シ	同上

備考

一　本制服ハ通常禮服ニ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ白色手袋ヲ用フ

二　本制服ヲ常用スルニハ白ワイシャヅ、前折立襟カラーニ蝶結黒ネクタイヲ用フ但シ平常勤務ノ場合ニ於テハ製地色ワイシャツ、白ソフトカラーヲ用フルコトヲ得

三　靴ハ黒革製トシ夏期ニ限リ白色ノモノヲ用フルコトヲ得

四　夏衣ヲ著用スルハ六月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間トス

五　夏衣ヲ著用スル場合ニ於テハ下衣ヲ省略シ帽ニ日覆ヲ附ス

目次抄錄

●勅令　關東植物檢查所官吏ニシテ輸入又ハ輸出ノ植物ノ病菌害蟲ノ檢查及取締ニ從事スルモノニ被服ヲ貸與スルノ件　二五七
同上服制ニ關スル件　二五七
支那事變ニ付官國幣社ニ於テ行フ祭祀ニ關スル件　二五二

官公吏內務省警視、警部若ハ警察官ノ職務ヲ奉ジ又ハ警察署勤務ニ從フ巡査ニ關スル件ヲ定ム　二五二
支那事變ニ關スル件　二五二
同上ニ關スル防空用金屬ノ回收ニ關スル件　二五二
●告示　關稅定率法第九條ノ二第一項ノ規定ニ依リ關稅ノ減免ヲ受ケ得ル貨物ヲ定ム　二五二
●官報　水路告示第三十九號　二六〇

明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

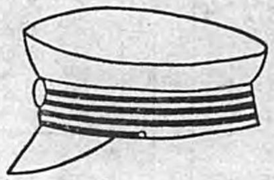
昭和十二年度國庫歲入歲出現計（十二年六月末）　二七二
●在外公館報告　關稅印紙ノ貼用ニ關スル件　二七五
●自動車用「ダイヤ」及「チューブ」輸入關稅暫定稅率ニ關スル件　二七八
埃及證收稅種類　二七八

帽

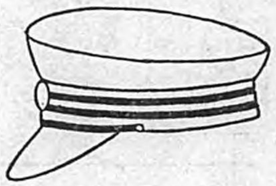
章徽

式製

奏任官



判任官

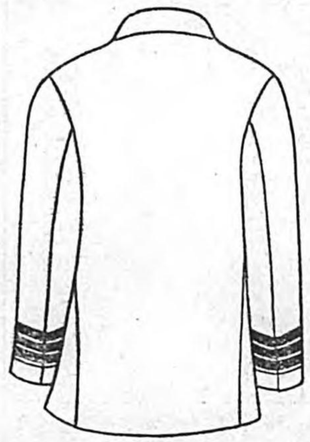


釦

衣上

式製

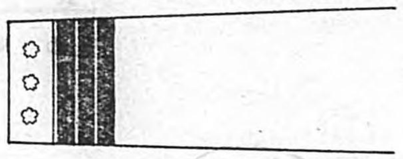
面後



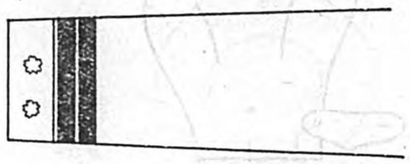
面前

章袖

奏任官



判任官



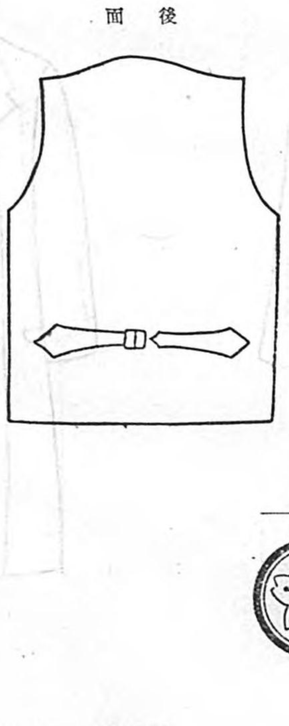
章花櫻

釦

衣下

式製

面後



面前

袴

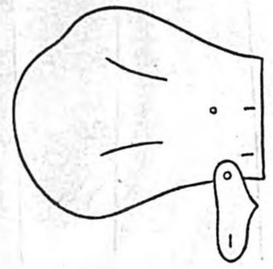
式製

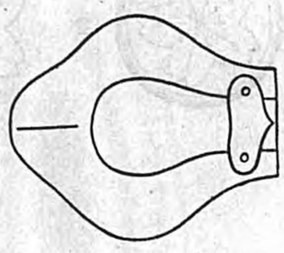
釦

套外

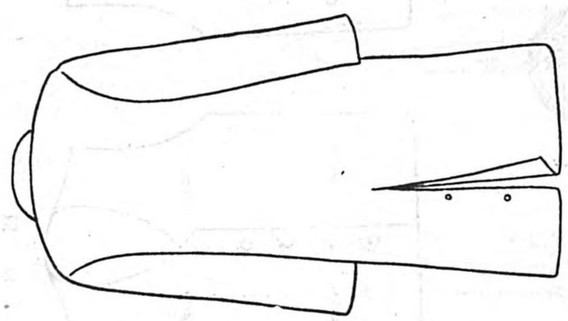
式製

巾頭

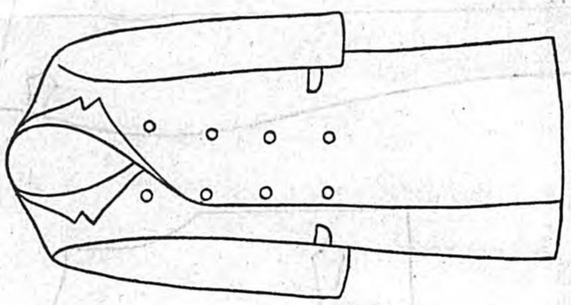




面後



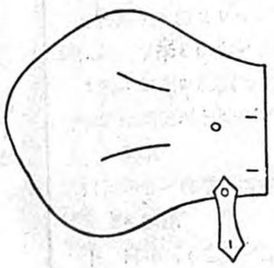
面前

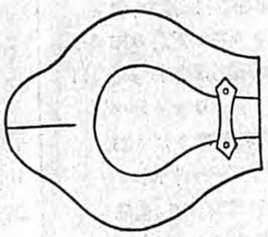


衣雨

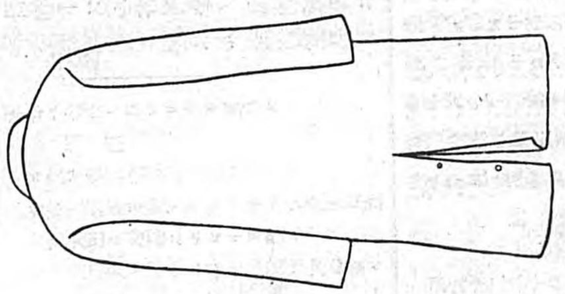
式製

巾頭

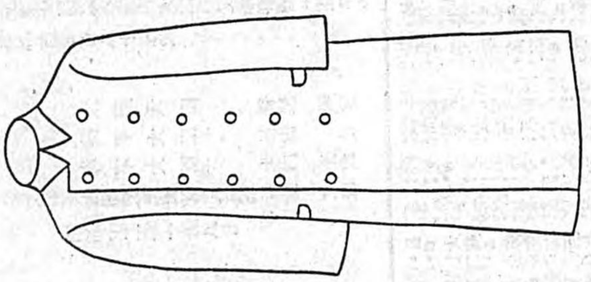




面後



面前



脫支那事變ニ付官國幣社以下神社ニ於テ行フ祭祀ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十二年十月八日

内閣總理大臣　公爵　近衞　文麿
内務大臣　馬場　鍈一
海軍大臣　米内　光政
陸軍大臣　杉山　元
拓務大臣　大谷　尊由

勅令第五百八十三號

支那事變ニ付官國幣社以下神社ニ於テ祭祀ヲ行フ其ノ祭祀ハ之ヲ中祭トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

脫當分ノ內資金前渡、前金拂若ハ概算拂ヲ爲シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ル場合ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十二年十月八日

内閣總理大臣　公爵　近衞　文麿
海軍大臣　米内　光政
陸軍大臣　杉山　元
大藏大臣　賀屋　興宣

勅令第五百八十四號

第一條　政府ハ當分ノ內陸海軍官衙ニ於ケル左ニ揭グル經費ニ限リ主任ノ官吏ヨリ現金支拂ヲ爲サシムル爲其ノ資金ヲ當該官吏ニ前渡スルコトヲ得

一　工事又ハ物件ノ製造若ハ買入ニ要スル經費

二　勞力ノ供給ヲ請負フ者ニ支拂フベキ經費

會計規則第五十八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ資金ヲ前渡スル場合ニ之ヲ準用ス

第二條　政府ハ當分ノ內傭船料ノ前金拂又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

第三條　政府ハ當分ノ內左ニ揭グル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　陸軍造兵廠、陸軍糧秣廠、千住製絨所、陸軍被服廠、陸軍衞生材料廠、千住製絨所、海軍工廠、海軍航空廠、海軍技術研究所、海軍火藥廠、海軍燃料廠、海軍軍需部、要港部軍需部及要港部工作部ニ於テ作業上必要ナル物品ノ買入ヲ爲シ又ハ製造、修理若ハ加工ヲ爲サシムルトキ

二　陸軍兵器廠、陸軍航空廠、海軍省經理局及前號ニ揭グル海軍官衙ニ於テ兵器、彈藥、工作機械器具、燃料及其ノ材料ノ買入ヲ爲シ又ハ製造、修理若ハ加工ヲ爲サシムルトキ

三　軍需動員演習ノ爲必要アル場合ニ於テ物品ノ買入ヲ爲シ又ハ製造若ハ加工ヲ爲サシムルトキ

四　軍備充實ニ伴フ工事ヲ請負ハシメ又ハ之ニ要スル材料ノ買入ヲ爲ストキ

五　飛行場ノ地均其ノ他ノ土木工事ヲ地元市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ請負ハシムルトキ

前項第四號ノ場合ニ於テハ所管大臣豫メ大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

前項ノ協議ヲ遂ゲタルトキハ大藏大臣直ニ之ヲ會計檢查院ニ通知スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

脫支那事變ニ關スル國防獻品ヲ目的トスル寄附金ノ出納保管ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十二年十月八日

内閣總理大臣　公爵　近衞　文麿
海軍大臣　米内　光政
陸軍大臣　杉山　元
大藏大臣　賀屋　興宣

勅令第五百八十五號

陸軍大臣又ハ海軍大臣ハ支那事變ニ關スル國防獻品ヲ目的トスル寄附金ノ出納保管ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

省　令

◉内務省令第四十三號

支那事變ニ付官國幣社以下神社ニ於テ行フ祭祀ノ祝詞左ノ通定ム

昭和十二年十月九日

内務大臣　馬場　鍈一

祝　詞

掛巻も畏き神社乃大前に宮司（社司）（社掌）位勳功爵氏名恐み恐みも白左久現御神登天乃下知食す天皇命の敷坐す政乃大御看行給ひ敷中日外國國乃交際に大御心乎盡給ひ特に中華民國登陸上陸間も東亞彌遠長に安久穩に立榮去行事所念行須乎中華民國乃提大御旨乎悟奉良受恐に事乎繼に例無き事變乎起に依遂に贈懇志に給布事豊に成良去是乎以知良今日乃生日乃足日に大前に御食御酒種種乃物乎獻奉良此久乃狀乎告奉良久平く安く久聞食せ今往先に天皇命乃隨に猛く雄雄しく伊往向に大御軍人共に日々に更に國內擧良勤仕奉に國民乎夜乃守日乃守に給ひ幸給良海陸に遠く奏布者等乎攘退彼乃國人乎悉に速に思悟良む惟神乃大道乎仰ぎ尊み給ひ皇大朝廷乃大御稜威乎彌高に彌廣に伊照ま加志奉給ひ恐み恐み白す

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

告　示

◉外務省告示第八十五號

「ポーランド」國政府、「エストニア」國政府及瑞西聯邦政府ハ昭和五年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ署名セラレタル海軍軍備ノ制限及縮少ニ關スル條約第四編ニ揭ゲラルル商船ニ對スル潛水艦ノ行動ニ關スル規定ニ對スル各自國ノ加入ヲ夫々昭和十二年七月二十七日、二十八日及三十日附ヲ以テ英國政府ニ通告セリ（昭和十二年九月三日附本邦駐箚英國大使通牒）

昭和十二年十月九日

外務大臣　廣田　弘毅

◉内務省告示第六百三號

左ノ區域ニ昭和十二年十月二十九日ヨリ市街地建築物法ヲ同法施行規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

昭和十二年十月九日

内務大臣　馬場　鍈一

福岡縣京都郡行橋町

◉内務省告示第六百四號

左ノ區域ニ昭和十二年十月二十九日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

昭和十二年十月九日

内務大臣　馬場　鍈一

福岡縣筑紫郡二日市町

◉大藏省告示第二百五十八號

絲價安定施設特別會計法第三條ニ依リ發行スル蠶絲證券ノ見本ヲ國債事務取扱店ニ配置セリ

昭和十二年十月九日

大藏大臣　賀屋　興宣

◉大藏省告示第二百五十九號

昭和十二年四大藏省告示第七十九號アルコール賠償價格表左ノ通改正ス

昭和十二年十月九日

大藏大臣　賀屋　興宣

アルコール賠償價格表

アルコール度數	一石當賠償價格
九十九度以上	四四・五一
九十六度	三五・一八
九十五度	三五・一三
九十四度	三四・九四

◉大藏省告示第二百六十號

昭和十二年四大藏省告示第八十號アルコール賣渡價格表左ノ通改正ス

昭和十二年十月九日

大藏大臣　賀屋　興宣

アルコール賣渡價格表

アルコール度數	アルコール專賣法第十九條ニ依ル一石當價格	アルコール專賣法第二十條ニ依ル一石當價格
九十九度以上	二五九・五一	四四・五一
九十六度	二四一・一八	三五・一八
九十五度	二三九・三八	三五・一三
九十四度	二三七・〇四	三四・九四

◉農林省告示第三百三十二號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

昭和十二年十月九日

農林大臣　伯爵　有馬　賴寧

字	地番	面　積
山形縣東田川郡立谷澤村大字立谷澤		
赤澤	一五	實測 三七、八三〇〇ノ坪
同	九五	九五、一六〇二ノ坪
木澤	二	二三〇五
東山	五	一七九、七〇〇〇ノ坪
同	二	一四、八三〇〇ノ坪
同	二五	一四、八三〇〇ノ坪

◉農林省告示第三百三十三號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

昭和十二年十月九日

農林大臣　伯爵　有馬　賴寧

字	地番	面　積
福岡縣企救郡中谷村大字道原		
龍	五五九ノ一	實測 七、五〇二二ノ坪
同	一〇〇	
同遠賀郡芦屋町大字芦屋（一四五五ノ二）		實測 三四八、五六〇二ノ坪
芦屋浜	二四一七	

◉商工省告示第百八號

貿易組合法施行規則第三十一條ノ規定ニ依リ左ノ通定ム

昭和十二年十月九日

商工大臣　吉野　信次

日本硝子製品輸出組合ノ地區內ニ於テ印度（緬甸、錫蘭及「ベルチスタン」ヲ含ム）、「ネパール」、「ブータン」、「アフガニスタン」、馬來聯邦、馬來非聯邦、海峽殖民地、英領北「ボルネオ」、遥羅、蘭領「チモール」又ハ蘭領東印度ニ對シ硝子罎又ハ硝子製食卓用器（花生、盆、燈法罎及醫化學用器ヲ除ク）ヲ販賣ノ目的ヲ以テ輸出ヲ爲ス者ハ昭和十二年十月十日ヨリ該組合ノ行フ輸出數量ニ關スル統制ニ從フベシ

（備考）　右ノ統制ニ付テハ官報欄揭載ノ日本硝子製品輸出組合輸出數量統制要綱ヲ參照スベシ

◉逓信省告示第三百二十七號

左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月九日

逓信大臣　永井柳太郎

關係告示	舊施設者名	新施設者名	機器裝置場所
昭和十二年五逓信省告示第四百十二號	高千穗汽船株式會社	太洋海運株式會社	高千穗丸

◉逓信省告示第三百二十八號

昭和十二年九月二十八日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ

昭和十二年十月九日

逓信大臣　永井柳太郎

名稱	舊位置	新位置
高瑞丸無線電信取扱所	高千穗商船株式會社所屬汽船	太洋海運株式會社所屬汽船高瑞丸

◉逓信省告示第三百二十九號

左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十二年十月九日

逓信大臣　永井柳太郎

關係告示	舊施設者名	新施設者名	機器裝置場所
昭和十二年九月二十四日逓信省告示第八百四十五號	國際汽船株式會社	山下汽船株式會社	山下汽船亞丁丸

◉逓信省告示第三百三十號

昭和十二年九月二十四日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ

昭和十二年十月九日

逓信大臣　永井柳太郎

名稱	舊位置	新位置
亞丁丸無線電信取扱所	國際汽船株式會社所屬汽船亞丁丸	山下汽船株式會社所屬汽船亞丁丸

◉逓信省告示第三百三十一號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月九日

逓信大臣　永井柳太郎

一、施設者名 日本郵船株式會社
二、施設ノ目的 無線電信法第二條第一號乃至第三號ニ依リ航行ノ安全、海運事業及電報送受ニ使用
三、機器裝置場所 汽船淺香丸(定繫港横濱)
四、呼出符號 JWUL
五、空中線電力 第一裝置 一、〇〇〇「ワット」 第二裝置 一、〇〇〇「ワット」
六、使用電波ノ型式及周波數 第一裝置 A1 一二五 一三六及一四三kc A2 三七五 四一〇 四二五及五〇〇kc 第二裝置 A1 六二一〇 八二八〇 一一〇四〇及一二四二〇kc
七、通信執務時間 八時間

◉遞信省告示第三千百三十二號
昭和十二年九月二十二日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「伊之丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
燒津勇喜丸託送(保證責任燒津信用販賣購買利用組合勇喜丸)	JGLC	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千百三十三號
無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎
一、施設者名 內外汽船株式會社
二、施設ノ目的 無線電信法第二條第一號乃至第三號ニ依リ航行ノ安全、海運事業及電報送受ニ使用
三、機器裝置場所 汽船伏見丸(定繫港神戶)
四、呼出符號 JTTL
五、空中線電力 第一裝置 五〇〇「ワット」 第二裝置 二五〇「ワット」
六、使用電波ノ型式及周波數 第一裝置 A1 一二五 一三六及一四三kc A2 三七五 四一〇 四二五及五〇〇kc 第二裝置 A1 六二一〇 八二八〇及一二四二〇kc
七、通信執務時間 八時間

◉遞信省告示第三千百三十四號
昭和十二年九月三十日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第三探海丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第六拓南丸託送(日本水產株式會社第六拓南丸)	JWJL	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千百三十五號
昭和十二年九月三十日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第六拓南丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第七拓南丸託送(日本水產株式會社第七拓南丸)	JWKL	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千百三十六號
昭和十二年十月一日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第七拓南丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
第五利丸託送(大洋捕鯨株式會社第五利丸)	JKZL	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千百三十七號
左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

關係告示	舊施設者名	機器裝置場所	新施設者名
昭和五年三月遞信省告示第七百四十七號	日魯漁業株式會社	汽船神武丸	太平洋漁業株式會社

◉遞信省告示第三千百三十八號
昭和十二年九月二十九日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「神武丸託送」ノ項ヲ左ノ通改メタリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

發受所名	呼出符號	對手電信官署	發受電報ノ種別
神武丸託送(太平洋漁業株式會社神武丸)	JIPC	各海岸局及各船舶局	和文電報

◉遞信省告示第三千百三十九號
左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

關係告示	舊施設者名	機器裝置場所	新施設者名
昭和九年五月遞信省告示第千四十七號	日魯漁業株式會社	汽船康福丸	中村汽船株式會社

◉遞信省告示第三千百四十號
昭和十二年九月三十日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

名稱	舊位置	新位置
康福丸無線電信取扱所	日魯漁業株式會社所屬汽船康福丸	中村汽船株式會社所屬汽船康福丸

◉遞信省告示第三千百四十一號
左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

關係告示	舊施設者名	機器裝置場所	新施設者名
昭和十二年四月遞信省告示第九百七十五號	日魯漁業株式會社	汽船昌寶丸	嶋谷汽船株式會社

◉遞信省告示第三千百四十二號
昭和十二年九月二十七日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

名稱	舊位置	新位置
昌寶丸無線電信取扱所	日魯漁業株式會社所屬汽船昌寶丸	嶋谷汽船株式會社所屬汽船昌寶丸

◉遞信省告示第三千百四十三號
左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

關係告示	舊施設者名	機器裝置場所	新施設者名
昭和十二年三月遞信省告示第六百八十一號	日魯漁業株式會社	汽船第一雲洋丸	中村汽船株式會社

◉遞信省告示第三千百四十四號
昭和十二年九月二十九日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

名稱	舊位置	新位置
第一雲洋丸無線電信取扱所	日魯漁業株式會社所屬汽船第一雲洋丸	中村汽船株式會社所屬汽船第一雲洋丸

◉遞信省告示第三千百四十五號
左記私設無線電信ノ施設者名義ヲ下記ノ通變更ヲ許可セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

關係告示	舊施設者名	機器裝置場所	新施設者名
昭和十二年一月遞信省告示第百十號	日魯漁業株式會社	汽船福山丸	中村汽船株式會社

◉遞信省告示第三千百四十六號
昭和十二年九月三十日ヨリ左記電信取扱所ノ位置ヲ下記ノ通變更セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

名稱	舊位置	新位置
福山丸無線電信取扱所	日魯漁業株式會社所屬汽船福山丸	中村汽船株式會社所屬汽船福山丸

◉遞信省告示第三千百四十七號
左記私設無線電信無線電話ノ施設者ハ下記ノ通改名セシ旨屆出アリタリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

關係告示	舊施設者名	新施設者名
大正十四年三月遞信省告示第三百五十號	燒津漁業組合	保證責任燒津漁業協同組合

◉遞信省告示第三千百四十八號
無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎
一、施設者名 宮地民之助
二、施設ノ目的 無線電信法第二條第一號及第三號ニ依リ航行ノ安全及電報送受ニ使用
三、機器裝置場所 汽船ウエストマンハム(定繫港大阪)
四、呼出符號 JEWZ
五、空中線電力 七五「ワット」
六、使用電波ノ型式及周波數 B三七五 四一〇 四二五及五〇〇kc
七、通信執務時間 八時間

◉遞信省告示第三千百四十九號
昭和十二年十月十五日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

名稱	位置
月岡溫泉郵便局	新潟縣北蒲原郡本田村

◉遞信省告示第三千百五十號
昭和十一年十二月遞信省告示第三千三百四十號萬國郵便條約ニ依リ關稅ヲ課セラルベキ物品ヲ書狀、商品見本又ハ小形包裝物トシテ輸入スルコトヲ許ス名宛國等ノ表中左ノ通改正ス
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎
一、「エクアドル」國ノ項第四欄「否」ヲ「許」ニ、第五欄「―」ヲ「東廻」ニ改ム
一、「英國諸自治領、殖民地及保護領ノ部「タンガニイカ」(英國委任統治地域)ノ項第三欄「許」ヲ「否」ニ改ム
一、同「トランスジョルダン」(英國委任統治地域)ノ項第三欄「否」ヲ「許」ニ改ム
一、「ニカラグァ」國ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

諸威國	否	否	許	東廻又ハ西廻	五〇「オール」	不要

一、「ニュー、ジーランド」ノ項第七欄「不要」ヲ「一枚」ニ改ム

◉遞信省告示第三千百五十一號
昭和十一年三月遞信省告示第四百二號本邦ト別配達通常郵便物ヲ交換スル國等ノ表中「チュニス」國ノ項第四欄『三「フラン」』ヲ『三「フラン」五〇「サンチーム」』ニ改ム
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

◉遞信省告示第三千百五十二號
昭和十一年十二月遞信省告示第三千三百四十一號外國宛通常郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ヲ請求シ得ル國及該請求書ヲ宛ツベキ官署ノ表中左ノ通改正ス
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎
一、「リスアニア」國ノ項第二欄「Direction générale des postes et des télégraphes à Kaunas」ヲ「名宛局」ニ改ム
一、「トルコ」國ノ項第二欄『「アンカラ」(Ankara)』ノ次ニ『「ガラタ」(Galata)』ヲ加フ

◉遞信省告示第三千百五十三號
昭和十一年三月遞信省告示第四百十八號名宛人又ハ名宛人ト住居ヲ共ニスル人以外ノ人ニ宛テタル現實的且對人的通信ノ性質ヲ有スル書類ヲ包有スル書狀ニ對シ本邦ト異ル取扱ヲ爲ス國ノ表中「獨逸國」ノ項ノ前ニ左ノ一項ヲ加フ
昭和十二年十月九日 遞信大臣 永井柳太郎

「アルバニア」國	同前

◉鐵道省告示第三百七十六號
陶器類、タイル類ニ對スル割引運賃左ノ通定ム
昭和十二年十月九日 鐵道大臣 中島知久平
一品名 陶器類、タイル類
一發驛 武豐、名古屋、鐵道常滑、多屋
一著驛 梅小路、西ノ宮、住吉、東灘、湊川、小野濱、二條、湊町、稻荷、桃山、南海鐵道淺香山、住吉東
一扱種別 貨切扱
一期間 自昭和十二年十月九日 至昭和十三年三月三十一日
一賃率 省線內普通賃率ノ二割五分減
一條件 一般賃率ニ依リ通計四、〇〇〇瓩以上託送シタルモノニ對シ二、一〇〇瓩ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓩數ニ就キ省所定ノ手續(運輸帳表取扱手續)ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戾スモノトス

◉鐵道省告示第三百七十七號
亞鉛鑛ニ對スル割引運賃左ノ通定ム
昭和十二年十月九日 鐵道大臣 中島知久平
一品名 亞鉛鑛
一發驛 京都電燈越前電氣鐵道大野口
一著驛 大牟田
一扱種別 貨切扱
一期間 自昭和十二年十月十日 至昭和十三年三月三十一日
一賃率 省線內十七級賃率ノ二割減
一條件 一般賃率ニ依リ通計一、〇〇〇瓩以上託送シタルモノニ對シ省所定ノ手續(運輸帳表取扱手續)ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戾スモノトス

◉鐵道省告示第三百七十八號
織物類及綿糸ニ對スル割引運賃左ノ通定ム
昭和十二年十月九日 鐵道大臣 中島知久平
一品名 織物類、綿糸
一發驛 尾張一ノ宮、木曾川
一著驛 梅小路、梅田、小野濱
一扱種別 貨切扱
一期間 自昭和十二年十月十四日 至昭和十三年三月三十一日
一賃率 普通賃率ノ二割減
一條件 一般賃率ニ依リ通計八、〇〇〇瓩以上託送シタルモノニ對シ三、〇〇〇瓩ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送瓩數ニ就キ省所定ノ手續(運輸帳表取扱手續)ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戾スモノトス

正誤

昨八日遞信省告示第三千三號中五、空中線電力ノ部『無線電信 七五「ワット」』ハ『無線電話 七五「ワット」』ノ誤 遞信書記官

本月六日鐵道省告示第三百七十五號末尾ニ左ノ一項ヲ脫ス 鐵道書記官
同札幌運輸、保線各事務所ノ項所管區域ノ欄中「江差線」ノ下ニ「瀨棚線」ヲ加フ

昨八日內務省告示第六百二號中二二七頁三段九行「綠場町」ハ「纖場町」ノ誤植

敍任及辭令

◉昭和十二年八月十六日
敍正六位　　從六位勳六等　新田　愼一
敍正七位　　從七位　山内　達雄
◉昭和十二年十月六日
敍正五位　　從五位勳三等　後藤　直延
敍正六位　　從六位　小澤　重雄
敍從六位　　正七位　相澤　包助
（各通）
◉昭和十二年十月七日
正五位勳三等　中村　晉吉
從四位勳三等　荻洲　立兵
同　岩松　義雄
同　吉住　良輔
從四位勳三等功五級　佐原　敬二
同　上村清太郎
正四位勳三等　谷本　清心
同　野滿　隆治
同　笠井健太郎
敍勳二等授瑞寶章
正六位勳四等　原　松一
同　岡島　重敏
同　廣田　明
從五位勳四等　山田　喜藏
正六位勳四等　小國　一雄
同　服部　尙志
同　根岸　四
同　根東龍太郎
同　小澤　重義
同　金川　耕作
同　酒井阿稜生
同　早瀬　秀夫
從五位勳四等　土　正雄
正六位勳四等　有田　俊夫
（各通）
同　稻垣　弘毅
同　近藤　玉衞
同　石田　豊藏
同　山田　兵三
從五位勳四等　山口　京一
正六位勳四等　小川　雪松
同　矢ヶ崎節三
同　大木　四郎
同　磯部　幸助
同　加藤　圭二
同　金子　篤
同　箕浦　元義
同　橫山　利正
同　林田　金城
從五位勳四等功五級　木村　直樹
從五位勳四等　佐々田謹太郎
同　佐々木宗治
同　土谷直二郎
同　山内　保
同　安達　保藏
正五位勳四等　西川　武
從五位勳四等　山本　武次
同　川添長太郎
從四位勳四等　石川　剛
正四位勳四等　春木　節郎
正四位勳四等男爵　武井　守成
正五位勳四等　高橋　清
同　森　新治郎
同　大山松次郎
從四位勳四等　粟山　重信
同　西川　正治
同　太田原豊一
同　小宮　悅造
同　鈴木賀一郎
敍勳三等授瑞寶章
從五位勳四等功五級　渡邊卯一郎
正七位勳五等　伊藤　留松
同　高橋　正次
正六位勳五等　細貝　作藏
（各通）
正七位勳五等　大場逸三郎
同　早田　正義
同　野村　秀尾
同　室木　武雄
同　齊藤　勝惠
同　尾尻　義馬
從六位勳五等　河野　治作
同　須藤　久
同　佐伯　侃二
同　遠藤　芳男
同　佐々木貞治
同　山本　憲一
正六位勳五等　江口庸太郎
同　渡邊　浩
正五位勳五等　坂口　岩七
同　御巫　清白
正六位勳五等　宇島　良雄
從五位勳五等　重松於菟彦
正六位勳五等　本居友三郎
正五位勳五等　小池信太郎
正六位勳五等　織田　義重
從五位勳五等　田代　元俊
正五位勳五等　橋本　精次
從五位勳五等　小林　衞
同　櫻井喜三郎
同　内藤　節彌
正五位勳五等　山田　滋朗
同　相原　守正
同　沖原　定
同　松本　官平
同　坂崎　成敏
從四位勳五等　高橋理一郎
同　馬場　賀訓
同　笹　慶一
同　金子　秀顯
正五位勳五等　周防　正季
從四位勳五等　篠澤　惟助
同　橋本恒五郎
同　千綿　榮六
正五位勳五等　中村　健吾
同　德永　晉作
同　坂元　常樹
正七位勳五等　水木龜治郎
正五位勳五等　高井　信一
同　加藤　三郎
同　山中　良樹
同　今吉　敏雄
同　林　信夫
同　長崎惣之助
同　川崎貫一郎
從四位勳五等　加藤　正擴
正五位勳五等　塚原　末吉
從四位勳五等　太田　康治
同　碇居　龍太
正五位勳五等　豐田　臻
正五位　渡邊宗太郎
同　吉田　洋一
同　杉山　繁輝
同　石橋　雅義
敍勳四等授瑞寶章
朝鮮總督府鐵道局書記　永田　龜治
任朝鮮總督府鐵道局副參事
敍高等官七等　永田　龜治
敍從七位
◉昭和十二年十月八日
社會局事務官正六位　安中　忠雄
任内務事務官
敍高等官四等
鹿兒島高等農林學校教授從六位　澁谷　正健
兼任鹿兒島高等農林學校生徒主事
敍高等官五等
警視廳警視陸軍砲兵少尉正七位　保岡　武久
任警視廳事務官
敍高等官六等

任警視廳警視
敍高等官七等
富山縣屬　小野　裕
社會局屬　龜井　光
大阪府屬　丹羽　寒月
千葉縣屬　太田　政明
栃木縣屬　飼手　眞吾
（各通）青森縣屬兼青森縣警部　池田　正雄
秋田縣屬　松岡　教之
鳥取縣屬　高辻　正巳
山口縣屬　村井　順
德島縣屬兼德島縣警部　中川　幸雄
鹿兒島縣屬兼鹿兒島縣警部　山口　一夫
任地方事務官
敍高等官七等
安東中學校教諭兼安東中學校舍監從七位　赤澤　要雄
公立中學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
三重縣立多氣實業學校教諭陸軍步兵少尉正八位　川本　丈三
公立實業學校教諭ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
平安北道產業技手　青木　三郎
咸鏡北道產業技手　齋藤　喜重
（各通）
朝鮮產業技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
都市計畫地方委員會事務官兼内務事務官　江口見登留
免本官專任内務事務官
陸軍步兵大佐　齋藤　正銳
文部省體育官　小笠原道生
東京帝國大學教授　谷津　直秀
同　中井猛之進
同　坪井誠太郎
同　西川　正治
同　柴田　雄次
東京文理科大學教授　山羽　儀兵
同　小野澄之助
東京高等師範學校教授　武原　熊吉
同　藤本　治義
同　村地　長孝
同　渥美　正
同　板倉　賛治
同　野尻　重雄
同　二宮文右衞門
同　野口源三郎
同　森　力
東京高等師範學校教諭　佐藤　卯吉
同　三苫　正雄
東京女子高等師範學校教授　林　太郎
同　堀　七藏
東京女子高等師範學校教諭　戸倉　ハル
第六臨時教員養成所教授　佐々木　等
（各通）
第一高等學校教授　平井　富夫
東京美術學校教授　松田　義之
東京音樂學校教授　高折　宮次
同　澤崎　定之
同　片山頴太郎
體育研究所技師　大谷　武一
正三位勳一等　嘉納治五郎
正五位勳三等　木村　正義
遊佐　慶夫
正三位勳二等　高倉卯三麿
同　野村　淳治
正四位勳四等　北　豐吉
同　細田　謙藏
同　高野佐三郎
從四位勳五等　水野　彌作
從五位勳四等　山口　敏彥
正五位勳五等　伊藤信一郎
從六位勳五等　鈴川　信一
小川金之助
田代　北次
高橋誠一郎
中桐確太郎
教員檢定委員會臨時委員被免（以上十月九日詰内閣）
小林　澄兄
鈴木　春親
故陸軍步兵大佐從五位勳三等　後藤　直延
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル（詰宮内省）
外務省歐亞局長　東鄕　茂德
滿洲國へ出張ヲ命ス
領事　桑折鐵次郎
賜一級俸
「サンダカン」在勤ヲ命ス（以上詰外務省）
外務事務官　甲斐文比古
「ソヴィエト」聯邦、「ポーランド」國、獨國、蘭國、白耳義國及佛國へ出張ヲ命ス（詰同）
地方事務官　佐藤英之助
五級俸下賜（十八日詰内務省）
社會事業主事　佐々木梵成
東京府社會事業主事ニ補ス
同　任勢　都
衞生技師　諸岡　伍夫
和歌山縣社會事業主事ニ補ス
鐵道局長　長崎惣之助
山口縣衞生技師ニ補ス
都市計畫群馬地方委員會委員ヲ命ス
都市計畫茨城地方委員會委員ヲ命ス
陸軍步兵大佐　齋藤　正銳
都市計畫栃木地方委員會委員ヲ命ス
陸軍少將　渡邊　正夫
都市計畫栃木地方委員會委員ヲ免ス（以上詰同）
陸軍步兵中佐　楠山　秀吉
普通試驗委員、官國幣社神職尋常試驗委員ヲ免ス
同　額田　坦
普通試驗委員、官國幣社神職尋常試驗委員ヲ命ス（以上八日詰陸軍省）
廣海軍工廠附海軍技師　大久保隆弌
補佐世保海軍工廠造機部部員（詰海軍省）
海軍少將　杉山　俊亮
高等軍法會議判士ヲ免ス（詰同）
檢事　枇杷田源介
三級俸下賜（詰司法省）
少年審判官　松井　善一
一級俸下賜
東京區裁判所檢事兼東京刑事地方裁判所檢事　枇杷田源介
大阪少年審判所勤務ヲ命ス
東京帝國大學教授　東　龍太郎
退職ヲ命ス（以上詰同）
同　橋田　邦彥
東京帝國大學評議員ヲ命ス
京都帝國大學教授　時野谷常三郎
依願東京帝國大學評議員ヲ免ス
同　天野　貞祐
京都帝國大學評議員ヲ命ス
京都帝國大學學生主事　長崎　太郎
依願京都帝國大學評議員ヲ免ス
金澤醫科大學教授　古屋　芳雄
三級俸下賜
金澤醫科大學助教授　村上　賢三
賜本俸四級俸
同　池本　五月
本俸七級俸下賜
同　岡本　肇
（各通）
同　沖山　政一
本俸八級俸下賜
神戸高等商船學校教授　豐田利一郎
本俸十級俸下賜
同　林　信夫
（各通）
浦和高等學校教授　鈴木　昭
四級俸下賜
同　藤田德太郎
六級俸下賜
公立中學校教諭　赤澤　要雄
七級俸下賜（以上詰文部省）
福岡縣宗像中學校教諭ニ補ス
公立實業學校教諭　川本　丈三
三重縣立多氣實業學校教諭ニ補ス

公立高等女學校長兼公立高等女學校教諭　小野三郎
公立學校職員分限令第八條第一項第五號ニ依リ休職ヲ命ス
濱松高等工業學校教授　大島重太郎
滿洲國ヘノ出張ヲ免ス（以上[illegible]同）
鑛山監督局書記官　海老根駿
地方森林會規則第三條第二項第三號ニ依リ東京、神奈川、新潟、千葉、栃木、靜岡地方森林會議員ヲ命ス
同　保科治朗
地方森林會規則第三條第二項第三號ニ依リ埼玉、群馬、岐阜、長野地方森林會議員ヲ命ス
鑛山監督局長　中村幸八
地方森林會規則第三條第二項第三號ニ依リ宮城地方森林會議員ヲ命ス
鑛山監督局書記官　齋藤大助
地方森林會規則第三條第二項第三號ニ依リ青森、山形地方森林會議員ヲ命ス
同　岩武照彥
地方森林會規則第三條第二項第三號ニ依リ岩手、秋田地方森林會議員ヲ命ス
同　桑田俊夫
地方森林會規則第三條第二項第三號ニ依リ福井、富山、島根、廣島、德島地方森林會議員ヲ命ス
同　椎野幸雄
地方森林會規則第三條第二項第三號ニ依リ福岡、鹿兒島、沖繩地方森林會議員ヲ命ス
地方農林技師　高橋一夫
第十三回靜岡縣畜産共進會審査長ヲ囑託ス
同　盛田四位平
第九回山形縣種牛共進會審査長ヲ囑託ス
同　星野篤雄
第一回富山縣種緬羊共進會審査長ヲ囑託ス
同　安藤順治
第二十四回島根縣畜産共進會審査長ヲ囑託ス（以上[illegible]農林省）

遞信技師　齋藤齊
五級俸下賜
工務局勤務ヲ命ス
大臣官房保健課兼務ヲ命ス（[illegible]遞信省）
鐵道局技師　瀨戸義太郎
六級俸下賜（[illegible]鐵道省）
朝鮮總督府道技師　庄田眞次郎
慶尙北道在勤ヲ命ス（[illegible]朝鮮總督府）
朝鮮總督府專賣局技師　櫻井眞治
京城地方專賣局在勤ヲ命ス
製造課勤務ヲ命ス
專賣局製造課兼務ヲ命ス
同　原田晉作
平壤地方專賣局在勤ヲ命ス
製造課勤務ヲ命ス
同　立石貞助
大邱地方專賣局在勤ヲ命ス
收納課勤務ヲ命ス
同　幡鎌芳三郎
專賣局研究所素砂支所長ヲ命ス
同　澤正治
專賣局研究所素砂支所勤務ヲ命ス
京城地方專賣局兼務ヲ命ス
同　羽島久雄
專賣局研究所朱安支所長ヲ命ス
專賣局朱安出張所長兼務ヲ命ス（以上[illegible]同）
朝鮮總督府遞信副事務官　野村隆吉
（各通）同　重松武雄
同　田崎勇造
七級俸下賜
同　橋本治吉
（各通）同　須々木貞雄
八級俸下賜
朝鮮總督府遞信技師　津島久康
九級俸下賜
同　山本久富
（各通）同　足立斌
同　安部明
十級俸下賜

朝鮮總督府專賣局技師　鈴木球雄
八級俸下賜
專賣局南市出張所長ヲ命ス（以上[illegible]同）
朝鮮總督府遞信技師　杉本良一
十級俸下賜
朝鮮公立高等普通學校教諭　稻田良助
六級俸下賜
補光州公立高等普通學校教諭
朝鮮公立女子高等普通學校教諭　持地佐吉
七級俸下賜
補光州公立女子高等普通學校教諭
朝鮮公立實業學校教諭　金子孝次郎
八級俸下賜
補沙里院公立農業學校教諭
同　江島英雄
七級俸下賜
補木浦公立商業學校教諭
朝鮮總督府遞信技師　小森総左ヱ門
九級俸下賜（以上[illegible]同）
朝鮮總督府鐵道局技師　芥田富太
八級俸下賜
朝鮮總督府中央試驗所技師　室井渡
十一級俸下賜
朝鮮總督府道理事官　安倍吉郎
七級俸下賜
全羅南道在勤ヲ命ス
朝鮮公立實業學校教諭　元洪九
七級俸下賜
補安州公立農業學校教諭
朝鮮産業技師　植田繁十
十級俸下賜
京畿道産業技師ニ補ス（以上[illegible]同）
朝鮮總督府營林署技師　早瀨利康
八級俸下賜
惠山鎭營林署長ヲ命ス
同　大畠治秀
六級俸下賜
朝鮮總督府道技師　塩見節二
四級俸下賜（以上[illegible]同）

朝鮮總督府技師　內田襄
（各通）同　榛葉朗
同　市來惟義
十一級俸下賜
內務局勤務ヲ命ス
同　伊佐山伊三郎
五級俸下賜
警務局勤務ヲ命ス（以上[illegible]同）
朝鮮總督府銀行檢査官　淺間健
六級俸下賜
財務局勤務ヲ命ス
朝鮮總督府司稅官　增子善重
八級俸下賜
補元山稅務署長
同　金聖煥
八級俸下賜
補全州稅務署長
朝鮮總督府教誨師　淺井暎雄
八級俸下賜
海州刑務所在勤ヲ命ス
朝鮮總督府司稅官　高久榮
補京城稅務署長
同　山部義男
補平壤稅務署長
同　小野重人
補仁川稅務署長（以上[illegible]同）
朝鮮總督府遞信事務官　小川要次
遞信局保險運用課長兼遞信局航空課長ヲ命ス
朝鮮總督府遞信副事務官　麻生憲治
釜山郵便局長ヲ命ス
同　岡文一
元山郵便局長ヲ命ス
朝鮮總督府遞信事務官　田中靜夫
遞信局保險運用課長兼務ヲ免ス（以上[illegible]同）
地方農林技師　伊藤義郎
十一級俸下賜（[illegible]北海道廳）

公立高等女學校教諭　棚井逵
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（[illegible]神奈川縣）
公立實業學校長　柏原博
六級俸下賜（[illegible]兵庫縣）
公立中學校教諭　秋山峰太郎
年功加俸年額金壹百九拾貳圓下賜（[illegible]長崎縣）
公立實業學校教諭　川名忠藏
九級俸下賜（[illegible]千葉縣）
公立中學校長　大野芳麿
年功加俸年額金壹百四拾四圓下賜（[illegible]山梨縣）
公立實業學校教諭　佐藤新四郎
四級俸下賜（[illegible]岩手縣）

宮廷錄事

◉**謁見**　本邦駐箚暹羅國特命全權公使プラ、ミトラカム、ラクサ今般歸任歸國ニ付御暇乞ノタメ昨八日午前十時　天皇陛下ニ謁見同十一時夫人同伴　皇太后陛下ニ謁見仰付ケラレタリ

◉**御斂葬濟**　故多嘉王御斂葬一昨七日午後四時十五分滯リナク濟マセラレタリ

◉**幣帛下賜**　判事安藤辛卒去ニ付一昨七日幣帛ヲ下賜セラレタリ

彙報

○官廳事項

◉**本邦駐箚諾威國公使歸任**　本邦駐箚諾威國特命全權公使フィン、コーレンハ一時歸國中ノ處今般歸任セル旨同公使ヨリ去月三十日附書翰ヲ以テ通知アリタリ

◉**本邦駐箚瑞西國公使歸任**　本邦駐箚瑞西國特命全權公使ヴァルター、ツルンヘールハ豫テ賜暇歸國中ノ處去月三十日歸任セル旨同公使ヨリ同日附書翰ヲ以テ通知アリタリ

◉**本邦駐箚和蘭國公使歸任**　本邦駐箚和蘭國特命全權公使ゼネラル、イェー、セー、パブストハ豫テ賜暇歸國中ノ處今般歸任セル旨同公使ヨリ去月三十日附書翰ヲ以テ通知アリタリ

◉**帝國學士院會員族籍變更**　鹿兒島縣士族帝國學士院會員今村明恒ハ今般東京府ヘ其族籍ヲ變更セリ

◉**兼任**　朝鮮黃海道公立小學校長（奏任待遇）朝鮮公立小學校訓導河野親義ハ去月十四日朝鮮公立普通學校訓導ヲ兼任セリ

◉**休職**　公立實業學校教諭佐野福太郎ハ本年八月六日公立學校職員分限令第八條第二項ニ依リ休職ト爲レリ

◉**休職滿期**　休職鐵道省事務官西條軍十郎ハ去月二十七日休職滿期ト爲レリ

◉**退職**　廣島縣公立小學校長佐々木貞雄ハ本年八月三十一日、三重縣公立小學校長杉岡麗純ハ去月十八日、大阪府公立小學校長平田利胤、島根縣公立小學校長八島寬治ハ同二十日孰モ願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ

◉**勳等及從軍記章等褫奪**　勳章褫奪令第一條及第六條ニ依リ勳等及明治三十七八年從軍記章、大正三四年從軍記章、大正三年乃至九年戰役從軍記章、戰捷記章、第一回國勢調査記念章、韓國併合記念章、大禮記念章ヲ褫奪セラレタル者左ノ如シ（氏名ノ下ニ在ル數字ハ褫奪ノ年月日ナリ）

勳七等及明治三十七八年從軍記章大正三四年從軍記章戰捷記章
天山鶴仙（昭和一二、九、二）
勳七等及明治三十七八年從軍記章
笹田俠士（舊姓上田）（一二、八、四）
勳八等及明治三十七八年從軍記章第一回國勢調査記念章大禮記念章（大正、昭和）
秋山忠平（一二、八、六）
勳八等及明治三十七八年從軍記章
高橋與藏（一二、八、[illegible]）
長尾幾次郎（一二、[illegible]）
野村松太郎（一二、[illegible]）
石森谷五郎（一二、[illegible]）
勳八等及大正三四年從軍記章戰捷記章韓國併合記念章
鈴木楢太郎（一二、八、[illegible]）
勳八等及大正三四年從軍記章戰捷記章
岡川竹次郎（一二、[illegible]、七）
勳八等及大正三年乃至九年戰役從軍記章
河野六三郎（一二、[illegible]、七）
大正三年乃至九年戰役從軍記章
關下吉治（一二、[illegible]）
山本榮藏（一二、[illegible]）
上坂格（一二、[illegible]）
大禮記念章（昭和）
増田作治（一二、[illegible]、七）
西向喜代一（一二、[illegible]、六）

◉**官吏薨去及死去**　東京帝國大學名譽教授帝國學士院會員從三位勳二等高松豐吉ハ去月二十七日薨去シ退役海軍特務少尉正七位勳六等倉野伊兵衞ハ同三日、同看護特務少尉正八位勳六等杉本淸ハ同二十一日孰モ死去セリ

◉**敎職死去**　公立實業學校教諭從七位石原千平ハ本年八月二十二日死去セリ

○司法

◉**辯護士名簿登錄等**　昭和十二年九月中ニ於ケル辯護士名簿登錄、登錄換及登錄取消左ノ如シ（司法省）

月日	事由		所屬辯護士會	氏名
	登錄			
九月六	請求	宇都宮		末藤善三郎
二五	同	橫濱		川名仲司郎
	登錄換			
四	請求	岡山	大阪	豐田秀男
一〇	同	宇都宮	東京	戸恒倉三
	登錄取消			
六	請求		東京	內田淸吉
同	同		那覇	石川善盛
一三	同		名古屋	日戸英雄
同	同		第二東京	木村英彥
一六	同		大阪	吉良恒善
同	同		第一東京	三浦節三
同	同		第二東京	龜山洋三
二〇	同		同	播田政雄
同	同		東京	長谷川勇吉
同	同		第一東京	百村五郎左衞門
二一	同		東京	橋本潔
同	同		同	伊藤仁
同	同		同	門田茂穗
二二	同		同	山本嘉盛
同	同		同	岡岩雄
二四	同		同	內田義隆
同	同		仙臺	菅井良助
同	同		東京	長谷川寛
同	同		第二東京	深田鎭雄
二七	同		東京	星野民雄
同	同		同	東里秀
三〇	同		第二東京	阿由葉幸司
一三	死亡		松山	石田今次
一七	同		金澤	織田平三
同	同		長崎	本多泰隆
二〇	同		千葉	安部遥
二二	同		大阪	山本芳平
二七	同		東京	立松懷淸
同	同		同	國友東吾
同	同		同	松野信治郎
一四	辯護士法第五條ニ該當		佐賀	高木健助

○監獄

◉**受刑者刑名刑期別**　昭和十二年八月末日現在受刑者刑名刑期別左ノ如シ（△印ハ減）（司法省）

刑名刑期	男	女	計	前月末日現在	前年同月末日現在	增減 前月比較	增減 前年比較
懲役刑							
無期	五三四	一四	五四八	五四八	五二七	○	二一
十五年以上	四八七	一一	四九八	五〇一	五〇四	△三	△六
十五年未滿	四五五	五	四六〇	四六二	四八三	△二	△二三
十年以下	四、九七五	七八	五、〇五三	五、〇九四	五、〇三七	△四一	一六
五年以下	八、一五二	一三三	八、二八五	八、二九八	八、一六三	△一三	一二二
三年以下	九、二四九	一五四	九、四〇三	九、四八六	九、五四五	△八三	△一四二
二年以下	一一、五四〇	一三四	一一、六七四	一一、八二七	一二、三四二	△一五三	△六六八
一年以下	一〇、三〇五	一四一	一〇、四四六	一〇、七二四	一一、五一六	△二七八	△一、〇七〇

六月以下	二、二〇七	四〇	二、二四七	二、四二八	二、五九〇	△	一八一	△	三四三
三月以下	四〇七	五	四一二	四四六	五三七	△	三四	△	一二五
計	四八、三一一	七一五	四九、〇二六	四九、八一四	五一、二四四	△	七八八	△	二、二一八
禁錮刑									
無期	七	—	七	六	六		一		一
十五年以上	六	—	六	六	六		〇		〇
十五年未滿	三	—	三	三	三		〇		〇
十年以下	一二	—	一二	一二	一二		〇		〇
五年以下	一四	—	一四	一五	一一	△	一		三
三年以下	七	—	七	六	六		一		一
二年以下	七	—	七	七	五		〇		二
一年以下	三八	—	三八	三九	二九	△	一		九
六月以下	一〇〇	—	一〇〇	一四二	一三三	△	四二	△	三三
三月以下	九三	—	九三	一七七	一五九	△	八四	△	六六
計	二八七	—	二八七	四一三	三七〇	△	一二六	△	八三
拘留計	一一六	八	一二四	一四七	一六二	△	二三	△	三八
合計	四八、七一四	七二三	四九、四三七	五〇、三七四	五一、七七六	△	九三七	△	二、三三九

○陸海軍

●水路告示第三十九號

（一〇九一項……一一一一項）

昭和十二年十月九日

水路部長　太田垣富三郎

●12年1091項(一時關係) *

一時關係及豫告告示一覽表頒布

記事　昭和12年9月30日調査ニ依ル一時關係及豫告告示一覽表ヲ頒布ス所要ノ向ハ水路圖誌販賣所ヨリ交付ヲ受クルコトヲ得

前告示　12年827項(削除)

出所　水路部

●12年1092項(一時關係) *

北海道南岸―尾札部港　燈臺點燈復舊

記事　12年957項ヲ以テ故障ノ爲點燈休止ノ旨告示セル尾札部港船澗防波堤燈臺ハ點燈復舊セリ

位置　船澗防波堤外端
Lat. 41° 53′.8 N.　Long. 141° 00′.5 E.
(概位)

略記　F. G. 9m. 6½ M.(U)

海圖　10――43

前告示　誌3A. 41頁及誌100A. 856番貼附ノ12年957項(削除)

出所　北海道廳

●12年1093項(一時關係) *

横濱港　第2區及第3區―外防波堤附近　船舶航行及繫留禁止並ニ解除、柱燈浮標移設及撤去

(1)記事　内務省横濱土木出張所ノ施行ニ係ル横濱港外防波堤工事ノ爲下記海面ニ於ケル一般船舶ノ航行及繫留ヲ禁止シ該區域ヲ示ス爲横濱港第4號柱燈浮標及同第1號柱燈浮標ヲ移設セリ(附圖參照)

甲禁止區域　南外防波堤延長線上現船舶航行及繫留禁止區域南西側ニ隣接スル長サ326米幅100米ノ矩形ノ區域

位置　Lat. 35° 26′.3 N.　Long. 139° 40′.3 E.
(概位)

横濱港第4號柱燈浮標

位置　Lat. 35° 26′.26 N.　Long. 139° 40′.25 E.　(概位)

略記　Fl. ev. 5 sec. 8½ M.(Tempy.)

乙禁止區域　北外防波堤南端ヨリ其ノ中心線上北東方1,100米ノ地點ヲ起點トシテ44½°ノ方向ニ長サ900米ノ直線ノ兩側幅各75米ノ矩形ノ區域

位置　Lat. 35° 27′.9 N.　Long. 139° 41′.2 E.
(概位)

横濱港第1號柱燈浮標

位置　Lat. 35° 28′.06 N.　Long. 139° 41′.45 E.　(概位)

略記　Fl. ev. 5 sec. 8½ M.(Tempy.)

期間　昭和12年10月10日至同13年3月31日間

(2)記事　12年5項ヲ以テ北外防波堤北東方下記位置海面(三角形)ニ於ケル一般船舶ノ航行及繫留禁止ノ旨告示セシ處之ヲ解除シ同區域ノ北東方ニ設置セル横濱港假設柱燈浮標(閃緑光)ヲ撤去セリ(附圖參照)

位置　Lat. 35° 27′.9 N.　Long. 139° 41′.2 E.
(概位)

略記　Fl. G. ev. 5 sec. 8½ M.

海圖　66――67――(2)69

誌類　(1)誌1A追. 7頁――(1)誌100A. 19番、22番――誌1A. 40頁及誌100A. 19番貼附ノ12年5項、誌100A. 22番貼附ノ12年775項(2)(各削除)

出所　横濱税關港務部

●12年1094項(一時關係) *

東京港―航路入口東側附近　假浮標代置

記事　12年961項ヲ以テ流失ノ旨告示セル東京港第4號浮標(紅塗)復舊迄從來ノ位置ニ下記假浮標ヲ代置ス

位置　航路入口東側
Lat. 35° 35′.67 N.　Long. 139° 47′.16 E.
(概位)

細目　樽式紅塗圓錐形鐵造浮標●水面上高4米

海圖　1065――90――1061

誌類　誌1A. 44頁――誌100A. 4007番――12年961項(削除)

出所　燈臺局

●12年1095項(一時關係) *

東京港―西第2砲臺附近　東京港第12號浮標復舊

記事　12年923項ヲ以テ修理ノ爲一時撤去ノ旨告示セル東京港第12號浮標(紅塗)ハ復舊セリ

位置　西第2砲臺南西角ノ南南西方　約60米
Lat. 35° 37′.53 N.　Long. 139° 45′.88 E.
(概位)

海圖　1065――90――1061

前告示　誌1A. 44頁及誌100A. 4011番貼附ノ12年923項(削除)

出所　燈臺局

●12年1096項(一時關係) *

本州南岸　伊勢海―四日市港　第2號柱燈浮標復舊、假浮標撤去

記事　12年998項ヲ以テ修繕ノ爲撤去ノ旨告示セル四日市港第2號柱燈浮標(閃紅光)ハ復舊シ、同位置ニ代置セル紅塗圓錐形假浮標ハ撤去セリ

位置　防波堤燈臺ノ北西方　約4鏈
Lat. 34° 56′.73 N.　Long. 136° 39′.35 E.
(概位)

略記　Fl. R. ev. 3 sec. 6 M.

海圖　94――1051

前告示　誌1A. 106頁及誌100A. 97番貼附ノ12年998項(削除)

出所　燈臺局

●12年1097項(一時關係) *

大阪港　航行禁止區域追加並ニ期間延長

(1)記事　大阪市ノ施行ニ係ル港内浚渫作業ノ爲下記區域内ニ於ケル一般船舶ノ航行ヲ禁止ス(附圖參照)

(S)木津川河口ニ於テ

區域　別紙附圖ニ示ス(S)區域内ニ於テ浚渫船ヲ中心トシテ前方130米、後方80米、左右各35米ノ矩形區域(隨時移動ス)

位置　Lat. 34° 37′.4 N.　Long. 135° 26′.9 E.　(概位)

期間　昭和12年10月1日至同13年3月末日間

(2)記事　12年367項ヲ以テ告示セル大阪港修築工事施行ニ係ル浚渫作業區域中木津川運河西口南西方(M)區域ハ一部變更シ梅町船渠入口西側ニ於ケル(F)區域ト共ニ昭和13年3月31日迄夫々航行禁止期間ヲ延長セリ

(M)木津川運河西口南西方附近ニ於テ

區域　別紙附圖ニ示ス(M)區域内ニ於テ浚渫船ヲ中心トシテ前方130米、後方80米、左右各35米ノ矩形區域(隨時移動ス)

位置　Lat. 34° 37′.7 N.　Long. 135° 27′.2 E.　(概位)

期間　昭和12年10月1日至同13年3月31日間

(F)梅町船渠入口西側ニ於テ

區域　(F)區域内ニ於テ浚渫船ヲ中心トシテ前方130米、後方80米、左右各35米ノ矩形區域(隨時移動ス)

位置　Lat. 34. 38′.9 N.　Long. 135° 25′.1 E.　(概位)

期間　昭和12年10月1日至同13年3月31日間

注意　12年617項附圖ハ別紙附圖(1面)ニ依リ適宜改補(F區域禁止區間共)ノ上使用スルヲ便トス

海圖　128

誌類　誌2. 93頁――12年367項(M)(削除)――12年367項(F)――12年617項附圖

出所　大阪税關港務部

●12年1098項(一時關係) *

大阪港―第5區　船舶航行禁止解除

記事　12年879項ヲ以テ特殊施設作業ノ爲航行禁止ノ旨告示セル大阪港第5區木津川口至大和川口附近下記4界線ニ依リ圍マレタル區域ノ航行禁止ハ解除セリ

位置　Lat. 34° 37′ N.　Long. 135° 27′ E.　(概位)

(1)北界線　木津川尻南防波堤燈臺ト夫ヨリ112°約800米陸岸ニ達スル點ニ引キタル線

(2)南界線　大和川口北岸南西角ト夫ヨリ274°約60米埋立工事中區域ニ達スル點ニ引キタル線

(3)東界線　木津川口南角ト大和川口北岸南西角トヲ結フ護岸

(4)西界線　木津川尻南防波堤ト同防波堤ニ南接スル埋立工事中區域東方護岸(海圖上斷線ニテ記載ノモノ)

備考　12年617項附圖ハ本項ニ依リ適宜改補ノ上使用スルヲ便トス

海圖　128――1103

前告示　誌2. 93頁貼附ノ12年879項(削除)――12年617項附圖

出所　昭和12年9月29日官報遞信省告示2977號

●12年1099項(一時關係)

神戸港―第3區　沈船存在

記事　神戸港東防波堤12北燈臺ノ東方下記位置ニ鐵材ヲ積載セル無檣ノ艀沈沒セリ

位置　東防波堤12北燈臺ヨリ　100°　500米
Lat. 34° 39′.93 N.　Long. 135° 12′.70 E.
(概位)

備考　上記沈船位置ニ紅旗ヲ揭揚シアリト謂フ

海圖　101――1103――150

誌類　誌2追. 24頁

出所　神戸税關港務部

●12年1100項 *

内海　下關海峽―下關漁港　小瀬戸海峽締切工事完了

記事　下關市竹崎町地先南端ヨリ南南西方約300米陸岸ニ至ル區域(海圖上斷線ヲ以テ示ス埋立工事中區域)ノ締切工事ハ完了セリ

位置　下記(イ)(ロ)間ノ區域

(イ)竹崎町地先南端　Lat. 33° 56′.8 N.　Long. 130° 55′.5 E.　(概位)

(ロ)對岸埋立地　Lat. 33° 56′.7 N.　Long. 130° 55′.3 E.　(概位)

注意　(1)海圖上上記區域ヲ示ス斷線ヲ實線ニ改記シ區域内ノ舊岸線、水深、等深線及附記ノ「埋立工事中」ヲ削除ス

(2)當誌2號追. 74頁17行「爲目下工事中ナリ」ヲ削除ス

海圖　128――1226――1225――135

誌類　(注意2)誌2追. 74頁――11年1295項、12年700項

出所　下關漁港修築事務所

●12年1101項(一時關係)

九州南岸　鹿兒島港附近―神瀬燈標　點燈休止

記事　鹿兒島港外神瀬燈標(不動紅光)ハ機械修理ノ爲下記期間點燈ヲ休止ス

位置　鹿兒島港外南東方
Lat. 31° 33′.8 N.　Long. 130° 35′.6 E.
(概位)

略記　F. R. 10 m. 9½ M.(U)

期間　昭和12年9月29日至同年10月25日間

海圖　214――221――1221

誌類　誌4. 254頁――誌100A. 699番

出所　鹿兒島港務所

●12年1102項

朝鮮東岸―羅津港　繫船浮標設置

記事　羅津港船溜防波堤南東方ニ南及北兩繫船浮標ヲ設置セリ

(1)北繫船浮標

位置　第1埠頭東端ノ北東方　約750米
Lat. 42° 13′.88 N.　Long. 130° 17′.85 E.

(2)南繫船浮標

位置　第1埠頭東端ノ東方　約740米
Lat. 42° 13′.70 N.　Long. 130° 17′.97 E.

樣式　紅塗圓臺形鐵造(2個共)

備考　上記兩繫船浮標ハ羅津稅關ノ保管ナルニ付之ヲ使用セントスル船舶ハ羅津稅關ノ許可ヲ要ス

注意　(1)海圖上上記繫船浮標ヲ記載シ北方ノモノニ"(N)"、南方ノモノニ"(S)"ヲ附記ス

(2)當誌6號ㇵ追. 32頁5行次挿入ノ12年591項別紙ヲ削除ス

海圖　315

誌類　†誌6A. 192頁――(注意2)誌6A追. 32頁

出所　昭和12年9月29日朝鮮總督府官報告示706號

●12年1103項

朝鮮東岸―汀灣港　現狀ニ就テ

記事　汀灣港五十川河口左岸ニ「左岸防沙堤」ヲ築造シ港ノ浚渫ヲ施行セリ其ノ他港ノ現狀ハ圖載ノモノト相違スル處アリ

位置　左岸防沙堤基部
Lat. 37° 25′.9 N.　Long. 129° 11′.5 E.
(概位)

注意　別紙貼附圖(1面)ニ依リ海圖ヲ改補ス

海圖　1275(汀灣港)

誌類　†誌6A. 94頁

出所　朝鮮總督府遞信局

●12年1104項(一時關係)

朝鮮南岸　所里島燈臺　霧信號休止

記事　所里島燈臺(群閃白光)附設ノ霧信號(霧笛)ハ機械修理ノ爲昭和12年9月24日ヨリ當分ノ間吹鳴ヲ休止ス

位置　所里島南端
Lat. 34° 24′.5 N.　Long. 127° 48′.2 E.
(概位)

備考　復舊ノ上ハ更ニ告示ス

海圖　1253――1254――304

誌類　誌6A. 290頁――誌100A. 1166番

出所　朝鮮總督府遞信局

●12年1105項

朝鮮西岸―木浦港　繫留信號ニ就テ

記事　木浦稅關支署ニ於テハ浮棧橋ニ繫留スル船舶ニ對シ同所信號柱ニ下記信號ヲ揭揚ス

信文	信號
(1)晝間	
(イ)南側ニ繫留	信號柱ノ右腕木ニ船主旗又ハ取扱店旗及黄塗鼓形信號標ヲ揭ク
(ロ)北側ニ繫留	信號柱ノ右腕木ニ船主旗又ハ取扱店旗及紅塗三角形信號標ヲ揭ク
(ハ)繫留不許可	信號柱ノ右腕木ニ紅塗圓形信號標2個ヲ揭ク

備考　船主旗又ハ取扱店旗ノ外左腕木ニ船名符字信號旗ヲモ揭揚スルコトアルヘシ

(2)夜間
(イ)南側ニ繋留　紅燈ノ下ニ白燈ヲ揚ク
(ロ)北側ニ繋留　白燈ノ下ニ紅燈ヲ揚ク
(ハ)繋留不許可　紅燈2個ヲ縦揚ス

位置　信號柱　Lat. 34° 46′.7 N.　Long. 126° 23′.2 E.（概位）
注意　書誌6號B追.3頁「61頁21行至22行」ノ欄ヲ削除ス
誌類　†誌6B. 61頁——(注意)誌6B追.3頁——誌90B. 392頁
出所　朝鮮總督府遞信局木浦海事出張所

●12年1106項

黄海北部　裏長山列島一瓜皮水道　暗岩存在
位置及水深　哈仙島西端大玉山△(109)ヨリノ

	方位(度)	距離(米)	水深(米)
(1)	290	1,290	2.7
(2)	324	2,870	2.7

大玉山△(109)　Lat. 39° 13′.9 N.　Long. 122° 29′.4 E.（概位）
注意　(イ)海圖上上記2位置ニ5米等深線ヲ繞ラセル水深"2_7"ヲ記載シ各底質"R"ヲ附記ス
(ロ)海圖上上記位置(2)ノ南方約110米ニ記載セル○符ヲ附記ノ「水中障碍物(昭和12年)(P.A.)」ト共ニ削除ス
海圖　393——390——1404——(2)363
誌類　†誌12B. 272頁——12年930項(削除)
出所　水路部

●12年1107項

Gulf of Siam　Hatien Road—Point Nui Nai燈臺　週期及光達變更
記事　Point Nui Nai燈臺(閃白光)ノ週期(毎5秒ニ1閃)ハ毎2秒ニ1閃ニ、光達(20浬)ハ18浬ニ各變更セリ
位置　Pt. Nui Nai上
Lat. 10° 22′.0 N.　Long. 104° 26′.7 E.（概位）
略記　Fl. ev. 2 sec. 63 m. 18 M.
細目　燈質閃白光、毎2秒ニ1閃●光達18浬●其ノ他從前通

注意　書誌13號A追.30頁「161頁17行、18行」ノ各欄ヲ削除ス
海圖　743(分圖共)——735——737——529B
誌類　†誌13A. 161頁——(注意)誌13A. 追.30頁——†誌100B. 163番
出所　英告示1937年1456項

●12年1108項

Singapore—Keppel Harbour　浮標碇置
位置　Royal Singapore Yacht Club ■(中央)(Lat. 1° 16′.1 N. Long. 103° 50′.9 E. 概位)ヨリノ

	方位(度)	距離(鎖)
(イ)	135	1.7
(ロ)	135	3.5

No. 17立標(Lat. 1° 15′.1 N. Long. 103° 50′.9 E. 概位)ヨリノ

	方位(度)	距離(鎖)
(ハ)	90	0.7

樣式　(イ)、(ロ)　白塗圓錐形
(ハ)　黒塗圓筒形
注意　海圖上上記Yacht Club ■ =「(R. S.)」ヲ附記シ置クヲ要ス
海圖　626——625——747——748——750
誌類　†誌17. 239頁、257頁
出所　Singapore告示1937年26項

●12年1109項

Malacca Strait 東側　Penang Harbour東側—Prai River河口南側　燈竿位置變更
記事　Prai River河口南方埋立地(Southern Reclamation)西端Tr. ○ノ北北西方約120米ニ於ケル燈竿(不動緑光)ハ南方約300米ニ位置變更セリ
位置　Fort Cornwallis F. S. ヨリ　149°　2.95浬
Lat. 5° 22′ 45″ N.　Long. 100° 22′ 19″ E.（概位）
略記　F. G. 18 ft. 2 M.
注意　書誌100號B. 909番經緯度欄中"5 22.9"ヲ"5 22.8"ニ改記ス
海圖　642——637
誌類　(注意)誌100B. 909番
出所　米告示1937年2442項

●12年1110項

Borneo北東岸—Baguan Island　現狀ニ就テ
記事　Baguan Islandノ岸線及附近淺瀬ハ圖載ト相違スル處アリ
位置　Lat. 6° 06′.3 N.　Long. 118° 27′.0 E.（概位）
注意　別紙貼附圖(5面)ニ依リ海圖ヲ改補ス
海圖　542——541——758——696——529A
誌類　†誌15c. 169頁
出所　英告示1937年856項

●12年1111項

Celebes東岸　Gulf of Tomini—Gorontalo Road　繋船浮標位置現狀等
(1)記事　泊地内繋船浮標(4箇)ノ位置下記ノ通ナリ
位置　上陸所北北西方柱○(Lat. 0° 29′.9 N. Long. 123° 03′.4 E. 概位)ヨリノ

	方位(度)	距離(米)
(イ)	346	120
(ロ)	326½	220
(ハ)	201½	80
(ニ)	198	270

樣式　圓錐形(4箇共)
注意　(i)　(ロ)位置ノ東南東方約40米、(ハ)位置ノ西北西方約120米ニ圖載シアル繋船浮標(圓錐形)及(ハ)位置ノ西南西方約70米ニ圖載シアル繋船浮標(圓塞形)ヲ削除ス
(2)航路浮標不存在
位置　上記柱○ノ南方　約220米
Lat. 0° 29′.77 N.　Long. 123° 03′.43 E.（概位）
樣式　圓錐形
注意　(ii)　書誌19號追.158頁7行中「三箇」ヲ「四箇」ニ改記ス
海圖　677(ゴロンタロ泊地)
誌類　(注意ii)誌19追.158頁
出所　Batavia告示1937年131項、1933年版關圖305號

●12年1112項

圖誌訂正
(1)海圖89號(分圖共)
本洲南岸駿河灣清水港貝島埼埋立地北西角、糀天埼附近及同埼ノ南南東方約4鏡折戸灣内(Lat. 31° 59′.5 N. Long. 138° 30′.3 E. 概位)ニ於ケル水深ヲ別紙貼附圖(4面)ニ依リ訂正ス(靜岡縣)
(2)海圖137號B—153號——100號A——100號B内海備讃瀬戸北西方(Lat. 34° 23′.9 N. Long. 133° 34′.6 E. 概位)附近ニ記載セル「水島諸島」及"Mizusima Syotô"ヲ削除ス(水路部)
(3)海圖214號——221號——1221號
九州南岸鹿兒島市指南部、甲突川河口北側(Lat. 31° 34′.5 N. Long. 130° 34′.1 E. 概位)ハ埋立ノ豫定ニシテ郡元町南方(Lat. 31° 32′.9 N. Long. 130° 33′.4 E. 概位)ノ埋立ハ竣工シ其ノ西側ヲ競馬場、北側ヲ紡績工場敷地トナシ新川河口ヲ二軒茶屋ノ東側ニ移セリ又同埋立地ヨリ甲突川河口ニ至ル岸線及陸上建物、道路、鐵道等ハ圖載ト著シク相違ス仍テ別紙貼附圖(3面)ニ依リ海圖ヲ改補ス(鹿兒島縣廳、鹿兒島市役所、同港務部)
(4)海圖2127號——2113號
「マーシヤル」諸島「ロンゴラップ」島ノ島形及附近水深ハ圖載ト相違スル所アリ仍テ同島島名等ト共ニ別紙貼附圖(2面)ニ依リ海圖ヲ改補ス
位置　Lat. 11° 15′.0 N.　Long. 166° 45′.0 E.（概位）
（水路部）
(5)書誌2號
(イ)目次3頁下ヨリ3行中「水島諸島」ヲ削除ス
(ロ)154頁20行ノ「水島諸島」ヲ削除ス
(ハ)155頁上方欄外ノ「水島諸島」ヲ削除ス
(ニ)地名索引18頁右欄下ヨリ9行「Mizusima Syotô 水島諸島……154」ヲ削除ス
（水路部）

●12年1113項(2區)

Australia北岸—Clarence Strait東方　淺瀬存在
位置及水深　Cape Hotham燈臺(群閃白光、紅光分弧アリ)(Lat. 12° 02′.8 S. Long. 131° 17′.5 E. 概位)ヨリノ

	方位(度)	距離(浬)	水深(尋)(米)
(1)	45	18.3	3(5.7)
(2)	47	19.1	4(7.3)

注意　海圖上(1)淺瀬ニ3尋等深線、(2)淺瀬ニ5尋等深線ヲ繞ラスヲ要ス
海圖　2651——(1)2641
誌類　†誌24B. 121頁、123頁
出所　Sydney告示1937年128號

●12年1114項(2區)

Alaska Cross Sound—Lisianski Inlet北方入口　燈臺設置
位置　Lisianski Inlet北口西側、Column Ptヨリ　204½°　1.43浬
Lat. 58° 05′.9 N.　Long. 136° 28′.1 W.（概位）
略記　Fl. (U)
細目　燈質閃白光、毎10秒ニ1閃(閃1秒、暗9秒)●煽光數130●構造白鐵小舍●無看守
海圖　3545——3544
誌類　†誌31A. 319頁
出所　米Dep. of Com. 告示1937年1511項

●12年1115項(2區)

Alaska Pribilof Islands—St. Paul Island　無線羅針局等撤去
記事　St. Paul Island南端附近ニ設置セルSt. Paul無線羅針局及海軍無線電信局ヲ撤去セリ
位置　Village Cove南側
Lat. 57° 07′.3 N.　Long. 170° 16′.3 W.（概位）
略記　3 R Trs. W. T. D. F.
注意　(1)海圖上上記位置附近ニ圖載セル3箇ノ○符及附記ノ"3 R. Trs."並ニ其ノ南西方ノ○符及附記ノ"W. T, DF."ヲ孰レモ削除ス(海圖3503號上ニテハ○符及"W. T. D. F."、海圖804號上ニテハ地名St. Paul 1ノ下方ニ附記セル"Rstn."ヲ削除ス)
(2)書誌31號A. 13頁3行中「及St. Paul Island」ヲ削除ス
(3)書誌31號B. 11頁15行中「及St. Paul Island」ヲ削除ス
(4)書誌31號B. 397頁4行中「⊙St. Paul Island……(符字NPQ)、」ヲ削除ス
(5)書誌31號B. 400頁19行中「無線」至20行「3基及」迄、同頁21行「⊙」至22行「ヘシ」迄、同頁24行中「、無線羅針局」至「(1,188.7米)ニ」迄ヲ各削除ス
(6)書誌31號B. 401頁8行至11行ヲ削除ス
(7)書誌90號B. 375ノ7頁"NPQ"ノ行ヲ削除ス
海圖　3514——3503——804
誌類　(注意2)誌31A. 13頁——(注意3)誌31B. 11頁——(注意4)誌31B. 397頁——(注意5)誌31B. 400頁——(注意6)誌31B. 401頁——誌90B. 242ノ2頁635番(削除)340ノ9頁1529番(削除)、362頁及363頁2529番(削除)、430頁及431頁4635番(削除)——(注意7)誌90B. 375ノ7頁
出所　米Dep. of Com. 告示1937年1559項

●12年1116項(2區)

U. S. A.　Washington Rosario Strait—Lawson Reef西側No. 2打鐘柱燈浮標設置
位置　Davidson Rk. 燈標(閃白光)ヨリ　99°　1.8浬
Lat. 48° 24′.5 N.　Long. 122° 46′.0 W.（概位）
略記　Fl. R. ev. 2½ sec. (Bell)(No.2)
細目　燈質閃紅光、毎2.5秒ニ1閃(閃0.5秒、暗2.0秒)●燈高水面上12呎(3.7米)●煽光數40●打鐘浮標
海圖　3614——3605
誌類　†誌33. 110頁
出所　米Dep. of Com. 告示1937年1505項、1937年版米海圖6380號

●12年1117項(2區)

U. S. A.　Oregon—Columbia River　河川水先料變更
記事　Astoria, Portland間ノ河川水先料(吃水1呎ニ付2弗、登錨噸數1噸ニ付2仙)ヲ吃水1呎ニ付1.5弗、登錨噸數1噸ニ付1.5仙ニ、5,500噸以上ノ大型船舶ニ對スル最高水先料ハ登錨噸數5,500噸ヲ以テ計算スルコトニ變更セリ
誌類　†誌33. 144頁
出所　日本郵船株式會社海務課

●12年1118項(2區)

U. S. A.　California San Francisco Bay—Berkeley Ferry突堤　霧信號撤去
位置　Berkeley Ferry突堤外端
Lat. 37° 50′.9 N.　Long. 122° 21′.6 W.（概位）
略記　Siren
注意　海圖上上記位置ニ圖載セル⊙符及"Siren"ヲ削除ス
海圖　3664——3658
前告示　誌33. 227頁貼附ノ5年1308項(削除)
出所　米Dep. of Com. 告示1937年1553項

●12年1119項(2區)

India西岸　Malabar Coast—Cochin Harbour水先ニ就テ
記事　Cochin Harbour外港淺深水道(Cochin Approach Channel)北側下記位置附近ニ無線電信ヲ裝備セル曳船Cochin アリ專ラ水先業務ニ關シテ船舶ト交信シ又船長ヨリノ船舶會社地方代理店ニ對スル通信ヲ無料ヲ以テ中繼ス
位置　Cochin燈臺(群閃白光)ヨリ　284°　2.33浬
Lat. 9° 58′.8 N.　Long. 76° 11′.9 E.（概位）
細目　呼出符字VWJB●使用周波數(波長)500(600)、425(705)、375(800)「キロサイクル」(米)●電波型式A_2(但シ緊急ノ場合ハ500(600)「キロサイクル」(米)(B)ヲ使用ス)●電力0.5k. w. (緊急用0.25k.w.)●執務時間0030—0200、0400—0600、0800—1000(G. M. T.)
誌類　†誌42. 137頁——†誌90B. 375ノ10頁、404頁4408番B(挿入)
出所　Bombay告示1937年76號

●12年1120項(2區)

圖誌訂正
(1)海圖3553號
Alaska Stikine Strait北方ナルDry Strait東側ノSummit Island(島名圖載ナシ)燈臺(閃白光)(Lat. 56° 35′.9 N. Long. 132° 32′.2 W. 概位)ヲ略記"Fl. (U)"ト共ニ削除シ、同位置ニ小島形ヲ記載シ島名"Summit I."ヲ附記ス(米Dep. of Com. 告示1937年1508項)
(2)海圖3710號
(イ)Panama, Panama Canal, Gaillard Cut北西方Chagres Crossing北側ノNo.25燈標(不動白光)(Lat. 9° 06′.9 N. Long. 79° 42′.0 W. 概位)ヨリ147° 180米ニ黒塗柱燈浮標ヲ記載シ略記"Fl."ヲ附記ス
(ロ)上記No. 25燈標ノ西方約180米ニ圖載セルNo.29燈標ヲ附記ノ"Fl. (No.29)"ト共ニ削除ス(米Dep. of Com. 告示1937年1551項)
(3)書誌22號B
181頁7行至8行ヲ別紙(1枚)貼附ニ依リ改記ス
(4)書誌34號
288頁19行至21行ヲ別紙(1枚)貼附ニ依リ改記ス(國際汽船株式會社汽船グラスゴー丸)
(5)書誌42號
(イ)136頁下ヨリ1行至3行ヲ別紙(1枚)貼附ニ依リ改記ス
(ロ)137頁初行中「黒白方格筒」ヲ「紅筒」ニ改記ス(Bombay告示1937年72號)

●12年1121項

(1)海圖改版

番號	圖名	圖積
409	灣竹洲至ブラザース角	全
531	シブコ灣北東部	全
572	ヴィクトリア港	〃
582	シブコ灣北西部	全

注意—上記改版海圖409號ニ關係セル一時關係告示ハ9年1090項ナリ

(2)海圖改版　(2區)

番號	圖名	圖積
3502	セガム島至アッツ島	全
3767	シレナ角至ツカベル角	〃
	(分圖) リコ泊地 コンスチチュション港 プチュプレオ泊地 クラニベ泊地	

(3)書誌新版

番號	書名	定價
書誌第15號B追	菲律賓諸島水路誌第2卷追補第1	10錢

(4)海圖改版

番號	圖名
409	濠竹洲至ブラザース角
531	シナ海北岸
572	ビクトリア港
589	シナ海北西部
3502	アッツ島至セガム島
3767	ロタ角至ツカベル角

●號外

(1)航行上注意スヘキ浮流物

(イ)本洲南岸一野島埼燈臺 南方約8浬附近 漁船

9月30日1000野島埼燈臺ノ南方約8浬(Lat. 34° 51′.0 N. Long. 139° 53′.9 E. 概位)附近ニ約8噸ノ漁船漂流ス(海圖87號参照)(汽船海運丸)

(ロ)九州西岸一野母埼燈臺ノ東南東方約2.1浬 傳馬船

10月4日1120野母埼燈臺ノ東南東方約9.1浬(Lat. 32° 32′ N. Long. 129° 49′ E. 概位)附近ニ長サ約9.1米(30呎)ノ傳馬船漂流ス(海圖213號参照)(滋南株式會社汽船日吉丸)

(2)黄海北部 老鐵山水道東方一遇岩燈標 燈火消滅

昭和12年9月30日遇岩燈標(Lat. 38° 34′.4 N. Long. 121° 38′.9 E. 概位)ハ燈火消滅シ居タリト聞ク(海圖360號参照)(特務艦[illegible])

(3)上海港口 水底電線敷設

1937年9月12日外國會社ニ於テ 國際別紙附圖(上圖)ノ通上海港周家嘴附近ヨリ黄浦江口ヲ經テ長江南口[South Channel] 圓圓沙[Grass Island]附近ニ至ル水底電線ヲ敷設セリ、附近錨泊ノ船舶ハ注意ヲ要ス

位置 圓圓沙[Grass Island] Lat. 31° 20′ N. Long. 121° 45′ E.(概位)(海圖491號参照)(第3艦隊)

●後備役編入 後備役海軍整備特務大尉水野光次ハ去月一日、同海軍特務大尉小島芳雄ハ同五日、同機關特務中尉山本增太郎ハ同十日、同海軍特務中尉熊澤竹次郎ハ同十五日、同機關特務大尉門脇寛治ハ同二十八日孰モ後備役ト爲レリ(海軍省)

●退役編入 後備役海軍機關特務少尉齋藤榮作ハ去月十三日、同機關特務中尉日下伊八郎ハ同二十六日孰モ退役ト爲レリ(海軍省)

●候補者卒業 陸軍工兵學校下士官候補者左記二百六人卒業セリ ×印ハ成績優等ニ付教育總監賞ヲ授與セラレタリ(陸軍省)

陸軍工兵上等兵 蒔野敬三　同 小室市太郎
同 鈴木久雄　同 降旗公夫
同 桑久保文男　同 瀧野汎
同 新井悦太郎　同 花輪宣知
同 太田平吉　同 中村金太郎
同 宇井重　同 眞田眞雄
同 山崎一秋　同 土屋隆則
同 土屋良治　同 佐藤武雄
同 伊深榮司　同 高田平內
同 外立滿男　同 但野仁
同 佐藤楯志　同 ×小坂井昇一
同 横山榮　同 播木好松
同 戸塚由郎　同 加藤勉
同 鈴木義雄　同 西田武夫
同 足立耶夫　同 高橋勝彌
同 中道勝　同 小原正
同 寺岡昌士　同 藤原朴
同 植田忠三　同 畠山惠
同 森文雄　同 江隈三年
同 西田忠　同 小林鑑
同 北山辰雄　同 李澤正光
同 松永一市　同 白幡幸之助
同 荒岡正雄　同 壹ヶ石金次郎
同 織田嘉兵衛　同 齋藤幸男
同 梅津茂　同 畑中源五郎
同 才藤正雄　同 毎田米次郎
同 宮嶋義孝　同 中村重治
同 三川兵治　同 吉川力
同 中嶋安三　同 內田善藏
同 吉岡政夫　同 太田直親
同 安松英雄　同 柴田勝明
同 正木明林　同 越智清磁
同 久松信夫　同 河野幸榮
同 上主末藏　同 蔵持雄四郎
同 高見澤邦介　同 高崎勝藏
同 蓮沼良男　同 小池忠之助
同 野崎操　同 松井治郎
同 北川大典　同 片山喜代實
同 羽倉庄郎　同 中井宇吉
同 柴原輝男　同 川森正一
同 島田末男　同 矢羽田直
同 西村正治　同 増崎志壽男
同 濱崎常男　同 大塚竹夫
同 豬股苗吉　同 宮田俊彌
同 大場大　同 瀧波𢢫輔
同 田中善治　同 若生鶴治
同 長山猛　同 横野定夫
同 吉田初夫　同 鈴木金五郎
同 清宮新一　同 森田茂朗
同 嶋村皆吉　同 森確次
同 坂本太米助　同 井手勇祐
同 津崎澄雄　同 三枝建三
同 新井叶哉　同 鈴木竹次郎
同 川口清　同 野口五郎
同 西村杵之助　同 山岸位七男
同 降籏渡　同 森田平藏
同 宮川篤彥　同 飯島多加次
同 原國雄　同 山下豊成
同 早川正　同 松野豐
同 鈴木守　同 齋崎榮三
同 今川隆　同 榎島留雄
同 眞野宗三　同 佐々木健作
同 井上榮夫　同 山本十七
同 永井卯之助　同 上正夫
同 川口正夫　同 大江利雄
同 上坂秋光　同 川本實男
同 千々松只雄　同 村上忠
同 山本光義　同 森下善吉
同 中本五郎　同 若林義人
同 藤井實　同 大迫三郎
同 時枝富喜夫　同 濱島豊志
同 永井一喜　同 田山市次
同 提穰義　同 松垣孝夫
同 河野新生　同 岩崎正明
同 島田文明　同 野間正
同 藤原増美　同 堀川光榮
同 ×濱月菊吉　同 久保榮
同 土屋晴　同 山本芳次郎
同 石川鶴吉　同 廣田辰之助
同 手崎竹雄　同 內山光夫
同 藤澤末男　同 堀內菊重郎
同 横山孝一　同 齋藤吉正
同 大島吉治　同 鳥谷部正吉
同 山田一正　同 中嶋信榮
同 北脇仁　同 河田幸男
同 稻垣武　同 井本久五郎
同 須增重雄　同 藤澤武男
同 岡山六郎　同 間嶋滿
同 大高七郎　同 小泉信吉
同 朝田倖司良　同 酒井銀治
同 齋藤明好　同 箕輪袈裟人
同 荒井龍　同 佐藤作市
同 飯塚武己　同 木村正之
同 鵜谷羽開　同 井澤理一
同 山本忠男　同 辻村圭治
同 野村重吉　同 左路篤之助
同 嶋村民武　同 野口正夫
同 村口留夫　同 今田武
同 米田正登　同 濃口正久
同 野口龜三郎　同 田川憲一
同 高橋幸一郎　同 渡邊正四郎
同 佐藤松次　同 高橋要
同 込山觀一　同 小泉清治

○學事

●入學許可 廣島、德島及長岡ノ各高等工業學校ニ於テ孰モ本月一日工業技術員養成科ニ入學ヲ許可セシ者ノ氏名左ノ如シ(文部省)

●廣島高等工業學校(氏名五十音順)

機械科

赤羽穎利　石田健三　岩原新八
奧初次郎　大庭明　片岡美基
加藤一　河村工　河村由男
木村義男　喜代濟雅郎　國友英雄
河野勇　兒玉學　柴田直
白銀政彰　末澤正次　高橋文士
鳥越一正　西田勘一　橋本武夫
畠山京三　花田常夫　廣野智宣
古谷保　松浦憲爾　三木正
都正己　森口勇　保田信人

山中清　山名英吉　湯淺茂雄
若狹章一　渡邊孝三郎

●德島高等工業學校(氏名五十音順)

相原正　赤澤邦衛　阿部計一
生田繁太郎　氏橋忠雄　寒川壽助
片山義則　蒲生信郎　河野苞秋
鄉司英司　塩見義一　志摩誠一
佐吉勉　鈴木一臣　武知明夫
田中利文　寺谷芳秋　虎尾家主男
濱田眞造　萩原憲雄　廣野義男
藤見文明　松田市雄　三橋儀一
宮本章　美馬敬一　村上陸文
森正典　矢三恒緒　吉田武夫

●長岡高等工業學校(氏名ABC順)

阿部正治　縣孝雄　原田一郎
廣川昌二郎　井上玄一　石黒正久
板垣修一　笠原英佐武　川井惟道
木村善三郎　小林義一　黒川與彥
丸岡正一　松本健司　水間喜久雄
中川德造　西澤澄夫　大崎三之丞
佐藤洋平　關谷和夫　清水守人
諏訪榮四郎　田近清　高坂正元
田中主計　谷原秀三　渡部一郎
山田平次郎　山本道雄　山崎關二

●研究修了 國民精神文化研究所教員研究科ニ於テ去月二十日研究ヲ修了シタル第十期研究員及聽講員ノ氏名左ノ如シ(文部省)

研究員

茂木元治　井上智　佐藤勇介
神田孝太郎　新妻三郎　樋渡卯左衛門
山崎吉松　正月定夫　太田哲三
太田代元彥　福井恒　鈴木武男
佐川敏夫　志賀匡　沼尻茂雄
須藤勇　小野直　川嶋一男
大高常彥　三木省己　會田慶司
菊池政次　戸塚一郎　得永敬二
諸川芳雄　永守良治　清水喜一
河合千秋　百瀨正男　淀川茂重
木村泰夫　竹倉二郎　岡安隆
遠藤泰助　上原正男　田村泰治郎
林彌七　尼子成人　野村於兎
吉川博雄　中村慶郎　坂田芳衛
鈴木仙三　大西權一　藤原晋五郎
西尾能仁　渡邊晉五郎　畠山一忠
大守義雄　脇田順一　守谷業苗
三澤光博　金尾宗平　森本篤美
川上清吉　中山佐喜衛　平田邦治
永田諒　池田喜義　濱田直武
仲宗根政善

聽講員

岸米作　田中源次　津田正志

○宗教

●臨濟宗妙心寺派綱目中改正等 臨濟宗妙心寺派綱目、法則布教例、同高等布教講習會例中改正及同尼衆講習會例制定ノ件一昨七日認可セリ(文部省)

●顯本法華宗宗令僧員中戰病死者贈補 顯本法華宗宗令僧員中戰病死者贈補ノ件去月十六日認可セリ(文部省)

○財政

●國庫歲入歲出現計 大藏省ニ備フル主計簿ニ依リ調査シタル昭和十二年度國庫歲入歲出現計左ノ如シ(大藏省)

昭和十二年度歲入歲出現計

歲入

科目	昭和十二年度(十二年六月末) 圓
經常部	
租稅	八一、五二一、六八七
所得稅	一四、四九三、二七二
地租	六九一、六一六
營業收益稅	三、一二二、四〇八
資本利子稅	三、三二九、八〇一
相續稅	一、三二四、八〇四
鑛業稅	一六五、一一〇
酒稅	一〇、四二四、三〇六
清涼飲料稅	一、〇一三、八六八
砂糖消費稅	七、一四九、五三六
織物消費稅	四、五一八、一五八
揮發油稅	二、〇七五、二二一
取引所稅	六、四九六、二四六
有價證券移轉稅	三三七、九六九
關稅	二五、八七二、一三九
噸稅	五〇七、一九九
營業稅	三四
印紙收入	一七、三二一、八三三
官業及官有財產收入	二、九三〇、〇八〇
森林收入	二、二五三、二三六
官有物貸下料	一七二、三九八
刑務所收入	五〇四、〇一二
郵便電信及電話收入未濟金收入	四三四
雜收入	二、七四七、三〇八
免許及手數料	二八、〇七三
懲罰及沒收金	四九〇、〇四〇
辨償及違約金	七八、五七三
稅關雜收入	二六五、一〇一
恩給法納金	八九五、一四五
幼年學校自費生納金	四三、三〇〇
小笠原島地方收入	五三八
利子收入	一、一五〇
競馬會納付金	三四七、一一三
雜入	五九八、二七五
經常部合計	一〇四、五二〇、九〇八
臨時部	
官有物拂下代	八四八、六三五
地所拂下代	一〇〇、八八三
物品拂下代	七四四、九一七
家畜拂下代	二、八三五
雜收入	二六、三〇一、九二三
受託造修收入	三八八、九四四
受託調查收入	一四、九〇八
返納金	四、一五二
震災手形善後處理法貸付金償還金	五七八
國債償還資金獻納金	三六
軍事費獻納金	一〇、八〇五
對支文化事業特別會計ヨリ繰入	二五、八八二、五〇〇
公共團體工事費納付金	七三、六六四
港灣修築費納付金	七三、六六四
公共團體工事費分擔金	一、〇四七、八七三
治水事業費分擔金	二六一、二〇六
道路改良費分擔金	七八六、六六七
學術研究獎勵金受入	六、〇〇〇
寄付金	六、〇〇〇
保險會社納付金	一、九七九、四九九
輸出補償收入	七二、三九九
臨時利得稅	三、三七二、〇三〇
高等諸學校創設及擴張費受入金	二三、三〇〇
寄付金	二三、三〇〇
臨時部合計	三三、七二四、三二三
歲入總計	一三八、二四五、二三一

歲出

所管別	昭和十二年度(十二年六月末) 圓
經常部	
皇室費	二、〇〇〇、〇〇〇
外務省	四、〇九四、〇〇九
內務省	一二、六四二、一九四
大藏省	一五、七九四、七一九
陸軍省	二五、四一一、三六一
海軍省	三〇、八一七、〇四五
司法省	五、一二三、四九五
文部省	二八、四四七、一二一
農林省	四、一三四、四三九
商工省	六八二、三四七
遞信省	一四一、二八〇
拓務省	四二、五七四、五七〇
經常部合計	一七一、八六三、五八〇
臨時部	
外務省	三、九九六、三三七
內務省	一三、七四二、五四六
大藏省	二、六八三、〇三五
陸軍省	四五、一八九、二〇九
海軍省	一四、五〇一、四八五
司法省	七五六、三三一
文部省	三、七四〇、一四八
農林省	三、一八二、四二九
商工省	一、〇四一、一三三
遞信省	一、二三九、〇二五
拓務省	五六四、二六四
臨時部合計	九〇、六三五、九四二
歲出總計	二六二、四九九、五二二

(備考)

一 本表中歲入ハ款又ハ項ニ於テ、歲出ハ所管毎ニ圓未滿ノ數ヲ切捨テ掲上セルヲ以テ實數ニ比シ多少ノ差異アリ

◉預金部狀況　昭和十二年九月三十日現在預金部狀況左ノ如シ(△印ハ減)(大藏省)

種別	金額	九月十五日現在高ニ比シ增減
貸方ノ部		
郵便及振替貯金	圓 三,七一八,五九二,五七九	圓 一一,〇三七,三三三
復興貯蓄債券收入金	七四,二〇五,二九五	—
各特別會計其他預金	六九八,九八一,三三四	二五,〇〇四,一〇四
預金部積立金	六三三,〇九四,五八五	—
預金部收入金	一三一,七九〇,〇一五	二,九〇六,七九四
合計	五,二四六,六六一,七九八	三八,九四八,二三〇
借方ノ部		
國債證券	二,三四五,三四五,六〇八	三四,六〇三,九一五
四分利付支那債券元利補償證書	一一,七〇〇,六六五	—
外國國債證券	七〇,五九六,四五五	—
地方債證券	一,〇七四,〇六九,五五一	△九五一,四九九
勸業債券	二六六,三一五,九八八	二,三四五,三四二
興業債券	四九,七七二,一一九	—
其他債券	四三六,〇二〇,六四五	△一,〇〇五,一八二
貸付金	七三二,五七四,一六一	△二,八〇九,三四二
內地預金	一三五,七六〇,五六五	△一三,八三二,六六八
在外預金	一,六五五,一一四	一三九,三一六
預金部支出金	一〇四,六四四,九三五	二九八,一三八
合計	五,二四六,六六一,七九八	三八,九四八,二三〇

○產業

◉日本硝子製品輸出組合ノ實施スル輸出數量統制要綱　本年十月十日商工省告示第百八號ニ依リ別記市場ニ對シ別記商品ヲ販賣ノ目的ヲ以テ輸出ヲ爲ス者カ從フヘキ日本硝子製品輸出組合ノ輸出數量統制要綱ヲ掲クレハ左ノ如シ(商工省)

一、輸出數量統制ニ從フヘキ品種及市場

(イ)品種

(一)硝子製罎(大罎以外ノ罎)及食卓用器但シ花生、盃、魔法罎及醫化學用器ヲ除ク

(二)硝子製大罎(「ビール」罎、六「オンス」入以上ノ「サイダー」罎及玉入「ラムネ」罎)

(ロ)市場

(一)印度(緬甸、錫蘭及「ベルチスタン」ヲ含ム)、「ネパール」、「ブータン」、「アフガニスタン」

(二)馬來聯邦、馬來非聯邦、海峽殖民地、英領北「ボルネオ」、遏羅

(三)蘭領東印度及蘭領「チモール」

二、輸出數量ニ關スル制限

(イ)組合ノ定ムル所ニ依リ輸出數量ノ割當ヲ受クルコト

(ロ)組合ノ定ムル統制割當料ヲ組合ニ納付スルコト

三、輸出手續及取締ニ關スル事項

(イ)組合所定ノ輸出申請書ヲ組合ニ提出シ稅關ニ提出スヘキ檢間申請書ニ組合ノ輸出承認印章ノ押捺ヲ受クルコト

(ロ)組合ノ發給スル統制證票ヲ外裝ニ貼附スルコト

(ハ)輸出後仕向地ヲ變更セントスルトキハ組合ノ承認ヲ受クルコト

(ニ)輸出後十日以內ニ組合所定ノ樣式ニ依リ輸出報告書及船荷證券寫ヲ組合ニ提出スルコト

◉鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ(商工省)

試掘願許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日
山梨一,一一〇	南巨摩郡增穗村、穗積村	金,銀	坪 二五一,三〇〇	東京市荒川區南千住町 溝上 定龍 外一人	十二年 六,二三
靜岡二,六二七	榛原郡初倉村、坂部村	石油	一,〇〇〇,〇〇〇	同市本鄕區駒込千駄木町 西尾 銈次郎	六,二三
長野二,四四七	下高井郡平穩村	硫黃	九九五,〇〇〇	同市小石川區茗荷谷町 岡田 永保	六,二三
群馬一,七八七	利根郡赤城根村、東村	金,銀,銅	九〇五,二〇〇	同市澁谷區代官山町 影山 豐彥 外一人	六,二三
同一,七八八	同郡川場村、片品村	同	六八三,二〇〇	同市牛込區市谷仲之町 中島 門吉	六,二三
同一,七八九	同郡川場村、東村、白澤村	同	九九二,二〇〇	同 上	六,二三
同一,七九〇	同郡池田村	同	八一三,二〇〇	同市本鄕區根津西須賀町 熊井 義親 外一人	六,二三
同一,七九一	同郡川場村	同	八七四,八〇〇	同市牛込區市谷仲之町 中島 門吉	六,二三
新潟一二,二七三	中蒲原郡小須戶町	石油	三二七,四〇〇	同市麹町區丸ノ內三丁目 日本石油株式會社	六,二三
同一二,二七四	西頸城郡磯部村	同	七五七,三二二	同 上	六,二三
同一二,二七五	中蒲原郡曾野木村、兩川村、鷲卷村	同	八二七,八〇〇	同 上	六,二三
同一二,二七六	南蒲原郡田上村、中蒲原郡小須戶町	土瀝靑,石油	四〇六,八〇〇	同 上	六,二三
同一二,二七七	三島郡大河津村、桐島村	石油	九七七,四〇〇	同市同區內幸町 南北瓦斯石油株式會社	六,二三
同一二,二七八	北蒲原郡聖籠村	同	一,〇〇〇,〇〇〇	同市同區內幸町一丁目 長谷川 尙一	六,二三
同一二,二七九	同郡葛塚町、長浦村	同	九三六,〇〇〇	同市同區丸ノ內三丁目 日本石油株式會社	六,二三
同一二,二八〇	同郡長浦村、岡方村	同	九一四,三〇〇	同 上	六,二三
同一二,二八一	東蒲原郡西川村	金,銀,銅,鐵	八八八,四九〇	同市本鄕區駒込神明町 秋山 操 外一人	六,二三
同一二,二八二	同	同	九六六,五〇〇	同 上	六,二三
同一二,二八三	同郡日出谷村、豐實村	金,銀,銅,鉛,亞鉛,硫化鐵	九四四,五〇〇	同市小石川區水道町 浦山 助太郎	六,二三
同一二,二八四	同郡下條村	金,銀,銅	九七五,〇〇〇	新潟市礎町二ノ町 等々力 治藤太 外一人	六,二三
同一二,二八五	三島郡大津村、西越村	石油	四二五,〇〇〇	同市麹町區丸ノ內三丁目 日本石油株式會社	六,二三
同一二,二八六	同郡島田村、西越村、桐島村	同	九七九,〇〇〇	同 上	六,二三
同一二,二八七	南蒲原郡中之島村	同	九四四,三〇〇	同 上	六,二三
同一二,二八八	北蒲原郡神山村、水原町	同	九六六,〇〇〇	同 上	六,二三
千葉二六五	匝瑳郡匝瑳村	金ニツケル	一九八,四〇〇	大阪市東淀川區十三東之町 山瀨 賓龍	六,二三
茨城一,六九八	多賀郡櫛形村、松原町	石炭	三三二,五〇〇	東京市澁谷區原宿二丁目 岡上 麟藏	六,二三
岐阜三,七二四	吉城郡河合村	金,銀	九九九,二〇〇	富山縣上新川郡上瀧町 中村 甚吉	六,二三
群馬一,七九二	吾妻郡六合村	硫黃	四七三,三〇〇	東京市下谷區谷中初音町 志賀 貞良 外一人	六,二三
同一,七九三	北甘樂郡尾澤村、月形村	金,銀,鉛,鐵,安質母尼	三八三,六〇〇	長野縣北佐久郡三井村 小平 福松	六,二三
埼玉五五三	秩父郡矢納村、群馬縣多野郡美原村	金,銀,銅,鉛,亞鉛,硫化鐵	九一二,三四〇	群馬縣多野郡鬼石町 相馬 春雄 外一人	六,二三
岐阜三,七二二	吉城郡船津町、阿曾布村	金,鉛,銀	四六四,九〇〇	岐阜縣吉城郡船津町 和仁 安造 外一人	六,二三
同三,七二三	武儀郡洞戶村	金,銀,銅,鉛,亞鉛,水鉛	四四六,六〇〇	兵庫縣武庫郡御影町 吉田 英三	六,二三
山梨一,一一一	東山梨郡諏訪村	金,銀,銅	六八〇,〇〇〇	東京市下谷區坂町 黑田 虎吉 外一人	六,二四
靜岡二,六二八	田方郡下狩野村、中狩野村	同	一六〇,五〇〇	同市牛込區富久町 佐藤 一德 外一人	六,二四
岐阜三,七二五	武儀郡金山町	滿俺	五八,〇〇〇	名古屋市西區數寄屋町 高田 鉄三郎	六,二四
新潟一二,二八九	東蒲原郡下條村	金,銀,銅,水鉛	八八九,〇〇〇	東京市淀橋區柏木四丁目 日高 周藏	六,二四
同一二,二九〇	三島郡西越村	石油	一四六,二〇〇	同市麹町區丸ノ內三丁目 日本石油株式會社	六,二四
同一二,二九一	同	同	一一三,五〇〇	同 上	六,二四
同一二,二九二	東蒲原郡三川村	金,銀,銅,鉛,亞鉛,硫化鐵,砒	八一〇,〇〇〇	新潟縣南蒲原郡加茂町 清水 虎藏	六,二四
同一二,二九三	中蒲原郡小林村、臼井村、白根町	石油	一,〇〇〇,〇〇〇	東京市麹町區有樂町一丁目 理研電線株式會社	六,二四
同一二,二九四	東蒲原郡湯川村	金,銀,銅,鉛,亞鉛,硫化鐵	八五〇,〇〇〇	青森市大字大野 松橋 國司	六,二四
山梨一,一一二	南巨摩郡都川村	金,銀	八〇六,三〇〇	東京市目黑區三田町 落合 兼夫 外二人	六,二六
群馬一,七九四	吾妻郡伊參村、名久田村	鐵	七九一,六〇〇	同市王子區赤羽町二丁目 清水 倉次郎 外二人	六,二六
愛知一,〇〇九	北設樂郡振草村	金,銀,銅,安質母尼,亞鉛,硫化鐵,鉛	五七七,〇〇〇	愛知縣南設樂郡海老町 丸山 正次郎 外二人	六,二六
靜岡二,六二九	志太郡廣幡村、高洲村、西益津村、豐田村、藤枝町	石油	八八七,一〇〇	東京市芝區白金今里町 三增 春次郎 外二人	六,二八
同二,六三〇	同郡岡部町、廣幡村、葉梨村	同	九二〇,七〇〇	同 上	六,二八
同二,六三一	賀茂郡宇久須村、田方郡西豆村	金,銀	一〇〇,五〇〇	同市世田谷區代田一丁目 長谷川 春三	六,二八
同二,六三二	周智郡水窪町、長野縣下伊那郡八重河內村	金,銀,銅,硫化鐵,ニツケル	九二八,二〇〇	同市王子區稻付町四丁目 森 輝	六,二八
群馬一,七九五	吾妻郡六合村	硫黃	四五二,五〇〇	同市麻布區笄町 岩川 與助 外二人	六,二八
同一,七九六	同	同	一,〇〇〇,〇〇〇	同市小石川區茗荷谷町 岡田 永保	六,二八
同一,七九七	同	同	一,〇〇〇,〇〇〇	同 上	六,二八
同一,七九八	北甘樂郡月形村	金,銀,銅	四六四,六〇〇	松本市大字筑摩 古村 利春	六,二八
岐阜三,七二六	山縣郡北山村、葛原村	滿俺	二二四,二〇〇	東京市蒲田區新宿町 松島 喜作	六,二八
同三,七二七	吉城郡坂上村	鐵	六六二,五〇〇	大阪市天王寺區寺田町 足立 陽太郎	六,二八
同三,七二八	大野郡山之口村、益田郡川西村	銀,銅,亞鉛	九八九,二〇〇	東京市麹町區下六番町 松村 昇	六,二八
同	同	金,銀,銅,鉛	八三一,五〇〇	同 上	六,二八
新潟一二,二九五	東蒲原郡揚川村	金,銀,銅,鐵	八五二,九〇〇	同市大森區山王一丁目 佐藤 作次	六,二八
同一二,二九六	南蒲原郡大崎村	石油	三五三,〇〇〇	新潟縣中蒲原郡金津村 中野興業株式會社	六,二八
同一二,二九七	三島郡大津村、脇野町村、日吉村、西越村	同	六八三,七〇〇	同 上	六,二八
同一二,二九八	古志郡北谷村、山本村、富曾龜村、新組村	同	九三四,〇〇〇	同 上	六,二八
同一二,二九九	同郡上北谷村	同	六七四,七〇〇	同 上	六,二八
同一二,三〇〇	東蒲原郡下條村、三川村	金,銀,銅,鉛,水鉛	八四七,八〇〇	東京市日本橋區室町二丁目 三井鑛山株式會社	六,二八
長野二,四四八	北安曇郡社村、池田町、廣津村、陸鄕村、東筑摩郡生坂村	金,銀,銅,鉛,亞鉛,硫化鐵	六八〇,〇〇〇	同市京橋區寶町一丁目 昭和鑛業株式會社	六,二九
栃木二,八五五	上都賀郡永野村	滿俺	二三七,〇〇〇	同市澁谷區千駄ヶ谷二丁目 杉本 好太郎	六,二九
山梨一,一一三	南巨摩郡豐岡村	金,銀,銅	一,〇〇〇,〇〇〇	山梨縣南巨摩郡豐岡村 湯舟 百一	六,二九
同一,一一四	同郡穗積村	滿俺	八八三,四〇〇	東京市大森區馬込町西四丁目 冨山 接三 外一人	六,二九
茨城一,六九九	多賀郡黑前村、松原町	石炭	一二六,三〇〇	栃木縣下都賀郡小山町 渡邊 仲吉	六,二九
同一,七〇〇	久慈郡佐都村	金,銀,銅,硫化鐵	六七五,六〇〇	東京市麹町區丸ノ內二丁目 日本鑛業株式會社	六,二九
同一,七〇一	多賀郡日立町、助川町	同	九九九,六〇〇	同 上	六,二九
新潟一二,三〇一	東蒲原郡豐實村	金,銅,銀	五四三,〇〇〇	福島縣河沼郡群岡村 內山 善四郎	六,三〇
同一二,三〇二	同郡兩鹿瀨村、津川町、揚川村	金,銀,銅,鉛,亞鉛,硫化鐵	六六六,四〇〇	東京市小石川區水道町 浦山 助太郎	六,三〇
同一二,三〇三	中魚沼郡仙田村	石油	三一八,〇〇〇	同市麹町區丸ノ內三丁目 日本石油株式會社	六,三〇
同一二,三〇四	南蒲原郡中之島村、今町、新潟村	同	九六九,〇〇〇	同 上	六,三〇
同一二,三〇五	中蒲原郡荻川村、新津町、金津村	同	九六二,九〇〇	同 上	六,三〇

同 一二、三〇六	北蒲原郡長浦村、神山村、葛塚町	同	九九五、〇〇〇	同上	六、三〇
岐阜三、七三〇	揖斐郡鶴沼村	滿俺	八八、四七七	名古屋市南區瑞穗町 新井 菊壽	六、三〇
同 三、七三一	吉城郡阿曾布村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、蒼鉛	一四八、三〇〇	東京市日本橋區室町二丁目 三井鑛山株式會社	六、三〇
同 三、七三二	武儀郡菅田町	金、銀、銅、鉛、亞鉛、硫化鐵	四一八、五〇〇	同市神田區末廣町 武内 照保 外一人	六、三〇
愛知一、〇一〇	東春日井郡水野村	滿俺	一七、一〇〇	愛知縣東春日井郡水野村 櫻井 左門 外一人	六、三〇
同 一、〇一一	同郡篠岡村、丹羽郡樂田村	金、銀、銅、鐵、滿俺	三八四、五〇〇	神戸市葺合區中島通二丁目 高橋 球二 外二人	六、三〇
長野二、四四九	下伊那郡木澤村、和田村	金、銀、銅、硫化鐵、ニツケル	六七八、〇〇〇	東京市王子區稻付町四丁目 森 輝	六、三〇
同 二、四五〇	小縣郡新張村	硫黄	一、〇〇〇、〇〇〇	同市豐島區長崎仲町 山崎 四郎	六、三〇
山梨一、一一五	東山梨郡玉宮村、松里村、三富村	金、銀、鉛、砒	八三二、〇〇〇	同市麴町區丸ノ内二丁目 日本鑛業株式會社	六、三〇
同 一、一一六	南巨摩郡硯島村	金、銀	一五二、八〇〇	山梨縣南巨摩郡硯島村 望月 網吉	六、三〇
神奈川 一六〇	中郡西秦野村、足柄上郡松田町、上中村	金、銀、銅、石膏	一、〇〇〇、〇〇〇	東京市荏原區小山町 福澤 みつ 外二人	六、三〇
同 一六一	三浦郡浦賀町	石油	七三一、四〇〇	横須賀市公郷町 日本產油株式會社	六、三〇
千葉 二六六	安房郡西條村、田原村、主基村	同	一、〇〇〇、〇〇〇	千葉縣東葛飾郡柏町 野口 菊治	六、三〇
埼玉 五五四	秩父郡大瀧村	金、銀、銅、鉛、亞鉛、鐵	六一〇、〇〇〇	東京市麴町區永田町一丁目 相模商工株式會社	六、三〇
靜岡二、六三三	磐田郡下阿多古村	金、銀、銅、硫化鐵	三五六、八〇〇	岐阜市昭和町二丁目 荒井 辰藏	六、三〇
茨城一、七〇二	多賀郡華川村、磯原町	金、銀、銅	八二九、一〇〇	東京市小石川區武島町 清野 誠恒 外一人	六、三〇
群馬一、七九九	吾妻郡嬬戀村、長野縣小縣郡滋野村、禰津村	硫黄	九九九、〇〇〇	同市豐島區長崎仲町 山崎 四郎	六、三〇

○衛生

◉國際傳染病報告　本件ニ關シ本月一日在新嘉坡保健部東局ヨリ西貢無線電信局ヲ經テ左ノ通情報アリタリ（昨八日本省發表）（内務省）

自九月十九日至同十一日週間二十五日國際傳染病狀況本表中死者ハ自九月五日至同十一日一週間ニ於ケル文書報告ニ依リ示ス

港及都市	「ペスト」患者（一月以來）累計	「ペスト」死者（同上）累計			「コレラ」患者	「コレラ」（同上）累計	「コレラ」死者	「コレラ」（同上）累計	「痘瘡」患者	「痘瘡」（同上）累計	「痘瘡」死者	「痘瘡」（同上）累計
上海	ー	ー	ー	ー	六五五	一、八一二	九	一〇	ー	六一六	ー	一七四
香港	ー	ー	ー	ー	六三	一、五四五	一二六	四五三	一	九〇	ー	三二
マカオ	ー	ー	ー	ー	一六	四一九	三六	一四二	ー	ー	ー	ー
アキアブ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	四二	二	一四
カルカッタ	ー	ー	ー	ー	一九	一、二三五	四	三二七	七	三五六	六	一九〇
マドラス	ー	ー	ー	ー	三	二五四	五	七八	一四	四七〇	七	一〇九
孟買	ー	ー	ー	ー	ー	一	ー	二	一三	六九一	四	三九八

（摘要）日本ニ於テ九月十九日ヨリ同二十五日マテニ「コレラ」患者三七發生セリ

正誤

一昨七日本欄奬勵金交付ノ項中兵庫ノ行奬勵事項ノ部「要スヲ」ハ「要スル」ノ誤植

在外公館報告

◉蘭領印度ノ自動車用「タイヤ」及「チューブ」輸入制限令延長　本件ニ關スル本月五日著バタヴィア駐在總領事代理小谷淡雲電報左ノ如シ（外務省）

蘭領印度政府ハ自動車用「タイヤ」及「チューブ」ノ輸入制限ヲ延長ス其要領左ノ通

（一）期間　一九三七年十月三日ヨリ一箇年

（二）輸入許可數量

統計番號　九五九及九六一番（自動車及自動自轉車用タイヤ）　一百七十萬二千五百二十瓩「ブルート」

統計番號　九六〇及九六二番（自動車及自動自轉車用チューブ）　十九萬四千一百七十瓩「ブルート」

（三）國別ノ割當ナシ

◉埃及棉收穫豫想　本件ニ關スル本月五日著アレキサンドリア駐在領事黑木時太郎電報左ノ如シ（外務省）

本年度埃及棉第一回收穫豫想左ノ通

長纖維　三百六十二萬一千「キンタール」、内「サケル」五十五萬二千「キンタール」

中纖維　十五萬三千「キンタール」

短纖維　七百十四萬九千「キンタール」

其他　二十一萬八千「キンタール」

計　千百十四萬一千「キンタール」

未曾有ノ大作尤モ操越高僅ニ三十五萬一千「キンタール」

觀象

◉全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣溫ノ第一印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

十月六日

地名	氣壓（粍）	風向	風速（米）	氣溫（攝氏）	天氣	降水量（粍）
臺北	760.9	北	2	30.6	曇	5
那覇	761.0	南	4	28.4	薄曇	3
鹿兒島	763.8	靜穩	1	22.8	曇	—
高知	761.8	靜穩	1	22.4	曇	—
大分	763.3	北北西	4	21.0	曇	—
多度津	762.2	西北西	6	21.0	曇	—
廣島	763.0	靜穩	1	20.7	曇	—
大阪	760.9	西	5	24.2	曇	—
長崎	764.4	北	2	20.1	曇	97
福岡	764.2	北	4	21.9	曇	—
濱田	763.5	西	8	21.1	曇	—
名古屋	759.9	西北西	5	21.8	曇	—
横濱	757.1	南東	9	23.3	曇	—
東京	757.1	靜穩	1	24.5	曇	—
銚子	756.9	靜穩	1	23.0	曇	—
長野	759.6	北北東	5	17.1	雨	—
前橋	756.8	北	4	23.1	曇	—
宇都宮	756.5	靜穩	0	21.6	曇	—
福島	756.8	西北西	5	17.1	雨	1
福井	761.1	北西	8	20.3	曇	9
新潟	759.7	西北西	8	18.6	曇	5
秋田	756.8	西	11	17.1	曇	12
石卷	756.6	北西	5	17.1	曇	—
盛岡	755.0	西南西	11	17.4	晴	4
青森	758.9	西南西	10	18.4	晴	16
函館	751.7	西北西	9	14.8	晴	1
札幌	748.5	西	4	18.8	雨	9
旭川	744.7	靜穩	1	13.0	曇	7
根室	745.5	西南西	8	18.1	晴	2
大泊	751.0	北東	18	6.6	雨	9
釜山	764.1	北西	9	18.5	薄曇	—
仁川	767.5	北北西	6	16.5	快晴	—
元山	766.7	西北西	2	15.3	快晴	—
城津	764.6	北	6	14.7	快晴	—
新義州	768.9	北北西	5	13.9	快晴	—
大連	770.2	北北東	2	15.6	快晴	—
奉天	770.5	北	2	12.3	快晴	—
新京	768.1	西北西	2	10.8	快晴	—
天津	769.5	南南東	3	20.8	快晴	—
青島	—	—	—	—	—	—
上海	766.1	東北東	3	22.8	雨	—

◉東京氣象

十月六日　天氣概況　曇

平均氣壓（海面ノ度）	七五七・二粍	平均水蒸氣張力	一一・〇粍
平均氣溫	二〇・〇度	平均雲量	八・四
平年ヨリ二・五度高シ		日照時間	二・九時
最高氣溫	二五・四度	平均風速度	一・九米
最低氣溫	一六・二度	最大風速度	五・三米
前五日間平均氣溫	二〇・三度	最多風向	北
平年ヨリ二・五度高シ		降水總量	—
平均濕度	六七%	一時間最大降水量	—
		記事	—

◉地震報告

觀測所名	發震 月日	時刻	初期微動繼續時間	震度	性質
東京	九月二十九日	午前七時五十五分十七秒	十秒	輕震	稍急

（以上中央氣象臺）

土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　靜岡縣知事

事業ノ種類　河川改良

起業地　靜岡縣濱松市木戸町地内

右公告ス

昭和十二年十月九日　内務大臣　馬場　鍈一

廣告

◉ポスター圖案及標語入選等發表

本年八月懸賞募集セル「國債ノ郵便局賣出シ宣傳用ポスター圖案」及「國債ノ民衆化宣傳用標語」ニ付審査ノ結果左ノ通入選及選外佳作ヲ決定セリ

昭和十二年十月　大藏省理財局

第一類　ポスター圖案

一等	大阪市東區内久寶寺町三ノ六	乃末　記一
二等	京都市中京區猪熊通四條北入ル	鳥居　秀雄
同	兵庫縣西宮市森具御茶屋所六四五	石村正太郎
三等	名古屋市東區伊勢町一ノ五	小笠原光風
同	東京市淺草區千束町二ノ二三五藤田方	藤井　治
同	東京府西多摩郡調布村上長淵一七三	宇津木松二

選外佳作

東京市	末永　京治	東京市	野澤　保人
大阪市	菅井　貞	大阪市	長谷川長五郎
大阪市	鶴田　一美	名古屋市	榊原　義夫
名古屋市	石倉　壽	名古屋市	淺井　洋二
神戸市	木島　武雄	中津市	穗代　勝
丸龜市	建石　一武	丸龜市	横山　敏景

第二類　標語

一等	國債へ擧國一致の力こぶ	岐阜縣美濃町前野	高橋　一夫
二等	共に一枚銃後の國債	東京市澁谷區原宿町三ノ三〇八	佐藤　信昌
同	胸に愛國手に國債	宮城縣登米郡寶江村荒谷	遠藤　靜
三等	みんなの國債みんなで背負へ	兵庫縣加西郡富田村谷	黑田　芳行
同	買つて奉公有利な國債	鳥取縣米子市車尾	野坂　忠輝
同	國債は貯蓄だ利殖だ奉公だ	大連市外老虎灘晋外一四	田村　元雄

選外佳作

東京市	長谷川喜三	東京市	松南　富三
東京市	青木　榮	東京市	青木　榮
東京市	林　常助	東京市	戸田　五郎
東京市	小池　淳次	東京市	鈴木　保雄
東京市	長嶋　延松	大阪市	大竹　七藏
東京市	佐藤　信昌	大阪市	中西　幸一
名古屋市	中島　東三	名古屋市	神谷專一郎
神戸市	筧井　英治	徳島市	島野芳太郎
別府市	丸田　保	豐中市	森田德治郎
岩手縣	岩岡貞次郎	栃木縣	江原　ツナ
群馬縣	根本源之助	愛知縣	西村よね子
岐阜縣	井上廣之助	岐阜縣	近藤　正雄

（備考）同一標語ニ付二人以上ノ應募アリタルモノニ付テハ抽籤ニ依リタリ

◉工場財團

和歌山市岡町九一番地昭和紡績株式會社ヨリ和歌山市岡町九一番地、一一〇番地、七番地昭和紡績株式會社工場ニ屬スル工作物、機械器具等ニ對シ新ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ變更登記申請アリタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者、差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十五日以内ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

右昭和十二年十月九日　和歌山區裁判所

◉檢定教科用圖書

檢定年月日	目的ノ學校、學科ノ種類	圖書名	卷冊	發行年月日	定價
昭和一二、一〇、四	師範學校 中學校 高等女學校 音樂科 尋常小學校 高等小學校 唱歌科教師用及兒童用	進軍の歌	一冊	昭和一二、一〇、二 修正	非賣品（無料）

右著者　株式會社大阪毎日新聞社東京支店　東京日日新聞發行所

右發行者　東京市麴町區有樂町一丁目十一番地　株式會社大阪毎日新聞社東京支店東京日日新聞

檢定年月日	目的ノ學校、學科ノ種類	圖書名	卷冊	發行年月日	定價
一二、一〇、六（昭和九、一〇、二〇檢定ノモノノ修正）	高等女學校　外國語科	Girls' New Standard Grammar (Second Revised Edition)	一	一二、九、四 修正七版	三八
一二、一〇、六	實業學校　同	同	一	同 同	三八

以上著者　三省堂編輯所

以上發行者　東京市神田區神保町一丁目一番地　株式會社三省堂

昭和十二年十月　文部省

◉公示送達

大阪市天王寺區筆ケ崎町八十一番地　中島　留松

（右ノ者ニ送達スヘキ昭和十二年八月二十三日附昭和十二年商標登錄願第一一四七八號補充書差出方通知書）

右ノ書類ハ何時ニテモ送達ヲ受クヘキ者ニ之ヲ交付スヘシ

右商標法施行規則第十六條ノ規定ニ依リ準用スル特許法施行規則第二十一條ノ規定ニ依リ公告ス

昭和十二年十月九日　特許局

◉所屬未定地編入

左記所屬未定地ヲ葦北郡田浦村大字海浦字前田ノ區域ニ編入シ本月五日ヨリ施行セリ

昭和十二年十月　熊本縣

葦北郡田浦村大字海浦字前田二九三番、二八九番、二九二番、二九〇番地先海面

一埋立面積　百六十四坪三合六勺

◉購買入札

本箱仕組板　一四、三〇〇組
入札心得書、契約書案並標本　當廠ニ在リ
入札及開札　本月二十日午前十一時當廠ニ於テ
入札ノ即時開札
入札保證金　各自入札價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ゲ）
入札者資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フル者
昭和十二年十月九日　陸軍糧秣本廠

一鍛力板（噴霧器製作用印刷板）　五万個分
一契約條項ヲ示ス場所　當所作業課
一入札並開札日時及場所　本月二十日午前十一時當所作業課ニ入札書差出スヘシ即時開札ス
但シ郵便、電信入札差支ナシ
一入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ五以上（圓未滿切上ゲ）
一入札資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者ニ限ル
昭和十二年十月九日　高松刑務所

◉賣拂入札

一品名及數量　黄銅屑屑金外三點
一現品下見　本月十八日午前中
一入札及開札　本月二十日午前十一時
一現品下見及引渡場所　郡山工場
一入札及書類公示場所　當局經理部購買課
一入札保證金　各自見積額ノ百分ノ十以上（圓未滿切上ゲ）
一契約保證金　契約金額ノ百分ノ十以上（同上）
昭和十二年十月九日　仙臺鐵道局

◉商業登記

●協同鑛業株式會社合併
昭和十二年五月十五日東京市麻布區霞町五番地角七商事株式會社及東京市牛込區市谷臺町九三番地大平洋電機工業株式會社ヲ合併シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一増加資本總額　金二百万圓
一合併決議年月日　昭和十二年三月一日
一各新株拂込額　金二十圓
右昭和十二年五月十七日登記　小田原區裁判所大磯出張所

●武總土地拓殖株式會社移轉
一昭和十二年六月二日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス
東京市荒川區日暮里八丁目百四番地
昭和十二年六月四日登記　熊谷區裁判所

●羽生護謨工業株式會社變更
一取締役杉下爲吉ハ昭和十二年五月二十三日死亡ス
昭和十二年六月五日登記　熊谷區裁判所羽生出張所

●株式會社足利銀行變更（支店）
一栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ支店及同縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地ノ支店ハ其ノ地番錯誤ニ因リ左ノ通リ更正ス
支店　栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ三
支店　同縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地イ號

●株式會社足利銀行變更（支店）
左記ノ各支店ハ左ノ事由ニ因リ所在地名ニ變更アリタリ
群馬縣山田郡桐生町大字桐生新町三百四十二番地ノ支店ハ大正六年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ同縣同郡同町大字桐生三百四十二番地ト變更シ大正十五年三月一日市制施行ニ因リ同縣桐生市大字桐生三百四十二番地ト變更シ更ニ昭和四年八月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店　群馬縣桐生市本町五丁目三百四十二番地
群馬縣山田郡桐生町大字新宿村四百五番地ノ支店ハ大正六年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ同縣同郡同町大字新宿四百五番地ト變更シ大正十年三月一日市制施行ニ因リ同縣桐生市大字新宿四百五番地ト變更シ更ニ昭和四年八月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店　群馬縣桐生市新宿通一丁目四百五番地
栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ三ノ支店ハ大正十年一月一日市制施行ニ因リ同縣足利市大字足利二百十八番地ノ三ト變更シ更ニ大正十一年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店　栃木縣足利市伊勢町二百十八番地ノ三
栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木三百八十一番地ノ一ノ支店ハ昭和十二年四月一日市制施行ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店　栃木縣栃木市萬町三百八十一番地ノ一
栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地イ號ノ支店ハ昭和十二年四月一日市制施行ニ因リ左ノ通リ變更ス
支店　栃木縣栃木市倭町二百九十五番地イ號
昭和十二年六月二日登記　熊谷區裁判所本庄出張所

●合名會社飯田農園變更
一社員飯田友次郎ハ總社員ノ同意ヲ得テ昭和十二年六月一日退社ス
昭和十二年六月三日登記　熊谷區裁判所兒玉出張所

●佐倉運送株式會社變更
一取締役栗原英吉飯沼忠治川井仲助井原寅松ハ昭和十二年五月三十日重任ス
昭和十二年六月五日登記　佐倉區裁判所

●合資會社遠美屋商店變更及本店移轉
一昭和十二年六月一日商號ヲ合資會社水上醫司商店ト變更ス
一同日本店ヲ東京市江戸川區小岩町五丁目七五三番地ニ移轉ス
昭和十二年六月五日登記　松戸區裁判所市川出張所

●房州白土株式會社變更
一取締役一名缺員ニ付昭和十二年六月二日左記ノ者取締役ニ就任ス
安房郡館山北條町長須賀四十八番地ノ二　早川淺次郎
一同月三日早川淺次郎ハ會社ヲ代表スヘキ取締役ニ就任ス
一昭和十二年六月二日左記ノ者監査役ニ補缺就任ス
安房郡館山北條町館山千五百二十五番地ノ一　飯居敎深
昭和十二年六月四日登記　北條區裁判所

●銚子鐵道株式會社變更
一取締役山口奕九郎ハ昭和十二年五月二十八日重任シ左記ノ者同日取締役ニ就任ス
銚子市本通一丁目百五十一番地　松本德太郎
同市本通二丁目百九十番地　大里庄治郎
一監査役松本德太郎大里庄治郎任期滿了ニ付同日左記ノ者監査役ニ就任ス
東京市目黑區上目黑四丁目二千百五十二番地　井上保
昭和十二年六月四日登記　八日市場區裁判所銚子出張所

●土浦倉庫株式會社移轉及變更
一昭和十二年五月二十八日本店ヲ左ノ地ニ移轉セリ
新治郡土浦町九〇二番地
一取締役豐島由十郎豐島治豐島久助及監査役宮本信太郎ハ同日重任ス
昭和十二年六月三日登記

●株式會社中島組製材所變更
一左記ノ者昭和十二年五月三十日取締役ニ就任ス
新治郡東村中村西根一三八〇番地ノ内二　若泉正槃
昭和十二年六月四日登記　土浦區裁判所

●株式會社日本勸業銀行社債（支店）
一昭九災害十一號
一社債ノ總額　金二十六万圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回五千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一昭十災害第十一號
一社債ノ總額　金六万七千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回一千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

●株式會社本店移轉
昭和十二年五月三十日本店ヲ米子市角盤町四丁目八十四番地ヨリ當管内ニ移轉シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一商號　陸奥鑛業株式會社
一本店　宇都宮市寺町二百五十八番地
一目的　一鑛物ノ採取精煉及其販賣　一鑛業權ノ賣買及其投資　一不動產ノ賣買　一有價證券ノ賣買　一前項ノ附帶事業
一設立年月日　昭和十年六月二十日
一資本總額　五十万五千圓
一一株金額　二十圓
一各株拂込額　二十圓
一公告方法　本店店頭ニ掲示シテ之ヲ爲ス
一取締役ノ氏名住所
宮城縣栗原郡藤里村字榮脇三十四番地　二上定一
東京市日本橋區富澤町十八番地　山本計市
同市牛込區若松町百四番地　關高次郎
一會社ヲ代表スヘキ取締役　二上定一　山本計市
一監査役ノ氏名住所
東京市杉並區馬場四丁目五百三十二番地　前田利次
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿百箇年
昭和十二年六月四日登記

●陸奥鑛業株式會社資本減少並本店移轉
一昭和十二年六月四日資本ノ總額ヲ金五十万圓ト變更ス
一昭和十二年六月四日本店ヲ東京市麴町區丸ノ内三丁目六番地へ移轉ス
昭和十二年六月五日登記　宇都宮區裁判所

●株式會社三重縣農工銀行解散
一昭和十二年五月十三日東京市麴町區内山下町一丁目一番地株式會社日本勸業銀行へ合併シタルニ因リ解散ス
昭和十二年五月二十六日登記　山田區裁判所鳥羽出張所

●合資會社奈和木材商會變更
一無限責任社員深瀬史朗有限責任社員榊本菊松ハ昭和十二年五月二十八日出資ヲ左ノ通リ變更ス
金二万圓　深瀬史朗
金四千圓　榊本菊松
一同日左記ノ者新ニ入社ス
金七千圓　有限　關三吉　新宮市新宮五十三番地
金六千圓　有限　青木重恭　奈良縣吉野郡大塔村大字宇井二十六番地
金四千圓　有限　沼平萬治郎　同縣同郡十津村大字小原六十一番屋敷
金三千圓　有限　東常晴　同所二百七十九番地
金三千圓　有限　千葉孝夫　新宮市新宮三百三十七番地
昭和十二年六月一日登記　木本區裁判所鵜殿出張所

●株式會社移轉
昭和十二年五月二十日本店ヲ大津市鍵屋町五番地ヨリ當管内ニ移轉シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一商號　日榮商事株式會社
一本店　岐阜市安良田町四丁目四十番地
一目的　一有價證券ノ賣買　一小口金融　一證券擔保貸付　一土地賣買　一右ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十二年四月十六日
一資本總額　金一万五千圓
一一株金額　金五十圓
一各株拂込額　金十二圓五十錢
一公告方法　本店店頭ニ掲示ス
一取締役ノ氏名住所
岐阜市安良田町四丁目四十番地　青木與三吉
同市同町三丁目二十四番地　笹倉健太郎
滋賀縣甲賀郡石部町大字石部一千二百六十一番地　青木敬次郎
會社ヲ代表スヘキ取締役　青木與三吉
一監査役ノ氏名住所　大津市上北國町三十一番地　上田清次郎
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿三十箇年

●株式會社日本勸業銀行社債（支店）
一昭九災害十一號
一社債ノ總額　金二十六万圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回五千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一昭十災害十一號
一社債ノ總額　金六万七千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回一千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
昭和十二年六月三日登記　岐阜區裁判所

●合資會社松尾商店解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月二十八日解散ス
昭和十二年六月四日登記　岐阜區裁判所

●合名會社須田商會解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月二十五日解散ス
昭和十二年六月五日登記　岐阜區裁判所美濃出張所

●株式會社千歳座變更
一取締役西尾一二岡田好司郎ハ昭和十二年五月二十九日辭任ス
昭和十二年六月一日登記　岐阜區裁判所關出張所

●株式會社日本勸業銀行社債（支店）
一昭九災害十一號
一社債ノ總額　金二十六万圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回五千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一昭十災害十一號
一社債ノ總額　金六万七千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回一千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

●合名會社種田石油店變更
一會社代表社員種田定一ハ昭和十二年六月一日其出資額ヲ金二万五千圓ト増加ス

●日本ポンプ製造合資會社變更
一無限責任社員佐々木一二ハ昭和十二年五月三十一日其出資額ヲ金五千圓ニ有限責任社員佐々木弘ハ同日其出資額ヲ金一千五百圓ニ同佐々木佳太郎ハ同日其出資額ヲ金一万二千五百圓ト各増加ス
昭和十二年六月三日登記

●商號新設
一商號　川村牧場
一營業ノ種類　牛ノ賣買牛乳ノ搾取處理販賣並ニ之レニ關聯スル事業
一營業所　大垣市郭町五十五番地
一商號使用者ノ氏名住所　大垣市郭町五十五番地　川村莊一
昭和十二年六月五日登記　大垣區裁判所

●株式會社一山キ土田屋呉服店解散及清算人選任
一株主總會ノ決議ニ因リ昭和十二年五月三十一日解散ス
一清算人ノ氏名住所　惠那郡岩村町三百十六番地　中根政造

●合名會社設立
一商號　合名會社土田屋呉服店
一本店　惠那郡岩村町三百十六番地
一目的　一呉服太物洋反物及諸雜貨ノ販賣　二前項ニ附隨スル一切ノ業務
一會社代表社員　中根政造
一社員ノ氏名住所及出資
金一万三千四百圓　惠那郡岩村町三百十六番地　中根政造
金八百圓　同所同番地　中根朝
金八百圓　同所同番地　中根丈及
一存立ノ時期　滿二十箇年
昭和十二年六月三日登記　御嵩區裁判所岩村出張所

●酒伊纖維工業株式會社（資本增加）
一增加資本ノ總額　金二百五十万圓
一資本增加決議ノ年月日　昭和十二年四月二十八日
一各新株ニ付キ拂込ミタル株金額　金五十圓
右昭和十二年六月三日登記　福井區裁判所

●大野鑄造所商號登記
一商號　大野鑄造所
一營業ノ種類　鑄造業
一營業所　福井縣大野郡大野町西四番二百二十五號百十三番地
一商號使用者ノ氏名住所　福井縣大野郡大野町西四番二百二十五號百十三番地　三島藤治郎

●大野鐵工所商號登記
一商號　大野鐵工所
一營業ノ種類　鐵工業
一營業所　福井縣大野郡大野町西四番二百二十五號百十三番地
一商號使用者ノ氏名住所　福井縣大野郡大野町西四番二百二十五號百十三番地　三島藤治郎
右昭和十二年六月四日登記　大野區裁判所

●合資會社設立
一商號　松井合資會社
一本店　遠敷郡熊川村新道四十二號二十番地
一目的　木炭其他一般商品ノ販賣
一設立年月日　昭和十二年六月一日
一社員ノ氏名住所出資及責任
金一千圓　無限　遠敷郡熊川村新道四十二號二十番地　松井信市
金二百五十圓　有限　同所三十六號三番地　池上甚三
金二百五十圓　有限　同所四十二號二十番地　松井ひさ
一存立時期　定款作成ノ日ヨリ滿五十箇年
右昭和十二年六月三日登記　小濱區裁判所瓜生出張所

●株式會社日本勸業銀行社債（支店）
一昭九災害十一號
一社債ノ總額　金二十六万圓
一各社債ノ金額　金五千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回五千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額
一昭十災害十一號
一社債ノ總額　金六万七千圓
一各社債ノ金額　金一千圓
一社債ノ利率　年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後每年四月十月抽籤ヲ爲シ每回一千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

●株式會社加能合同銀行變更
一取締役木仁条次朗ハ昭和十二年六月一日死亡ス
●野村證券株式會社支店設立(支店)
一昭和十二年六月一日支店ヲ左ノ地ニ設立ス
支店 靜岡市七間町一丁目二十一番地
●株式會社設立
一商號 丸登絹毛株式會社
一本店 金澤市増泉町へ三十七番地
一目的 一人絹屑並毛屑ノ反毛二人絹屑並毛屑ノ賣買三營業ニ關係アル事業ニ對スル出資並ニ前二項ニ附帶スル一切ノ行爲
一設立年月日 昭和十二年五月二十二日
一資本總額 金二十万圓
一一株金額 金五十圓
一各株拂込額 金十二圓五十錢
一公告方法 本店ノ店頭ニ之ヲ掲示ス
一取締役ノ氏名住所
井村德二 金澤市裏古寺町二十四番地ノ一
野根長太郎 金澤市笹下町三ノ小路六十四番地
村田知章 愛知縣一ノ宮市向山町一番地ノ二十八
山井秀一 石川縣能美郡御幸村字日末又百三十三番地ノ乙
一會社ヲ代表スヘキ取締役ノ氏名 井村德二
一監査役ノ氏名住所
村勝二 金澤市高岡町上藪ノ内六番地ノ十一
清水厚 東京市淀橋區下落合二丁目七百六十一番地
右昭和十二年六月四日登記
●合資會社大成商店解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月三十一日解散ス
右昭和十二年六月五日登記 金澤區裁判所
●合資會社橋田商店清算結了
昭和十二年五月十九日清算結了ス
右昭和十二年六月二日登記
●小松電氣株式會社變更
監査役藤井定次郎ハ任期滿了ノ處昭和十二年五月二十八日重任ス
●能美電バス株式會社變更
昭和十二年五月三十日各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金十八圓五十錢ト變更ス
●株式會社加能合同銀行變更(支店)
取締役木仁条次郎ハ昭和十二年六月一日死亡ス
右昭和十二年六月五日登記 小松區裁判所

●支配人選任
支配人ノ氏名住所 片山耕造 尾道市十堂町七百九十三番地
主人ノ氏名住所 株式會社不動貯金銀行 東京市芝區宮本町三十四番地
支配人ヲ置キタル場所 尾道市土堂町七百九十三番地
●支配人解任
支配人鳳島勇夫ハ昭和十二年六月一日解任ニ因リ代理權消滅ス
昭和十二年六月四日登記
●三菱商事株式會社支店移轉(支店)
一昭和十二年五月三十日佐世保市松浦町十七番地ノ一ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 佐世保市元町四十三番地
昭和十二年六月五日登記 尾道區裁判所
●株式會社松永錦商社(變更)
監事平櫛又策岡本健雄ハ昭和十二年五月三十一日重任ス
右昭和十二年六月四日登記 尾道區裁判所松永出張所
●株式會社共進券番變更
監査役吉原清三中島富之助ハ昭和十二年五月二十二日任期滿了ノ處再選セラレ同月二十三日重任ス
右昭和十二年六月二日登記 福山區裁判所府中出張所
●株式會社日本勸業銀行社債
一昭九災害十一號
一社債ノ總額 金二十六万圓
一各社債ノ金額 金五千圓
一社債ノ利率 年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限 昭和十七年五月一日迄据置キ以後毎年四月十月抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額
一昭十災害十一號
一社債ノ總額 金六万七千圓
一各社債ノ金額 金一千圓
一社債ノ利率 年三分二厘
一社債償還ノ方法及期限 昭和十七年五月一日迄据置キ以後毎年四月十月抽籤ヲ爲シ毎回一千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス
一各社債ニ付拂込ミタル金額 全額
右昭和十二年六月四日登記 三次區裁判所

●合資會社藤中商店變更
昭和十二年六月一日社員藤中章子ハ金四千五百圓ヲ出資シ出資ニ對スル持分ヲ左記ノ通リ變更ス
一金四千九百圓 無限 藤中章子
右昭和十二年六月一日登記 岩國區裁判所通津出張所
●仁田商事株式會社變更
昭和十二年五月二十五日取締役仁田貞夫仁田克己本田清藏及ヒ會社ヲ代表スヘキ取締役仁田貞夫並ニ監査役安井與一郎各重任ス
●山陽電氣株式會社變更
昭和十二年五月二十七日左ノ者取締役ニ各就任ス
取締役 武藤作文 神戸市灘區弓木町一丁目一番地
同 佐藤龜清 福岡市荒戸町二番町百三十八番地
同 山田英吉 下關市大字關後地村千百十八番地ノ五號地
右昭和十二年六月四日登記 下關區裁判所
●太平セメント株式會社變更
取締役河内通祐ハ昭和十二年五月二十八日重任ス
右昭和十二年六月四日登記
●昭和商事株式會社變更
取締役廣澤操作ハ昭和十二年四月二十九日退任シ取締役廣瀬龜千代江木易太酒井茂三郎伊藤平吉白川鐵一伊藤權富山形松太郎中村清規上杉嘉平樫強ハ同日各重任ス
●合資會社設立
一商號 合資會社第一タクシー商會
一本店 厚狹郡小野田町六千七百四十七番地
一目的 自動車運送事業經營及ヒ之ニ附帶セル一切ノ業務
一設立年月日 昭和十一年十二月十五日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及ヒ責任
自動車運送事業經營ニ電話加入權社許價格金七百圓 無限 吉岡卯太郎 厚狹郡小野田町六千七百四十七番地
金七百四十四圓 有限 酒井正一 同郡同町六千八百四十四番地
金七百九十一圓 同 白川精一 同郡同町六千七百九十一番地
金七百三十八圓 同 伊藤平吉 同郡同町六千七百三十八番地
金七百二十五圓 同 河野寅一 同郡同町六千七百二十五番地
金七百九十二圓 同 勝原健治 同郡同町六千七百九十二番地ノ一
昭和十二年六月五日登記 船木區裁判所小野田出張所

●合名會社丸共商會(變更)
代表社員小野喜美太ハ昭和十二年五月二十三日死亡ニ依リ退社シタリ
昭和十二年六月五日總社員ノ同意ニ依リ小野博ハ金一千圓ヲ出資シ左ノ通リ入社シタリ
一金一千圓 小野博 赤磐郡仁堀村大字仁堀中五百六十八番地
昭和十二年六月五日總社員ノ同意ニ依リ左記ノ者代表社員ニ選任セラレ同日就任シタリ
代表社員 小野博
右昭和十二年六月五日登記 岡山區裁判所仁堀出張所
●株式會社安田銀行變更(支店)
昭和十二年五月二十三日東京市京橋區銀座一丁目四番地六ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 東京市京橋區銀座一丁目四番地三
昭和十二年五月二十三日京都府加佐郡新舞鶴町字濱二百三十五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 京都府加佐郡新舞鶴町字濱九百八十一番地
右昭和十二年五月二十七日登記
●上道農事株式會社變更
昭和十二年五月二十三日株主總會ニ於テ監査役改選ノ結果山口惣兵衞岡崎勝二ハ再選同年五月二十七日重任ス
右昭和十二年六月一日登記 岡山區裁判所西大寺出張所
●三宅商事株式會社變更
昭和十二年五月十八日ノ株主總會ニ於テ定款中目的ノ變更ヲ決議シ同年六月二日地方長官ノ許可アリタルニ依リ目的ヲ左ノ通變更ス
一各種肥料及米麥ノ賣買並ニ委託販賣
二食料品ノ販賣
三肥料輸入營業但人造肥料ハ日本化學工業株式會社製造ノモノニ限ル
右昭和十二年六月五日登記 岡山區裁判所總社出張所
●合資會社設立
一商號 合資會社水島鐵工所
一本店 津山市西寺町五十番地
一目的 一發動機製作販賣修繕二鐵工工事設計並請負三右事業ニ附隨セル一切
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
勞務一營業用什器六尺旋盤外八十八點此價格金一千五百圓 無限 水島篠雄 津山市西寺町五十番地
金八百五十圓 有限 水島網藏 同市小田中百六十二番地
金八百圓 有限 水島八重子 同市西寺町五十番地

金八百五十圓 有限 水島正男 同市小田中百六十二番地
一設立ノ年月日 昭和十二年五月二十日
一存立時期 定款作成ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和十二年五月二十六日登記
●合資會社岸本陶器タイル店解散
總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月二十九日解散シタリ
右昭和十二年五月三十一日登記 津山區裁判所
●合名會社内藤商店變更
一社員國頭正太郎ハ昭和十二年四月二十六日死亡セリ
右昭和十二年六月四日登記 米子區裁判所淀江出張所
●株式會社佐藤商會製材部變更
一監査役石原藤七ハ昭和十二年五月十五日死亡ス
右昭和十二年五月二十日登記
●株式會社丸一組運送店變更
一取締役石原藤七ハ昭和十二年五月十五日死亡ス
右昭和十二年五月二十四日登記
●株式會社設立
一商號 寶商事株式會社
一本店 松江市御手船場町五百五十五番地
一目的 一工業用機械器具製作販賣二鑛物ノ採掘賣買並ニ精煉三他人ノ經營スル前項事業ニ投資四右ニ關聯スル一切ノ業務
一設立年月日 昭和十年十一月九日
一資本ノ總額 金一万圓
一一株金額 金二十圓
一各株拂込金額 金二十圓
一公告ヲ爲ス方法 本店ノ店頭ニ掲載ス
一取締役ノ氏名住所 坂本平三郎 那賀郡濱田町黒川一千二百十七番地 須藤昇作 佐世保市松浦町四十三番地 松下正雄 東京市京橋區木挽町一丁目八番地
一監査役ノ氏名住所 養松吉太郎 熊本市大江町九品寺百七十四番地
一存立ノ時期 昭和九十年十一月八日迄設立ノ日ヨリ滿八十箇年
●文化自動車株式會社變更
一監査役大脇庖雄ハ任期滿了ノ處昭和十二年五月十七日重任ス
右昭和十二年五月二十五日登記
●伊布夜合名會社變更
一社員石原藤七ハ昭和十二年五月十五日死亡シ左記ノ者家督相續ニ依リ入社ス
石原芳大 八東郡揖屋町四百七十二番地
右昭和十二年五月二十七日登記

●株式會社安田銀行變更(支店)
一昭和十二年五月二十三日東京市京橋區銀座一丁目四番地六ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 東京市京橋區銀座一丁目四番地三
一同日京都府加佐郡新舞鶴町字濱二百三十五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス
支店 京都府加佐郡新舞鶴町字濱九百八十一番地
右昭和十二年五月二十八日登記
●松江片倉製絲株式會社變更
一取締役全員任期滿了ノ處昭和十二年五月十五日各重任ス
右昭和十二年五月二十九日登記 松江區裁判所
●合資會社耕山製絲場解散
一昭和十二年五月三十日總社員ノ同意ニ依リ解散ス
●耕山製絲株式會社變更
一昭和十二年五月二十日臨時株主總會ノ決議ニ依リ資本總額金十五万圓トアルヲ左ノ通リ變更ス
資本總額 金二万五千圓
一同日一株ニ付拂込タル株金額金二十五圓トアルヲ左ノ通リ變更ス
一株ニ付拂込タル株金額 金五十圓
右昭和十二年六月二日登記 大洲區裁判所
●株式會社五十二銀行變更(支店)
西宇和郡三瓶町一番耕地二十一番地第一ノ支店ヲ昭和十二年五月三十一日西宇和郡三瓶町大字朝立一番耕地五百四十八番地第六ニ移轉ス
昭和十二年六月四日登記 八幡濱區裁判所
●株式會社五十二銀行變更(支店)
一昭和十二年五月三十一日西宇和郡三瓶町一番耕地二十一番地第一ノ支店ヲ同町大字朝立一番耕地五百四十八番地第六ヘ移轉シタリ
右昭和十二年六月四日登記 八幡濱區裁判所三瓶出張所
●四國中央電力株式會社變更
一各株拂込額ヲ金五十圓ト變更ス
昭和十二年六月三日登記 西條區裁判所泉川出張所
●三島運送合名會社解散
昭和十二年五月二十九日總社員ノ同意ニヨリ解散ス
昭和十二年六月三日登記
●株式會社五十二銀行變更(支店)
昭和十二年五月三十一日西宇和郡三瓶町一番耕地二十一番地第一ノ支店ヲ同町大字朝立一番耕地五百四十八番地第六ヘ移轉ス
昭和十二年六月四日登記 西條區裁判所三島出張所

●株式會社五十二銀行支店移轉
昭和十二年五月三十一日西宇和郡三瓶町一番耕地二十一番地第一ノ支店ヲ左記ノ所ヘ移轉ス
西宇和郡三瓶町大字朝立一番耕地五百四十八番地第六
昭和十二年六月四日登記 西條區裁判所丹原出張所
●三菱鑛業株式會社變更(支店)
會社代表取締役村上伸雄山下元美ハ昭和十二年五月二十七日重任ス同日左ノ者取締役ニ就任ス
松田貞治郎 東京市麻布區本村町二百二十五番地
小村千太郎 同市世田谷區三宿町百七十一番地ノ四十一
富田治轉 同市中野區高根町四番地
●合資會社濱田醬油釀造元(解散)
昭和十二年五月三十一日解散ス
右昭和十二年六月二日登記
●日本郵船株式會社變更(支店)
監査役東久世秀雄ハ昭和十二年五月二十九日重任ス
右昭和十二年六月三日登記 長崎區裁判所
●株式會社崎戸海運社解散
一株主總會ノ決議ニ因リ昭和十二年五月二十五日解散ス
昭和十二年六月四日登記 長崎區裁判所瀬戸出張所
●佐世保鐵道株式會社清算結了
一昭和十二年五月二十五日清算結了ス
昭和十二年六月三日登記
●三菱商事株式會社支店移轉(支店)
一昭和十二年五月三十日佐世保市松浦町十七番地ノ一ノ支店ヲ佐世保市元町四十三番地ニ移轉ス
昭和十二年六月四日登記
●佐世保合同自動車株式會社本店移轉及變更
一昭和十二年五月三十日本店ヲ佐世保市梁町十一番地ニ移轉ス
一監査役越野三郎ハ昭和十二年五月三十日辭任ス
昭和十二年六月四日登記 佐世保區裁判所
●合資會社設立
一商號 合資會社資生堂飯塚販賣所
一本店 飯塚市飯塚千二百二十番地
一目的 株式會社資生堂ノ製造スル石鹸齒磨及其ノ取扱商品ノ販賣並ニ之ニ關スル附帶ノ業務
一設立年月日 昭和十二年四月二十八日
一代表社員ノ氏名 廣井恒吉

一社員ノ氏名住所出資及責任
金一千二百圓 無限 廣井恒吉 飯塚市飯塚千二百二十番地
金九百圓 有限 廣井國太郎 同所同番地
金三百圓 同 廣井シズ 同所同番地
金三百圓 同 廣井キヨ子 同所同番地
金三百圓 同 資生堂北九州販賣株式會社 門司市門司三千百二番地
一存立時期 定款作成ノ日ヨリ二十箇年
一解散ノ事由 株式會社資生堂北九州販賣株式會社トノ取引契約ノ解除ニヨリ解散ス
昭和十二年五月十日登記
●飯塚住宅株式會社
一取締役堀專右エ門櫻井英夫會社ヲ代表スヘキ取締役麻生茂ハ昭和十二年五月十五日重任ス
昭和十二年五月二十日登記 飯塚區裁判所
●甘木自動車株式會社變更
監査役缺員中ノ處昭和十二年五月二十二日左ノ者各監査役ニ就任シタリ
三笠半次郎 朝倉郡蜷城村德淵八百三十番地ノ一
武井甚作 同郡安川村楠原四百六十七番地
昭和十二年六月三日登記
●朝倉肥料株式會社變更
取締役中村良吉ハ昭和十二年五月二十日退任ス
昭和十二年六月三日登記
●朝倉肥料株式會社變更
昭和十二年五月二十三日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
本店 朝倉郡三奈木村大字三奈木二千八百一番地ノ二
昭和十二年六月四日登記 甘木區裁判所
●合資會社吉井デパート解散
一總社員ノ同意ニ因リ昭和十二年五月三十日解散ス
昭和十二年六月三日登記 吉井區裁判所
●櫻庭酒造株式會社變更
一取締役櫻庭光平櫻庭敏夫櫻庭昌吉ハ昭和十二年五月三十一日重任ス
昭和十二年六月四日登記 柳河區裁判所瀬高出張所
●東洋陶器株式會社變更
一各株拂込額ヲ金三十七圓五十錢ト變更ス
●小倉築港株式會社變更
一各株拂込額ヲ金四十圓ト變更ス
昭和十二年六月四日登記 小倉區裁判所

◎不在者財産管理人選任

本籍名古屋市東區手代町一丁目五番地
最後ノ住所名古屋市東區手代町一丁目五番地平民無職
不在者　日下部元治
名古屋市東區南外堀町百七十七番戸ニ於テ明治十八年十一月八日出生
昭和八年十二月十八日ヨリ不在
名古屋市東區手代町一丁目五番地　日下部やゑ
當裁判所ハ利害關係人東京市豐島區巣鴨町五ノ一〇〇五寺町桃五郎ノ申請ニ因リ前記日下部やゑヲ不在者日下部元治ノ不在者財産管理人ニ選任シタリ
昭和十二年九月二十四日　名古屋區裁判所

◎失踪ニ關スル屆出ノ催告

本籍及最後ノ住所京都府何鹿郡綾部町字味方九十一番戸
不在者　井田英夫
明治三十五年十一月一日生
右不在者ニ對シ利害關係人井田德藏ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年五月三日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ノ宣告ヲ爲スヘシ尚不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月十七日　福知山區裁判所

本籍及最後ノ住所名古屋市南區熱田尾頭町九十九番戸
不在者　安藤鐵次郎
元治元年十一月三日生
右者ニ對シ利害關係人安藤鶴吉ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月二十六日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月二十二日　名古屋區裁判所

本籍及最後ノ住所愛知縣東加茂郡賀茂村大字葛澤字上本郷十二番十五番同地
不在者　後藤東一
明治四十二年三月二十日生
右不在者ニ對シ利害關係人後藤初次郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月七日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月二十四日　岡崎區裁判所

本籍下關市大字大坪七百一番地
最後ノ住所下關市大字竹崎町三百五十八番地
不在者　吉井慶助
明治三十八年九月三日生
右不在者ニ對シ利害關係人吉井リヨヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月六日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月二十一日　下關區裁判所

本籍及最後ノ住所福岡縣三井郡味坂村大字赤川二百九十七番地ノ一
不在者　白水スヱノ
明治五年五月二十三日生
右ニ對シ利害關係人白水福次郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十三年四月四日午前九時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和十二年九月二十四日　久留米區裁判所

◎行旅死亡人

本籍住所氏名不詳女推定二十四年位體中肉身長四尺九寸位顏圓頭髮束髮肩邊迄ノ著衣黑綾縞單衣白木綿襦袢衲老茶色ノ伊達卷白名古屋帶
右去月五日區内北寗梁通地先大阪港内第二區ニテ溺死セルヲ發見死後ノ經過十七時間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男推定三十二、三年位體格瘠顏丸身長五尺二寸位頭髮七三分ケ著衣波狀縱縞浴衣紋入絹灰色ノ帶
右本月三日交通事故ニテ區内北境川町伊藤病院ニ收容加療中同日死亡寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所不詳氏名千阪紫松三十九年體中肉身長五尺位頭髮五分刈顏圓著衣クレープシヤツ所持品小型行李一見巡禮風
右本月四日南安治川通二丁目五番地先築港商船所有汽船扇山丸ニ於テ病死ス寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳男推定五十五年位體中肉顏圓身長五尺三寸位頭髮五分刈著衣黑地橫縞絹單衣人絹絞兵兒帶茶色鳳蓋口在中九十四錢銀色懷中時計
右本月八日區内八幡屋町一丁目地先八幡屋運河ニ於テ溺死セルヲ發見死後ノ經過十二時間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所氏名不詳女推定六十五年位體中肉顏圓身長五尺位頭髮束髮著衣單衣飛白單衣夏帶幅草入扇所持ス
右本月九日午後十時頃北港海通天保山渡地先ニ於テ溺死セルヲ發見死後ノ經過九時間位寫眞撮影ノ上火葬執行ス心當リノ者ハ申出テラレタシ
昭和十二年九月　大阪市港區役所

本籍住所身分不詳推定三十五六歲男子身長五尺四寸位肉附良肥四角顏髭濃ク頭髮長ク剛シ胸毛アリ右足ノ中指短シ白カラーヲ取附ケタル白木綿ワイシヤツ木綿白縮シヤツ木綿メリヤス茶色ノ猿股荒縞人絹ネクタイ上衣黑セル紺色ポーラーズボン黑短靴（奉天市場製マーク入）木綿鼠色靴下著用所持品クローム角型腕時計一箇パイロツト萬年筆一葉書四枚内一枚ニ「村民ト許し下さい」ト記シアリ在鄉軍人證一長岡映畫電氣館ノ案內書一枚會社職工風
右本月三十日午前九時木村大麻生堰久保島川水堰ニ漂著シタリ心當リノ者ハ木村役場ニ申出テラレタシ
昭和十二年九月三十日　埼玉縣大里郡大麻生村役場

本籍住所氏名不詳推定五十五年位女人相丈五尺位體形頭髮ハイカラ色白キ方鼻隆ク其他並著衣藍色格子模樣夏衣茶伊達卷霜降模樣夏帶白木綿腰卷茶鼻緒付駒下駄ヲ穿ツ黑蟇口一箇五十錢銀貨三箇五錢白銅三箇一錢銅貨一箇
右本月十八日當町本行德一八三番地先江戸川ニ漂著假埋葬ニ付ス心當リノ者ハ當役場ニ申出テラルヘシ
昭和十二年八月十八日　千葉縣東葛飾郡行德町役場

本籍住所氏名不詳推定年齡六十五年位ノ巡禮風ノ男子身長五尺二寸位色黑キ方中肉菜蓑菅頭陀袋一帶ニ長ク密生シ木綿白格子縞單衣一枚白圖兵兒帶ヲ著シ網草入頭陀袋團扇太鼓各一箇鍵木一新撥帶ス
右本月十三日本村役場前道路上ニ於テ死亡シタルニ因リ假埋葬ニ付シタリ心當リノ者ハ當役場ニ申出テラレタシ
昭和十二年九月二十日　千葉縣君津郡巖根村役場

本籍住所氏名年齡身分職業不詳男一人但シ推定年齡四十歲前後人相丈五尺一寸五分位中肉其他腐敗ノタメ不詳著衣木綿綿縮筒袖單衣人絹黑兵兒帶晒半袖肌著白メリヤス猿股木綿手拭各一但シ手拭中央ニ徑一寸五分位「南」ト又右端ニ「若」左端ニ「陸」何左端ニ櫻花形内ニ「南善町會」ト染拔アリ
右本年八月二十五日午前九時當地々先利根川岸ニ漂著ス死後約二十日ヲ經過シアリ上流ニ於テ誤ツテ溺死セルモノト認ム全身ニ創傷ト認ムヘキモノナク他殺ノ疑ナシ假埋葬ス心當リノ者ハ申出ツヘシ
昭和十二年十月　茨城縣北相馬郡布川町役場

正誤

去月二十二日本欄商業登記ノ項中東京區裁判所ノ部六一七頁三段終ヨリ二行池田種吉ハ池田種生、同日廣告ニ別刷商業登記ノ項中東京區裁判所ノ部二九頁四段二十四行大撝博ハ大島博ノ孰モ誤植

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

	通常 普通 月日時	通常 書留 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
●香港、フィリピン群島、濠洲、新西蘭等行	—	—	一〇、一〇後三	横濱	北野丸
●南支那、香港、フィリピン群島、海峽殖民地、英領印度等行	一〇、一二前九	一〇、一二前八半	—	門司	せれべす丸
●海峽殖民地、英領印度等行	同一三前九	同一三前八半	一〇、一〇後三	同	はんぶるぐ丸
●米國、加奈陀、南米等行	同一三後零〇	同一三前一一、四〇	同一三前一〇、一五	横濱	山陽丸
●蘭領東印度行	同一三後六半	同一三後九	同一三後四	神戸	ジレボエト號
●布哇、米國、加奈陀、南米等行	同一四後零〇	同一四前一一、五〇	同一四前一〇、一五	横濱	龍田丸

（備考）はんぶるぐ丸ノ小包ハ神戸局送トス

資本金　壹千萬圓
諸積立金　參百七拾七萬圓
火災、海上、運送各保險
代理店　內外國三千餘
千代田火災保險株式會社
東京市京橋區京橋二丁目二番地
電話京橋(56)五五一三四番・五五一三五番・五五一三六番
取締役社長　門野幾之進
取締役　角利一
取締役伯爵　樺山愛輔
取締役男爵　岩倉道俱
取締役　松原重榮
監査役　赤星鐵馬
取締役男爵　益田太郎
取締役　成瀨正行
監査役　福澤大四郎
取締役　近藤內
監査役　山名次郎
▲支店▼
大阪　東區今橋二ノ一九（電話北濱五九五〇番）
京都　中京區烏丸通六角下ル（電話本局七七八番）
横濱　中區辨天通六ノ八一（電話本局一三三一番）
神戸　神戸區榮町通二ノ四〇（電話三宮一七六九番）
名古屋　中區南大津町一ノ一〇（電話中五〇二番）
仙臺　大町二ノ一四八（電話七九八番）
福岡　天神町二（電話一三三五番）
札幌　大通西六ノ一〇（電話一三五二番）
京城　南大門通二ノ一〇（電話一三二九番）

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

事變美談 輝く大和魂

時局に對處すべき 國民必讀の書！

今や我が忠勇なる將兵は全支にわたり幾多の難關を突破しつゝ堂々正義の陣を進め、皇軍の偉力を遺憾なく中外に宣揚しつゝある、その赫々たる武勳は眞に、壯烈鬼神を泣かしむるものあり、世界戰史の上に不滅の光彩を投げて居る。而してこれと共に國を擧げて澎湃として湧き起つた銃後の熱誠譜！

本書は陸海軍外務各省及び內閣情報部より提供せられたる最も正確なる資料と各社從軍記者血塗ろの現地報告書を基として編錄せられた今次支那事變に於ける前線銃後忠勇美談の集大成である。

全篇に躍動する愛國の至誠を見よ、或は屍山血河に肉彈相搏つ壯絕無比の血鬪、或は愛機肉彈一體の勇猛果敢な空中戰、或は非常時局を彩る感激の銃後赤誠それ等の實感が胸迫るまで生々しく滲み出て居る。

擧國一致國民精神總動員の秋、本書こそ正に至高至上の敎化資料である。

四六判　約三百頁　寫眞十ページ挿入

定價二十錢（送料三錢）

★唯一の今事變記錄★

東京・明治神宮表參道・振替東京七一七八二

中央敎化團體聯合會

本邦唯一の大法典（第三十版完成）御申込順により送本す

創刊明治二十二年

加除自在 現行法規綜合書

【內容見本進呈】

體裁　四六判加除式クロース金文字入　六號活字二段組●全貳拾壹冊　總頁數約三萬五千頁

特典　官廳、町村役場、學校等の申込に限り原本二十一冊を提供ず　加除追錄一ヶ月**金貳圓貳拾錢**

▲本書は明治元年より現今に至る我國現行の法令を悉く網羅せる外、官報彙報欄登載の協約其の他主要文書、官廳より發せられたる通牒、質疑囘答に至るまで特に輯めて遺漏なきを期し附錄罫形の圖面まで揭げ無慮三萬五千餘頁の大册である。

▲裝幀は加除式なるが故に爾後の改廢は每月發行する加除追錄によりて補正するを以て常時現行の法令書として活用し、理想的且つ經濟的にして實に本邦唯一完璧の大寶典である。

▲本社は今囘第三十版完成を期に各官廳に普及するの目的を以て前記の如く原本二十一冊を提供し每月發行の加除追錄を購入すれば事足れり、此際至急御申込相成たし。

發行所　名古屋市西區傳馬町三丁目　電話本局②二六六二番二六六三番

現行法規出版社

定價　一ヶ月九十五錢　一圓八十錢（外國郵便ニ八錢）各送料共
第四種郵便物認可　本公報ハ八ポイント一段組ニシテ一行三十字詰一頁十行ニシテ一行十四字詰ニ付九ポイント五錢增
發行所　東京市麹町區大手町　內閣印刷局　電話丸ノ內(二)一九〇〇番　振替東京二一九〇〇番

（本書ノ大サハ國定規格A4判）

官報

昭和十二年十月十一日 月曜日
第三千二百三十三號

目次抄録

●勅令 鑛業法改正調査委員會官制 二八九
電氣計器ノ公差、檢定及檢定手數料ニ關スル件中改正 二八九
●省令 臨時輸出入許可規則 二八九
鐵鋼工作物築造許可規則 二九三
ステープルファイバー等混用規則 二九三
電氣計器檢定規則改正 二九四
公共團體及公益法人ノ試驗スル電氣計器ニ關スル件改正 三〇〇
大正五年遞信省令第二號中改正 三〇一
●告示 內地移入鑛移入場追加指定 三〇一
陸軍工科學校生徒召募 三〇一
兵庫縣立尼崎工業學校設置 三〇一
耕地整理法ニ依リ地域指定其他 三〇一
神戶海運小賣商業組合地區內小賣業者ハ設組合ノ統制ニ從フノ件其他 三〇二
鋼鐵其他價引證實其他 三〇四
●敍任及辭令 定例敍勳其他 三〇五
●廣告 生徒募集（鐵道省）其他 三一二

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

勅令

朕鑛業法改正調査委員會官制ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十二年十月九日

内閣總理大臣 公爵 近衞　文麿
商工大臣　吉野　信次

勅令第五百八十六號

鑛業法改正調査委員會官制

第一條　鑛業法改正調査委員會ハ商工大臣ノ監督ニ屬シ共ノ諮問ニ應ジテ鑛業法改正ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條　委員會ハ會長一人及委員二十五人以內ヲ以テ之ヲ組織ス

前項定員ノ外必要アル場合ニ於テハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條　會長ハ商工大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ商工大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ內閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條　會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ商工大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條　委員會ニ幹事ヲ置ク商工大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條　委員會ニ書記ヲ置ク商工大臣之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治四十四年勅令第二百九十六號電氣計器ノ公差、檢定及檢定手數料ニ關スル件中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

昭和十二年十月九日

内閣總理大臣 公爵 近衞　文麿
遞信大臣　永井柳太郎

勅令第五百八十七號

明治四十四年勅令第二百九十六號中左ノ通改正ス

第二條第一項第一號中「公差」ノ下ニ「ノ四分ノ三」ヲ加フ

第四條　檢定ニ合格シタル電氣計器ニハ封印ヲ施シ檢定票ヲ附ス

第四條ノ二ヲ削ル

第五條　檢定ノ有效期間ハ檢定ニ合格シタル日ヨリ始マリ共ノ日ノ屬スル月ノ翌月一日ヨリ起算シ五年ヲ以テ滿了ス

第六條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二　公差ヲ超ユルニ至リタルトキ

三　第二條第一項第三號ニ該當セサルニ至リタルトキ

第七條第一項第一號乙號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

丙　計器用變壓器　一件ニ付　金百圓

丁　計器用變流器　一件ニ付　金百圓

同條同項第二號乙號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

丙　計器用變壓器　一件ニ付　金三十圓

丁　計器用變流器　一件ニ付　金三十圓

同條同項第五號中「主務大臣ノ定ムル誤差ノ檢定ニ關スル規定又ハ始動電流ニ關スル規定ニ適合セサル爲」ヲ「檢定ニ」ニ改ム

同條第三項中「第一項」ヲ「前項」ニ改メ同條第二項ヲ削ル

附　則

本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）

明治四十四年勅令第二百九十六號抄 十二月二十八日公布

第二條第一項　檢定ヲ行ヒタル電氣計器左ノ各號ニ該當スルトキハ之ヲ合格トス

一　公差ヲ超エサルモノ

第四條　檢定ニ合格シタル電氣計器ニハ封印ヲ爲シ共ノ檢定申請者ニ檢定合格證書ヲ交付ス

第四條ノ二　檢定ノ申請ト同時ニ申請アルトキハ主務大臣ハ檢定ニ合格シタル電氣計器ノ端子函又ハ之ニ相當スル箇所ニ假封印ヲ爲ス

前項ノ假封印ハ之カ解除ヲ申請スルコトヲ得

第五條　檢定ノ有效期間ハ假封印ヲ爲サザルモノ又ハ假封印ヲ除却シ若ハ破損シタルモノニ在リテハ檢定合格證書ノ日附ヨリ、申請ニ因リ主務大臣ニ於テ假封印ヲ解除シタルモノニ在リテハ解除ノ日ヨリ五年トス

第六條　電氣計器左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ檢定ハ共ノ效力ヲ失フ

二　第二條第一號又ハ第三號ニ該當セサルニ至リタルトキ

第七條　電氣計器ノ型式承認又ハ檢定ノ申請者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スヘシ

一　型式承認ノ申請ヲ爲ストキ

（左記略ス）

二　承認シタル型式ノ主要部分ニ非サル部分ヲ變更シテ更ニ型式承認ノ申請ヲ爲ストキ

（左記略ス）

五　承認シタル型式ニ適合スル積算電氣計器ニシテ主務大臣ノ定ムル誤差ノ檢定ニ關スル規定又ハ始動電流ニ關スル規定ニ適合セサル爲不合格ト爲リタルモノヲ修繕又ハ調整シタル後更ニ檢定ノ申請ヲ爲ストキ

（左記略ス）

電氣計器ノ檢定ノ有效期間內ニ於テ再封印又ハ假封印解除ノ申請ヲ爲ス者ハ前項第五號ノ額ノ手數料ヲ納付スヘシ

第一項ニ掲ケサル型式承認及檢定ノ申請手數料ハ第一項ノ規定ニ準シ主務大臣之ヲ定ム

省令

◉商工省令第二十三號

昭和十二年法律第九十二號第一條ノ規定ニ依リ臨時輸出入許可規則左ノ通定ム

昭和十二年十月十一日

商工大臣　吉野　信次
農林大臣 伯爵 有馬　賴寧

臨時輸出入許可規則

第一條　關税定率法別表輸入税表ニ揭グル物品ニシテ本則ノ別表甲號ニ揭グルモノハ郵便物又ハ原價百圓ヲ超エザルモノヲ除クノ外商工大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ但シ昭和十一年勅令第四百七十四號第一條ノ適用アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　關税定率法別表輸入税表ニ揭グル物品ニシテ本則ノ別表乙號ニ揭グルモノハ商工大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ

第三條　前二條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ノ輸入ニ付テハ之ヲ適用セズ

一　御料品
二　本邦ニ來遊スル外國ノ元首及其ノ一族竝ニ其ノ從者ニ屬スル物品
三　本邦ニ派遣セラレタル外國ノ大使、公使其ノ他之ニ準ズベキ使節、大使館若ハ公使館ノ館員又ハ領事ニ屬スル自用品及在本邦外國大使館、公使館又ハ領事館ニ屬スル公用品
四　官廳ノ輸入ニ係ル物品
五　本邦ヨリ輸出シタル物品ニシテ返送セラレタルモノ
六　手術物又ハ引越荷物
七　修繕ノ爲輸入スル物品
八　見本若ハ寄附品トシテ又ハ博覽會ニ出品スル爲輸入スル物品
九　本則ノ別表乙號ニ揭グル物品ニシテ販賣以外ノ目的ヲ以テ輸入シ且其ノ原價五十圓ヲ超エザルモノ

第四條　關税定率法別表輸入税表ニ揭グル物品ニシテ本則ノ別表丙號ニ揭グルモノハ郵便物又ハ原價百圓ヲ超エザルモノヲ除クノ外商工大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ

第五條　第一條又ハ第二條ノ許可ヲ受ケタル者ハ商工大臣ノ指定スル期間内ニ其ノ物品ヲ輸入スベシ

商工大臣ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限リ前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトアルベシ

第一條又ハ第二條ノ許可ヲ受ケタル者前二項ノ期間内ニ其ノ物品ヲ輸入セザルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第六條　第一條又ハ第二條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸入許可申請書正副二通ヲ商工大臣ニ提出スベシ

一　品名
二　數量及豫想價額（種類別ニ記載スベシ）
三　產出地又ハ製造地
四　積出港
五　輸入港
六　輸入時期

前項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケントスル者他人ヨリ委託ヲ受ケ輸入セントスルモノナルトキハ輸入許可申請書ニ前項各號ニ揭グル事項ノ外委託者ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所ヲ記載シ且委託アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第七條　第四條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書正副二通及注文アリタルコトヲ證スル書面ヲ商工大臣ニ提出スベシ

一　品名
二　數量及價額（種類別ニ記載スベシ）
三　賣渡先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所
四　仕向地
五　仕向港
六　輸出港
七　輸出時期

第八條　第一條又ハ第二條ノ許可ヲ受ケタル者第六條第一項第四號乃至第六號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ商工大臣ニ屆出ヅベシ第四條ノ許可ヲ受ケタル者前條第五號乃至第七號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第九條　第一條又ハ第二條ノ許可ヲ受ケタル者他人ヨリ委託ヲ受ケ輸入セントスルモノナル場合ニ於テ其ノ委託契約消滅シ又ハ委託數量減少シタルトキハ委託者ト連署ノ上七日以内ニ之ヲ商工大臣ニ屆出ヅベシ

第十條　第一條、第二條又ハ第四條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ物品ノ輸入又ハ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ商工大臣ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ當該稅關ニ提出スベシ

第十一條　第一條、第二條又ハ第四條ノ許可ヲ受ケタル者輸入又ハ輸出ヲ爲シタルトキハ七日以内ニ左ニ揭グル事項ヲ商工大臣ニ屆出ヅベシ

一　輸入又ハ輸出ノ許可ヲ受ケタル物品ノ品名及數量竝ニ許可ノ年月日
二　輸入又ハ輸出ヲ爲シタル物品ノ品名、數量及價額
三　輸入ヲ爲シタル物品ノ產出地又ハ製造地及積出港
四　輸入港又ハ輸出港
五　輸入又ハ輸出ノ年月日

附　則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ本邦ニ向ケ輸送ノ途ニ在ル物品ニ付テハ本則ヲ適用セズ

（別表）

甲號

輸入稅表番號	品名
二七一	實綿及繰綿（カード又ハコームシタルモノヲ含ム）
二八二	羊毛、山羊毛及駱駝毛
六二二	木材

乙號

輸入稅表番號	品名
一	植物、枝幹、莖及根（栽植用又ハ接木用ノモノ）
一一	別號ニ揭ゲザル動物
一四	パールバーレー
一五	麥芽
二二	澱粉及澱粉類
	二　オートミール
	三　コーンミール
	五　コーンスターチ
三一	蔬菜、果實及種子
三一ノ二	椰子
三二	茶
三三	マーテ其ノ他ノ茶代用物
三五	チコリー其ノ他ノ咖啡代用物
三七	胡椒（種子ヲ除ク）
三八	カリー
三九	マスタード
四一	氷砂糖、角砂糖、棒砂糖其ノ他類似ノモノ
四二	糖蜜
四三	葡萄糖、麥芽糖及飴
四四	蜂蜜
四五	菓子
四六	ジャム、フルートゼリー類
四七	ビスケット（砂糖ヲ加ヘザルモノ）
四八	マカロニー、ヴァーミセリー其ノ他各種ノ麪類
四九	果汁及糖水
五〇	ソース
五一	食酢
五二	鳥獸肉類（一甲、一丙及二ヲ除ク）
五五	コンデンスドミルク
五七	肉越幾斯
五八	ペプトン、ソマトーゼ、ヘモグロビン其ノ他類似ノ滋養食料
五九	鳥卵（生鮮ナルモノ）
五九ノ二	鳥卵液及鳥卵粉
六〇	礦水、曹達水其ノ他砂糖又ハ酒精ヲ含マザル諸飲料
六二	支那酒（釀造シタルモノ）
六三	麥酒
六七	別號ニ揭ゲザル飲食物
六九	毛皮（犬毛皮、猫毛皮、兎毛皮、緬羊皮及山羊皮ヲ除ク）
七〇	毛皮製品（別號ニ揭ゲザルモノ）
七一	皮類（別號ニ揭ゲザルモノ）（牛皮、水牛皮、馬皮及豚皮ヲ除ク）
七二	革類（一及六ヲ除ク）
七三	革製品（別號ニ揭ゲザルモノ）
	二　帽子用裏革（模造革ヲ含ム）
	三　其ノ他
七五	羽毛
七六	羽毛皮
七七	羽毛製品及羽毛皮製品（別號ニ揭ゲザルモノ）
七八	クイル、ブリッスル及ホーンブリッスル
八一	獸牙製品（別號ニ揭ゲザルモノ）
八四ノ二	ガット（テニスラケット用ノモノ）
八八	鼈甲製品（別號ニ揭ゲザルモノ）
八九	珊瑚
九〇	珊瑚製品（別號ニ揭ゲザルモノ）
九四ノ內	化學試驗用ハイドパウダー以外ノ皮毛骨角齒牙甲殼類製品（別號ニ揭ゲザルモノ）
一〇〇	落花生油
一〇六	肝油
一〇九	コムパウンドラード
一一〇	ステアリン
一一一	オレイン
一一五	漆蠟及樹蠟
一一六	蠟燭
一一七	石鹼
一一八	麝香ヲ付シタル油、脂、蠟及其ノ製品
一一九	香水
一四七	魚膠
一五四	醋酸
一五五	乳酸
一五六	蓚酸
一五七	酒石酸
一六六	重炭酸曹達
一六七	過酸化曹達
一七一	硅酸曹達
一七二	クロール酸曹達
一七八	ヨード曹達
一八一	鹽化バリウム
一八一ノ二	過酸化バリウム
一八一ノ三	過酸化水素
一八二	明礬
一八三	フェロ靑化曹達
一八四	フェリ靑化曹達
一九〇	炭酸アムモニウム及重炭酸アムモニウム
二〇〇	ロンガリット、ブランキット、デクロリン其ノ他類似ノ還元劑
二〇一	デキストリン
二一八	ベーキングパウダー
二一九	酒精類
	一　フルートエッセンス、リキュールエッセンス其ノ他類似ノモノ
二二〇	人造麝香
二二〇ノ二	イオノン
二二一	ヴァニリン、クマリン、ヘリオトロピン其ノ他別號ニ揭ゲザル類似ノ薰香性化學藥
二二二	齒磨粉、齒洗藥、化粧粉其ノ他別號ニ揭ゲザル調劑薰香類
二二三	線香
二三〇ノ內	チューインガム及其ノ類似品
二三四	煙火
二三五	燐寸
二三六	天然藍
二四一	燒糖
二四二	人造藍
二四七	ブラッシアンブリュー
二五〇	亞鉛白（酸化亞鉛及硫化亞鉛）
二五〇ノ二	硫酸バリウム
二五〇ノ三	リトポン
二五一	白墨及ホワイチング
二六〇	靴墨
二六一	鉛筆
二六二	インキ（印刷用ノモノヲ除ク）
二六三	墨及朱墨
二六四ノ內	毛筆
二六八	封蠟
二七二	綿織絲（別號ニ揭ゲタル特殊綿織絲ヲ除ク）
二七六	亞麻絲及英式番手七番ヲ超エタル單撚絲ヲ撚合セタルモノニシテ長十メートルノ重量十二グラムヲ超エザル亞麻線
二七七	苧麻纖絲及ラミー纖絲
二七八	苧麻絲、ラミー絲及英式番手七番ヲ超エタル單撚絲ヲ撚合セタルモノニシテ長十メートルノ重量十二グラムヲ超エザル苧麻線及ラミー線
二七九	大麻纖絲
二八〇	黄麻纖絲
二八一	大麻絲、黄麻絲及英式番手七番ヲ超エタル單撚絲ヲ撚合セタルモノニシテ長十メートルノ重量十二グラムヲ超エザル大麻線及黄麻線
二八七	生絲（撚リタルモノヲ含ム）（野蠶絲ヲ除ク）
二八八	紡績絹絲
二八九	絹絲
二九〇	人造絹（アセチルセルローズ製ノモノヲ除ク）
二九一	別號ニ揭ゲザル纖絲
	一　絹入、人造絹入又ハ金屬入ノモノ
二九九	亞麻、苧麻、ラミー、大麻又ハ黄麻ノ織物、其ノ交織物及此等ノ纖維ト綿トノ交織物（四甲ヲ除ク）
三〇〇	鳳梨、葛、マニラヘムプ、アゲーヴ其ノ他ノ植物纖維（綿、亞麻、苧麻、ラミー、大麻及黄麻ヲ除ク）ノ織物及其ノ交織物
三〇一	毛織物、毛綿交織物及毛又ハ毛綿ト絹トノ交織物（二乙ロヲ除ク）
三〇二	馬毛布（其ノ纖維ヲ交ヘタルモノヲ含ム）
三〇三	絹織物及別號ニ揭ゲザル絹入ノ織物（人造絹織物及人造絹入ノ織物ヲ除ク）
三〇四	別號ニ揭ゲザル交織布
三〇五	メリヤス地其ノ他類似ノ編ミタル布帛（起毛シタルト否トヲ別タズ）
三〇六	レース地及網地
三〇七	フェルト地
三〇八	刺繡布
三〇九	ブックバインダースクロース
三一二	ウィンドーホルランド
三一三	エムパイアクロース
三一四	革布
三一五	牀用油布及リノリユーム
三一六	ルーフィングカンヴァス
三一七	タードカンヴァス
三一九	防水布（護謨ヲ塗リ又ハ挿入シタルモノ）
三二〇	護謨入布及護謨紐類
三二一	インシュレーチングテープ（布帛ヲ用ヒタルモノ）
三二二	ラムプ心
三二四	手巾（單製ノモノ）
三二五	浴巾（單製ノモノ）
三二六	ブランケット（單製ノモノ）
三二七	旅氈（單製ノモノ）
三二八	地氈（單製連製ヲ別タズ）
三二九	テーブルクロース（單製ノモノ）
三三〇	窓掛
三三一	トリムミング
三三二	蚊帳
三三三	ハムモック
三三四	漁網及獵網
三三五	エーアクッション
三三六	ベッドクィルト及クッション
三四二	別號ニ揭ゲザル布帛
三四三	別號ニ揭ゲザル布帛製品
三四四	雨衣
三四五	シャーツ、フロント、カラー及カフス
三四六	肌衣（上下ヲ別タズ）
三四七	手袋
三四八	足袋
三四九	肩掛及襟卷
三五〇	襟飾
三五一	袴釣
三五二	衣服用ベルト
三五三	スリーヴサスペンダー及ストッキングサスペンダー類
三五五	靴其ノ他ノ履物
三五六	靴紐
三五七	鈕釦（貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノヲ除ク）

三五八　バックル、フック及アイ類（貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノヲ除ク）
三五九　身邊粧飾用細貨類
三六〇　別號ニ掲ゲザル衣類、同附屬品及其ノ部分品
三六五　ブロッチングペーパー
三六七ノ内　燐寸用紙
三六九　壁紙
三七〇　板紙（印刷紙型用ノモノヲ除ク）
三七一　唐紙（各種）
三七六　油紙
三七七　窓硝子用グラスペーパー
三七八　別號ニ掲ゲザル紙
三七九　ペーパーレース及ペーパーボーダー
三八〇　白紙帳簿
三八二　書狀用紙（箱入ノモノ）
三八三　封筒
三八四　アルバム
三八六ノ内　鷄卵紙及感光紙
三八八ノ二　ウォールボード
三八九　レーベル
三九〇　骨牌
三九三　カードカレンダー及ブロックカレンダー
三九四　繪葉書
三九五　クリスマスカード類
四〇一　別號ニ掲ゲザル紙製品及パルプ製品
四〇二　シリカサンド、クォルツサンド其ノ他別號ニ掲ゲザル砂及礫
　一　著色シタルモノ
四〇九　スレート及別號ニ掲ゲザルスレート製品
四一四　石及石製品（別號ニ掲ゲザルモノ）
四一五　琥珀及琥珀製品（別號ニ掲ゲザルモノ）
四一七　メーアシャウム、人造メーアシャウム及同製品
四二四　石膏製品
四三二　ポートランドセメント、ローマンセメント、プゾラナセメント其ノ他類似ノ水硬セメント
四三三　セメント製品
四三六　煉瓦（セメント製ノモノヲ除ク）（耐火煉瓦ヲ除ク）
四三七　瓦（粘土製ノモノ）
四三七ノ二　アランダムタイル其ノ他類似ノモノ
四三九　別號ニ掲ゲザル陶磁器（電氣用ノモノ及二乙ノ内素燒ノモノヲ除ク）
四四四　硝子板（無色平面ノモノニシテ厚一・五ミリメートルヲ超エザルモノヲ除ク）
四四五　金屬ノ線又ハ網ヲ入レタル硝子板
四五二　寫眞用乾板
　一　現象セザルモノ（撮影シタルモノヲ除ク）
四五三　眼鏡
　一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、象牙又ハ鼈甲ノ縁又ハ柄ヲ有スルモノ
四五四　硝子鏡
四五七　別號ニ掲ゲザル硝子製品（二甲、二乙イ及安全硝子板ヲ除ク）
四七五　鍍金銀シタル金屬
四八四ノ二　天井、壁等ニ用ヰル金屬板（琺瑯ヲ施シタルモノ又ハエナメルペーント、ヴァニシュ、漆等ヲ塗リタルモノ）
四八七　漁用鈷
四八八　錨（鐵製ノモノ）
四八九　鏈（別號ニ掲ゲザルモノ）（鐵製ギーアリングチェーンヲ除ク）
四九一　懷中時計用鏈、眼鏡用鏈其ノ他身邊粧飾用鏈
四九三　螺釘、ハットフック及戸、窓、家具等ニ用ヰル金具
四九四　鎖及鑰
四九六　工匠具、農具及同部分品（別號ニ掲ゲザルモノ）
　十　ショヴェル及スタープ
四九九　刄物（別號ニ掲ゲザルモノ）
五〇〇　テーブルフォーク及スプーン
五〇一　コルクスクリュー
五〇二　罎口用キャプシュール
五〇三　クラウンコルク
五〇四　カートリッヂケース（金屬製ノモノ）
五〇五ノ内　手縫用針
五〇七　コッピープレッス
五〇九　自轉車用喞筒
五〇九ノ二　消火器
五一〇　ミートチョッパー
五一一　咖啡粉碎器
五一二　アイスクリームフリーザー
五一三　製茶用及苛性曹達製造用鐵鍋
五一四　ストーヴ及同部分品（別號ニ掲ゲザルモノ）
五一五　電氣ストーヴ、電氣鏝其ノ他類似ノ電熱器
五一六　ラヂエートル
五一七　鋲接及同部分品
五一九　ナムバーリングマシン、デーチングマシン、チェックパーフォレーター、ペンシルシャープナー其ノ他類似ノモノ及同部分品
五二一　貴金屬製品及貴金屬ヲ用ヰ又ハ貴金屬ヲ鍍シタル金屬製品（別號ニ掲ゲザルモノ）
五二六　懷中時計
五二七　懷中時計部分品
　一　側（ウォッチグラスヲ附著シタルモノヲ含ム）
　六　ウォッチグラス
五二八　置時計及掛時計
五二八ノ二　電氣時計（親時計及子時計ヲ含ム）
五三三　鼻眼鏡及雙眼鏡
　一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙、鼈甲又ハ貝殼ヲ用ヰタルモノ
五五三　寫眞器（活動寫眞用ノモノ、顯微鏡用ノモノ、航空機用ノモノ及測量用ノモノヲ除ク）
五五四　寫眞器部分品（焦點距離十七センチメートル以上ノレンズ、カメラノ内活動寫眞用ノモノ、顯微鏡用ノモノ、航空機用ノモノ及測量用ノモノ並ニ製版用スクリーンヲ除ク）
五五五　蓄音器
五五六　蓄音器部分品及附屬品
五五七　樂器
五五九　電信機、電話機及同部分品（別號ニ掲ゲザルモノ）
　一　放送無線電話聽取用ノモノ
五六〇　銃砲及同部分品（拳銃、捕鯨砲及同部分品ヲ除ク）
五六五　自轉車（モーターサイクルヲ除ク）
五六六　自轉車部分品（原動力機及鏈ヲ除ク）
五六七　別號ニ掲ゲザル車輛及同部分品
五九三　送風機
　一　扇風機
六〇九　籐（割ラザルモノヲ除ク）
六一〇　竹
六一三　通草心及通草紙
六二一　製帽用眞田
六二二　蓆（布帛ニ使用スル纖維以外ノ植物性材料ヲ以テ製シタルモノ）（包蓆ヲ除ク）
六二三　莖稈、藁、パナマストロー、椰葉、藺、莞、蒲、竹、籐、蔓、楊條其ノ他類似ノモノノ製品（別號ニ掲ゲザルモノ）
六二四　傘柄、杖、鞭及其ノ手
六二五　傘
六二六　木製品（別號ニ掲ゲザルモノ）
　一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ

　二　其ノ他
　　甲　花梨木、鐵刀木、黄楊木、紅木、紫檀及黒檀ノ製品
六三二　セリュロイド及同製品（別號ニ掲ゲザルモノ）（塊、條、帶、竿、板及管ノ類ヲ除ク）
六三二ノ二　屑及故ノセリュロイド（改造用ノミニ適スルモノ）
六三三　ガラリス及同製品（別號ニ掲ゲザルモノ）
六三四　ブラッシュ及帚
　一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ
六三五　ラムプ、提燈及同部分品（安全燈、醫療用ノモノ及燈臺用ノモノヲ除ク）
六三八　造花（模造ノ葉、果實等ヲ含ム）及同部分品
六三九　化粧具匣
六四〇　ビリヤード、テニス、クリッケット、象棋其ノ他ノ遊戯具及同附屬品
六四一　翫具
六四七　別號ニ掲ゲザル物品
　二　其ノ他
　　甲　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヰタルモノ

丙號

輸入稅表番號	品名
六九ノ内	兎毛皮
二〇四	ナフタリン
二三九ノ内	硝酸
二九五	屑又ハ故ノ纖維、屑纖糸及屑糸ノ内　屑ノ綿纖維
三四一	襤褸ノ内　綿ノモノ
四〇〇	屑紙
四七〇	安知母尼及硫化安知母尼

（參照）
昭和十二年九月十日公布法律第九十二號ハ輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件ナリ

◉商工省令第二十四號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リ鐵鋼工作物築造許可規則左ノ通定ム

昭和十二年十月十一日

商工大臣　吉野信次

鐵鋼工作物築造許可規則

第一條　鐵筋「コンクリート」造、鐵骨ヲ有スル鐵筋「コンクリート」造、鐵骨造又ハ鐵造ノ工作物（建築物ヲ含ム以下同ジ）ヲ築造セントスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ但シ商工大臣ノ指定スル工作物又ハ構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量五十瓲以下ノ工作物ノ築造ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一　工作物ノ位置
二　工作物ノ用途
三　築造ヲ必要トスル事由
四　構造ノ種別
五　設計及工事計畫ノ概要
六　建築物ナルトキハ其ノ高サ、階數及各階ノ面積
七　構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ種類及數量
八　工事著手及竣工ノ豫定時期
九　請負人アルトキハ請負人ノ氏名名稱

第三條　前條第一號、第二號、第四號、第六號及第七號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第四條　地方長官ハ第一條ノ許可ヲ爲ス場合ニ於テ構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量ノ制限ヲ爲スコトヲ得

第五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ工事竣工シタルトキハ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ屆出ヅベシ

第六條　第一條但書ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル工作物ヲ築造シタル者（當該工作物ノ承繼人ヲ含ム）其ノ用途ヲ其ノ竣工後一年以内ニ同條ノ許可ヲ要スル工作物ノ用途ニ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ許可ヲ受クベシ同條ノ許可ヲ受ケ工作物ヲ築造シタル者（當該工作物ノ承繼人ヲ含ム）其ノ用途ヲ其ノ竣工後一年以内ニ同條ノ許可ヲ要スル他ノ工作物ノ用途ニ變更セントスルトキ亦同ジ

第七條　構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量五十瓲以下ノ工作物ヲ築造セントスル者ハ工事ノ著手前第二條各號ニ掲グル事項ヲ地方長官ニ屆出ヅベシ

附　則

本則ハ昭和十二年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

本則施行ノ際現ニ工事中ノ工作物ニシテ既ニ基礎工事ヲ終了シタルモノニハ本則ヲ適用セズ但シ本則施行ノ日ヨリ二週間以内ニ當該工作物ニ付第二條各號ニ掲グル事項ヲ地方長官ニ屆出ヅルコトヲ要ス

本則施行ノ際現ニ工事中ノ第一條ノ許可ヲ受クベキ工作物ニシテ前項ノ規定ニ該當セザルモノニ付テハ本則施行後二週間以内ニ第二條ノ許可申請書ニ本則施行ノ際ニ於ケル工事進捗ノ程度ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

◉商工省令第二十五號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リステープルファイバー等混用規則左ノ通定ム

昭和十二年十月十一日

商工大臣　吉野信次

ステープルファイバー等混用規則

第一條　着尺セル、毛布（膝掛ヲ含ム）、梳毛絲ヲ用ヰザル羅紗、フランネル又ハメートル式番手三十二番以下ノ梳毛絲ヲ三本以上撚合セタル手編毛絲ヲ製造スル場合ニ於テハステープルファイバー其ノ他ノ毛ニ非ザル纖維ヲ左ニ掲グル重量割合ニ依リ混用スルコトヲ要ス但シ輸出品及特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

着尺セル	三割以上
毛布（膝掛ヲ含ム）	三割以上
梳毛絲ヲ用ヰザル羅紗	二割以上
フランネル	二割以上
メートル式番手三十二番以下ノ梳毛絲ヲ三本以上撚合セタル手編毛絲	三割以上

第二條　モスリンヲ製織セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　數量及價額（種類別ニ記載スベシ）
二　賣渡先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

第三條　毛絲ニステープルファイバー其ノ他ノ毛ニ非ザル纖維ヲ混用スル場合ニ於テハ其ノ混用割合ハ重量ニ於テ五割、四割、三割、二割又ハ一割ナルコトヲ要ス

前項ノ混用毛絲ニハ混用シタル纖維ノ種類及其ノ混用割合ヲ表示スベシ

計器用變成器ノ一次側及二次側ノ端子ヘ一次公稱電流ノ一〇分ノ一乃至一二分ノ一ニ相當スル電流ヲ通ジ其ノ際ノ誤差ヲ測定スルモノヲ謂フ

二　誤差電壓　誤差電流ヲ生ゼシムル原因ト爲ル二次側ノ電壓ヲ謂フ

三　誤差試驗所　檢定ヲ行フ工場ヲ謂フ

四　誤差試驗主任者　誤差試驗所ニ於テ檢定ノ事務ヲ統轄スル者ヲ謂フ

五　檢定員　誤差試驗所ニ於テ檢定ノ事務ニ從事スル者ヲ謂フ

六　檢定主任者　誤差試驗所ニ於テ檢定ノ事務ヲ掌理スル者ヲ謂フ

七　檢定主任者代理者　檢定主任者ノ職務ヲ代理スル者ヲ謂フ

第三條　誤差試驗所ニ誤差試驗主任者檢定主任者檢定主任者代理者及檢定員ヲ置ク

第四條　誤差試驗主任者ハ逓信大臣ノ命ヲ承ケ誤差試驗所ノ事務ヲ掌理ス

檢定主任者ハ誤差試驗主任者ノ命ヲ承ケ檢定ノ事務ヲ掌理ス

檢定主任者代理者ハ誤差試驗主任者檢定主任者ノ職務ヲ代理ス

檢定員ハ誤差試驗主任者檢定主任者ノ指揮ヲ承ケ檢定ノ事務ニ從事ス

第五條　誤差試驗主任者ハ逓信技師ヲ以テ之ニ充ツ

檢定主任者檢定主任者代理者及檢定員ハ逓信技師又ハ逓信技手ヲ以テ之ニ充ツ

第六條　誤差試驗所ニ庶務係及檢定係ヲ置キ庶務係ニ於テハ庶務檢定係ニ於テハ檢定ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條　誤差試驗所ニ於テ檢定ヲ行フ計器ハ左ノ如シ

一　電壓計

二　電流計

三　電力計

四　電力量計

五　無效電力計

六　無效電力量計

七　周波數計

八　位相計

九　力率計

十　電氣的時間計

十一　電氣的積算計

十二　電氣的最大需要計

十三　電氣的最大需要時間計

十四　電氣的最大需要力計

十五　電氣的最大需要力量計

十六　電氣的最大需要力時間計

十七　電氣的最大需要力量時間計

十八　電氣的最大需要力率計

十九　電氣的最大需要力率時間計

二十　電氣的最大需要力率量計

二十一　電氣的最大需要力率量時間計

二十二　電氣的最大需要力率量時間計

二十三　電氣的最大需要力率量時間計

二十四　電氣的最大需要力率量時間計

二十五　電氣的最大需要力率量時間計

二十六　電氣的最大需要力率量時間計

二十七　電氣的最大需要力率量時間計

二十八　電氣的最大需要力率量時間計

二十九　電氣的最大需要力率量時間計

三十　電氣的最大需要力率量時間計

三十一　電氣的最大需要力率量時間計

三十二　電氣的最大需要力率量時間計

三十三　電氣的最大需要力率量時間計

三十四　電氣的最大需要力率量時間計

三十五　電氣的最大需要力率量時間計

三十六　電氣的最大需要力率量時間計

三十七　電氣的最大需要力率量時間計

三十八　電氣的最大需要力率量時間計

三十九　電氣的最大需要力率量時間計

四十　電氣的最大需要力率量時間計

四十一　電氣的最大需要力率量時間計

四十二　電氣的最大需要力率量時間計

四十三　電氣的最大需要力率量時間計

四十四　電氣的最大需要力率量時間計

四十五　電氣的最大需要力率量時間計

四十六　電氣的最大需要力率量時間計

四十七　電氣的最大需要力率量時間計

四十八　電氣的最大需要力率量時間計

四十九　電氣的最大需要力率量時間計

五十　電氣的最大需要力率量時間計

五十一　電氣的最大需要力率量時間計

五十二　電氣的最大需要力率量時間計

五十三　電氣的最大需要力率量時間計

五十四　電氣的最大需要力率量時間計

五十五　電氣的最大需要力率量時間計

五十六　電氣的最大需要力率量時間計

五十七　電氣的最大需要力率量時間計

五十八　電氣的最大需要力率量時間計

五十九　電氣的最大需要力率量時間計

六十　電氣的最大需要力率量時間計

六十一　電氣的最大需要力率量時間計

六十二　電氣的最大需要力率量時間計

六十三　電氣的最大需要力率量時間計

六十四　電氣的最大需要力率量時間計

六十五　電氣的最大需要力率量時間計

六十六　電氣的最大需要力率量時間計

六十七　電氣的最大需要力率量時間計

六十八　電氣的最大需要力率量時間計

六十九　電氣的最大需要力率量時間計

七十　電氣的最大需要力率量時間計

七十一　電氣的最大需要力率量時間計

七十二　電氣的最大需要力率量時間計

七十三　電氣的最大需要力率量時間計

七十四　電氣的最大需要力率量時間計

七十五　電氣的最大需要力率量時間計

七十六　電氣的最大需要力率量時間計

七十七　電氣的最大需要力率量時間計

七十八　電氣的最大需要力率量時間計

七十九　電氣的最大需要力率量時間計

八十　電氣的最大需要力率量時間計

八十一　電氣的最大需要力率量時間計

八十二　電氣的最大需要力率量時間計

八十三　電氣的最大需要力率量時間計

八十四　電氣的最大需要力率量時間計

八十五　電氣的最大需要力率量時間計

八十六　電氣的最大需要力率量時間計

八十七　電氣的最大需要力率量時間計

八十八　電氣的最大需要力率量時間計

八十九　電氣的最大需要力率量時間計

九十　電氣的最大需要力率量時間計

九十一　電氣的最大需要力率量時間計

九十二　電氣的最大需要力率量時間計

九十三　電氣的最大需要力率量時間計

九十四　電氣的最大需要力率量時間計

九十五　電氣的最大需要力率量時間計

九十六　電氣的最大需要力率量時間計

九十七　電氣的最大需要力率量時間計

九十八　電氣的最大需要力率量時間計

九十九　電氣的最大需要力率量時間計

百　電氣的最大需要力率量時間計

百一　電氣的最大需要力率量時間計

百二　電氣的最大需要力率量時間計

百三　電氣的最大需要力率量時間計

百四　電氣的最大需要力率量時間計

百五　電氣的最大需要力率量時間計

百六　電氣的最大需要力率量時間計

百七　電氣的最大需要力率量時間計

百八　電氣的最大需要力率量時間計

百九　電氣的最大需要力率量時間計

百十　電氣的最大需要力率量時間計

百十一　電氣的最大需要力率量時間計

百十二　電氣的最大需要力率量時間計

百十三　電氣的最大需要力率量時間計

百十四　電氣的最大需要力率量時間計

百十五　電氣的最大需要力率量時間計

百十六　電氣的最大需要力率量時間計

百十七　電氣的最大需要力率量時間計

百十八　電氣的最大需要力率量時間計

百十九　電氣的最大需要力率量時間計

百二十　電氣的最大需要力率量時間計

百二十一　電氣的最大需要力率量時間計

百二十二　電氣的最大需要力率量時間計

百二十三　電氣的最大需要力率量時間計

百二十四　電氣的最大需要力率量時間計

百二十五　電氣的最大需要力率量時間計

百二十六　電氣的最大需要力率量時間計

百二十七　電氣的最大需要力率量時間計

百二十八　電氣的最大需要力率量時間計

百二十九　電氣的最大需要力率量時間計

百三十　電氣的最大需要力率量時間計

百三十一　電氣的最大需要力率量時間計

百三十二　電氣的最大需要力率量時間計

百三十三　電氣的最大需要力率量時間計

百三十四　電氣的最大需要力率量時間計

百三十五　電氣的最大需要力率量時間計

百三十六　電氣的最大需要力率量時間計

百三十七　電氣的最大需要力率量時間計

百三十八　電氣的最大需要力率量時間計

百三十九　電氣的最大需要力率量時間計

百四十　電氣的最大需要力率量時間計

百四十一　電氣的最大需要力率量時間計

百四十二　電氣的最大需要力率量時間計

百四十三　電氣的最大需要力率量時間計

百四十四　電氣的最大需要力率量時間計

百四十五　電氣的最大需要力率量時間計

百四十六　電氣的最大需要力率量時間計

百四十七　電氣的最大需要力率量時間計

百四十八　電氣的最大需要力率量時間計

百四十九　電氣的最大需要力率量時間計

百五十　電氣的最大需要力率量時間計

百五十一　電氣的最大需要力率量時間計

百五十二　電氣的最大需要力率量時間計

百五十三　電氣的最大需要力率量時間計

百五十四　電氣的最大需要力率量時間計

百五十五　電氣的最大需要力率量時間計

百五十六　電氣的最大需要力率量時間計

百五十七　電氣的最大需要力率量時間計

百五十八　電氣的最大需要力率量時間計

百五十九　電氣的最大需要力率量時間計

百六十　電氣的最大需要力率量時間計

百六十一　電氣的最大需要力率量時間計

百六十二　電氣的最大需要力率量時間計

百六十三　電氣的最大需要力率量時間計

百六十四　電氣的最大需要力率量時間計

百六十五　電氣的最大需要力率量時間計

百六十六　電氣的最大需要力率量時間計

百六十七　電氣的最大需要力率量時間計

百六十八　電氣的最大需要力率量時間計

百六十九　電氣的最大需要力率量時間計

百七十　電氣的最大需要力率量時間計

百七十一　電氣的最大需要力率量時間計

百七十二　電氣的最大需要力率量時間計

百七十三　電氣的最大需要力率量時間計

百七十四　電氣的最大需要力率量時間計

百七十五　電氣的最大需要力率量時間計

百七十六　電氣的最大需要力率量時間計

百七十七　電氣的最大需要力率量時間計

百七十八　電氣的最大需要力率量時間計

百七十九　電氣的最大需要力率量時間計

百八十　電氣的最大需要力率量時間計

百八十一　電氣的最大需要力率量時間計

百八十二　電氣的最大需要力率量時間計

百八十三　電氣的最大需要力率量時間計

百八十四　電氣的最大需要力率量時間計

百八十五　電氣的最大需要力率量時間計

百八十六　電氣的最大需要力率量時間計

百八十七　電氣的最大需要力率量時間計

百八十八　電氣的最大需要力率量時間計

百八十九　電氣的最大需要力率量時間計

百九十　電氣的最大需要力率量時間計

百九十一　電氣的最大需要力率量時間計

百九十二　電氣的最大需要力率量時間計

百九十三　電氣的最大需要力率量時間計

百九十四　電氣的最大需要力率量時間計

百九十五　電氣的最大需要力率量時間計

百九十六　電氣的最大需要力率量時間計

百九十七　電氣的最大需要力率量時間計

百九十八　電氣的最大需要力率量時間計

百九十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百　電氣的最大需要力率量時間計

二百一　電氣的最大需要力率量時間計

二百二　電氣的最大需要力率量時間計

二百三　電氣的最大需要力率量時間計

二百四　電氣的最大需要力率量時間計

二百五　電氣的最大需要力率量時間計

二百六　電氣的最大需要力率量時間計

二百七　電氣的最大需要力率量時間計

二百八　電氣的最大需要力率量時間計

二百九　電氣的最大需要力率量時間計

二百十　電氣的最大需要力率量時間計

二百十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百二十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百三十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百四十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百五十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百六十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百七十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百八十九　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十一　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十二　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十三　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十四　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十五　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十六　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十七　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十八　電氣的最大需要力率量時間計

二百九十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百　電氣的最大需要力率量時間計

三百一　電氣的最大需要力率量時間計

三百二　電氣的最大需要力率量時間計

三百三　電氣的最大需要力率量時間計

三百四　電氣的最大需要力率量時間計

三百五　電氣的最大需要力率量時間計

三百六　電氣的最大需要力率量時間計

三百七　電氣的最大需要力率量時間計

三百八　電氣的最大需要力率量時間計

三百九　電氣的最大需要力率量時間計

三百十　電氣的最大需要力率量時間計

三百十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百二十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百三十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百四十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百五十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百六十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百七十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百八十九　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十一　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十二　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十三　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十四　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十五　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十六　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十七　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十八　電氣的最大需要力率量時間計

三百九十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百　電氣的最大需要力率量時間計

四百一　電氣的最大需要力率量時間計

四百二　電氣的最大需要力率量時間計

四百三　電氣的最大需要力率量時間計

四百四　電氣的最大需要力率量時間計

四百五　電氣的最大需要力率量時間計

四百六　電氣的最大需要力率量時間計

四百七　電氣的最大需要力率量時間計

四百八　電氣的最大需要力率量時間計

四百九　電氣的最大需要力率量時間計

四百十　電氣的最大需要力率量時間計

四百十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百二十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百三十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百四十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百五十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百六十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百七十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百八十九　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十一　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十二　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十三　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十四　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十五　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十六　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十七　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十八　電氣的最大需要力率量時間計

四百九十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百　電氣的最大需要力率量時間計

五百一　電氣的最大需要力率量時間計

五百二　電氣的最大需要力率量時間計

五百三　電氣的最大需要力率量時間計

五百四　電氣的最大需要力率量時間計

五百五　電氣的最大需要力率量時間計

五百六　電氣的最大需要力率量時間計

五百七　電氣的最大需要力率量時間計

五百八　電氣的最大需要力率量時間計

五百九　電氣的最大需要力率量時間計

五百十　電氣的最大需要力率量時間計

五百十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百二十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百三十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百四十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百五十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百六十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百七十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百八十九　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十一　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十二　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十三　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十四　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十五　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十六　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十七　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十八　電氣的最大需要力率量時間計

五百九十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百　電氣的最大需要力率量時間計

六百一　電氣的最大需要力率量時間計

六百二　電氣的最大需要力率量時間計

六百三　電氣的最大需要力率量時間計

六百四　電氣的最大需要力率量時間計

六百五　電氣的最大需要力率量時間計

六百六　電氣的最大需要力率量時間計

六百七　電氣的最大需要力率量時間計

六百八　電氣的最大需要力率量時間計

六百九　電氣的最大需要力率量時間計

六百十　電氣的最大需要力率量時間計

六百十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百二十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百三十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百四十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百五十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百六十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百七十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百八十九　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十一　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十二　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十三　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十四　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十五　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十六　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十七　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十八　電氣的最大需要力率量時間計

六百九十九　電氣的最大需要力率量時間計

七百　電氣的最大需要力率量時間計

七百一　電氣的最大需要力率量時間計

七百二　電氣的最大需要力率量時間計

七百三　電氣的最大需要力率量時間計

七百四　電氣的最大需要力率量時間計

七百五　電氣的最大需要力率量時間計

七百六　電氣的最大需要力率量時間計

七百七　電氣的最大需要力率量時間計

七百八　電氣的最大需要力率量時間計

七百九　電氣的最大需要力率量時間計

七百十　電氣的最大需要力率量時間計

七百十一　電氣的最大需要力率量時間計

七百十二　電氣的最大需要力率量時間計

七百十三　電氣的最大需要力率量時間計

七百十四　電氣的最大需要力率量時間計

七百十五　電氣的最大需要力率量時間計

七百十六　電氣的最大需要力率量時間計

七百十七　電氣的最大需要力率量時間計

七百十八　電氣的最大需要力率量時間計

七百十九　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十一　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十二　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十三　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十四　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十五　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十六　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十七　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十八　電氣的最大需要力率量時間計

七百二十九　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十一　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十二　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十三　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十四　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十五　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十六　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十七　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十八　電氣的最大需要力率量時間計

七百三十九　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十一　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十二　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十三　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十四　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十五　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十六　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十七　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十八　電氣的最大需要力率量時間計

七百四十九　電氣的最大需要力率量時間計

七百五十　電氣的最大需要力率量時間計

七百五十一　電氣的最大需要力率量時間計

七百五十二　電氣的最大需要力率量時間計

七百五十三　電氣的最大需要力率量時間計

七百五十四　電氣的最大需要力率量時間計

七百五十五　電氣

第一號書式(用紙ノ大サ　日本標準規格B列四番型)

収入印紙

計器型式承認申請書

貼附シタル収入印紙ノ額　金何圓

一　計器ノ名稱　積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別
二　型名及型ノ記號　誘導型、電動機型等ノ別及製造者ノ型ノ記號
三　製造者名　輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
四　製造番號　直流、交流ノ別、單相、三相等ノ別及二線式、三線式等ノ別
五　使用回路ノ種類　電壓、電流及周波數
六　定格
七　計器定數
右電氣計器檢定規則第一條ニ依リ計器型式ノ承認ヲ申請候也

年　月　日　　住所　申請者名　印

遞信大臣宛

第二號書式(用紙ノ大サ　日本標準規格B列四番型)

収入印紙

計器用變成器型式承認申請書

貼附シタル収入印紙ノ額　金何圓

一　變成器ノ名稱　計器用變壓器、計器用變流器ノ別
二　型名及型ノ記號　乾心型、油入型等ノ別及製造者ノ型ノ記號
三　製造者名　輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
四　製造番號
五　使用回路ノ種類　單相、三相等ノ別及二線式、三線式等ノ別
六　定格　一次及二次ノ電壓又ハ電流、負擔、周波數、最高回路電壓(計器用變流器ニ限ル)
右電氣計器檢定規則第一條ニ依リ計器用變成器型式ノ承認ヲ申請候也

年　月　日　　住所　申請者名　印

遞信大臣宛

第三號書式(用紙ノ大サ　日本標準規格B列四番型)

収入印紙

計器型式追加承認申請書

貼附シタル収入印紙ノ額　金何圓

一　計器ノ名稱　積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別
二　型名及型ノ記號　誘導型、電動機型等ノ別及製造者ノ型ノ記號
三　製造者名　輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
四　製造番號
五　型式承認ノ年月日及番號
六　使用回路ノ種類　直流、交流ノ別、單相、三相等ノ別及二線式、三線式等ノ別
七　定格　電壓、電流及周波數
八　計器定數
九　變更事項
右電氣計器檢定規則第三條ニ依リ計器型式ノ追加承認ヲ申請候也

年　月　日　　住所　申請者名　印

遞信大臣宛

第四號書式(用紙ノ大サ　日本標準規格B列四番型)

収入印紙

計器用變成器型式追加承認申請書

貼附シタル収入印紙ノ額　金何圓

一　變成器ノ名稱　計器用變壓器、計器用變流器ノ別
二　型名及型ノ記號　乾心型、油入型等ノ別及製造者ノ型ノ記號
三　製造者名　輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
四　製造番號
五　型式承認ノ年月日及番號
六　使用回路ノ種類　單相、三相等ノ別及二線式、三線式等ノ別
七　定格　一次及二次ノ電壓又ハ電流、負擔、周波數、最高回路電壓(計器用變流器ニ限ル)
八　變更事項
右電氣計器檢定規則第三條ニ依リ計器用變成器型式ノ追加承認ヲ申請候也

年　月　日　　住所　申請者名　印

遞信大臣宛

第五號書式(用紙ノ大サ　日本標準規格B列四番型)

電氣計器檢定申請書

電氣計器檢定規則第四條第一項ニ依リ下記電氣計器ノ檢定ヲ申請候也

年　月　日　　住所　申請者名　印

遞信大臣宛

収入印紙

貼附シタル収入印紙ノ額　金何圓何錢

名稱及型ノ記號		積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別及製造者ノ型ノ記號
製造者名		
型式番號		
製造番號		
使用回路ノ種類		流　相　線式
定格(一次側ノ値)	電壓	V
	電流	A
	周波數	～
計器用變壓器	製造者名	
	型式番號	
	製造番號	
	變壓比	一次及二次ノ定格値ヲ以テ表シタル値
計器用變流器	製造者名	
	型式番號	
	製造番號	
	變流比	一次及二次ノ定格値ヲ以テ表シタル値
計器定數(計器固有ノ値)		
箇數		
一箇ノ手數料		金何圓何錢
手數料		金何圓何錢
備考		計器用變成器ノ負擔トナルベキ測定器ニシテ電氣ノ取引ニ關係ナキモノノ名稱及番號 其ノ他

電氣計器箇數調

使用地府縣名又ハ製造者名

昭和　年三月三十一日現在

住所

氏名　印

有效期間滿了ノ年度

電氣方式 ＼ 電壓 ／ 電流	單相交流 サイクル 低壓	單相交流 サイクル 高壓	單相交流 サイクル 特高	三相交流 サイクル 低壓	三相交流 サイクル 高壓	三相交流 サイクル 特高	直流	計
10 A 以下								
20 A 以下								
50 A 以下								
100 A 以下								
300 A 以下								
500 A 以下								
1,000 A 以下								
2,000 A 以下								
3,000 A 以下								
5,000 A 以下								
7,000 A 以下								
10,000 A 以下								
計								

第七號書式　本書式ハ有效期間滿了ノ年度（四月ヨリ翌年三月ニ至ル）毎ニ使用地府縣名別及製造者名別ニ就キ別紙ニ之ヲ調製スベシ

電氣計器特殊試驗檢定申請書

電氣計器檢定規則第四條第二項ニ依リ下記電氣計器ノ特殊試驗檢定ヲ申請候也

年月日　　住所

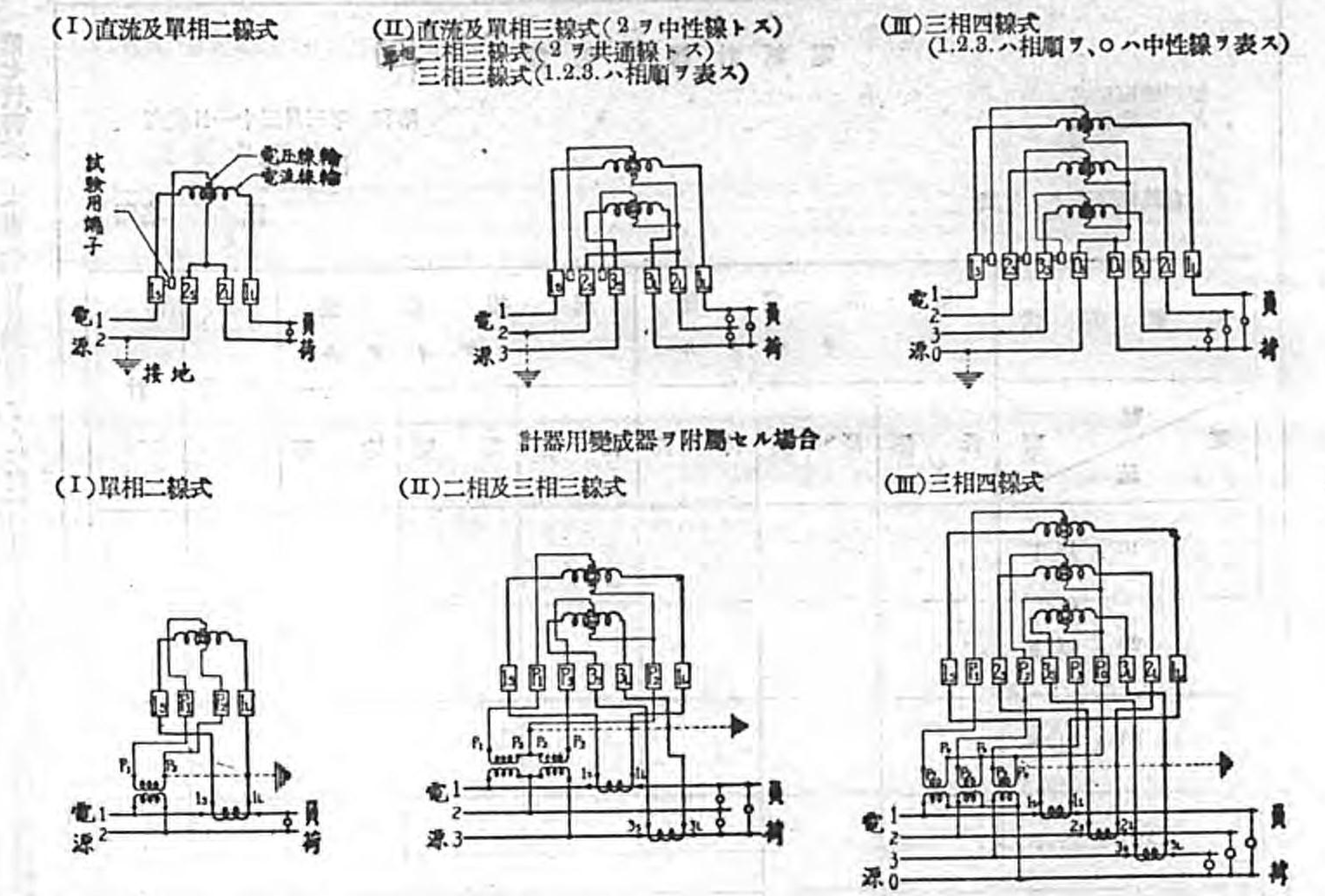
遞信大臣宛　　申請者名印

收入印紙　　貼附シタル收入印紙ノ額　金何圓何錢

型式承認ヲ受ケザル事由		
名稱及型ノ記號		積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別及製造者ノ型ノ記號
製造者名		輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
製造番號		
使用回路ノ種類		流　相　條式
定格（一次側ノ値）	電壓	V
	電流	A
	周波數	～
計器用變成器	製造者名	輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
	製造番號	
	變壓比	一次及二次ノ定格値ヲ以テ表シタル値
計器用變流器	製造者名	輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
	製造番號	
	變流比	一次及二次ノ定格値ヲ以テ表シタル値
計器定數（計器固有ノ値）		
箇數		
一箇ノ手數料		金何圓何錢
手數料		金何圓何錢
備考		計器用變成器ノ負擔トナルベキ測定器ニシテ電氣ノ取引ニ關係ナキモノノ名稱及番號 其ノ他

第六號書式（用紙ノ大サ　日本標準規格B列四番型）

積算電力計ノ端子記號



◉遞信省令第八十八號

公共團體及公益法人ノ試驗スル電氣計器ニ關スル件左ノ通改正ス

昭和十二年十月十一日

遞信大臣　永井柳太郎

公共團體及公益法人ノ試驗スル電氣計器ニ關スル件

第一條　明治四十四年勅令第二百九十六號第八條ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ指定シタル公共團體又ハ公益法人ニ於テ行フ電氣計器ノ試驗及其ノ檢定申請ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　電氣計器ノ誤差ノ試驗ニ付テハ電氣計器檢定規則第五條ノ規定ヲ準用ス

第三條　試驗ヲ行ヒタル電氣計器左ノ各號ニ該當スルトキハ之ヲ合格トス

一　公差ノ四分ノ三ヲ超エザルモノ

二　遞信大臣ノ承認シタル型式ニ適合スルモノ

三　電氣計器檢定規則第六條乃至第八條ニ定ムル規準ニ適合スルモノ

第四條　前條ノ規定ニ依リ試驗ニ合格シタル電氣計器ノ檢定申請ハ試驗ヲ行ヒタル公共團體又ハ公益法人ニ於テ之ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テハ申請書ハ甲號書式ニ試驗成績表ヲ添ヘ電氣試驗所又ハ電氣試驗所出張所ニ之ヲ提出スベシ

電氣試驗所又ハ電氣試驗所出張所ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前項ノ申請ニ係ル電氣計器ヲ提出セシムルコトアルベシ

第五條　前條第一項ノ場合ニ於テハ電氣計器一箇ニ付手數料一圓ヲ納付スベシ

前條第一項ノ檢定申請ヲ爲シタル電氣計器ニシテ不合格トナリタルモノニ付更ニ同規定ノ檢定申請ヲ爲サントスルトキハ電氣計器一箇ニ付手數料二十錢ヲ納付スベシ

附　則

本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

甲號書式(用紙ノ大サ　日本標準規格B列四番型)

電氣計器檢定申請書

公共團體及公益法人ノ試驗スル電氣計器ニ關スル件第四條ニ依リ下記電氣計器ノ檢定ヲ申請候也

年　月　日

申請者名　印

遞信大臣宛

貼附シタル收入印紙ノ額　金何圓何錢

收入印紙

電氣計器ノ名稱	積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別
試驗合格番號	
箇數	
試驗依頼者別箇數内譯	
備考	

(參照)
明治四十四年十二月二十八日公布勅令第二百九十六號ハ電氣計器ノ公差、檢定及手數料ニ關スル件ナリ

◉遞信省令第八十九號

大正五年遞信省令第二號中左ノ通改正ス

昭和十二年十月十一日

遞信大臣　永井柳太郎

第四條　削除

附　則

本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)
大正五年十二月二十二日遞信省令第二號(電氣計器ノ型式承認及檢定申請手數料ノ件)抄錄
第四條　規定電流三千「アムペア」ヲ超過スル積算電氣計器ニシテ檢定有效期間內ニ於テ再封印ノ申請ヲ爲シ又ハ明治四十四年勅令第二百九十六號第四條ノ二ニ依リ假封印解除ノ申請ヲ爲ス場合ノ手數料ハ前條甲(イ)ノ手數料ト同額トス

告　示

◉大藏省告示第二百六十一號

砂糖消費税法施行規則第九條ノ三ニ依リ指定シタル內地移入糖移入場ニ昭和十二年十月八日左記ノ通追加指定シタリ

昭和十二年十月十一日

大藏大臣　賀屋興宣

倉庫所在地	倉庫名稱及番號	移入場主住所及名稱
神戸市林田區高松町三十番地	明治製糖株式會社神戸工場附屬倉庫第六號、第七號、第十二號	臺灣臺南州曾文郡麻豆街麻豆四百二十九番地　明治製糖株式會社

◉大藏省告示第二百六十二號

砂糖消費税法施行規則第九條ノ三ニ依リ指定シタル內地移入糖移入場ニ昭和十二年十月八日左記ノ通追加指定シタリ

昭和十二年十月十一日

大藏大臣　賀屋興宣

倉庫所在地	倉庫名稱及番號	移入場主住所及名稱
青森市大字新安方町八十三番ノ四十三號	株式會社青森臨港倉庫第一號第十一番甲	青森市大字新安方町八十三番地　株式會社青森臨港倉庫

◉陸軍省告示第四十號

昭和十三年六月入校セシムベキ陸軍工科學校生徒ヲ左ノ各號ニ依リ召募ス細部ニ付テハ陸軍諸學校生徒採用規則ニ依ル但シ本告示中同規則ニ依ラザル事項ニ付テハ本告示ニ依ルモノトス

昭和十二年十月十一日

陸軍大臣　杉山　元

一　採用豫定人員　約四百二十五名

二　志願シ得ベキ者ノ年齢
現役兵ヨリノ志願者　大正四年四月二日以後ニ生レタル者
陸軍部外ヨリノ志願者　大正七年四月二日ヨリ大正十年四月一日迄ニ生レタル者

三　願書類受付期間　告示ノ日ヨリ昭和十二年十二月三十一日迄(陸軍部內ヨリノ志願者ニ在リテハ昭和十三年一月二十日迄)

四　學科試驗ノ程度　高等小學校卒業程度

◉文部省告示第三百三十八號

工業學校規程ニ依リ左記實業學校ヲ設置シ昭和十三年四月ヨリ開校ノ件昭和十二年九月二十一日認可セリ

昭和十二年十月十一日

文部大臣　安井英二

名稱　兵庫縣立尼崎工業學校
位置　兵庫縣尼崎市長洲
設立者　兵庫縣
學科　工作機械科、精密機械科
修業年限　五年
入學資格　尋常小學校卒業程度

◉農林省告示第三百三十四號

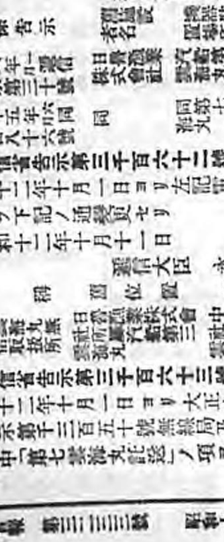
耕地整理法第三條ノ二但書ノ規定ニ依リ左ノ地域ヲ指定ス

昭和十二年十月十一日

農林大臣　伯爵　有馬賴寧

愛知縣岡崎市

町名	字名	地番
六供	南丸根	一一ノ一、一四ノ一、一四ノ一六、一五ノ一、一七ノ一、一四ノ二地先道路


12.10.14
谷下
念記番號與此葉工事銘自
12.10.16
岡當
念記番號與此葉工事銘自

◉遞信省告示第三千百七十號

無線電信法第二條ニ依リ左記私設無線電信施設ヲ許可セリ

昭和十二年十月十一日　遞信大臣　永井柳太郎

一、施設者名　宮地民之助
二、施設ノ目的　無線電信法第二條第一號及第三號ニ依リ航行ノ安全及電報送受ニ使用
三、機器裝置場所　汽船イースタンキング（定繋港大阪）
四、呼出符號　JEZZ
五、空中線電力　七五「ワット」
六、使用電波ノ型式及周波數　B三七五　四一〇　四二五及五〇〇kc
七、通信執務時間　八時間

◉遞信省告示第三千百七十一號

昭和十二年八月遞信省告示第二千二百七十三號滿洲國ノ日滿郵便爲替又ハ日滿郵便振替ノ取扱局及其ノ取扱フ爲替又ハ振替ノ種別等中左ノ通改ム

昭和十二年十月十一日　遞信大臣　永井柳太郎

一　龍江省ノ部
泰來ノ項ノ次ニ「塔子城　小、通」ヲ加フ

二　濱江省ノ部
哈爾濱鐵路局内ノ項ノ次ニ「哈爾濱中央大街　小、通、電、通振、局待」ヲ及興農鎭ノ項ノ次ニ「四方臺　小、通」ヲ加フ

三　三江省ノ部
佳木斯ノ項ノ次ニ「彌榮　小、通」ヲ加フ

四　牡丹江省ノ部
新密山ノ項ノ次ニ「鷄西　小、通」及「黒臺　小、通」ヲ加フ

◉遞信省告示第三千百七十二號

昭和十二年十月十五日ヨリ左記電信電話取扱所ヲ設置ス

昭和十二年十月十一日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置
下金山（シモカナヤマ）電信電話取扱所	北海道石狩國空知郡南富良野村字下金山

◉遞信省告示第三千百七十三號

昭和十二年十月十四日限リ左記電信取扱所ノ電報配達事務ヲ廢止ス但シ當該所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記電信電話取扱所之ヲ承繼ス

昭和十二年十月十一日　遞信大臣　永井柳太郎

名稱	位置	承繼所
下金山電信取扱所	北海道石狩國空知郡南富良野村字下金山停車場（鐵道省）	下金山電信電話取扱所

◉遞信省告示第三千百七十四號

昭和十二年九月遞信省告示第二千七百八十四號ハ昭和十二年十月十日限リ之ヲ廢止セリ

昭和十二年十月十一日　遞信大臣　永井柳太郎

（參照）

昭和十二年九月三日遞信省告示第二千七百八十四號ハ當分北支那方面ニ對スル私用軍事小包郵便物ノ取扱ヲ爲サザル件ナリ

◉遞信省告示第三千百七十五號

電氣計器檢定規則第十條ノ規定ニ依リ檢定番號ニ冠スル檢定局所略名左ノ如シ

昭和十二年十月十一日　遞信大臣　永井柳太郎

檢定局所名	檢定局所略名	摘要
電氣試驗所	「電」「市」又ハ「東」	「市」ハ東京市電氣研究所「東」ハ社團法人電氣協會電氣計器東京試驗所ノ試驗ヲ經タルモノニ冠ス
電氣試驗所大阪出張所	「大」又ハ「西」	「西」ハ社團法人電氣協會電氣計器大阪試驗所ノ試驗ヲ經タルモノニ冠ス
同福岡出張所	「岡」又ハ「九」	「九」ハ社團法人電氣協會電氣計器福岡試驗所ノ試驗ヲ經タルモノニ冠ス
同福島出張所	「島」	
同名古屋出張所	「名」	
同廣島出張所	「廣」	

◉鐵道省告示第三百七十九號

銅線其ノ他ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月十一日　鐵道大臣　中島知久平

一品名　銅線、銅、亞鉛、アルミニウム、アルミニウム線、眞鍮線、眞鍮板
一發驛　日光、横濱港
一著驛　梅田、尼ケ崎、大里、日光、東横濱、横濱港
一扱種別　貨切扱
一期間　自昭和十二年十月十一日　至昭和十三年三月三十一日
一賃率　普通賃率ノ一割五分減
一條件　一般賃率ニ依リ通計五、〇〇〇噸以上託送シタルモノニ對シ四六〇噸ニ達シタル日ノ翌日以後ノ託送噸數ニ就キ省所定ノ手續（運輸帳表取扱手續）ニ依リ既收運賃ト本賃率ニ依ル運賃トノ差額ヲ拂戻スモノトス

◉鐵道省告示第三百八十號

昭和五年三月鐵道省告示第六十七號連帶運輸規則中左ノ通改正ス

昭和十二年十月十一日　鐵道大臣　中島知久平

第二十條第四號ロ中「臺灣交通局線、」ノ下ニ「臺灣東海自動車運輸株式會社線、」ヲ加フ

第二十一條第二項中「臺灣交通局線」ヲ「臺灣交通局線、臺灣東海自動車運輸株式會社線」ニ、「同鐵道線及航路内」ヲ「同鐵道線、自動車線及航路内」ニ孰モ改メ但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ朝鮮各鐵道線内ハ各鐵道線ヲ通ジ朝鮮鐵道局線ノ所定ニ依リ、臺灣内鐵道線及自動車線ハ鐵道及自動車線ヲ通ジ臺灣交通局線ノ所定ニ依リ算定ス

◉鐵道省告示第三百八十一號

昭和五年三月鐵道省告示第六十八號連帶運輸ヲ爲ス鐵道、軌道、航路及自動車竝連帶運輸ノ範圍中左ノ通改正シ昭和十二年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年十月十一日　鐵道大臣　中島知久平

第一條別表中(186)　赤穗鐵道株式會社線ノ部取扱種別欄但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ貨物ハ左記ノモノヲ取扱ハズ

一個ノ重量二噸又ハ容積五立方米ヲ超ユルモノ

◉鐵道省告示第三百八十二號

昭和十二年九月鐵道省告示第三百十八號支那事變ニ因ル出征者、應召者ノ家族、遺族ニ對スル政府拂下米ニ對シ貨物運賃割引方ノ件中左ノ通改正ス

昭和十三年十月十一日　鐵道大臣　中島知久平

左記中賃率ノ項ヲ左ノ如ク改ム

一賃率　省線及連帶線（樺太、朝鮮、滿洲内ノ各鐵道線、臺灣交通局線、留萌鐵道線、加太電氣鐵道線、稚内港本斗間、北鮮、鹽水大連、基隆、淡川高知間ノ各航路及關釜汽船會社航路ヲ除ク）　普通賃率ノ五割減

正誤

一昨九日遞信省告示第三千百四十九號位置中「北浦原郡」ハ「北蒲原郡」ノ誤植又同日公布勅令第五百八十二號（別表）備考第五號中省略シノシ。ノ字ハ印刷不鮮明ノ分モアルヘシ

敍任及辭令

◉昭和十二年八月十六日
正六位勳六等　新田愼一
敍從五位

◉昭和十二年十月六日
小笠原常光
今井勤
敍勳八等授白色桐葉章

海軍少佐從六位勳五等　榊原憲三
任海軍中佐

海軍兵曹長勳七等　中尾芳人
任海軍特務少尉

◉昭和十二年十月七日
從六位勳六等　綾野唯雄
正七位勳六等　柿昇
同　渥美光
同　大伊敏雄
從六位勳六等　松山寧
正六位勳六等　貴志鋭夫
同　多々良讓二
同　嶺瀧千安喜
同　手塚義太郎
正五位勳六等　矢野浩一
同　小板橋藤作
從五位勳六等　田中藤左衞門
正七位勳六等　石井岩雄
同　内山清次
正六位勳六等　幸田伴治郎
正七位勳六等　藪木幸一郎
從六位勳六等　本山武雄
從五位勳六等　高松和也
從六位勳六等　鈴田正忠
同　外池彌
同　上杉信次
正七位勳六等　三好嘉壽彦
從五位勳六等　大島六太郎
同　山森三郎

（各通）

從六位勳六等　宮原猪一郎
同　林誠
同　諸林一
同　森正道
同　古川敬次
同　大森喜三郎
同　石川八十吉
同　東平作
正七位勳六等　井狩康之助
正六位勳六等　志柿一雄
從六位勳六等　田口勇
同　近藤文治郎
正六位勳六等　原田嘉元
同　今村與作
同　馬場駿介
同　松島音治郎
正五位勳六等　鷲尾盤龍
同　野瀨正人
同　坂上丈三郎
同　村野爲次
同　砂治國良
同　和田重辰
從五位勳六等　小坂夏太
正五位勳六等　副見喬雄
同　松尾守治
同　山内義文
同　後藤弘毅
從五位勳六等　和氣覺次郎
正五位勳六等　佐々木敏一
從五位勳六等　松本恒太
正五位勳六等　高嶺昇
同　齋藤和三郎
從四位勳六等　田中太次郎
正五位勳六等　金子龜次郎
從五位勳六等　安藤弘之
同　小泉英一
同　濱田宗四郎
同　岡利裕
同　玉利薫
從四位勳六等　大岡保三
從五位勳六等　黒金厚美
同　内海一雄
同　長棟暉友
同　日比義三
同　長野嘉一
正五位勳六等　阿部謙夫
同　今井修
從五位勳六等　白井清香
正五位勳六等　西田正一
同　甲斐三郎
從五位勳六等　新里朝明
同　青木益太郎
正五位勳六等　佐々木利吉
從五位勳六等　森田冨士助
同　中尾徹
同　岩下雄三
正五位勳六等　三村剛昇
同　加藤常賢
正六位勳六等　金義鎬
正五位勳六等　岡田信三郎
從四位勳六等　岡田養宏

敍勳五等授瑞寶章

正八位勳七等功七級　山田光秋
正八位勳七等　池龜重作
正八位勳七等功七級　長田留男
正八位勳七等　田邊辰治郎
同　堤正義
同　杉山鶴市
同　堤清親
同　石橋傳
同　岡敬重
同　高畑壽夫
同　松田淳一
同　和田朝三
同　川口七郎
同　永田美里
同　山本秀雄
同　川野增夫
同　村上末夫
同　日高益實
同　山門精二
同　下園榮造
同　三浦慶吾
同　吉永末継
同　野村寅次
同　霜田正徳
同　大塚春雄
同　齊藤四郎
同　仲田彦榮
同　二本木利政
同　丸田正親
正八位勳七等功七級　佐藤光藏
正八位勳七等　田村光之祐
同　河村勇二郎
同　岸重治
同　山根庄三
勳七等　淸水國造
同　渡邊巽一
正八位勳七等　荒木田轟
同　戸野保
正八位勳七等功七級　小池正次
正八位勳七等　古澤義四郎
同　小野鶴次郎
同　松崎豊次
正八位勳七等功七級　北川三平
正八位勳七等　泊里善治
同　武井癸
同　柴山勝三郎
從七位勳七等　西山勇一
正八位勳七等　宮嶋清市
同　安藤加六
同　高橋德一
從七位勳七等　松江初一
正八位勳七等　宮城博
同　淸水領
正八位勳七等功七級　山田信一

官報　第三二三三號　昭和十二年十月十一日　月曜日

正八位勲七等　吉本　勇
同　滝本　一正
同　坪井近太郎
從七位勲七等　武田　信一
同　碓井　七郎
正八位勲七等　森本　陽
從七位勲七等　西尾栄太郎
正八位勲七等　鈴木　馨
同　西田　善吉
從七位勲七等　鎌澤　清六
同　佐々木文右衛門
同　大坪　良高
同　島津　利雄
正七位勲七等　村上光之助
從六位勲七等　八木原岩三郎
勲七等　岡崎　信吉
同　片岡　捨郎
從六位勲七等　久野　逸三
同　山根　政藏
正七位勲七等　帆北　英助
同　舩谷新一郎
同　林　實三
同　萱橋常太郎
正八位勲七等　大島　繁作
從七位勲七等　一ノ宮　進
同　上野　直衛
正七位勲七等　加藤　正三
同　鈴木竹次郎
同　小見山松弥
同　河瀬　友三
同　植村　勉
同　川路　泰作
同　村田　良順
從七位勲七等　岩田　忠實
正七位勲七等　畠山小一郎
同　墨子彌七郎
從七位勲七等　瀧口　實男
正八位勲七等　森　清
正七位勲七等　澤江敏太郎

(各通)

同　三嶋　本生
從七位勲七等　鈴木　章良
正八位勲七等　郡山益次郎
從七位勲七等　緒方喜久夫
同　市川　榮三
正八位勲七等　北田　清
同　小野　春藏
同　小倉　一二
正七位勲七等　田中　旦丸
正八位勲七等　時倉　節美
同　石田偉三郎
同　松田　三郎
同　矢野孝五郎
同　山口　德二
同　古郡　幹
同　北村　常三
同　立石　六助
同　香川　壽儀
同　稻村　榮吉
同　坂本　晃卓
同　沼澤　廣
同　野口　信
同　陶山　勝章
同　鷹尾　武士
同　坂根　披龍
同　坂口佐五郎
同　笠間　哲行
同　吉田　治作
同　佐々木利雄
同　小山浦之助
同　守屋　泰次
同　河野　榮次
同　松本　榮
正七位勲七等　今西德三郎
從七位勲七等　石井　專吾
同　林　八助
同　佐々木　扶
同　中村　榮
同　陣内市太郎

正七位勲七等　片桐　嚴
同　片岡　龍
同　三宅　定男
從七位勲七等　梅田　幸一
同　八木　富平
正七位勲七等功七級　石井文太郎
從七位勲七等　熊谷　恒外
勲七等功七級　松尾　純一
正七位勲七等　山東　登
從七位勲七等　大塚　純一
同　稻垣忠次郎
正七位勲七等　島崎　常雄
從七位勲七等　藤本彌十郎
正七位勲七等　若崎小三郎
正六位　秋山峰三郎
從六位　藤井宇多治郎
同　清水　實
正七位　長瀬　ゆき
正六位　神田襄太郎
同　永岩　彌生
同　尾形　昭二
同　工藤　忠夫
同　山口　巖
同　石川　實
從五位　金子源一郎
同　内村　三郎
同　加藤　伴平
同　柳川　久雄
同　西井　一孝
正六位　小森　弘業
同　渡邊　瑞美
同　淺野　靈麟
同　島崎米次郎
從六位　前田　善教
從五位　新　敏雄
正六位　石岡　逸郎
正五位伯爵　大村　純毅
從六位　村瀬　辰治

敍勲六等授瑞寶章

正七位　横井喜代藏
同　喜多　俊三
同　齊藤　武夫
同　高島　德藏
同　林　忠明
從六位　山本　源一
正六位　雀部　綾三
同　國富　信夫
同　廣瀬　通
同　土井　一夫
同　植田　律嵐
同　西川　精開
從五位　小野島行忍
同　都築　東作
從四位　奥田寛太郎
從五位　佐々木林治郎
同　香川　冬夫
同　高須　晃六
同　志賀　悌輔
同　岩本　秀雅
同　石田八洲雄
同　井上以智爲
同　池田　英苗
同　伊藤　貞治
同　御園生桂三郎
同　栗岡　龜治
同　福士　百衛
同　長岐　朗吉
同　吉野　中
同　青木　興吉
正六位　永田　謙一
同　山本　磯治
同　白石　一郎
同　今野小一郎
同　杉山　佐市
同　鈴木　明治
同　庄司　雄吉

◉昭和十二年十月九日

營林局事務官正五位勲四等　村上冨士太郎
任農林省畜産局長
敍高等官二等
農林省畜産局長陸軍主計少尉正四位勲四等　細川　利壽
任農林省蠶絲局長
敍高等官二等
農林書記官正五位勲五等　吉田　清二
任馬政局事務官
敍高等官二等
同　平岡　梓
任營林局事務官
敍高等官二等
農林技師從四位勲三等　貴島　圭三
同　高松　博
(各通)
農林技師從四位勲四等　杉浦　翠
農林技師從四位勲五等　釘本　昌二
陞敍高等官二等
正三位勲二等　永井　潜
任臺北帝國大學教授兼臺灣總督府中央研究所技師
敍高等官一等
宮内屬正七位勲七等　龜井　弘
任帝室林野局事務官補
敍高等官七等
陵墓守長從七位勲八等　小泉　演
任陵墓監
敍高等官七等
大藏屬兼財務書記　原　純夫
同　下原　潔
專賣局書記兼財務書記　下村　治
(各通)
任大藏事務官
敍高等官七等
陸軍砲兵技術准尉正七位勲六等　下城　幹義
任陸軍砲兵少尉
馬政局事務官從五位勲六等　石井英之助
任農林書記官
敍高等官三等

農林事務官正六位　笹山茂太郎
兼任農林書記官
敍高等官四等
生絲檢査所事務官兼農林事務官陸軍砲兵少尉從五位　久保　吉造
任農林事務官兼農林書記官
敍高等官三等
營林局事務官從六位　溝江　誠
任農林事務官
敍高等官五等
馬政局事務官從七位　石川　武平
營林局事務官從七位　大谷一太郎
同　戸嶋　芳雄
(各通)
任農林事務官
敍高等官七等
農林事務官兼農林書記官陸軍主計少尉從五位　山口　立
任馬政局事務官
敍高等官三等
帝室林野局事務官從六位　小津　茂郎
任馬政局事務官
敍高等官五等
種馬所技師從四位勲四等　岡村　眞二
任馬政局技師
敍高等官三等
農林屬　井上稀有丸
任營林局事務官
敍高等官七等
農林事務官從五位　佐野　憲次
任生絲檢査所事務官兼農林事務官
敍高等官三等
馬政局技師兼農林技師從四位勲四等　横屋　潤
任種馬牧場技師
敍高等官三等
種馬牧場技師從四位勲四等　堀　三悌
任種馬所技師
敍高等官三等
貯金局書記官從五位勲六等　前田　穰
任遞信書記官
敍高等官三等

朝鮮總督府農事試驗場技師從五位勲六等　三須　英雄
兼任朝鮮總督府技師
敍高等官三等
朝鮮總督府農事試驗場技師從七位　久納　佑孚
兼任朝鮮總督府技師
敍高等官七等
朝鮮總督府遞信書記　李　榮巻
任朝鮮總督府郡守
敍高等官七等
朝鮮公立高等女學校教諭從六位　黒沼　恒治
任朝鮮公立中學校教諭
敍高等官五等
朝鮮公立中學校教諭從七位勲七等　岩下　榮吉
任朝鮮公立高等女學校教諭
敍高等官七等
朝鮮總督府水原高等農林學校助教授陸軍步兵少尉正八位勲八等　松岡　哲仙
任朝鮮公立實業學校教諭
敍高等官七等
臺灣總督府臺北高等商業學校助教授　伊大知良太郎
任臺灣總督府臺北高等商業學校教授
敍高等官七等
臺灣公立中學校教諭陸軍步兵少尉正八位　五十川弘藏
任臺灣公立中學校教諭
敍高等官七等
臺灣公立實業學校教諭　横畑　護
任臺灣公立實業學校教諭
敍高等官七等
關東醫院醫員陸軍軍醫少尉正八位　西川　襄
任關東醫院醫官
敍高等官七等
第六高等學校教授正五位勲六等　中島　信一
兼任地方視學官
敍高等官四等
師範學校教諭從七位　樋渡卯左衛門
公立中學校長兼公立中學校教諭ニ任ス
高等官六等ヲ以テ待遇セラル

師範學校教諭正六位　及川俊次郎
公立高等女學校長ニ任ス
高等官四等ヲ以テ待遇セラル
公立高等女學校長正六位　及川俊次郎
公立高等女學校教諭ニ兼任ス
高等官五等ヲ以テ待遇セラル
農林技師兼林業試驗場技師　貴島　圭三
免兼官
農林技師　片岡　謙
同　石崎　芳吉
同　明石　弘
馬政局事務官　永松　陽一
(各通)
依願免本官
種馬牧場技師　横屋　潤
勅任官ヲ以テ待遇セラル
企畫廳調査官　粟原美能留
陞敍高等官三等
內務書記官　清水　重夫
內閣情報部委員被仰付
海軍少佐　扇　一登
(各通)
鐵道省事務官兼國際觀光局事務官　津田　弘孝
內閣情報部情報官被仰付
農林事務官兼農林書記官　西村　彰一
免本官專任農林書記官
朝鮮總督府郡守　申　昌燮
依願免本官
土木技師兼道路技師　船崎惣之助
陞シテ高等官三等ヲ以テ待遇セラル
道路技師兼土木技師　鈴木　信一
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル
公立中學校長兼公立中學校教諭　佐藤　昌
公立高等女學校長兼公立高等女學校教諭　大矢　泰英
(各通)
願ニ依リ本職竝兼職ヲ免ス
朝鮮產業技師　青木　三郎
同　齋藤　喜重
(各通)
願ニ依リ本職ヲ免ス
群山神社社掌　杉野　清透
奏任官ヲ以テ待遇セラル(以上內閣)

正三位勲三等伯爵　樺山　愛輔
白耳義國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「グラン、オフォシエー、クーロンヌ」勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
青木　節一
白耳義國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「オフォシエー、クーロンヌ」勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
陸軍騎兵中佐從五位勲四等　藤田　茂
佛蘭西國政府ヨリ贈與シタル「オフォシエー、ド、ロルドル、ナショナル、ド、ラ、レジョン、ドノール」勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
宮內事務官正五位勲五等　谷口利三郎
陸軍航空兵少佐從六位勲五等　和氣　久夫
（各通）
辻　德三郎
佛蘭西國政府ヨリ贈與シタル「シュヴァリエー、ド、ロルドル、ナショナル、ド、ラ、レジョン、ドノール」勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
荒井　彥宗
伊太利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「オフィシエー、クーロンヌ」勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
從四位勲二等　長岡隆一郎
滿洲國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勲一位柱國章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
特命全權公使從四位勲二等　白鳥　敏夫
諾威國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「グラン、クロア、サン、オラフ」勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
陸軍步兵少佐從六位勲五等　荒尾　興功
ポーランド國政府ヨリ贈與シタル「シュヴァリエー、オドロゼニア、ポルスキー」勲章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
外務書記生從七位勲七等　福岡　章
ポルトガル國政府ヨリ贈與シタル赤十字奉仕章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル
（以上賞勲局）

故海軍中佐正六位勲六等　新田　愼一
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル
帝室林野局事務官補　亀井　弘
賜五級俸但シ年俸二千四百圓
依願免本官
陵墓監　小泉　演
依願免本官
年俸二千二百圓下賜但シ昭和八年皇室令第二號第四條ニ依ル
依願免本官（以上宮內省）
大使館參事官　井上庚二郎
外務省歐亞局長東鄕茂德不在中同局長代理ヲ命ス
外務事務官　朝海浩一郎
中華民國ヘ出張ヲ命ス（以上外務省）
內務事務官　安中　忠雄
七級俸下賜
計畫局勤務ヲ命ス
同　江口見登留
九級俸下賜
警視廳事務官　保岡　武久
八級俸下賜
警務部勤務ヲ命ス
警視廳警視　原田　正
警務部勤務ヲ命ス
同　小野　裕
九級俸下賜
補高輪警察署長
同　佐藤　文雄
補鳥居坂警察署長
同　田部　亀一
補富坂警察署長
同　宗前　清
補本富士警察署長
地方事務官　山口　一夫
九級俸下賜
京都府勤務ヲ命ス
同　丹羽　寒月
九級俸下賜
大阪府勤務ヲ命ス

同　長瀨　英一
神奈川縣勤務ヲ命ス
同　亀井　光
九級俸下賜
兵庫縣勤務ヲ命ス
同　中川　幸雄
九級俸下賜
群馬縣勤務ヲ命ス
同　松岡　敎之
九級俸下賜
千葉縣勤務ヲ命ス
同　太田　政明
同　高辻　正巳
（各通）
九級俸下賜
三重縣勤務ヲ命ス
同　飼手　眞吾
九級俸下賜
愛知縣勤務ヲ命ス
同　池田　正雄
九級俸下賜
長野縣勤務ヲ命ス
同　西岡　太郎
廣島縣勤務ヲ命ス
同　村井　順
九級俸下賜
福岡縣勤務ヲ命ス
福知山市會議員　菅沼　岩藏
同　竹下長右エ門
同　田中庄太郎
同　奥田佐治兵衛
（各通）
都市計畫京都地方委員會委員ヲ命ス
兵庫縣川邊郡川西町助役　前田良太郎
都市計畫兵庫地方委員會幹事ヲ命ス
島根縣那賀郡濱田町會議員　波多伊三郎
同　小川　孝祐
島根縣美濃郡益田町會議員　木島　好之
（各通）
都市計畫島根地方委員會委員ヲ命ス
倉敷市會議員　安井甚太郎
都市計畫岡山地方委員會委員ヲ命ス（以上內務省）

大藏事務官　下村　治
同　原　純夫
（各通）
九級俸下賜
理財局勤務ヲ命ス
同　下原　潔
九級俸下賜
爲替局勤務ヲ命ス
銀行檢查官　吉村　成一
株式會社日本興業銀行監理官ヲ命ス（以上大藏省）
銀行檢查官　吉村　成一
商工組合中央金庫監理官ヲ命ス（大藏省、商工省）
大阪地方裁判所檢事兼大阪區裁判所檢事　安井　榮三
同　勝山　內匠
（各通）
補大阪控訴院檢事
大阪控訴院檢事　藤田　三郎
補大阪地方裁判所檢事兼大阪區裁判所檢事
名古屋地方裁判所檢事兼名古屋區裁判所檢事　正岡　正延
補名古屋控訴院檢事
富山區裁判所檢事兼富山地方裁判所檢事　佐藤　菅人
補金澤區裁判所檢事兼金澤地方裁判所檢事
仙臺區裁判所檢事兼仙臺地方裁判所檢事　增田　昇平
補仙臺區裁判所檢事兼仙臺地方裁判所檢事
金澤區裁判所檢事兼金澤地方裁判所檢事　高井麻太郎
補岐阜區裁判所檢事兼岐阜地方裁判所檢事
仙臺區裁判所檢事兼仙臺地方裁判所檢事　三堀　博
補東京區裁判所檢事兼東京刑事地方裁判所檢事
秋田區裁判所檢事兼秋田地方裁判所檢事　上山　義昭
補仙臺地方裁判所檢事兼仙臺區裁判所檢事
豫備檢事（名古屋）　近藤　忠雄
補富山區裁判所檢事兼富山地方裁判所檢事
十級俸下賜
豫備檢事（東京）　廣瀨　晋
補秋田區裁判所檢事兼秋田地方裁判所檢事
十級俸下賜（以上司法省）

公立中學校長兼公立中學校教諭　樋渡卯左衛門
花卷中學校長兼花卷中學校教諭ニ補ス
公立高等女學校長兼公立高等女學校教諭　及川俊次郎
岩手縣立水澤高等女學校長兼岩手縣立水澤高等女學校教諭ニ補ス（以上文部省）
農林省畜産局長　村上富士太郎
畜産局支出官ヲ命ス
畜産局歲入徵收官ヲ命ス
畜産局出納命令官ヲ命ス
畜産局政府保管有價證券取扱主任官ヲ命ス
農林省蠶絲局長　細川　利壽
蠶絲局支出官ヲ命ス
蠶絲局歲入徵收官ヲ命ス
蠶絲局出納命令官ヲ命ス
蠶絲局政府保管有價證券取扱主任官ヲ命ス
農林技師　片岡　謙
同　石崎　芳吉
同　明石　弘
同　高松　博
同　杉浦　翠
（各通）
賜一級俸
同　貴島　圭三
賜三級俸
馬政局事務官　吉田　淸二
賜二級俸
馬政局總務課長ヲ命ス
營林局事務官　平岡　梓
賜二級俸
大阪營林局長ヲ命ス
農林次官　井野　碩哉
農林省蠶絲局長事務取扱ヲ免ス
農林技師　川原　信次
農務局耕地課長ヲ命ス
農林書記官　石井英之助
農務局肥料課長ヲ命ス
同　岡本　直人
一級俸下賜
山林局林政課長ヲ命ス

農林事務官　岡本　直人
山林局勤務ヲ命ス
農林書記官　西村　彰一
二級俸下賜
水産局漁政課長ヲ命ス
同　須田　立
水産局海洋課長ヲ命ス
農林技師　田口　敎一
畜産局畜産課長ヲ命ス
農林書記官　山添　利作
蠶絲局絲政課長ヲ命ス
農林事務官　山添　利作
蠶絲局勤務ヲ命ス
農林技師　永井　治良
蠶絲局蠶業課長ヲ命ス
農林書記官　寺田　省一
經濟更生部金融課長ヲ命ス
農林事務官　寺田　省一
經濟更生部勤務ヲ命ス
農林書記官　久保　吉造
經濟更生部副業課長ヲ命ス
農林事務官　久保　吉造
三級俸下賜
經濟更生部勤務ヲ命ス
農林書記官　笹山茂太郎
經濟更生部販賣改善課長ヲ命ス
農林事務官　笹山茂太郎
經濟更生部勤務ヲ命ス
馬政局事務官　山口　立
二級俸下賜
馬政局競馬監督課長ヲ命ス
馬政局技師　佐々田伴久
馬政局馬産課長ヲ命ス
農林事務官　阿部　光寬
農務局勤務ヲ命ス
同　戸嶋　芳雄
九級俸下賜
農務局勤務ヲ命ス
同　石川　武平
十級俸下賜
農務局勤務ヲ命ス

同　溝江　誠
五級俸下賜
山林局勤務ヲ命ス
同　小山　正時
蠶絲局勤務ヲ命ス
同　大谷一太郎
九級俸下賜
米穀局勤務ヲ命ス
馬政局事務官　小津　茂郎
八級俸下賜
馬政局技師　岡村　貞二
二級俸下賜
營林局山林事務官　飯島　浩
秋田營林局庶務課長心得ヲ命ス
營林局事務官　井上稀有丸
十級俸下賜
熊本營林局在勤ヲ命ス
生絲檢查所事務官　佐野　憲次
三級俸下賜
橫濱生絲檢查所在勤ヲ命ス
農林事務官　佐野　憲次
橫濱輸出生絲登錄所長兼蠶絲局勤務ヲ命ス
種馬牧場技師　橫屋　潤
一級俸下賜
日高種馬牧場長ヲ命ス
同　清水　清氏
奥羽種馬牧場長ヲ命ス
種馬所技師　堀　三悌
二級俸下賜
十勝種馬所長ヲ命ス
同　影山常太郎
岩手種馬所長ヲ命ス（以上農林省）
遞信局書記官　堀　雄一
熊本遞信局保險課長兼務ヲ命ス（遞信省）
公立實業學校教諭　渡邊季握成
年功加俸年額百九拾貳圓下賜（東京府）
同　千原　三郎
年功加俸年額九拾六圓下賜（同）
師範學校教諭　室岡　孝治
四級俸下賜

公立高等女學校教諭　大和田愛羅
五級俸當分年俸千九百四拾圓下賜
師範學校教諭　坂上　隆一
同　谷池　茂雄
（各通）
六級俸當分年俸千七百八拾圓下賜
公立高等女學校教諭　宮田　晋策
六級俸當分年俸千七百五拾圓下賜
同　田中　捨彥
七級俸當分年俸千五百參拾圓下賜（以上同）
公立中學校教諭　舘山　一
年功加俸年額百四拾四圓下賜（同）
公立高等女學校教諭　荒木　てる
六級俸當分年俸千六百八拾圓下賜（京都府）
地方商工技師　藤原　敎
十級俸下賜（新潟縣）
地方農林技師　小柳　石男
十一級俸下賜（同）
公立中學校長　山本　正雄
昭和十一年四月一日ヨリ年功加俸年額百九拾貳圓下賜（千葉縣）
師範學校教諭　尾崎庸四郎
昭和十一年八月二十九日ヨリ年功加俸年額百四拾四圓下賜（同）
公立實業學校教諭　高橋　文平
昭和十二年五月二十日ヨリ年功加俸年額百四拾四圓下賜（同）
公立實業學校長　井口　夘吉
昭和十二年五月二十二日ヨリ年功加俸年額九拾六圓下賜（同）
公立中學校教諭　細田　菊雄
昭和十二年五月三十日ヨリ年功加俸年額九拾六圓下賜（同）
公立實業學校教諭　川名　忠藏
年功加俸年額貳百壹圓下賜（同）
公立高等女學校教諭　生沼　澄郎
年功加俸年額百九拾貳圓下賜（同）

公立實業學校長　池見　利夫
年功加俸年額百四拾四圓下賜（十月一日同）
公立中學校教諭　村井　彌六
公立高等女學校教諭　下村　弘毅
年功加俸年額百四拾四圓下賜（十月一日同）
公立實業學校長　杉山　昌治
八級俸下賜（十月一日靜岡縣）
公立高等女學校教諭　鈴木明保治
八級俸常分俸千圓下賜（十月一日同）
公立實業學校教諭　齋藤　太郎
八級俸常分俸千四下賜
同　齋藤　勝二
同　佐藤　己巳
八級俸常分俸千下賜
同　原田　和
八級俸常分俸千參下賜
同　竹內多祐治
八級俸常分俸千下賜（以上十月一日同）
公立實業學校教諭　坂部　金五
五級俸下賜（十月一日山形縣）
地方商工技師　立石　秋男
十級俸下賜（十月一日關井縣）
地方農林主事　川尻　健二
十級俸下賜（十月一日石川縣）
公立中學校教諭　横山伊勢男
七級俸常分千五百下賜（十月一日宮崎縣）
公立高等女學校教諭　池間　惠長
年功加俸年額金百四拾四圓下賜
同　許田　操
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜（以上十月一日沖繩縣）
公立中學校教諭　山下　靜造
年功加俸年額金百四拾四圓下賜（十月一日同）

彙報

○官廳事項

◉處務規程中改正　石川縣ニ於テ本月六日處務規程中防空法ノ公布ニ伴ヒ事務分掌一部改正セリ

◉本邦駐箚ポーランド國公使昇任　本邦駐箚ポーランド國特命全權公使タッデ、ドロメールハ本月一日附ヲ以テ本邦駐箚同國特命全權大使ニ昇任セラレ在本邦同國公使館ハ同日附ヲ以テ大使館ニ昇格セラレタル旨同大使ヨリ同日附書翰ヲ以テ通知アリタリ

◉增俸　主事通信技手宜寿榮貳ハ去月三十日月俸百六拾圓ニ敍セラル

◉退職　山口縣公立小學校長松井敏造、同嶺尾哲太郎、同岩崎卓一ハ本年八月三十一日、鹿兒島縣公立小學校長脇岡猛ハ去月十六日、埼玉縣公立小學校長齋藤直次郎ハ同二十日、福島縣公立小學校長田中農夫也ハ同三十日孰モ願ニ依リ退職ノ命セラレタリ

◉官吏卒去及死去　後備役海軍大佐正五位勳三等功五級豊島二郎ハ去月六日、豫備役同軍醫大佐正五位勳三等六川新吉ハ同十日、後備役同機關大佐正五位勳三等小川信彦ハ同十七日孰モ卒去シ同少佐正六位勳四等佐々木竹四郎ハ同二日、退役同主計中佐正六位勳四等宇野鼎衛ハ同三日、同海軍少佐正六位勳四等西田德次ハ同九日孰モ死去セリ

○褒賞

◉褒狀下賜　公益ノタメ私財ヲ寄附セシ廉ヲ以テ昭和十二年十月二日褒狀ヲ下賜セラレタル者左ノ如シ（實業局）

朴宰柱

昭和十二年三月財團法人朝鮮鎭防協會基金トシテ金六千圓寄附スル仍テ褒章條例ニ依リ之ヲ褒彰セラル

琿鐘彩

昭和十二年四月財團法人朝鮮鎭防協會基金トシテ金三千圓寄附ス（以下前同文）

昭和十二年五月財團法人朝鮮鎭防協會基金トシテ金二千圓寄附ス（以上前同文）
昌鎭
昭和十一年二月財團法人朝鮮鎭防協會基金トシテ金一千二百圓寄附ス（以下前同文）
載國
昭和十二年四月財團法人朝鮮鎭防協會基金トシテ金一千二百圓寄附ス（以下前同文）
星圭
昭和十年十一月財團法人朝鮮鎭豫防協會基金トシテ金一千圓寄附ス（以下前同文）
仲然
昭和十一年三月財團法人朝鮮鎭防協會基金トシテ金一千圓寄附ス（以下前同文）
龜範
昭和十一年二月財團法人朝鮮鎭豫防協會基金トシテ金一千圓寄附ス（以下前同文）
光表
昭和十二年四月財團法人朝鮮鎭豫防協會基金トシテ金一千圓寄附ス（以下前同文）
孫太郎
昭和十年十一月朝鮮慶尙北道浦項公立尋常高等小學校增築費金一千圓寄附ス（以下前同文）
和
昭和十二年三月朝鮮平安北道新義州公立女子高等普通學校設立費金一千圓寄附ス（以下前同文）
惟和
昭和十年十一月朝鮮慶尙北道浦項公立尋常高等小學校增築費金一千五百圓寄附ス（以下前同文）
玄俊鎭
昭和九年六月朝鮮全羅南道光州第一公立普通學校建築費金一千百二十圓寄附ス（以下前同文）
金東燮
昭和五年四月朝鮮京畿道古三公立普通學校新築費金二千圓寄附ス（以下前同文）
故吳子鏞遺族
吳建基
昭和十年三月朝鮮全羅南道和順郡同福面社會事業基本金トシテ金二千五百圓寄附ス（以下前同文）
昭和十一年十二月社團法人日本赤十字社大阪支部病院看護婦寄宿舍附屬棄室建築費金一千圓寄附ス（以下前同文）
（各道）
昭和九年八月日本赤十字社大阪支部病院看護婦寄宿舍附屬棄室建築費金一千圓寄附ス（以下前同文）
橋本　喜代枝
昭和十二年七月樺太立澤海峽帝國高等小學校建築費金トシテ金二千圓寄附ス（以下前同文）
樺太寒天合資會社
昭和十一年八月臺灣基北州淡水街社會事業及社會教育費竝活動寫眞機購入費金五千圓寄附ス（以下前同文）
株式會社朝日新聞社
（各道）
株式會社大阪每日新聞社
昭和九年七月帝國在鄉軍人會館維持費金トシテ金一千圓寄附ス（以下前同文）
佐畑消防後援會
昭和十一年四月樺太敷香郡敷香町公設敷香消防組第十部自動車庫購入費金トシテ金一千圓寄附ス（以下前同文）

○陸海軍

◉陸軍士官學校移轉　陸軍士官學校ハ本月一日神奈川縣高座郡座間村ニ移轉シ同日ヨリ事務ヲ開始セリ（陸軍省）

◉陸軍士官學校分校設置　陸軍士官學校分校ハ本月一日埼玉縣入間郡所澤町ニ設置同日ヨリ事務ヲ開始セリ（陸軍省）

◉接傷役編入　豫備役歩兵機關少佐今井佐吉ハ去月一日、同主計大佐齋代興三ハ同六日、同海軍大佐猪原露一ハ同七日、同中尉上妻廣ハ同十日、同軍醫大佐上村淺次郎ハ同十三日、同海軍大佐猪瀨乙彥ハ同十四日、同渡邊三郎ハ同十五日、同水路大佐廣城國雄ハ同十九日、同海軍大佐入江潤平ハ同二十一日、同機關大佐加藤廉、同軍醫少佐坂田忠作ハ同二十三日、同機關大佐竹內直輔ハ同二十四日、同海軍大佐石橋三郎、同機關大佐櫻井武雄ハ同二十七日、同海軍大佐邊見辰彥ハ同二十八日、同鈴川彥太郎ハ同三十日孰モ後備役ト爲レリ（海軍省）

◉候補者退隊　補充兵第一聯隊ニ分遣ノ第四期下士官候補者左記百三十六人修學終了ニ付去月二十七日退隊セリ（陸軍省）

陸軍輜重兵上等兵　長塚　憲司
同　小森谷俊雄
同　磯山　高識
同　新海　英雄
同　山中　正己
同　石川　正雄
同　杉山　俊雄
同　井浦　嘉作
同　田平　靜男
同　星　太三郎
同　菅原文三郎
同　北畠　忠仁
同　岡部　亮平
同　柴田　久雄
同　大野　正仁
同　宮本　榮男
同　細見　清
同　柳谷　義三
同　奥園　數夫
同　石本　傳作
同　鄽田　義雄
同　衆石　實親
同　山本　耀一
同　高城　久
同　高本　盛男
同　川影　隆一
同　廣津留良一
同　津司　唯男
同　望月　健壽
同　山崎　壽雄
同　細谷　賢吾
同　阿部　彥三
同　鐘田　廣志
同　佐藤四平太
同　出村外志雄
同　多賀　正
同　太田　孔信
同　中澤　陽
同　溜川　辰雄
同　野口　磐雄
同　飯島　長雄
同　飯塚愛之助
同　堀坂茂壽美
同　大久保忠雄
同　渡邊　由吉
同　渡邊　榮雄
同　三部　定治
同　鈴木　行
同　鈴木　茂
同　伊藤　人
同　光井　務
同　小林　義三
同　岡　龍興
同　湊　喜代治
同　戶村　治
同　柳生　義夫
同　松村　再生
同　久永　正雄
同　太久保重雄
同　中岡　重雄
同　有山　操
同　森山　嘉次
同　黑田　敏夫
同　飯島　章
同　佐藤　傳
同　秋元　豊明
同　清澤　清吉
同　米內　業德
同　佐藤　多一
同　工藤壽三郎
同　小寺　倘
同　櫃本　佑三
同　福田　寅
同　中西　清敏
同　內山清太郎
同　安良城惠正
同　藤平　武聰
同　越山　英夫
同　道祖尾貫之
同　駒波　一三
同　進藤　春雄
同　平井　宗晴
同　牧野　熏
同　清水　達夫
同　山下　猛
同　宗安　信義
同　纐纈　覺一
同　藤田　進
同　西山　長男
同　須藤　平
同　熊木　辰己
同　牧田　龜信
同　梅川　義之
同　荒木　登
同　萩原　松雄
同　中澤　久雄
同　塚本　精雄
同　辻　日出夫
同　佐田野卓男
同　河井　壽雄
同　笠田　盈
同　小川　育夫
同　坂根　豊
同　金子　卓
同　川崎　忠作
同　岡本　茂治
同　佐內　憲正
同　瀧池龍之助
同　稻倉　勇
同　江口　操
同　林　竹男
同　井上　憲雄
同　藤田新三郎
同　山本　直藏
同　川元　正二
同　井澤　金次
同　秋田　清
同　藪本　繁雄
同　毛利　張
同　澤村　登
同　松本　知章
同　山口　金藏
同　藤村喜代美
同　有吉　重夫
同　森光　輝男
同　山中　靖雄
同　今溝　實
同　岩本　德平
同　大橋四郎
同　衣川　定吉
同　小牧　健二
同　坪田　勝雄
同　松本　芳一
同　種田　悟一
同　渡邊　信夫
同　志賀　清二
同　宮司　肇
同　大依綱五郎
同　天野勝之進
同　荒井　助次
同　石永　宙男
同　吉岡龍三郎
同　齋藤　道雄
同　末岡　榮
同　牧野　熏
同　清水　達夫
同　山下　猛
同　宗安　信義
同　纐纈　覺一
同　藤田　進
同　西山　長男
同　須藤　平
同　熊木　辰己
同　牧田　龜信
同　梅川　義之
同　荒木　登
同　萩原　松雄
同　中澤　久雄
同　塚本　精雄
同　辻　日出夫
同　佐田野卓男
同　河井　壽雄
同　笠田　盈
同　小川　育夫
同　坂根　豊
同　金子　卓
同　川崎　忠作
同　岡本　茂治
同　佐內　憲正
同　瀧池龍之助
同　稻倉　勇
同　江口　操
同　林　竹男
同　井上　憲雄
同　藤田新三郎
同　鎌澤　末吉
同　村田　勇
同　倉持　虎雄
同　增田　喜夫
同　小島　利一
同　新井　三郎
同　北村　昌晴
同　首藤　辰雄
同　森本　正行
同　平澤　仁平
同　宇都宮春季
同　山脇　時雄
同　古都　譲
同　小清水英次郎
同　佐藤　成美
同　濟潤　善雄
同　進藤　春雄
同　中西　清敏
同　內山清太郎
同　安良城惠正
同　藤平　武聰
同　越山　英夫
同　道祖尾貫之
同　駒波　一三
同　進藤　春雄
同　平井　宗晴

◉輸出組合設立認可　本月六日附ヲ以テ機織對印雜貨輸出組合及神戶對印雜貨輸出組合ノ設立ヲ孰モ認可セリ其大要左ノ如シ（商工省）

一名　稱　機織對印雜貨輸出組合
一目　的　英領印度、錫蘭、緬甸、「ブータン」、「ネパール」及「アフガニスタン」ニ對スル雜貨ノ輸出振興ヲ圖ル爲共同ノ施設ヲ爲スコト

一名　稱　神戶對印雜貨輸出組合
一目　的　雜貨ノ英領印度、緬甸及錫蘭ニ對スル輸出貿易ノ振興ヲ圖ル爲共同ノ施設ヲ爲スコト

一地　區　兵庫縣一圓
一事務所所在地　神戶市

◉入學許可　東京高等工藝學校ニ於テ本月一日工業學校實習指導員養成科ニ入學ヲ許可セシ者ノ氏名左ノ如シ（文部省）

伊藤　賴幸
井川　忠雄
長田　駒治
米山　信
田中　禮三
入野　參三
堀口　五郎
金子　廣治
吉田　義夫
高村富士雄
石原　博
千葉　武
柿本　秋巳
吉田　孝
武田　正男

○學事

帝國議會

○貴族院

◉勇爵議員當選　男爵柴山昌生貴族院議員補闕選舉ニ當選セシ旨去月二十五日男爵選舉管理者ヨリ通知ヲ領セリ

◉議員薨去及弔辭　貴族院議員多嘉王殿下本月一日薨去ニ付同六日左ノ弔辭ヲ奉呈セリ

貴族院ヘ議員神宮祭主造神宮使大勳位多嘉王殿下ノ薨去ヲ追悼シ奉リ恭シク弔辭ヲ奉呈ス

地方行政

◉名譽職參事會員補闕　宮城縣ニ於テ名譽職參事會員佐々木吉四郎本月二日失格ニ付同補充員安久津庄二郎ヲ以テ補闕セリ（宮城縣）

觀象

◉全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣壓ノ單位ハ粍ニシテ、米國ノ氣象臺ニ於ケル海面氣壓ニ換算スル爲メ其ノ示度ニ或ル修正ヲ加ヘタリ

十月七日

地名	氣壓（粍）	風向	風速（米）	天候	雨量（粍）
稚内	761.4	西	2	曇	—
網走	762.6	北西	8	晴	5
根室	765.5	北東	5	曇	2
函館	766.7	北東	9	雨	9
寒冷	767.5	北東	4	晴	—
大分	767.5	北東	4	晴	—
多度津	768.1	北東	8	晴	13
鹿兒島	767.7	北北東	8	曇	1
宮崎	767.7	北北東	4	曇	8
大阪	767.3	北北西	4	曇	—
名古屋	766.8	東北東	5	曇	16
銚子	767.6	東北東	8	曇	14
東京	767.6	東	4	曇	4
仙臺	766.7	北西	6	曇	1
秋田	765.8	北西	7	曇	—
酒田	766.2	北北西	7	曇	—
輪島	765.8	北	9	曇	—
新潟	766.8	西南西	9	雨	1
高田	766.6	西南西	8	曇	—
金澤	766.1	北	2	曇	—
福井	767.2	北北西	4	曇	1
名古屋	767.8	北西	3	曇	—
新潟	767.3	北西	10	曇	3
秋田	766.8	北	8	曇	2
青森	765.0	北北西	9	曇	—
函館	765.2	西南西	1	曇	—
網走	766.1	西南西	5	曇	—
根室	764.7	東南東	1	曇	—
札幌	765.0	北西	4	曇	—
旭川	762.8	西	2	曇	—

根室	760.9	北西	11	11.9	快晴	—
大泊	759.7	西北西	8	11.0	快晴	—
釜山	767.9	北東	5	18.6	曇	3
仁川	768.4	東北東	4	16.5	曇	—
元山	769.9	北	2	15.7	薄曇	—
城津	769.7	南南西	5	16.5	快晴	—
新義州	768.9	北北西	2	14.8	薄曇	—
大連	767.4	南南東	7	18.3	曇	—
奉天	765.9	南南西	7	16.9	曇	5
新京	764.7	南	2	15.1	晴	5
天津	764.7	南	5	18.6	曇	—
青島	—	—	—	—	—	—
上海	764.4	東北東	9	17.8	雨	45

◉東京氣象

十月七日　天氣概況　曇一時晴

平均氣壓(海面ノ度)	七六五・六粍	平均水蒸氣張力	七・六粍
平均氣溫	一七・八度 平年ヨリ〇・五度低シ	平均雲量	八・一
最高氣溫	二一・四度	日照時間	八・〇時
最低氣溫	一四・五度	平均風速度	四・三米
前五日間平均氣溫	二〇・〇度 平年ヨリ二・四度高シ	最大風速度	七・二米
		最多風向	北
平均濕度	五〇%	降水總量	—
		一時間最大降水量	—

記事　—

(以上中央氣象臺)

土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　千葉縣

事業ノ種類　用水路新設

起業地　千葉縣東葛飾郡松戶町地內

右公告ス

昭和十二年十月十一日　內務大臣　馬場鍈一

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　奈良縣知事

事業ノ種類　道路改築

起業地　奈良縣宇陀郡榛原町地內

右公告ス

昭和十二年十月十一日　內務大臣　馬場鍈一

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ニ關スル所有權以外ノ權利ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　東京府東京市淀橋區

事業ノ種類　學校擴築

起業地　東京府東京市淀橋區柏木四丁目地內

右公告ス

昭和十二年十月十一日　內務大臣　馬場鍈一

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　愛知縣名古屋市

事業ノ種類　區役所建設

起業地　愛知縣名古屋市中村區米野町地內

右公告ス

昭和十二年十月十一日　內務大臣　馬場鍈一

廣告

◉工場財團

東京市麴町區丸ノ內二丁目十八番地株式會社島田製作所ヨリ東京市大森區堤方町二百二十二番地株式會社島田製作所堤方工場ニ屬スル建物、工作物竝ニ機械器具等ニ對シ工場財團組成ノタメ所有權保存登記申請ヲ爲シタルニ因リ右財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ昭和十二年十一月十三日マテニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十二年十月十一日　東京區裁判所南品川出張所

東京市麴町區丸ノ內一丁目六番地一昭和電力株式會社ヨリ同會社所有ニ係ル富山縣東礪波郡平村組山字淸水谷十七番ノ十六外三筆所在ノ機械器具、同縣上新川郡大澤野村笹津字上平割二百三十六番ノ一外八筆所在ノ機械器具、大阪府南河內郡志紀村大字老原三十四番地ノ一外一筆所在ノ機械器具ニ對シ新ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ變更登記ノ申請アリタルニ因リ右追加財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者ハ本公告掲載ノ日ヨリ三十日以內ニ其權利ヲ當廳ニ申出ツヘシ

但シ新ニ工場財團ニ屬スヘキモノ、目錄ハ當廳ニ備付アリ關係者ノ閲覽ニ供ス

昭和十二年十月十一日　大津區裁判所

◉生徒募集

昭和十三年四月入學セシムヘキ管內各師範學校公學師範部演習科生徒ヲ募集ス其要項左ノ如シ

昭和十二年十月　臺灣總督府

一、募集生徒　公學師範部演習科生徒

二、募集人員

臺北第一師範學校　約四十名

臺北第二師範學校　約四十名

臺中師範學校　約四十名

臺南師範學校　約四十名

三、志願者資格　年齡滿十七年以上(大正十年四月一日以前出生)ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ品行方正身體健全ナル者

1. 中學校卒業者
2. 道府縣立師範學校本科卒業者
3. 專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依ル試驗檢定合格者
4. 前號ノ規定ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者
5. 文官任用令第六條第一號ニ依リ中學校ト同等以上ト認定シタル學校卒業者
6. 現ニ學校在學者ニシテ昭和十三年三月末マテニ前記1、2、4、5ニ該當スヘキ見込ノ者
但シ昭和十三年三月末マテニ前記1、2、4、5ノ資格ヲ得サル者ハ當初ヨリ該資格ナカリシ者ト見做ス
7. 前各號ニ該當セサル者ニシテ中學校卒業程度ノ檢定試驗合格者

四、修業年限　二箇年

五、給費　師範學校ノ普通科、演習科、研究科及講習科生徒學資給與規則ニ依リ學資金及入學旅費ヲ支給ス

六、兵役　卒業者中內地人ハ短期現役ニ服セシメラル

七、服務　卒業後二年間臺灣總督ノ指定シタル學校ニ於テ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス

八、出願手續　入學志願者ハ左記ノ書類ヲ取揃ヘ出身學校ヲ經由シ出願期日マテニ到達スル樣提出スヘシ但シ志願者資格3、7ニ該當スル者ハ直接提出スヘシ

1. 出願期日　本月二十五日限
2. 願書送付先　臺北第二師範學校內生徒募集係
3. 提出書類

イ、入學願及履歷書(所定ノ用紙)

ロ、身體檢查書(所定ノ用紙)

ハ、身分ニ關スル證明書(所定ノ用紙)

ニ、戶籍謄本

ホ、成績證明書又ハ專門學校入學者試驗檢定合格成績證明書(所定ノ用紙)

ヘ、服務義務ヲ有スル者ハ北海道廳長官、府縣知事ノ受驗認可證(臺灣ニ於テ服務義務ヲ有スル者ニ臺灣總督ノ受驗認可證)

ト、寫眞(提出前三箇月以內ニ撮影シタル脫帽半身ノ手札形ニシテ所定ノ用紙ニ貼附シ撮影年月日第一次受驗地第二次受驗地及氏名ヲ自署セルモノ)

チ、志願者ノ父又ハ母ニシテ十年以上判任官待遇以上ノ學校職員ノ職ニ在リタル者ナルトキハ其履歷書

志願者ノ願書ヲ受理シタルトキハ受驗票ヲ交付スヘキニ付願書提出ノ際返信料トシテ貳錢ノ郵便切手ヲ所定ノ葉書ニ貼附シ置クヘシ

出願書類中イ、ロ、ハ、ホノ用紙ハ前記募集係ヨリ其交付ヲ受クヘシ但シ該用紙ヲ郵便ニ依リ請求スル場合ハ自己ノ宿所氏名ヲ明記シ且ツ參錢切手ヲ封入スヘシ

九、入學試驗

1. 第一次試驗(筆答試問)

國語漢文(講讀、文法、書取、作文、漢文講讀)

國史

數學(算術、代數、幾何)

志願者資格7ニ該當スル者ニハ前記科目ノ外修身、公民科、歷史、地理、理科、英語ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ試驗ヲ行ヒ學力ヲ檢定ス

2. 第二次試驗(口頭試問、身體檢查)

第一次試驗ニ合格シタル者ニ對シテ之ヲ行フ

一〇、試驗期日及試驗場

1. 第一次試驗

イ、試驗期日

十一月二十日(土)	午前	自九時至十二時	國語、漢文
	午後	自一時至二時三十分	國史

同二十一日(日)	午前	自九時至十二時	數學
	午後	自一時至二時	修身
		自二時十分至三時十分	公民科
同二十二日(月)	午前	自九時至十一時	理科
		自十一時十分至零時十分	英語
	午後	自一時至三時	歷史、地理

ロ、試驗場

臺北第二師範學校、臺中師範學校、臺南師範學校、北海道廳及各府縣廳

2. 第二次試驗

昭和十三年一月上旬又ハ中下旬臺北第二師範學校、東京府、京都府及福岡縣ニ於テ之ヲ施行ス其日時及場所ハ追テ本人ニ通知ス

一一、入學ノ時期　昭和十三年四月上旬

一二、入學通知　入學許可及入學學校ノ指定ハ入學セシムヘキ各學校長ヨリ昭和十三年二月末マテニ本人ニ通知ス

◉村役場位置變更

刈羽郡高田村ハ其役場位置ヲ本月一日大字新道字劔殿三千五十四番地ノ二、三千五十七番地ノ二、三千五十八番地ノ二、三千六十番地ノ二、三千六十一番地ノ二、三千六十五番地ノ一、三千六十六番地ノ一、三千六十七番地ノ一、字正法寺三千七十番地ノ二、三千七十一番地、三千七十二番地、三千七十三番地ノ一、三千七十六番地ノ一、三千七十七番地、三千七十八番地ノ四、三千七十八番地ノ五、三千八十三番地ノ一、三千八十五番地ノ二ニ變更セリ

昭和十二年十月　新潟縣

本吉郡階上村ハ其役場位置ヲ本月二日同村字長磯船原二十番地ニ變更セリ

昭和十二年十月　宮城縣

◉購買入札

一、センターレスグラインダー　一臺

納入期限　昭和十三年一月末日

二、入札竝開札　本月二十日午前十一時、卽時開札

三、入札場所　本校

四、入札保證金及其納付日時　入札價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ケ)、入札當日午前十時限

五、契約保證金　契約價格ノ百分ノ十以上(同上)

六、入札資格者　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明書ノ提出ヲ要ス

七、公示書類　仕樣書、入札心得書

右本校會計課ニ就キ熟覽ノコト

昭和十二年十月十一日　金澤高等工業學校

◉賣拂入札

一、錫屑(極板)　五、五〇〇瓩

一、入札竝開札　本月二十二日午前十一時限、卽時開札

一、現品下見　本月二十一日午前八時

一、入札場所　當局經理部

一、現品引渡場所　吉塚用品庫

一、公示書類　當局ニテ熟覽ノコト

一、入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ十以上(圓未滿切上ケ)

一、契約保證金　落札金高ノ百分ノ十以上

一、契約擔任者　門司鐵道局長島岡浩一郎

昭和十二年十月十一日　門司鐵道局

◉賣拂入札公告取消

本月五日本欄內掲載當局賣拂入札公告ハ之ヲ取消ス

昭和十二年十月十一日　名古屋遞信局

◉商業登記

●本月二十八日官報廣告ニ別刷掲載當廳商業登記公告一三頁一段三光光學株式會社設立登記公告二段十八行「水野讓」ハ「永野讓」、一四頁三段「●株式會社新之商店變更」ハ「●株式會社新六商店變更」ノ孰モ誤ニ付訂正ス

昭和十二年九月二十九日　東京區裁判所

●本月一日官報掲載當廳商業登記公告四九頁二段「●向島管間三葉株式會社變更」ハ「●向島管間三業株式會社變更」、五〇頁二段三菱地所株式會社設立登記公告十五行「七百二番地三」ハ「七百三番地三」、同三段三行「駒込富士前町」ハ「駒込上富士前町」、同七行「九十番地二」ハ「百九十番地二」ノ孰モ誤ニ付訂正ス

昭和十二年十月四日　東京區裁判所

●合資會社柳內平三郎商店變更(支店)

一社員柳內忠次郎ハ昭和十二年五月二十八日其出資持分全部ヲ社員柳內平三郎ニ讓渡シテ退社シ之レヲ讓受ケタル柳內平三郎ハ同日出資額ヲ金三万五千圓ト變更ス

昭和十二年六月五日登記　浦和區裁判所上尾出張所

●合資會社設立

一商號　水上溫泉自動車合資會社

一本店　利根郡水上村大字鹿野澤九十五番地ノ一

一目的　一定ノ路線ニ因ラサル自動車ニヨル旅客ノ輸送營業及之ニ附帶スル一切ノ業務

一設立年月日　昭和十二年三月一日

一代表社員ノ氏名　高橋政之助

一社員ノ氏名住所出資及責任

金四百五十圓　無限　高橋政之助　利根郡水上村大字湯檜曾百五十二番地

金四百五十圓　同　阿部兮巳　同郡同村大字大穴七十二番地

金四百五十圓　同　古橋栄次郎　同郡同村大字鹿野澤九十五番地ノ一

金二百五十圓　有限　世古石松　同所六十五番地

金二百圓　同　岩下金治　同所九十五番地ノ一

金百圓　同　宮西平一郎　同所四百七十番地

金百圓　同　關久重　利根郡新治村大字羽場八百二十七番地

一存立時期　定款作成ノ日ヨリ滿二十箇年

昭和十二年六月四日登記　沼田區裁判所水上出張所

●株式會社足利銀行更正(支店)

一昭和十二年六月二日栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ支店及同縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地ノ支店ハ其ノ地番錯誤ニ因リ左ノ通リ更正ス

支店　栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ三

支店　同縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地イ號

●株式會社足利銀行變更(支店)

昭和十二年六月二日左記各支店ハ左記ノ事由ニ因リ所在地名ニ變更アリタリ

一山田郡桐生町大字桐生新町三百四十二番地ノ支店ハ大正六年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ同郡同町大字桐生三百四十二番地ト變更シ大正十年三月一日市制施行ニ因リ桐生市大字桐生三百四十二番地ト變更シ更ニ昭和四年八月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス

支店　桐生市本町五丁目三百四十二番地

一山田郡桐生町大字新宿村四百五番地ノ支店ハ大正六年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ同郡同町大字新宿四百五番地ト變更シ大正十年三月一日市制施行ニ因リ桐生市大字新宿四百五番地ト變更シ更ニ昭和四年八月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス

支店　桐生市新宿通一丁目四百五番地

一栃木縣足利郡足利町大字足利二百十八番地ノ三ノ支店ハ大正十年一月一日市制施行ニ因リ同縣足利市大字足利二百十八番地ノ三ト變更シ更ニ大正十一年一月一日土地ノ名稱變更ニ因リ左ノ通リ變更ス

支店　栃木縣足利市伊勢町二百十八番地ノ三

一栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木三百八十一番地ノ一ノ支店ハ昭和十二年四月一日市制施行ニ因リ左ノ通リ變更ス

支店　栃木縣栃木市萬町三百八十一番地ノ一

一栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木二百九十五番地イ號ノ支店ハ昭和十二年四月一日市制施行ニ因リ左ノ通リ變更ス

支店　栃木縣栃木市倭町二百九十五番地イ號

●合資會社福大吳服店解散

一昭和十二年六月一日總社員ノ同意ニ依リ解散ス

昭和十二年六月三日登記　高崎區裁判所

●日本電話建物株式會社更正竝ニ變更(支店)

千葉市吾妻町二丁目百五番地ノ支店ヲ左ノ通リ更正ス

支店　千葉市吾妻町二丁目百五番地

取締役荒川三郎ハ昭和十二年五月二十二日辭任ス

取締役平川節三尾寄勝ハ任期滿了ニ付同日退任シ取締役根本亮一平尾壽保中山幸市取締役竝ニ代表取締役太田幹介監査役原田能造ハ同日各重任シ左記ハ同日取締役ニ就任ス

荒川三郎　東京市蒲田區志茂田町五番地

丸山誠一　東京市澁谷區千駄ヶ谷五丁目八百四十七番地

右昭和十二年五月二十九日登記

●株式會社中林酒店支店移轉(支店)

靜岡市鷹匠町一丁目八十七番地ノ支店ヲ昭和十二年五月二十五日左ノ地ニ移轉ス

支店　靜岡市江尻町三十番地

右昭和十二年六月二日登記

●株式會社日本勸業銀行社債(支店)

昭九災害十一號

一社債ノ總額　金二十六万圓

一各社債ノ金額　金五千圓

一社債ノ利率　年三分二厘

一社債償還ノ方法及期限　昭和十七年五月一日迄据置キ以後毎年四月十月抽籤ヲ爲シ毎回五千圓以上ヲ各其ノ翌月ニ償還シ昭和三十二年五月一日迄ニ全額ヲ償還ス

一各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

一　昭和十二年六月十一日　官報　第三千三百三號

昭和十二年六月十一日　官報　第三千三百三號